

海軍兵學校教育參考館圖錄

W352
8



0057904-000

W352-8

海軍兵學校教育參考館圖錄

海軍兵學校教育參考館

1934

AJG

海軍兵學校教育參考館圖錄

W-352
A



49. 2. -5
967871

序

教育参考館ノ創設セラレテヨリ將二十年ニ垂トシ歴代校長ノ苦心經營ニ依リ今ヤ其ノ蒐集品ハ古兵書類ヲ合算シテ無慮一萬點ヲ超エ又近ク部内外有志各位ノ翼贊ニヨリテ本格的ナル建築ヲ企圖スルヲ得ルニ到リタルコトハ我海軍教育ノ爲メ洵ニ欣快ニ堪ヘザル所ナリ

此際新築参考館陳列準備ノ意味ヲ以テ委員ニ命ジ資料ノ整理ヲ行ハシメ兼テ其ノ活用ヲ案畫中ノトコロ襲藏品ノ主ナルモノニ就キ寫眞ノ撮影ヲ行ヒ解説ヲ附シ又之ヲ系統化シテ參考館總攬トモ謂フベキモノヲ編纂シ得タルヲ以テ參考館活用ノ一端トシテ之ヲ梓ニ上シ部内外ニ頒布セシムルコトトセリ一言本圖録ノ來由ヲ識シテ以テ序トナス

昭和九年五月

海軍兵學校長 及川古志郎

凡 例

- 一、本圖録ハ教育參考館所藏資料ノ整理ト關聯シ其ノ資料ヲ中心ニシテ海權或ハ海軍ノ發展ヲ圖說スルト共ニ我參考館ノ資料ヲ汎ク紹介セントシテ編纂シタルモノナリ
- 二、然レドモ新參考館建設ヲ前ニシテ急速ノ間ニ事ヲ運ビタルヲ以テ或ハ輕重繁簡宜シキヲ得ザル箇所有ルベク又解説ニ於テモ調査不充分ナル點多々アルベキヲ惧ルト雖モ今後之ヲ礎石トシテ漸次改訂ヲ加ヘ完璧ヲ期セントス是等ノ點ニ關シ閱覽者ニ於テ御氣付キノ點アラバ御叱正ヲ願ヒタシ
- 三、寄贈者又ハ寄托者名ノ記入ナキ品ハ本館在來品又ハ本館調製品ナリ
- 四、本圖録所載ノ資料ニ關係アル參考品又ハ文献ヲ御發見ノ向ハ御寄贈又ハ御通知ヲ願ヒタシ

昭和九年五月十五日

海軍兵學校教育參考館

目次

(上ノ番號ハ同時ニ頁數ヲ示ス)

1	聖訓五箇條	15	嚴島戰並ニ毛利家軍船圖卷
2	大講堂階上廊下陳列ノ御下賜品	16	文祿慶長役
3	宮内省御下賜品	17	同
4	有栖川宮威仁親王殿下御關係品	18	江戸初期頃諸船圖
5	東伏見宮依仁親王殿下御關係品	19	鷺見文庫
6	東郷元帥書並ニ古代船舶	20	同藏書一部
7	三韓征伐ト壇ノ浦海戰	21	野澤文庫
8	蒙古襲來	22	同藏書一部
9	倭寇	23	舟歌並ニ兵歌書
10	村上水軍	24	龍宮舟圖卷
11	同	25	北阪探險
12	村上水軍船模型並ニ車輪船圖	26	古地圖
13	野島流水軍	27	同
14	水軍諸流書籍	28	外船來崎

29	外船來航ト海防論	45	海軍兵學校(江田島)
30	米艦來航	46	薩英戰爭ト下關砲擊
31	同	47	戊辰之役(宮古海戰)
32	君澤形船製造關係資料	48	戊辰之役(函館戰爭)
33	堀田大老遺品並ニ佛國製望遠鏡	49	戊辰之役
34	幕末志士	50	長崎造船關係資料
35	帝國海軍草創(長崎海軍傳習所)	51	橫須賀造船關係資料
36	同	52	幕末砲術資料
37	咸臨丸渡米	53	幕末砲術資料並ニ舶來品
38	木村攝津守遺品ト咸臨丸關係品	54	軍艦龍驤ト清輝號
39	遣米使節	55	名將遺品遺墨 其一
40	勝海舟ト神戸海軍操練所	56	同 其二
41	諸藩海軍	57	同 其三
42	同	58	同 其四
43	築地海軍操練所並ニ海軍兵學寮	59	同 其五
44	海軍兵學寮	60	名士書翰

- | | | | |
|----|-------------|----|---------------|
| 61 | 東郷乃木兩將軍遺墨遺品 | 77 | 旅順口閉塞 |
| 62 | 明治初期ノ海軍 | 78 | 同 (第二回廣瀬中佐) |
| 63 | 豊島沖海戦 | 79 | 同 (廣瀬中佐) |
| 64 | 黄海々戦 其一 | 80 | 同 (第二回、第三回) |
| 65 | 同 其二 | 81 | 同 (第三回) |
| 66 | 同 其三 | 82 | 同 (同) |
| 67 | 同 其四 | 83 | 同 |
| 68 | 威海衛戦 其一 | 84 | 常陸丸遭難ト日露役黄海々戦 |
| 69 | 同 其二 | 85 | 同 |
| 70 | 同 其三 | 86 | 蔚山沖海戦 |
| 71 | 同 其四 | 87 | 海軍陸戦重砲隊ノ旅順砲撃 |
| 72 | 臺灣攻略 | 88 | 旅順陥落前後 |
| 73 | 日露戦争勃發 | 89 | 日本海々戦 其一 |
| 74 | 仁川沖海戦 | 90 | 同 其二 |
| 75 | 旅順港外戦 | 91 | 同 其三 |
| 76 | 同 | 92 | 同 其四 |

- | | |
|-----|---------------------|
| 93 | 日本海々戦後 |
| 94 | 世界戦争(青島攻圍戦) |
| 95 | 同 (「エムデン」遺品並ニ地中海作戦) |
| 96 | 上海事變 |
| 97 | 同 |
| 98 | 戦死者名牌 |
| 99 | 殉職者遺品 |
| 100 | 列國軍事(英國) |
| 101 | 同 (英國、濠洲、伊太利) |
| 102 | 同 (米國、佛國) |
| 103 | 同 (獨逸、土耳其、アルゼンチン) |
| 104 | 遠航地將來品 |



聖訓五箇條

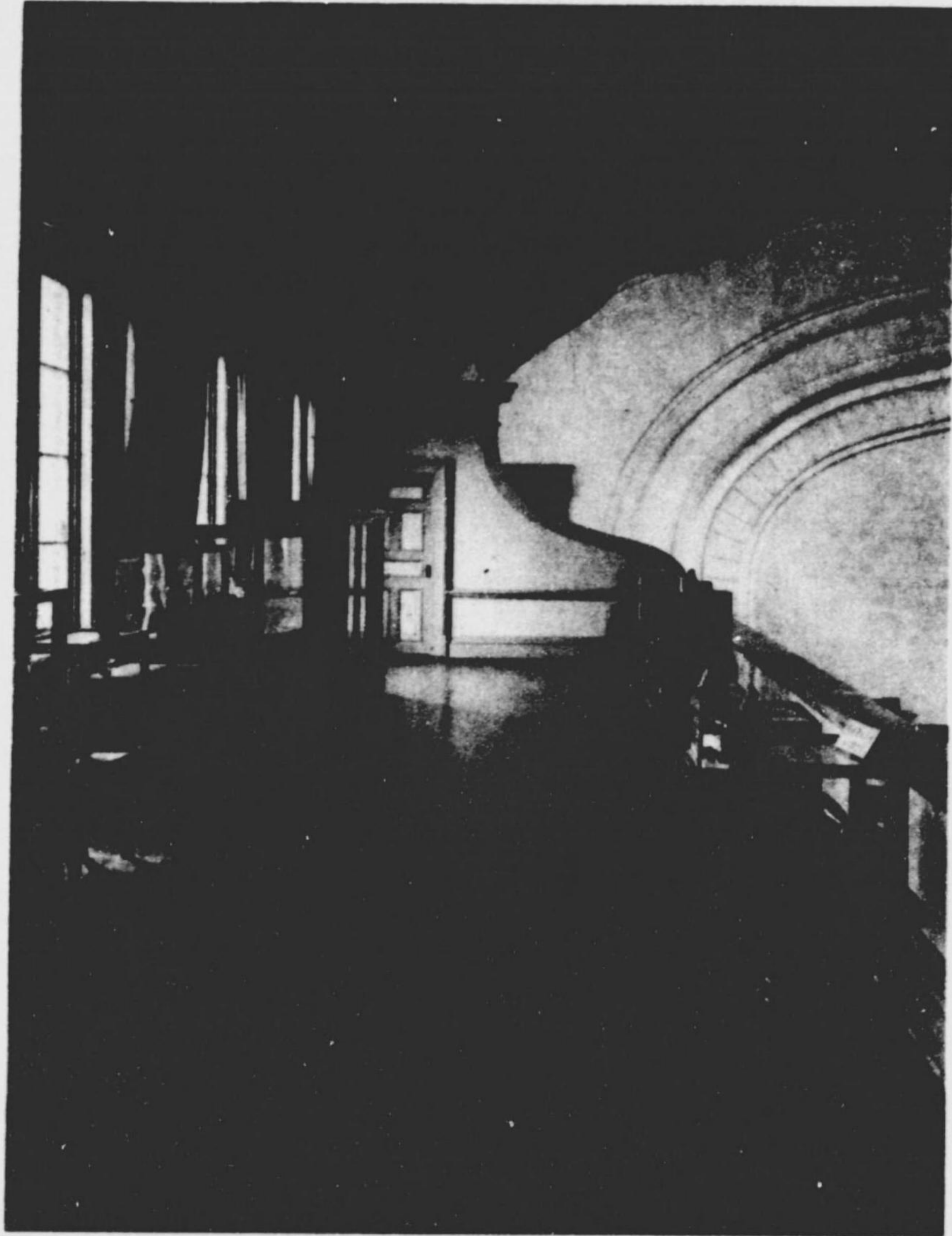
海軍省教育局送付

海軍部内一般ニ精神教育資料トシテ配布セラレタル勅諭五箇條ノ原書ニシテ東郷元帥謹書ニ係ルモノナリ

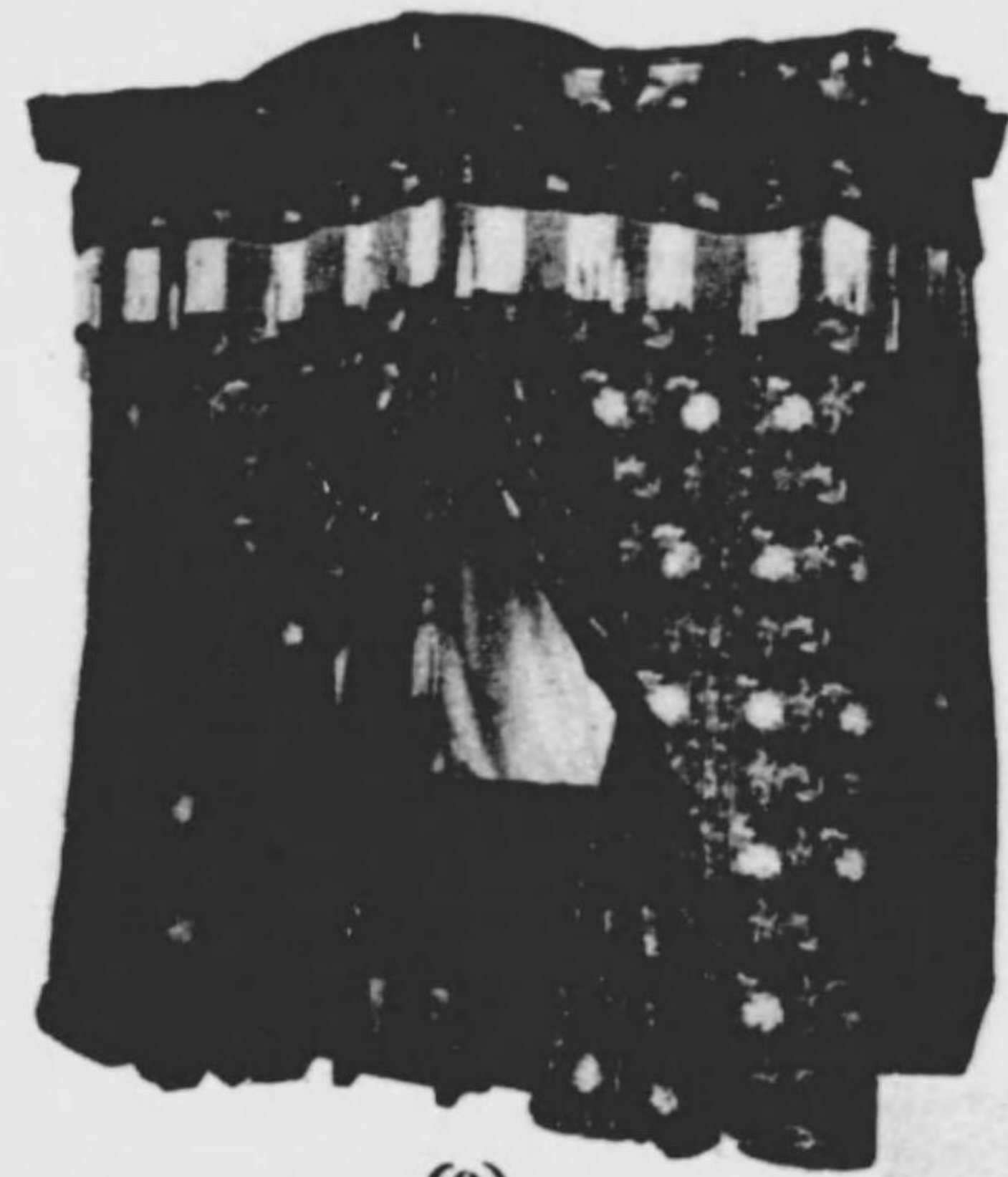
聖訓五箇條

軍艦吾妻寄贈

明治四十一年四月五日伊藤兼良宣旨ニテ京城ニ歸任ノ際同艦ニテ揮毫セラレタルモノナリ



大講堂階上廊下陳列ノ御下賜品



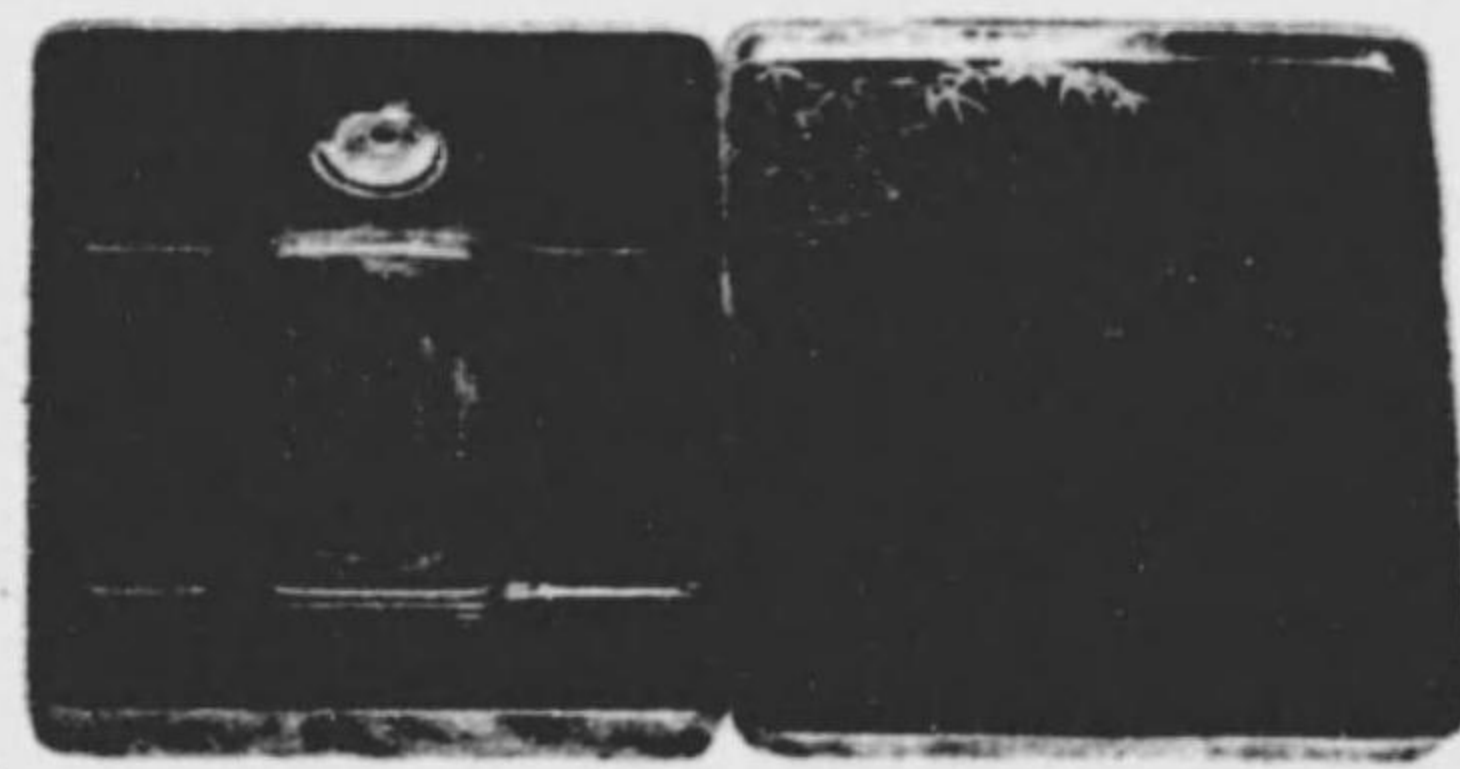
(2)



(1)



(3)



(5)



(7)



(4)



(6)

宮内省御下賜品

(1) 明治天皇御寝台

明治十四年北海道行幸ノ御軍艦迅鯨ニ御裝備申上ゲタル御寝臺ナリ

(2) 昭憲皇太后御寝台

明治天皇御料御寝台ト相共ニ軍艦舊迅鯨ニ御裝備申上ゲタルモノナリ

(3) 舊軍艦迅鯨寫眞

明治九年横須賀造船所ニ於テ進水、十四年十二月御召艦トシテ東海鎮守府ニ屬ス

(4) 御椅子

明治二十三年 明治天皇吳鎮守府行幸ノ御御使用遊ハサレ

タルモノナリ

(5) 御硯匣御文匣

明治初年 明治天皇兵學寮ニ行幸ノ御御料ニ供セラレ又爾來各御名代宮殿下御台臨ノトキニモ御料ニ供セラレタリ

(6) 進水式用御鎚

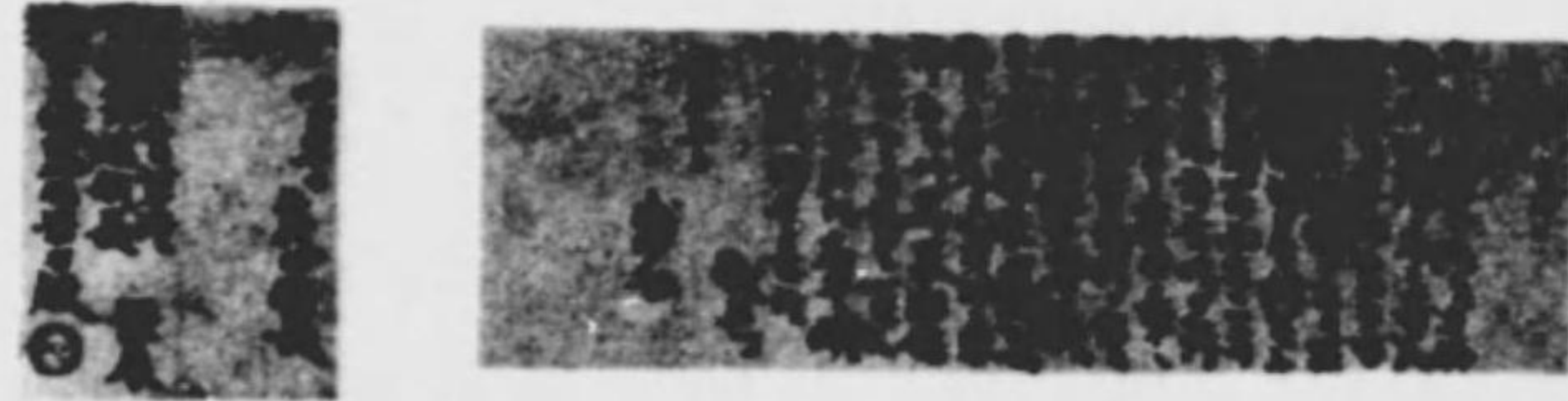
河内進水用御鎚 明治四十三年十月十五日進水 明治天皇親シク進水式ニ御使用ノ御鎚ナリ

(7) 御椅子

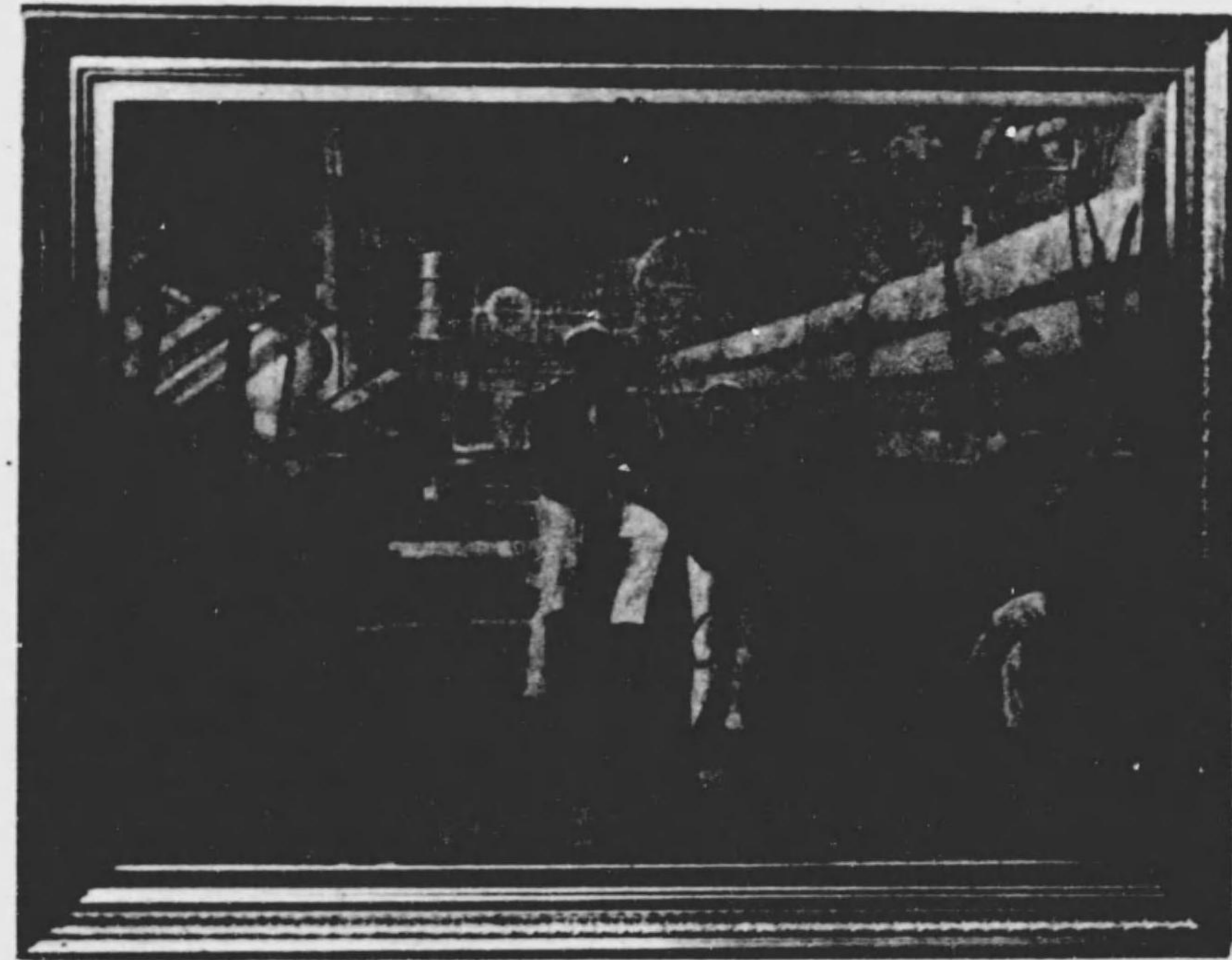
明治十九年 大正天皇海軍兵學校ニ行幸遊ハサレ生徒館樓上ニ御休憩ノ後校内及生徒ノ課業御巡覽アラセラル 此御椅子ハ當時御使用遊ハサレタルモノナリ



(2)



(3)



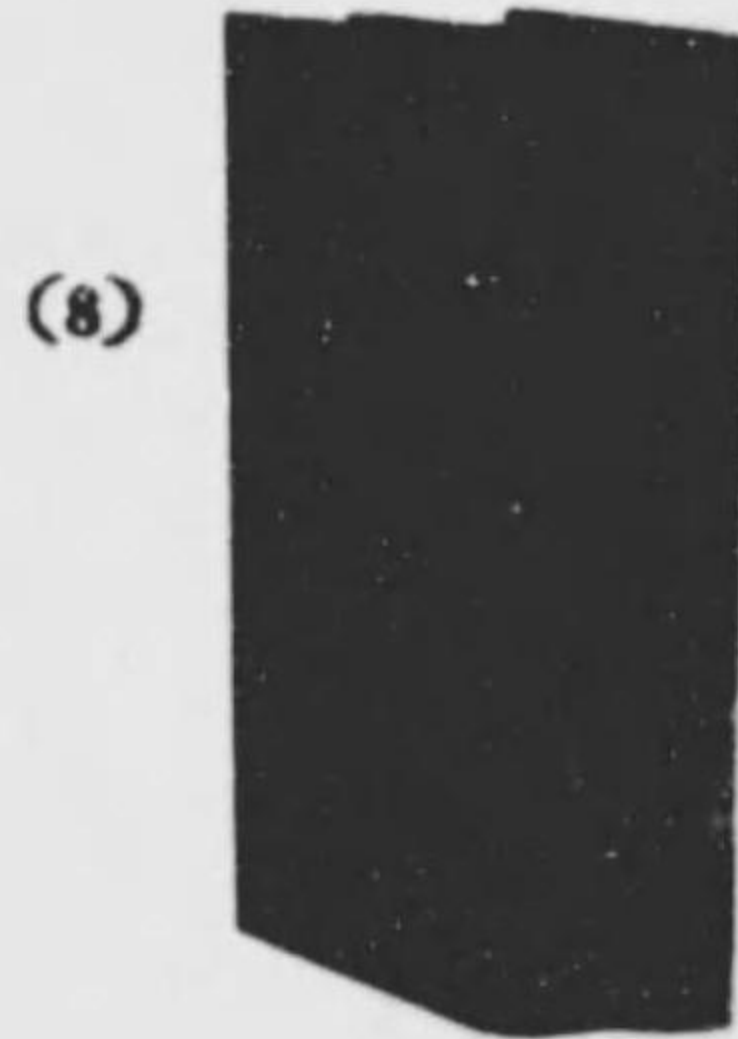
(4)



(5)



(7)



(8)



(1)

元帥海軍大將有栖川宮威仁親王殿下御關係品

(1) 御銅像模型 (朝倉文夫氏謹作)

有栖川宮家御下賜

明治七年御齡十三歳ニテ海軍兵學寮ニ御入學御在寮五ヶ年後時ノ英國東洋艦隊旗艦ニ御乘組御實習遊バサル 轉ジテ 綠威海軍大學校ニ御入學其ノ榮ヲ卒ヘサセラレ明治十六年 御歸朝爾來海軍ノ要職ニ就キ進ンデ元帥府ニ列シ君國ノタメニ御盡瘁アラセ給フコト實ニ三十有餘年ナリキ 大正二年七月十日御壽五十二歳ニテ薨去アラセラル 御銅像ハ大正十年十二月二十四日竣工築地元海軍參考館前庭北隅ニ宮城ニ面シテ建設セラル

(2) 御眞筆

同

(3) 御眞翰

黒岡忠雄少佐寄贈

殿下ガ千代田艦長御當時黒岡筑波艦長ニ宛テラレタル御眞翰ナリ

(4) 威仁親王殿下英艦ニテ御學習圖(油繪)

有栖川宮家御下賜

明治十一年ヨリ同十三年ニ亙リ英國軍艦「アイアンディユ 1ク」乗組トシテ親シク海軍ノ事ヲ實習シ給フ 本圖ハ當時ノ寫眞ニ基キ上野廣一畫伯ノ揮毫シタルモノナリ

(5) 御勉學帳

同

御在英當時御使用アラセラルモノナリ

(6) 御拜領ノ御賞

同

明治九年四月八日海軍兵學寮ニ於ケル大試験御優等ノタメ御拜領ノ製圖器具ナリ

(7) 御服

同

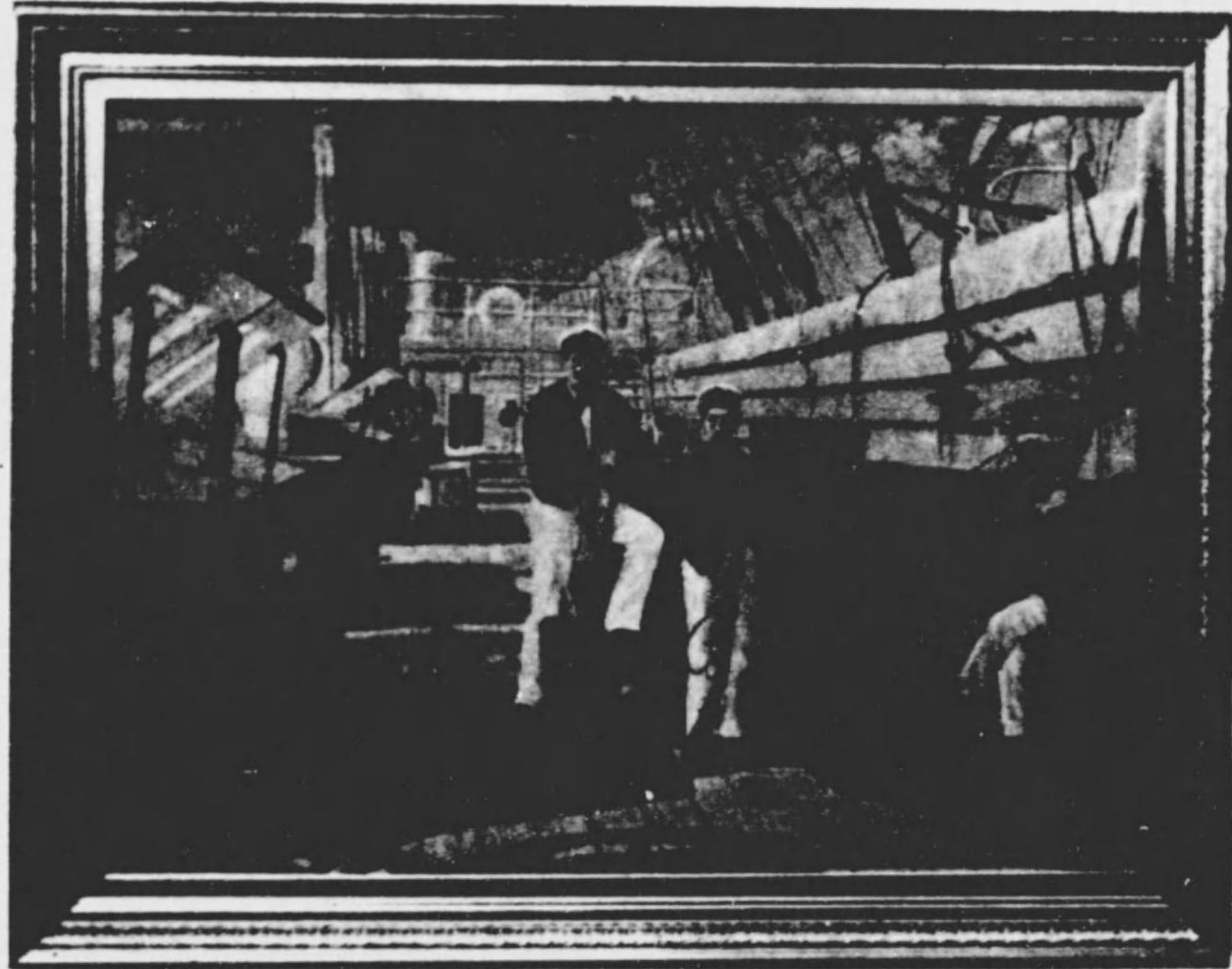
(8) 威仁親王行實

高松宮家御下賜

高松宮家ニテ御編纂アラセラルタルモノナリ

(2) 楊光

(3) [Calligraphy]



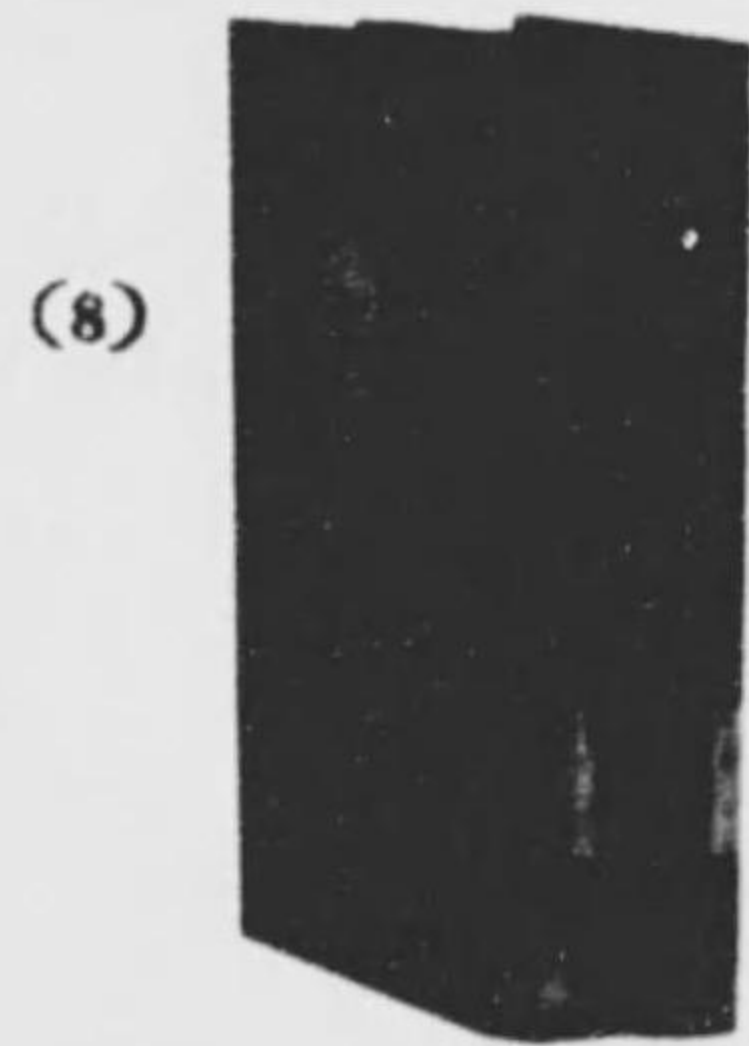
(4)



(6)



(7)



(8)



(1)

元帥海軍大將有栖川宮威仁親王殿下御關係品

(1) 御銅像模型 (朝倉文夫氏謹作)

有栖川宮家御下賜

明治七年御齡十三歳ニテ海軍兵學寮ニ御入學御在寮五ヶ年後時ノ英國東洋艦隊旗艦ニ御乘御實習遊ハサル 轉ジテ 蘇威海軍大學校ニ御入學其ノ榮ヲ卒ヘサセラレ明治十六年 御歸朝爾來海軍ノ要職ニ就キ進ンデ元帥府ニ列シ君國ノタメニ御盡瘁アラセ給フコト實ニ三十有餘年ナリキ 大正二年七月十日御壽五十二歳ニテ薨去アラセラル 御銅像ハ大正十年十二月二十四日竣工築地元海軍參考館前庭北隅ニ宮城ニ面シテ建設セラレ

(2) 御眞筆

同

(3) 御眞翰

黒岡忠雄少佐寄贈

殿下ガ千代田艦長御當時黒岡實波艦長ニ宛テラレタル御眞翰ナリ

(4) 威仁親王殿下英艦ニテ御學習圖(油繪)

有栖川宮家御下賜

明治十一年ヨリ同十三年ニ亘リ英國軍艦「アイアンディユ」ニ乗組トシテ親シク海軍ノ事ヲ實習シ給フ 本圖ハ當時ノ寫眞ニ基キ上野廣一畫伯ノ揮毫シタルモノナリ

(5) 御勉學帳

同

御在英當時御使用アラセラレタルモノナリ

(6) 御拜領ノ御賞

同

明治九年四月八日海軍兵學寮ニ於ケル大試驗御優等ノタメ御拜領ノ製圖書具ナリ

(7) 御服

同

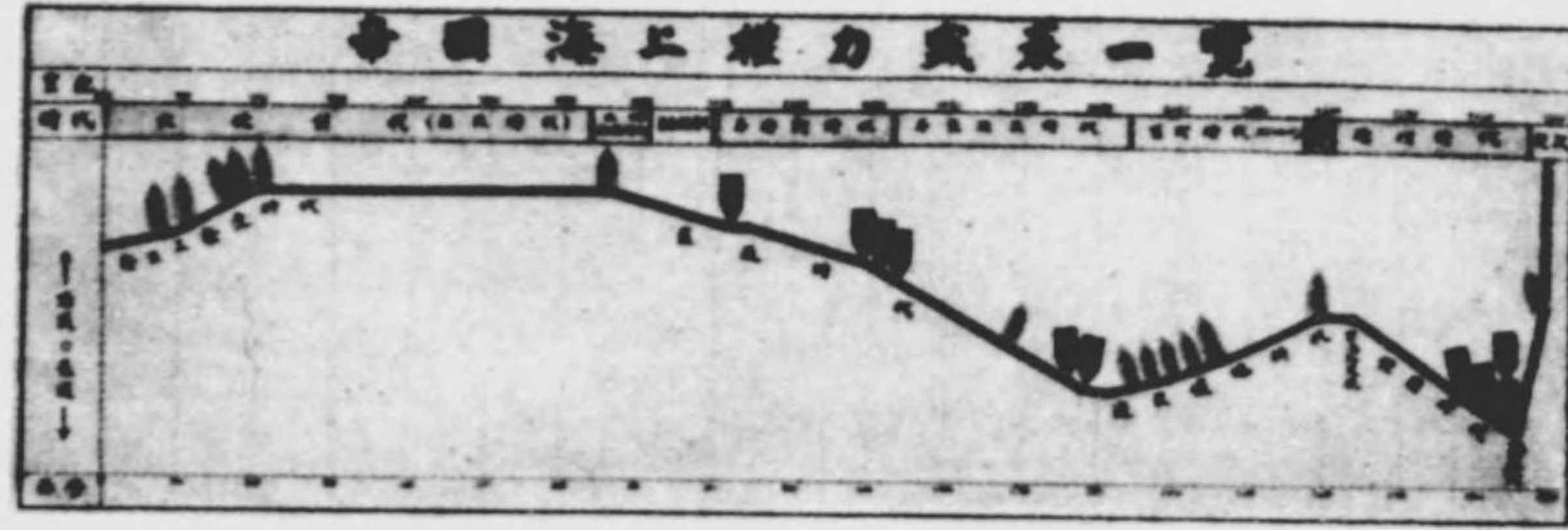
高松宮家御下賜

高松宮家ニテ御編纂アラセラレタルモノナリ

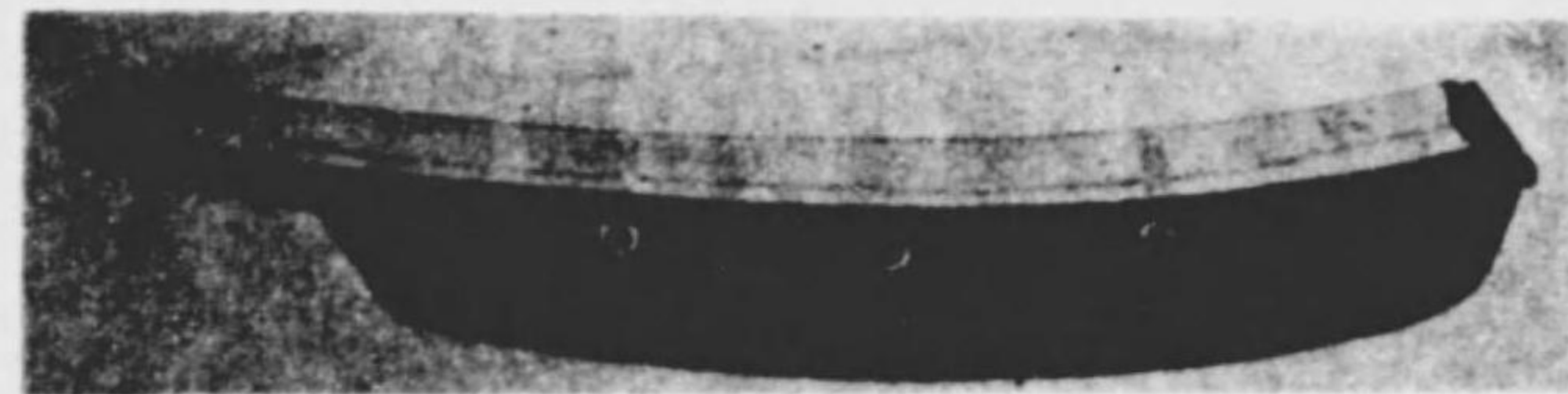


元帥海軍大將東伏見宮依仁親王殿下御關係品

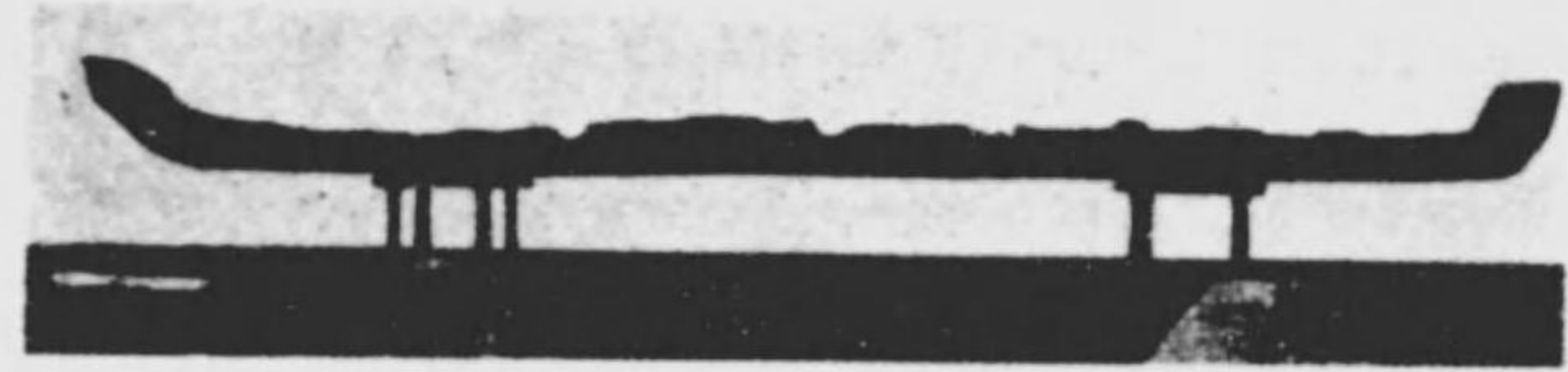
- (1) 御寫眞 東伏見宮家御下賜
- (2) 御眞筆 同
- (3) 六分儀 同
- (4) 御習學中御航泊誌並ニ御計算帳 同
 明治二十年ヨリ二十四年ニ至ル間 依仁親王殿下佛國海軍兵學校御在學引續キ練習艦「イフヒゼニ」ニテ遠洋御航海後地中海艦隊御坐乗ノ間御使用アラセラルタルモノナリ
- (5) 望遠鏡 同
 明治二十七八年戰役中御使用アラセラルタルモノナリ
- (6) 御事業服 同
 明治二十年ヨリ二十三年ニ至ル間 殿下ガ佛國海軍兵學校生徒トシテ御修學中御使用アラセラレタリ
- (7) 御傳記 同
 東伏見宮家ニ於テ御編纂アラセラルタルモノナリ
- (8) 聖護院宮雄仁親王殿下御染筆 入谷清長主計少將寄贈
 聖護院宮雄仁親王殿下ハ 伏見宮邦家親王殿下ノ御子ニ在ラセラレ御維新當時海軍總督ノ官ヲ帶ビサセラレ明治元年天保山沖觀艦式指揮官トシテ御在任、同年八月御齡四十八歳ニシテ薨去遊バサル
- (9) 天保山沖觀艦式光景寫眞 海軍省寄贈
 觀艦式ハ明治元年三月二十六日天保山沖ニ於テ行ハセラルタルヲ嚆矢トス
 時ノ參列艦僅カニ肥後ノ萬里丸・長州ノ華陽丸・薩摩ノ三國丸・久留米ノ千歲丸・肥前ノ電流丸等ニシテ 明治天皇ハ電流丸ニ御坐乗之ヲ櫛ハセラル 寫眞中烏帽子ヲ召サレ御旗ノ前ニテ指揮遊バサル、ハ 雄仁親王殿下ト御見受申上ゲ



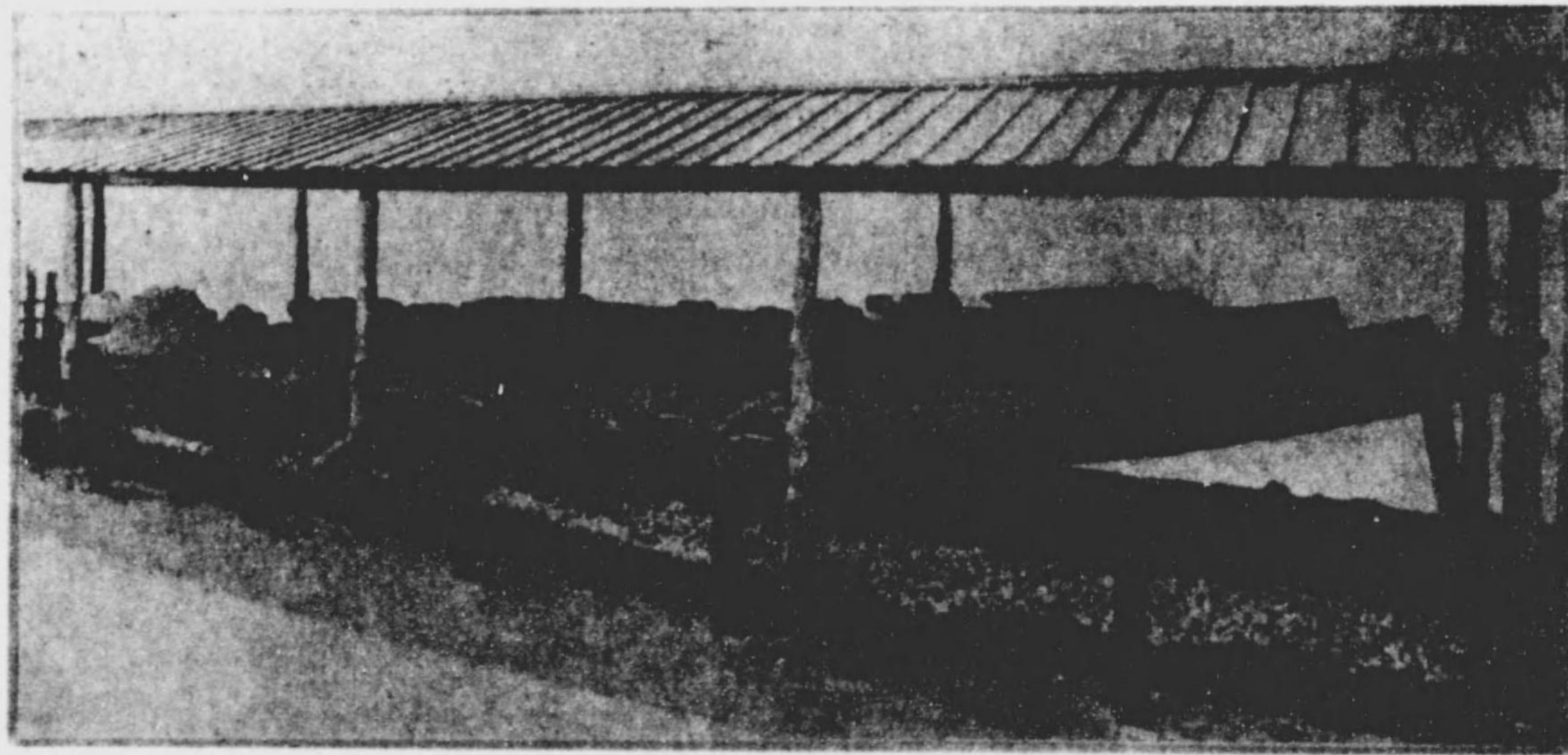
(2)



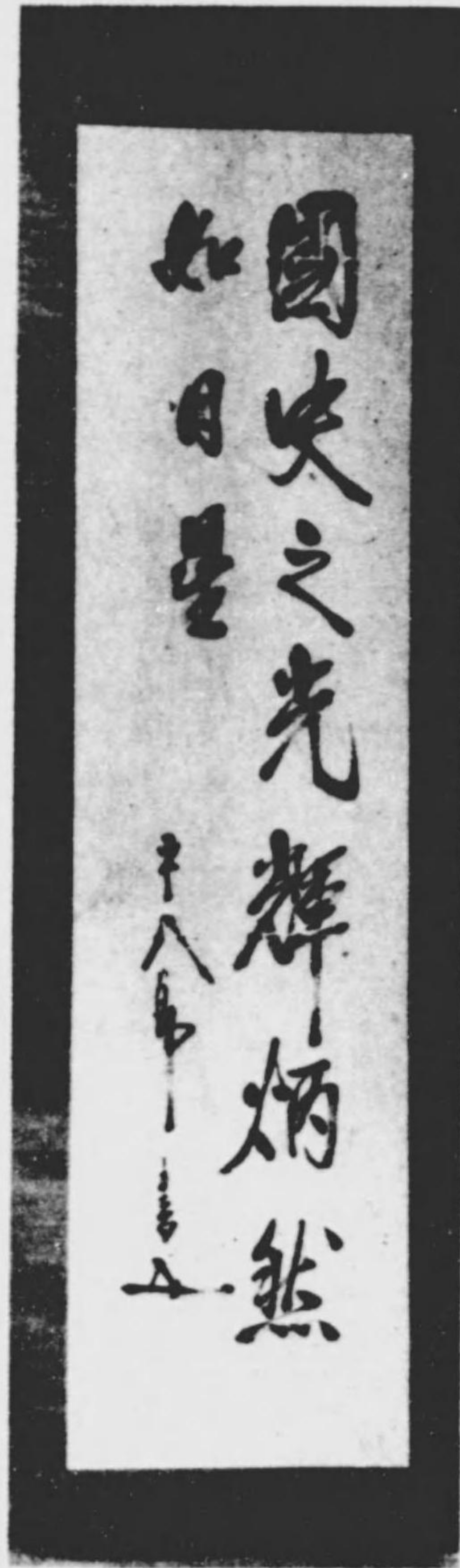
(3)



(4)



(5)



(1)

東郷元帥書並ニ古代船舶

(1) 東郷元帥書

(2) 帝國海上權力盛衰一覽表

小笠原子著 日本帝國海上權力史講義所載ノ表ニ據リ本館ニ於テ作成セシモノナリ

(3) 諸手船寫眞 (原物 出雲國 事代神社藏)

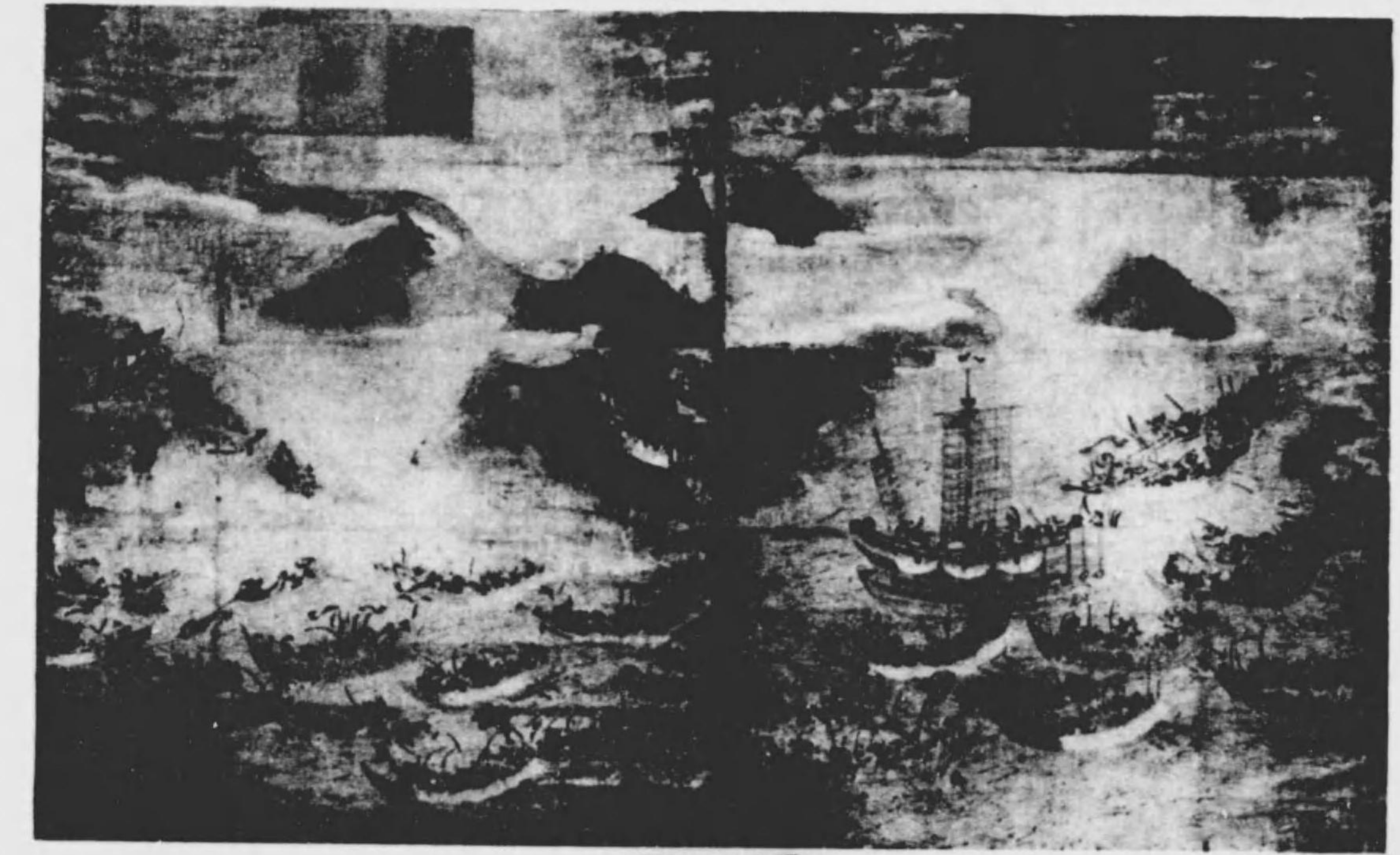
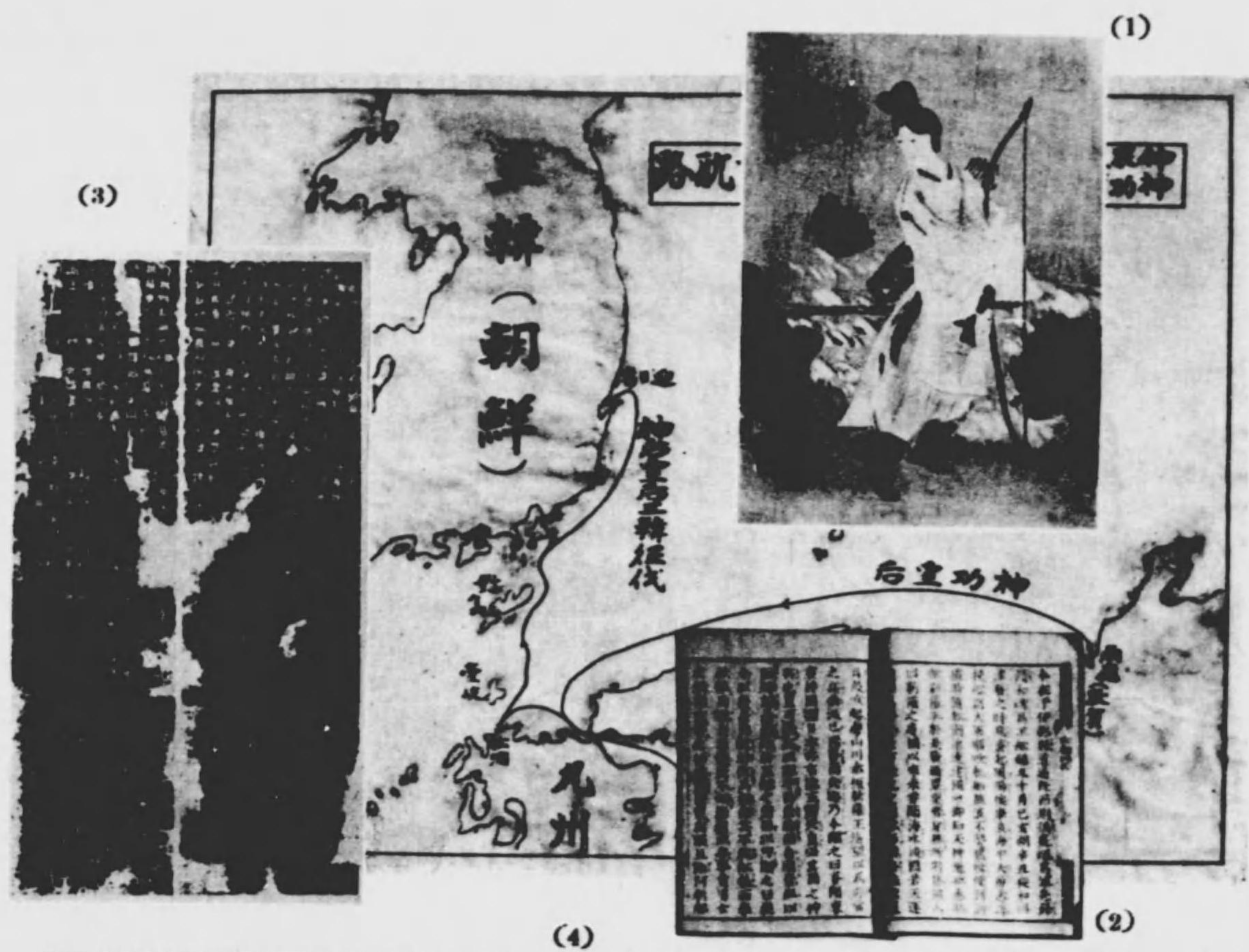
左上ニ楫アリテ多クノ手ノ如ク見ユルガ故ニ諸手船ト云フ 現物ハ出雲美保關事代神社藏ノ新造品ナルモ形式ハ往古ノ儘ニシテ當時ニ於ケル船ノ面影ヲ知ルニ足ラン

(4) 刳船 (原物 常陸國 大寶八幡宮藏)

底部ノ扁平ナル丸木船ナリ

(5) 丸木船寫眞 (原物 大阪博物館藏)

古代ニ於ケル船型ノ一端ヲ窺フ代表的資料ニシテ明治十一年攝津國難波村開墾ノ際土中ヨリ發掘セラレタルモノナリ



三韓征伐ト壇ノ浦海戦

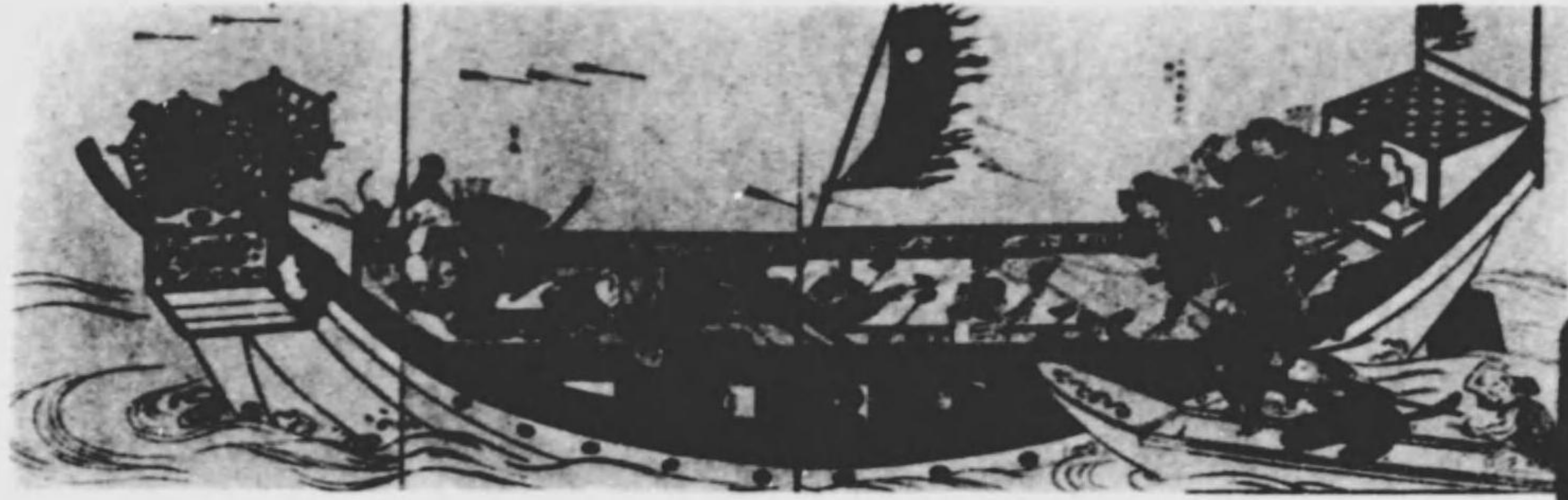
(1) 神功皇后御英姿 (繪畫) 本校集會所藏
 本圖ハ幕末ヨリ明治初年ニ亘リテ有職古土佐ノ風ニ倣ヒテ一派ヲナシタル畫家菊地容齋ノ筆ニ成ル 容齋ハ好ミテ名臣節婦ヲ描ク 本畫ノ如キモヨク彼ノ特色ヲ表ハシタル作品ナリ

(2) 日本書紀 同航海途上ノ記事ヲ示ス

(3) 好太王碑文拓本 谷口尚眞大將寄贈
 神功皇后三韓征伐ヨリ約二百年後高句麗廣開土王即チ好太王百濟ヲ侵略シ大イニ南方ニ國土ヲ擴張セリ 本碑文ハ略ソノ時代ニ建設セラレ現ニ鴨綠江沿岸通溝ニ存ス 朝鮮史ニ研究上重要資料タリ

(4) 壇ノ浦海戦圖 (復本) (原本 下關市 赤間宮藏)
 我國往古ニ於ケル純然タル海戦トシテハ先ヅ壇ノ浦海戦ヲ擧ゲザルベカラズ 壽永四年二月平宗盛等ハ讀駁ノ屋島ニ敗レ安徳天皇ヲ奉ジテ壇ノ浦ノ海上ニ退キタレバ三月義經舟師ヲ以テ四國ヨリ之ヲ追ヒテ至ル 四月二十四日平氏ノ兵船唐船ヲ初メトシテ五百餘艘、源氏ノ兵船三千艘、壇ノ浦海上ニ最後ノ一戦ヲ交ヘタリ最初ハ平家方潮ニ乘リテ優勢ナリシモ潮流一度逆流スルニ至ルヤ源氏次第ニ之ヲ壓迫シ既ニシテ平氏ハ背後モ閉塞セラレ前方ノ形勢モ漸ク迫リタレバ唐船ト兵船トノ乘組ヲ交換シ敵ヲシテ御座船ヲ知ル能ハザラシメントセシモノ内應スルモノアリテ敵ニ洩レ源氏方唐船ニ向ハズシテ御座船ニ迫ル 知盛等奮戰努メタルモ形勢益々非ニシテ遂ニ二位尼天皇ヲ抱キ奉リ海中ニ投ジ茲ニ平家ハ全ク没落スルニ至レリ 本圖ハ此ノ形勢ヲ描キタルモノニシテ左方中央ノ船ニ安徳天皇二位尼ノ側ニ座シ給フ ソノ彼方ニハ女院ガ海中ニ投ジ給ヒシヲ東兵鈎ニテ引上ゲントスル所ヲ描キ又下方ニハ知盛等ノ奮戰ヲ寫シ激戰ノ光景ヲ眼前ニ彷彿セシム 右方中央ナル大船ハ唐船ナリ圖中ニ敗戰ノ前兆タルイカノ群ヲ見ルハ興趣深シ 本圖ハ安徳天皇御一代ノ御事蹟ヲ描キタル八幅ノ畫ノ一部ニシテ其第七及第八幅ニ當ル 土佐光信筆ト稱セラル、モ恐ラク後人ノ假托ニ過ギザルベシ

(5) 壇ノ浦海戦ニ關スル古文獻



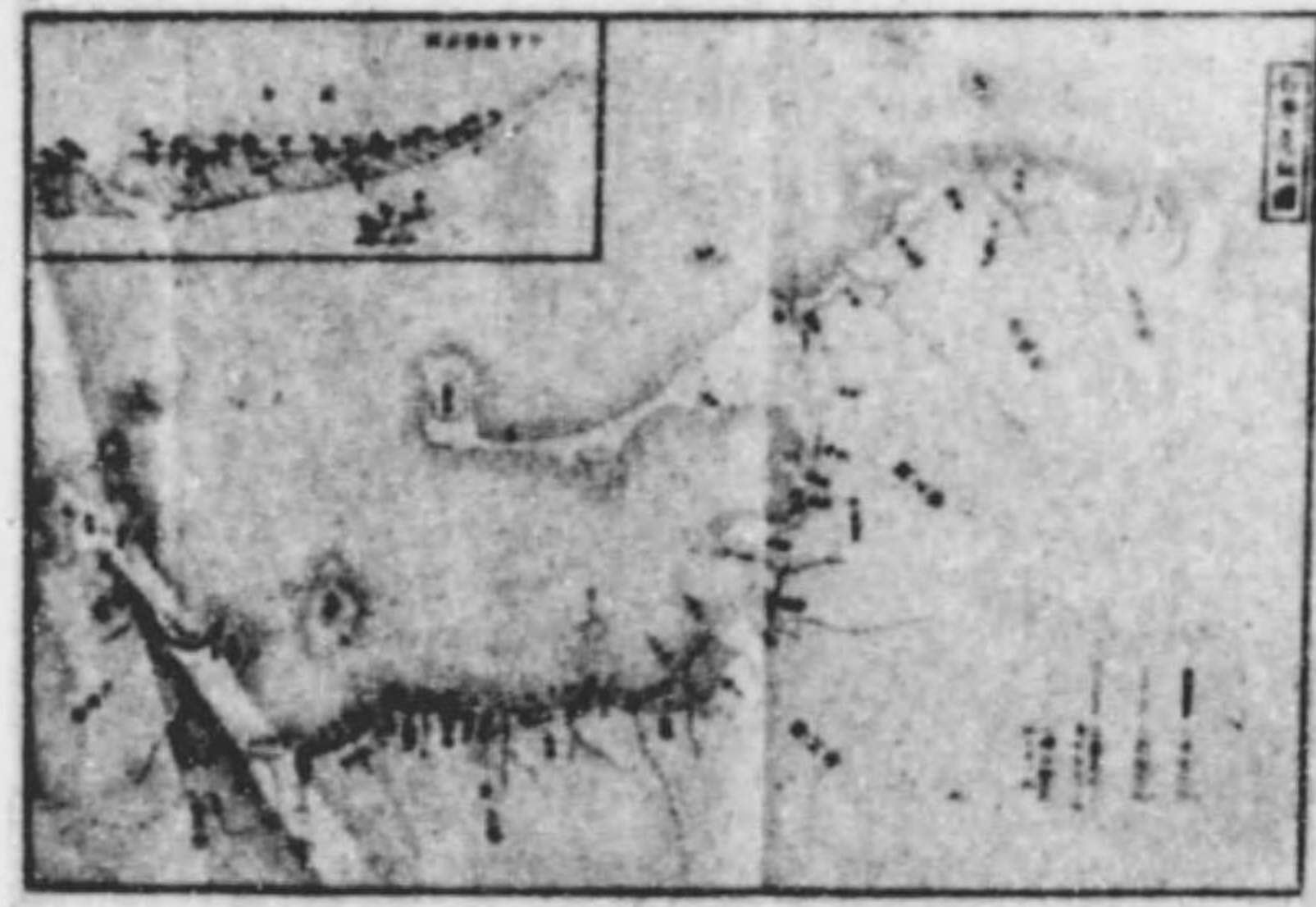
(1)

(2)

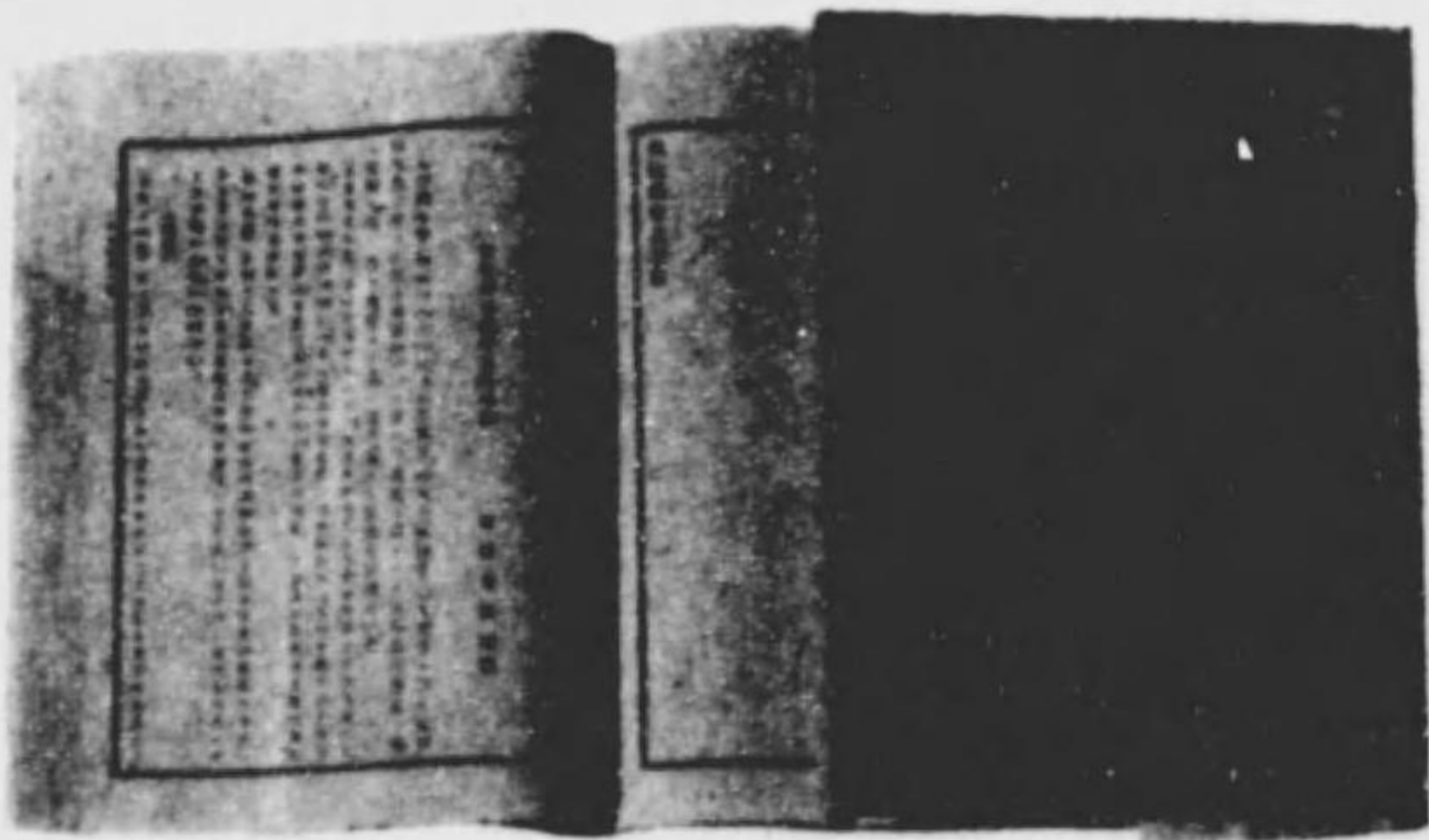


(3)

(4)



(5)



(6)



蒙古襲來

(1) 敵國降伏額

田尻稻次郎氏寄贈

元寇ノ際 龜山上皇大イニ宸念アラセラレ御親ヲ敵國降伏ノ四字ヲ聖算ノ數ニ合セ三十七葉御宸書アラセラレ諸方ノ神社ニ奉納セラレタリ 本額ハ箱崎神宮ニ於ケル其ノ擴大碑文ノ拓本ナリ

(2) 蒙古襲來繪詞

原本(繪卷物)ハ帝室御物ニシテ弘安四年元寇當時敵船ニ斬込ミテ大イニ武勳ヲアラハシタル竹崎季長ガ畫工土佐長隆父子ヲシテ描カシメタルモノナリ 上圖ハ季長ガ敵船ニ侵入シテ敵人ノ首ヲ擡クトコロ下圖ハ鐵砲ノ破裂セルトコロヲ描ケル場面ニシテ砲術史上ノ好資料トシテ珍重スベキモノナリ

(3) 蒙古船碇石

松尾守治氏寄贈

此石ハ昭和八年博多灣修築工事中ニ發掘セラレタルモノニ

(4) 石壘遺址圖

シテ博多元寇記念館所藏ノモノト略同型ナリ 此形式ノモノ昔ヨリ蒙古船ニテ用ヒタル碇石ト稱セラル 長サ二二〇浬、淡紅色ノ砂岩ナリ

(5) 伏敵篇竝ニ同附錄

谷口尙眞大將寄贈

文永弘安役並ニ其前後ノ事情ヲ記ス 明治二十四年山田安榮著

(6) 蒙古寇記(刊本)

谷口尙眞大將寄贈

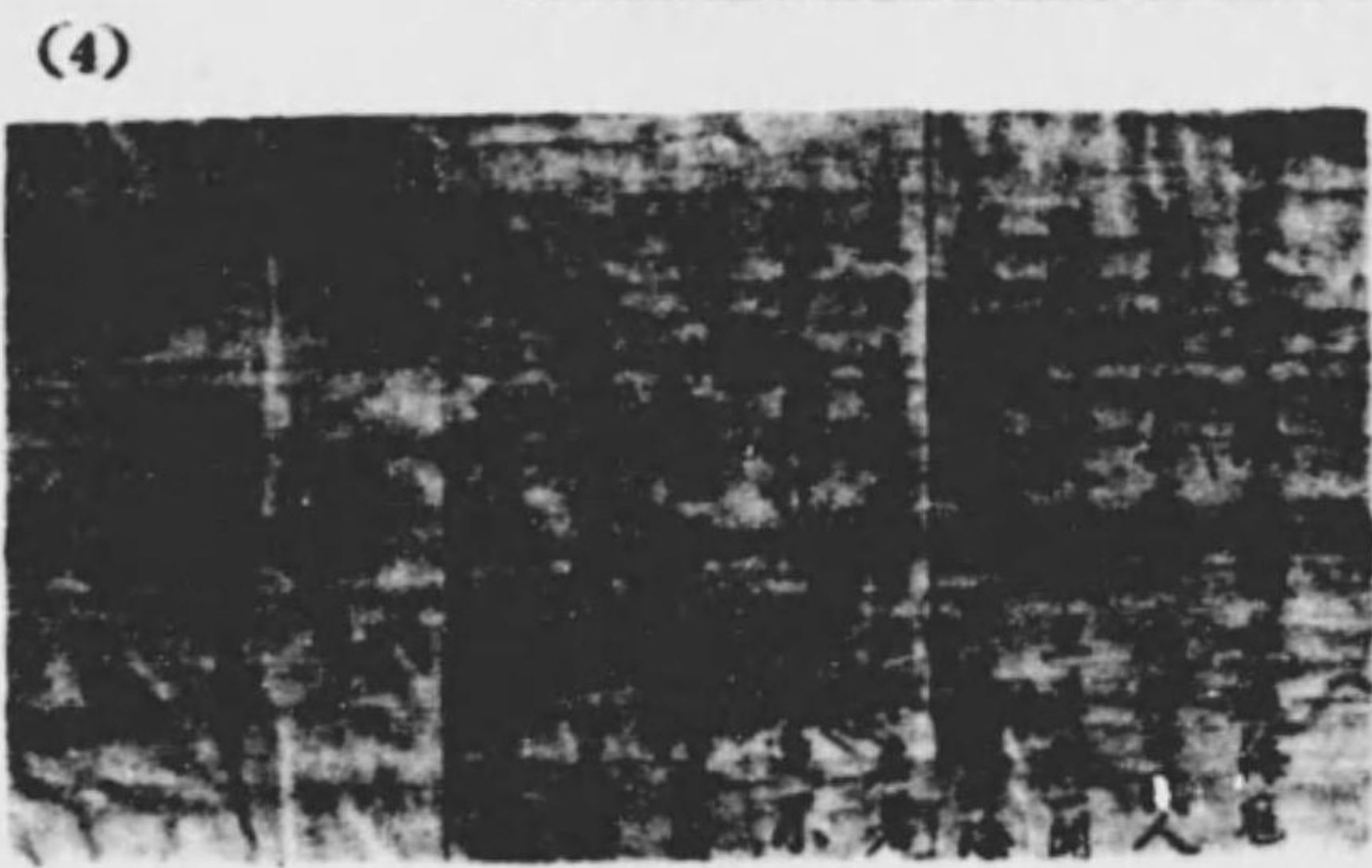
本書ハ長村鑿ガ松浦家並ニ諸家ニ存スル資料ヲ蒐集編纂セルモノナリ



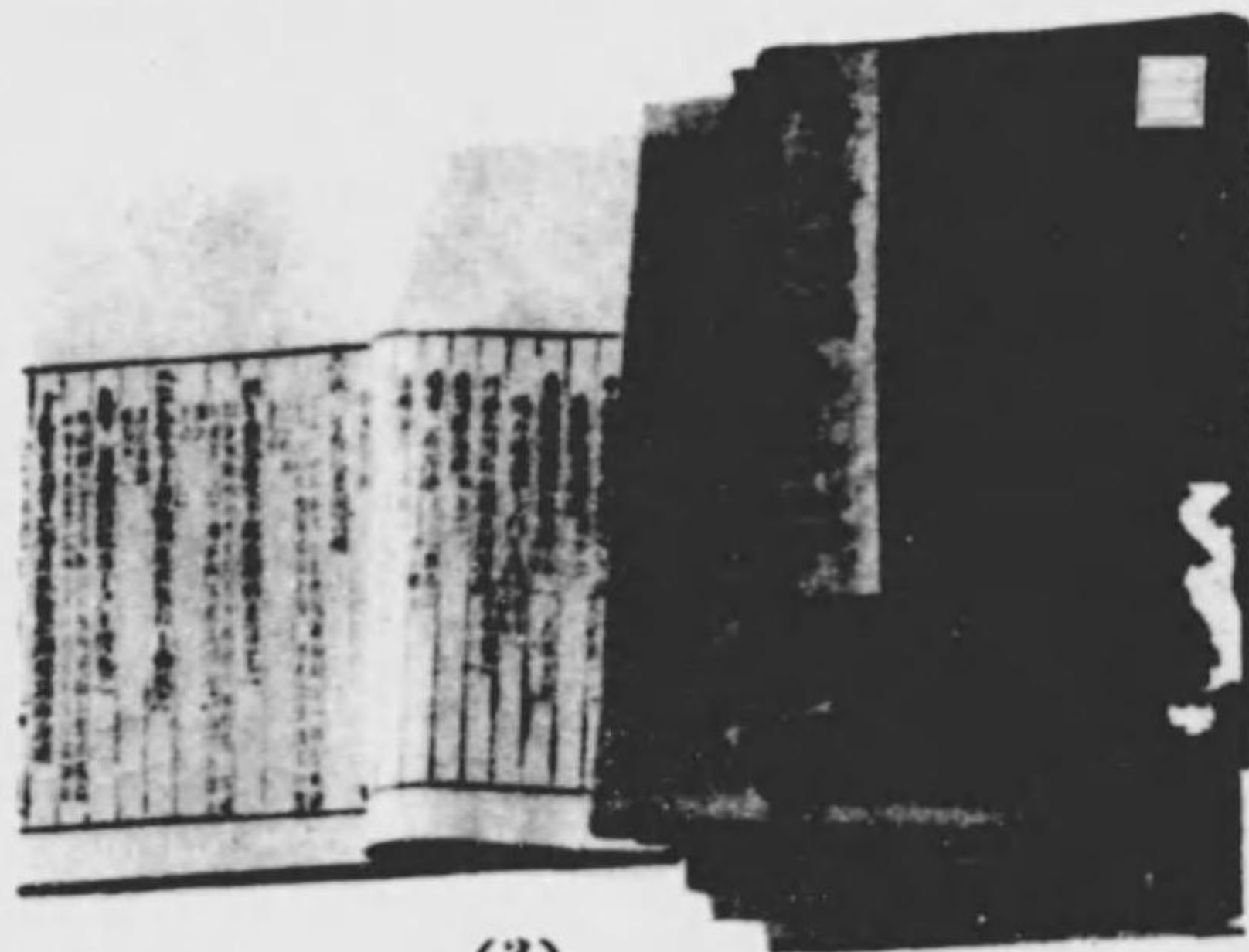
(1)



(2)



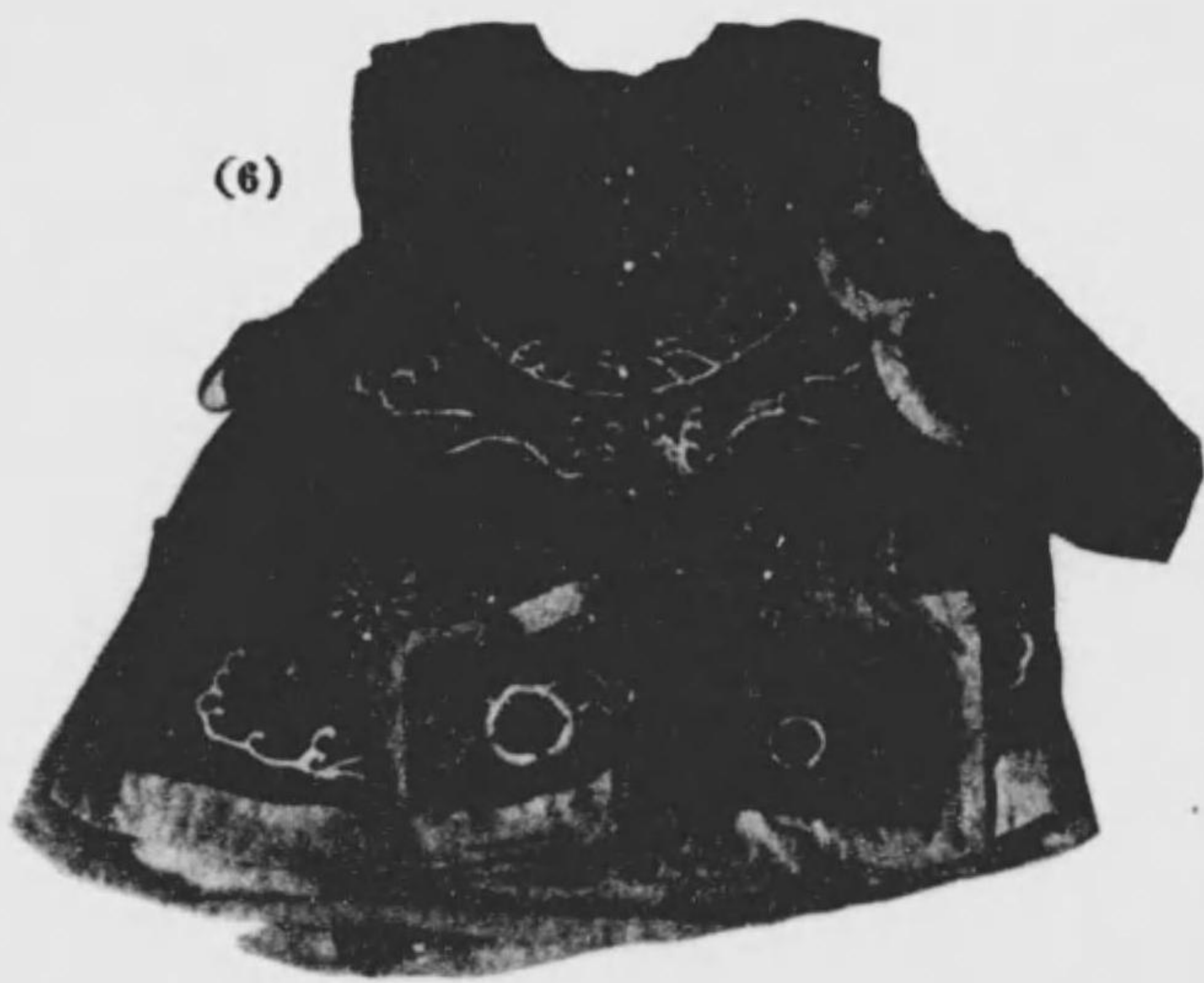
(4)



(3)



(5)



(6)



(7)

倭寇

元寇ノ前後ニ當リ我カ邊陲ノ民屢高麗ノ沿岸ヲ侵シ南北朝時代ニ至リ四國九州等ノ土民内地ニ志ヲ得ザルモノハ海外ニソノ驥足ヲ伸バサント欲シテ支那沿岸ニ寇スルモノ多ク室町時代ニ及ビテソノ勢益猛烈ナリ 彼ノ國人ノ倭寇ト稱シテ怖ル、コト甚シ 明主頻ニ使ヲ我國ニ遣シ之ヲ禁ゼンコトヲ請フ 足利幕府ソノ請ヲ容レ屢禁壓ヲ加ヘシガ暫ク熄シテマモトノ如シ 寇ノ至ル所北ハ遼東ヨリ南ハ廣東ニ及ビ沿海ノ地其災禍ヲ蒙ラザルナク日本刀ノ銳利ト八幡船ノ雄健トハ最モ彼等ヲ憚マシメタリ 明末ニ及ビテ其勢殊ニ烈シク豊臣秀吉ノ之ヲ鎮壓スルニ至ルマデ常ニ明ノ朝野ヲ苦シメタリ

(1) 倭寇圖卷 (復本)

(原本 東京帝國大學史料編纂所藏)

本圖卷ハ傳ニヨレバ明ノ有名ナル畫家仇英ノ筆ナリト云フモ辻博士ノ考證ニ據レバ「ソノ眞筆ニハ非ザルベシ但コノ畫ガ仇英ノ時代即チ明末ノモノナルコトハ疑ナシ」彼國人ガ恐懼憤伏ノ狀態寇民ノ恫慄勇猛ノ姿勢交戦ノ光景老幼婦女ノ避難等目録スルガ如ク描カレ「倭寇史料トシテ稀觀ノ逸品タルヲ失ハズ」此部分ハ彼國ニ上陸シテ刀ヲ提ゲテ追撃スル者、高所ニ登リテ形勢ヲ觀望スル者、既ニ掠奪品ヲ擔ギテ持歸リツ、アルモノ等ヲ寫ス

(2) 同

此部分ハ倭寇ガ彼ノ官兵ト交戦中ノ光景ナリ 彼國人ノ描キタルモノナルヲ以テ戰ハ彼ニ有利ニシテ倭寇中ニハ既ニ傷キテ水中ニ溺レツツアル者、口又ハ耳ニ矢ノ當リテ倒レ

ントスル者等アリ 然レトモ何處トモナク氣概ノ横溢セルモノアルハ否ムベカラズ 上部ニハ田島ノ畔ニ彼國人ノ家財道具ヲ持チ出シテ避難セル光景ヲ寫セリ

(3) 籌海圖編

八角三郎中將寄贈

本書ハ支那ニ於テ編述セラレタル倭寇ニ關スル根本史料ナリ 之ニヨリテ倭寇ノ侵害ノ如何ニ猛烈ナリシカ又彼地ニ於ケル防備ノ狀況ヲ詳細ニ知ルコトヲ得

(4) 明成祖ヨリ足利義持ニ贈レル勅書 (寫眞)

(原本 淺野侯爵家藏)

淺野長武氏寄贈

應永五年足利義滿薨シ其子義持將軍トナル 當時倭寇ノ侵害甚シカリシヲ以テ明王之ガ鎮壓ヲ義持ニ求メントテ送り來リタル文書ナリ

(5) 倭寇太刀使圖 (復本) (原本 村上保一郎氏藏)

(6) 明國戰士ノ鎧

久原仲策氏寄贈

倭寇活躍時代ニ明國戰士ノ着用セシト思ハル、古式鎧衣ニシテ支那海疆ニ於テ發見セラレタルモノナリ

(7) 環翠樓碑文拓本

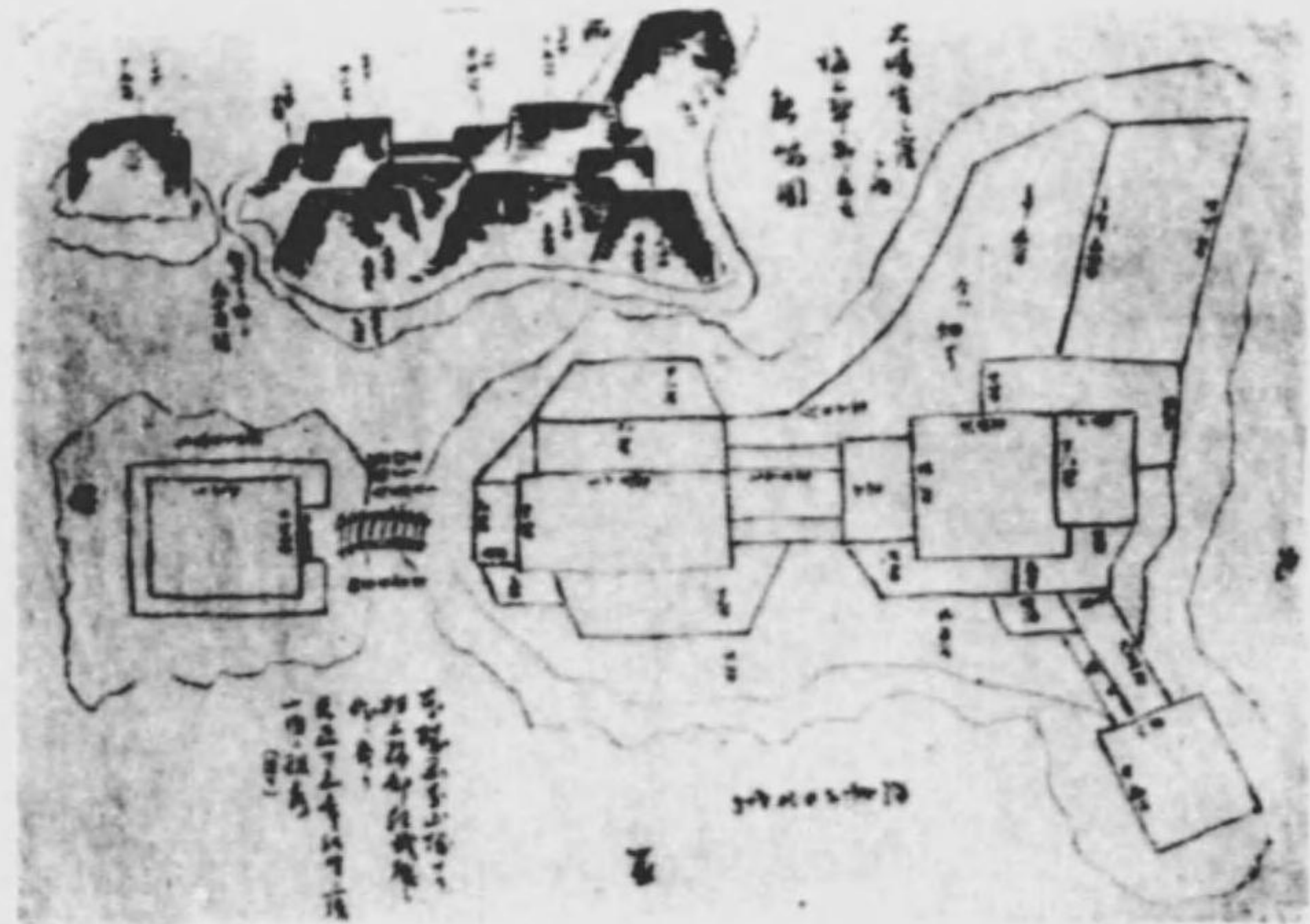
龜山峰樹氏寄贈

明國弘治二年孝宗皇帝倭寇來襲平定當時山東鎮守使ガ威海衛西城ノ丘陵ヘ建設セシモノナリ 然ルニ日露戰役當時我軍之ヲ視テ我帝國ヲ侮辱セルモノト認メテ砲撃ス 此ノ時我陸軍地方幼年學校西村教授軍ニ從フ 其ノ碑ノ破片ヲ收集シ戰後之レガ拓本ヲ作りテ天覽ニ供ス 後更ニ之ヲ印刷シテ江湖ニ頒布セリ

(1)



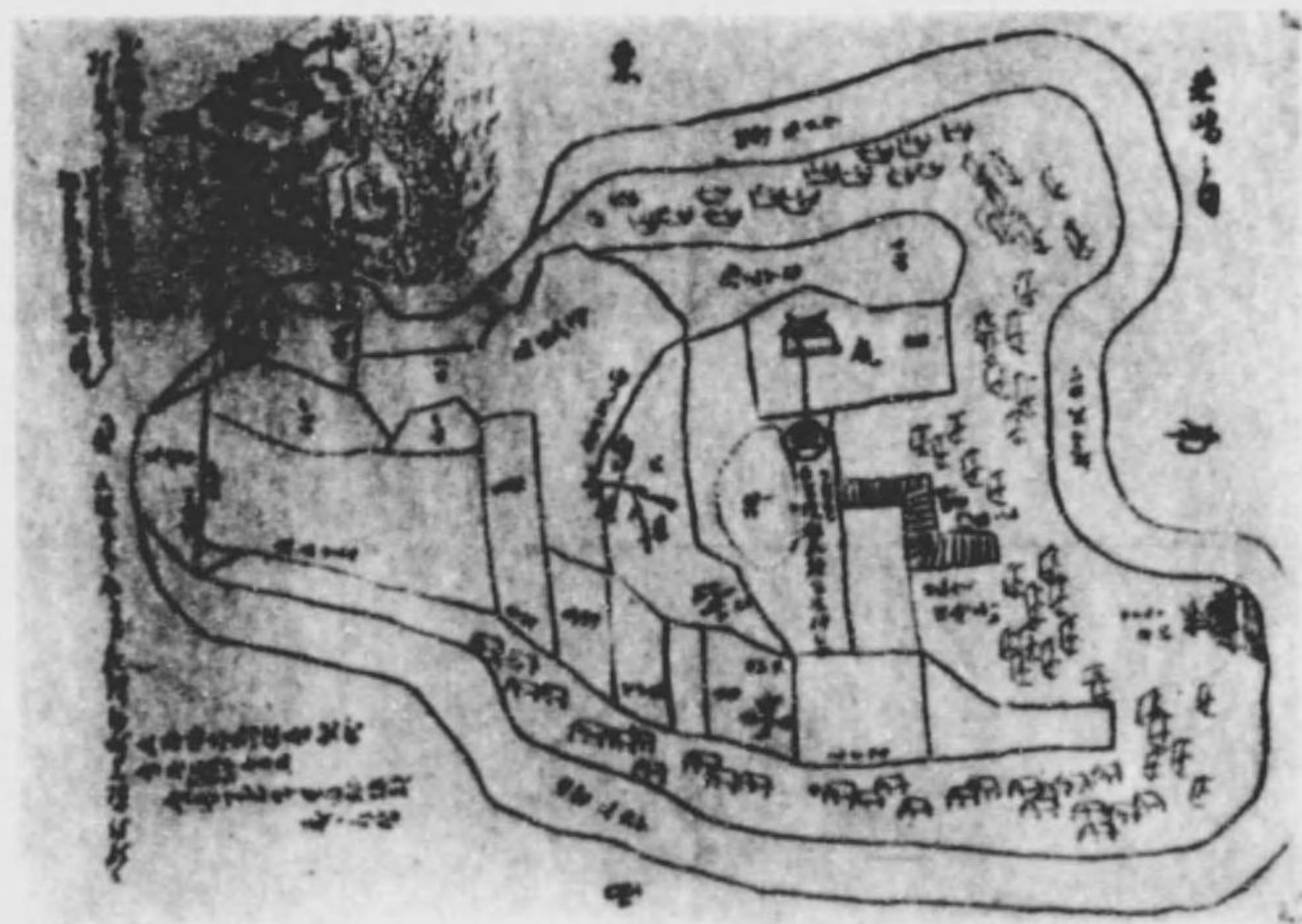
(2)



(3)



(4)



村上水軍

(1) 村上水軍城塞一覽圖 (複本)

(原圖 松山市 景浦直孝氏藏)

瀬戸内海ノ海上權ヲ掌握シテ威ヲ振ヒタル村上水軍 (戰國時代以後徳幕時代迄)ノ根據地ヲ示セル地圖ニシテ元松山市軍學家野澤象水氏文庫中ニアリシモノナリ

(2) 能島城古圖 (複本) (原圖 松山市 伊豫史談會藏)

能島ハ伊豫大島ト伯方島トノ中間ニアル小島ナルモ往時村上水軍ノ最も樞要ナル根據地ニシテ所謂三島 (能島、來島

因島)ノ一ナリ

左ハ能島ヲ遠望セル寫眞ナリ

(3) 能島逆茂木斷片

伊豫 菅菊太郎氏寄贈

此能島ノ周圍ニ敵船ヲ防グ爲ニ設ケタル逆茂木ノ斷片ナリ

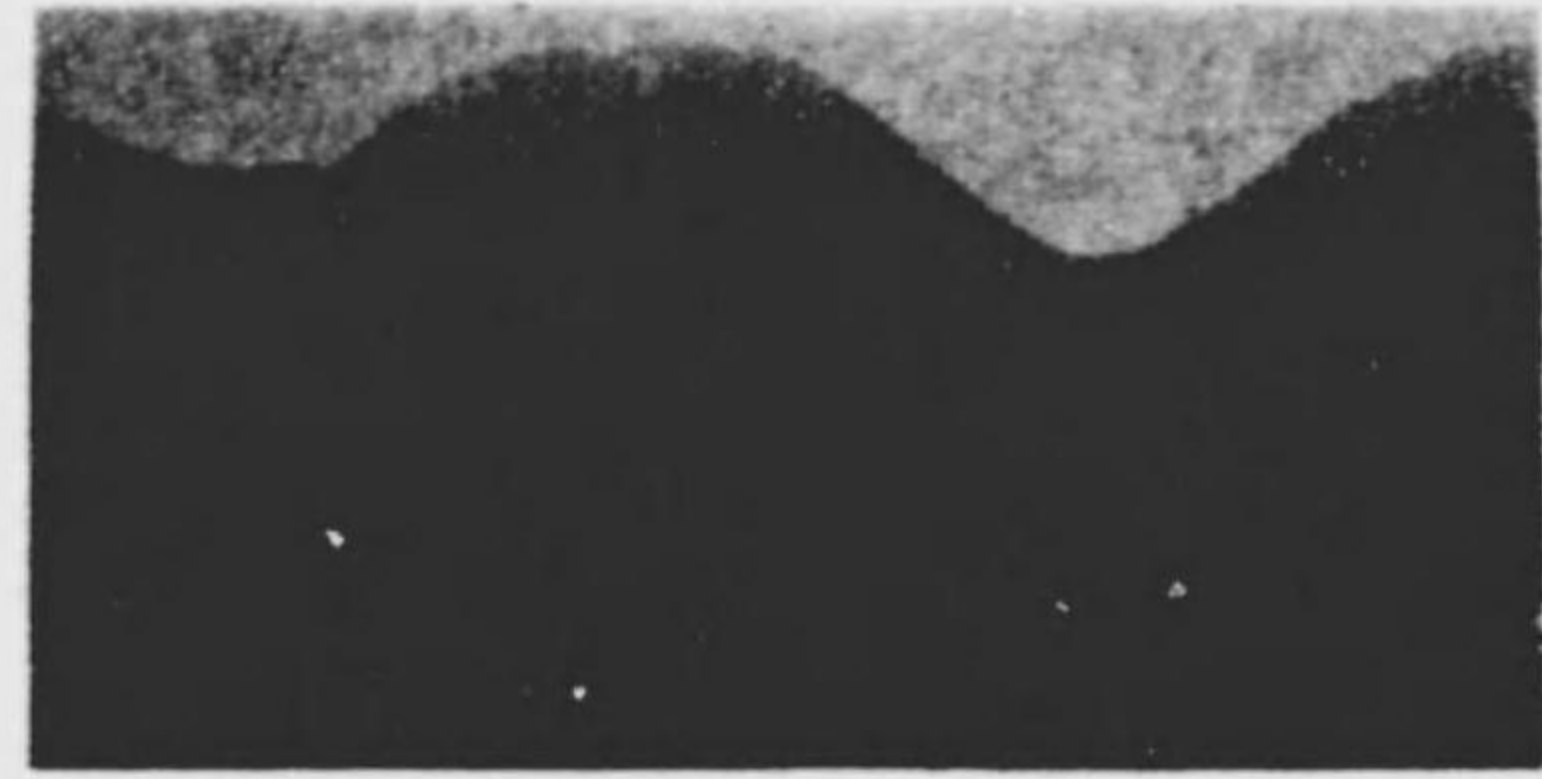
(4) 來島城古圖 (複本) (原圖 伊豫 菅菊太郎氏藏)

伊豫波止濱ノ沖合ニアル小島ニシテ能島因ノ島ト共ニ村上水軍ノ一重要根據地タリシ島ナリ 潮流極メテ急ニシテ瀬戸内海ヲ扼スル上ニ最も重要ナル地點ナリ

左ハ來島ノ位置ヲ示ス



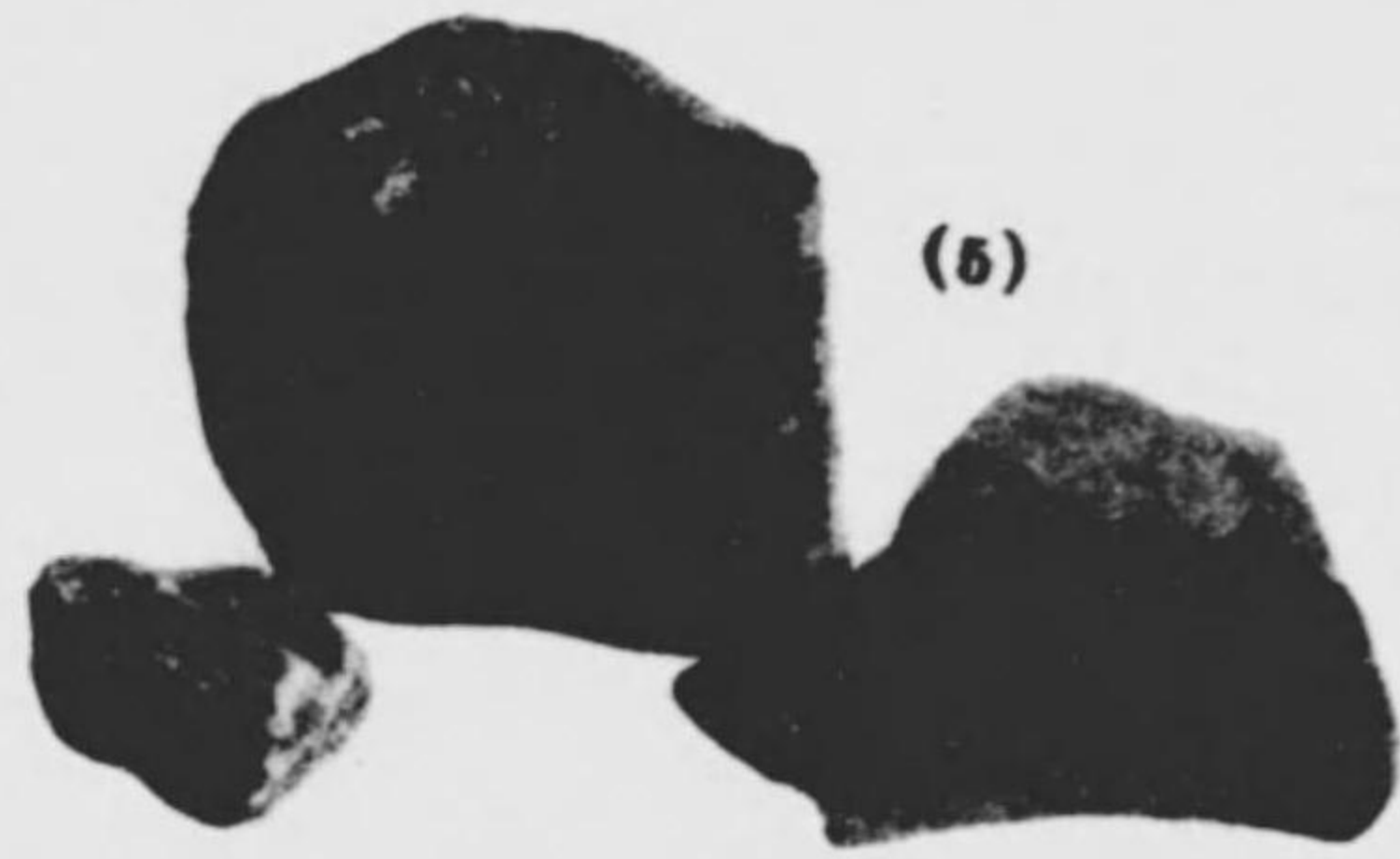
(2)



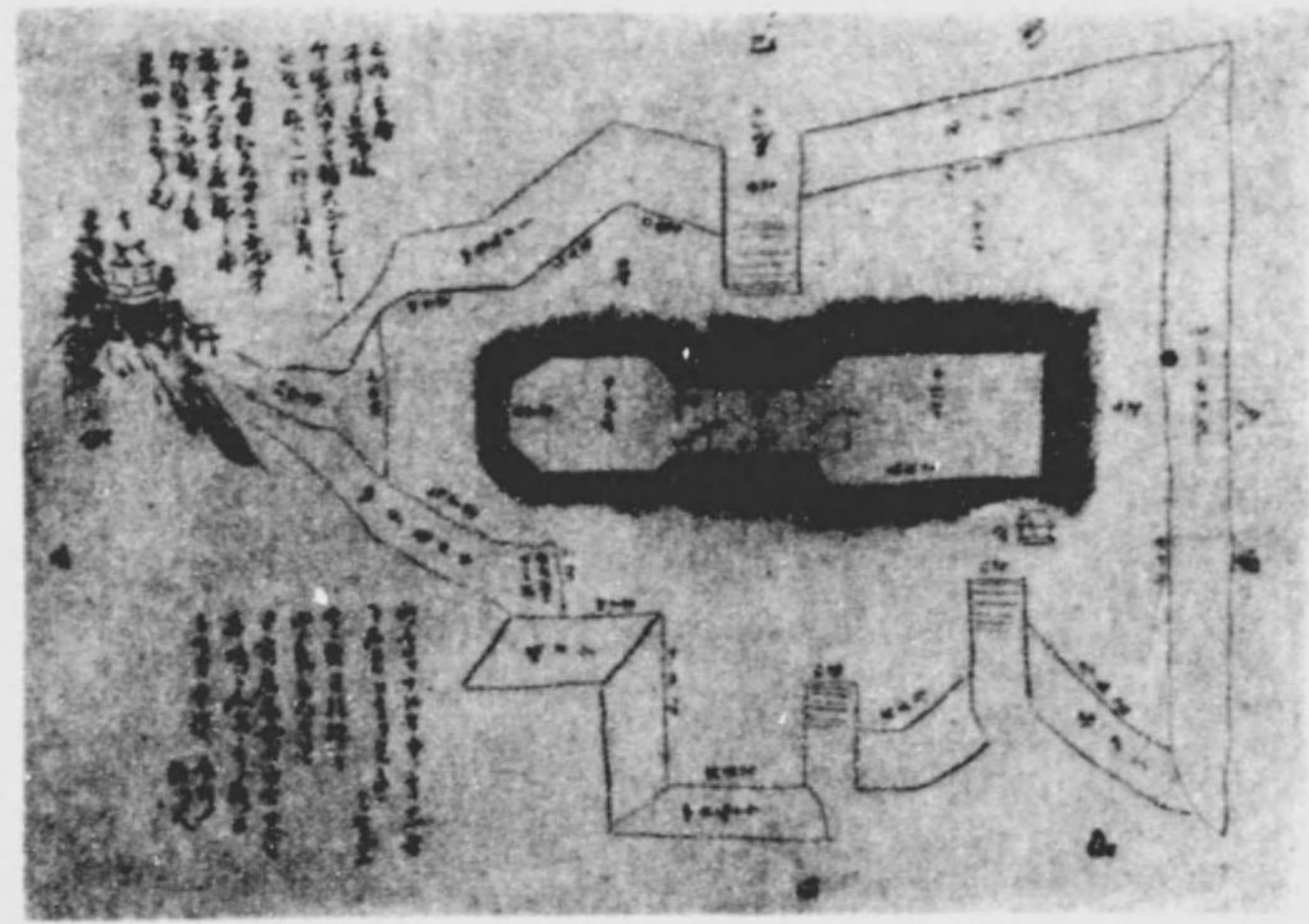
(1)



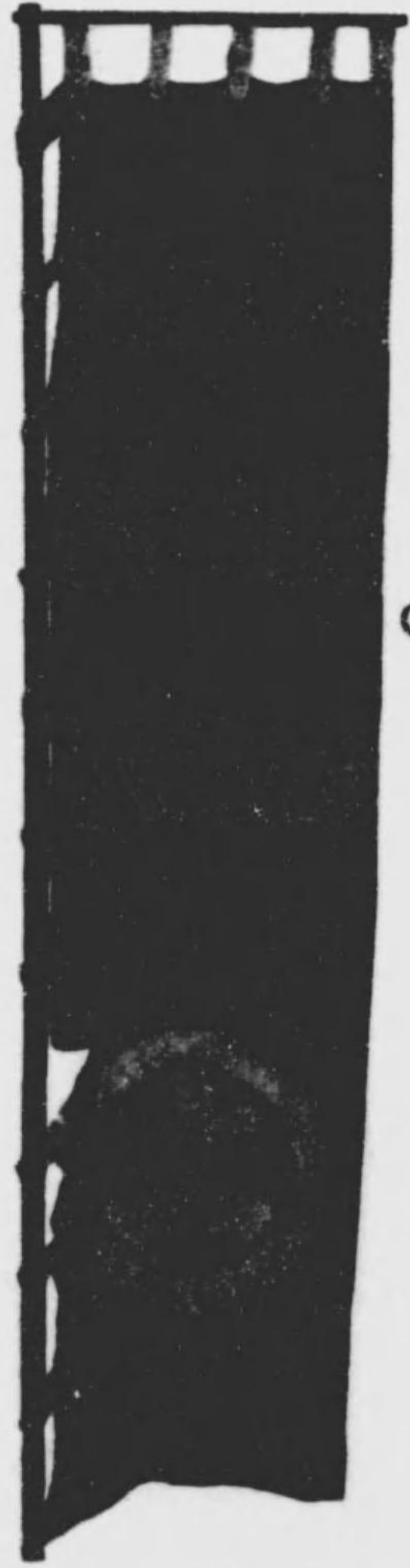
(3)



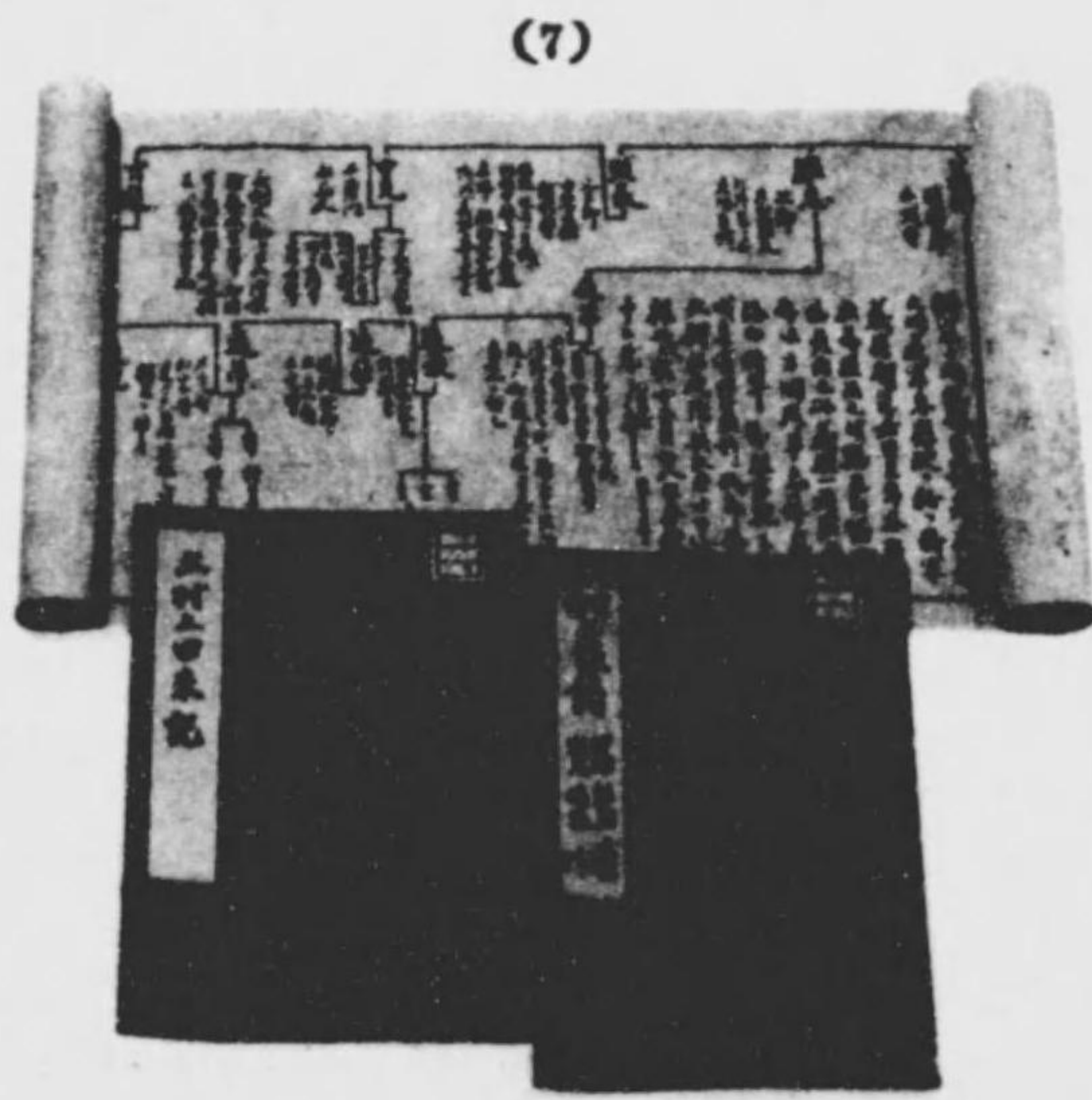
(6)



(4)



(6)



(7)

村上水軍 (續)

(1) 因島城址ヲ望ム

因ノ島中庄村ノ青影山ハ村上義弘(元弘ノ頃土居・得能等ト義兵ヲ起シ北條軍ノ水軍ヲ破ル)ヲ初メ村上ニ一族ノ根據地タル所ニシテ瀬戸内海ヲ一望ノ下ニ下瞰スルコトヲ得ル檢要ノ地ナリキ

(2) 因島城主村上吉允肖像

(原本 村上昌輔氏藏)

青影城ニ威ヲ振ヒタル村上新藏人吉允(天文頃ノ人)ノ肖像ニシテ其ノ後裔タル山口縣長府町村上昌輔氏之レヲ藏ス家紋ハ㊦ナルモ下圖ノ旗印ノモノト多少相違アルハ注目スベシ之ハ因島村上ニシテ下ハ能島村上ノ家紋ナリト考ヘ

(3) 村上義弘使用ノ鐵

村上水軍家ノ祖ト稱セラル、村上義弘ノ使用セシト稱スル鐵ナリ

(4) 甘崎城址圖

甘崎城ハ大三島ノ東海岸ニ沿ヘル一小島ニシテ往時村上水軍ノ一根據地ナリキ

(5) 甘崎城址發掘ノ瓦

此瓦ハ大正十五年本館員ノ發掘セシモノナリ

(6) 軍 船 旗

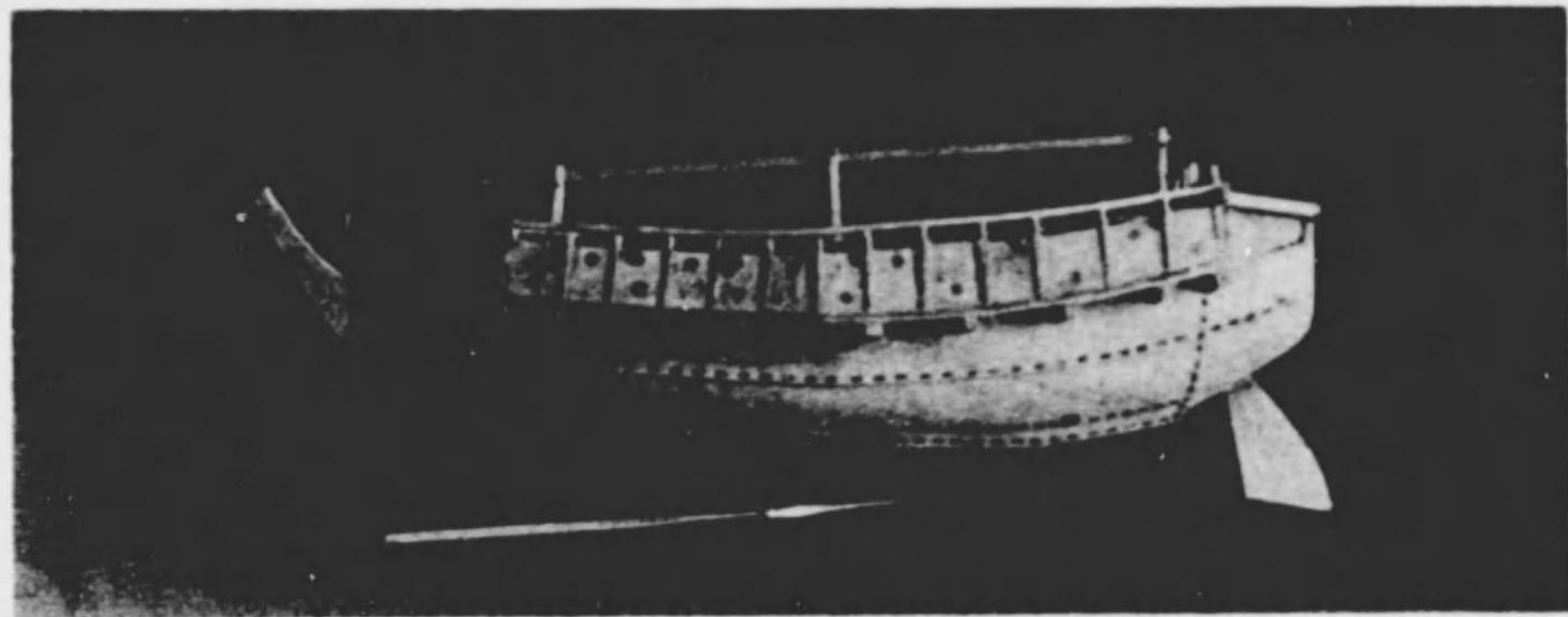
村上水軍ガ軍船ニ押シ立テタルモノニシテ能島村上ノ一後裔ナル山口縣長大島郡和田村村上保一郎氏ノ舊藏ニカ、ル

(7) 村上家系ニ關スル文書

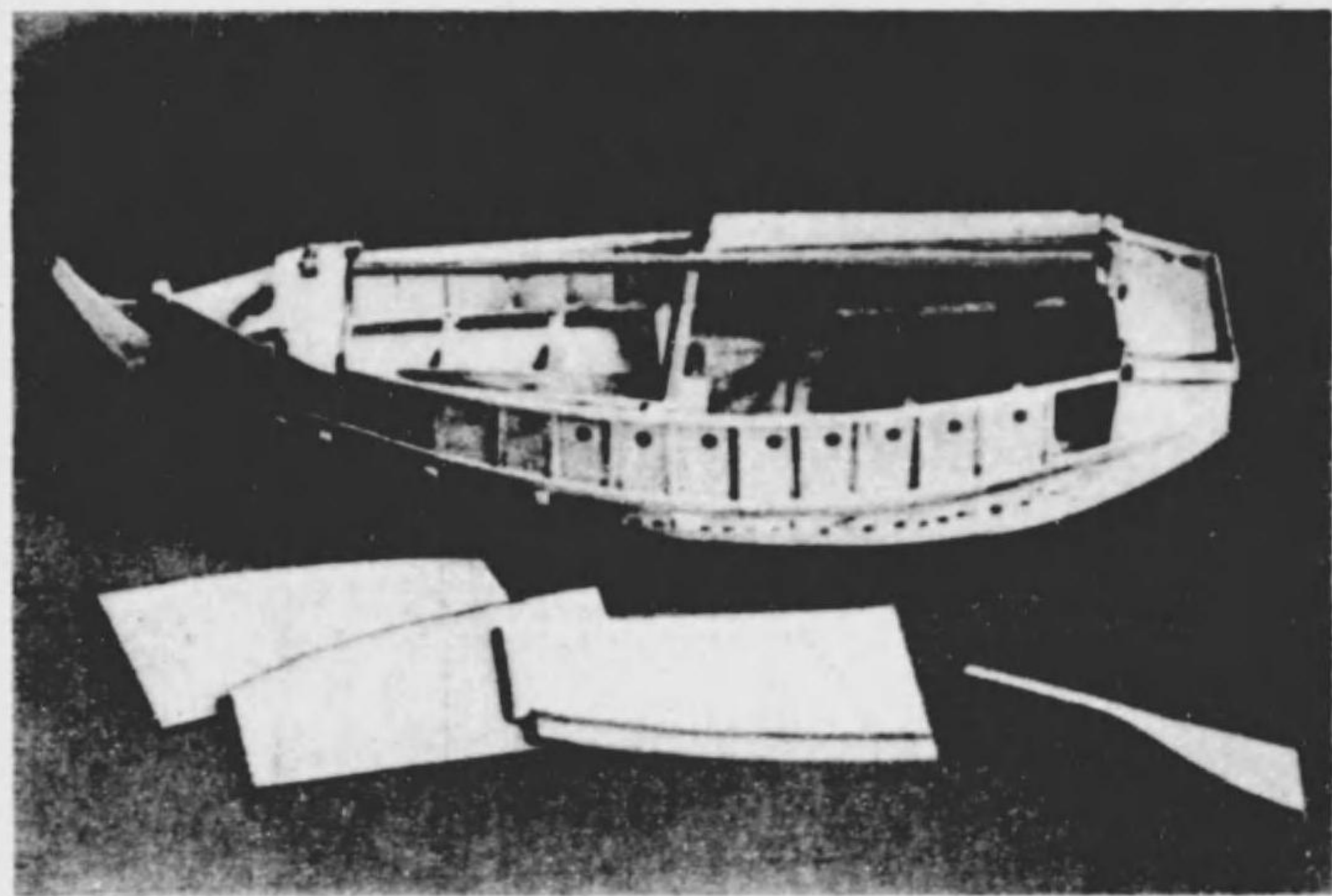
村上保一郎氏寄贈

ラル

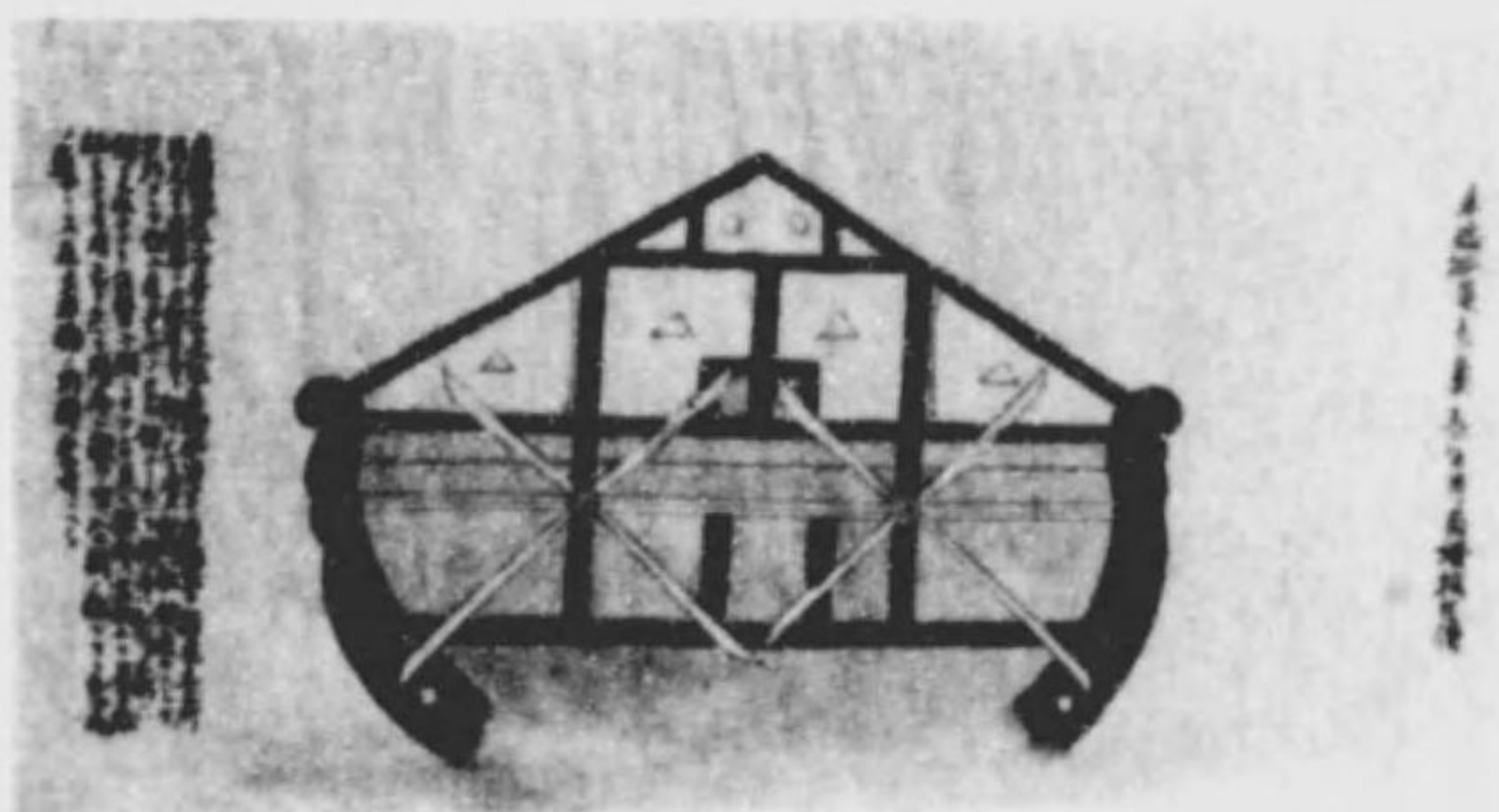
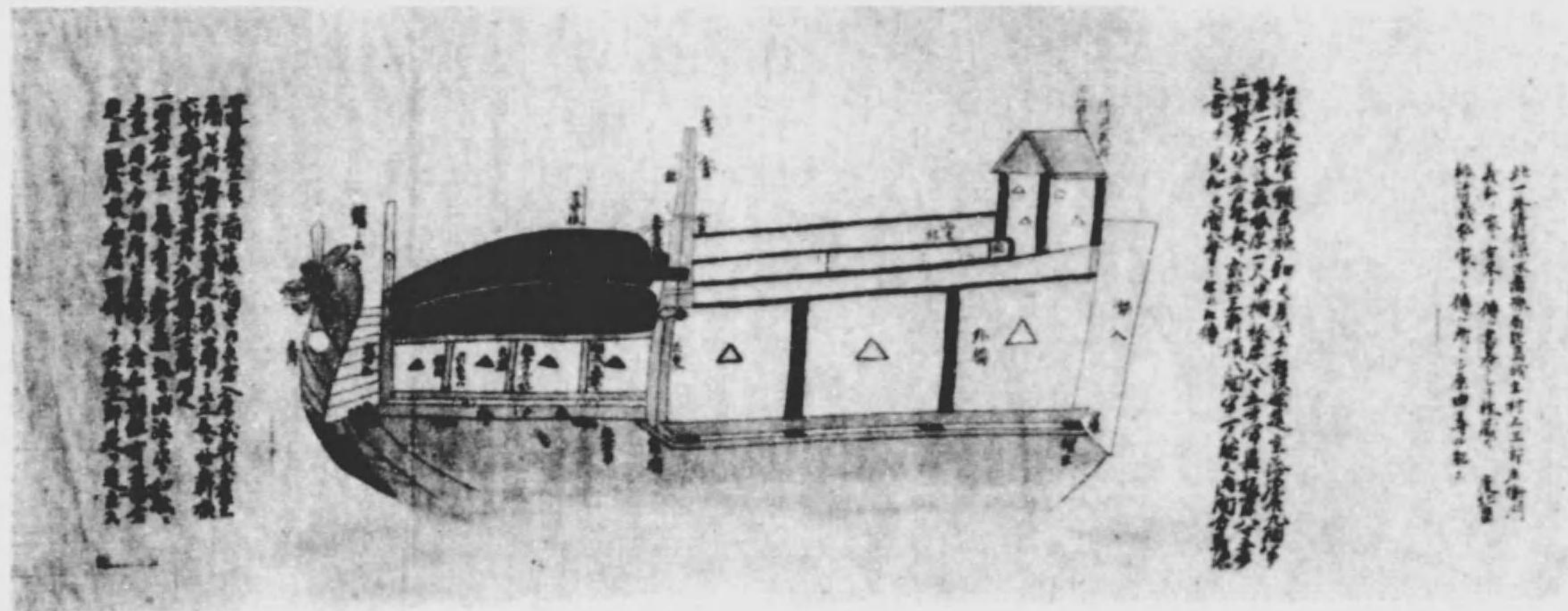
淺井浦太氏寄贈



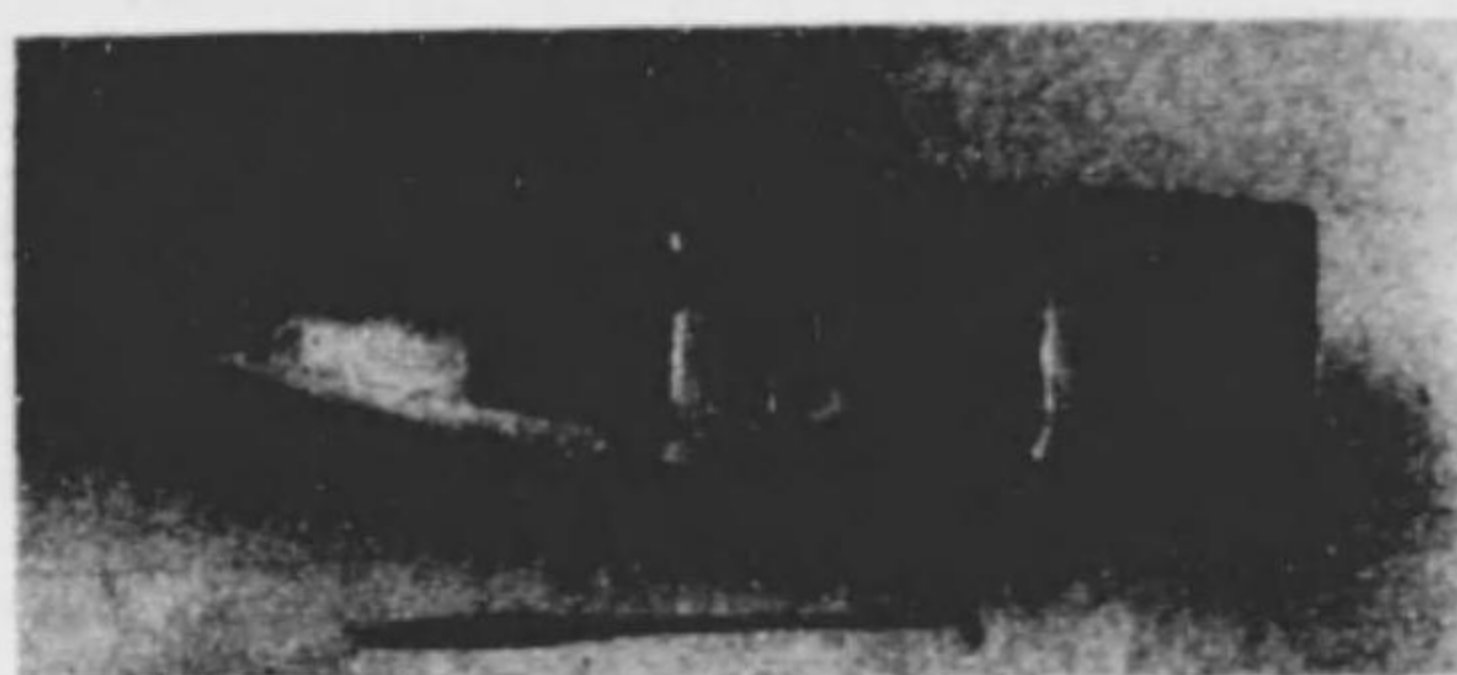
(1)



(3)



(2)



(4)



(5)



村上水軍船模型並ニ車輪船圖

(1) 軍船模型二個 (原型 愛媛縣 村上彌太郎氏藏)

村上水軍ニテ使用シタル軍船ノ精密ナル模型ナリ 原型所藏者ハ能島村上ノ後裔ナリト稱セララル

(2) 潜航的構想ヲ表ハセル軍船模型 (同)

之ハ船底ニ四個ノ穴ヲ穿テ之レヨリ海水ヲ浸入セシメ可及的船體ヲ海中ニ隠蔽シテ敵艦ニ近ヅキ奇襲ヲ行フタメ
ノモノナルベク其ノ着想ハ全ク潜水艦ノ原始的構想ナリト考ヘラル 各穿穴ニハ艀脚ヲ附シコレニ艀ヲ嵌挿シ前
後左右何レノ方向ニモ動キ得ルガ如ク工夫セリ 右圖ハ側面ヨリ左圖ハ上ヨリ見タルトコロナリ

(3) 和漢流軍船圖

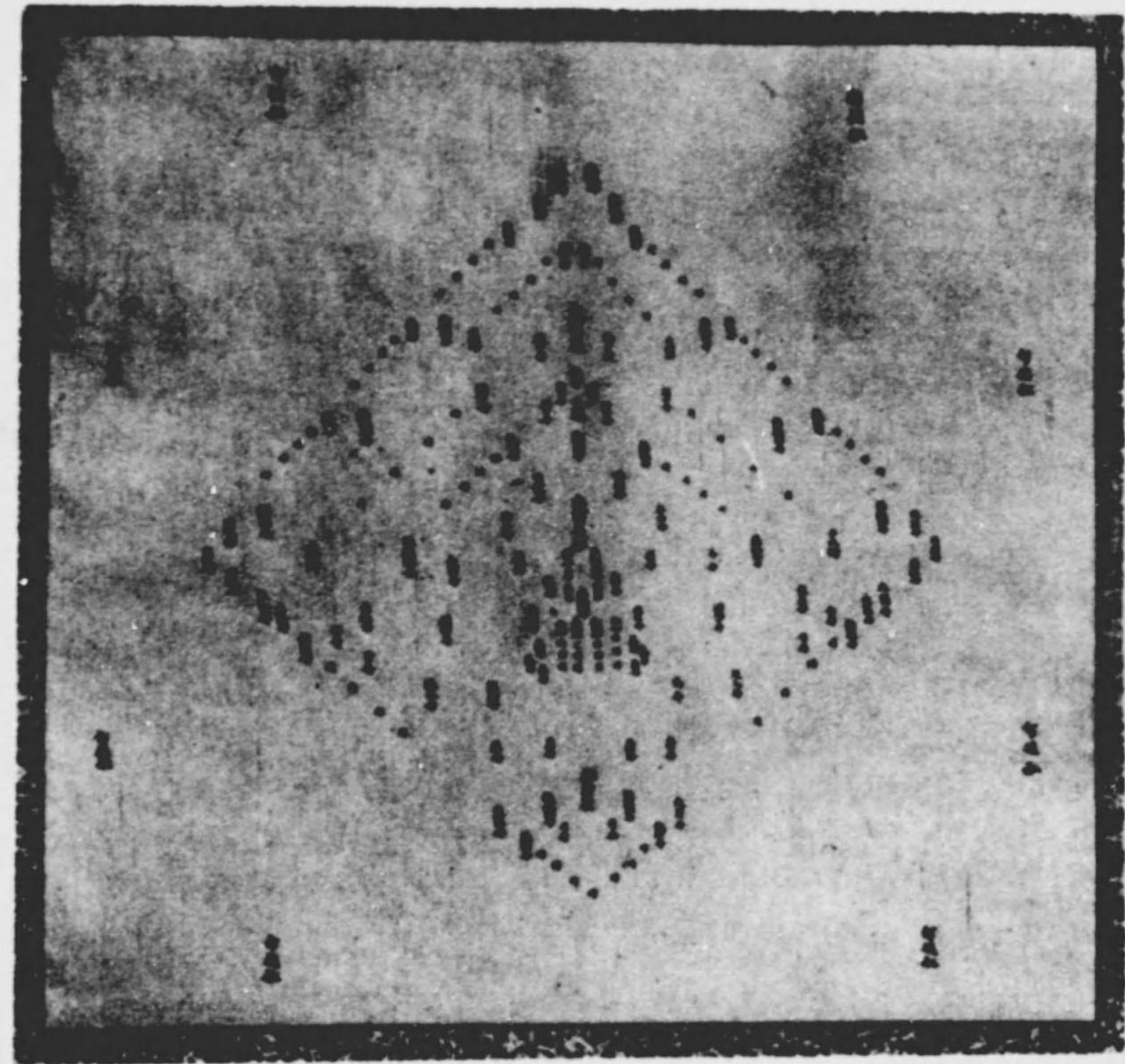
此圖モ元ハ能島村上ニ傳ハリキタルモノニシテ元來ハ唐船ナルモ之ニ和船ノ所傳ヲ加味シテ考案シタルモノナル
ヲ以テ和漢流ト云フ

(4) 海賊流車輪船圖 (複本) (原圖 山口縣 毛利男爵家藏)

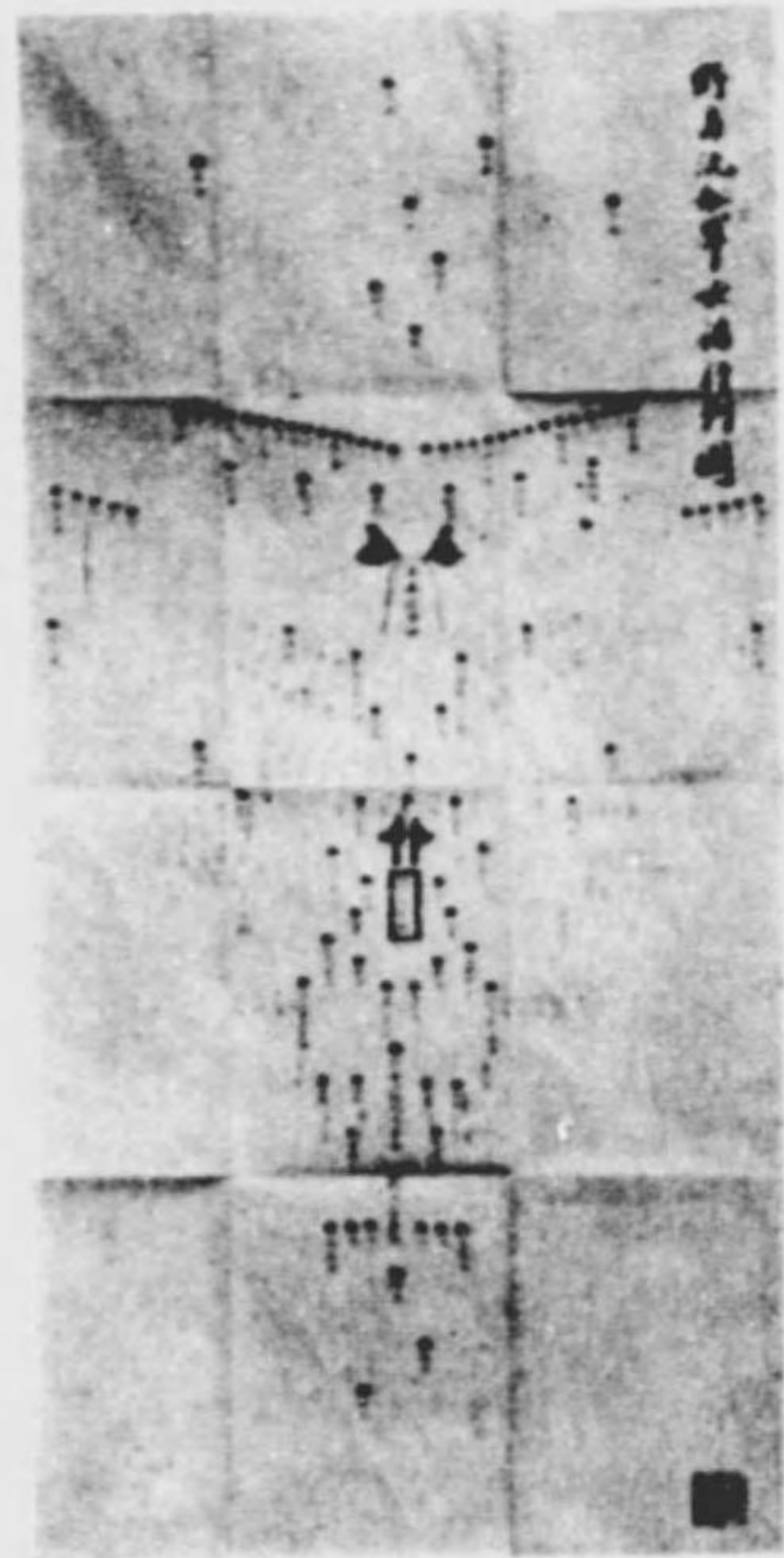
朝鮮交那等ヲ寇略セシ倭寇ノ内ニテ最モ勢力アリシモノハ瀬戸内海ノ海賊ニシテ就中伊豫ノ海上ニ蟠居セシ村上
水軍ハ最モ組織的ナリキ 本圖ハ能島村上家ニ傳ハリタル海賊船構造圖ニシテ「スタクリユ」ヲ仕掛ケタルトコロ
ハ極メテ珍シキ考案ナリ 時代ハ不明ナルモ恐ラク戰國時代ノモノナランカ 何レニシテモ數百年以前ニ我國ニ
於テ既ニ「スタクリユ」型ノ船ヲ考案セシトコロハ我邦人ノ獨創的才能ヲ語ルモノトシテ偉トスルニ足ル

(5) 海賊流文書

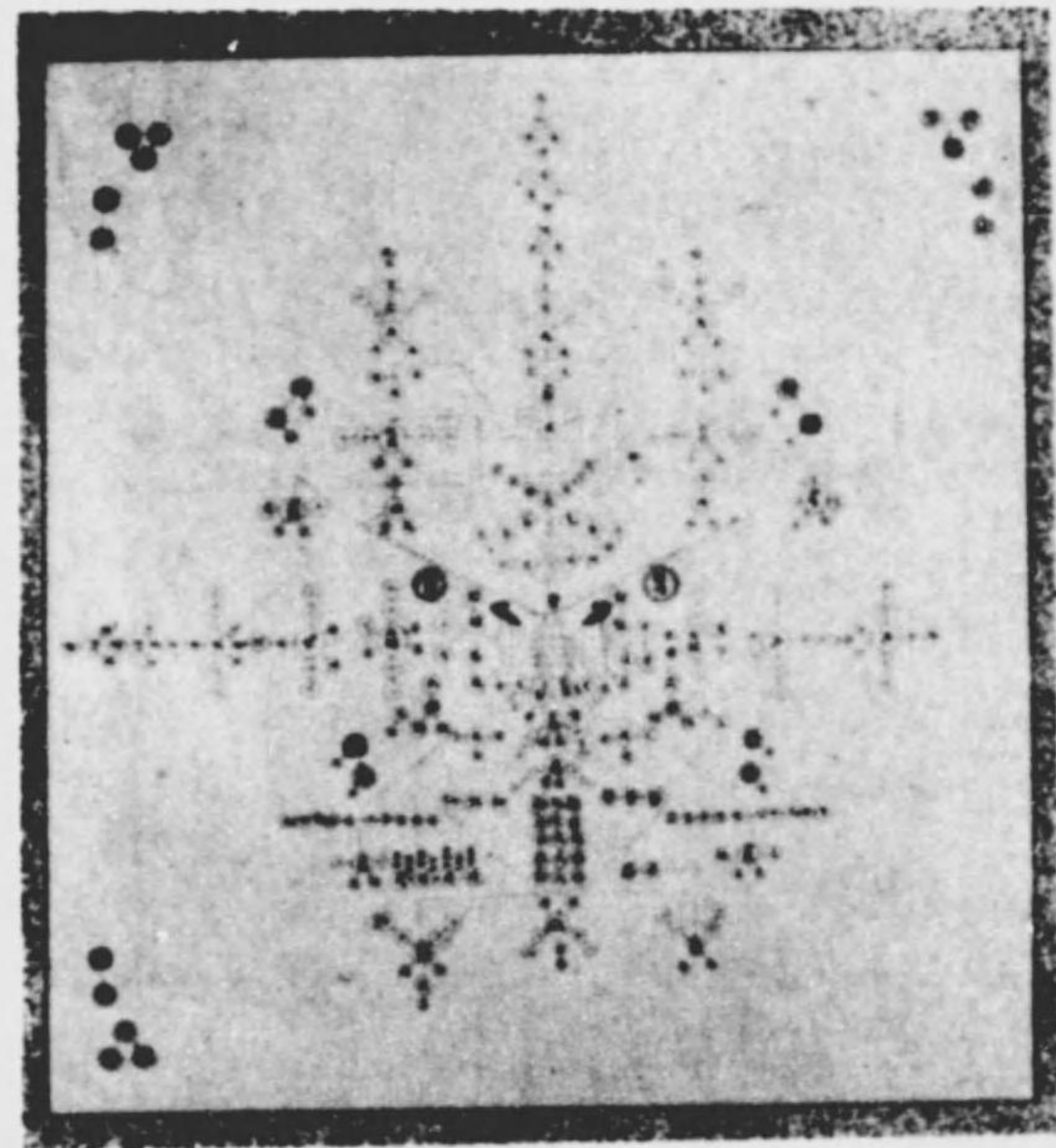
村上水軍ハ往々海賊流トモ呼バル、コトアリ 但シ茲ニ云フ海賊ハ必ズシモ「バイレト」ノ意ニハアラズ舟師ニ
對スル稱呼ト考フベキモノナリ



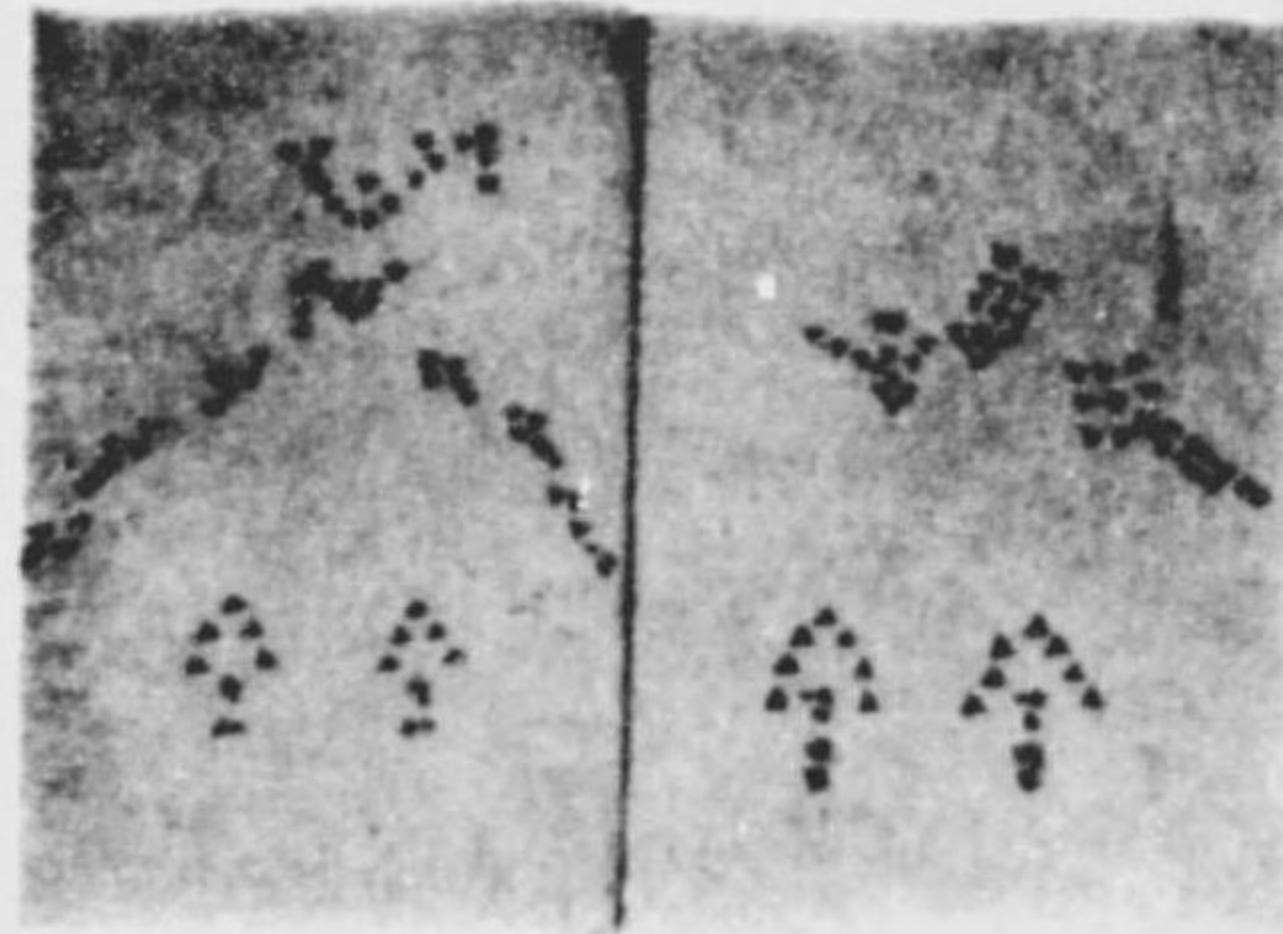
(1)



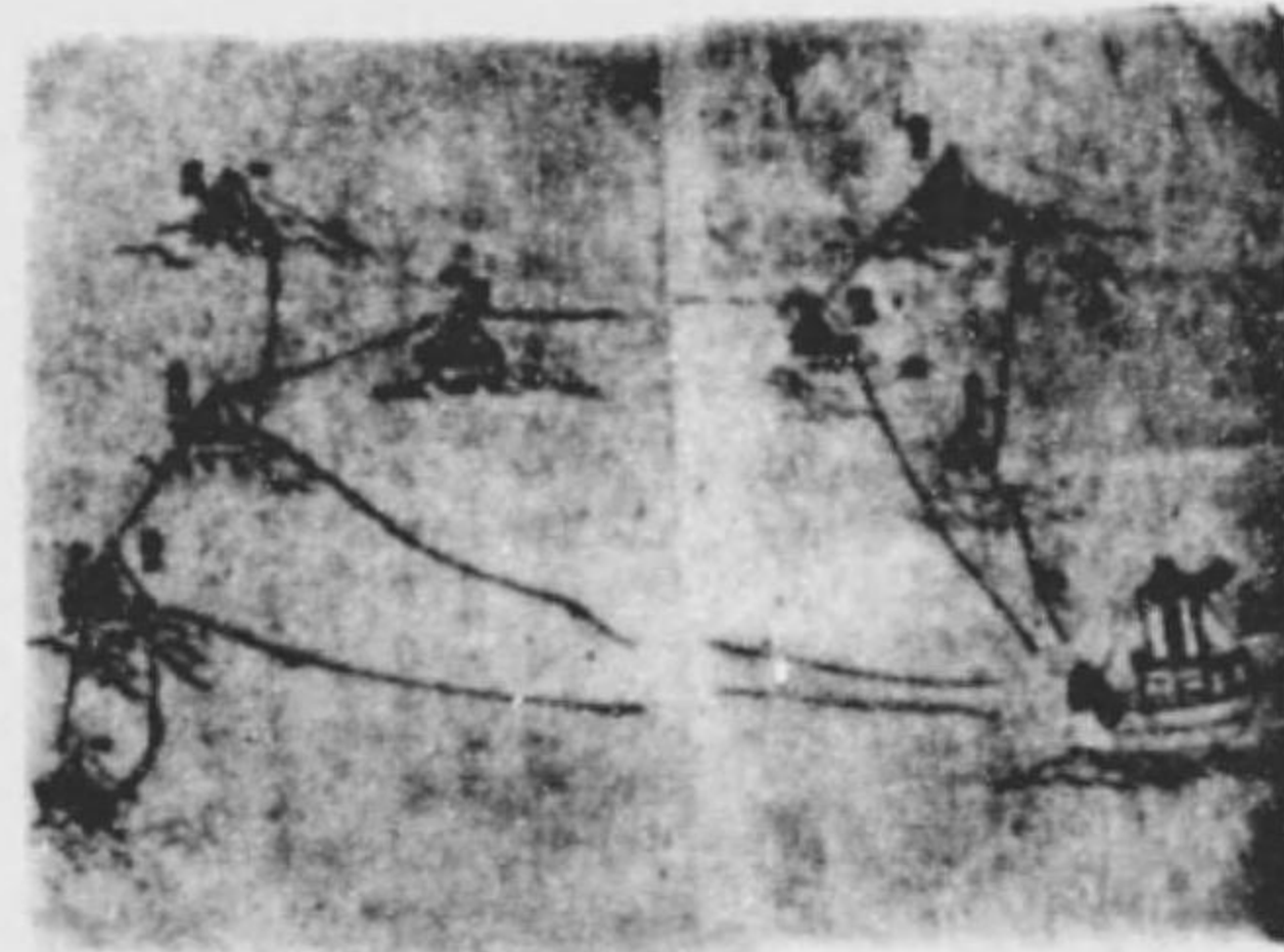
(3)



(2)



(5)



(4)

野島流水軍

(1) 能島流軍船隊配置圖 (原本 淺井浦太氏藏)

村上水軍家ニ傳ハリタル圖ニシテ「リング・フオー・メーション」ニ類似スル所興趣深シ

(2) 野島流船軍十字字大備之圖

田所完造氏寄贈

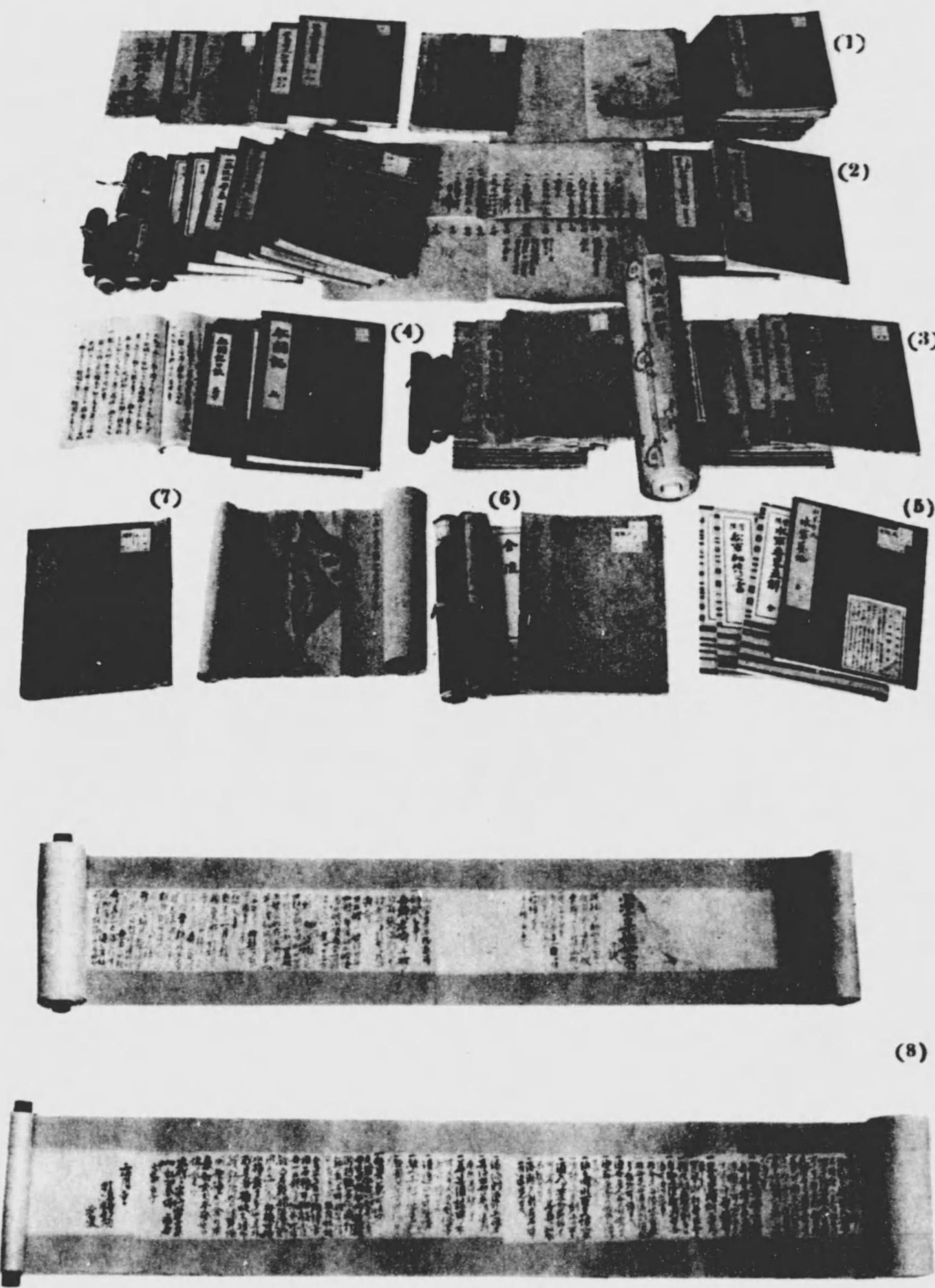
(3) 野島流船軍大備行列圖 (原本 有馬成甫大佐藏)

(4) 野島流水軍別傳火攻戰之卷

中村烏堂氏寄贈

(5) 野島流水塞圖說

河野春二氏寄贈



水軍諸流書籍

我國ニ於ケル水軍ハ其源ハ遠ク王朝ノ昔ニ遡ルモノナリ 然レドモ所謂海賊流トシテ水軍ガ組織的ニ發達スルニ到リタルハ村上義弘ガ出テヨリ後ノ事ニシテ恰モ南北朝對立ノ頃ニ當ルモノト思ハル

此内瀬戸内ニ發達シタル水軍ハ足利時代ノ末期、豊臣徳川時代ニ及ビ種々ノ流派ヲモ生ジ又軍學トシテノ形體ヲ成スニ到レリ

(1) 三島流

三島トハ能島、來島、因島ノ三島ヲ謂ヒ此三島ニ發達シタル村上三家ノ水軍流ヲ總稱シテ三島流ト謂ヘルモノナリ 村上家ハ元來伊豫國河野家ノ部將ニシテ村上義弘ニ及ビ其勢力大ニ振ヒ伊豫、安藝、備後ニ跨ツテ瀬戸内ノ海上權力ヲ掌握シタルモノナリ

(2) 一品流

永祿十一年村上掃部頭武慶、因島新藏人吉充、村上河内守景繼ノ三人ハ毛利元就ノ命ヲ受ケ傳家ノ海賊古法ヲ撰ビテ一編トシテ献上シタルモノナルガ元就之ヲ見テ嘆稱措カズ遂ニ毛利家ノ秘書トナル 而シテ元就ハ平城天皇ノ皇子一品阿保親王ニ出デタルヲ以テ之ヲ一品流ト稱セリト云フ

(3) 野島流

豫州野島久留島ヨリ代々相傳ハリタル流派ナリ 能島村上ハ師清ヨリ義顯、雅房、隆勝、義益、武吉、元吉ヲ經テ元武ニ至ル 武吉ハ毛利、陶兩家ノ海戰ニ際シ毛利ニ味方シ

タルニヨリ有名ナリ 又元吉ハ小早川隆景ニ從ヒテ終始シ元武ハ毛利家ニ仕ヘテ所謂兩村上ノ一トシテ船手組頭トナリ代々同家船手ノ中堅タリキ

(4) 九鬼流

九鬼嘉隆ノ案出セルモノニシテ其姓ヲ取リテ流名トナセリ 嘉隆ハ元來水軍ニ長ジ志摩ノ海賊ヲ率キ信長ニ從ヒ後秀吉ニ屬シ朝鮮征伐ノ時ニハ水軍ノ將トシテ戰功アリ

(5) 菅流

豊臣秀吉ノ船奉行菅平右衛門道長ノ流派ナリ 道長ハ一族累代淡路ニ住シタルガ後ニ紀伊ニ移リ朝鮮ノ役ニハ船奉行トナレリ 此流派ヲ菅流ト稱シタルハ道長ノ姓ヲ取リタルモノナリ

(6) 全流

全流ハ徳川ノ初葉正保前後ノ頃案出セラレタルモノニシテ當時傳ハレル各派水軍ノ長短ヲ取捨補足シ比較的完備シタルモノアリ 其全流ト稱シタルハ己レヲ全ウスルノ意ナリト云フ

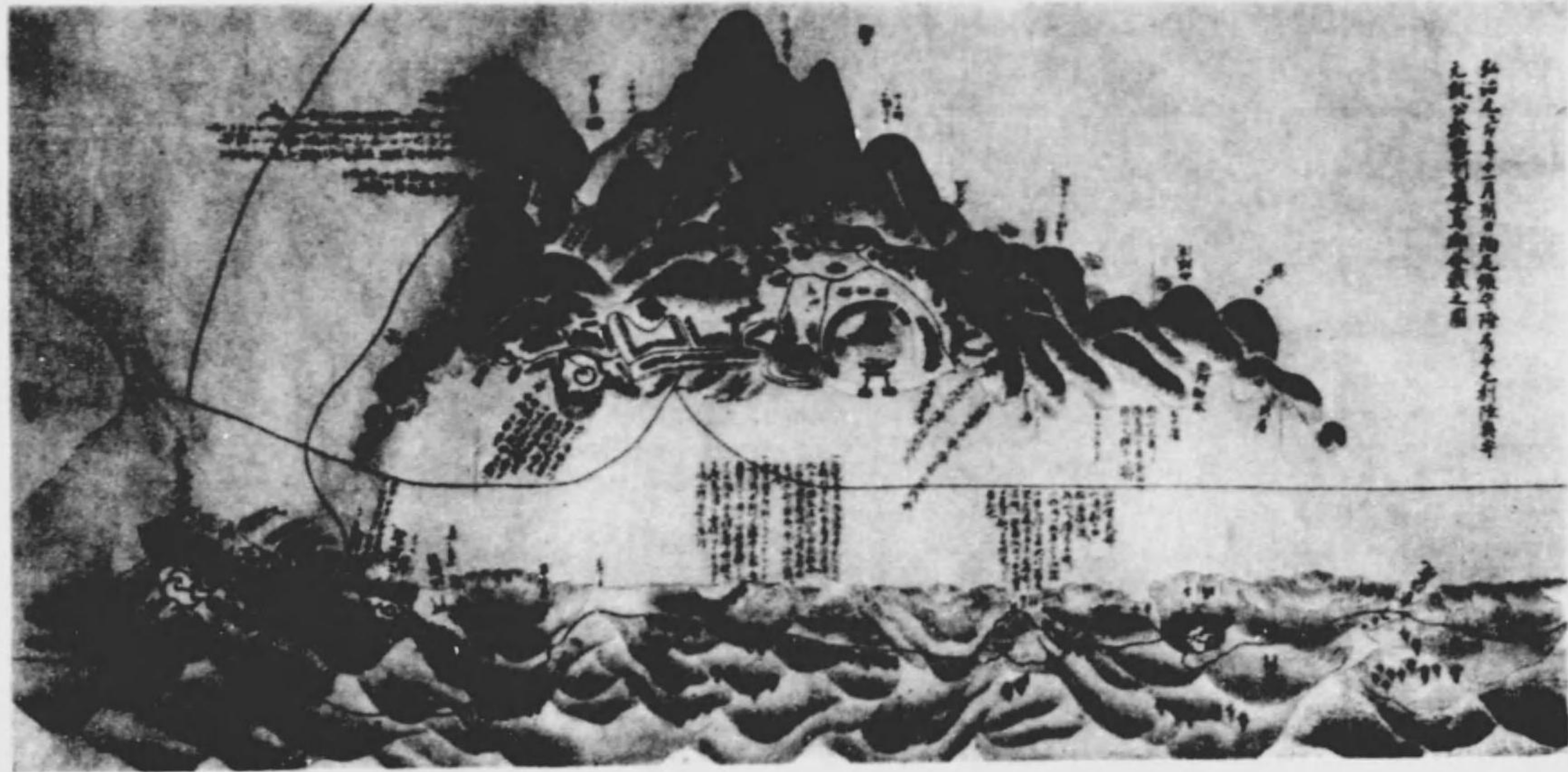
(7) 船戰摘要

山井、北條、遠山、山鹿等ノ諸兵家ノ船戰ニ關スル記録ヲ撰書セルモノナリ

(8) 水軍秘傳書

野澤文庫所屬ノ水軍書ニシテ水學集其他ノ口傳秘事等ヲ雜記セシモノナリ

(1)



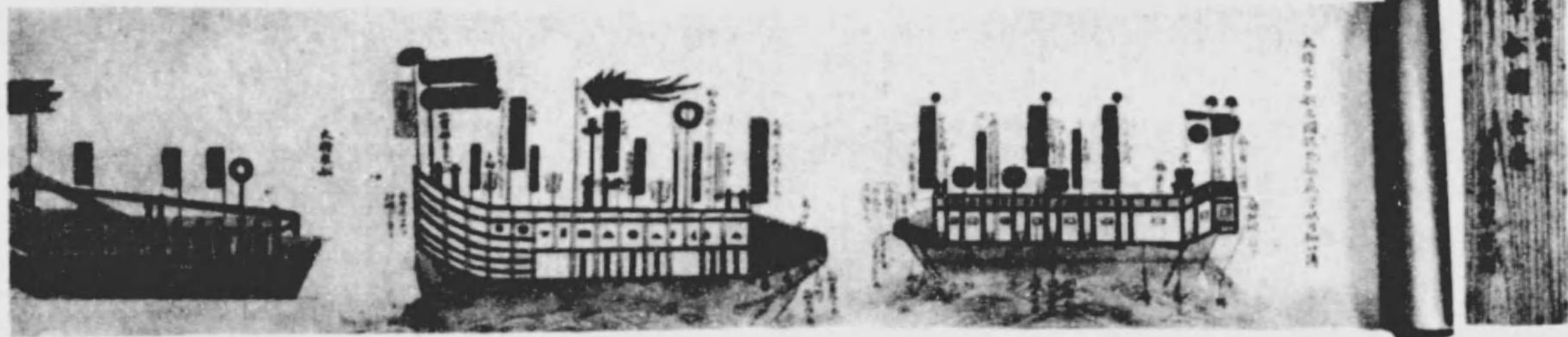
(4)



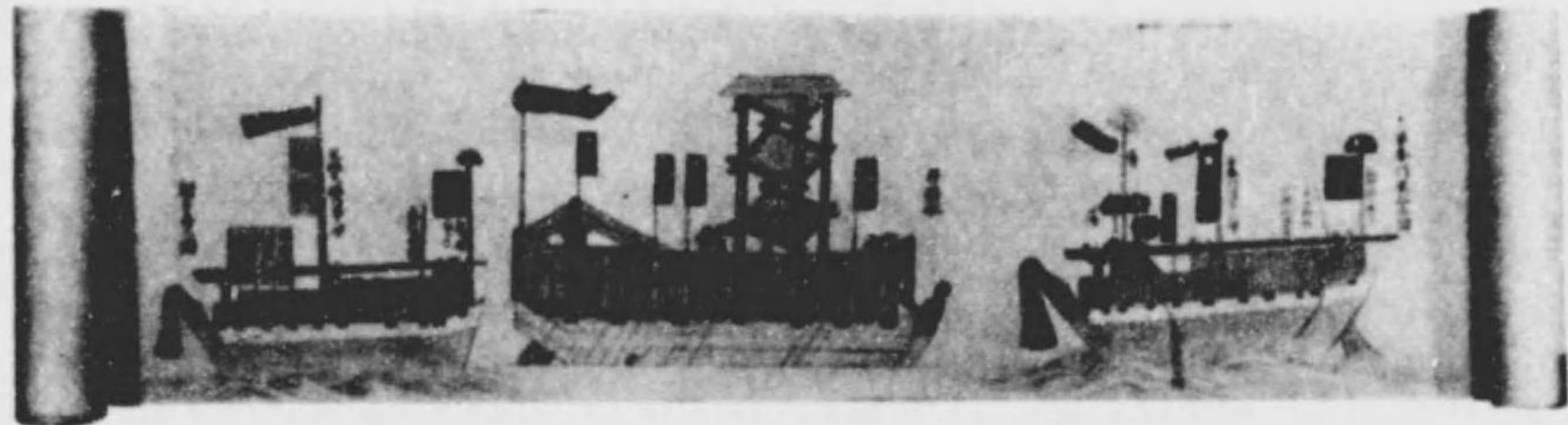
(3)



(2)



(6)



厳島戦並ニ毛利家軍船圖卷

(1) 厳島合戦圖 (複本) (原本 山口縣 毛利男爵家蔵)

天文二十年陶晴賢其ノ主大内義隆ヲ殺スルヤ毛利元就ハ義隆ノ遺命ヲ受ケテ晴賢ノ軍ト嚴島ニ戦フ 元就鼓浦ニ上陸シ敵ノ虚ニ乗ジテ之レヲ衝キタレバ晴賢遂ニ船ニ乗後レテ屠戮セリ 此ノ戦ニ於テ晴賢ハ宇賀島大島等ノ海賊ヲ率キ元就ハ因島來島及仁保島東林坊下ノ兵船ヲ備ヘテ相對シタリ コレ以來村上水軍ハ毛利家ニ屬シ毛利水軍ニ將ヲ以テ任ジ維新當時ニ至ル

(2) 嚴島合戦参考文献 (寫)

萬代記ハ安藝河内衆ガ毛利元清へ上覽ニ供スルタメ記述シタルモノヲ正保元年世良多正純ガ編纂シタル嚴島合戦ノ重要ナル參考書ナリ

(3) 甲冑

天正年間伊賀郷士ガ着用セシモノ

西尾秀彦中佐寄贈

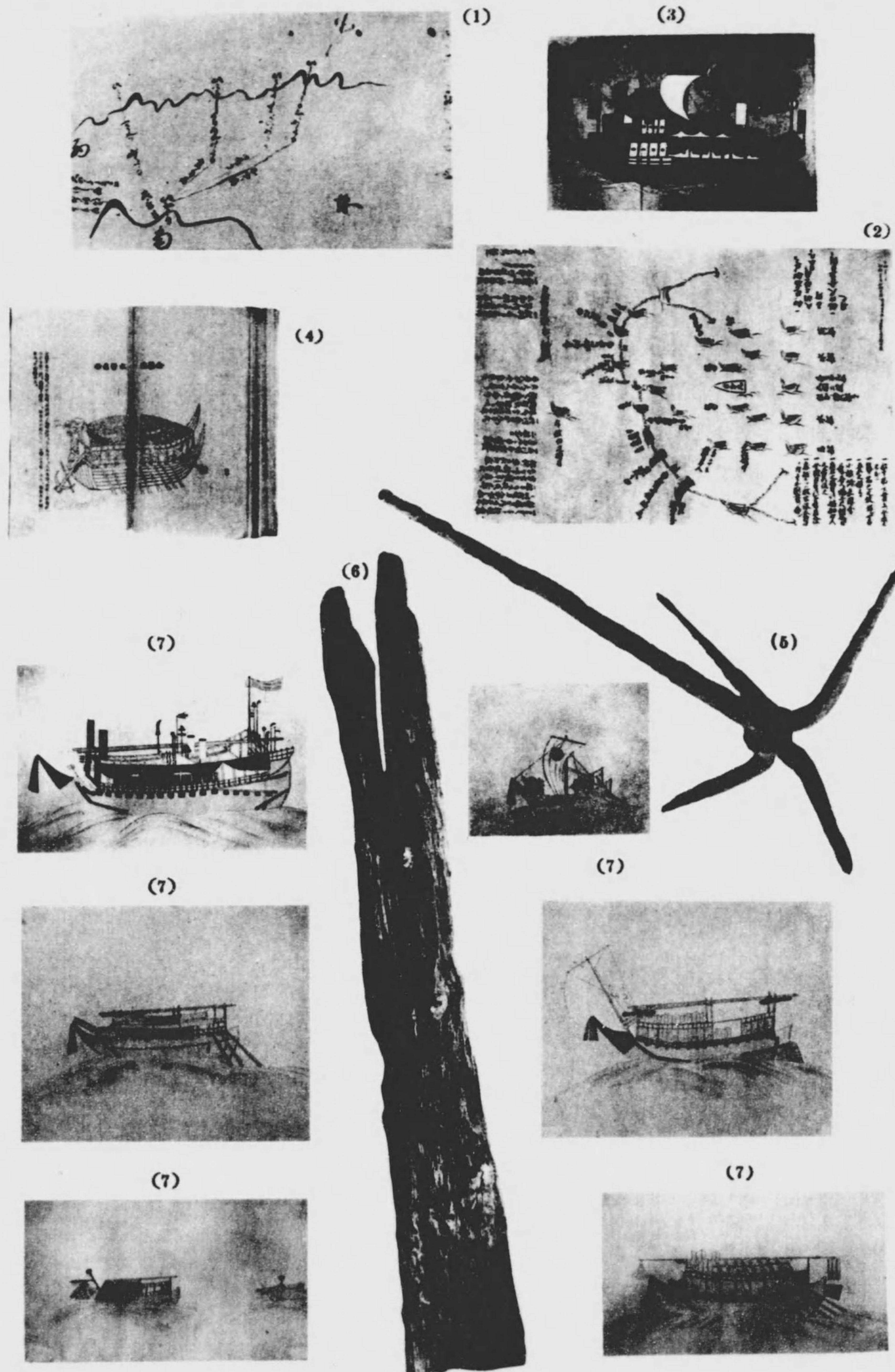
(4) 栗田口吉光銘刀

土井元夫中佐寄贈

(5) 軍船圖卷 (複本)

毛利公爵家寄贈

毛利家臣松井市郎兵衛外三人ノ手ニナリシモノニシテ軍船ノアラユル名稱ヲ指示スルト共ニ其構造並ニ用具ノ末ニ至ルマデ周密ニ之レヲ圖録セリ 信頼スベキ軍船百科全書トモ云フベキモノナリ 未ダ洋船ノ影響ヲ認メズ恐ラク織豊時代ノ軍船ヲ圖シタルモノト考ヘラル 水軍史上稀覯ノ資料ナリ



文祿慶長役

(1) 清正自筆自對島到朝鮮航路圖 (複本)
(原本 尾之道市外 加藤精造氏藏)

(2) 釜山船欄圖 (複本) (原本 九鬼男爵家藏)
文祿役ニ於テ我水軍ガ艦日本丸ヲ中心トシテ船陣ヲ形作
レル光景ヲ圖示タルモノニシテ原本ハ當時參戰セル九鬼
嘉隆ノ後裔男爵九鬼家ニアリ

(3) 日本丸圖 (寫眞)
原圖ハ九鬼家臣野澤氏舊藏現海軍文庫ニアリ 天文十九年
九鬼嘉隆ガ秀吉ノ命ヲ受ケテ造リタルモノニシテ征韓ノ役
ニ我水軍ノ旗艦トシテ從軍セリ

(4) 龜甲船圖 (李忠武公全書所載)
龜船又ハ龜甲船ハ李舜臣ノ發明セシモノニシテ此ノ上ヲ鑊
板ヲ以テ包ム如ク工夫セリ 我水軍ノ破レタルハ大イニコ
ノ船ノ威力ニ憚マサレタルニ由ルト云フ

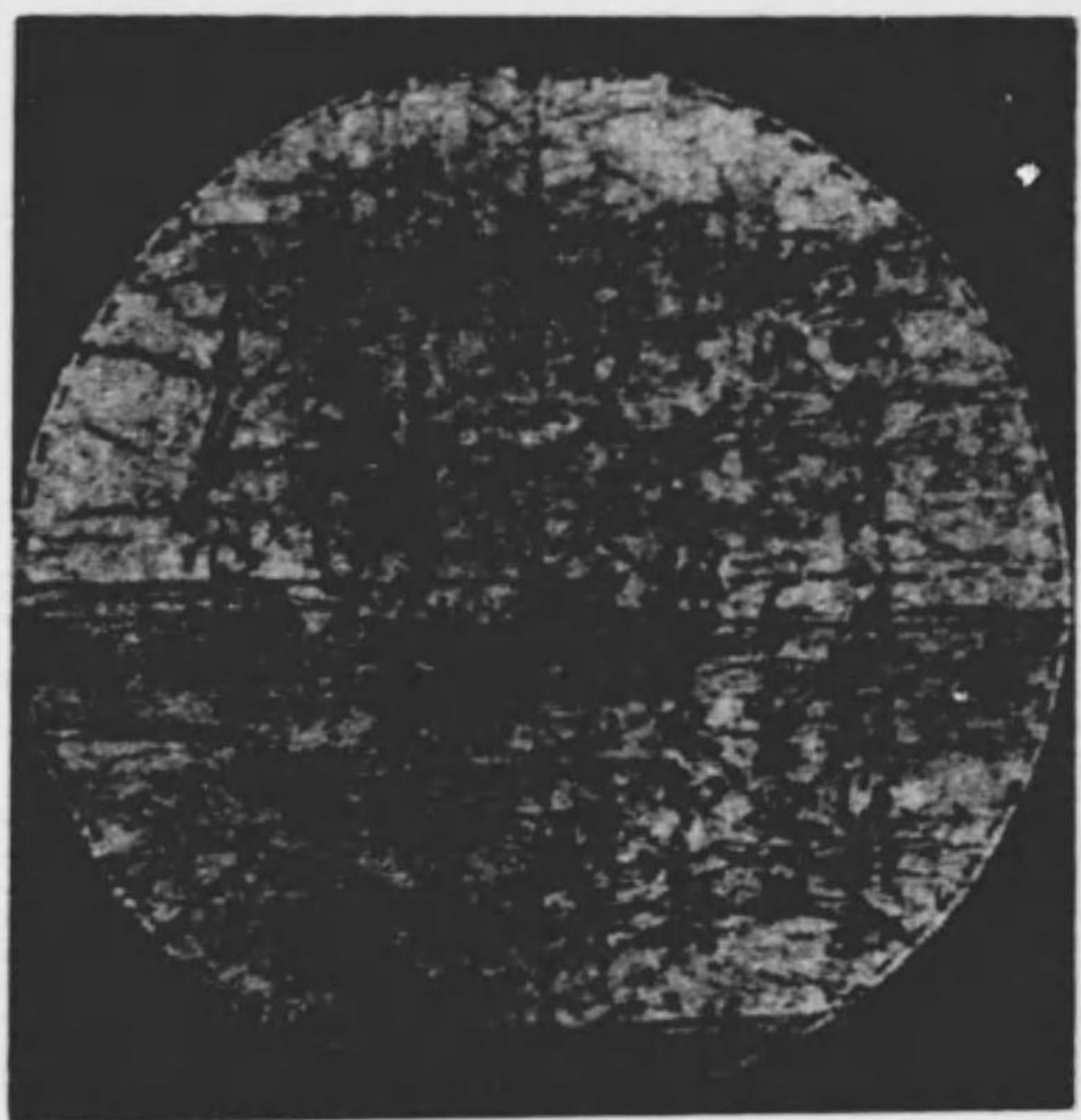
(5) 我水軍使用ノ錨
征韓ノ役ニ我水軍ノ使用シタル錨ニシテ元海軍參事館ニア
水 交 社 寄 贈

リシモノヲ水交社ヨリ寄贈セラレ

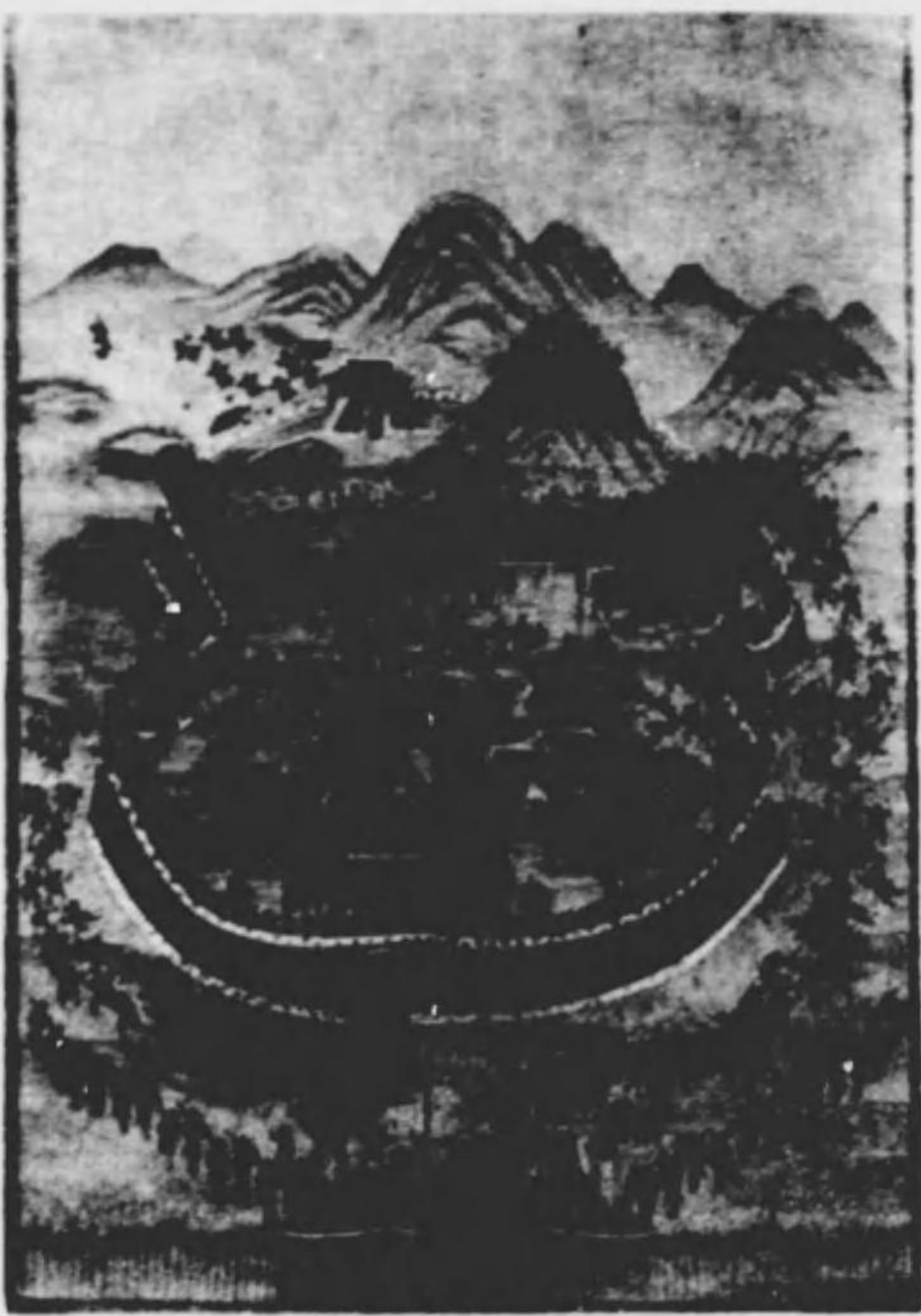
(6) 我水軍使用棧橋遺片 同
朝鮮役ニ我水軍ノ使用セシ上陸棧橋ニシテ元李舜臣廟前ニ
アリシモノナリ

(7) 軍船圖卷 (複本)
(原本 加藤精造氏藏)

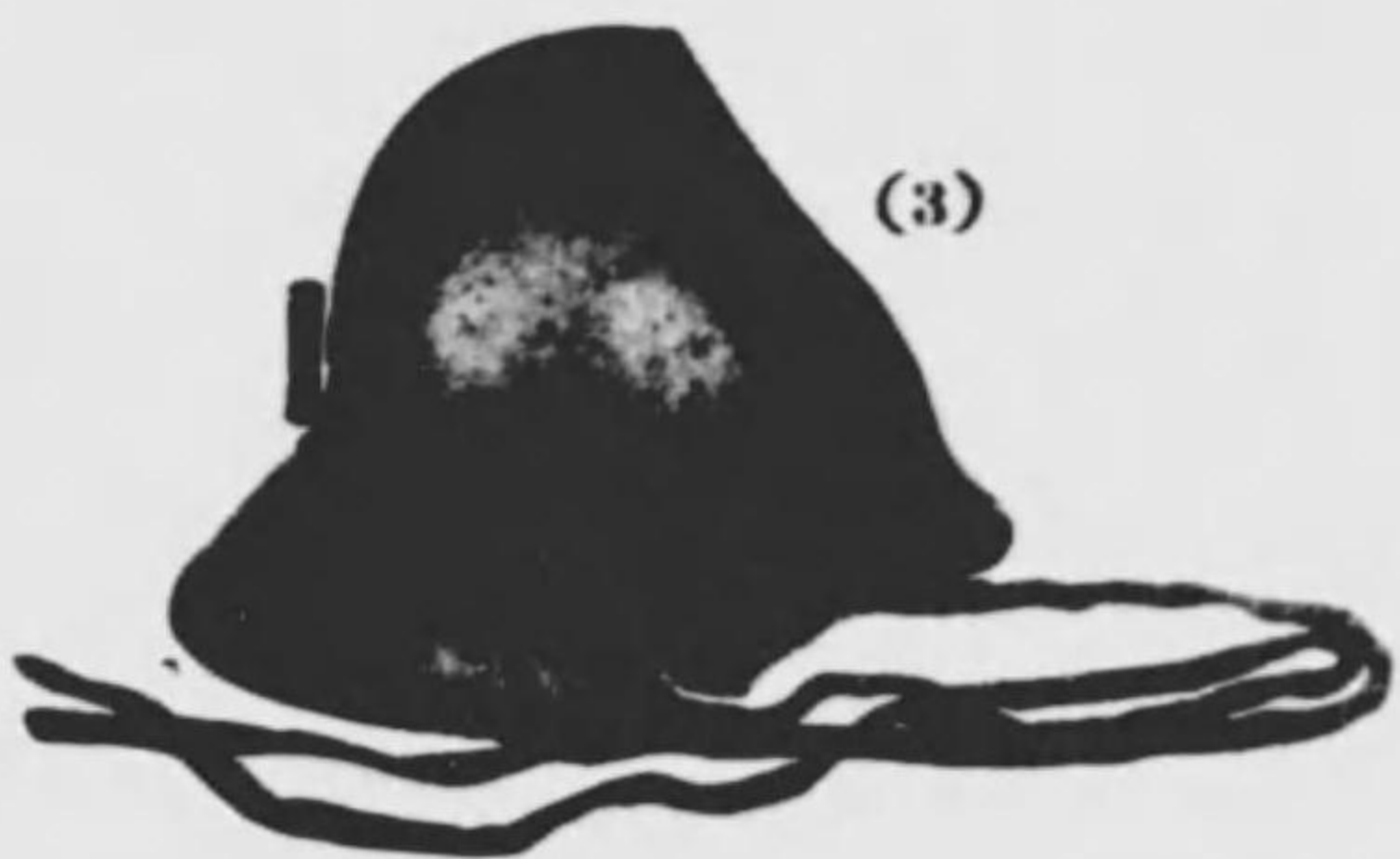
征韓役當時ニ於ケル我水軍使用ノ兵船ヲ圖寫シタリト稱スル
モノニシテ管ニ同役ニ於ケル我軍船ノ狀況ヲ窺知シ得ルノ
ミナラズ廣ク徳川時代以前ノ軍船ノ狀況ヲ知り得ル好資料
ナリ 原本ニ於テハ中央ノ大船ヲ第一ニ置キ他ハ上段ノ分
ヨリ順次ニ之ヲ配列ス 思フニ此大船ヲ旗艦トシテ之ニ夫
々ノ任務ヲ有スル諸船ヲ配シタル一艦隊ナルベシ 中ニ於
テ二三大砲ヲ裝備シタルモノ敵船ヲ突破ル爲ノ衝角ヲ有ス
ルモノ又敵船ニ切込ム時ニ用フベキ船楫子ヲ備ヘタルモノ
日ノ丸ノ國旗ヲ想ハシムル帆ヲ張リタルモノ等極メテ珍
スルニ足ル 原圖ニハ何等ノ記述モナク筆者來歴等一切不
明ナルモ吾人ハ之ニ據リテ艦船ノ形式其他ヨリ判定シテ戰
國時代ヲ距ル遠カラザル時代ノ軍船ヲ想像スルコトヲ得
ン 水軍史上稀觀ノ資料ト云フベシ



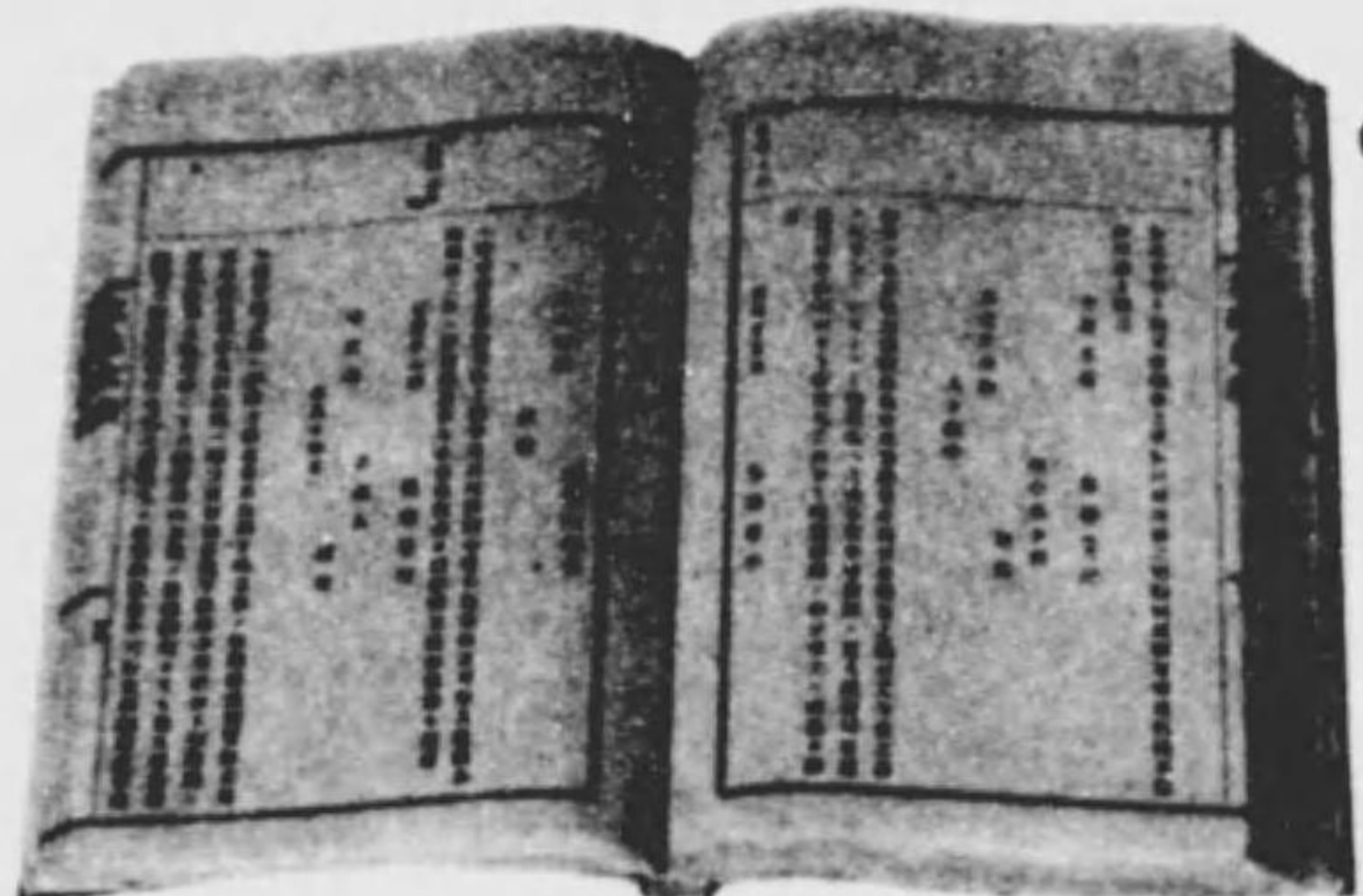
(2)



(1)



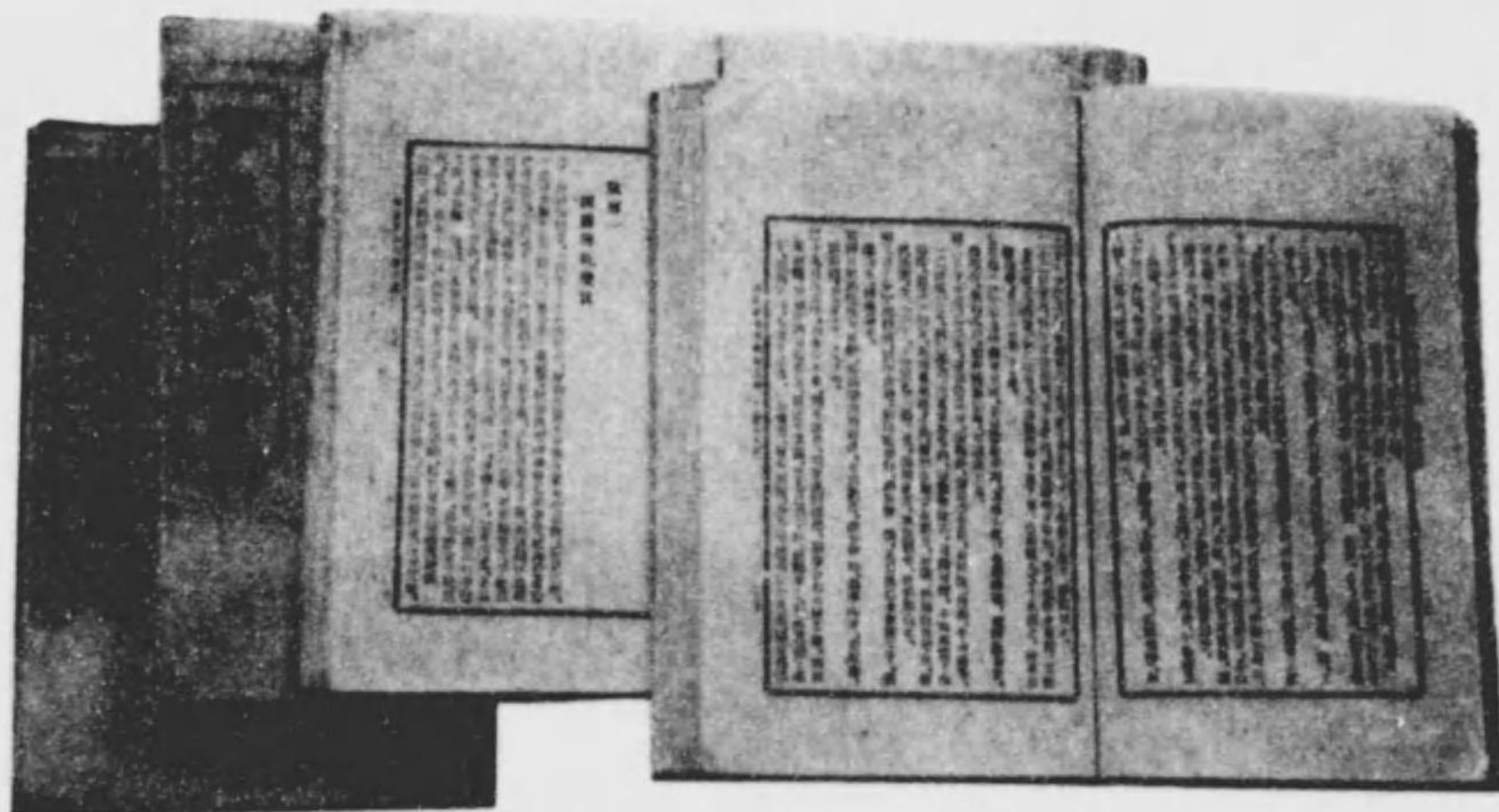
(3)



(4)



(5)



(7)



(6)

文祿慶長役(續)

(1) 文祿役釜山鎮城戰況圖(寫眞)

鎮海要港部寄贈

文祿元年四月十二日小西行長及宗義智等ノ先鋒隊釜山ニ進
撃シテ大ニ力闘遂ニ之ヲ拔ク 本圖ハ當時ノ狀況ヲ記録ニ
照シ古老ノ言ヲ徵シテ支人畫工ノ描ケルモノ 寶永年中ノ
作 支人獨特ノ筆致興趣頗ル多シ

(2) 加藤清正陣中旗印之回章(複本)

(原本 尾道市 淨土寺藏)

此旗印ハ清正ガ征韓當時部下ヲ激勵スルタメニ自ラ次ノ文
句ヲ認メ回章トシテ陣中ヲ持廻ラシメタルモノナリ
文ニ曰ク

小西行長被ニ出拔ニ雖ニ深入ニ敵地ニ清正一手ノ勢ヲ以兩王
子ヲ不生捕ハ再本國ヘ不可歸人々令ニ粉骨碎身預ニ太
閤ノ御感ニ可被遺ニ名於後昆ニ者也

五月 日

清正花押

清正征明ニ從事スルコト前後七年攻城野戰到ル處勇名ヲ異
域ニ揚ゲ、韓人永ク鬼加藤トシテ彼ヲ怖レタル決シテ偶然
ニ非ズ武將トシテ此訓示ニ表ハレタルガ如キ意氣ト覺悟ト
アリタレバナリ 此回章、地ハ金箔ニシテソノ上ヘ墨書シ
タルモノ今掛軸トシテ保存セラル 摩托肥後ノ處土木村氏
ガ所持セシヲ故アリテ淨土寺ヘ奉納シタルモノナリ

(3) 立花宗茂麾下ノ使用セシ金兜

立花伯爵家寄贈

文祿二年立花宗茂邦軍ノ先鋒トナリテ碧蹄館外ニ明ノ李如
松ノ大軍ヲ撃破セシ當時部下ノ兵ニ被ラセタル兜ナリ

(4) 立花文書

同

(5) 李舜臣忠烈祠瓦

第五十五期候補生寄贈

朝鮮後ニ於ケル朝鮮水軍ノ將李舜臣ノ統營ニ使用セシ瓦ナ
リ

(6) 高野山敵味方供養碑文(拓本)

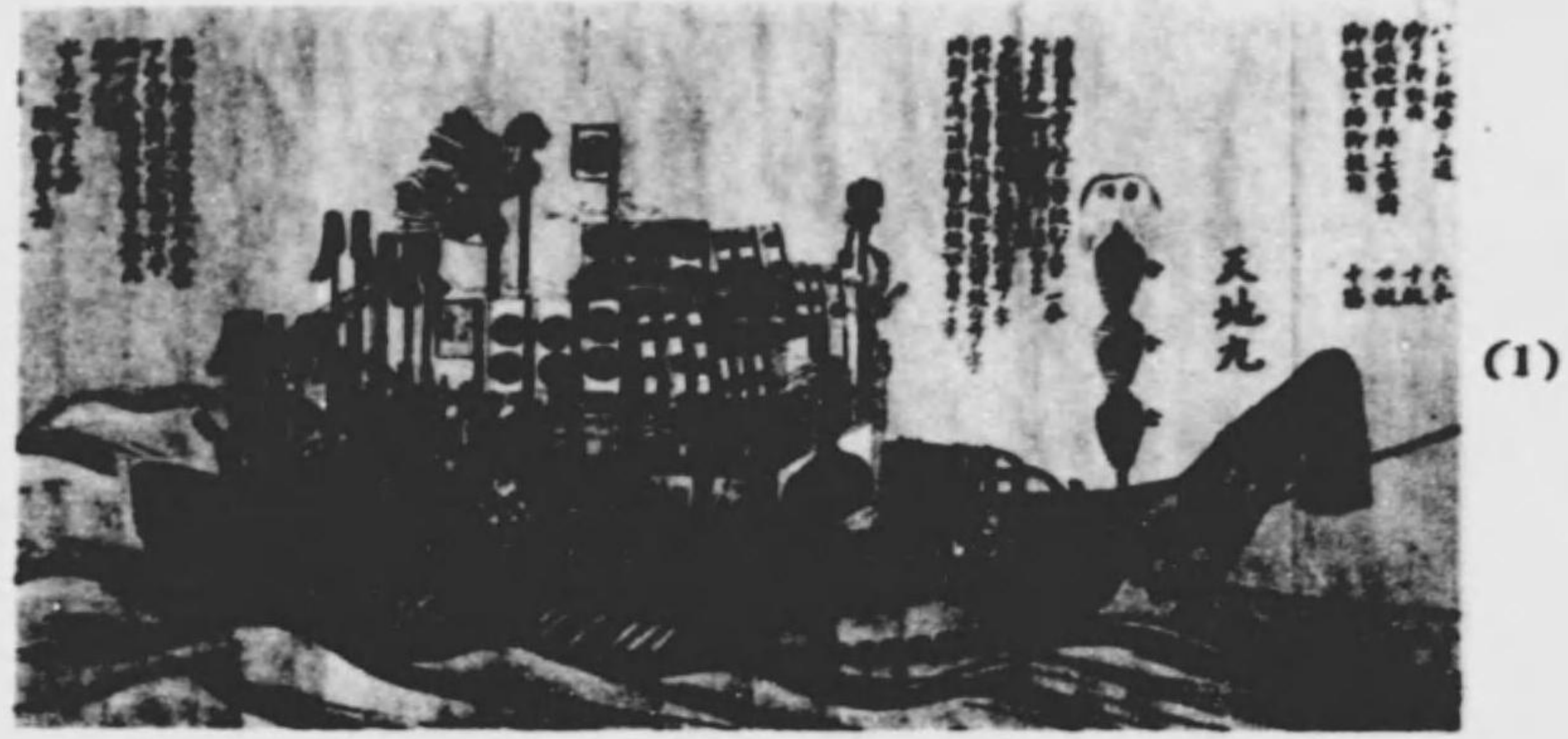
谷口尙眞大將寄贈

慶長四年六月朝鮮役ノ戰没者ヲ敵味方ノ區別ナク高野山ニ
於テ弔シ此碑ヲ建設ス

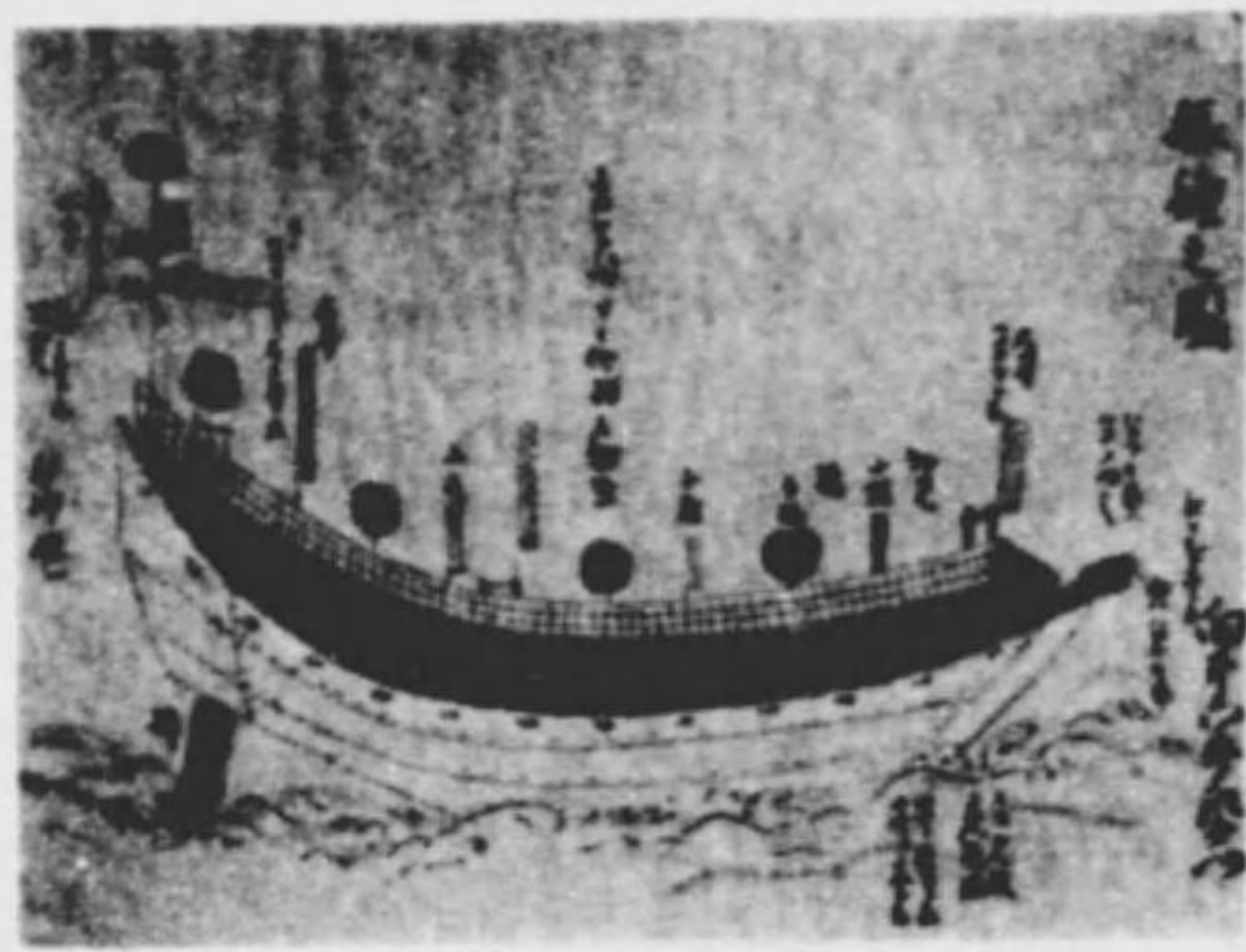
(7) 李忠武公全書

齋藤朝鮮總督寄贈

本書ハ李舜臣ノ全集ニシテ詩文・日記・書翰其他ヲ收メ朝鮮
國ノ官撰ニカ、ルモノナリ 忠武公ハ舜臣ノ諡號ナリ 豐
臣秀吉朝鮮ヲ征スルヤ舜臣主命ヲ承ケテ水軍ニ將トシ大ニ
日本軍ヲ破ル 本書ニ載スル所多クハソノ海戰ニ關スル記
録ニシテソノ奮闘ノ狀ヲ窺フニ足ル



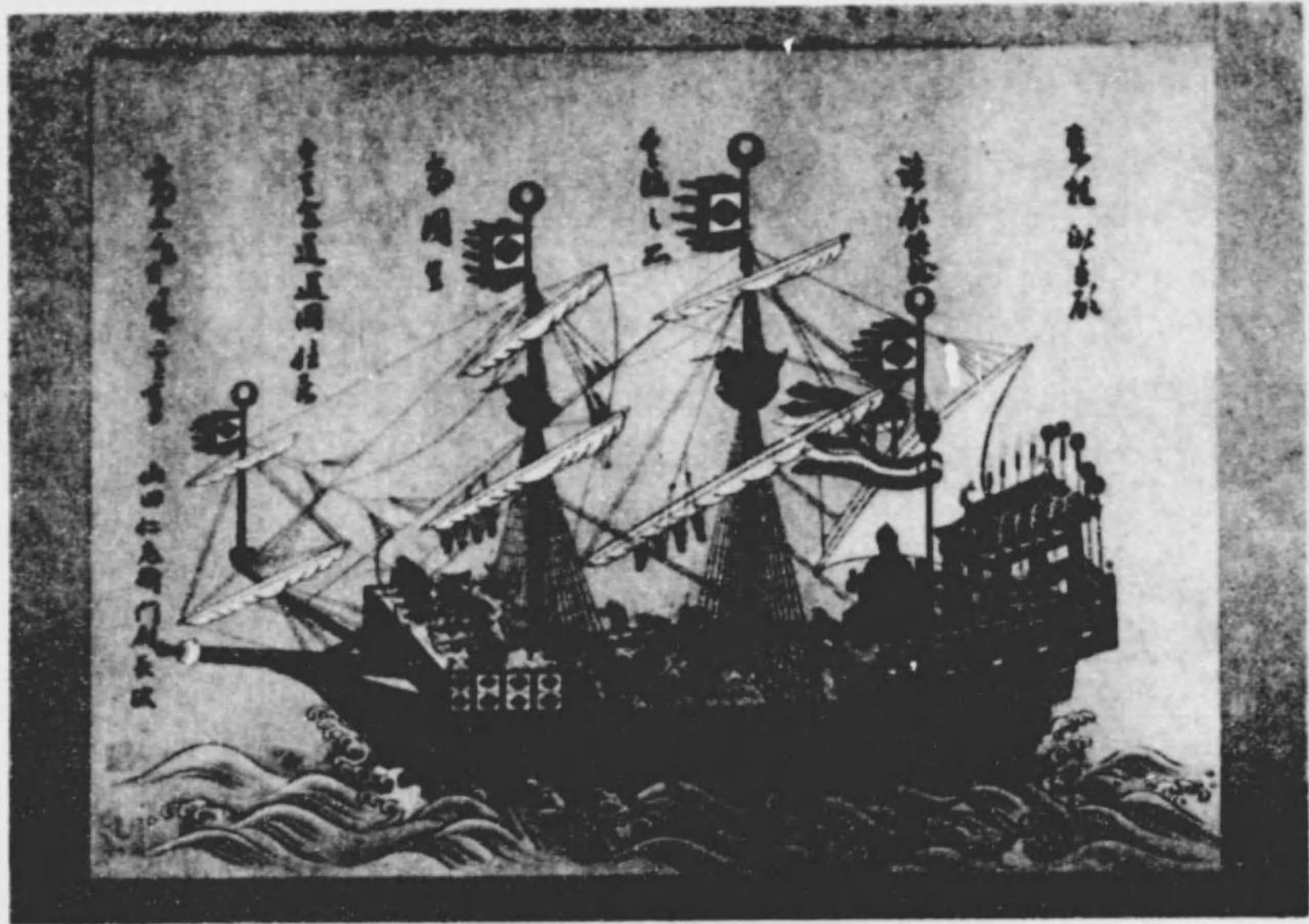
(1)



(3)



(2)



(4)



(6)

江戸初期頃諸船圖

(1) 幕府御軍船圖卷

徳川三代將軍家光ノ御座船天地丸ヲ中央ニ小麒麟丸其他ノ諸船ガ之ヲ供奉護衛セル有様ヲ描キタルモノナリ

(2) 安宅丸圖 (寫眞)

安宅丸ハ寛永十年三代將軍家光ガ船奉行向井將監ニ命ジテ作ラシメタル兵船ニシテ從來我邦ニテ作りタル兵船中最モ壯嚴ヲ極メタルモノナリシモ操縦ニ不便ナリシヲ以テ元和二年解體セリ

(3) 藤 鱧 之 圖 (複本) (原本 伊豫史談會藏)

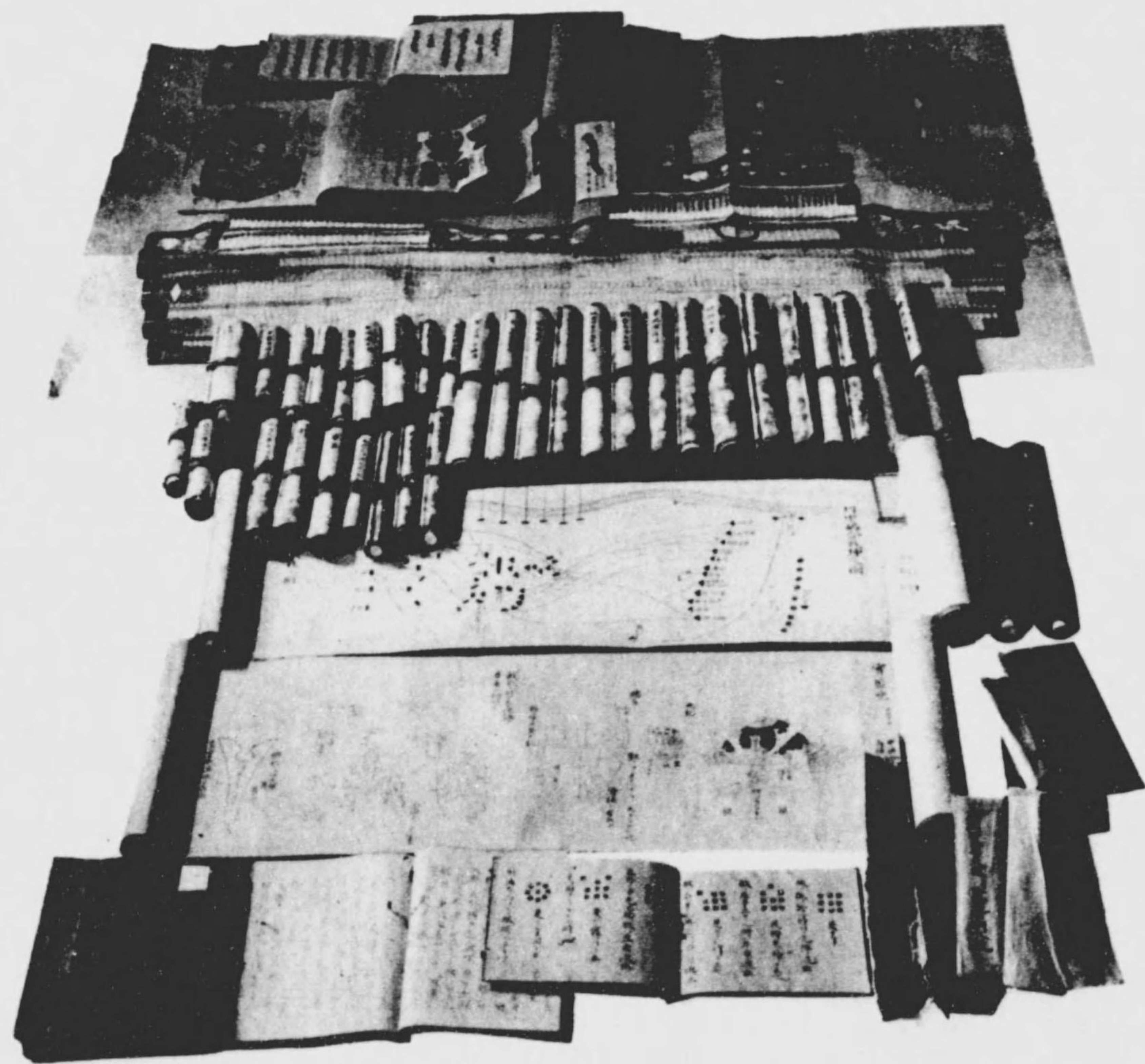
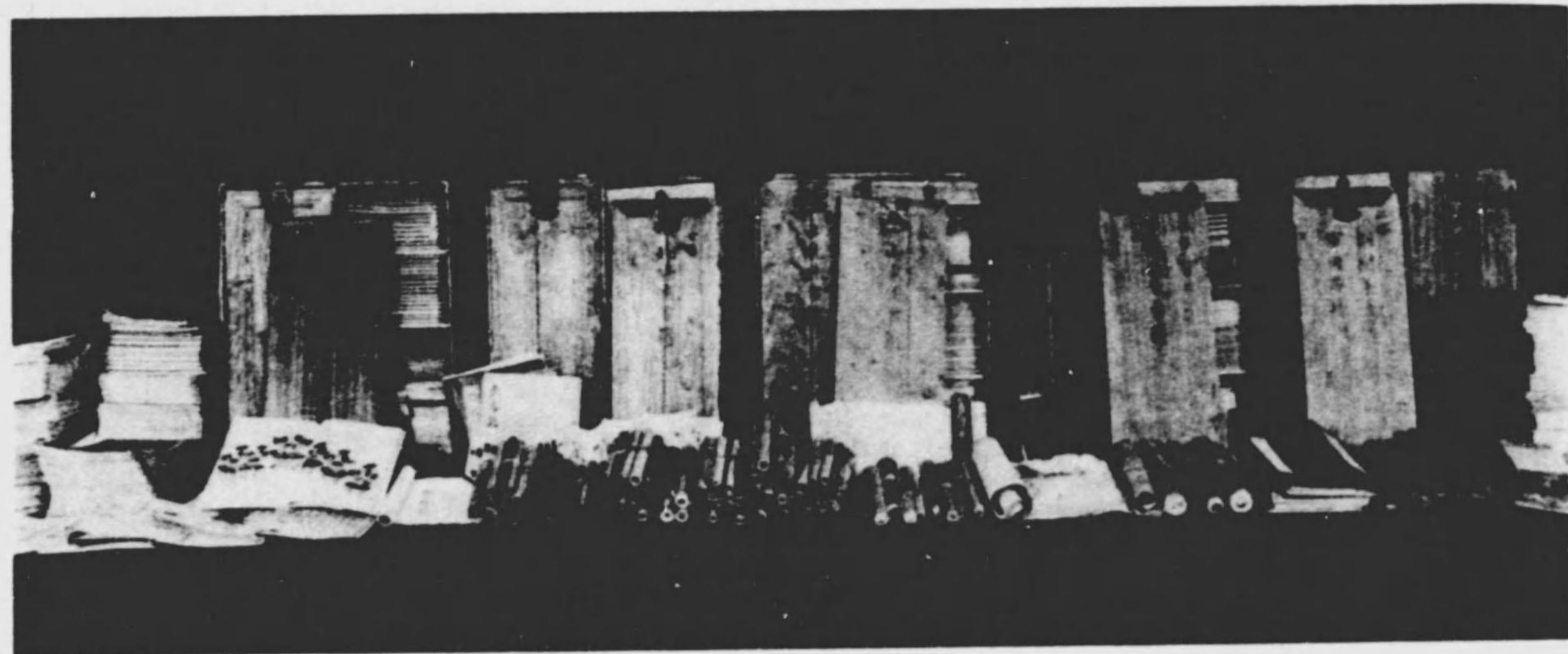
(4) 山田長政戰艦圖 (原圖 靜岡縣 淺間神社藏)

元和ノ頃山田長政暹羅國ニ航シ國王ノタメニ擾亂ヲ平定セリ 國王大イニ喜ビ長政ヲ六昆國王ニ封ジ又王女ヲ降嫁シ禮遇ラザルナシ 本圖ハ長政ガ郷里ナル駿府淺間神社ニ報賽ノ意ヲ以テ奉納シタルモノナリ 後甲板ニ踞シテ部下ヲ指揮セルハ長政ナリ

(5) 支那型船圖

寧波船南京船等四隻ノ支那船ヲ極彩色ヲ以テ描ケリ

平井徳藏大佐寄贈

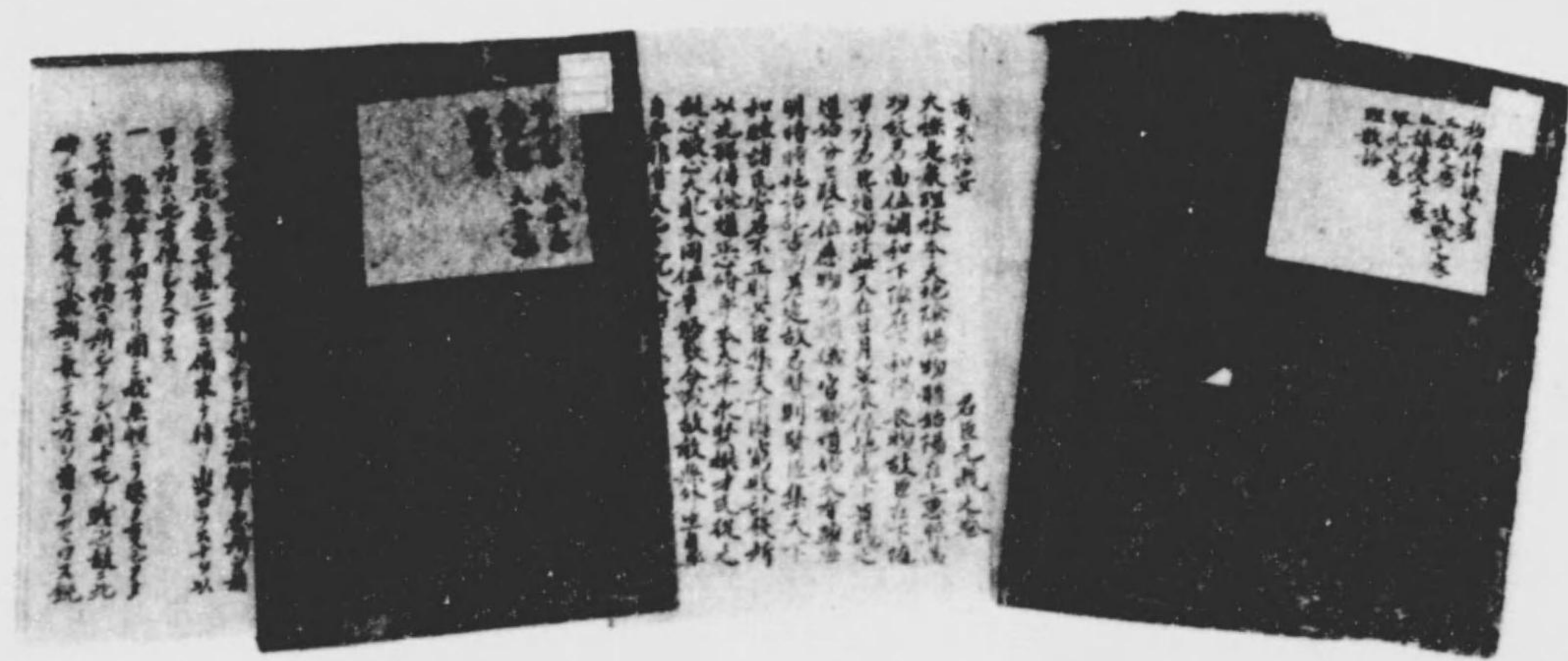
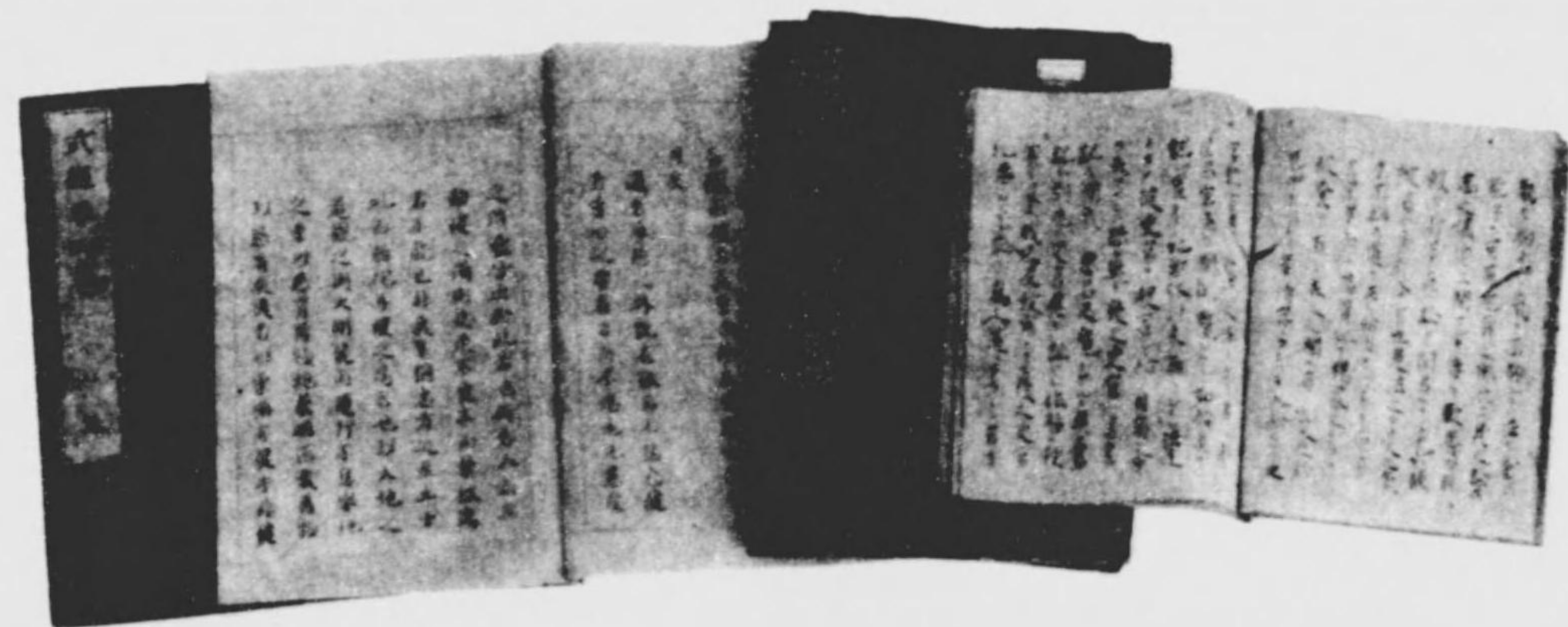


鷺見文庫

鷺見文庫ハ最近本館ガ京都ニ於テ發見入手シタル兵學書ノ一大蒐集ニシテ上泉流、源家流、越後流、山鹿流、北條流、眞野家傳着用故實書籍等總數約一千三百七十點ノ書籍、圖解、雛形、傳書卷物等ヲ含ム。而モソノ保存宜シキヲ得テ書籍トシテモ優美典雅ノ趣ヲ具ヘ内容外形共ニヨク纏リタル兵學文庫ナリ。因ニ鷺見家ハ舊鳥取藩士ニシテ初メハ代々美濃國郡上郡ニ地頭トシテ在住シ十八代直保ニ至リ承應年間池田勝入齋信輝公ニ仕ヘ三州ニ召サレ爾後國替ニ依リ播州、備前ヲ經テ因伯ニ移リ代々重臣トシテ池田侯ニ歷任シテ明治維新ニ及ビ今日ニ至リタル家柄ナリ。



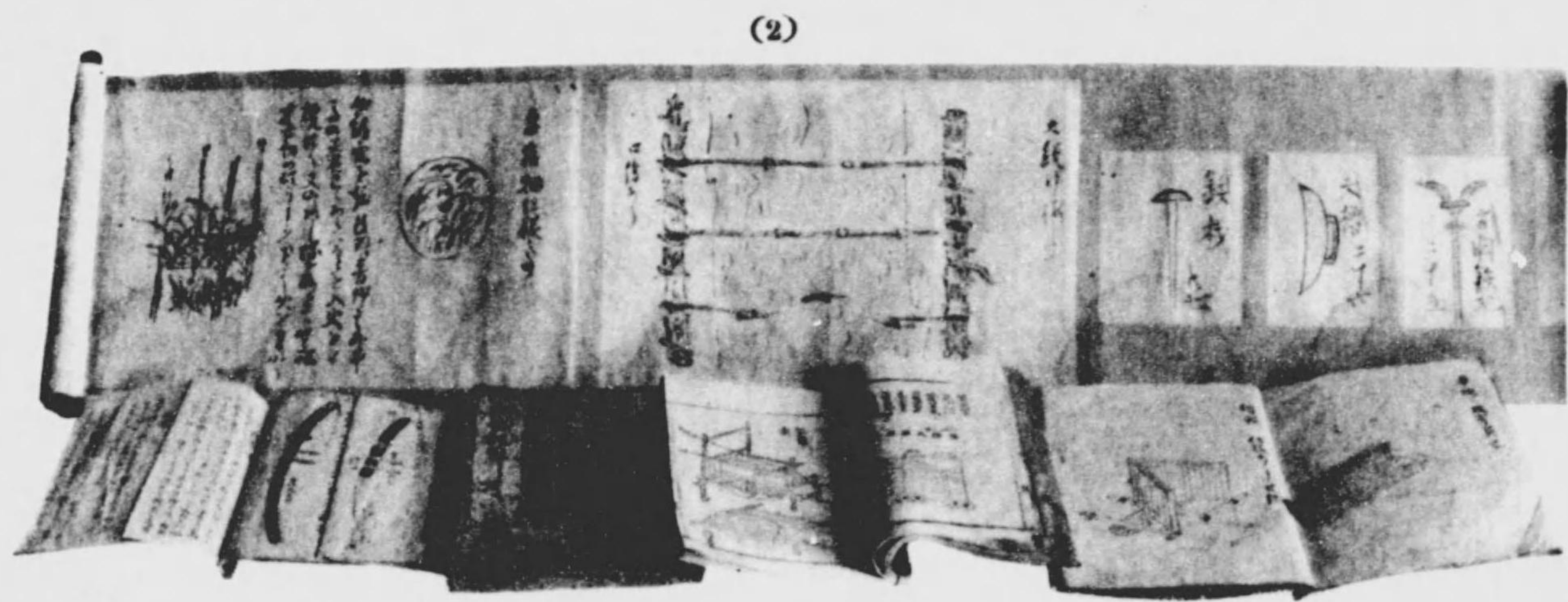
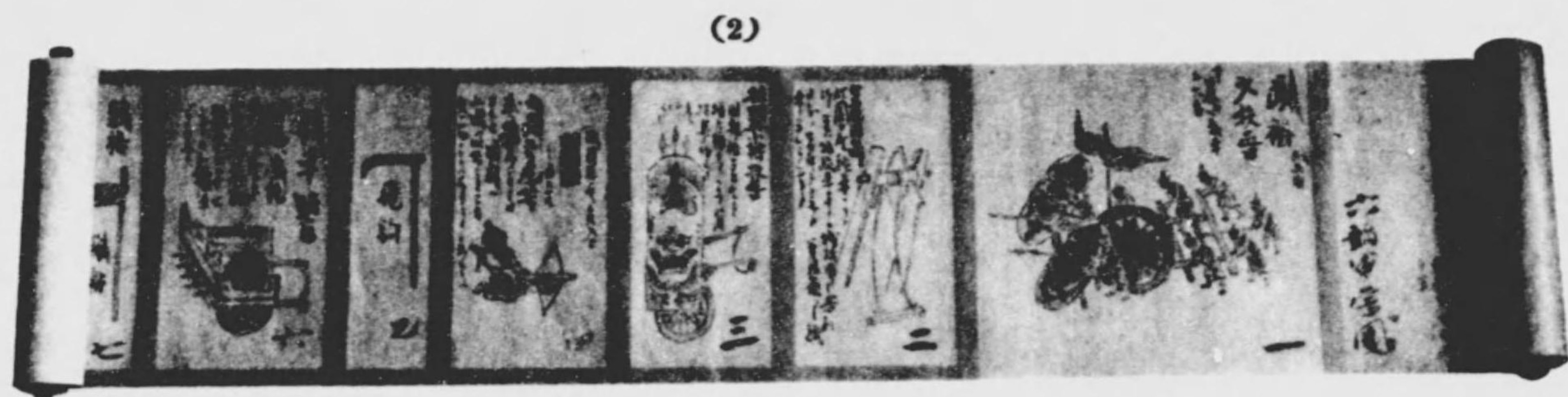
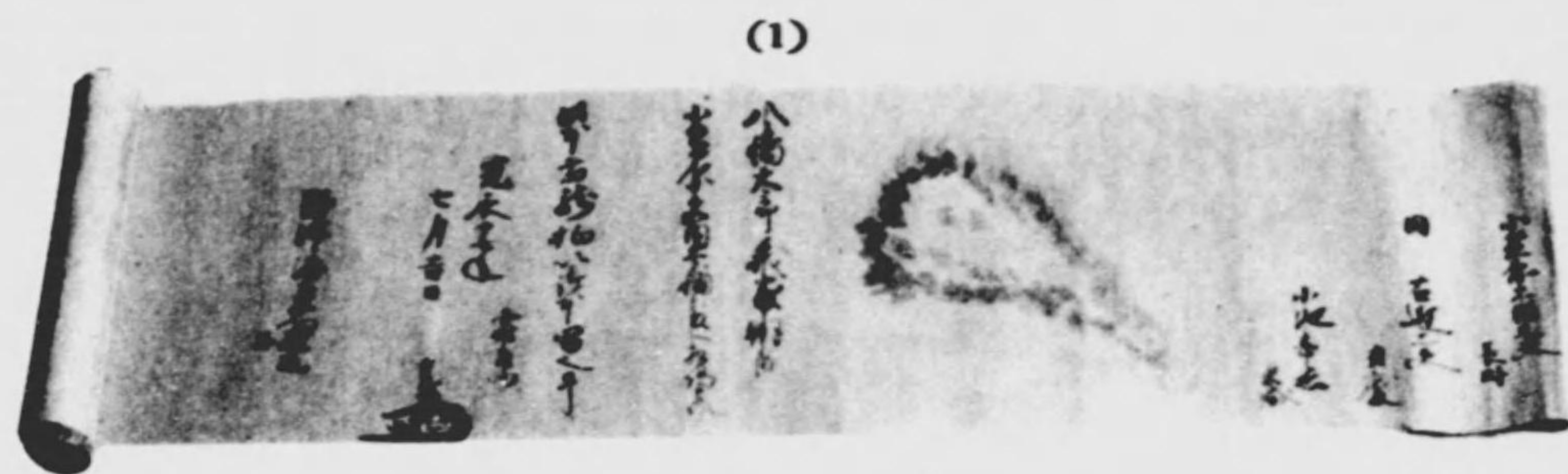
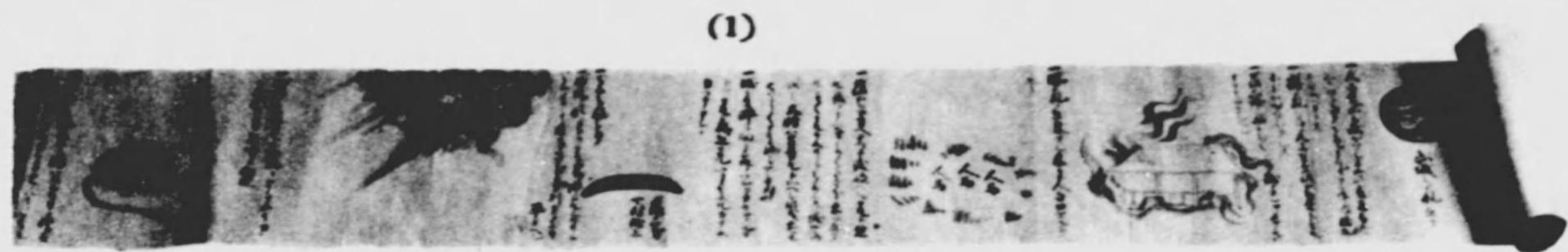
鷺見文庫藏書ノ一部





野澤文庫

野澤文庫ハ現小樽住野澤弘幸氏ガ家傳ノ兵書全部ヲ舉ゲテ本校教育參考館ニ寄贈セラレタルモノニシテ伊豫松山藩ノ軍學者向井、野澤氏等ノ傳ヘタル源家古法ニ屬スル兵學ノ集成ナリ 其内容ハ諸流兵學書ヲ初メ諸種ノ兵器、武技、水軍、軍禮、戰史、歴史、地理、天文、宗教等アラユル方面ニ亘レル古書ヲ含ム 向井氏等ハ是等千三百餘冊ノ藏書ヲ教材トシ塾ヲ開キ門人ヲ集メテ文武兩道ヲ教授セシモノナルガ如シ



野澤文庫藏書ノ一部

(1) 氣之書

寛永十七年七月西村左門重正ヨリ野澤源左衛門殿へ宛テタル奥書ヲ有ス野澤文庫ニ屬ス 陰陽五行ノ説ト結合シ
氣ノ立ツルヲ見テ戰機ヲ占フコトヲ記シタルモノニシテ主トシテ黃石公軍氣秘術ノ事ヲ記ス

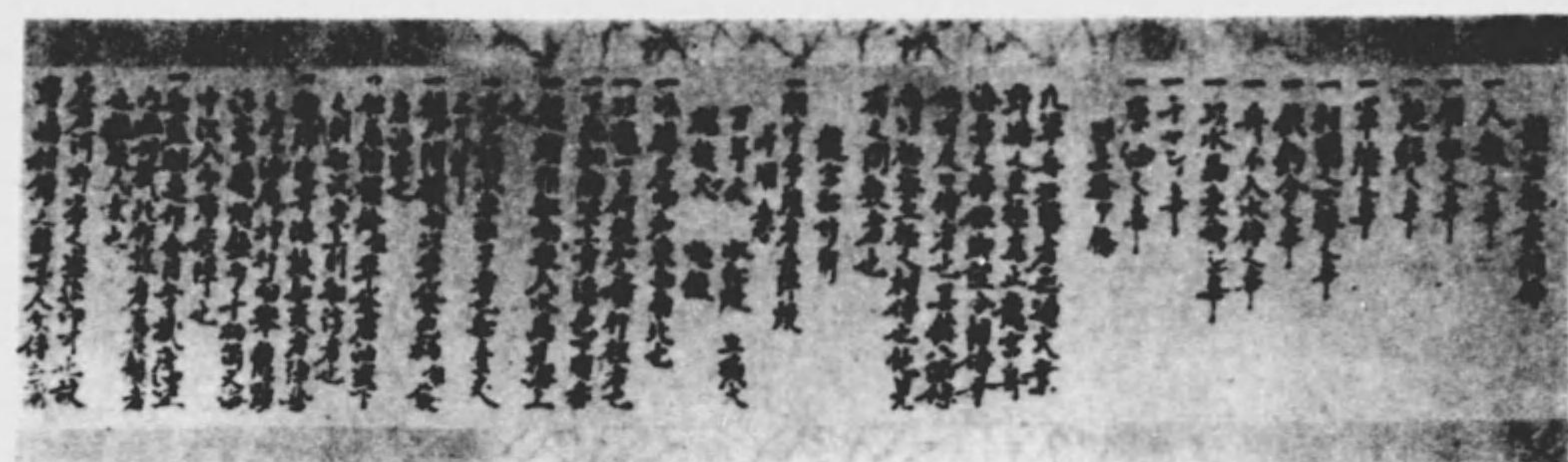
(2) 六韜軍器圖並ニ武器書

向井東菴(延享ノ頃没、伊豫ノ兵學者)ノ自筆自畫ニシテ六韜ニ表ハレタル支那ノ武器ヲ圖解セシモノナリ 最
下段ノ書籍ハ右ヨリ軍用全書、支那武器書、兵器起原、衣冠太刀之事

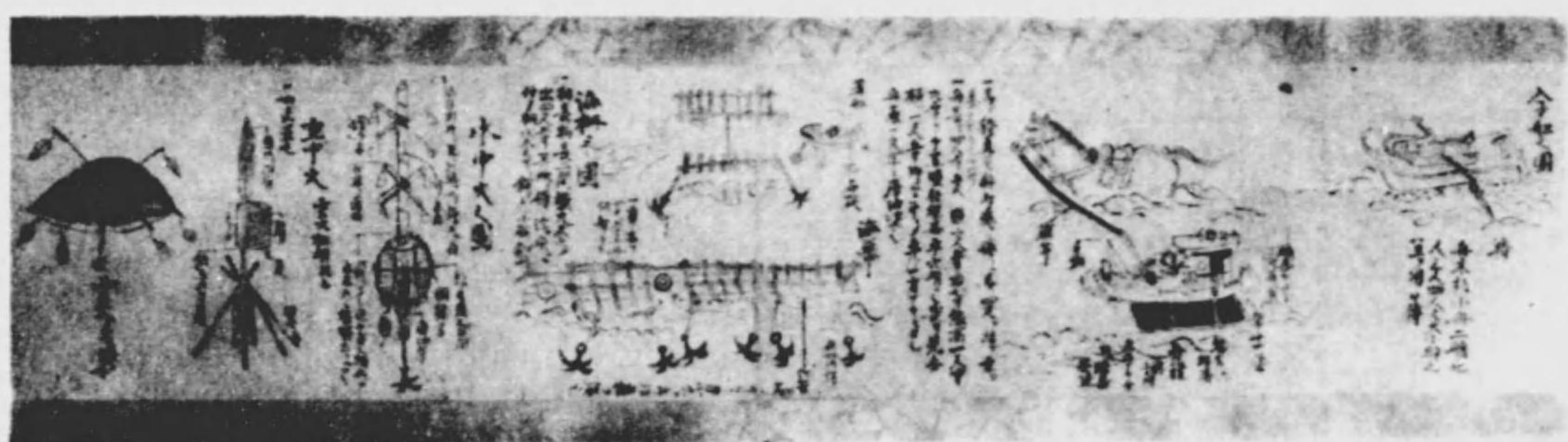


舟歌並ニ兵歌

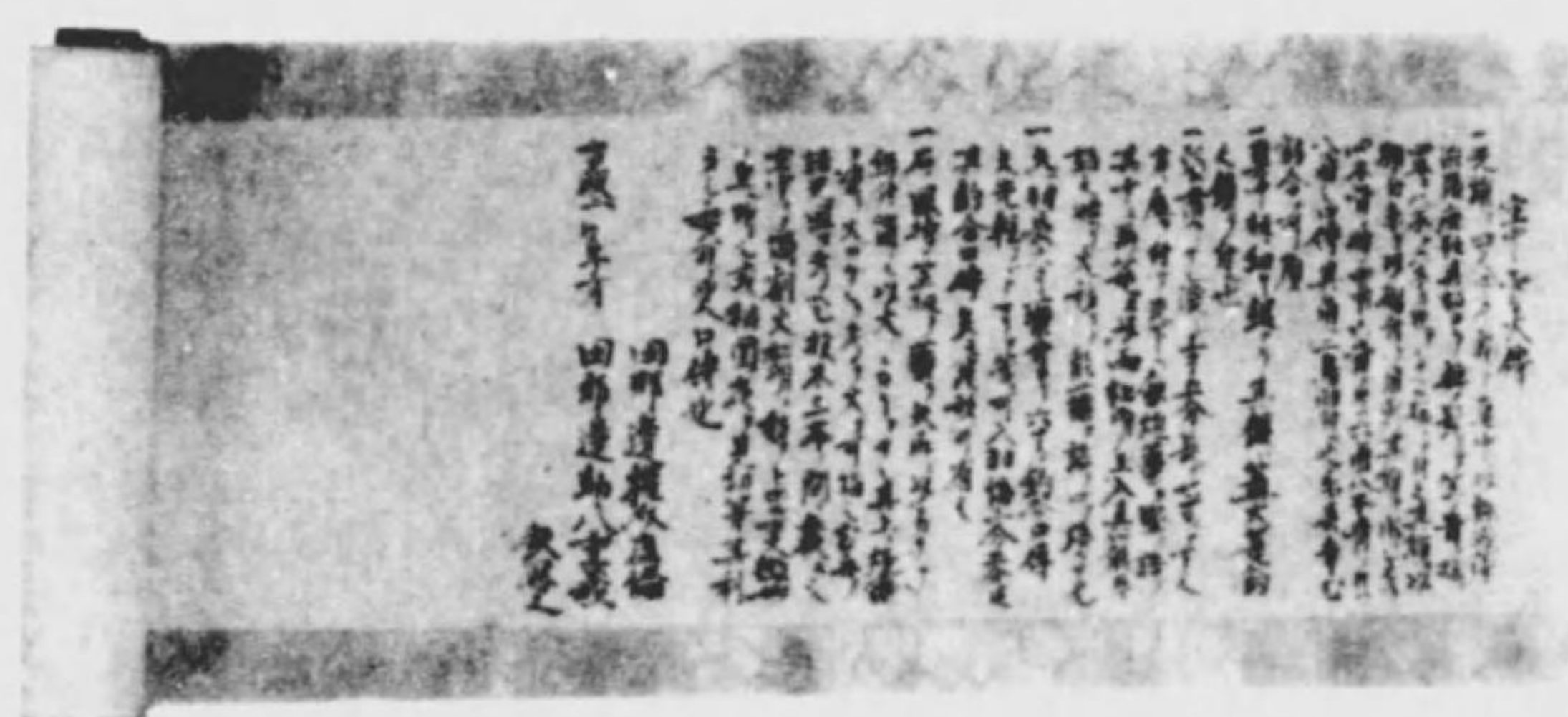
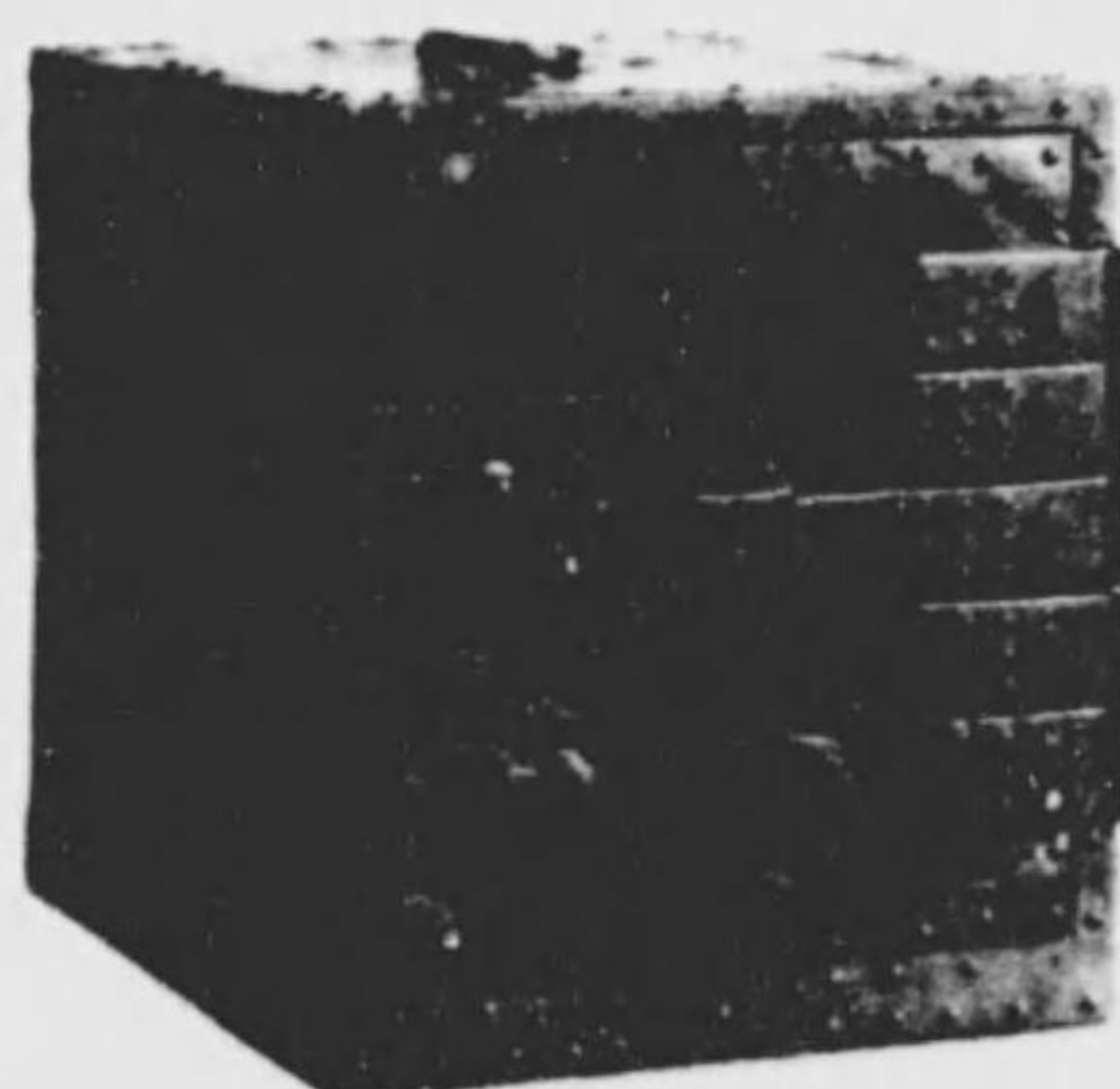
- (1) 棹歌 田所完造氏寄贈
船頭ノ歌ヒタリト覺シキ歌ヲ集ム 艶歌多シ 譜付ナレバ
之ニヨツテ歌ヒ得タルモノナルベシ 奥書序共ニナシ
- (2) 櫓歌 三十首 同
「文化六年源武住綴之」トアリ源武住ハ丸龜藩渡邊武住ト云
ヘル兵學家ナリ
- (3) 舟言之卷 同
舟ニテ用ヒル言葉及風ノ名ヲ解説セルモノナリ 寛政七年
渡邊武住ノ奥書アリ
- (4) 古今兵歌集抄 四册 谷口尙眞大將寄贈
古今名將ノ歌ヲ集メテ解説セリ
- (5) 軍歌 約四百首ノ兵歌ヲ筆録セルモノナリ
- (6) 名歌妙句集 (野澤文庫)
- (7) 義經公衣川百首 (野澤文庫)
文治年間源義經奥州衣川高館ニテ百首ノ兵歌ヲ撰セリト云
フ
- (8) 題忠臣四十六士墓圖古風詩 (野澤文庫)
元祿十六年四月 大石内藏助以下四十六士ノ墓前ニ供ヘタ
ル詩ヲ記シ序文ヲ附ス 林立齋敬勝ノ草スル所ナリ
- (9) 勵武開歌 (刊本二册 大島良之助中佐寄贈
天保十四年桃洞書院藏梓 七五調ノ歌詞ニヨリテ軍兵訓練
式ヲ説明セシモノナリ



(1)



(2)



龍宮舟圖卷

(1) 龍宮舟圖卷 (野澤文庫中)

龍宮流又ハ一品流水軍ニ於テ奥秘トシテ一子相傳的ニ相承シ
來リタルモノヲ寛政年間ニ寫シ取リタルモノナリ 説明ノ部
ニ「敵陣近寄り或ハ陣營ノ内へ海底ヲ押シ行キテ龍頭ヲ擧ゲ
テ浮ビ出デ砲録ヲ飛シ千柄筒ヲ打チテ又海中ニ沈ミ入り我陣
ニ歸ルナリ」トアルハ全然潛航艇ノ構想ニシテ古キ時代ニ於
テ我邦ニ斯カルモノヲ考案シタルハ極メテ偉トスベキモノナ
リ

船底ニ櫃鈴ヲ附シテ之レヲ上下スルコトニ依リテ浮沈シ或
ハ前後頭部ニ水晶ヲ嵌人シテ「アレスコープ」トシ之レヲ以テ
方向ヲ知ル如ク工夫シ又左手ニ圖解セラレタルハ船蓋ニシテ
之レヲ船體ニ被覆シテ密閉シ内部ニテハ燈火ヲ點シテ用ヲ辨
ジ又磁石ヲ以テ方向ヲ知リ或ハ蠟燭ヲ以テ行程ヲ知リ得ルガ
如ク考案セリ然レ共如何ニシテ水ノ浸入セザルヲ工夫シタル
カ又如何ニシテ空氣ノ流通ヲ計リタルカハ口傳トシテ記述ス
ルコトナキ故之レヲ知ルニ由ナシ 而シテ船體兩翼ニアル車
輪ヲ以テ進行シ前後ニ附屬スル楫板ヲ以テ方向ヲ調節セシモ

(2) 船 簞 筒

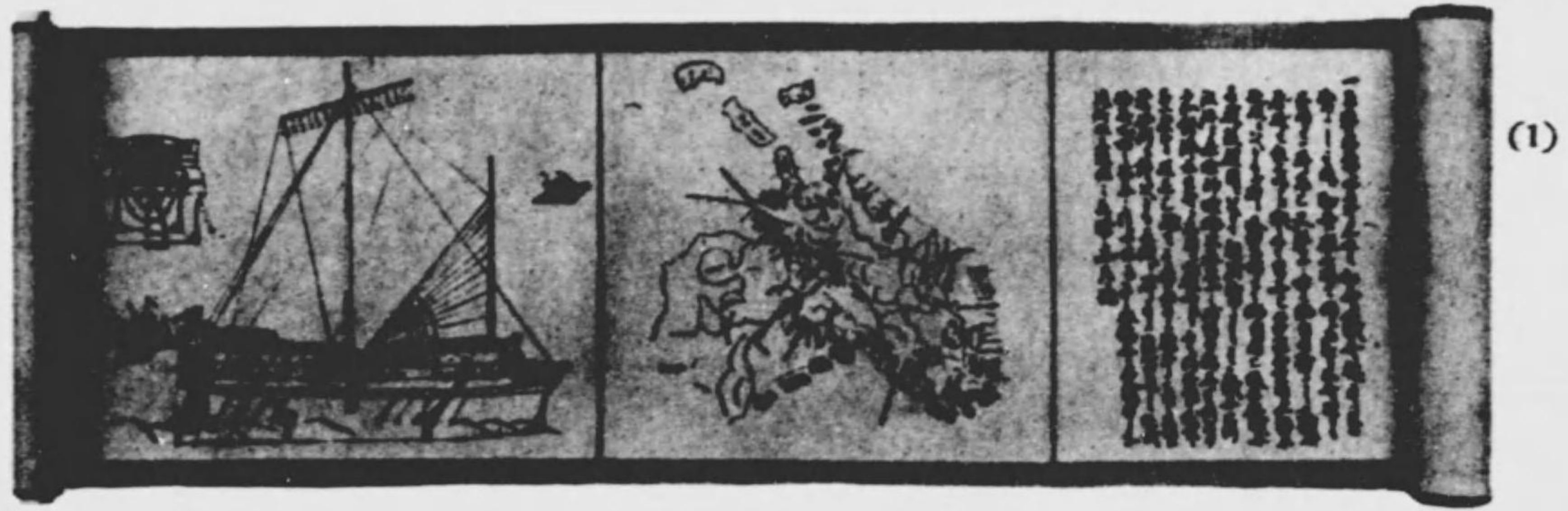
谷口尙眞大將寄贈

ノナリ 船體ノ長サハ約一丈三尺 先ヅ全體ニ松脂ヲ塗抹シ
其ノ上ニ保護色トシテ青色ノ漆ヲ塗り下部ノミヲ赤色ニセ
リ

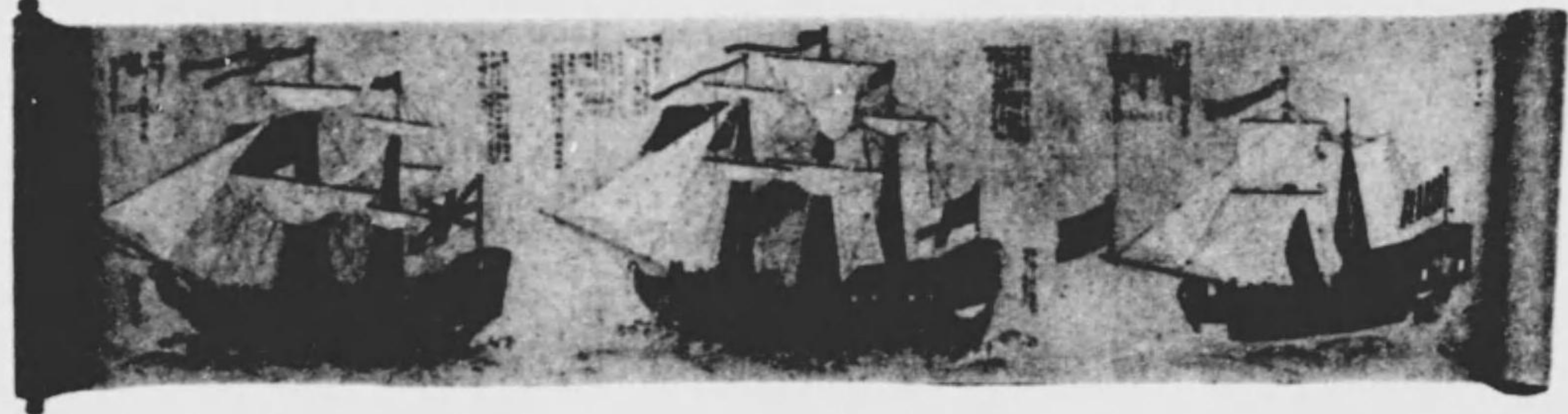
思フニ西洋ニ於テモ潛航艇ノ發明發達ハ極メテ最近ノ事實
ニ屬スルニモ拘ラズ我國ニ於テハ古キ時代ヨリ少ナクトモ寬
政以前ヨリ現時ノ潛航艇ノ構想ト符合スル如キモノヲ考案シ
居タルコトハ我邦人ノ發明的才能ノ決シテ他國ニ劣ラザルコ
トヲ證明スルト共ニ我邦人ノ得意トスル奇襲的戰法ヲ以テス
ル果敢ナル攻撃精神ノ茲ニモ躍如タルモノアルヲ見
奥書ニアル田那邊氏ハ松山軍學家向井義介ノ弟子ナリ ソ
ノ系統左ノ如シ

橋正豐(元和頃)―大江元氏―木村勝政―向井義介―田那邊
長賢

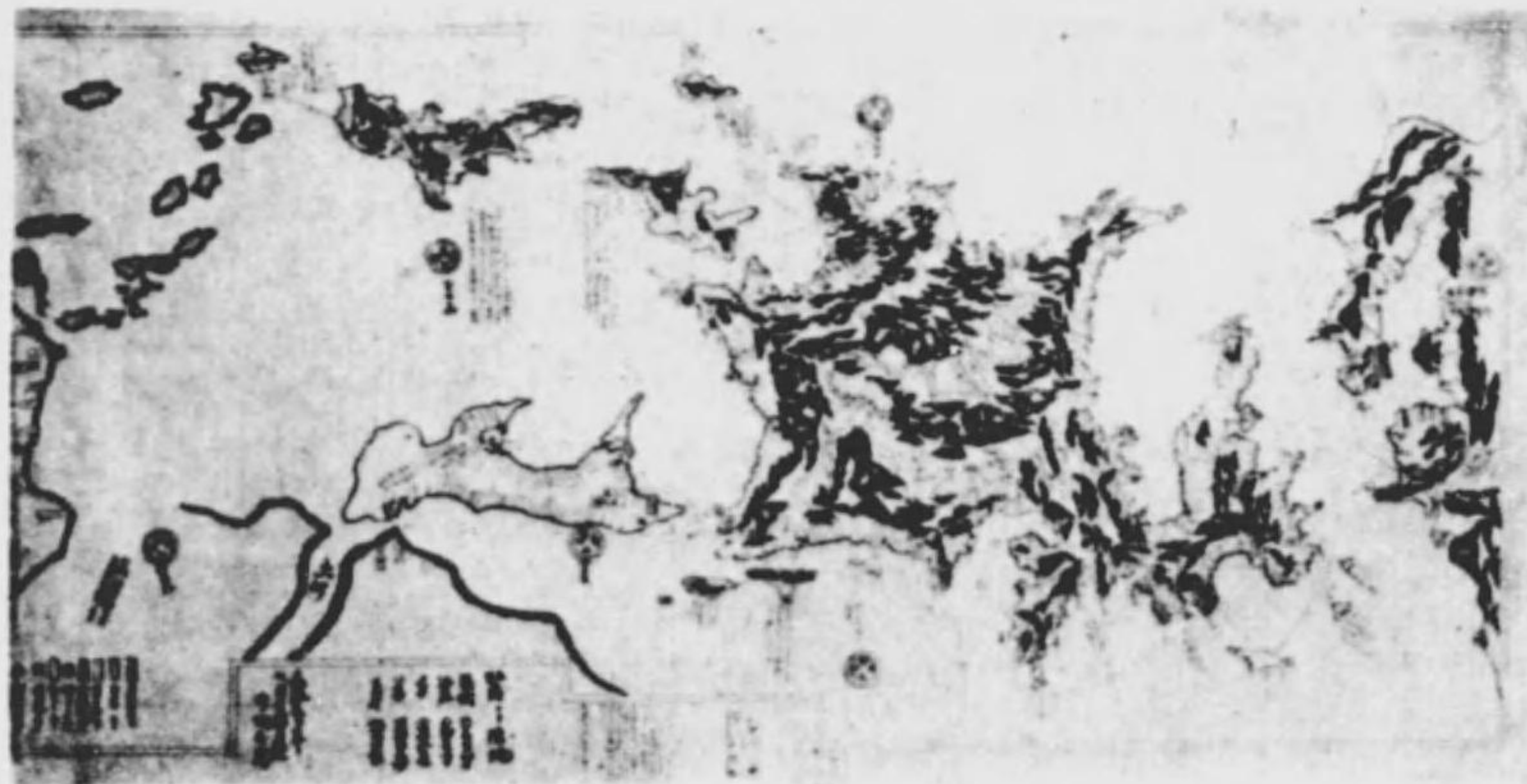
所謂千石船時代ニ用ヒラレシ金庫ニシテ佐渡方面ニ於テ多
ク製造セラレタルヲ以テ又佐渡簞筒ノ稱アリ 用材ハ樺又
ハ桐ヲ例トシ金具ハ凡テ鐵ナリ 中ニハ容易ニ發見シ難キ
抽出シ即チ「忍ビ」ノ構造アルモノモアリ



(1)



(2)



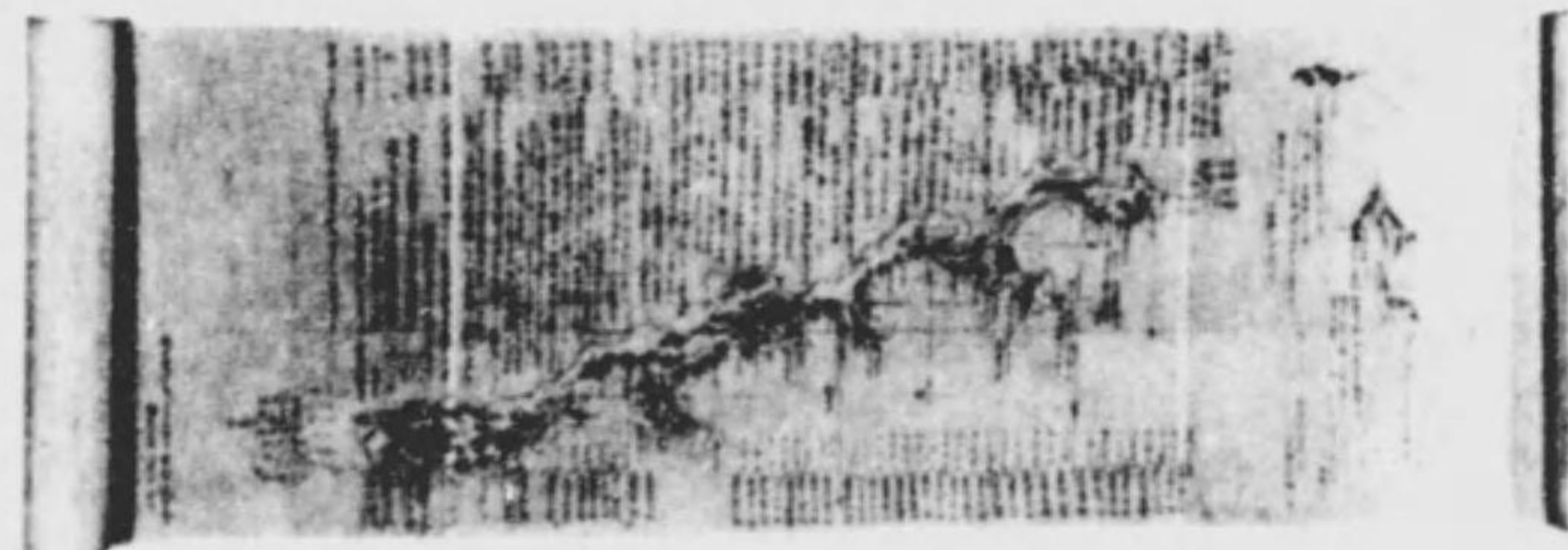
(4)



(3)



(6)



(5)

北 阪 探 險

(1) 戦船作積覺 附蝦夷圖、戰船圖 (原本 香川縣 鎌田圖書館藏)

文化四年十二月通賢ハ蝦夷圖ヲ作り北海並ニ蝦夷地ノ氣候ヲ明ニシテ露艦ニ對スル攻防方法ヲ説キ之ニ好適セル戦船ヲ考案シ更ニ該操船法及戰船ニ備フベキ武器並ニ其使用法ニ至ル迄ヲ説キ盡シ以テ海防策ニ資シタルモノナリ

(2) 異國船圖

本圖卷ハ寛政四年、寛政八年並ニ寛政九年ニ東蝦夷地へ漂着シタル異國船(露西亞、英吉利船)三艘ヲ圖シ「カラフト」島ノ風俗等ヲ寫シタルモノナリ

田所完造氏寄贈

(3) 林子平蝦夷地圖

柳宗悦氏寄贈

(4) 嘉永五年蝦夷地圖 (複本) (原圖 小無幸次郎氏藏)

谷口尙眞大將寄贈

「カハフトホロアントマリ」ハ「アイヌ」語ニシテ船附場即チ船ノ休ミ場ノ意ナリ 現今ノ大泊ナリ 本圖面ハ文化年間ノ調査ノモノニシテ當時ハ部分的地圖ナリシガ嘉永四年頃始メテ本圖ノ通り組合セ北海方面ノ地圖トナシタルモノナリ

(5) 千島列島擇捉島之圖

高野瀨廉氏寄贈

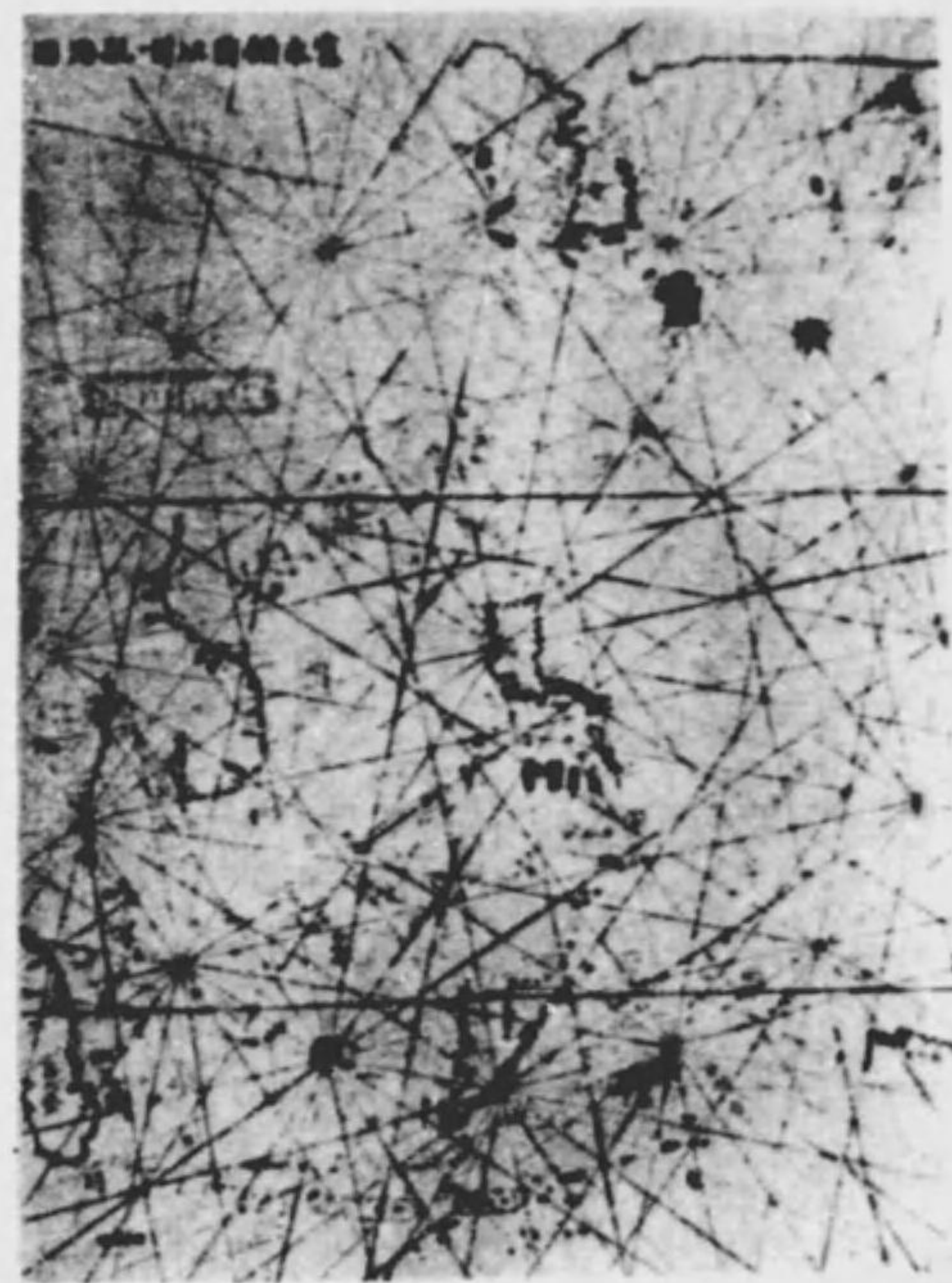
(6) 蝦夷記

谷口尙眞大將寄贈

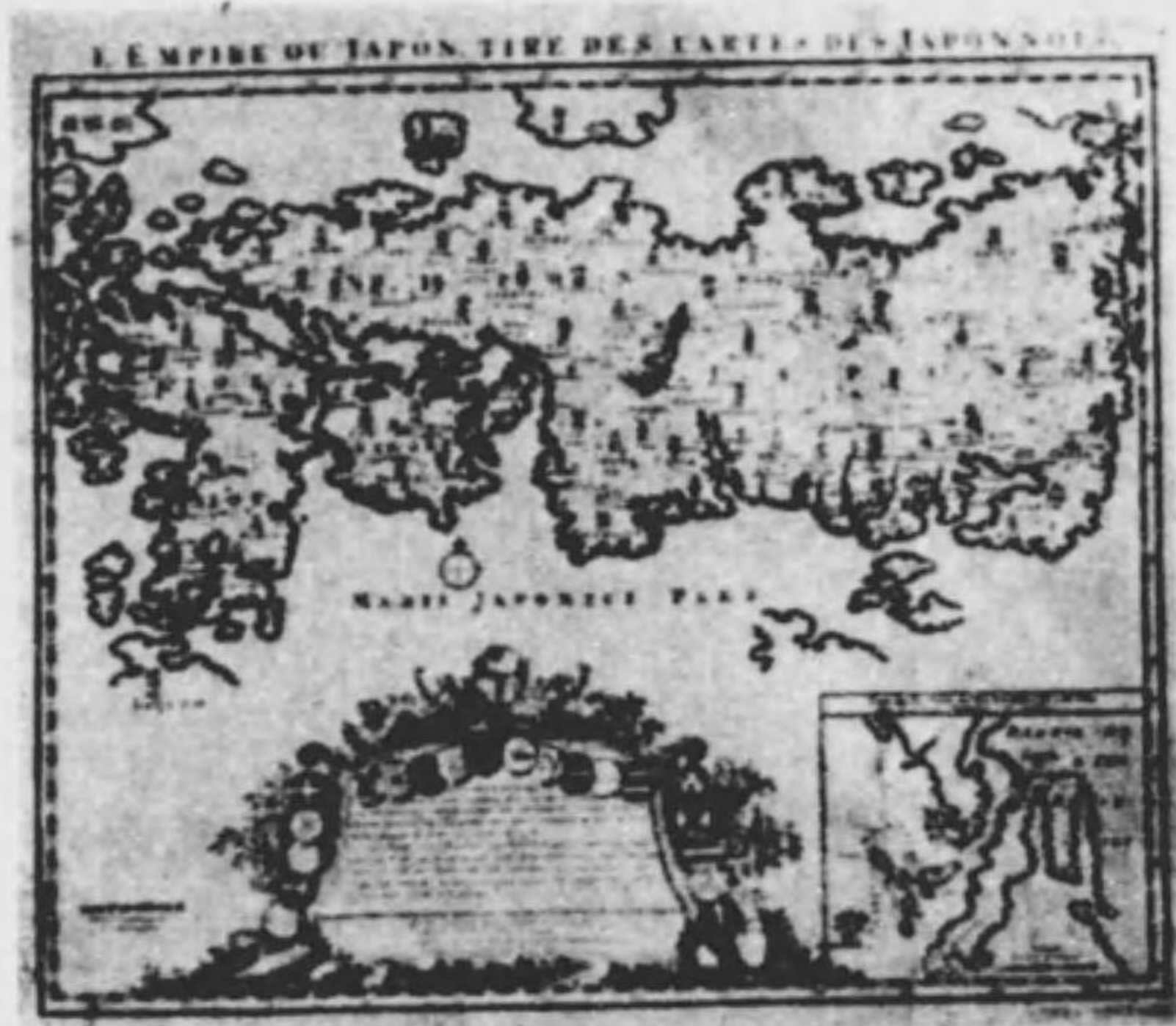
蝦夷ノ地理歴史ヲ記ス 安政三年世良貞寫本



(2)



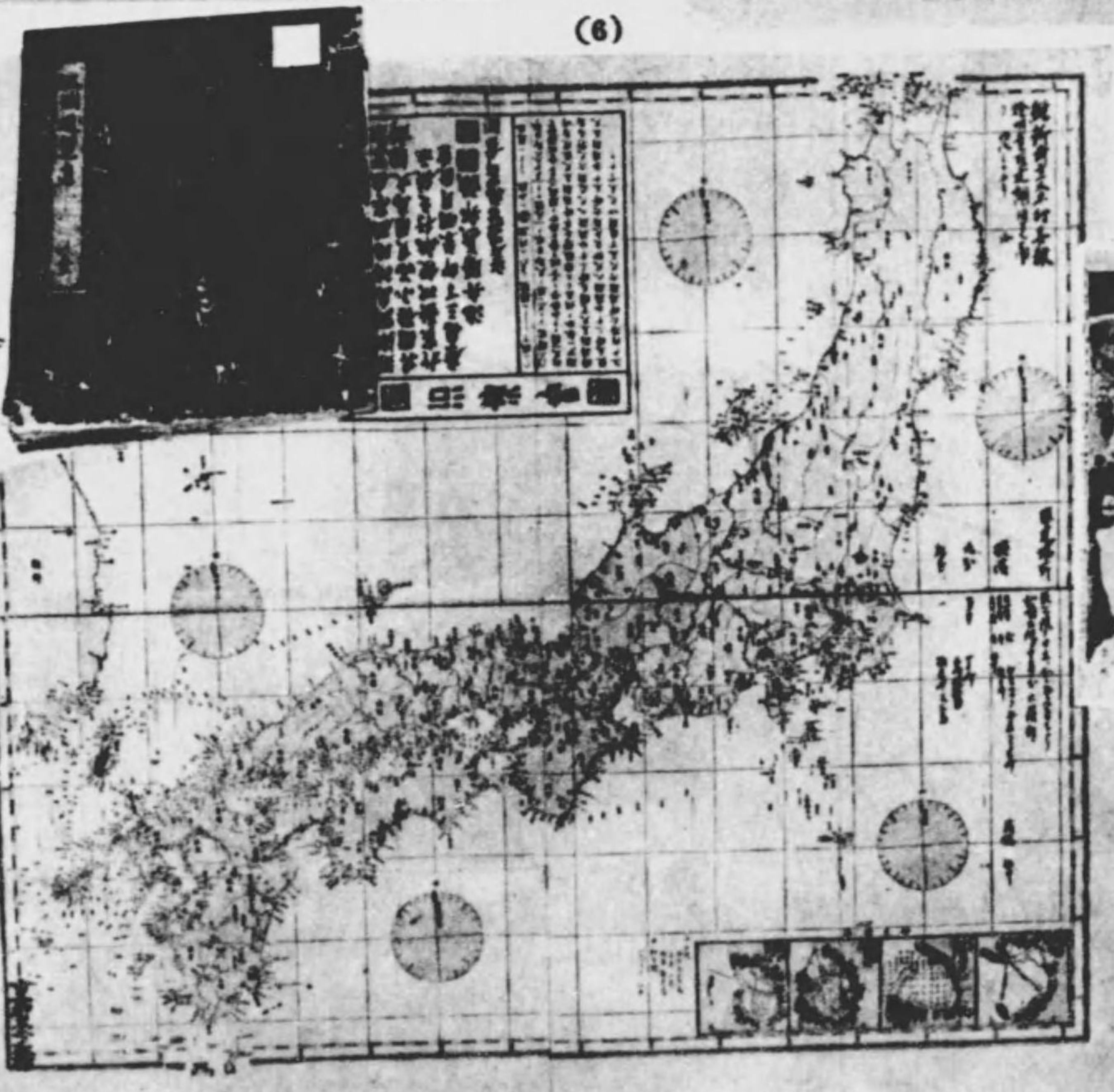
(1)



(3)



(4)



(6)



(5)

古地圖

(1) 寛永鎖國以前ノ航海圖 (複本)

(原本 長崎圖書館藏)

(2) 日本近海古圖 (同)

(原本 山崎直方氏藏)

水路部 寄贈
慶安三年(一六五〇)外國人ノ作りシ日本近海ノ圖ナリ

(3) 日本地圖ヨリ複寫セシ日本帝國圖 (同)

(原本 山崎直方氏藏)

圖中欄外上方ニハ「日本地圖ヨリ複寫セル日本帝國圖」下記
シアリ 中央ノ紋章ハ日本貴族ノ紋章ニシテ其直下本文ニ
ハ「本地圖ハ日本人ノ手ニテ成レルモノヲ其ノマ、寫シタ
ルモノナレバ何等ソレト異ルトコロ無キナリ 即チ日本帝
國ヲ六十六國ニ分チ各國ニツキテ日本字及「ローマ」字ニテ
其國名ヲ擧ゲ 更ニ又右別圖ニ示セルハ長崎市ヲ含ム九州

ノ一部ニシテ現地ニ就テ一和蘭人ガ長崎市ノアル港灣並ニ
其ノ附近ヲ實寫セシモノニヨリコレヲ寫シトリタルモノナ
リ」ト記述シアリ

(4) 「ギローム・アダマス」ノ航海圖 (同)

偶然マゼラン海峽ヲ通過シ日本帝國ニ達シタル「ギロ
ム・アダマス」ノ航海ヲ「アダマス」ノ知人「ビエル・ヅア
ンダ・アー」ガ近時世ニ公示シタルモノナリ

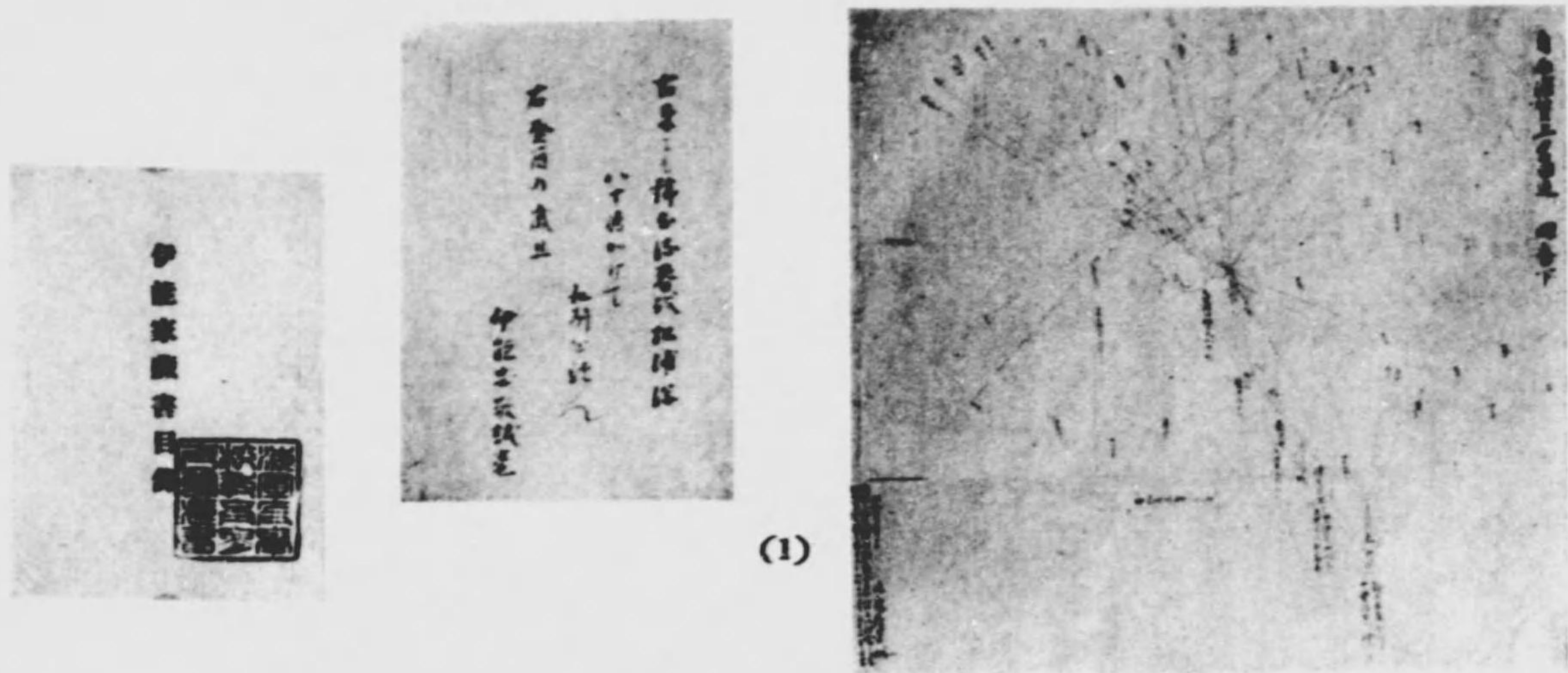
(5) 林子平作日本地圖 (寫) 柳宗悅氏 寄贈

天明五年仙臺林子平ノ作りタル地圖ノ寫シナリ 左側ハ何
レモ林子平ノ著書

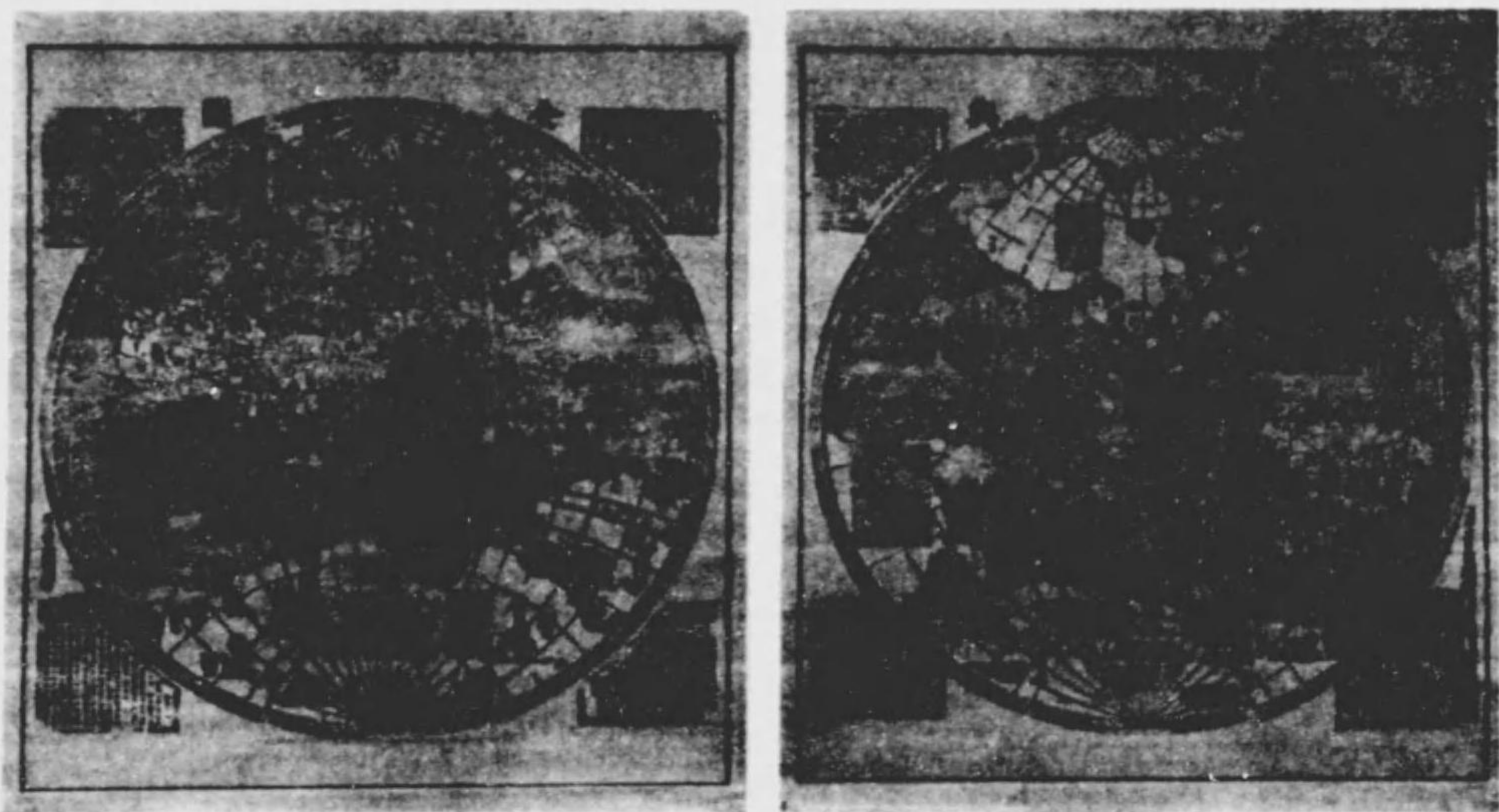
(6) 大日本沿海略圖

木村浩吉少將寄贈

「維新前亡父木村喜毅燈明臺取建調ニ用ヒタル圖ナリ 明
治三十五年誌」トアリ



(1)



(2)



(3)



(4)

古地圖(續)

(1) 伊能忠敬測量原圖

伊能忠敬自筆ノ神奈川附近ノ地圖ナリ 左ハ伊能忠敬筆ノ歌(寫)並ニ伊能家藏書目錄寫ニシテ此二者ハ何レモ古川庄八氏遺族ノ寄贈ニカ、ル

佐藤鐵太郎中將寄贈

(2) 咸豐重版坤輿全圖 (版木 在朝鮮總督府秘庫)

谷口尙眞大將寄贈

之ハ咸豐庚申(我萬延元年)ノ年ニ重版セラレタル二卷ノ世界地圖ナルモ初版ハ數百年前支那ニ於テ初メテ出來セシ東洋最古ノ地球全圖ナリト云フ

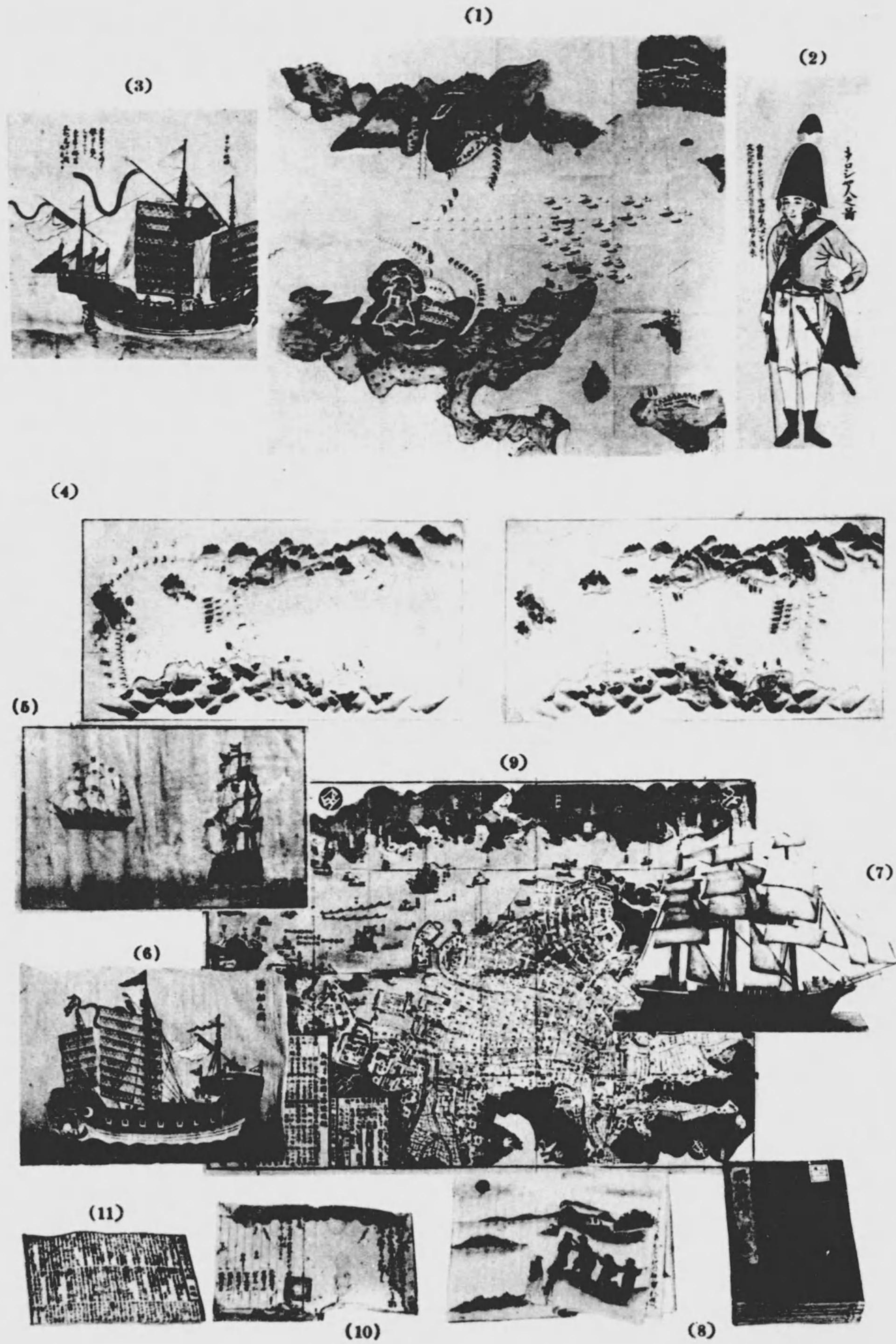
(3) 荷蘭陀萬國圖

田所完造氏寄贈

(4) 「モンタヌス」日本誌

石川登喜造機中將寄托

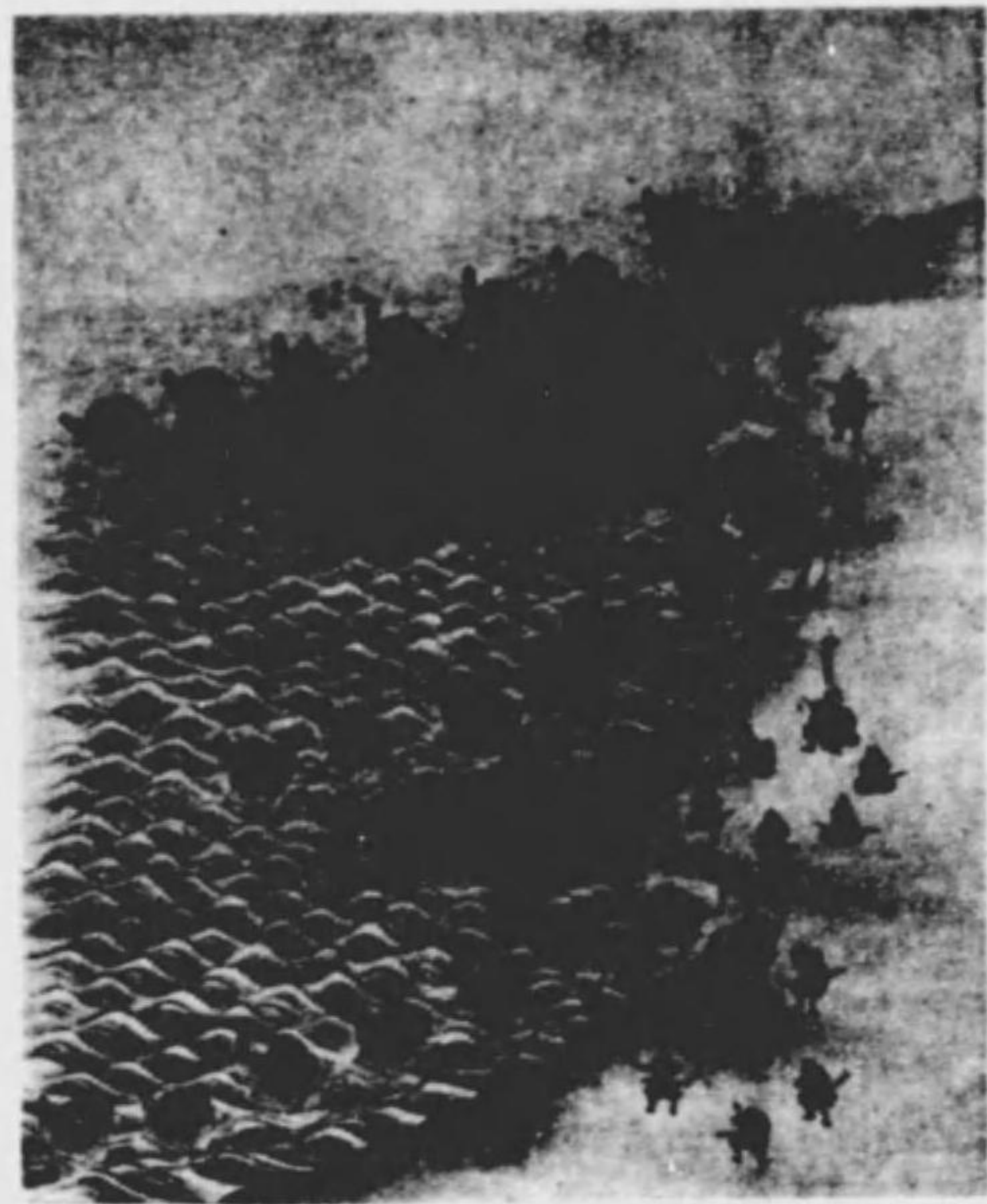
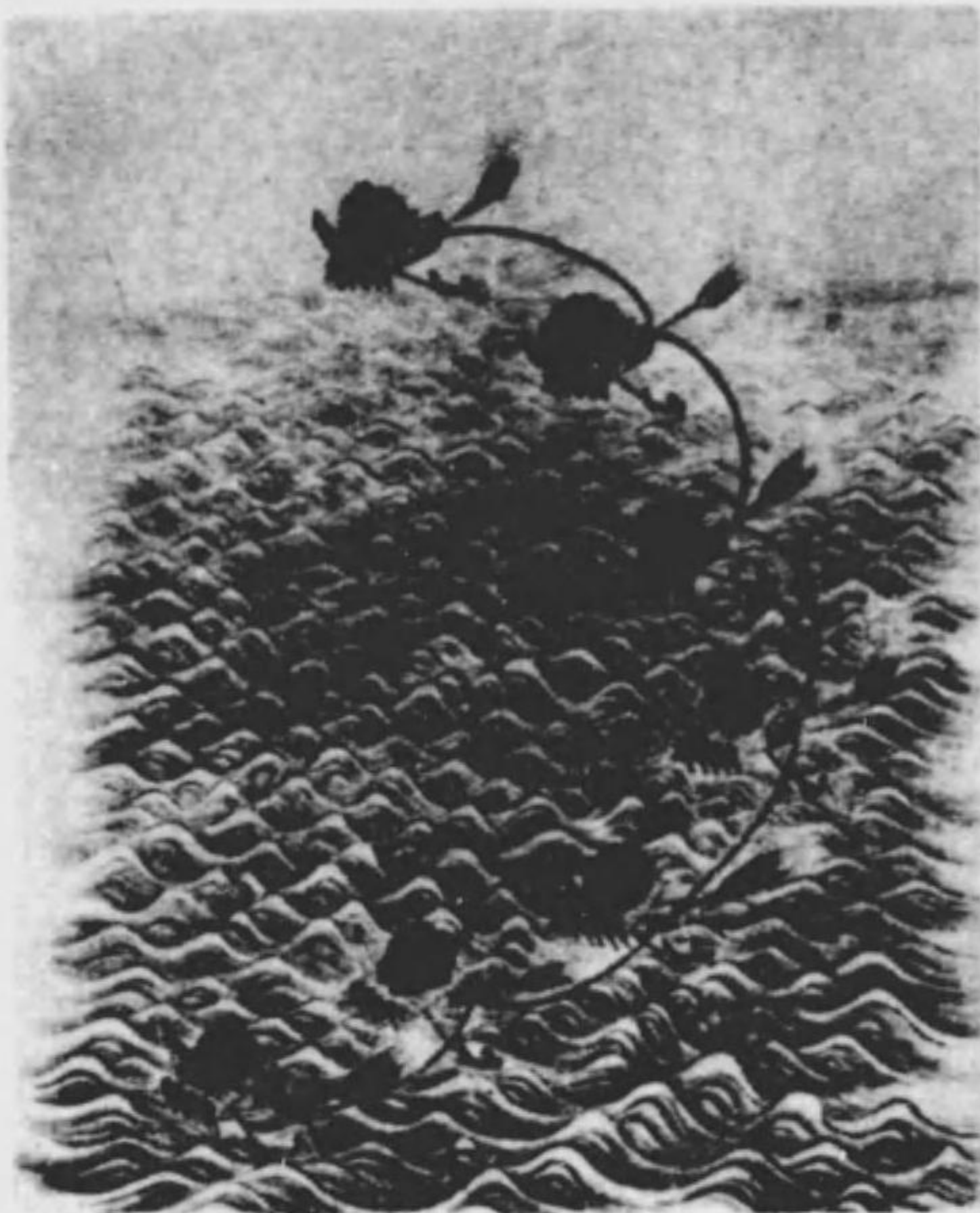
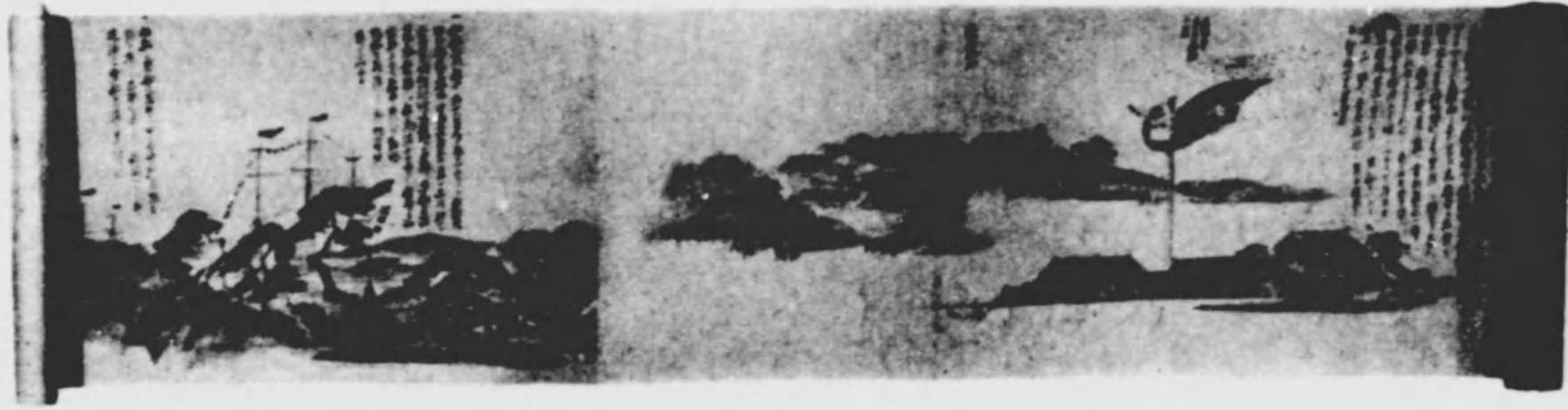
本書ハ蘭人「モンタヌス」ノ所編ニシテ内容ハ第十七世紀ノ初葉ヨリ凡五十年間數回ニ互リテ東印度會社ヨリ日本ニ差遣セラレタル蘭國使節數名ノ見聞實記ヲ經トシ第十六世紀ノ末期以來我國ニ於テ基督教ノ傳播ニ從事セル蘭、西兩國ノ牧師等ノ報告書翰等ヲ緯トシテ織豐時代ヨリ徳川時代ノ初期寛文中ニ至ル約一百年間ノ印象ヲ記述シタルモノナルモ空想的要素多シ



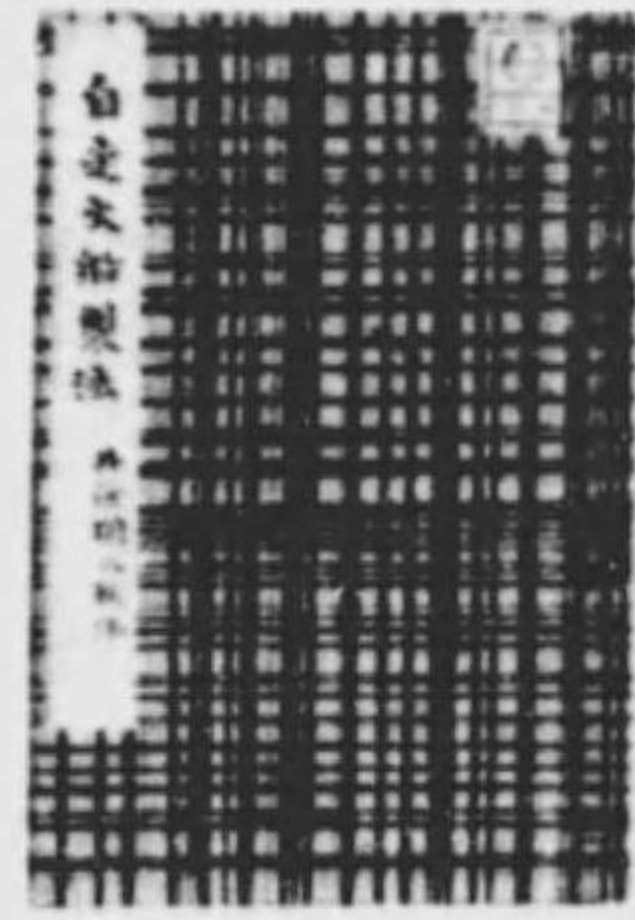
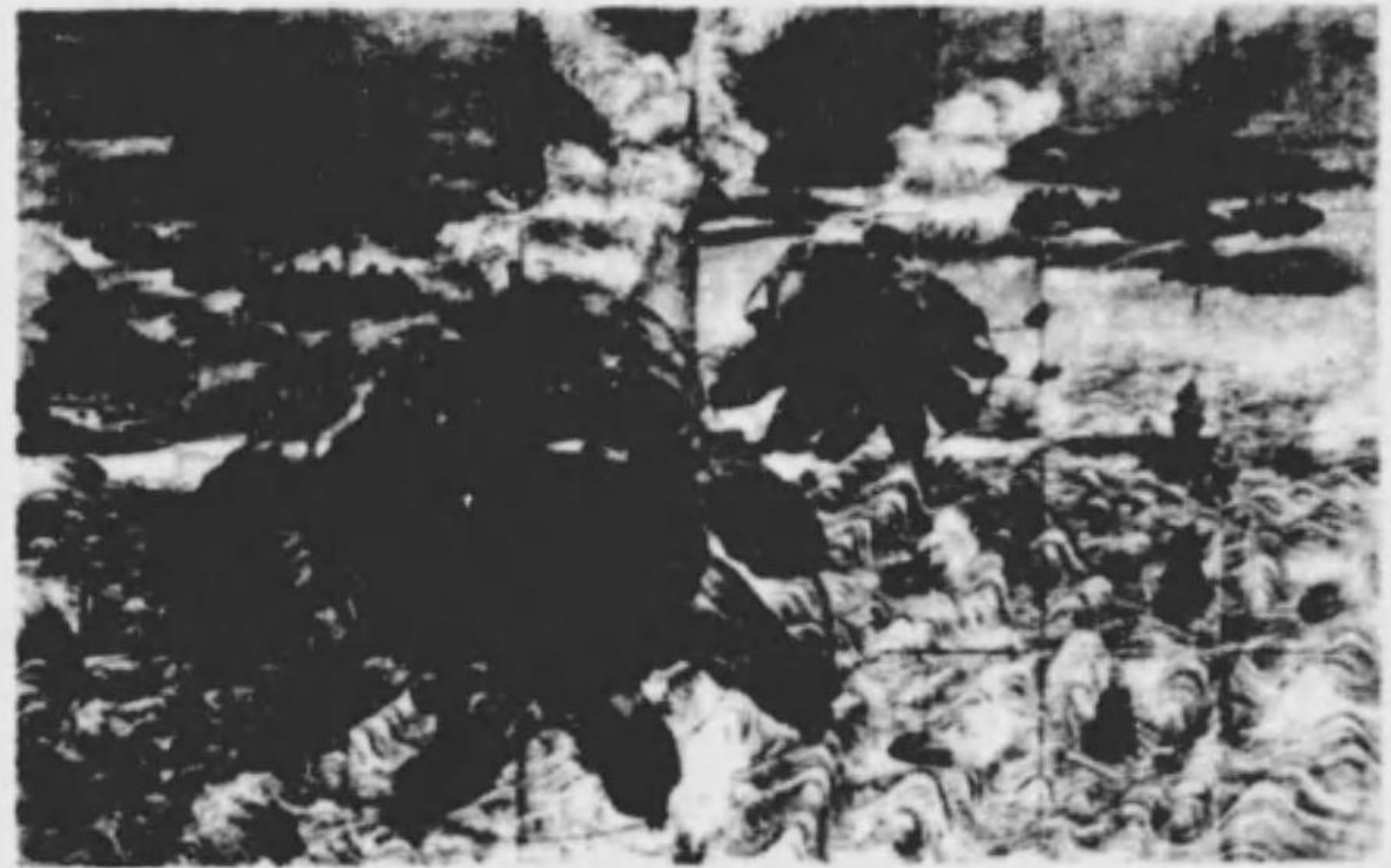
外船來崎

- (1) 長崎港警備圖 (複本) (原本 黒田侯爵家蔵) 谷口尙眞大將寄贈
- (2) 「フロシヤ」人之圖 (長崎版畫) 田所完造氏寄贈
- (3) 「フロシヤ」船圖 (レザノフ) 肖像版畫ナリ 柳宗悦氏寄贈
- (4) 御當番所臺場並ニ御非番所臺場 御筒火通船列圖 (寫) (原本 京都帝國大學圖書館蔵) 外船ノ盛ニ來航セシ當時ノ警備狀況考察ノ一資料タリ
- (5) 和蘭陀船圖 (版畫)
- (6) 唐船圖 (版畫)
- (7) 唐船模型 勝田館主人寄贈
- (8) 環海異聞 (七冊) 仙臺ノ蘭學者大槻茂實(玄澤)ガ志村弘強ト共ニ文化元年前記露使レザノフニ伴ハレテ長崎ニ歸還シタル仙臺石卷ノ漂民津太夫等三名ヲ尋問シ彼等ガ寛政五年漂流ヨリ歸還迄ノ顛末並ニ露國ノ風俗言語等ヲ筆録セルモノナリ
- (9) 肥前長崎地圖 享保二年(前記文化元年ヨリ二年前ナリ)長崎文錦堂板
- (10) 嘉永年間異國船渡來記 (野澤文庫蔵本)
- (11) 嘉永七年海外漂流年代記 (同)

(1)



(2)



(3)



(4)



外船來航ト海防論

(1) (右) 露使節「プーチャチン」旅館眞福寺圖

(幸橋外大火ノ見櫓ヨリ望ム)

(左) 諸船品川沖碇泊遠望圖

(右火ノ見櫓ヨリ新錢座松平肥後守屋敷樹林ヲ隔テ、眺メタル光景)

右二圖何レモ本館ニ於テ最近入手シタルモノニシテ林勝璘命ヲ受ケテ描クモノナリ

(2) 自走火船圖 (複本) (原圖 毛利公爵家藏)

毛利公爵家寄贈

幕末ニ際シ外船諸方ニ來寇シテ物情騷然タリシ時ニ當リ佐藤信淵カ工夫セシ外船燒打法ニシテ外船來ラバ小舟ヲ連ネ柴薪ヲ積ミ出設ノ準備ヲ整ヘ退走砲ノ反動ヲ利用シテ敵艦ニ近ヅキ烽塔筒ノ火繩ニ點火シテ水夫ハ傳馬船ニ乗り移リテ歸レバ其ノアトニテ火船ハ敵船ヲ圍繞シテ之レヲ燒崩スト云フ考案ナリ 勿論一場ノ空想ナランモ以テ當時海防ニ對スル意氣ノ熾ンナリシヲ現フコトヲ得ベシ 下ノ書物ハ信淵自ラ記述セシ説明書ナリ

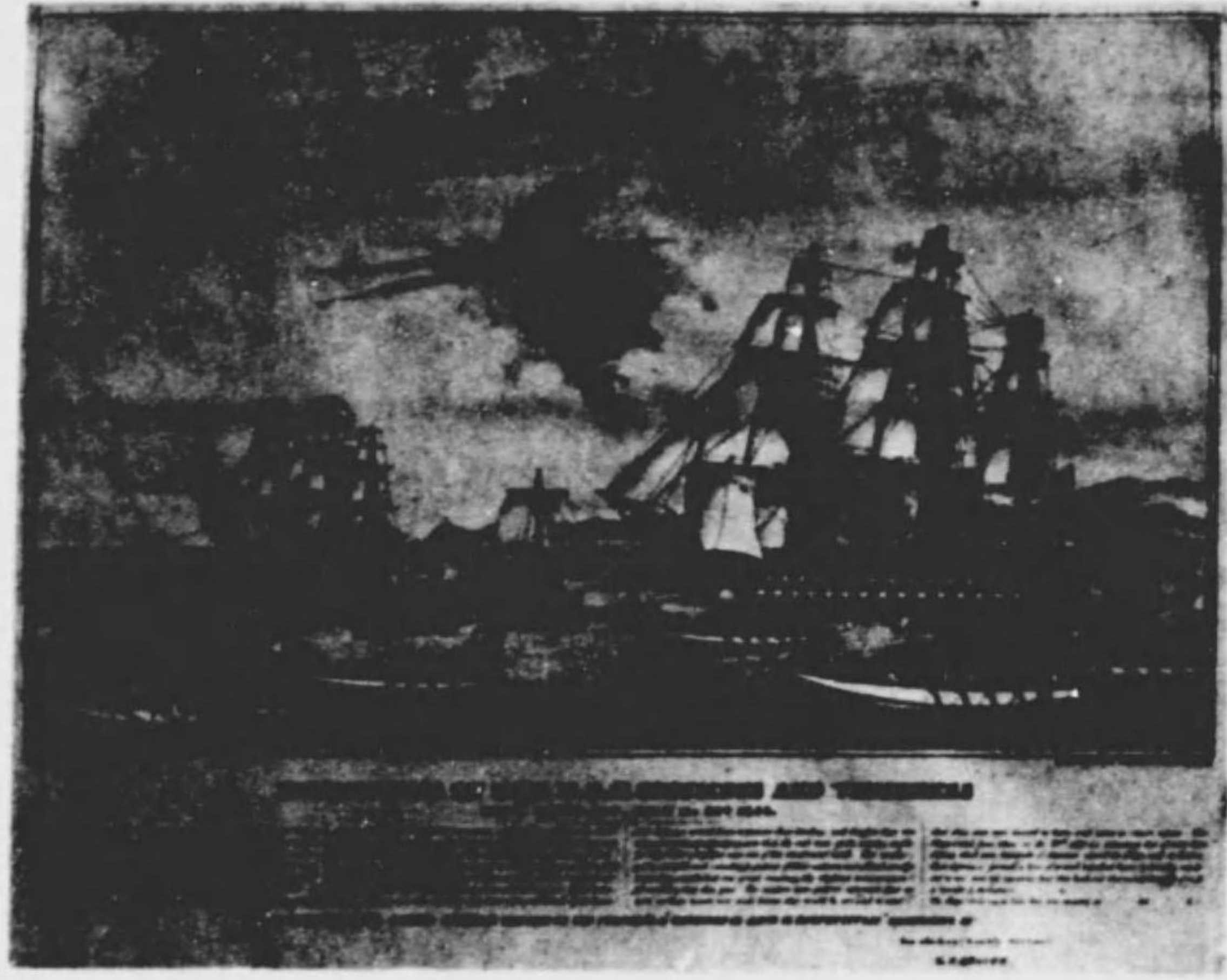
(3) 寶船圖 (版畫)

大久保子爵家寄贈

松平樂翁(寛文年中歿、今ヨ)老中トシテ在職中外船北海ニ出沒スト聞キ沿岸ノ防備ヲ憂フルコト深ク世ニ率先シテ國防ノ急ヲ説ケリ 乃チ世人ヲシテ海外ニ眼ヲ開カシメント欲シ此繪ヲ有名ナル畫家谷文晁ニ畫カシメソレヲ木板ニ起シテ諸大名ニ頒テタリ 樂翁戲題トシテ「此船のよるてふとを夢のまもわすれぬは世の寶也けり」トアルハヨク此ノ意ヲ盡ス 即チ本圖ノ如キ外船ガ我沿岸ヲ襲ヒ來ル日アラソコトヲ夢寐忘ル、コト勿レト云フ意味ヲ元日ノ夜吉夢ヲ見ル爲ニ用ヒラル、寶船ニ寓シ夜寢テモ夢ニマデ見ルヤウニセヨト訓シタルモノナリ

(4) 幕末海防ニ關スル諸書

弘化嘉永頃ニ至リ外船ノ來航頻々國內騷然タルニ際シ幾多ノ海防ニ關スル書輩出セリ 今本寫眞中本館藏本トシテ最モ重要ナルモノハ江戸ノ人藤森大雅ガ嘉永六年ニ起草シタル「海防備論」ナリ 本書ハ儒者服部甫庵ノ舊藏ニシテ甫庵ガ大雅ニ求メテ記サシメタル大雅ノ自筆ニカ、ル識アリ 「海防備論」田所完造氏寄贈(ハ一七五一年(寶曆元年)和蘭ニ於テ刊行セラレタル砲術書ヲ文化五年本木正榮ガ翻譯セルモノナリ 西洋砲術書邦譯ノ最初ノモノナリ



(1)



(2)



(3)



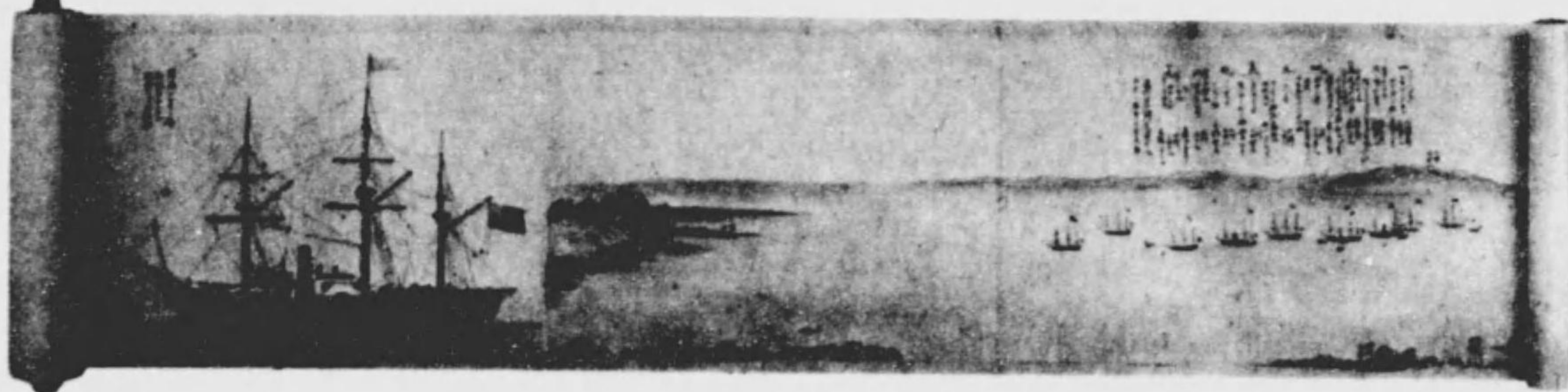
(4)



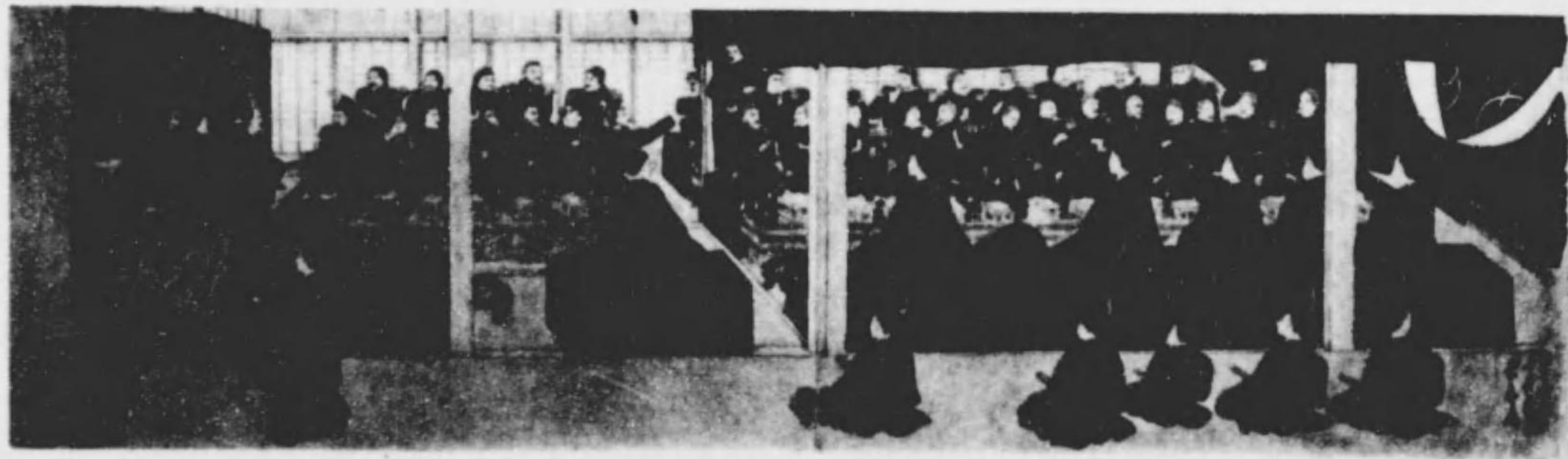
(3)



(5)



(6)



(7)

米艦來航

(1) 米艦「コロンブス」號及「グインセン」號ノ江戸灣出發ノ圖 (寫眞)

弘化三年(一八四六年)米艦「コロンブス」及「グインセン」ノ二艦ヨリ成ル艦隊ハ提督「ビッドル」ノ指揮ノ下ニ日本トノ修好通商ノ道ヲ開カントシテ江戸灣ニ入港セリ。此時ハ未ダ期熟セズ彼等ハ修好開始ニ就テハ要領ヲ得ズシテ辭去セシモ之ハ後日「ベルリ」來朝ノ先驅トシテ重要ナル役割ヲ演ジタルモノナリ。此畫ハ二艦ガ我船ニ圍マレ江戸灣出港ノ時ノ光景ニシテ原畫ハ在泊中ノ光景畫ト共ニ後我海軍當局ニ贈呈セラレタルモノナリ。

(2) 米艦隊司令官「ビッドル」提督 (寫眞)

(3) 金洋一覽

嘉永七年(安政元年一八五四年)一月十六日「ベルリ」ガ軍艦九隻ヲ率キテ相州浦賀ニ再來直ニ神奈川沖ニ投錨、折衝ノ結果横濱ニ上陸國書ヲ捧呈ヲナシタル時ノ繪卷ニシテ「ベルリ」ノ艦隊、「ベルリ」以下ノ乗組員、横濱海岸應接所、献上品、其ノ他ヲ詳畫セリ。下卷ニ附シタル仙臺ノ蘭學者大槻磐溪ノ跋文ニヨレバ磐溪ガ主命ヲ帶ビテ金川ニ至リ夷情探索ノ爲滯留數日タマシ津山ノ畫工銀形翁同宿ニアリヨツテ翁ニ囑シテ親シク見ル所ヲ圖セシメ歸後更ニ之ヲ増補ニ卷トナシ裝幀珍藏セシニ御典醫熊澤翁コレヲ見テ頗ル奇トシ借リ歸リテ阿鶴トイフ畫工ニ之ヲ寫サシメ裝成ノ上磐溪ノ許ニ到リ題字ヲ需メシヨリ「金洋一覽」ノ大字ヲ書シ更ニ跋文記ス云々。嘉永甲寅閏七月十七日其師磐水先生ノ子大槻崇萬年橋西寧靜閣中ニ於テ識ストアリ(乾)長三十四尺七寸(坤)二十五尺二寸

(4) 「ベルリ」提督寫眞 (原寫眞 櫻井省三氏藏)

軍令部長寄贈

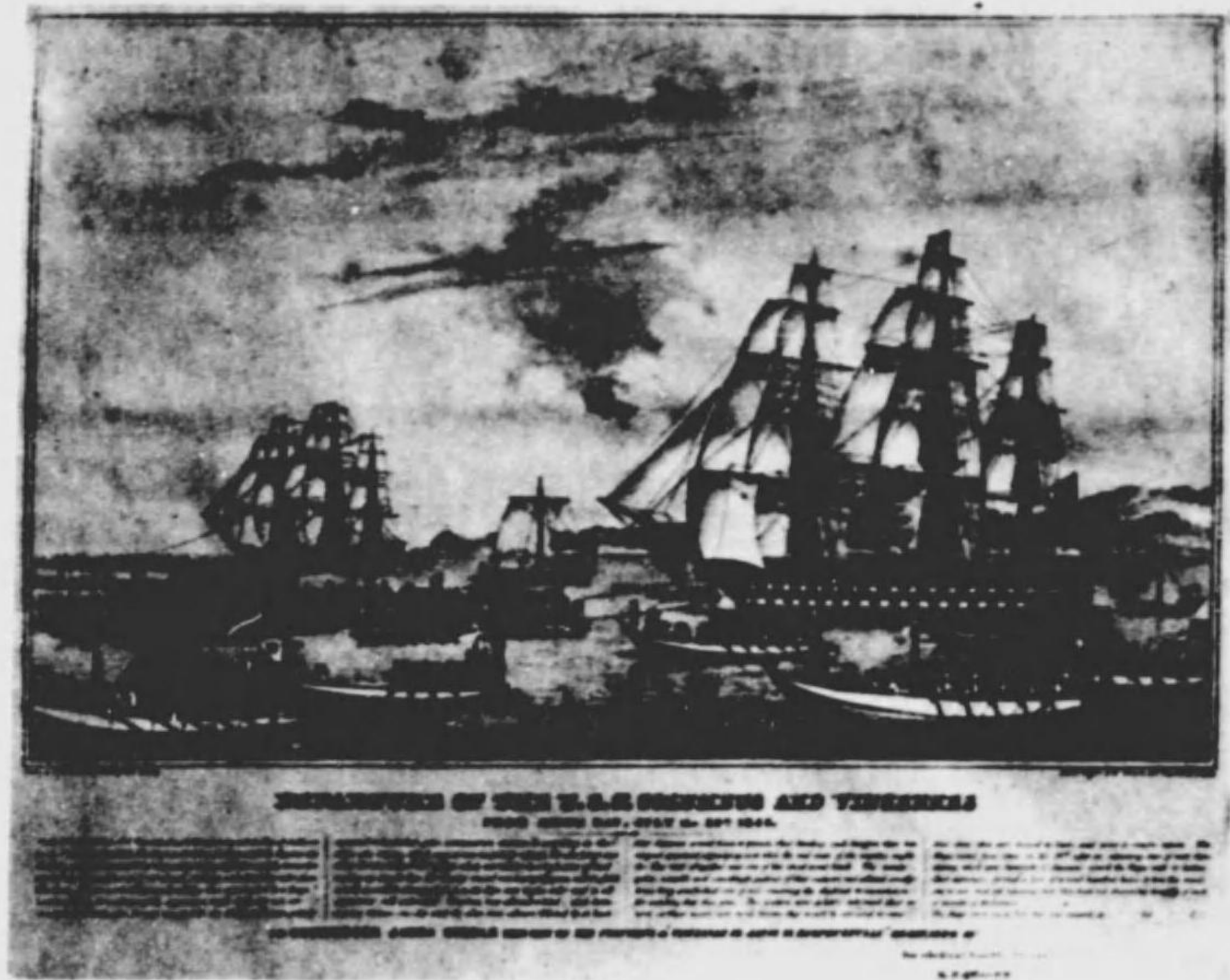
無朝無禰正裝ヲ着用セル「ベルリ」提督ノ珍シキ寫眞ナリ

(5) 「ベルリ」艦隊在泊圖 (金洋一覽上卷ヨリ)

(6) 「ベルリ」艦隊將卒上陸地ニ向フノ圖 (金洋一覽下卷ヨリ)

左ニ見ユルハ旗艦「ポーハタン」ナリ

(7) 「ベルリ」響應圖 (原圖 山形縣 石垣吉六郎氏藏)



(1)



(2)



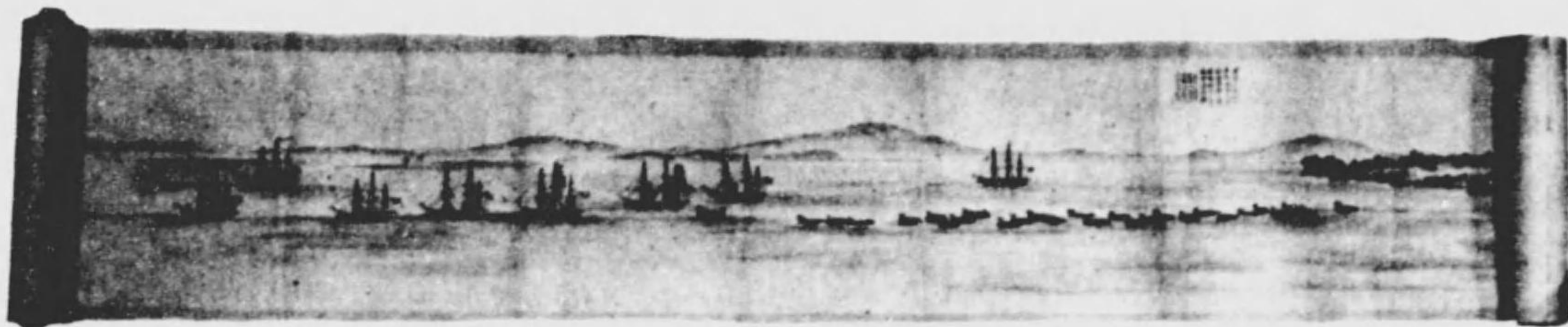
(3)



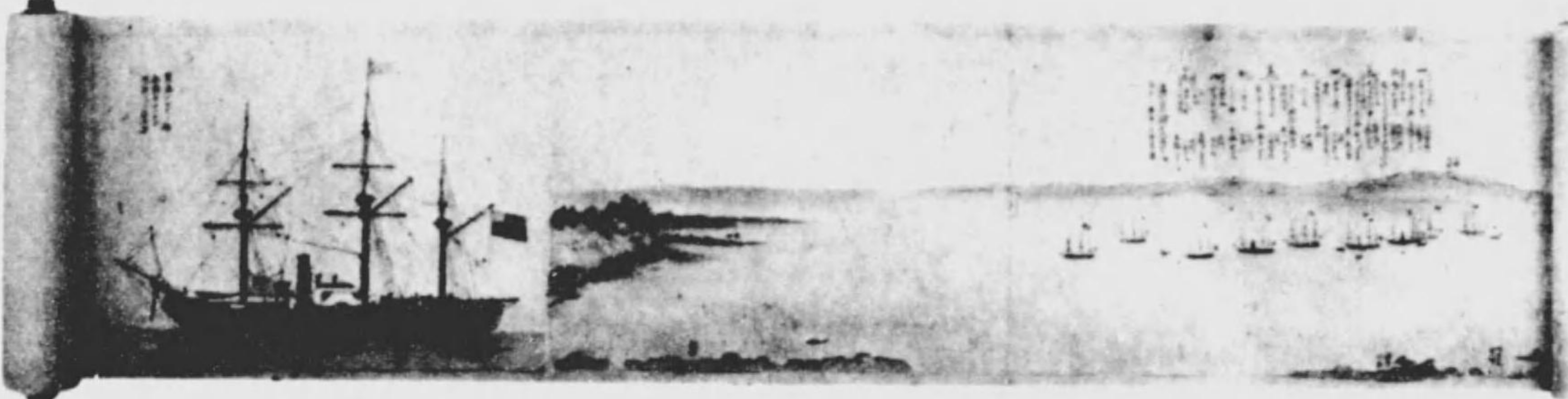
(4)



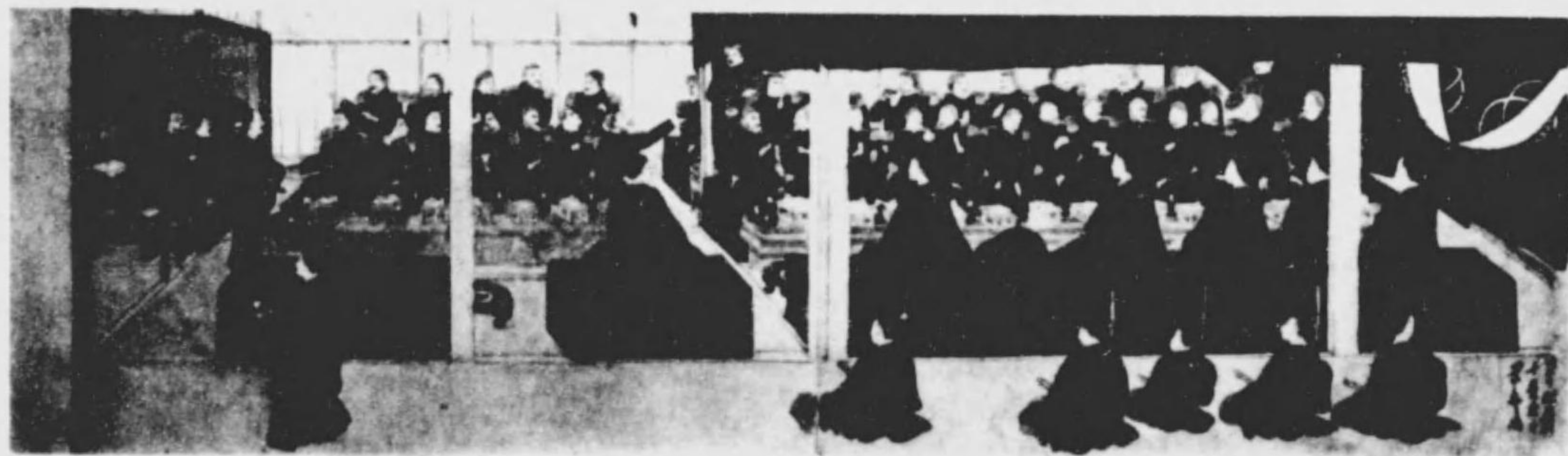
(3)



(5)



(6)



(7)

米艦來航

(1) 米艦「コロンプス」號及「ヴァインセンス」號ノ江戸灣出發ノ圖 (寫眞)

弘化三年(一八四六年)米艦「コロンプス」及「ヴァインセンス」ノ二艦ヨリ成ル艦隊ハ提督ビッドルヲ指揮シテ江戸灣ニ入港セリ。此時ハ未タ期熟ニシテハ要領ヲ得ズ本トシテ修好通商ノ道ヲ開カントシテ江戸灣ニ入港セリ。此時ハ未タ期熟ニシテハ要領ヲ得ズシテ辭去セシメ之ハ後日「ペルリ」來朝ノ先驅トシテ重要ナル役割ヲ演シタルモノナリ。此畫ハ二艦ガ我艦ニ對マレ江戸灣出發ノ時ノ光景ニシテ原畫ハ在泊中ノ光景畫ト共ニ後我海軍當局ニ贈呈セラレタルモノナリ。

(2) 米艦隊司令官「ビッドル」提督 (寫眞)

(3) 金洋一覽

嘉永七年(安政元年)一八五四年一月十六日「ペルリ」方軍艦九隻ヲ率キテ相州浦賀ニ再來直ニ神奈川沖ニ投錨、折衝ノ結果横濱ニ上陸國書ヲ捧呈ヲナシタル時ノ繪卷ニシテ「ペルリ」ノ艦隊、以下ノ軍組員、横濱海岸應接所、献上品、其ノ他ヲ詳畫セリ。下卷ニ附シタル仙臺ノ蘭學者大槻實漢ノ跋文ニヨレバ實漢ガ主命ヲ帶ビテ金川ニ至リ夷情探察ノ爲滞留數日タマ、津山ノ畫工鐵形翁同宿ニアリヨツテ翁ニ賜シテ親シク見ル所ヲ圖セシメ歸後更ニ之レヲ繪補ニ卷トナシ裝幀珍域セシニ御覽實漢澤翁コレヲ見テ頗ル奇トシ借リテ阿鶴トイフ畫工ニ之レヲ寫サシメ裝成ノ上發漢ノ許ニ到リ題字ヲ需メシヨリ「金洋一覽」ノ大字ヲ書シ更ニ跋文記ス云々。嘉永甲寅閏七月十七日其師實漢先生ノ手大槻實漢萬年橋西家靜閣中ニ於テ識ストアリ(實)長三十四尺七寸(坤)二十五尺二寸

軍令部長寄贈

(4) 「ペルリ」提督寫眞 (原寫眞 櫻井省三氏藏)

無朝無袴正裝ヲ着用セル「ペルリ」提督ノ珍シキ寫眞ナリ

(5) 「ペルリ」艦隊在泊圖 (金洋一覽上卷ヨリ)

(6) 「ペルリ」艦隊將卒上陸地ニ向フノ圖 (金洋一覽下卷ヨリ)

左ニ見ユルハ旗艦「ボート」ナリ

(7) 「ペルリ」響應圖 (原圖 山形縣 石垣吉六郎氏藏)



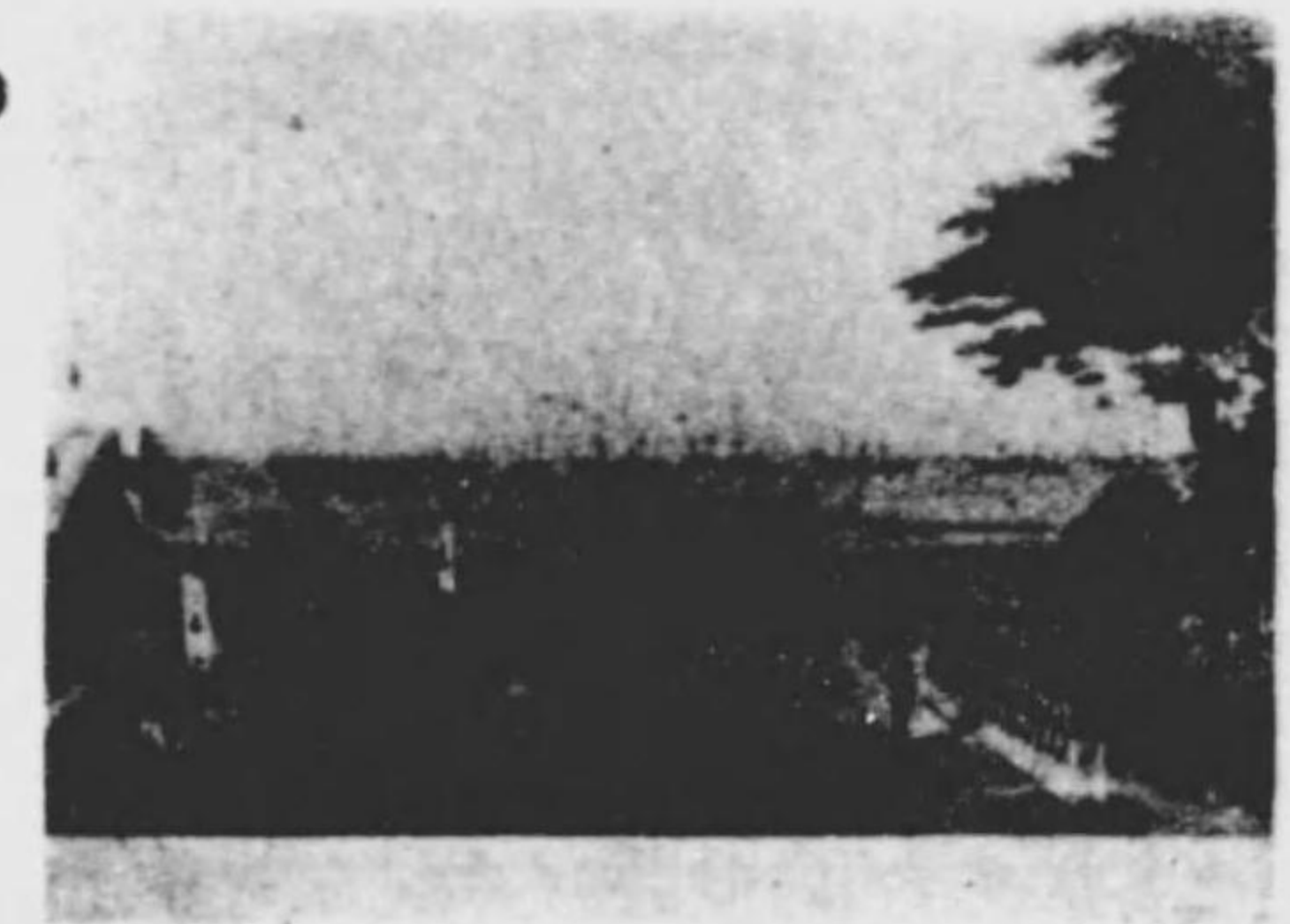
(2)



(1)



(3)



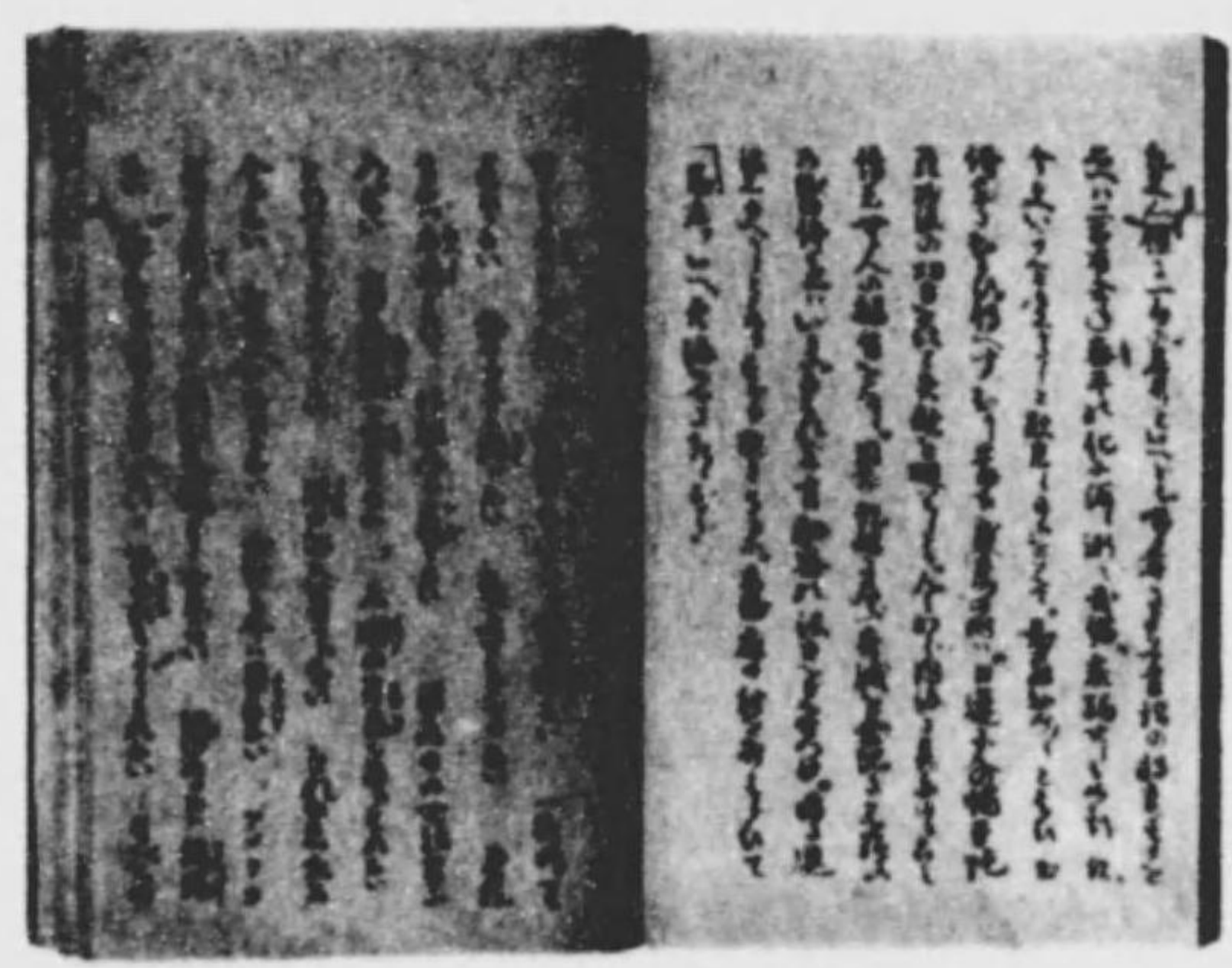
(4)



(5)



(6)



米艦來航(續)

- (1) 嘉永六年東夷船海岸固營圖
嘉永六年「ペルリ」が第一回來朝時其ノ入津セシ浦賀邊一帶ノ各藩ニヨル警備分擔ノ有様ヲ示シタルモノナリ
中四角ノ「マートク」ハ臺場ノ位置ヲ示ス
野村吉三郎大將寄贈
- (2) 下田附近海圖
「ペルリ」來航當時ノ測量ニ係ル下田港附近ノ海圖ナリ
野村吉三郎大將寄贈
- (3) 「ペルリ」遠征記 三卷
内一卷 野村吉三郎大將寄贈
「ペルリ」ノ日本遠征ノ報告書ニシテ條約締結ノ事情、航海、氣候、日本國情、施設、風習、產物等百般ノ事ヲ詳述シ着色美麗ナル挿繪又多シ 一八五六年華盛頓發行 絶版ニシテ容易ニ得難キ珍本ナリ
- (4) 「ペルリ」横濱上陸光景
鈴木貫太郎大將寄贈
錦繪ヲ寫眞ニセシモノナリ
- (5) 「ペルリ」艦隊使用ノ彈丸
「サミュエル、セーボレー」氏寄贈
嘉永六年「ペルリ」ノ率ユル米國艦隊小笠原群島父島ニ入港碇泊中教練射撃ニ使用セルモノナリト稱セラル 直径一七厘重量二三粒
- (6) 當時ノ落書集 (墨畔叢書中)
「ペルリ」來朝頃ノ國情ヲ狂句、淨瑠璃、常盤津、川柳等ニ寓シテ述べ人情ノ機微ニ觸レタル記録集ナリ



君澤形船製造關係資料

安政元年伊豆下田港ニ碇泊中ノ露國軍艦「デアアナ」號海嘯ノ爲ニ大破シ回航ノ途中沈没シタルヲ以テ翌安政二年露人ハ下田浦ニ於テ其ノ代艦トシテ「スターネル」形二艘ヲ建造セリ 之レ我國ニ於テ洋式船舶建造ノ法ヲ知り得タル嚆矢ニシテ之ヲ機會トシテ我國造船術ハ劃期ノ進展ヲ遂グルニ至レリ 當時各藩ヨリ見學ノタメ人ヲ派シタルガ福岡藩ヨリモ御船手梅崎重吉ヲ派遣セリ 以下梅崎亮吉氏寄贈ノモノハ前記重吉が見學セシトコロヲ記録セシモノニシテ當時ノ事情ヲ知ル絶好ノ史料ト云フベシ

- (1) 船將「ブーチャチン」肖像 (原寫眞 櫻井省三氏藏) 軍令部長寄贈
- (2) 露艦「デアアナ」號 (同) 同
- (3) 同船製造所伊豆下田浦ノ圖 梅崎亮吉氏寄贈
- (4) 造船用圖 同
- (5) 「スターネル」進水ノ圖 同
- (6) 同船製造法說明書 同
- (7) 露艦知耶那造艦碑文拓本 谷口尚眞大將寄贈

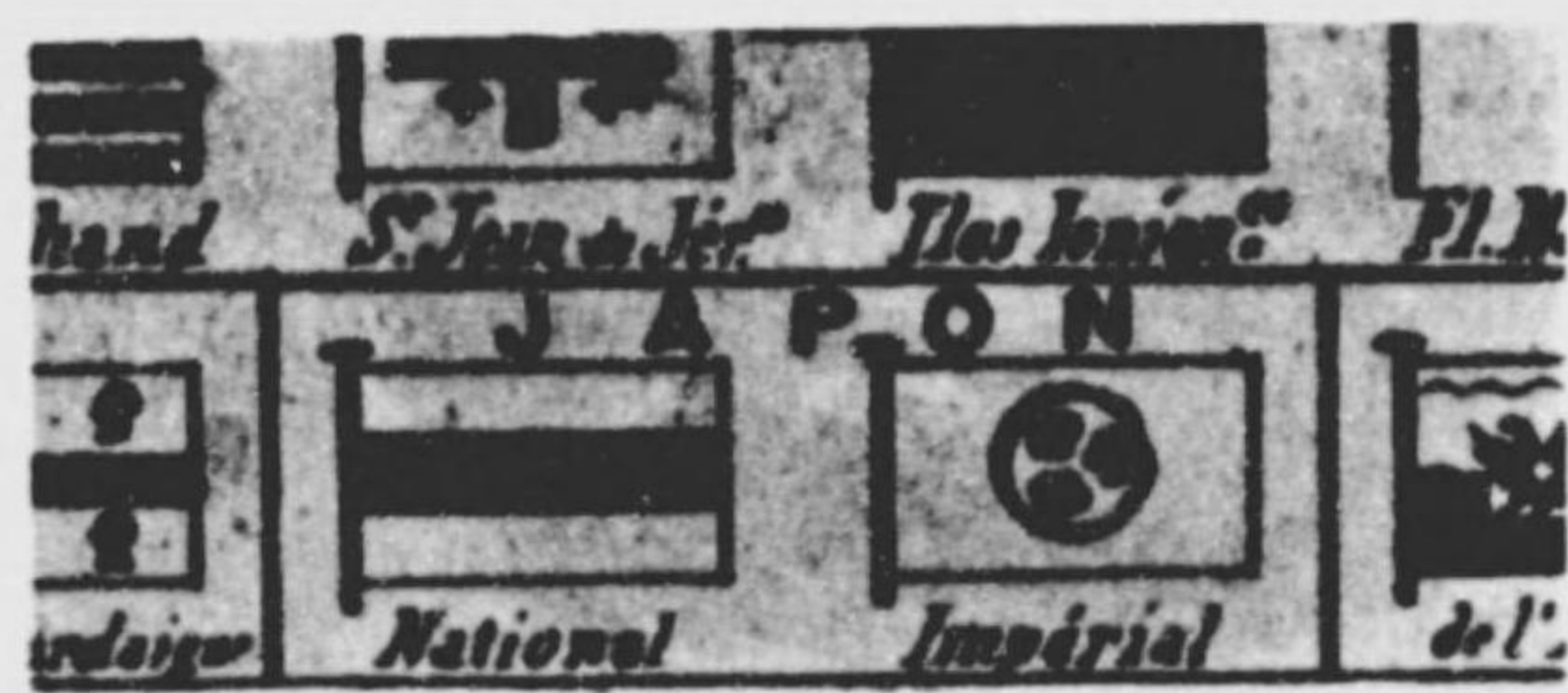
當時ヲ記念スル爲大正十二年現地下田ニ建設セラレタルモノナリ



(1)



(2)



堀田大老遺品並ニ佛國製望遠鏡

(1) 堀田正睦遺品

堀田備中守正睦ハ幕末我邦ノ國歩艱難ノ時ニ當リ着々西洋文明ヲ輸入シ又自ラ海外ノ形勢ニ通ジ嘉永六年「ベルリ」來航通商ヲ求メシ時上書シテ開國ノ不可ヲ説キ武備ヲ擴張スベキコトヲ論ゼリ 阿部正弘ノ死後ハ老中首座トシテ内治外交一切ノ事務ヲ處理シ「ハリス」下田ニ來リテ形勢頗ル穩カナラザルニ際シテハ彼ハ開國ノ免ルベカラザルヲ知り群議ヲ排シテ遂ニ米國ト通商條約ヲ締結セリ 之ガ爲メ世論紛々トシテ諸方ニ志士奮起シ遂ニハ井伊大老ノ暗殺ニ迄發展スルニ至レリ 本品ハ彼ガ幕府大老トシテ開國通商ノ勅許ヲ得ベク京師ニ使セシ御當時ノ外國文化ヲ説明スル爲メ持參セシ資料ノ一部ナリ

堀田伯爵家寄贈

(イ) 遠眼鏡

(ロ) 船時計

(ハ) 黒襪「バロメーター」

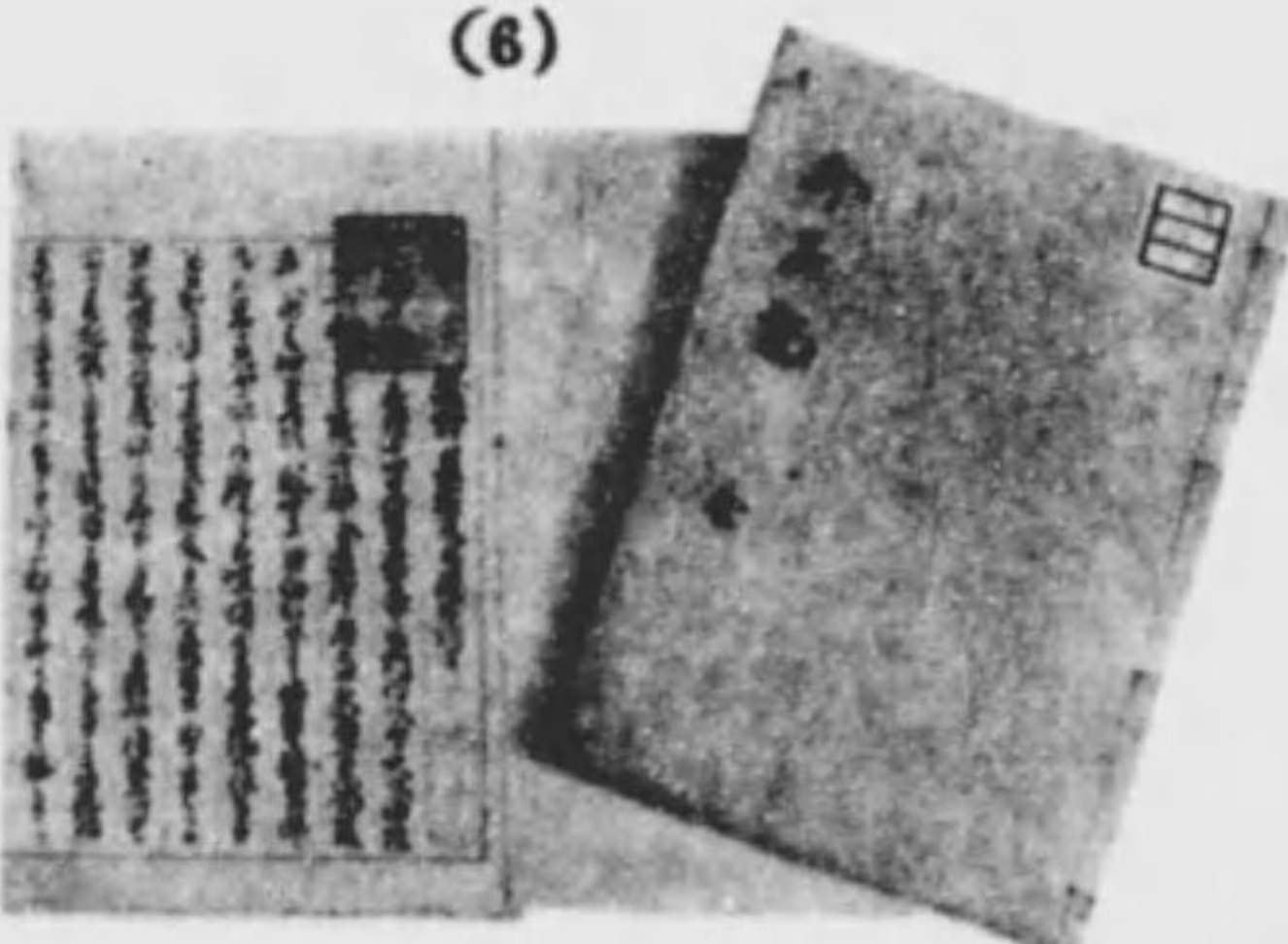
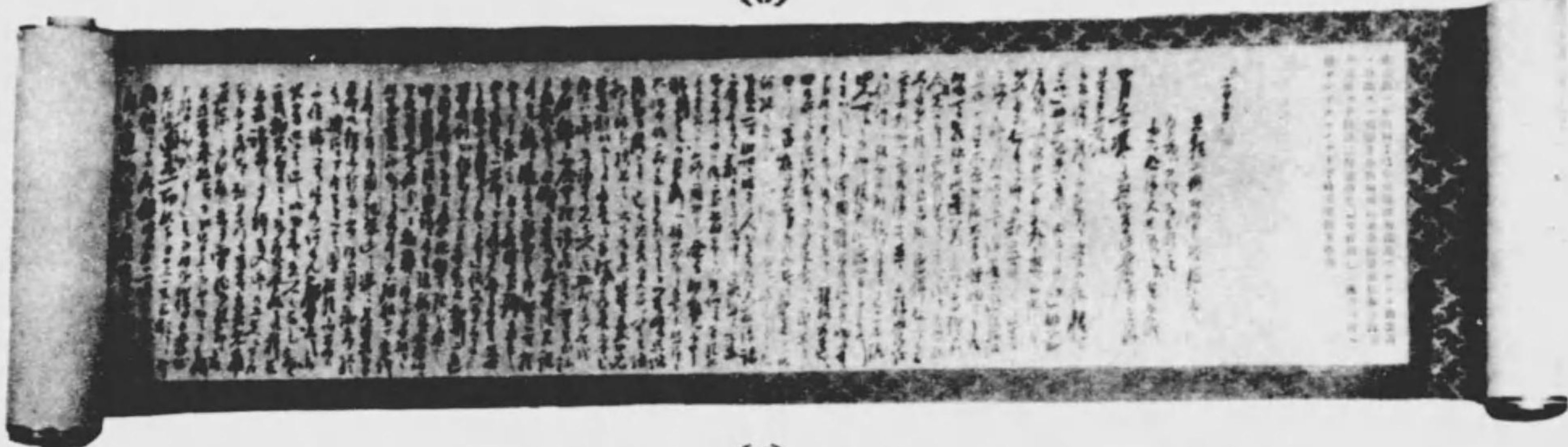
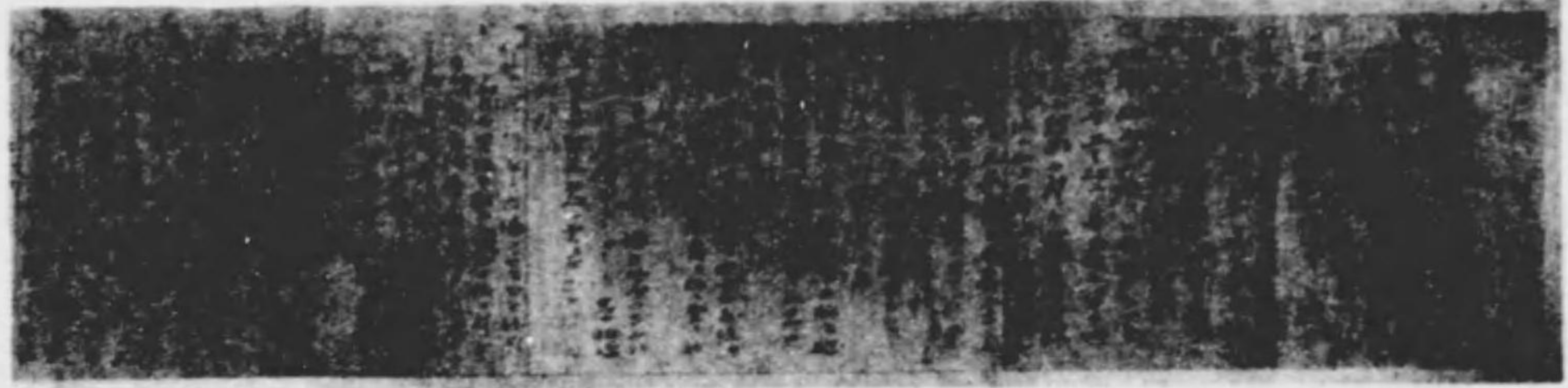
(ニ) 空氣銃

(2) 佛國製望遠鏡

佐世保鎮守府寄贈

幕府時代ニ將來セラレタル佛國製望遠鏡ニシテ列國ノ旗ヲ外筒表面ニ彩畫ス 本邦ノモノ二個(一)「帝室旗」ト註シテ徳川家葵紋ヲ附シ他ハ不明ナル國様ヲ描キテ「國旗」ト註ス)アリ 下ニ擴大別寫ス 按ズルニ此望遠鏡ハ佛蘭西「ナポレオン」三世ヨリ將軍家茂ニ贈リタルモノ(家茂之ヲ佐藤政資ニ與ヘ現ニ山形縣石垣吉六郎氏藏)ニ酷似スル所ヲ以テ見レバ恐ラク當時將軍家ニ贈ラレタルモノ、一ナランカ

不忠不孝渡邊登



(1)

(2)

(3)

(4)

(6)

(5)

幕末志士

(1) 渡邊華山遺書(寫)

谷口尙眞大將寄贈

華山ハ幕末ニ於テ心ヲ民事ニ用ヒ外警ニ注意シ又「憤慨論」ヲ著シテ外船打拂ノ不可ヲ論ジ終ニ小人ノ讒ヲ受ケテ獄ニ投ゼラレ天保十二年自盡ス之ハソノ時ニ長男ニ遺シタル書ノ寫シナリ

(2) 高野長英砲場土圖(寫眞)

(原本 宇和島 錦木讓氏藏) 西園寺源透氏寄贈

長英蘭學ニ秀テ又深ク華山ニ服シ「夢物語」著シテ海外ノ形勢ヲ叙ベ拂環ノ不可ヲ論ジ獄ニ投ゼラレタルモ獄舎ノ火災ニ際シテ獄ヲ出テ東西ヲ流浪シ後高柳柳之助ト假稱シ江戸ニアリテ鑄砲ノ事ヲ教ユ 嘉永三年幕吏ニ捉ハレントシテ自殺ス 本寫眞ハ彼ガ宇和島ニテ砲臺ヲ築成シタル時ノ圖面ニ對シテ認メタル説明書ナリ

(3) 橋本左内書翰(寫)

山澄貞次郎中佐寄贈

左内ハ醫術及蘭學ニ精通シ又政治外交ニ於テ見識高カリシモ安政ノ大獄ニ際シテ禁錮セラレ遂ニ斬ラレ 本書翰ハ安政四年亞墨利加使節「ハリス」渡來後初メテ登城セシ頃福井藩目付兼學監村田巳三郎氏へ贈リタルモノナリ

(4) 吉田松陰手簡其他(寫)

松陰ハ萩ニ松下村塾ヲ開キテ諸生ヲ輩陶シ尊王ノ大義ヲ唱ヘタルモ安政ノ大獄ニ際シテ捕ヘラレテ斬ラレ

「天下非一人天下説」ハ齋藤榮藏ノ述作ニ對シ松陰ガ批評ヲ加ヘタルモノニシテ稍薄ク見ユル文字ハ松陰ノ自筆ナリ 「村塾策問一道」ハ安政五年松下村塾ニ於テ課シタル作文題目ノ説明ニシテ塾生ガ之ヲ活字ニ起シタルモノナリ 手簡(寫) 土井幸輔氏寄贈)ハ松陰ガ萩ノ野山獄中ヨリ妹兒玉千代氏ニ與ヘタル書翰ニシテ安政六年四月十三日ノ日附アリ

(5) 坂本龍馬自筆和歌短冊

谷口尙眞大將寄贈

龍馬ハ勝海舟ノ門客トナリテ航海水戰ノ術ヲ學ビ土佐ニ海援隊ヲ組織シ又勤王倒幕ノ志止ミ雖ク身ヲ挺シテ活躍シタルモ遂ニ暗殺セラレ 和歌短冊ハ元永井潜博士ノ所藏ニカカリシモノ、尙僚ハ公文菊池畫伯筆ニ成ルモノ、複製(永野修身大將寄贈) 海援隊藏版書ハ龍馬ノ起シタル海援隊ニテ鑄刻セシモノナリ 閑愁錄ハ寺石正路氏寄贈

(6) 淺野長矩及刃傷候次第並ニ介石記

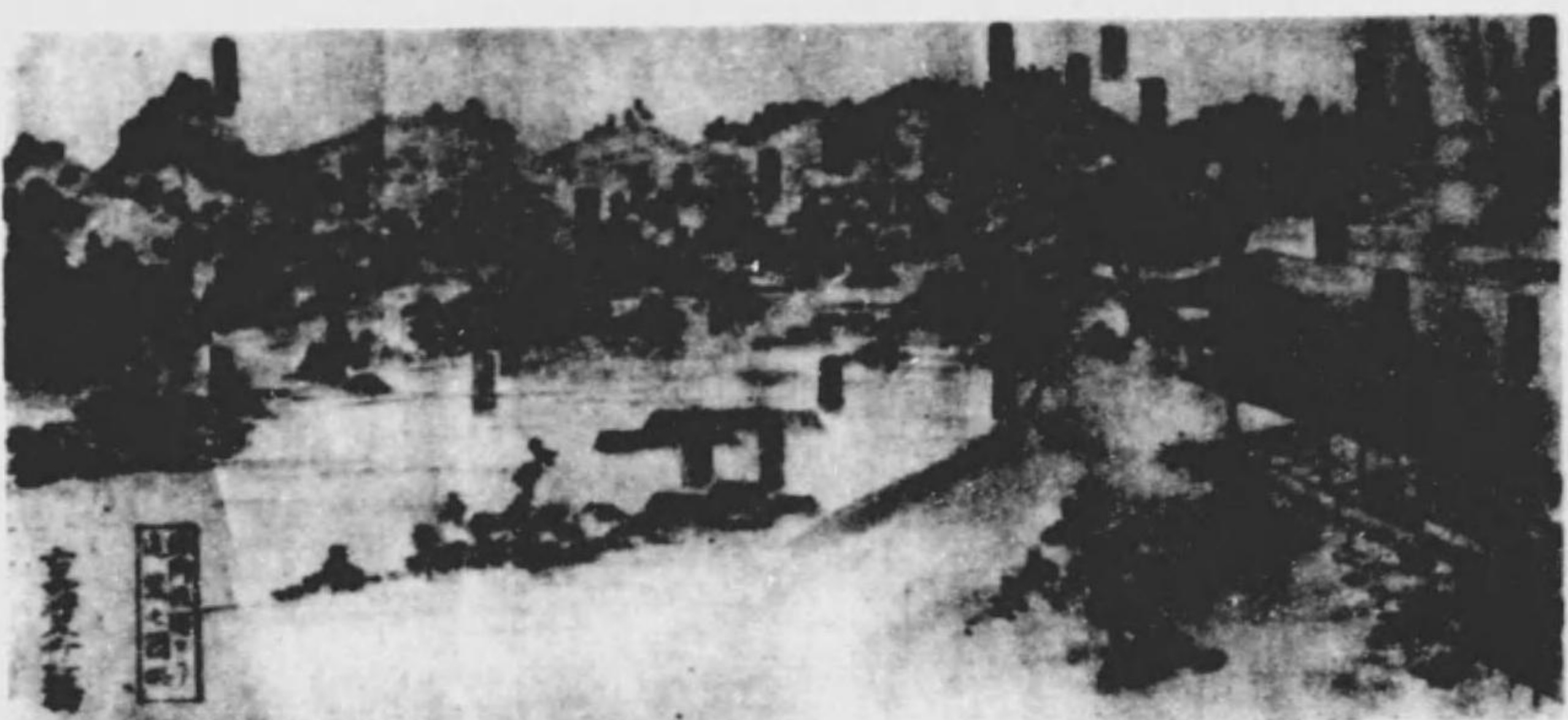
小林淳氏寄贈

萬延二年福井清成ノ奥書アリ 何レモ赤穂義士ニ關スル著述ナリ

(1)



(2)



(3)

Handwritten Japanese text, likely a record or document related to the training school or its activities.

(4)



帝國海軍草創 (長崎海軍傳習所)

帝國海軍ハ安政二年十月長崎ニ創建セラレタル海軍傳習所ニ端ヲ發ス 諸取締永井尚志(玄蕃)ノ統制ノ下ニ幕府ヨリ 簡拔派遣セラレタル傳習生ガ關人教師ニ就キ和蘭ヨリ献上セラレタル蒸汽船「スームピング」(觀光丸)ヲ練習船ト シ西役所ヲ教場トシテ航海、運用、造船等ノ海軍術ヲ傳習セリ 傳習生中ニハ矢田堀景藏、勝麟太郎(海舟)又第二回 生トシテハ榎本釜次郎(武揚)、肥田瀨五郎等ノ俊秀アリ 安政四年永井ノ後任トシテ木村圖書來崎シ盡ス所アリタル モ既ニ傳習ノ事緒ニ就キタルヲ以テ安政六年江戸ニ操練所ヲ設クルコト、ナリタルヲ機トシ開始以來五年未滿ニシテ 閉鎖セラレタリ カクシテ此傳習所ハ幾多ノ要路ニ立ツ人物ヲ養成シ帝國海軍建設ノ輝カシキ第一歩ヲ履ミ出シ爾後 急速ニ異常ノ發展ヲ遂グルコト、ナリヌ

(1) 長崎港 圖

木村浩吉少將寄贈

安政二年(即チ海軍傳習所ノ設ケラレタル當時)筆寫ノ長崎地圖ニシテ元岡部長崎奉行ノ所持セシモノ海軍傳習 所第二次監察木村圖書ノ手ニ渡リテ襲藏セラレタルモノナリ

(2) 同 (西役所ヨリ遠望ノ圖)

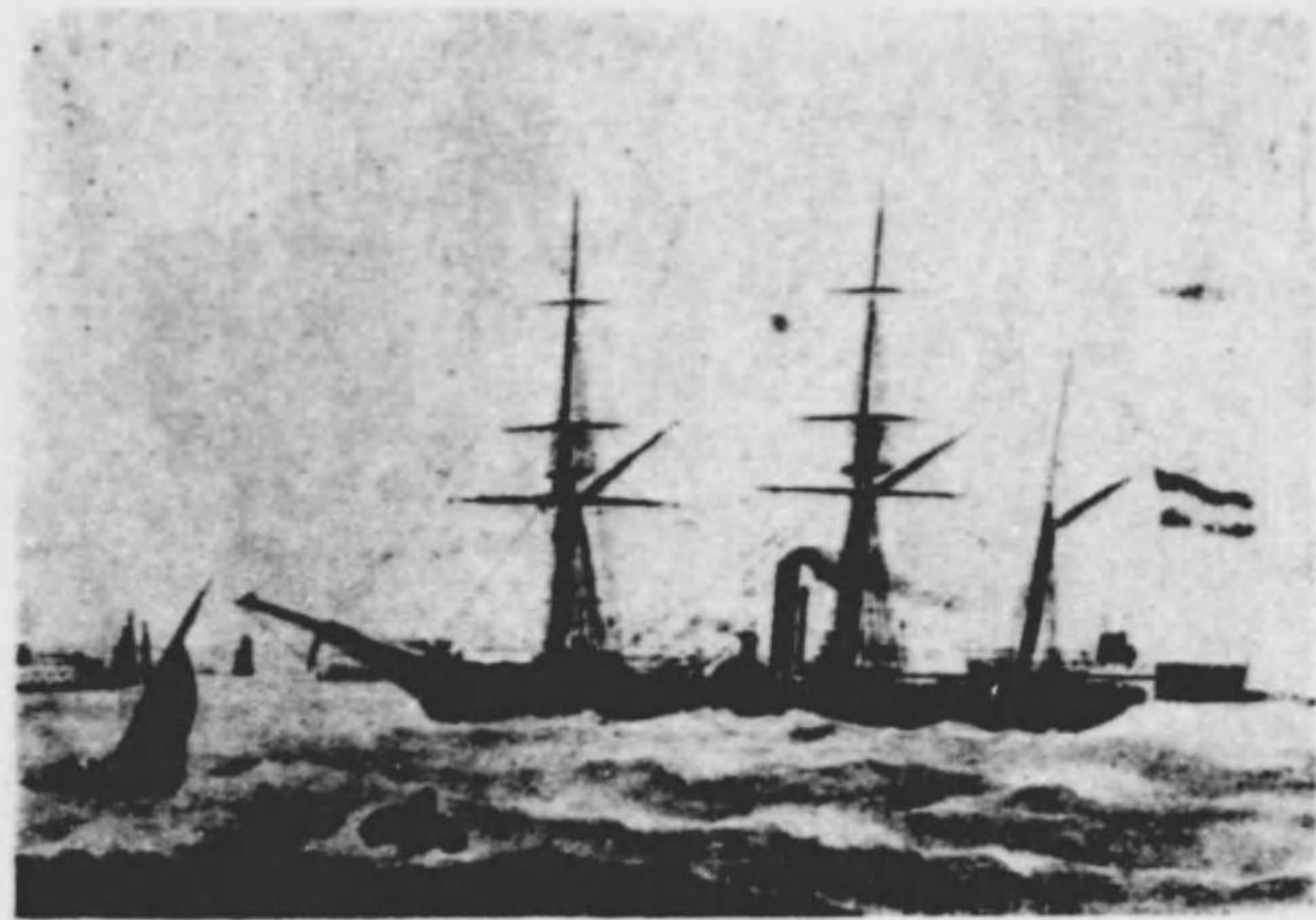
同

西役所ハ海軍傳習所ノ所在地域ナリ

(3) 木村圖書筆傳習所記錄

同

(4) 海軍草創參考文獻 (勝海舟著海軍歴史等)



(3)



(1)



(4)



(5)



(7)



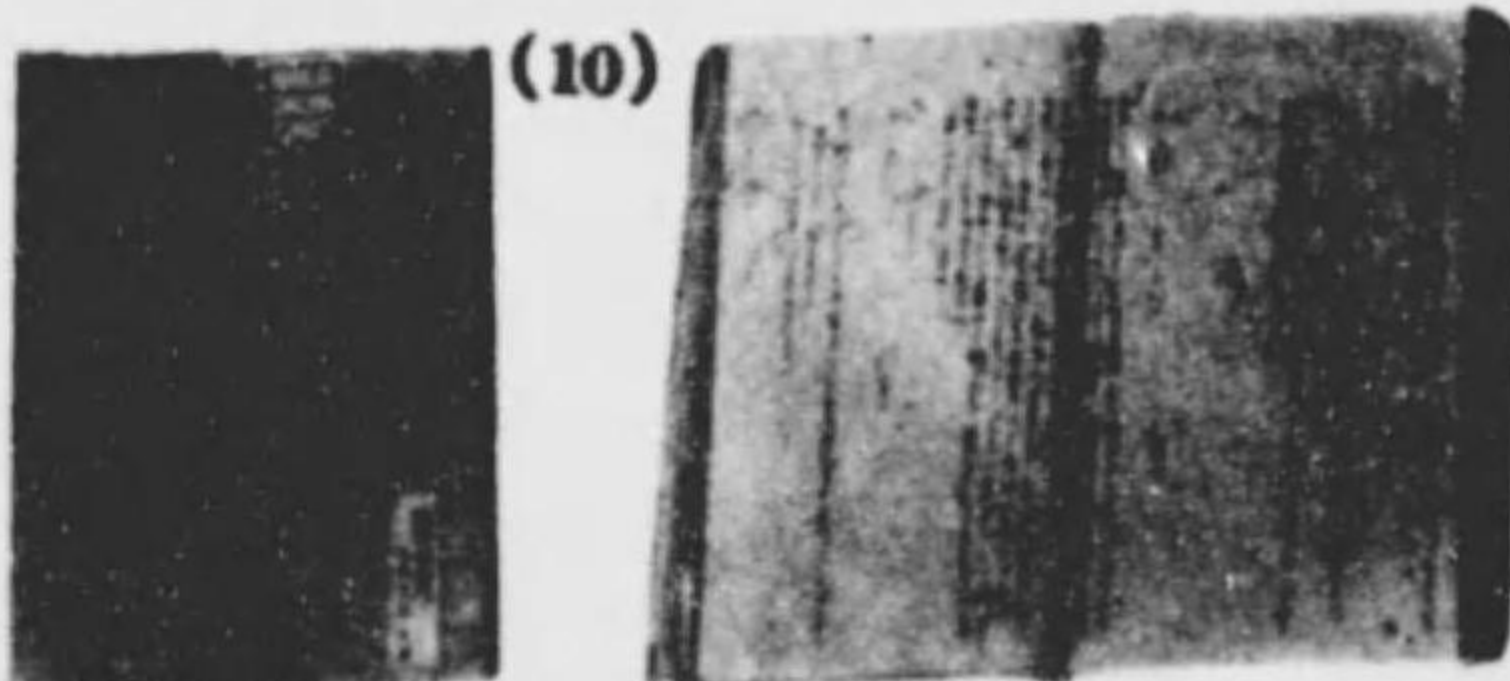
(8)



(2)



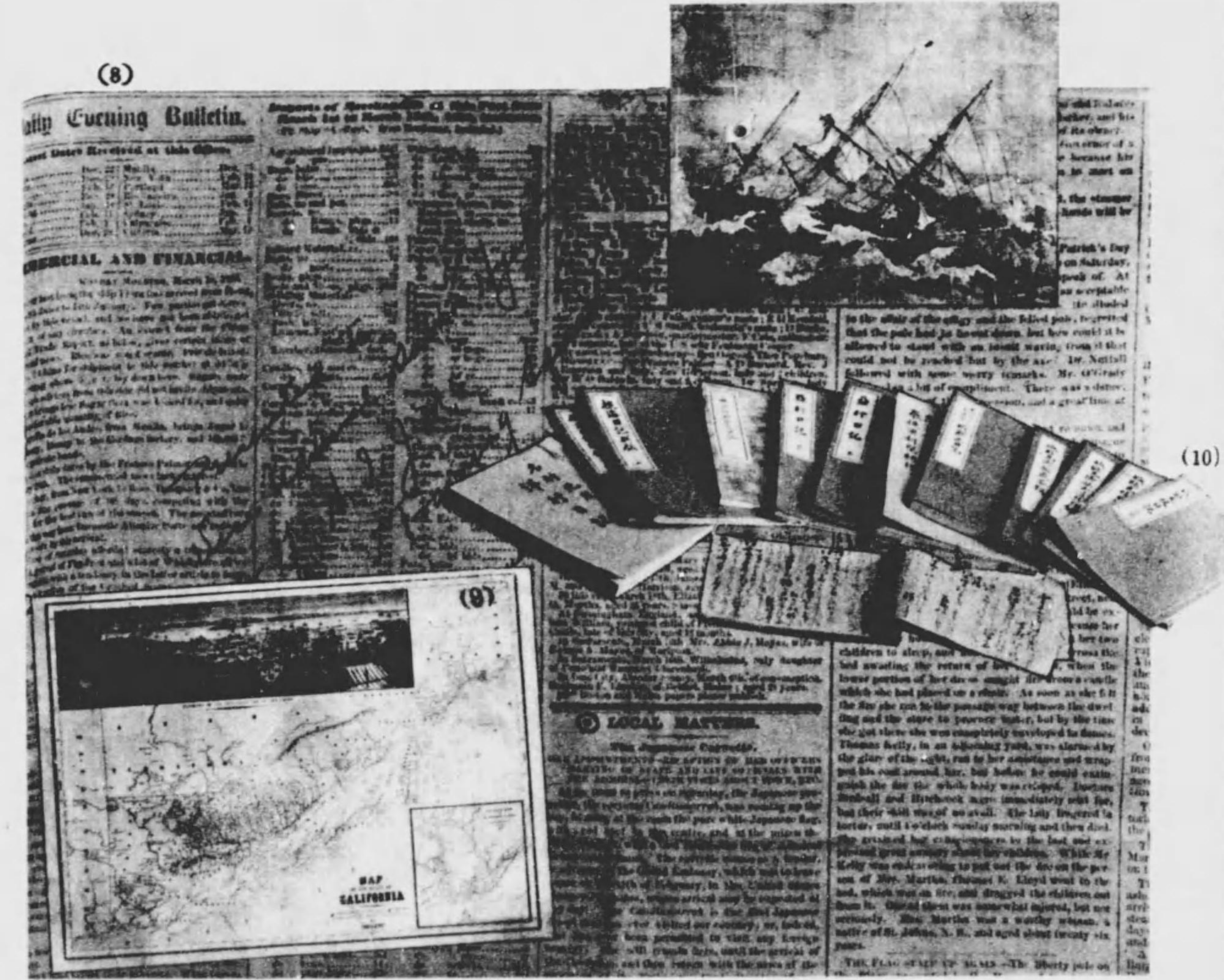
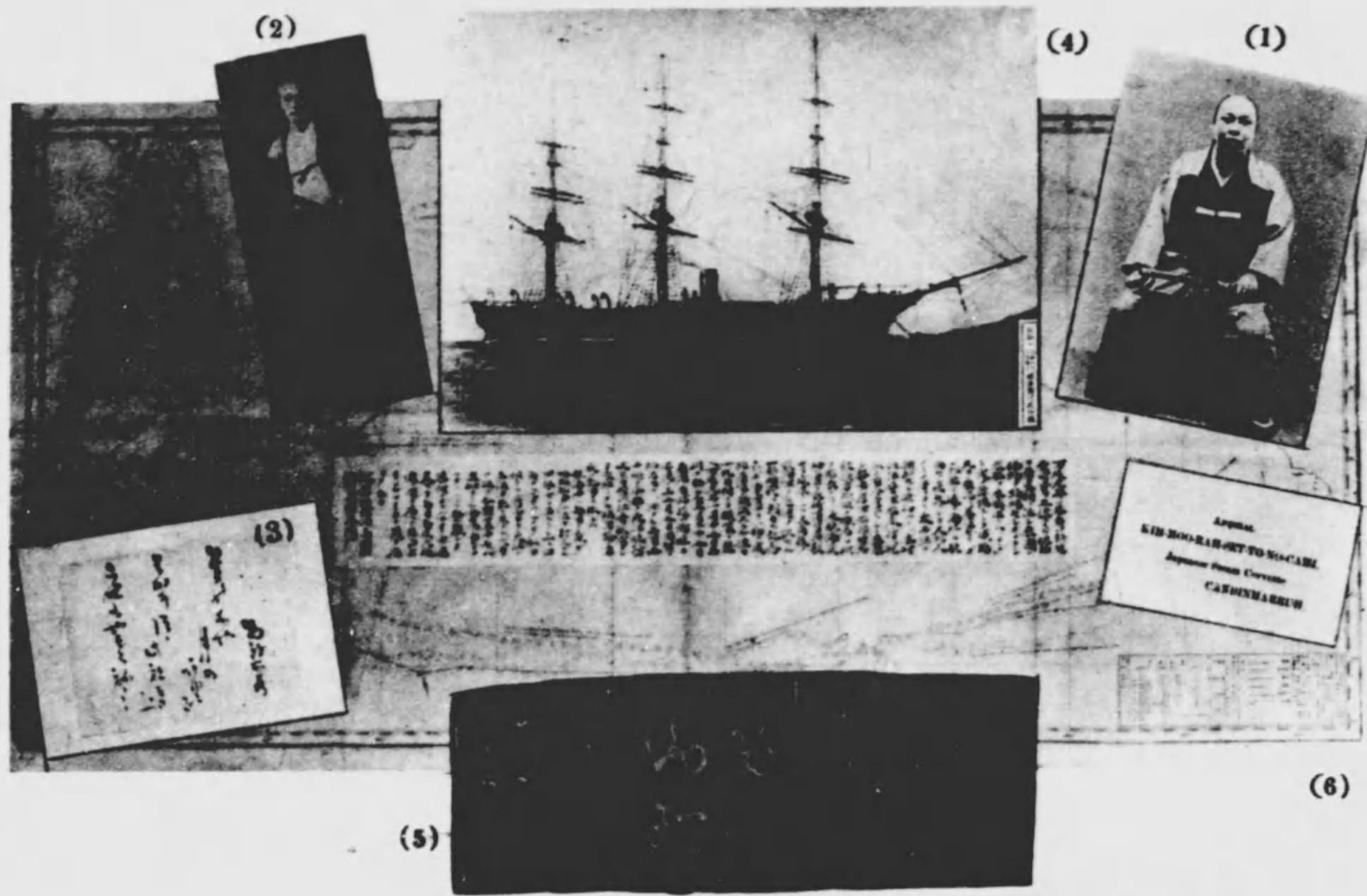
(9)



(10)

帝國海軍草創 (長崎海軍傳習所續キ)

- (1) 傳習所監察永井玄蕃頭 (傳習所取締) (寫眞)
- (2) 同氏筆墨竹畫 嘉納治五郎氏寄贈
- (3) 軍艦觀光丸 (寫眞) 舊和蘭軍艦「スームピング」號ニシテ安政二年「オランダ」政府ノ名ヲ以テ幕府ニ献上セラレ觀光丸ト改メ練習用ニ用ヒラレタリ 蘭語ノ部分ハ池邊龍右衛門氏所藏品中ノ「船大工道具目錄」ノ一部ナリ
- (4) 同 見取圖 池邊榮次郎氏寄贈
- (5) 第二次監察木村圖書 (攝津守) (寫眞) 木村浩吉少將寄贈 木村駿吉氏寄贈 永井氏ノ跡役トシテ傳習所ヲ統べ後軍艦奉行トナリ又咸臨丸ヲ指揮シテ渡米セリ
- (6) 傳習生矢田堀景藏 (寫眞) 谷口尙眞大將寄贈
- (7) 同 勝 麟太郎 (寫眞) 同
- (8) 同 榎本釜次郎 (寫眞) 尾佐竹猛氏寄贈
- (9) 傳習所教育班長和蘭人 (右、カッペン大尉) (寫眞) (左、カッペン中尉) (寫眞) (原本 勝子傳家藏) 有馬成甫大佐寄贈
- (10) 傳習所講義譯本二冊 加藤寛治大將寄贈 右ハ和蘭船將ニシテ傳習所教授タリシ「カッペン」大尉 (運約說抜書)「長州藩軍艦壬戌丸乗組中文久三年正月寫」左ハ教授蘭人「ベルスライケン」運、安井畑藏ノ傳習セシ「運約說抜書」ニシテ何レモ越前福井藩ヨリ簡拔セラレテ長崎海軍傳習所ニ赴キ勝安房ニ就キ海軍學ヲ學ビタル加藤直方氏ノ筆寫セシモノナリ 同氏ハ其後海軍大尉ニ果進シ明治十四年没加藤寛治大將ノ嚴父ニ當ル



咸臨丸渡米

幕府ハ日米條約交換ノ爲米軍艦「ボートハン」號ニヨリ新見豊前守ヲ使節トシテ華盛頓ヘ派遣スルニ際シ萬一ノ場合ヲ考慮シテ豫備艦トシテ咸臨丸ヲ桑港ニ派遣セリ 此談ハ安政六年ニ始マリ當初朝陽丸ヲ次ニ觀光丸ヲ以テ之ニ充テントシタルニ結局咸臨丸ガ選定セラレ軍艦奉行木村攝津守ノ下ニ勝安房(當時三十八歳) 教頭トシテ事實上ノ艦長ノ職ヲ執リ福澤諭吉モ乗組ミ萬延元年正月十九日浦賀港ヲ出帆シ連日天候險惡幾多ノ辛酸ヲ嘗メ二月二十六日桑港ニ到着ス 彼地ニテ船ノ修理ヲナシ三月十九日歸航ノ途ニ就キ途中布哇ニ寄港五月五日恙ナク浦賀港ニ歸着ス 之レ我邦人ノ力ヲ以テ米國ニ渡リタル最初トシテ又長崎傳習所開始以後數年ニシテ早クモ太平洋ノ怒濤ヲ乗切リタル劃期的壯舉トシテ特筆大書スベキ事實ナリトス

(1) 木村攝津守寫真並ニ名刺 谷口尙眞大將寄贈

(2) 當時ノ勝海舟寫真

(3) 勝海舟和歌

恐ラク太平洋中ニテ歌ヘルモノナルベシ

東郷二郎中佐寄贈

(4) 咸臨丸圖(原圖 櫻井省三氏所藏)

咸臨丸ハ和蘭ヨリ購入セル螺旋仕掛ノ二百五十噸蒸汽軍艦ナリ 軍令部長寄贈

(5) 咸臨丸短艇用材額(勝海舟題詩)

木村浩吉少將寄贈

(6) 太平洋航路圖

咸臨丸及筑波遠洋航海(此分ハ明治九年)航跡圖

(7) 咸臨丸難航圖(乗組員鈴木勇次郎筆)

(原圖 木村浩吉少將藏) 木村浩吉少將寄贈

(8) 當時ノ桑港新聞

百武三郎大將寄贈

本紙ハ一八六〇(萬延元)年三月十九日發行ノ新聞ニシテ元桑港圖書館ニアリシモノヲ大正十四年小松東洋汽船支店長ヲ經テ百武練習艦隊司令官ニ贈リ後本館ニ寄贈セラレタルモノナリ Local Mattersノ項ヲ見ヨ

(9) 當時ノ桑港ノ光景

山本宜喚氏寄贈

(10) 航海日記種々

(4)

本圖ハ從來威臨丸ノ寫眞トシテ傳ヘラレタルモノナレドモ
谷口大將ノ精細ナル研究(昭和七年九月廿七日稿「威臨丸
ニ關スル研究續稿」)ニヨレバ實ハ開陽丸ノ寫眞ニシテ威臨
丸ニアラザルコト明白ナリ 本圖錄完成後コノ誤謬アルニ
氣付キタレバコ、ニ之ヲ取消スコトトス

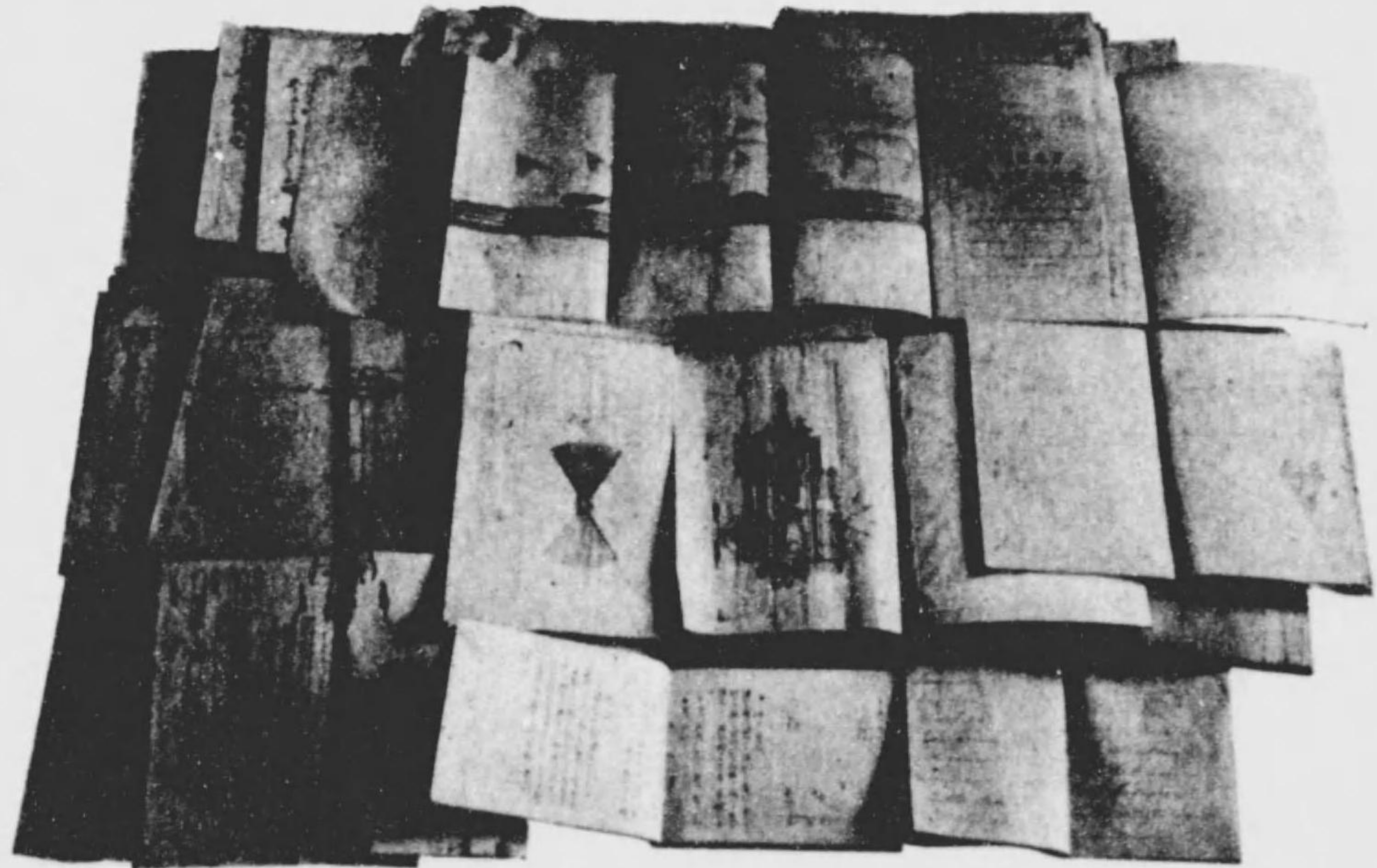
(7)

鈴森トアルハ鈴藤ノ誤

(8)

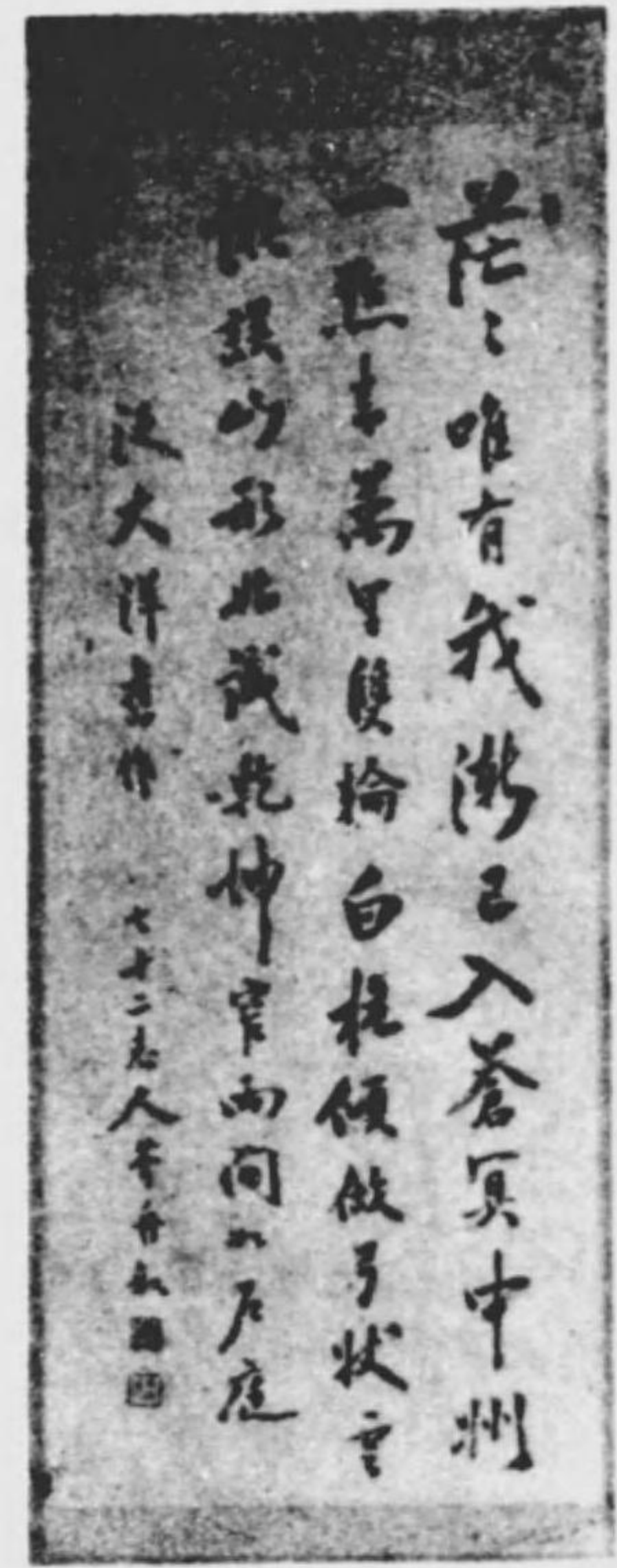
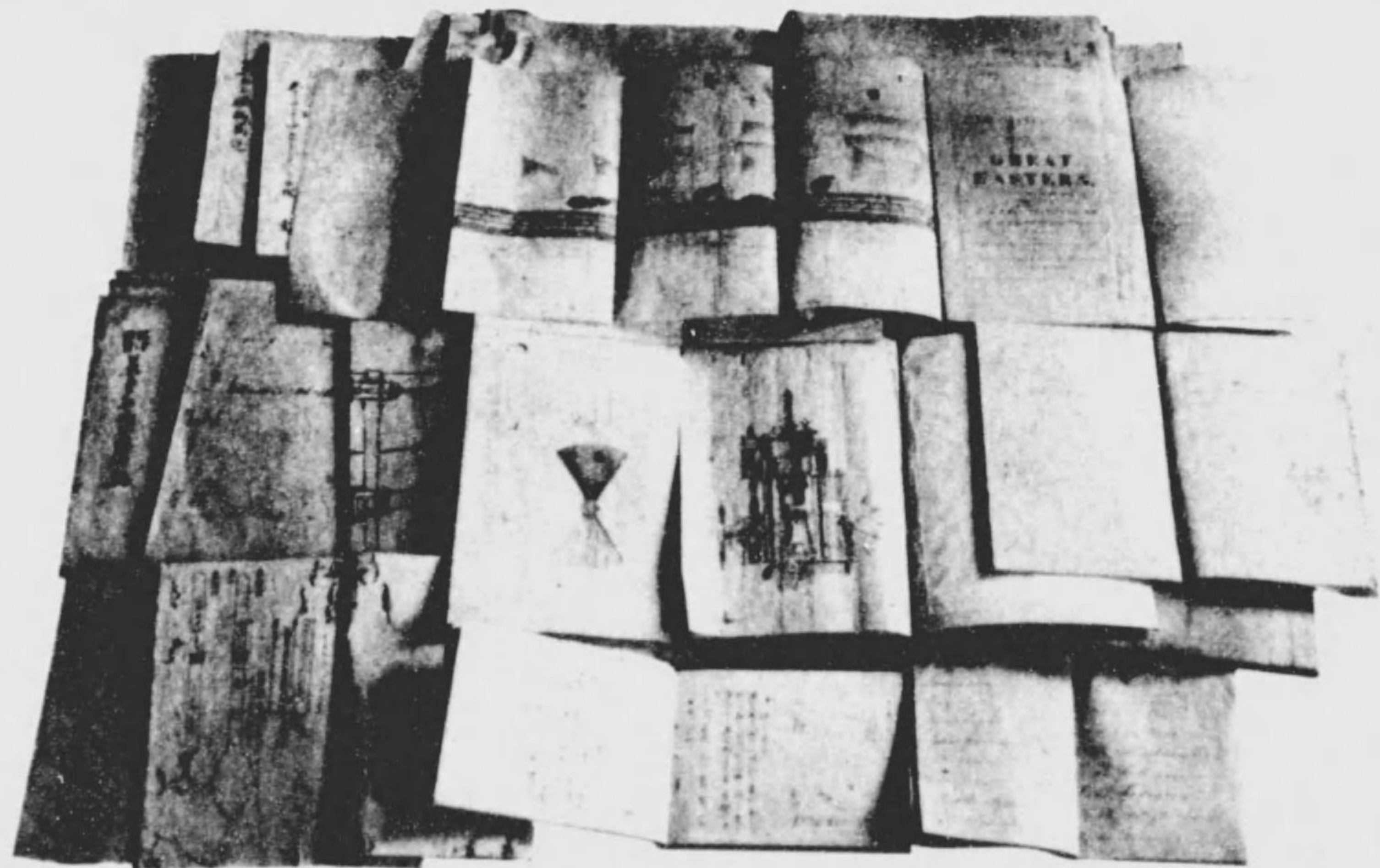
當時ノ桑港新聞(寫眞)

原紙ハ一八六〇年(萬延元)三月十九日發行ノ新聞ニシテ桑
港圖書館ニアリ 大正十四年小松東洋汽船支店長ガ之ヲ撮
影セシメ其ノ寫眞ヲ百武練習艦隊司令官ニ贈リ後本館ニ寄
贈セラレタルモノナリ



木村攝津守遺品ト咸臨丸關係品

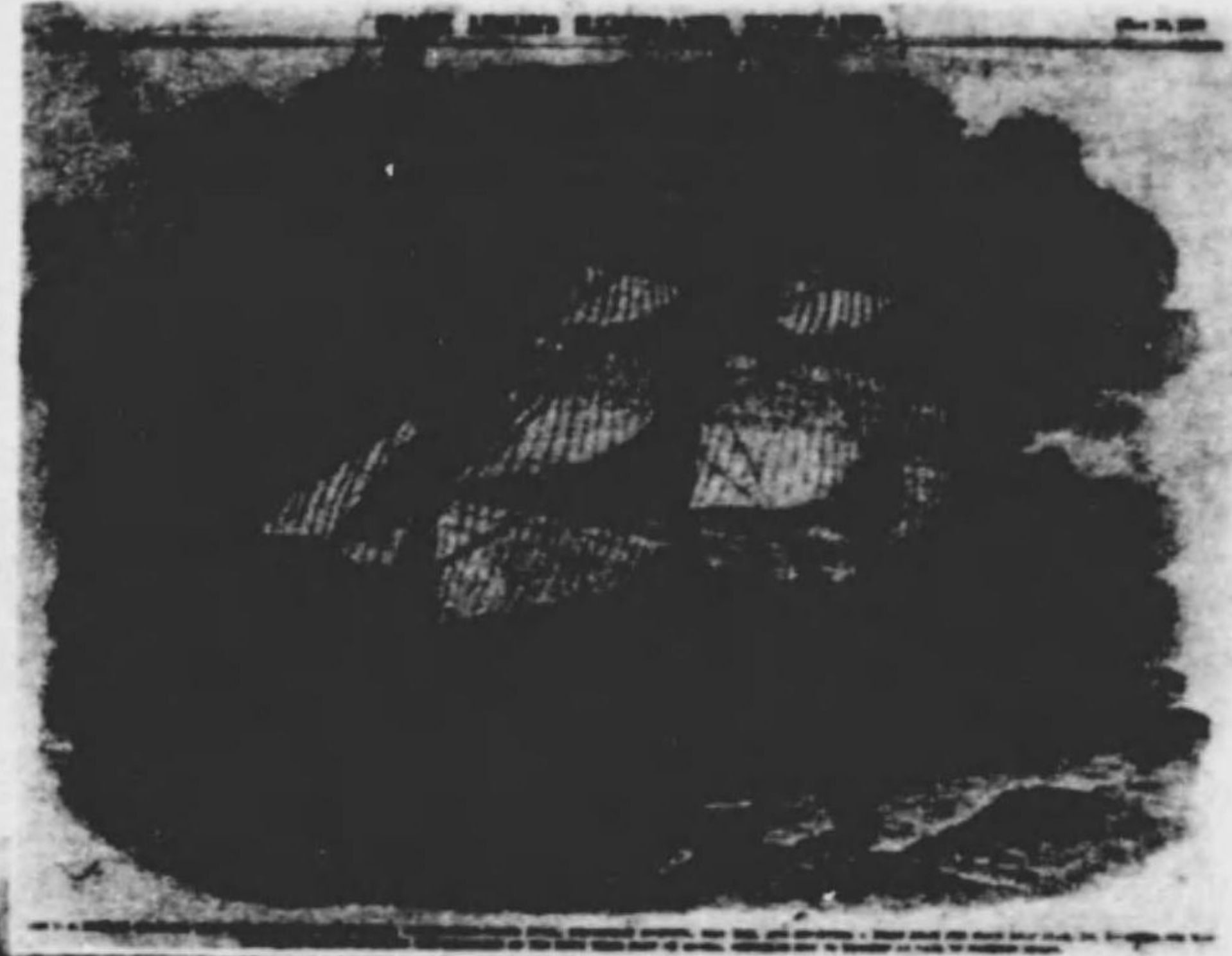
- (1) 崎陽書畫帖
木村攝津守ノ遺愛品ニシテ攝津守ガ長崎ニ在任中交遊アリタル長崎ノ文人墨客ノ揮毫ヲ蒐ム
谷口尚眞大將寄贈
- (2) 木村攝津守遺墨 (泛大洋舊作)
蘆野敬三郎氏寄贈
- (3) 同 遺品書籍
木村浩吉少將寄贈
- (4) 勝海舟着用ノ外套
海舟ガ咸臨丸ニテ渡米ノ際着用セシモノナリ
戸川濱雄氏寄贈
- (5) 咸臨丸機關長山本金次郎遺品
當時米國ヨリ持歸リタル品ナリ 上ハ「ステレオスコープ」及望遠鏡 下ハ咸臨丸關係記錄
山本宜喚氏寄贈
- (6) 咸臨丸造船圖 (山本金次郎遺品)
咸臨丸ノ構造ヲ知ル絶好ノ資料タリ
山本宜喚氏寄贈



木村攝津守遺品ト咸臨丸關係品

- (1) 崎陽書畫帖
木村攝津守ノ遺愛品ニシテ攝津守方長崎ニ在任中交遊アリタル長崎ノ文人墨客ノ揮毫ヲ蒐ム
谷口尚眞大將寄贈
- (2) 木村攝津守遺墨 (泛大洋洲作)
蘆野敬三郎氏寄贈
- (3) 同 遺品書籍
木村浩吉少將寄贈
- (4) 勝海舟着用ノ外套
海舟ガ咸臨丸ニテ渡米ノ際着用セシモノナリ
戸川濱雄氏寄贈
- (5) 咸臨丸機關長山本金次郎遺品
當時米國ヨリ持歸リタル品ナリ 上ハ「ステレオスコوپ」及望遠鏡 下ハ咸臨丸關係記録
山本宜喚氏寄贈
- (6) 咸臨丸造船圖 (山本金次郎遺品)
咸臨丸ノ構造ヲ知ル絶好ノ資料ナリ
山本宜喚氏寄贈

(1)



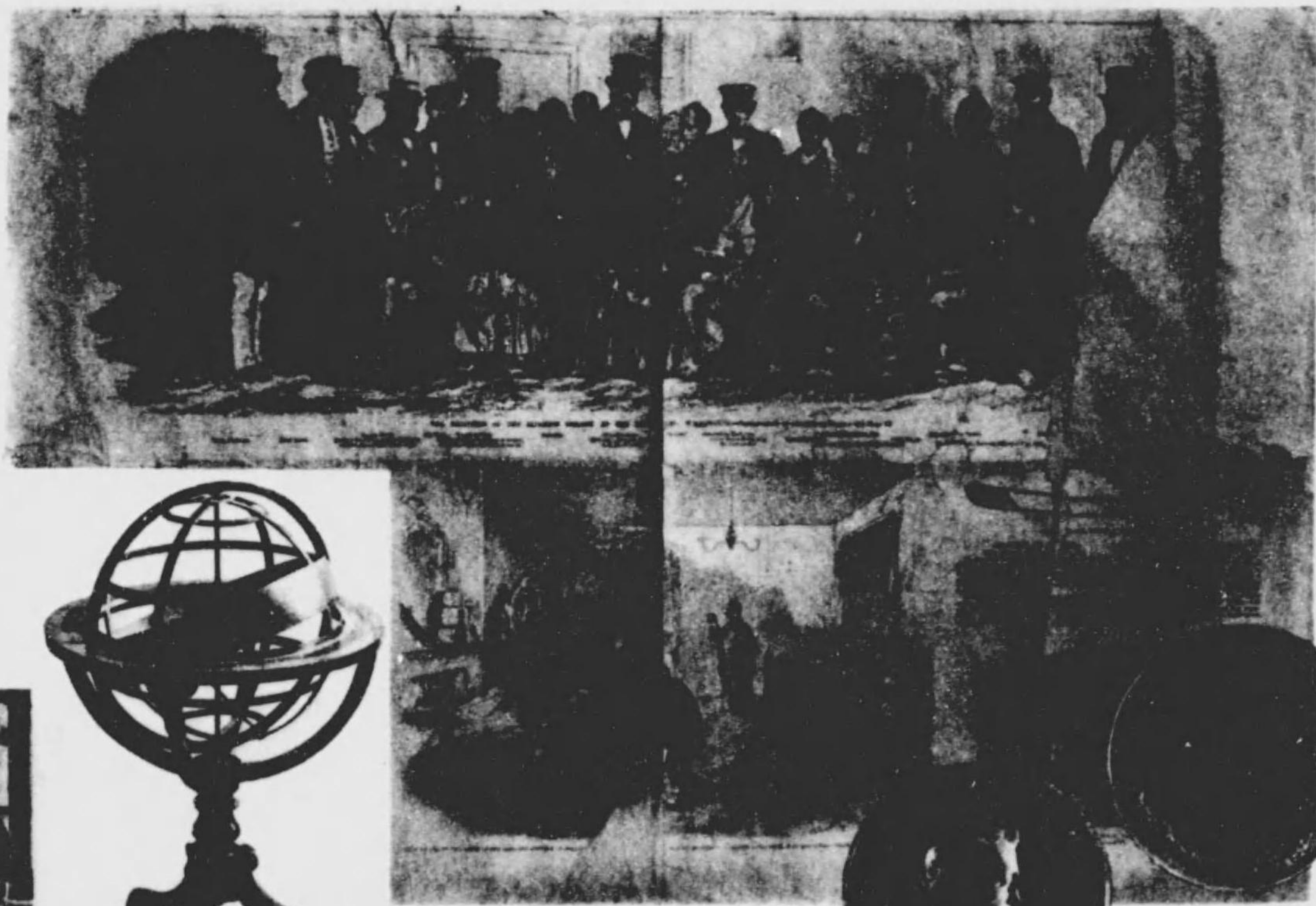
(2)



(3)



(4)



(7)



(5)



(6)



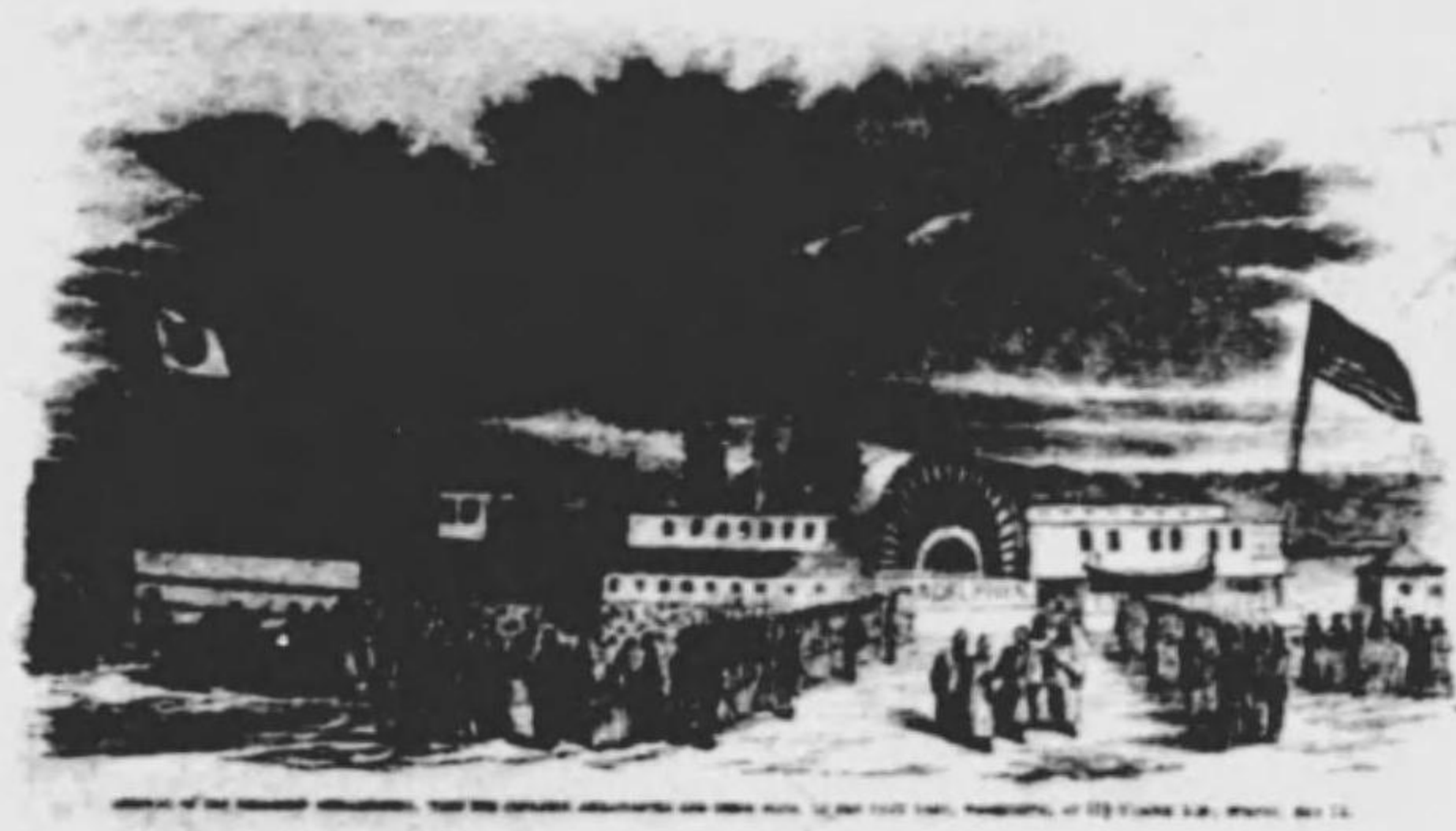
遣米使節

- (1) 遣米使節新見豊前守一行ノ米國ニ於ケル乗船「ローノーク」號 (Frank Leslie's Illustrated Newspaper 所載)
 一行ハ萬延元年三月初桑港ヨリ「バナマ」ヲ經汽車ニテ大西洋岸、アスピノールニ着、同地ヨリ三千四百噸ノ米國軍艦「ローノーク」ニ乗り込ミ三月二十日紐育ニ入港ス
 皆川春次郎氏寄贈
- (2) 一行ノ華盛頓總海軍所上陸ノ光景 (同)
 紐育ヨリ「ハムトンルート」ニ向ヒ此所ヨリ川蒸汽船「フィラデルフイヤ」號ニ乗換ヘ三月二十五日華盛頓郊外ナル「ネーヴィ・ヤード」(總海軍所)ニ到着セリ
- (3) 華盛頓白雲館ニ於ケル大統領ノ使節接見圖 (同)
- (4) (上) 總海軍所ニ於ケル記念撮影 (同)
 (下) 隨員ホテル領園ノ圖 (同)
- (5) 渾天儀
 使節一行ノ持歸リタルモノナリ
- (6) 米國政府ヨリ使節一行ニ贈與シタル「メダル」
 コノ「メダル」ハ米國政府ヨリ遣米使節一行ニ贈與シタルモノニシテ皆川家ニ傳ハリシモノナリ 但使節三人ハ金製、役々ノ者ハ銀、從者ハ銅製ノモノヲ贈ラレタリ
- (7) 伊藤久三郎ト「ハーデイ」水兵寫眞
 伊藤久三郎氏ハ新見豊前守一行ニ從ヒ渡米セシ日高圭三郎氏ノ從者ナリ「ハーデイ」ハ當時「ボーハタン」乘組ノ一水兵タリキ 大正六年本邦ニ來遊シ伊藤翁ヲ訪レ二老會合記念ノ爲ニ撮影セシ寫眞 今東京澁谷皆川家ニ保存セラル

(1)



(2)



(3)



(4)



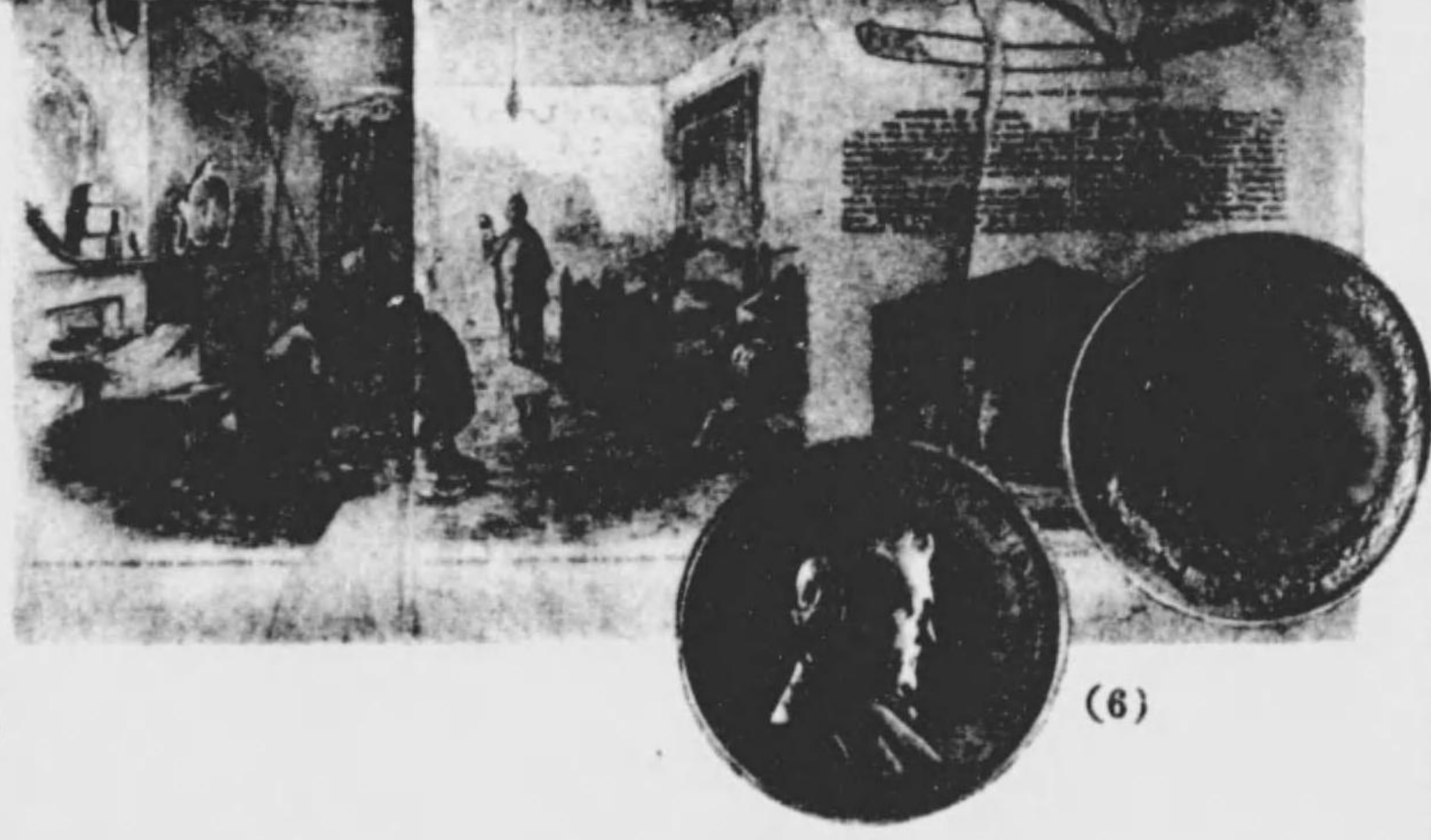
(7)



(5)



(6)



遣米使節

(1) 遣米使節新見豊前守一行ノ米國ニ於ケル乗船「ロノノーク」號 (Frank Leslie's Illustrated

News paper 所載)

菅川春次郎氏寄贈

一行ハ萬延元年三月初桑港ヨリ「ハナマ」ヲ經汽車ニテ大西洋岸マスピノールニ着、同地ヨリ三千四百噸ノ米

國軍艦「ロノノーク」ニ乘リ込ミ三月二十日紐育ニ入港ス

同

(2) 一行ノ華盛頓總海軍所上陸ノ光景 (同)

紐育ヨリ「ハムトシ」ニ向ヒ此所ヨリ川蒸汽船「ライオナル」イヤ號ニ乗換ヘ三月二十五日華盛頓郊外ナル

同

「ネーヴィー・ヤード」(總海軍所)ニ到着セリ

同

(3) 華盛頓白雲館ニ於ケル大統領ノ使節接見圖

同

(4) (上) 總海軍所ニ於ケル記念攝影 (同)

同

(下) 隨員ホナル 船閣ノ圖 (同)

(6) 米國政府ヨリ使節一行ニ贈與シタル「メダル」

同

コノ「メダル」ハ米國政府ヨリ遣米使節一行ニ贈與シタルモノニシテ皆川家ニ傳ハリシモノナリ 但使節三人ハ金

(7) 伊藤久三郎ト「ハーデイ」水兵寫眞

同

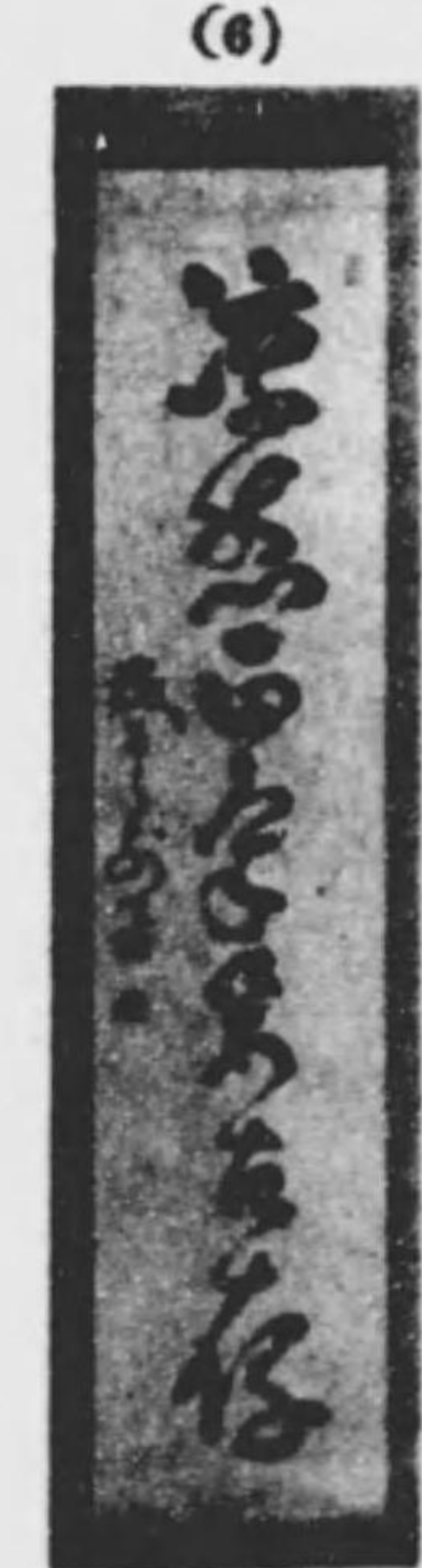
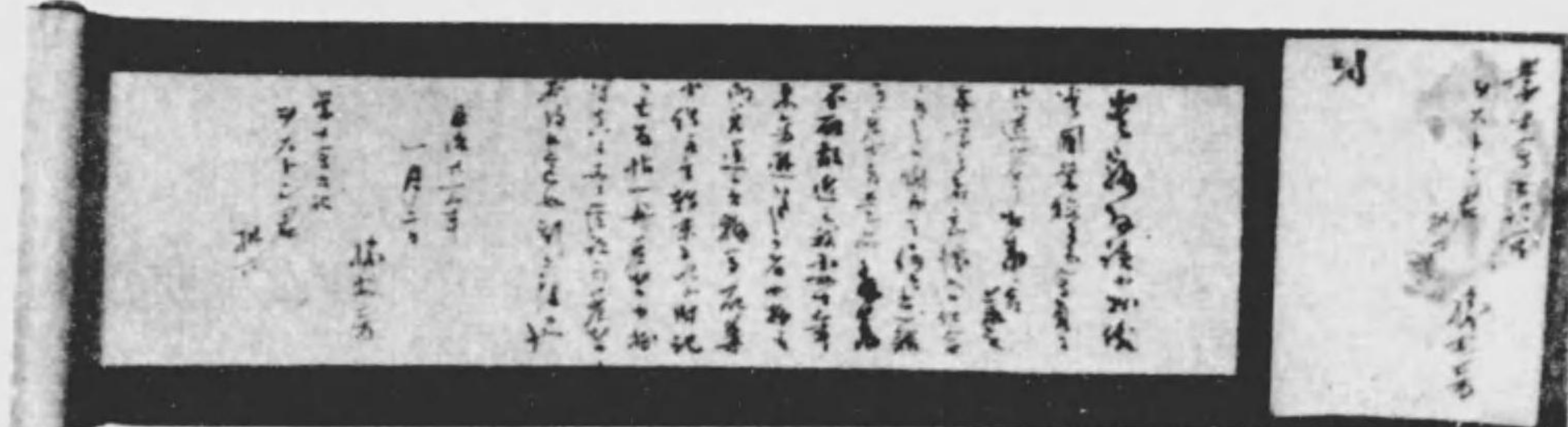
伊藤久三郎氏ハ新見豊前守一行ニ從ヒ渡米セシ日高主三郎氏ノ從者ナリ「ハーデイ」ハ當時「ボイハタン」乗組ノ

一水兵タリキ 大正六年本邦ニ來遊シ伊藤翁ヲ訪レニ老翁念ニ爲ニ攝影セン寫眞 今東京護國谷菅川家ニ保存

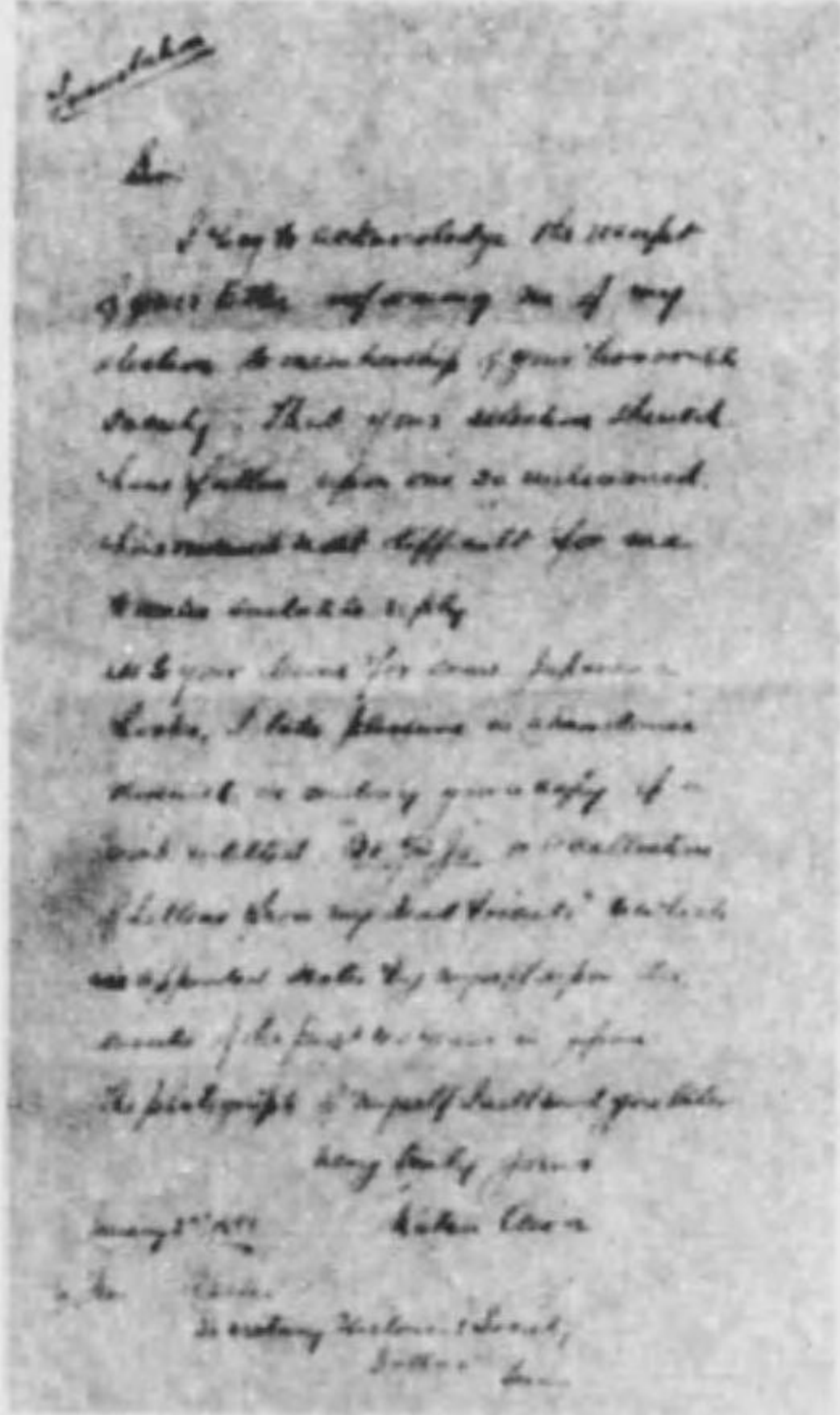
セラル



(1) (2) (3) (4) (5) (6)



(6)



(9)



勝海舟ト神戸海軍操練所

(1) 勝海舟筆海軍振興ノ歌 嘉納治五郎氏寄贈

勝海舟ガ群議ヲ排シ海軍振興ノ急務ヲ力説セントシテ書シタルモノナリ

「海原にたてる御國は、おほみふね、さばにあらざば、ものゝふの、きがみたけびて、くるへども、蘆間のかにの天の下、横にし行かむ、足をなみ、千里に羽うつ、大鳥の、翅をいたみうち羽がき、羽うちもあへず、とつ國のかたきのために、大あみに、かゝりやすらむ、かけまくも、あやにかしこき、いにしへを、おもひもみすやしら鳥のおほみ御神は鳥が啼、あづまのくにの、みいくさに、さがみの海の大浪の、磯打音はいかつちの聲を聞くまで吹なせる、風のまに、大船の、たゆたふ見れど、おほみ身に、たちとりおはし、おほみてに弓とりもたし、まつろはぬ、夷ををさめ、たらしひめ、ますらたけ雄に、先だちて、八重のしほ路を、みづづから、わたらひ給ひ、虎ほゆるもろこし人の、今の世もおびゆるまでに、こまくだらうち靡かし、御功を、思ひもいでつ、いたづらにかくて過なば、いつの日か、御國のみいつこと國に、おもひしらせむ、よしもなみ、是をおもへば、今もかも、むねとゞろきて、かけはぎの、劍のたはみとりしはり、憤ろしも世の人の、あげつらふなるくさく」

(2) 勝海舟寫眞及書簡 谷口尙眞大將寄贈

ことわりさへも耳なしの、山の翁に、あらねども、わかちもあへず、くちなしの、蔭にかぐろひのちの世に、しのばむ友を、またんとぞ思ふ」下ノ海舟書翰ト共ニ柳宗悦氏ガ米國ニ於テ入手シタルモノナリ

(3) 神戸海軍營碑拓本 谷口尙眞大將寄贈

文久三年四月軍艦奉行勝海舟將軍家茂ノ攝海巡視ニ從ヒ神戸ニ來リ海軍營ヲ定メ海軍操練所ヲ設ケテ薩長士等ノ俊髦ヲ教育ス 伊東元帥ノ如キモコ、ニ學ビタル一人ナリ 操練所ハ元治元年勝ガ外藩ト交渉多シトノ嫌疑ヲ以テ江戸ニ召還セラレテ御役御免トナルト共ニ廢止セラレタルモ此中ニ建立セラレタル軍營碑ハ大正ノ初メ偶然神戸生島氏與平野別邸ヨリ發見セラレ現ニ諏訪山遊園地ニ在リ

(4) 幕末頃ノ兵庫港 (Illustrated London News 所載)

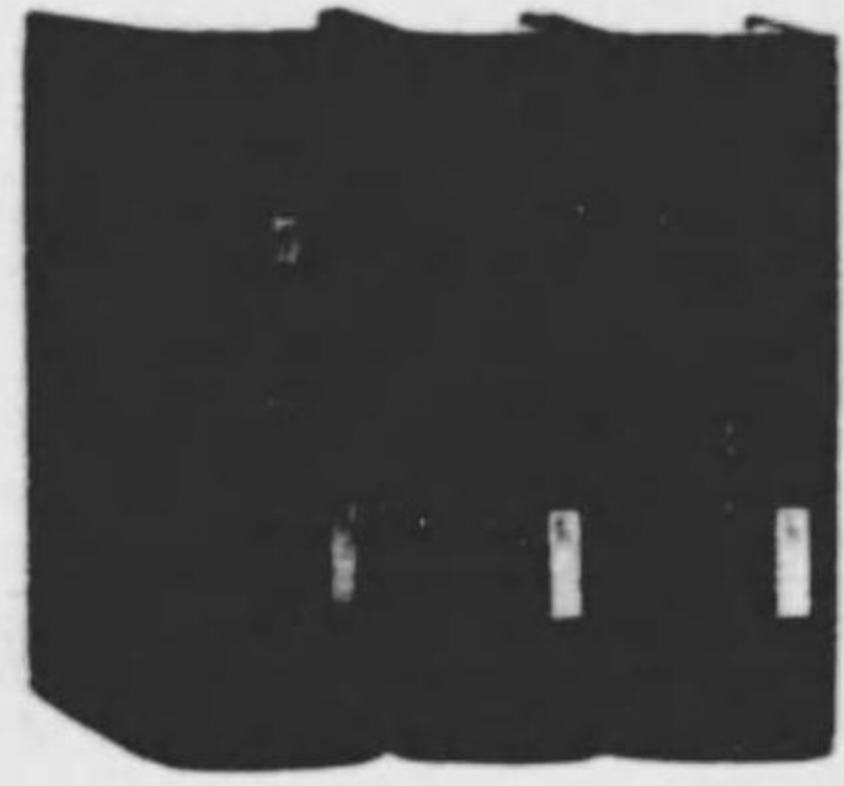
(5) 和田岬白砲臺 (寫眞) 神戸三菱造船所寄贈

當砲臺ハ勝安房ノ築造スル所ニシテ文久三年四月起工元治元年八月竣工ス 高さ五間五尺周圍二十間工費二萬五千兩ヲ費ス

(6) 山岡鐵舟書 石垣吉六郎氏寄贈

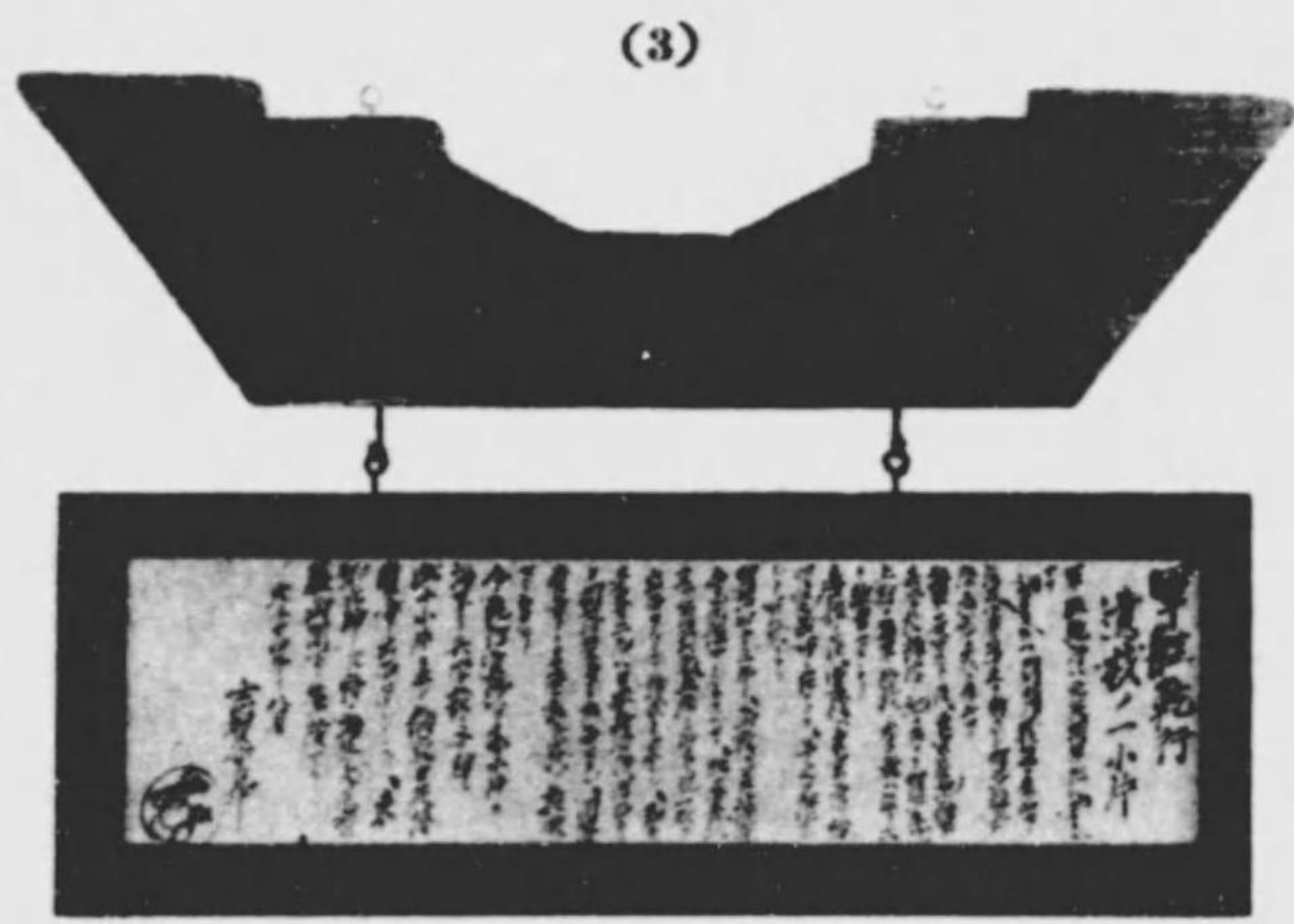
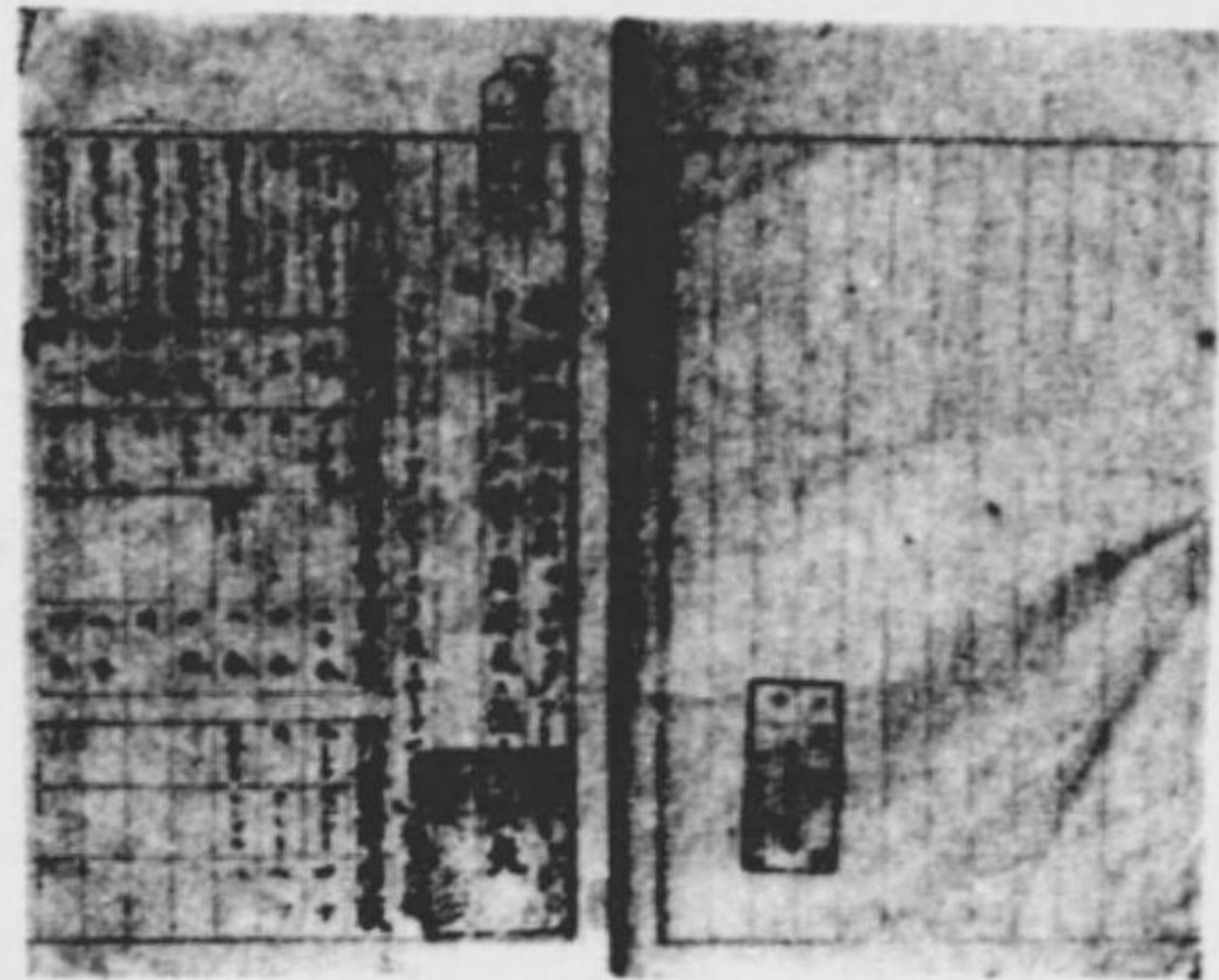


(1)

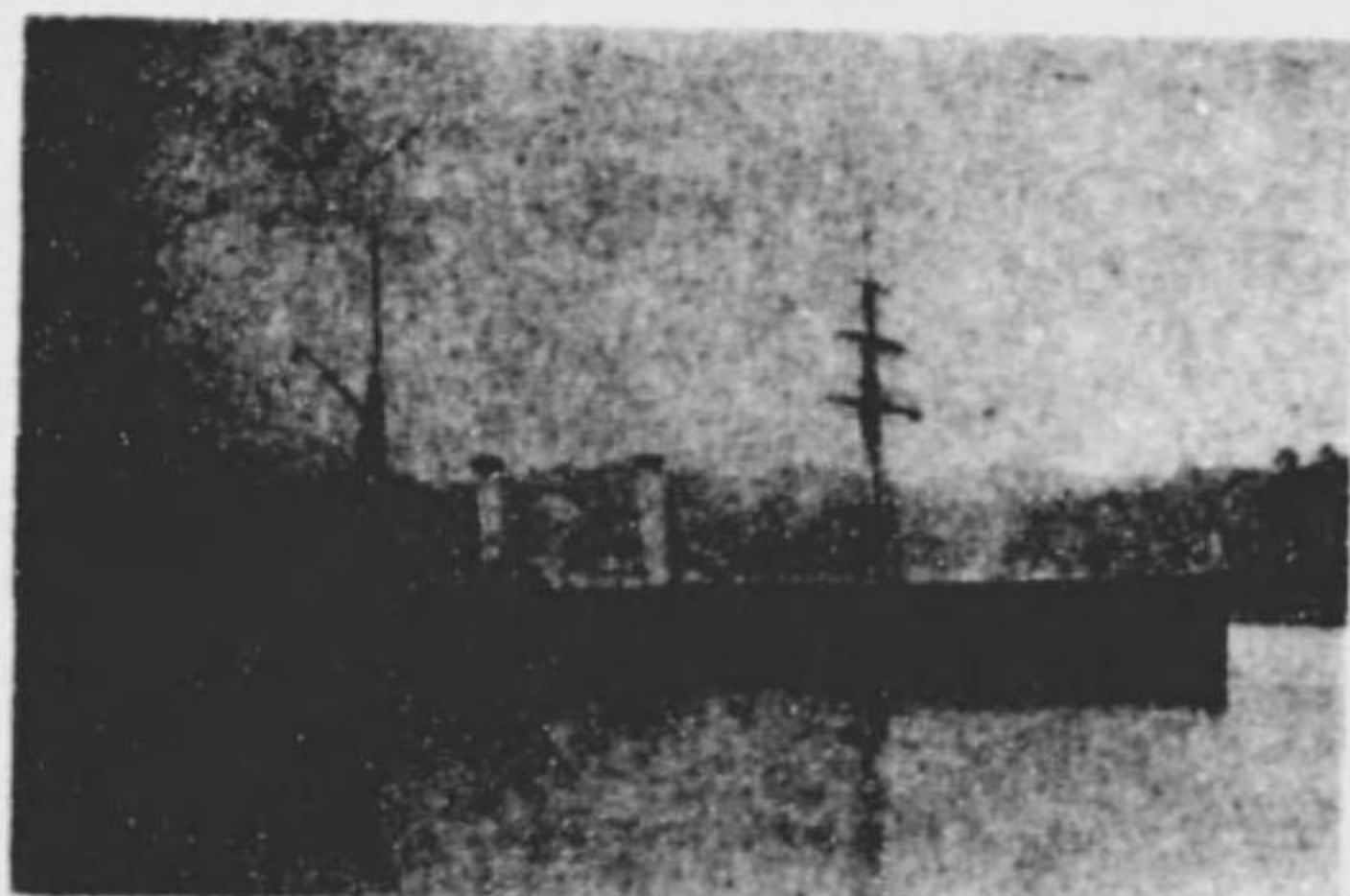


(2)

(4)



(3)



(5)



(6)

諸藩海軍

(1) 島津齊彬公寫眞

島津公爵家寄贈

公ハ夙ニ海軍興隆ノ必要ヲ感ジ蒸汽船ノ建造ヲ行ヒ大砲ヲ鑄造シ又水軍隊ヲ創立シ或ハ海外ヨリ軍艦ヲ購入シ有
爲ナル人材ヲ養成ニ努メ海軍ノ發展ニ盡ス所多シ

(2) 乾行艦寫眞

軍艦乾行ハ英國軍艦「ビーグル」號ノ後身ニシテ薩摩ニ於テ購入シ後築地兵學寮ノ練習艦トシテ使用セラレタリ

(3) 乾行艦遺材

志賀重昂氏寄贈

(4) 乾行艦諸索具竝ニ「ブロック」等寸法表

濱武學而氏寄贈

(5) 軍艦「春日」(寫眞)

元「キャンスト」ト稱スル外車蒸汽船ニシテ慶應三年薩摩藩ニヨリテ購入セラレ戊辰役並ニ兩館戰爭ニ於テ大イニ
官軍ノ爲ニ活動セリ

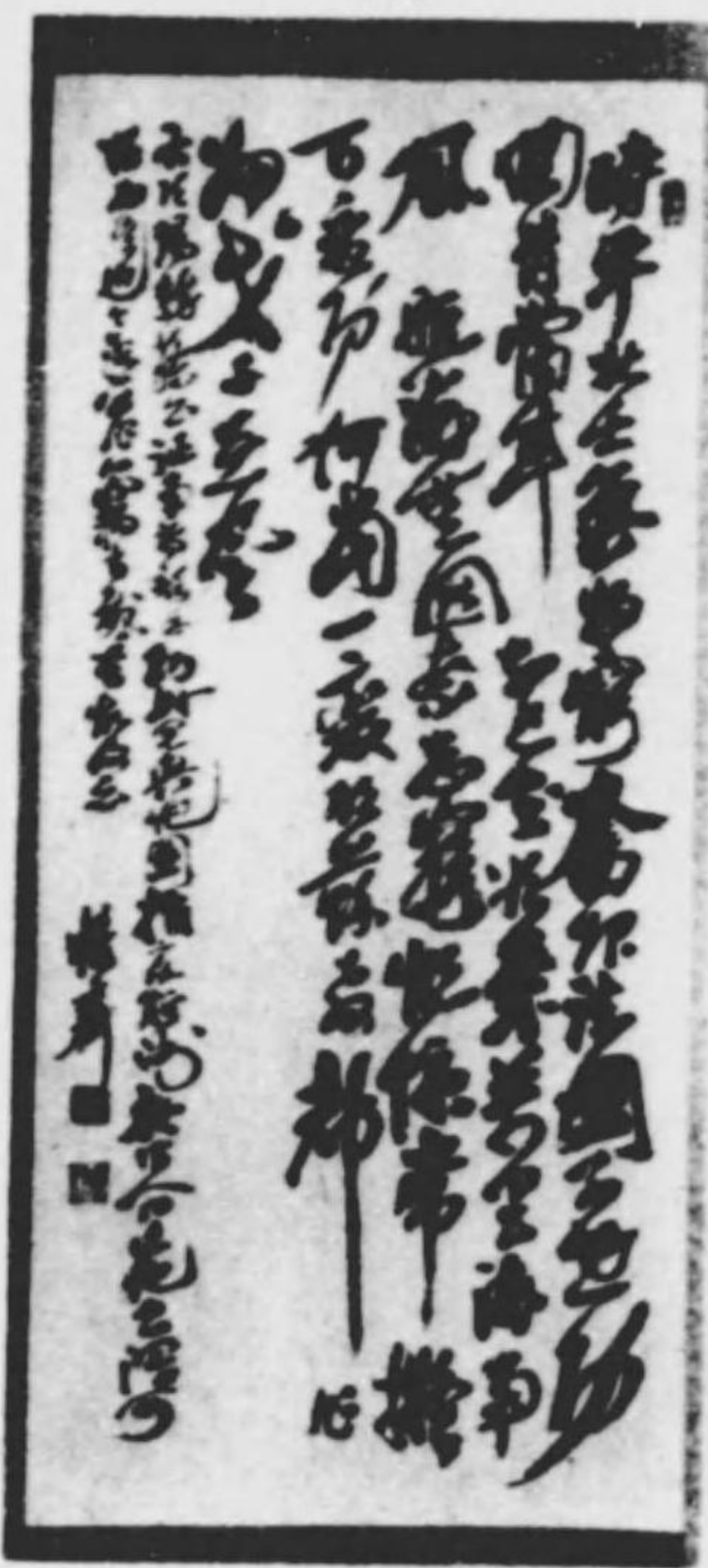
(6) 横井小楠海軍問答書 (寫眞)

吉岡範策中將寄贈

横井小楠ガ島津久光公ニ呈セシ意見書ニシテ書中ニ「強國ノ第一要諦ハ海軍ヲ整備スルニアリ」ト喝破シアルモ
ノニシテ原書ハ關東震災ノ際焼失セリ



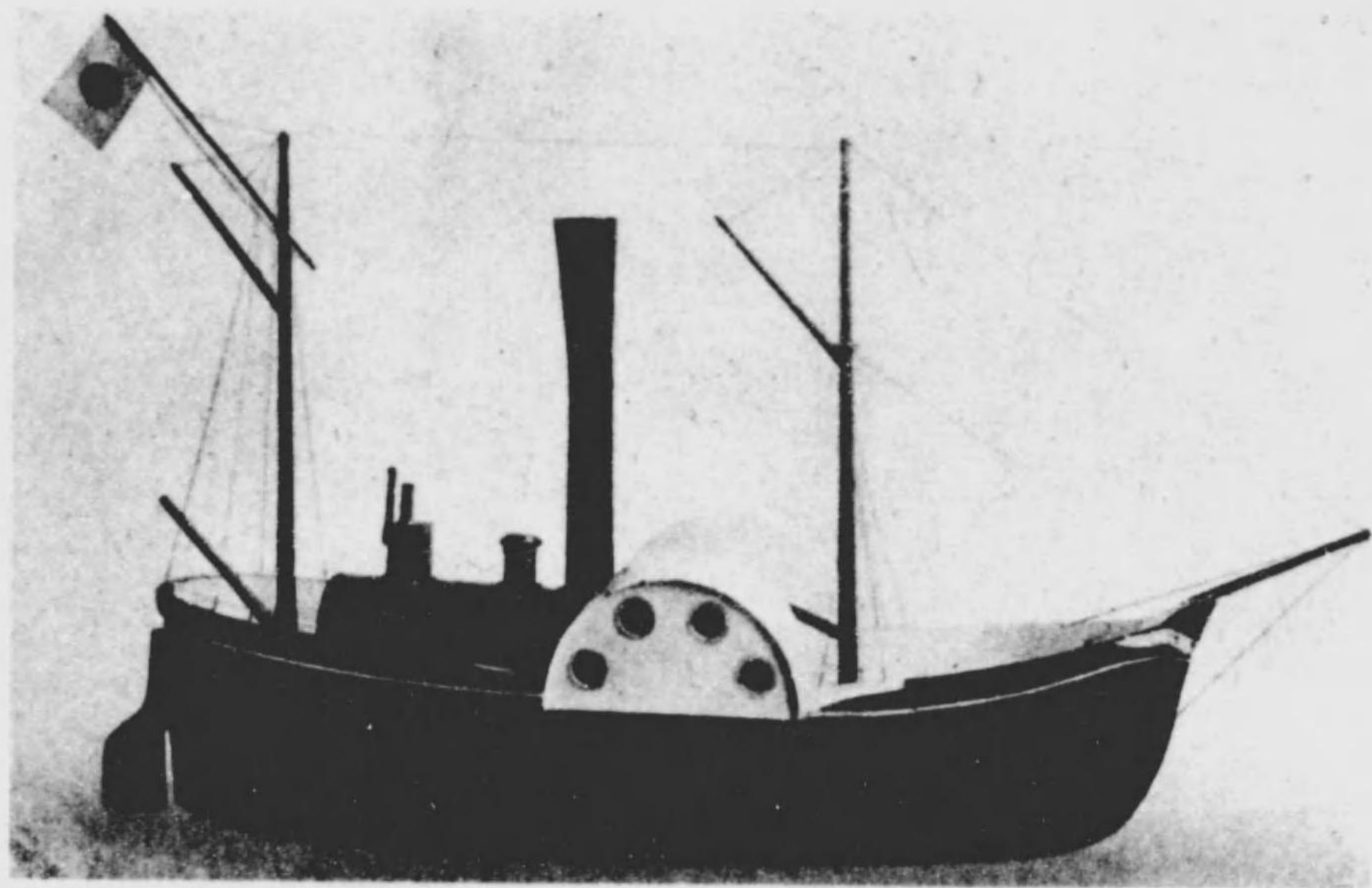
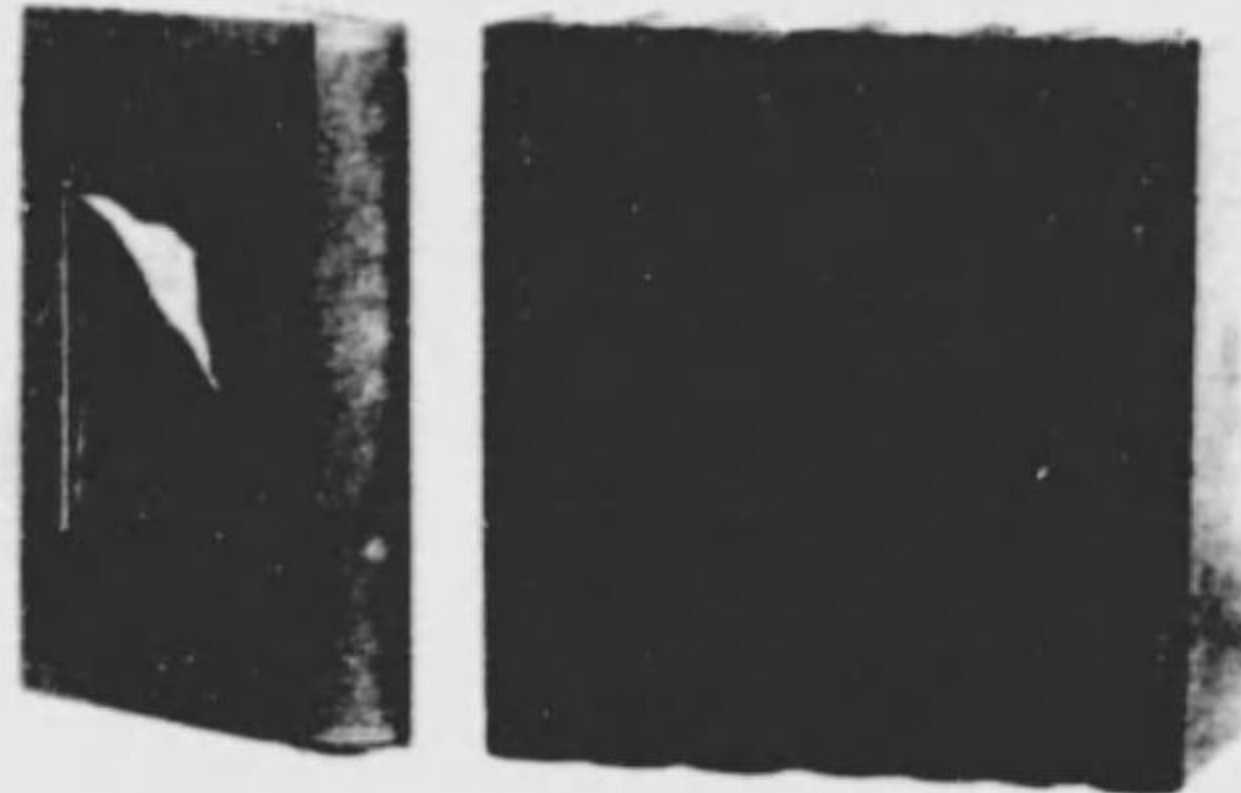
(1)



(2)



(3)



(4)



(5)

諸藩海軍(續)

(1) 佐賀藩主鍋島閑叟公寫真

鍋島侯爵家寄贈

(2) 同公筆圖南詩

同

公ノ南方經略ノ雄志ヲ叙ベタルモノニシテ嘉永四年ノ作ナリ

「時平壯氣將窮 奮起誰圖子世功 回首當年知已在 欲乘萬里海南風 航海無因奈志窮 慨慷常擬百蠻功 何當一變耶蘇教 都作細戈子足風 奉天瑞龍謫公征南詩讀餘幻時閱輿地圖指濠洲顧謂人曰此地空濶可取而有也」

(3) 佐賀(築地)ニ於ケル反射爐ノ光景 (寫眞)

海軍々事普及部寄贈

(4) 蒸汽船模型

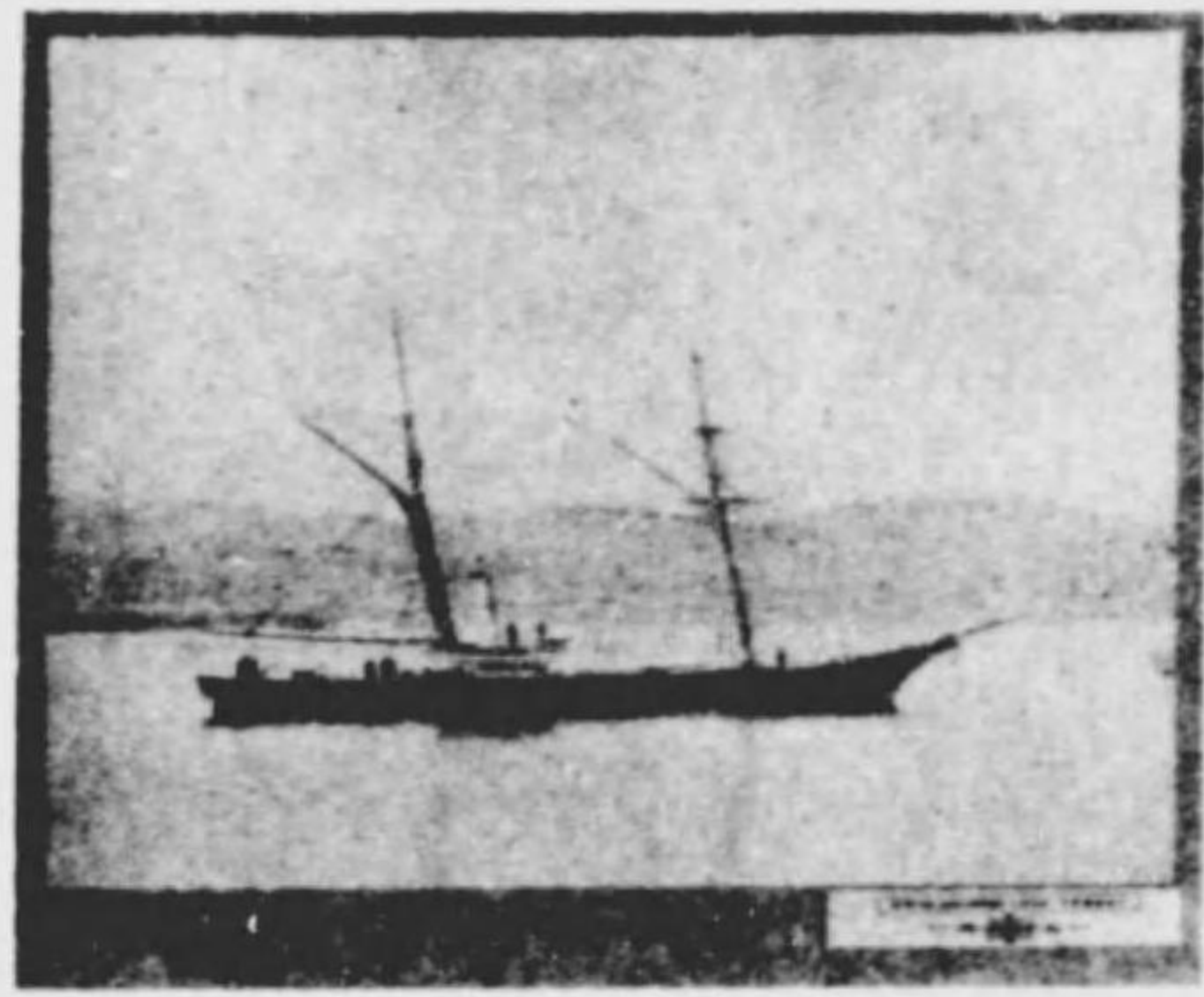
鍋島侯爵家寄託

閑叟公海防ノ急務ニ着眼シ精練方ヲ設ケテ鑄砲ヲ行ヒ又造船ヲ試ミ文久三年ニハ凌風丸ヲ作りテ近海航路ニ使用セリ 本模型ハ安政二年精練方ノ製造ニカ、ル外輪船雛形ノ寫ナリ

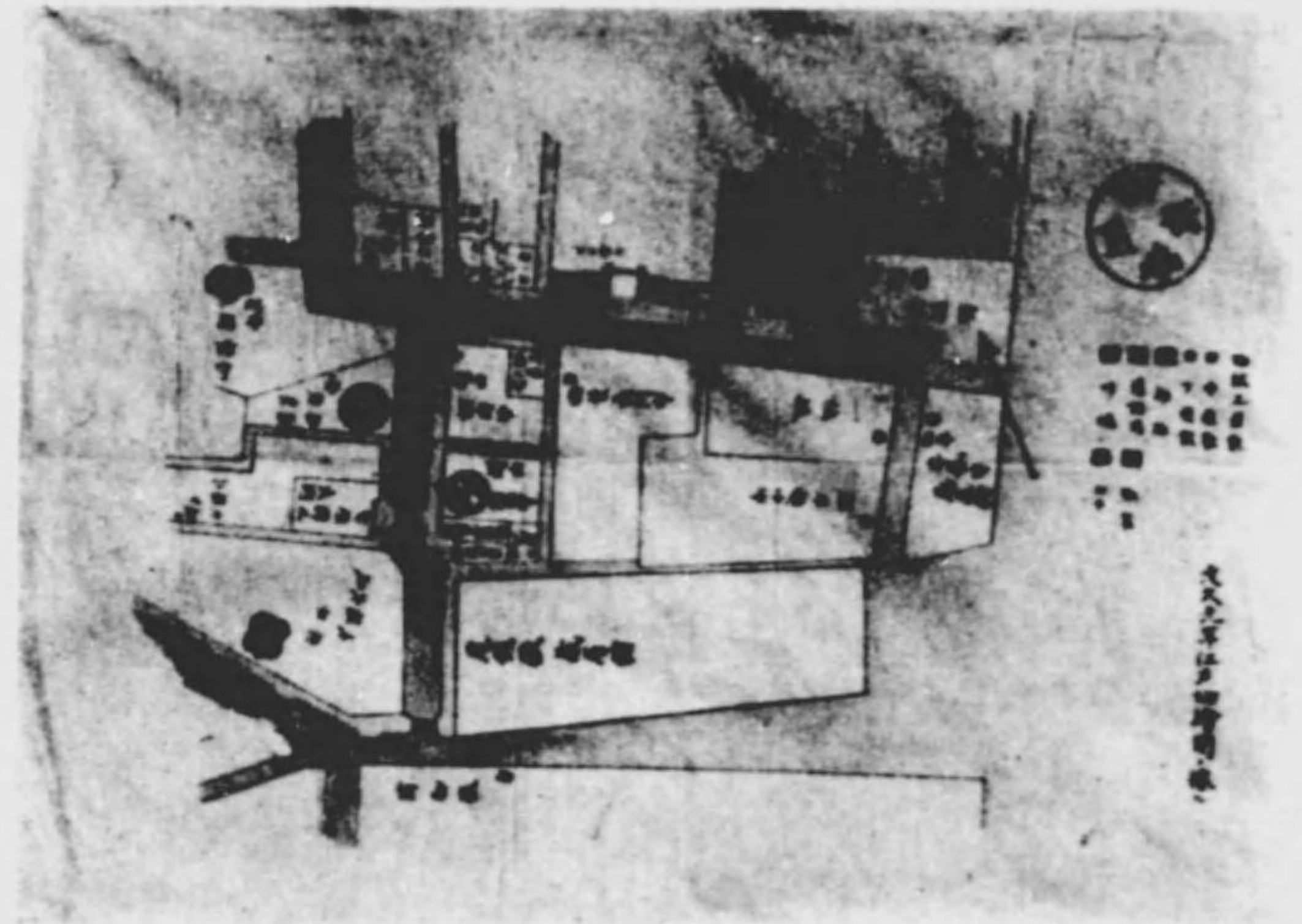
(5) 佐賀三重津海軍方全景圖 (寫眞)

鍋島侯爵家寄贈

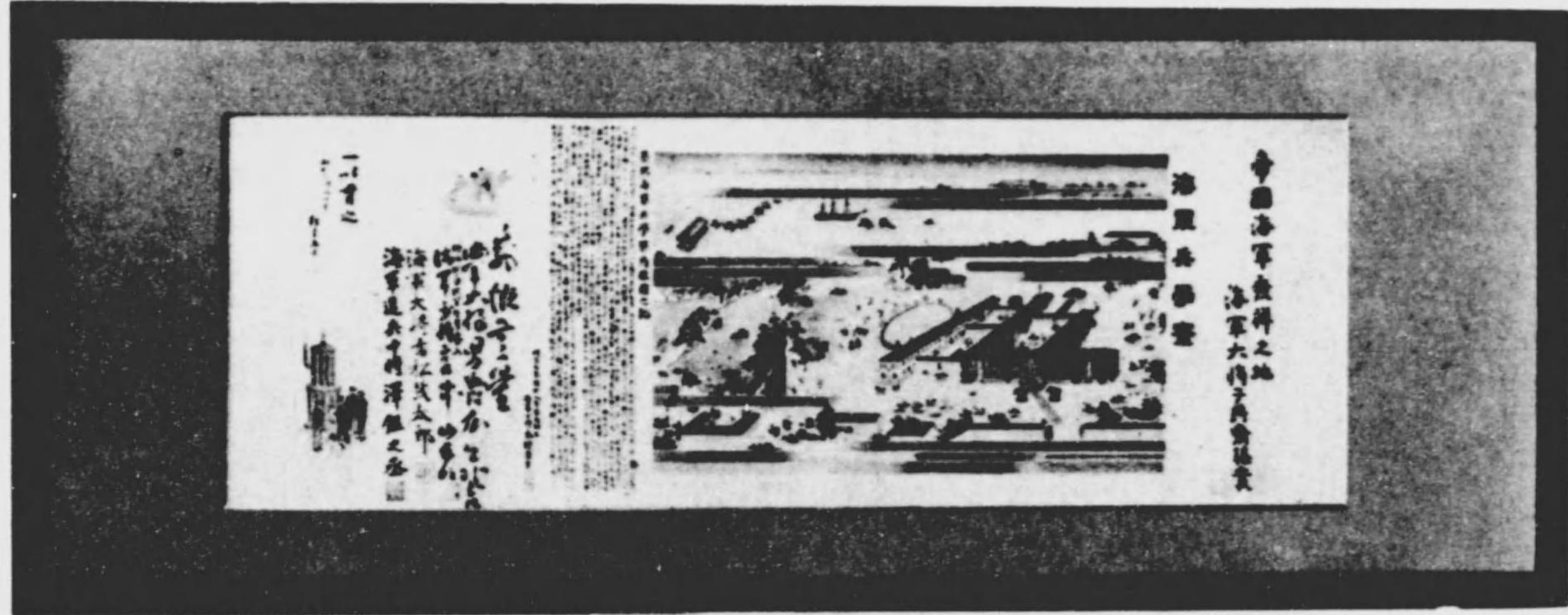
三重津ハ佐賀ノ海軍練習ノ根據地ニシテ本圖ハ明治元年ノ光景ヲ描キタルモノナリ



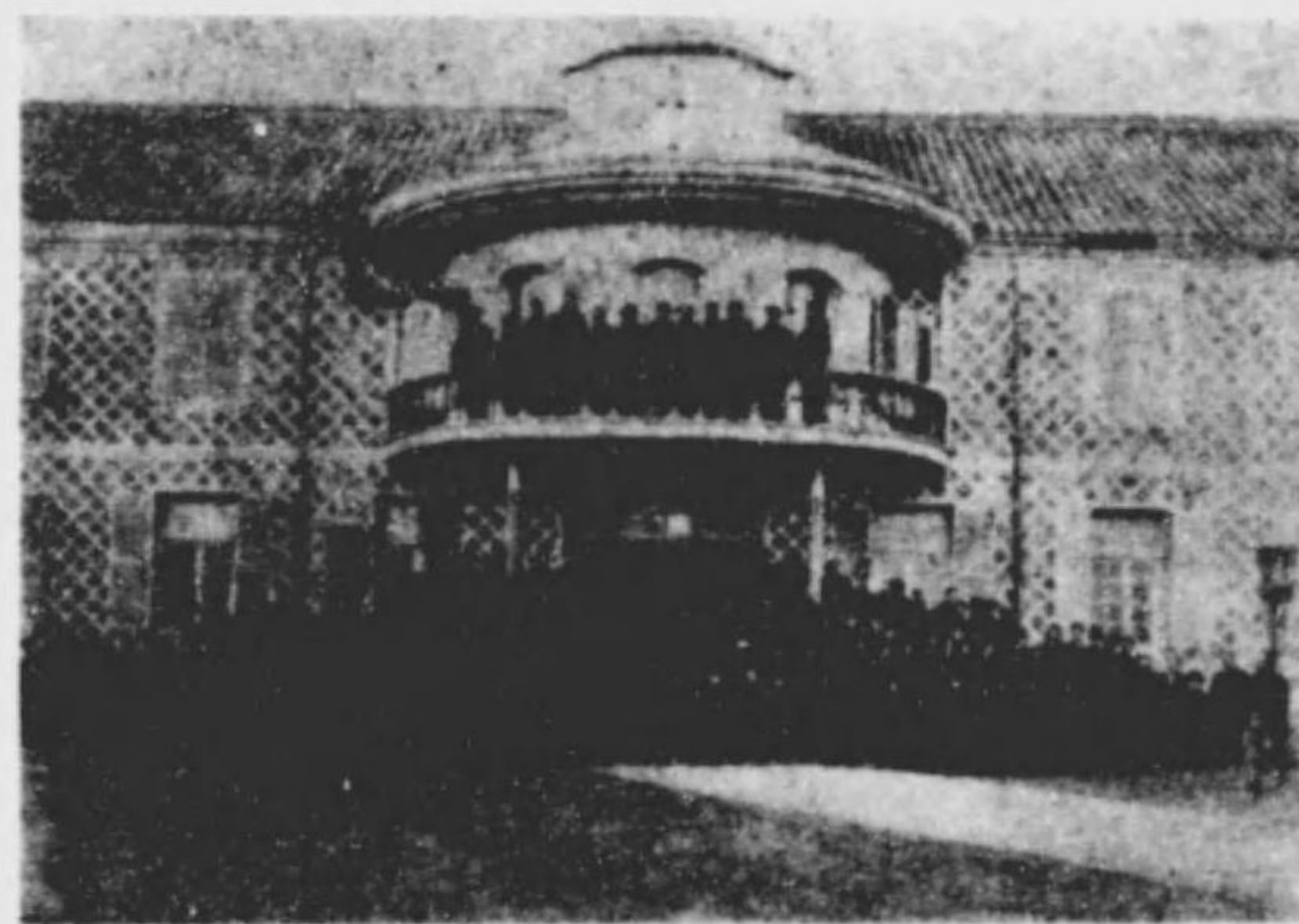
(2)



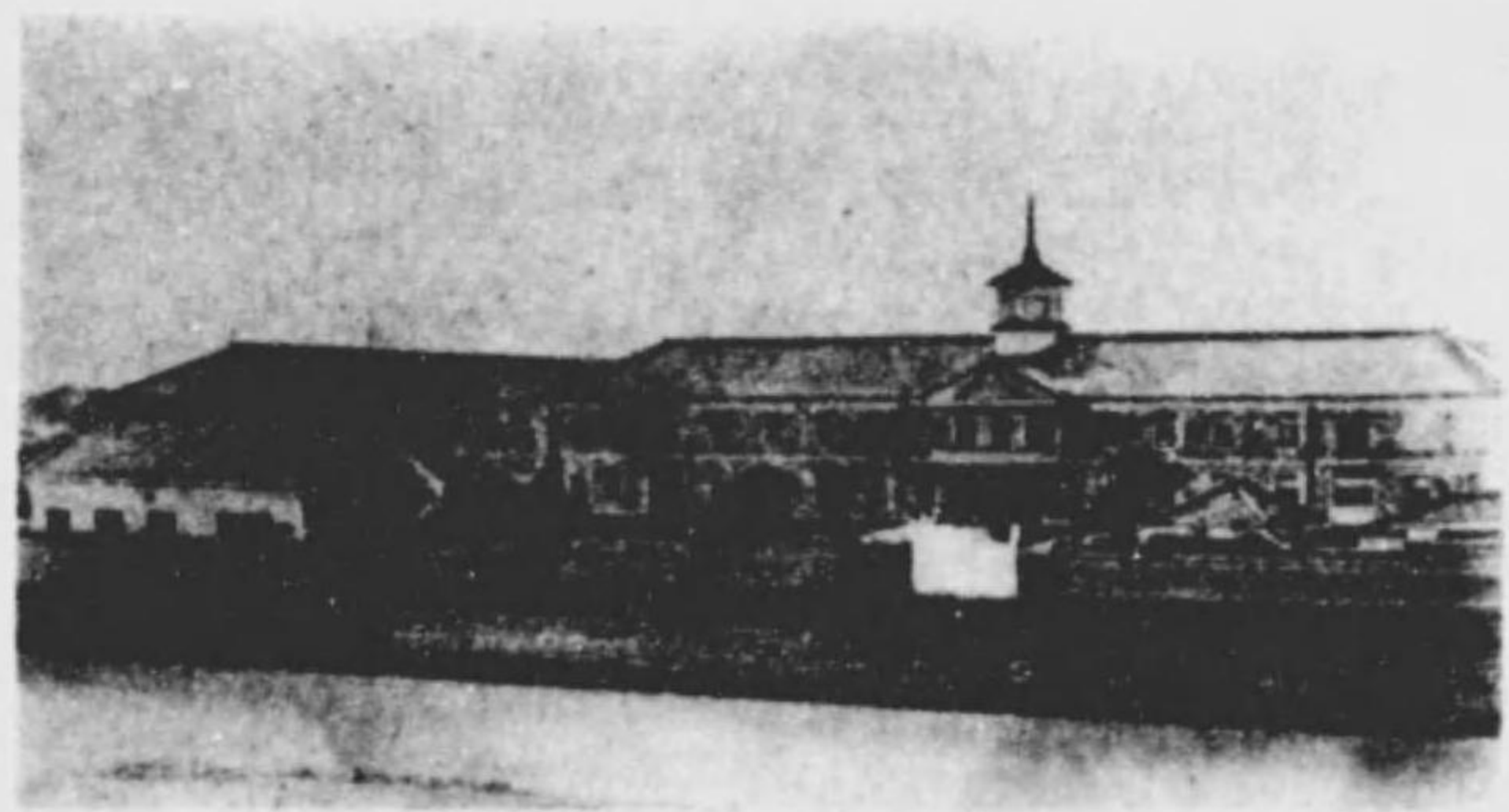
(1)



(3)



(6)



(4)

築地海軍操練所並ニ海軍兵學寮

(1) 築地海軍操練所位置圖

海軍操練所ハ明治二年九月築地安藝橋内ニ設ケラレ兵部省ニ屬ス 各藩ニ令シテ海軍修行生十八歳ヨリ二十歳ヲ限リ大藩五人中藩四人小藩三人ヲ貢セシム 而シテ貢進生徒ハ入寮セシメ志願生ハ通學セシム 明治三年十一月海軍兵學寮ト改稱ス

(2) 生徒稽古艦千代田形艦寫眞

(3) 兵學寮鳥瞰繪圖

木村浩吉少將寄贈

木村福津守ノ息ニシテ兵學寮第九期卒業生タル木村浩吉少將ガ當時ノ記憶ヲ辿リ文献ヲ參照シテ當時ノ光景ヲ復元シ海軍省水路部山下鐵也氏ニ描カシメ同寮卒業ノ諸先輩ニ題字ノ揮毫ヲ乞ヒタル上本館ニ寄贈セラレタルモノナリ 因ニ兵學寮ノ建物ハ明治十八年頃ニ取毀タレタリ 彼方ノ船ハ練習艦乾行、左上ニ鶴堂トアルハ故山本大勳位ナリ 明治三年海軍操練所ハ創設一年餘ニシテ海軍兵學寮ト改稱セラレ兵部大丞川村純義初代兵學頭トナル

(4) 明治四年兵學寮舎 (寫眞)

(5) 明治五年兵學寮職員生徒寫眞

谷信久氏遺族寄贈



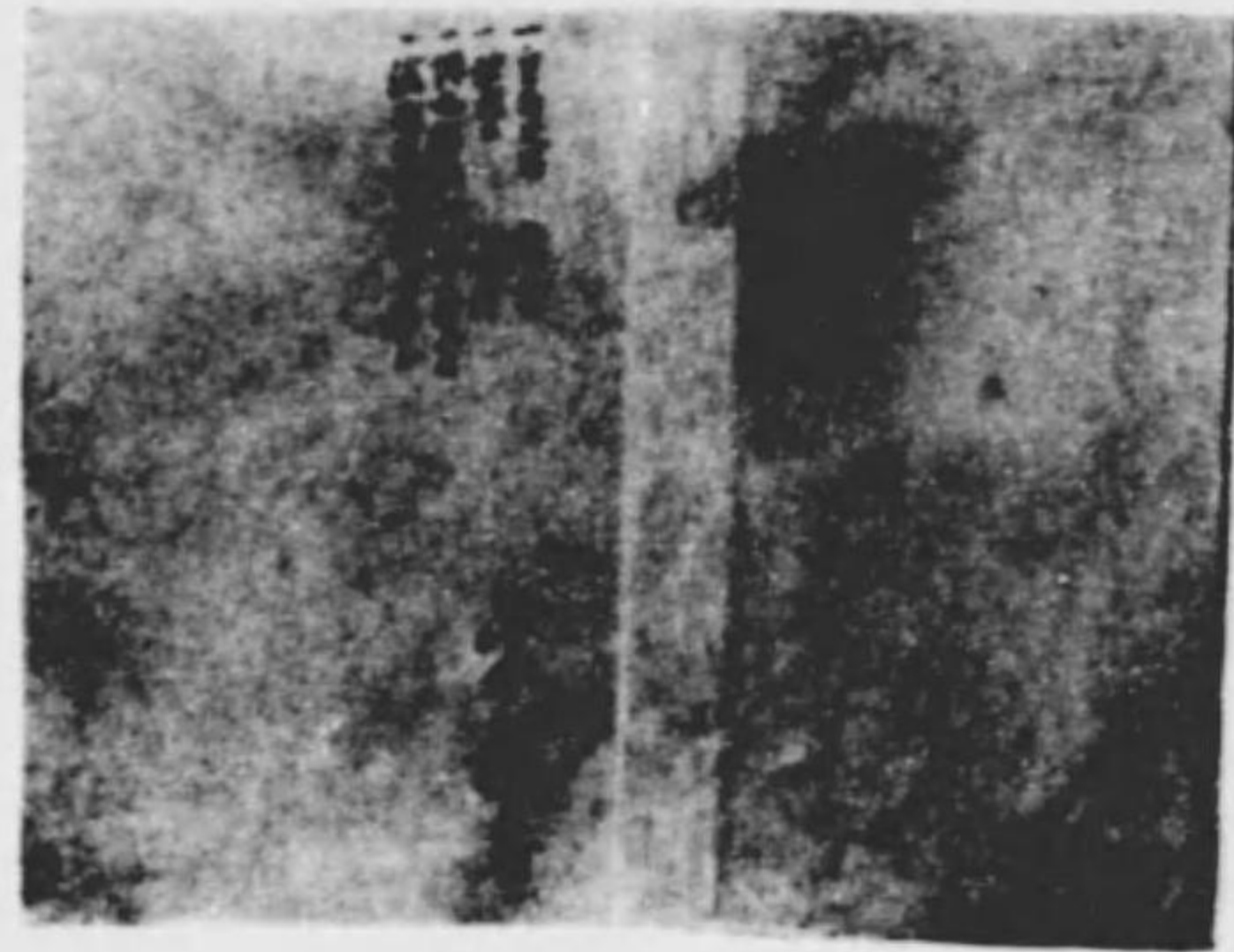
(2)



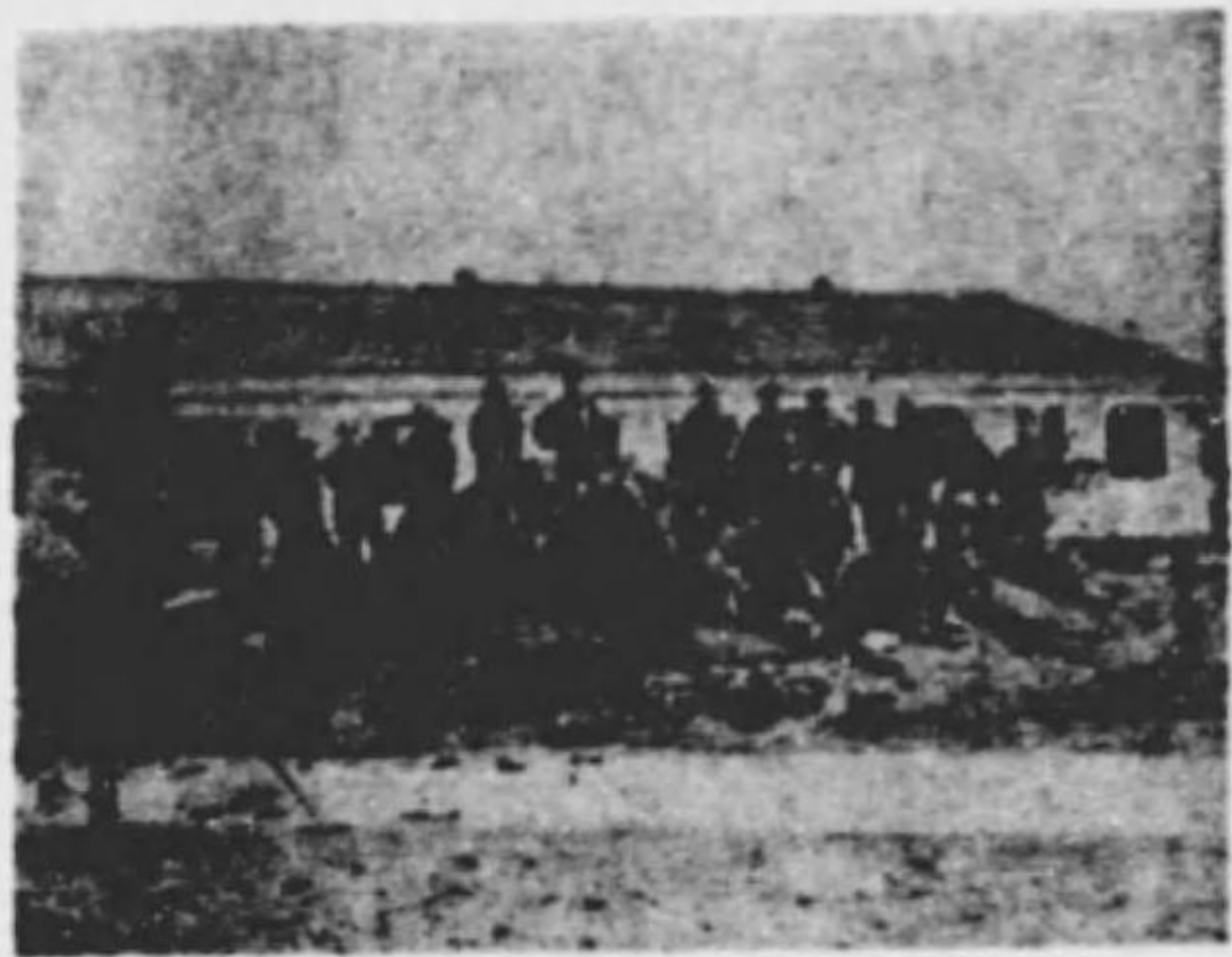
(1)



(7)



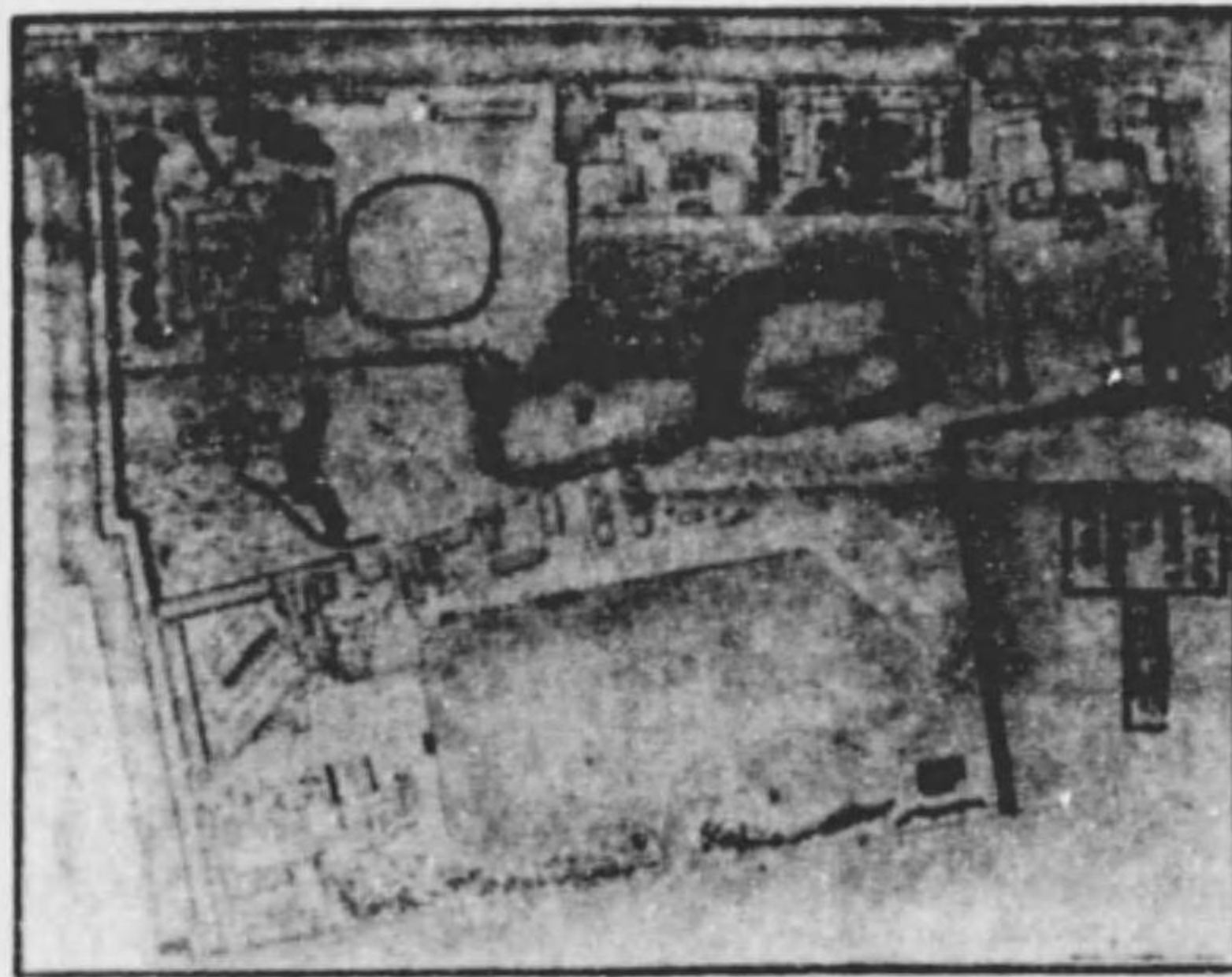
(3)



(8)



(4)



(6)



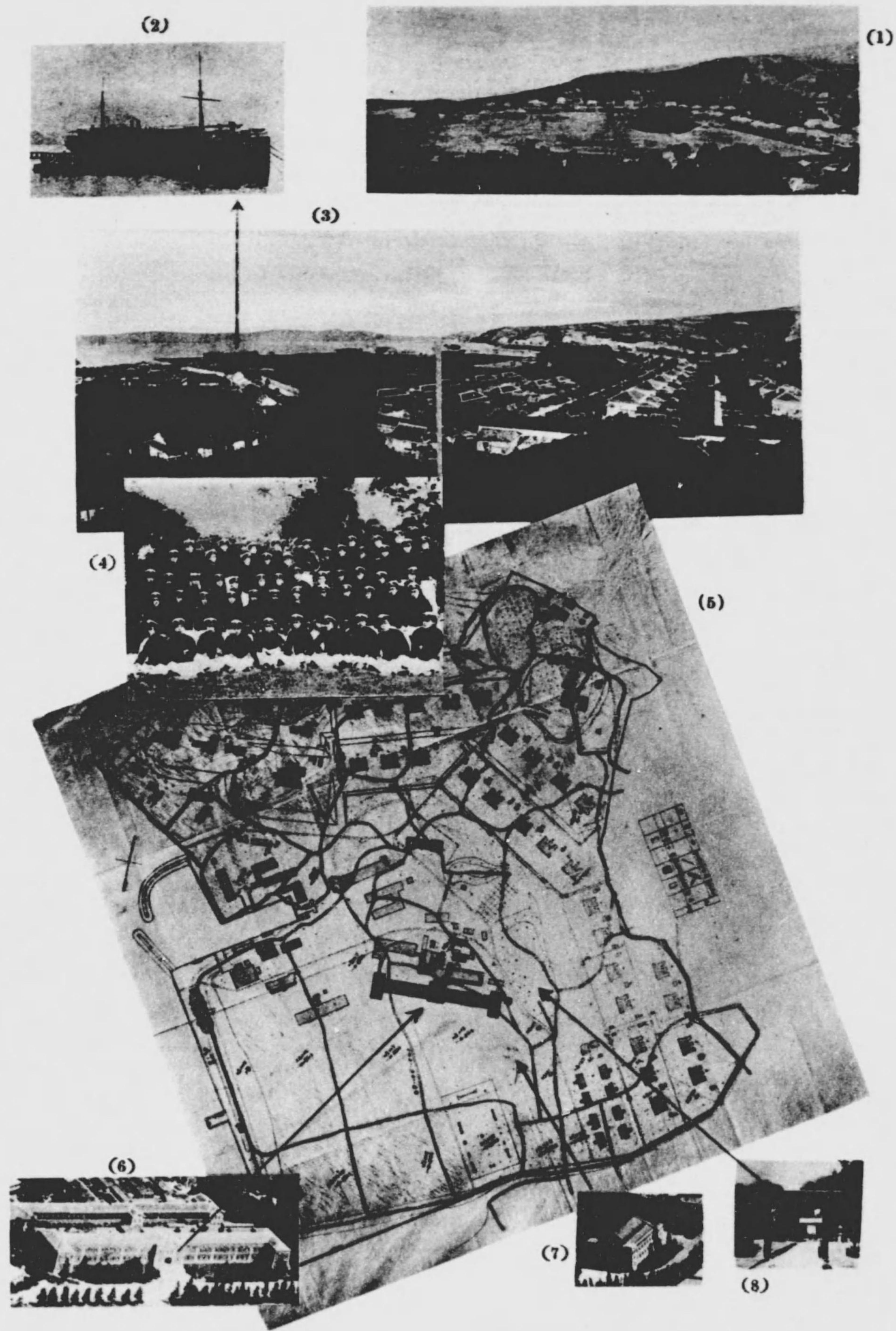
(5)



(9)

海軍兵學寮(續)

- (1) 海軍兵學寮記事 荒川重平氏寄贈
- (2) 兵學寮生徒入學誓約書 氏名ノ下ニ花押及血判アリ
- (3) 兵學寮圖書出納簿殘簡 谷信久氏遺族寄贈
兵學寮文庫ハ我邦洋式圖書館ノ嚆矢ナリ 本殘簡ハ明治四年頃ノ使用ニカ、ルモノニシテ茲ニ掲出セシハ故山本大勳位ノ借用署名ナリ
- (4) 兵學寮關係圖書 荒川重平氏寄贈
海軍兵學寮入學生一覽表 (明治十九年發行)
海軍兵學寮記事 同
海軍省明治五年官員錄 同
兵學寮內則 澤鑑之坂造兵中將寄贈
海軍學校規則 伊東二郎丸氏寄贈
海軍兵學寮規則 谷信久氏遺族寄贈
- (5) 明治十六年建築ノ海軍兵學寮生徒館寫眞
- (6) 明治十年測量築地海軍省敷地見取圖
- (7) 英人教師「ダグラス」寫眞 英國海軍本部寄贈
川村海軍大輔英政府ニ良教師ヲ依頼シ各職各科三十餘人ヲ聘ス「ダグラス」ハ其ノ長タリ我海軍ノ發達ニ貢獻スル所渺カラズ
- (8) 英人教師一行寫眞 齋藤實大將寄贈
- (9) 第十期生徒東京灣短艇巡航ノ際漂着後乾衣ノ圖(寫眞) 伊藤乙次郎中將寄贈
本圖ハ明治十七年十二月下旬郡司海軍少尉ガ運用術教官トシテ第十期海軍兵學寮生徒三十七人ヲ引率シ五日間ニ互ル東京灣內長途端艇巡航ヲナシ其第一日ニ於テ船橋沖ノ夜泊中風波ノ爲吹キ流サレテ千葉縣五井村海岸ニ漂着シタル時ノ實景ヲ描キタルモノニシテ當時生徒ノ一人タル秀島成忠氏ガ寫生シ置キタルモノニ據リ特ニ同氏ヲ煩ハシテ伊藤乙次郎中將ガ別墅ノ襖ニ揮毫ヲ請ヒタルモノナリ 兵學寮生徒ノ長途端艇巡航ハ實ニ此時ヲ以テ嚆矢トナス



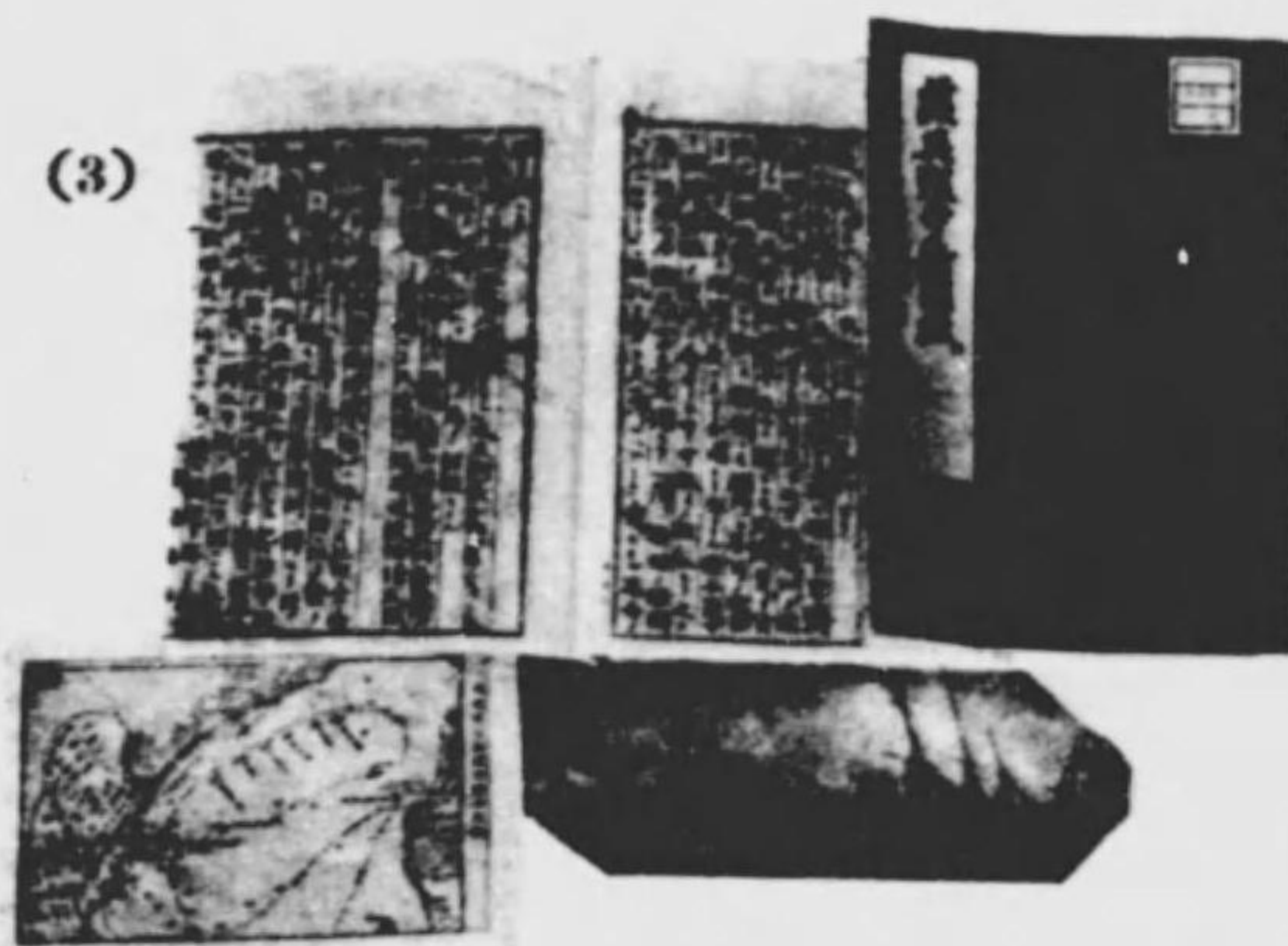
海軍兵學校 (江田島)

海軍兵學校ハ明治二十一年八月東京築地ヨリ江田島ニ移リ今日ニ至ル 因ニ海軍兵學校ハ兵艦寮ノ後身ニシテ
其ノ改稱ハ明治九年八月ノコトナリ

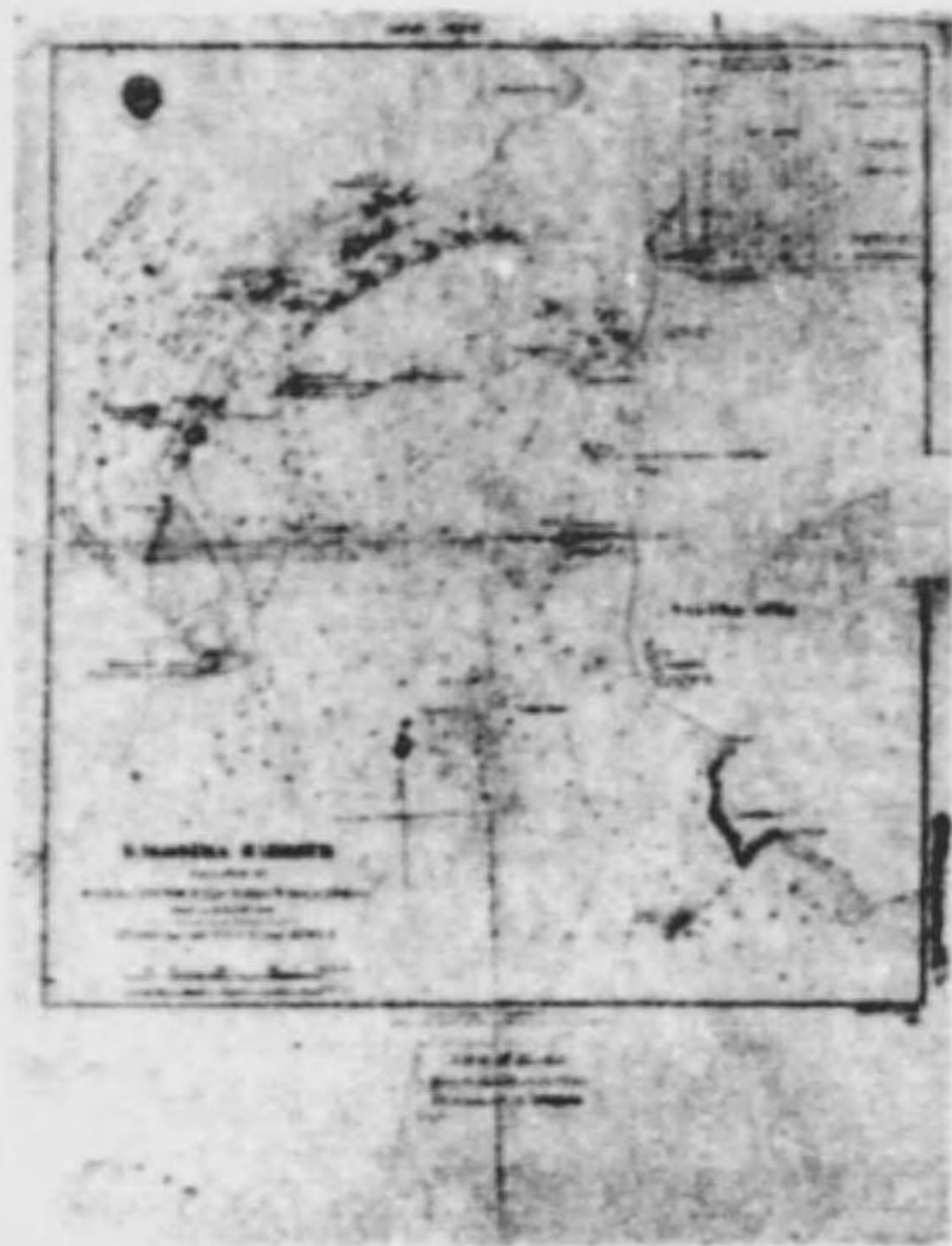
- (1) 海軍兵學校江田島移轉當時ノ光景 (明治二十一年)
- (2) 當初ノ練習船東京丸寫眞
- (3) 明治二十三年頃ノ江田島兵學校光景
- (4) 江田島移轉後第一回卒業生寫眞 (明治二十一年入學同二十五年卒業)
- (5) 當時ノ海軍兵學校位置圖
- (6) 現在ノ生徒館
- (7) 同 大講堂
- (8) 同 八方園神社



(1)



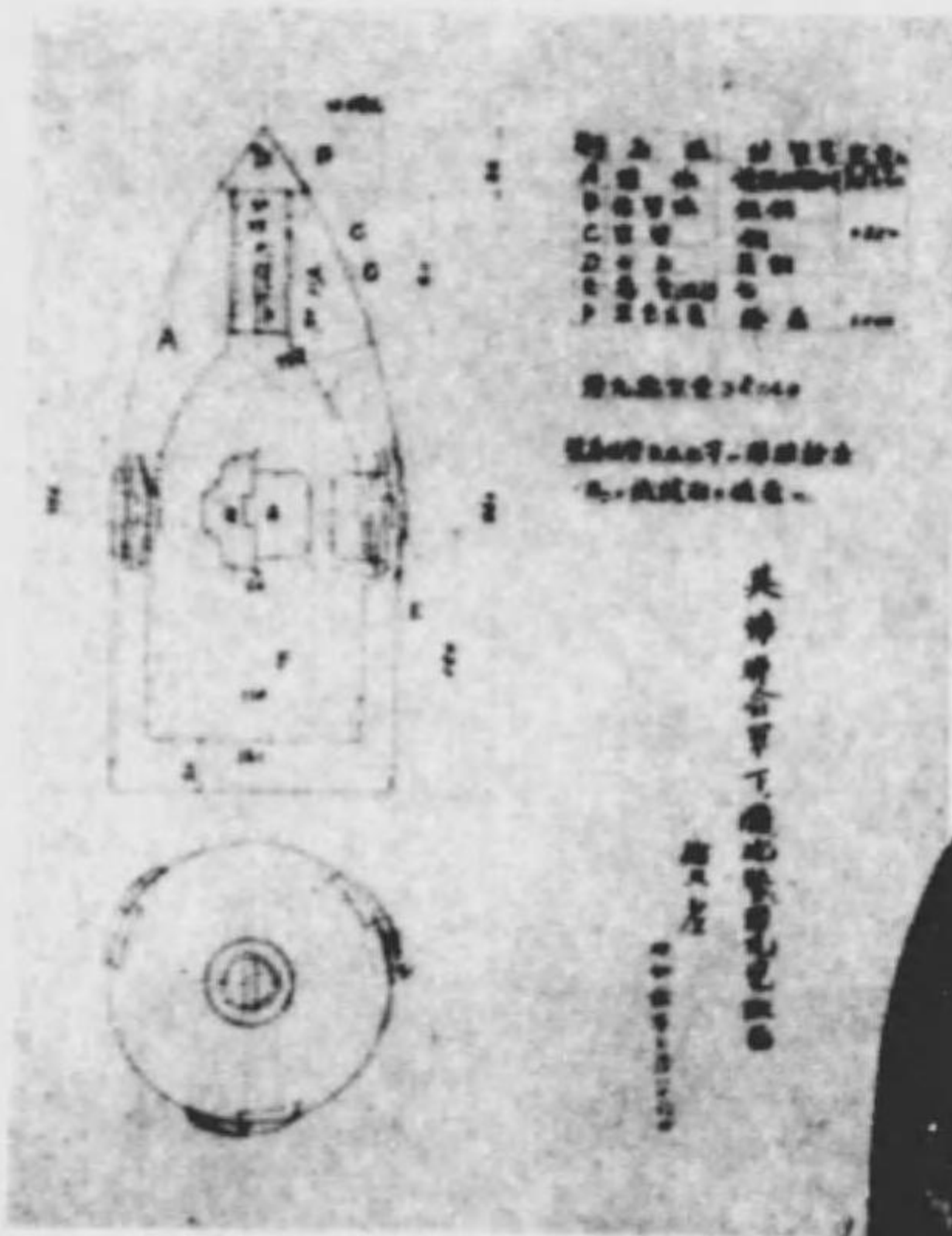
(3)



(2)



(4)



(5)



(6)



薩英戦争ト下關砲撃

(1) 薩英戦争繪卷 (複本) (原圖 伊地知峻氏藏)

文久二年生麥ノ變アリ 英國賠償ヲ幕府ニ求メテ要領ヲ得ズ 依テ翌三年六月旗艦「ユリアラス」以下七隻ノ支那艦隊ヲ鹿兒島ニ派遣シ我ヲ威嚇シテ問題ヲ解決セントス 七月二日天保山砲臺ヨリ第一彈ヲ「ユリアラス」ニ送り英艦周章狼狽應戰ニ時間互ニ損害アリ 翌三日我屈セザルヲ知り拔錨櫻島砲臺ト交戦シツ、南下シ横濱ニ來ル本國ハ此戰ノ情況特ニ薩藩ニ於ケル守備ノ狀況ヲ描寫セルモノナリ

(2) 英艦鹿兒島攻撃海圖

一八六三年(文久三年)同戰爭直後ニ英國ニ於テ發行セラレタル海圖ニシテ英艦隊ノ航跡ヲ示ス

安原金次氏寄贈

(3) 英艦戦争始末 (原本 岸秀實氏藏)

薩英戦争新聞紙 (原本 金澤市 氏家英三郎氏藏)

小林哲雄中尉寄贈

(4) 英艦ヨリ發射セシ砲彈

何レモ同戰爭ニ關スル英國新聞記事ノ翻譯ナリ

水交社寄贈

(5) 下關砲撃當時佛艦ヨリ發射セシ砲彈

鹿兒島砲臺ヨリ拾得セシモノニシテ彈頭屈曲ス 元築地海軍參考館ニアリシモノナリ

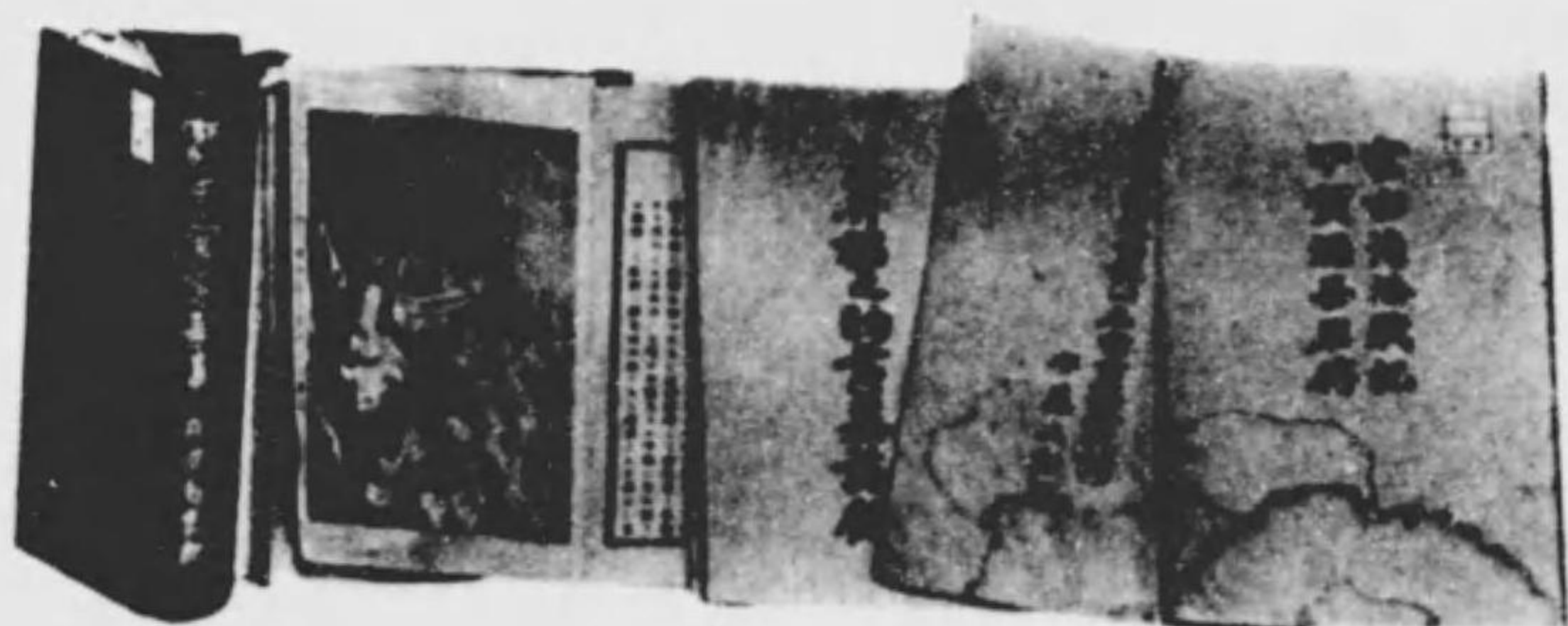
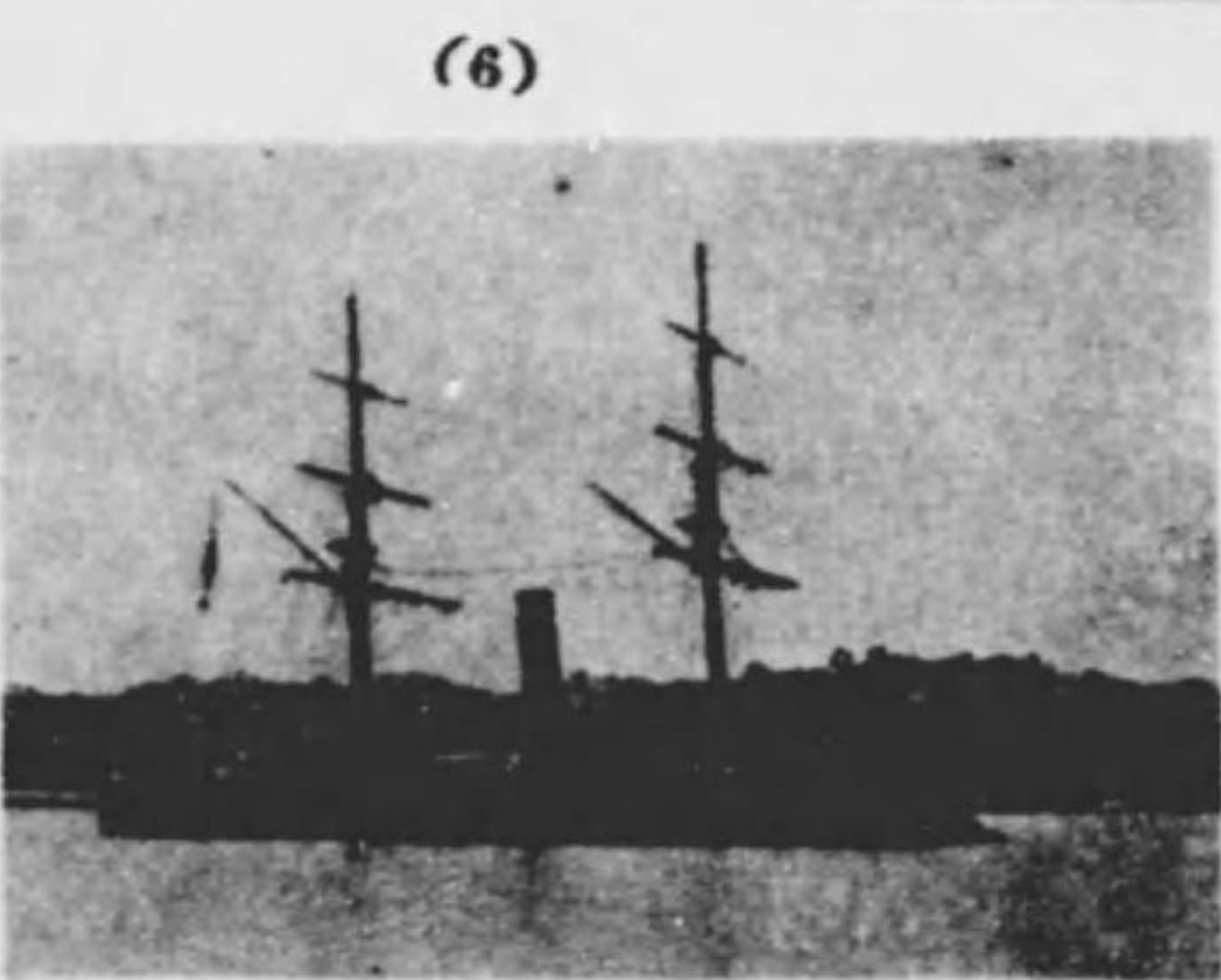
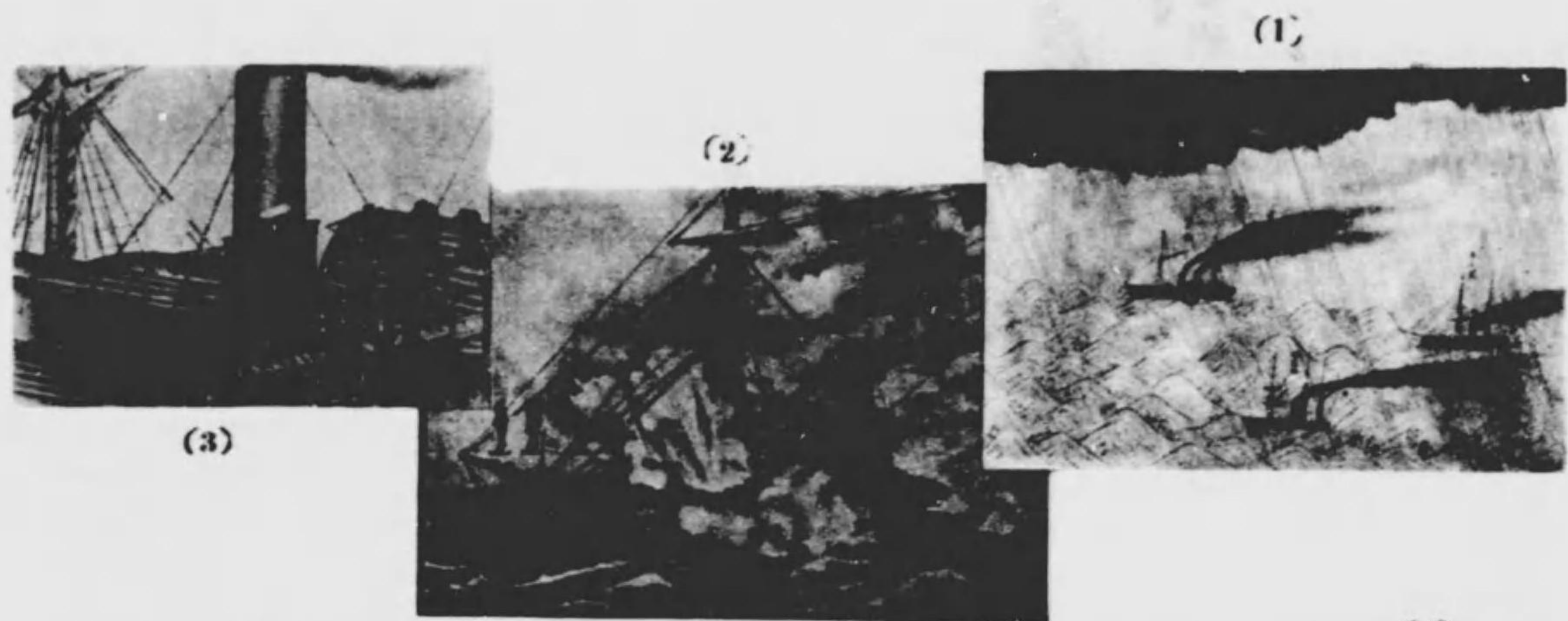
谷口尙眞大將寄贈

(6) 佛艦下關攻撃 (原圖油繪 佛國ベルサイユ宮殿藏)

元治元年長州藩ガ攘夷ヲ實行シテ外船ノ砲撃ヲ行フヤ英米佛蘭四國ノ聯合艦隊ハ之ガ報復トシテ下關ヲ砲撃セリ 此砲丸ハ當時發射セラレタルモノガ不發ノマ、土中ニ埋モレ昭和二年土木工事中發見セラレタルモノナリ

同

佛艦下關前田砲臺ヲ攻撃セシトキノ光景 正面ノ大艦ハ旗艦「セミラセス」號ナリ



(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

戊辰之役（宮古海戦）

明治元年八月榎本武揚等幕軍艦隊ハ品川ヲ拔錨シ兩館ヘ脱走ス翌年三月二十日甲賀源吾ヲ艦長トスル回天艦ハ官軍ノ甲鐵艦ヲ毒ハントシテ蟠龍・高雄ノ二艦ヲ率キテ兩館ヲ發シ海上颯風ニ逢ヒ互ニ相離レ回天一隻ハ單獨官軍々艦八隻ノ碇泊セル宮古灣ニ突入シ甲鐵艦ニ迫リテ接戦ヲ試ミ交戦數刻兩軍ノ死傷多ク甲賀艦長モ艦橋ニテ指揮中敵彈ニ中リテ壯烈ナル戦死ヲ遂ゲ寡ヲ以テヨク衆ニ當リ遺憾ナク攻撃精神ヲ發揮シタル戦トシテ我海戦史上特筆サルベキモノナリ

(1) 回天・蟠龍・高尾宮古灣ヘ向フ途中難航圖(複製)
(原圖 玉置彌五左衛門氏藏)

(2) 宮古海戦ニ於ケル回天・甲鐵兩艦相搏之圖
(小笠原子著帝國海軍史論所藏)

(3) 回天艦上奮戦ノ圖(原圖 荒井弟次郎氏藏)
甲賀艦長等回天艦上ニテ戰闘ヲ指揮ス 左ヨリ教師佛人「ニコール」、本圖筆者當時見習士官安藤太郎、幕軍艦隊司令官荒井郁之助、艦長甲賀源吾

(4) 回天艦長甲賀源吾寫眞 甲賀宜政氏寄贈
甲賀源吾ハ遠州掛川藩ヨリ召サレテ徳川幕府ニ仕ヘ果進シテ軍艦頭トナル 戊辰ノ亂ニ軍艦回天ニ長トシテ兩館ニ脱走ス 明治二年三月二十五日回天艦一隻ヲ以テ宮古灣ニ官軍ノ八艦ヲ襲ヒ激戦中號令シツ、壯烈ナル最後ヲ遂ケタリ

(5) 回天艦ノ圖 谷口尙眞大將寄贈
宮古海戦ニ於テ偉功ヲ立テタル回天艦ハ元獨逸海軍創立ノ時第一ニ製造セラレタル蒸汽軍艦ニシテ「ダンチヒ」ト稱シ後軍用ニ適セザル故ヲ以テ英商ノ手ニ渡リ「イーグル」ト改

稱シ慶應元年亞米利加ノ一會社ノ手ヲ經テ長崎ニ回航セラレ日本政府ニテ買込ミタル木製蒸汽軍艦ニシテ一六七八噸、大砲五十六片砲十二門ヲ裝備セリ

(6) 甲鐵艦寫眞

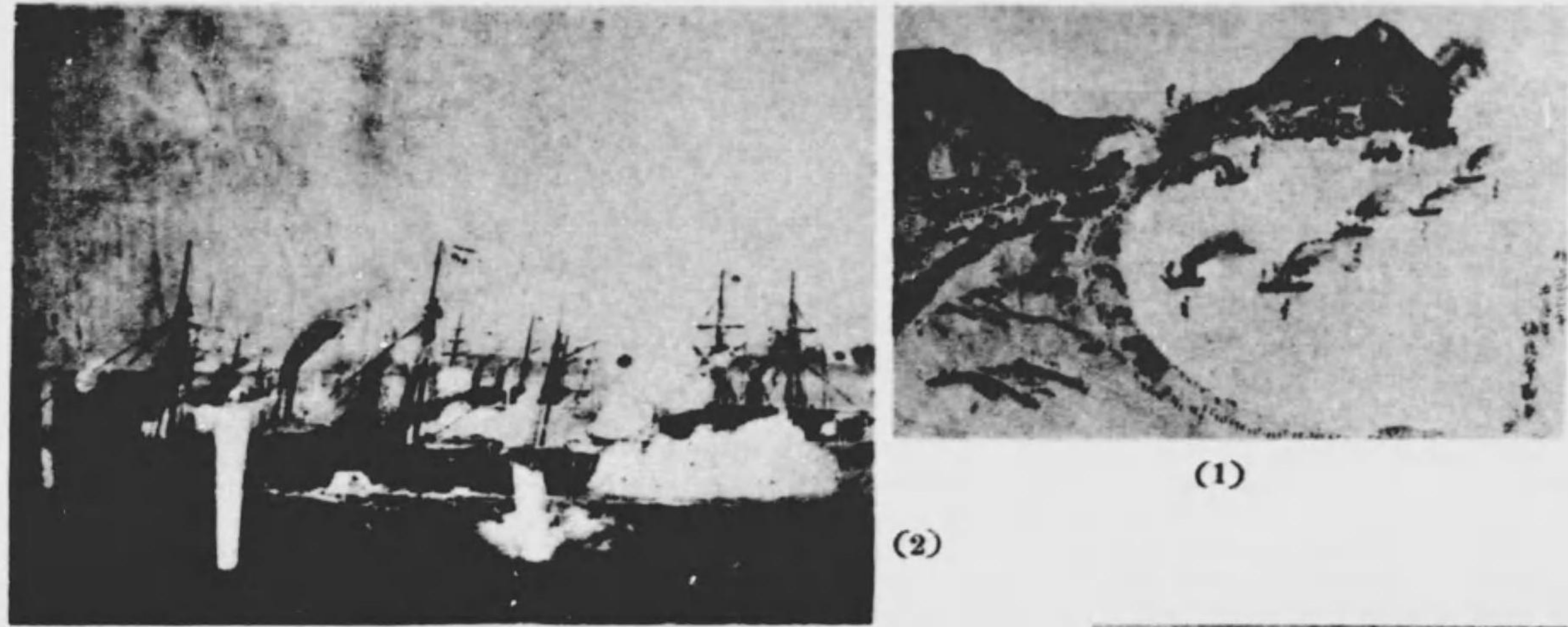
軍艦甲鐵艦ハ慶應三年小野友五郎ヲ委員トシテ米國ヨリ購入シタルモノニシテ原名ヲ「ストーンウォール」ト云ヒ南北戦争ニ勇名ヲ轟カセシ有名ナル軍艦ナリ 明治二年品川ニ到着スルヤコレヲ朝廷ニ納ム 當時唯一ノ裝甲軍艦(後東ト改稱)トシテ官軍海軍ノ旗艦タリキ 一三五八噸

(7) 軍艦春日乗組士官寫眞 伊地知清弘中將寄贈
軍艦春日ハ文久三年英國ニテ竣工元鹿兒島藩ノ軍艦ナリキ 明治二年兩館ヘ脱走セル幕艦追討ノ命ヲ承ケ同年三月品海出港前春日艦員ノ下宿(東京芝高輪町松葉館)庭ニ於テ撮影シタルモノナリ 當時東郷元帥ハ三等士官ナリキ

(8) 參考書

(9) 回天艦戦没者過去帳 谷信久氏遺族寄贈
宮古海戦ニ於テ壯烈ナル戦死ヲ遂ゲタル艦長甲賀源吾、副長矢作冲鷹、一等士官筒井專一郎等ノ戒名ヲ誌シタル過去帳ニシテ其墓所タリシ兩館稱名寺ニアリシモノガ回天乗組軍艦後見習一等谷鐵司(信久)家ニ傳ハリ本館ニ寄贈セラレタルモノナリ

(10) 宮古港戦蹟碑 島田要藏氏寄贈
此碑ハ岩手縣下閉伊郡鐵ヶ崎元菊地長右衛門氏ノ別荘對鏡閣ノ庭園内ニ在リ額字ハ東郷元帥、碑文ハ小笠原子爵ノ書ナリ



(1)

(2)



(3)



(4)



(6)



(5)



(8)



戊辰之役（函館戦争）

(1) 函館戦争鳥瞰圖（箱館戦争ト大野藩ヨリ轉寫）

當時從軍セシ大野藩士岡雪山ノ寫生ニ係リ函館戦争最後ノ日（明治二年五月十一日）ノ光景ヲ寫シタルモノニシテ函館町ノ一部ト五稜廓ハ砲火ニ見舞ハレテ火災ヲ起シ海上ニテハ双方軍艦互ニ砲火ヲ交ヘ、官兵ハ上陸シテ函館町方面ヘ進撃シツ、アリ

兩館戦争參加艦

(官軍) 甲鐵(艦長中島) 陽春(石井) 春日(伊東) 丁卯(山形) 朝陽(中牟田)

(東軍) 蟻龍(松岡) 回天(甲賀、宮古ニテ戰死後根津千代田(森本))

(2) 函館海戰圖（油繪） 谷信久氏遺族寄贈

(3) 朝陽艦沈没ノ光景（岩橋正智筆 正智遺稿轉寫）

(4) 東軍海軍幹部寫眞（明治三年撮影）

林 松岡 磐吉 榎本 釜次郎 榎本 對馬 荒井 郁之助 神宮 勇

(5) 當時ノ海軍士官外套 谷信久氏遺族寄贈

(6) 當時使用ノ鐵砲並ニ砲彈 鐵砲 長谷川鐵雄氏寄贈 砲彈 柄崎祐殿氏寄贈

(7) 開陽艦江差沖ニテ坐礁ノ圖並ニ參考書

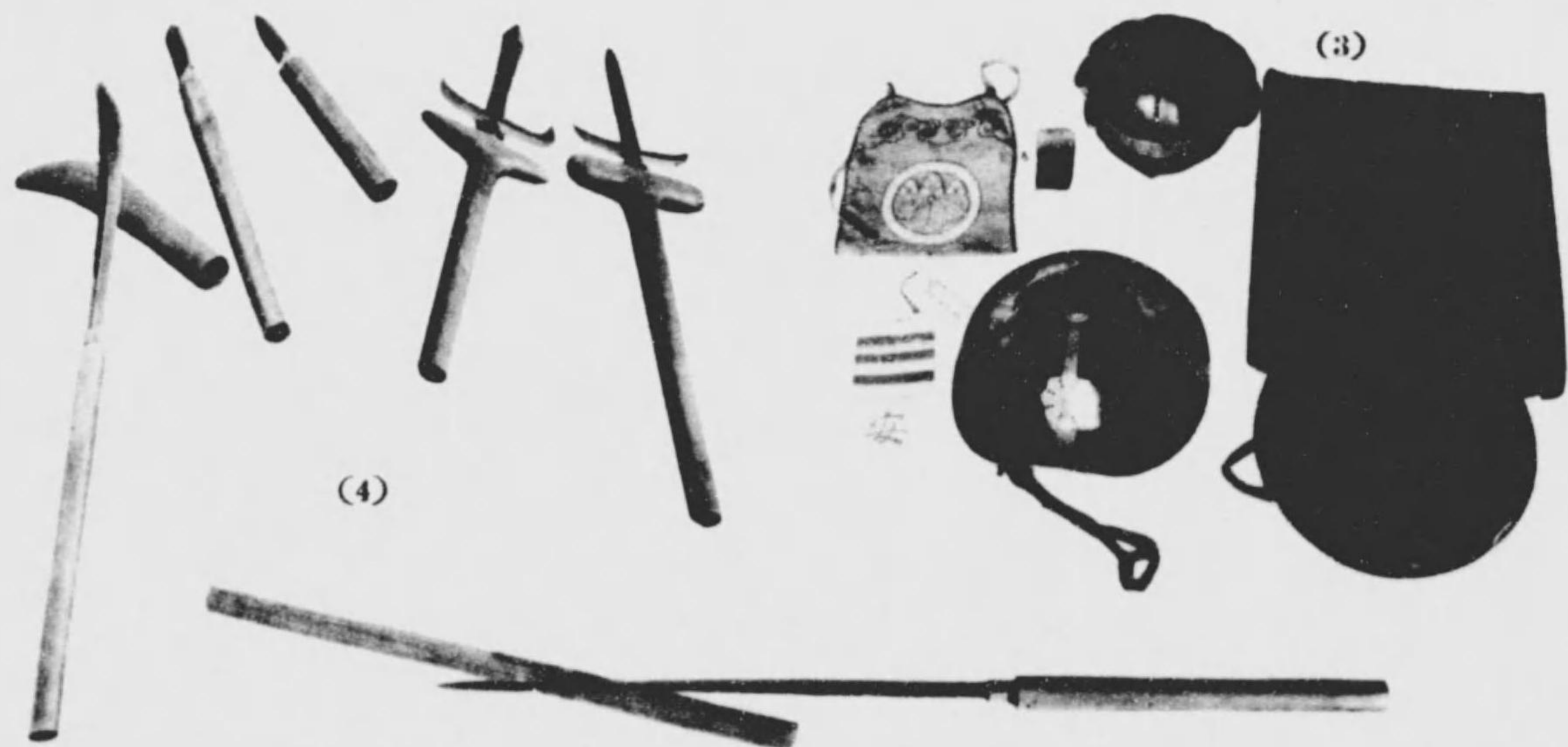
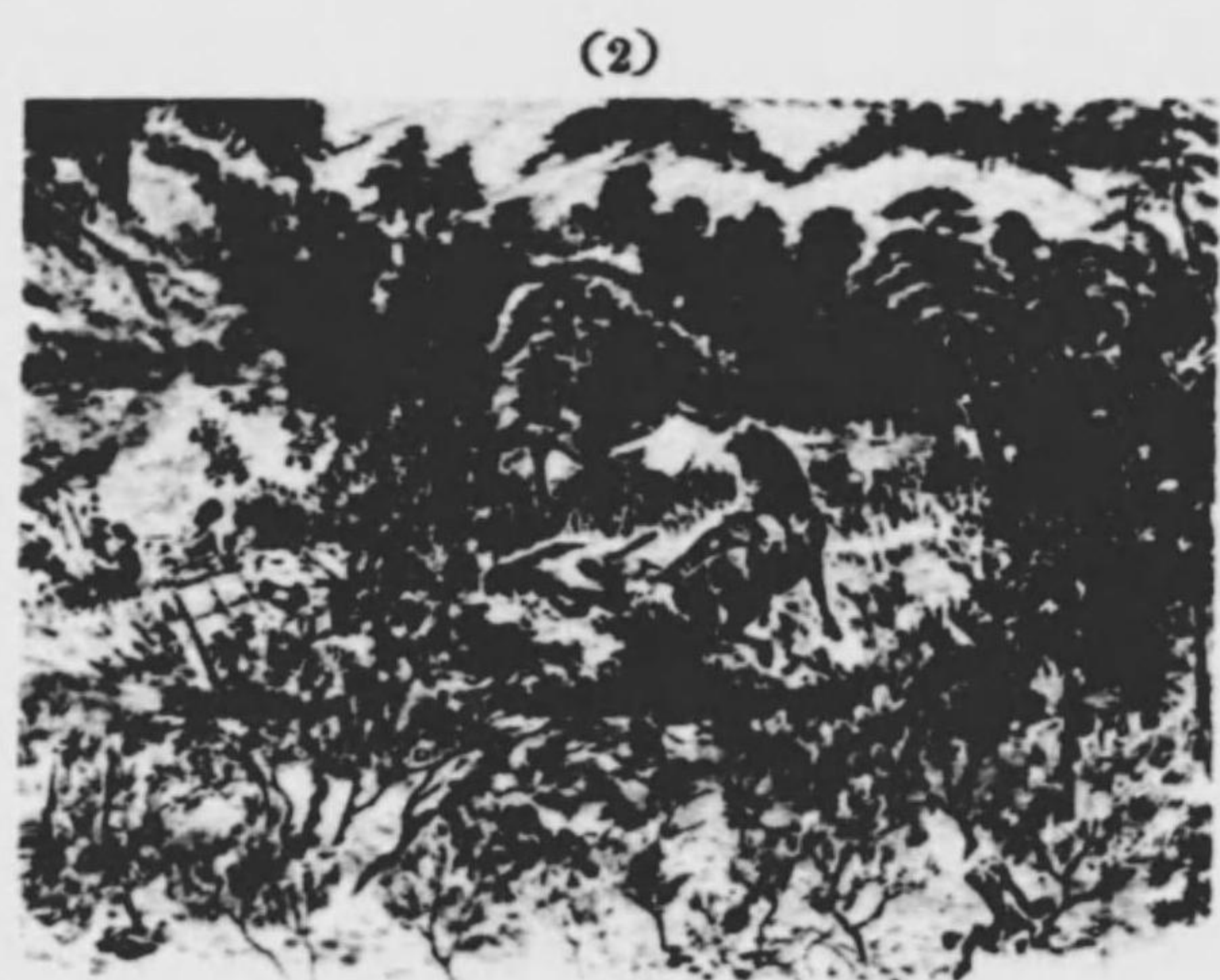
(8) 榎本武揚書簡寫（原本 荒井第二郎氏藏）

開陽艦ハ文久二年榎本等ガ和蘭留學ヲ命セラレタル時同國ニ於テ新造セシ四百馬力二八七噸ノ軍艦ニシテ慶應三年八月に到着シ爾後榎本武揚ノ指揮トシテ活躍シ明治元年八月に江差沖ニテ坐礁シ大破セリ「幕府御軍艦繪圖」ハ玉置彌五左衛門ガ函館戦争ニ從事シ後青森ニテ謹慎中描畫セシモノナリ

本圖ハ明治二年五月七日函館役ニ於ケル幕府軍艦回天ノ戰闘ヲ描ケルモノニシテ海軍中尉兼兵學中助教（後海軍機關大尉）横井時庸氏ノ筆ニナリシモノナリ 圖中正面外輪軍艦ハ暮艦回天ナリ 回天ノ右後方菊御紋章旗ヲ掲揚セル軍艦ハ官艦甲鐵次ハ春日次ハ朝陽ニシテ更ニ其ノ後方模糊タル陸影ハ五稜廓ナリ

五月十一日東軍蟻龍艦ヨリ發射セル砲彈ガ官軍朝陽艦ノ右舷ヲ貫通シテ彈藥庫ニ命中シ大爆音ヲ發シ忽チ爆沈シ艦ニ軸部ヲ殘スノミ 筆者岩橋正智(教員)ハ軍艦役並見習三等トシテ函館戦争ニ從事シ後技藝研究ノ爲英埃等ヘ出張シ銅版印刷ノ術ヲ傳ヘ又多クノ作品ヲ殘ス

(原圖 荒井第二郎氏藏)



戊辰之役

(1) 大鳥圭介戦時用洋服及鎖帷衣

大鳥男爵家寄贈

大鳥圭介ハ戊辰ノ役起ルヤ陸軍奉行トシテ榎本武揚等ト共ニ兩館五稜廓ニ據リ奮戦ス 本品ハ彼ガ兵ヲ率キテ江戸ヲ出テ陸路日光、會津、仙臺ヲ經テ幕艦開陽ニ乗ジ五稜廓ニ籠ル迄着用セシ洋服ナリ 又鎖帷衣ハ當時ノモノナルモ實用セザリシトイフ 「南柯紀行」ハ大鳥圭介ガ五稜廓ニ籠リ後官軍ニ降リ鐵窓裡ニ在リシ迄ノ從軍日記及獄中ノ記事ヲ合冊セルモノナリ

(2) 會津戰爭繪卷

東城つる氏寄贈

筆者不詳ナルモ會津戰爭ノ狀況ヲ精寫セル好資料ニシテ東城鉦太郎畫伯家ニ傳ハリシモノナリ

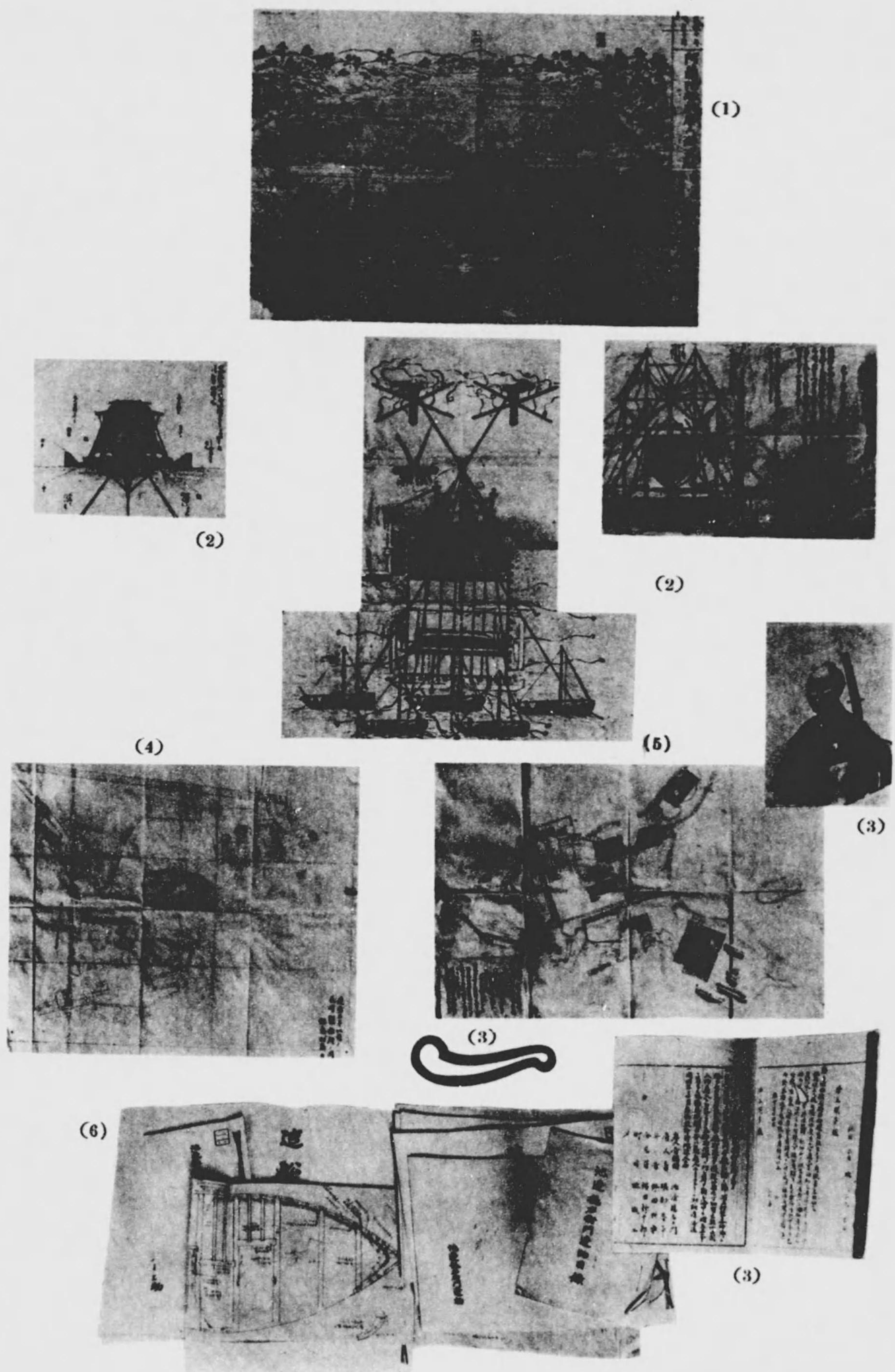
(3) 幕末維新時代ノ陣笠類

谷口尙眞大將寄贈

(4) 林家舊藏武器六種

林鍊作陸軍少將寄贈

何レモ銘アリ「義助」「國保」「國助」「直邦」「吉時」



長崎造船關係資料

(1) 和蘭船引揚繪圖 (版畫)

寛政十年十月阿蘭陀船ガ唐人瀨ニ於テ沈没セシヲ以テ防州ノ喜右衛門ナル者之ガ引揚方ヲ考案セリ 本圖左下ハ
蘭船沈没ニ瀕スル光景、ソノ右ハ内海ヘ曳航、右上ハ引揚、左上ハ修復、右下ハ修復成リテ出帆セントスル所ナ
リ 他ニ引揚仕掛ノ細部ニ互ル設計圖アリ

(2) 和蘭船引揚見取圖 (肉筆)

前記蘭船ヲ釣揚グル仕掛ヲ肉筆着色ニテ精細ニ描キタルモノナリ

(3)

艦船ヲ製造スルハ海軍ヲ擴張スルノ基礎ナレバ船廠ノ必要ナルハ固ヨリ言フ俟タズ 我邦ニ於テハ安政年間長崎
ニ於テ海軍傳習ノ事開始セラレ、ヤ之ト關聯シテ同地飽ノ浦ニ製鐵所ヲ設ケ又文久年間同地立神郷ニ軍艦製造所
ノ築造ニ着手セシモ遂ニ中止セラレ後長崎ノ地ガ不便ナル故ヲ以テ慶應元年製鐵所ハ横濱ニ造船所ハ横須賀ニ設
立セラレ、コト、ナレリ

池邊龍右衛門ハ長崎海軍傳習所御用掛トシテ造船用具關係ノ職務ヲ司掌シ後長崎製鐵所役員トシテ同製鐵所創設
ニ功アリ 定木ハ池邊ノ使用セシモノナリ (池邊榮次郎氏寄贈)

(4) 飽ノ浦製鐵所圖一面

池邊榮次郎氏寄贈

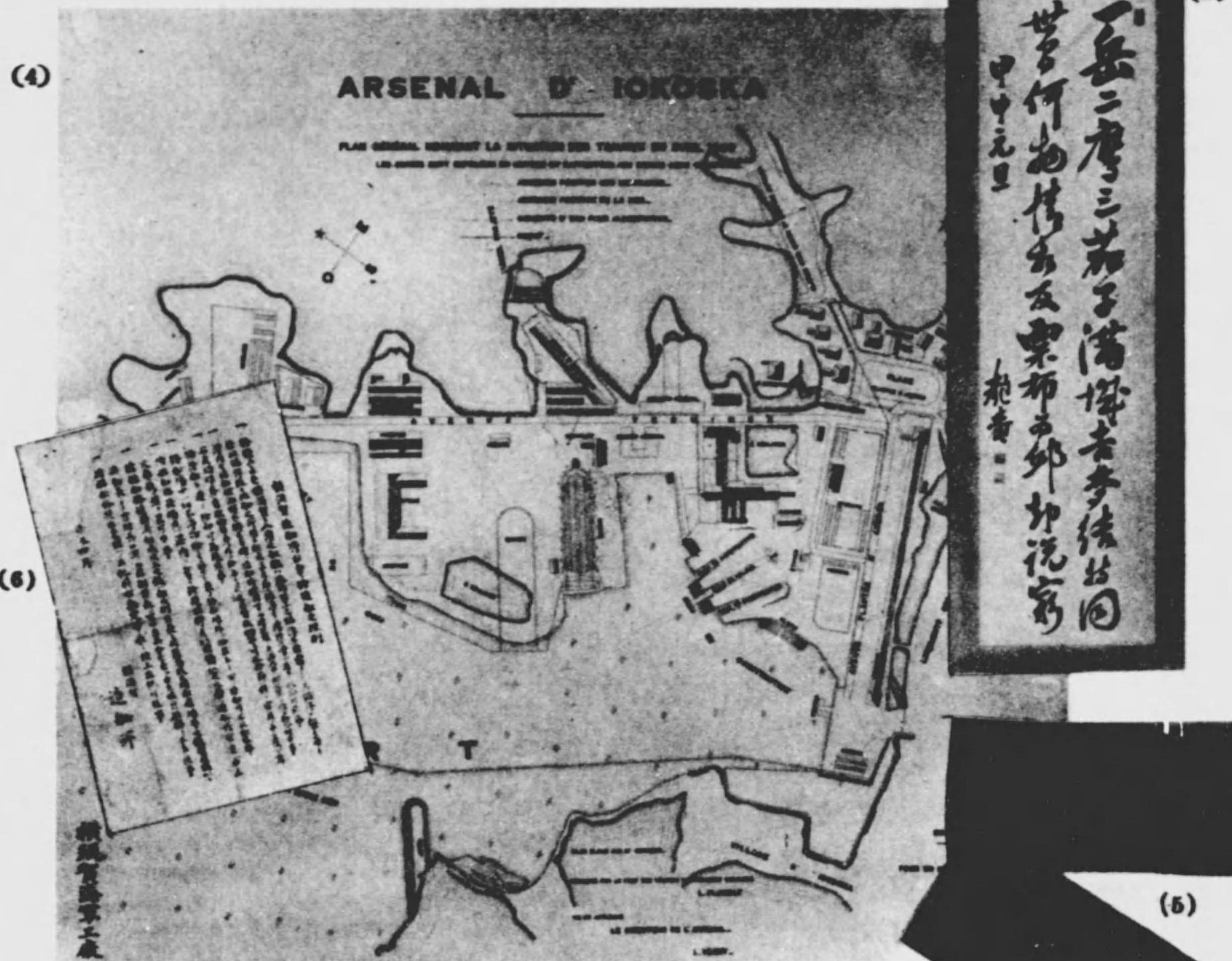
(5) 立神造船所圖面

同

(6) 造 船 圖

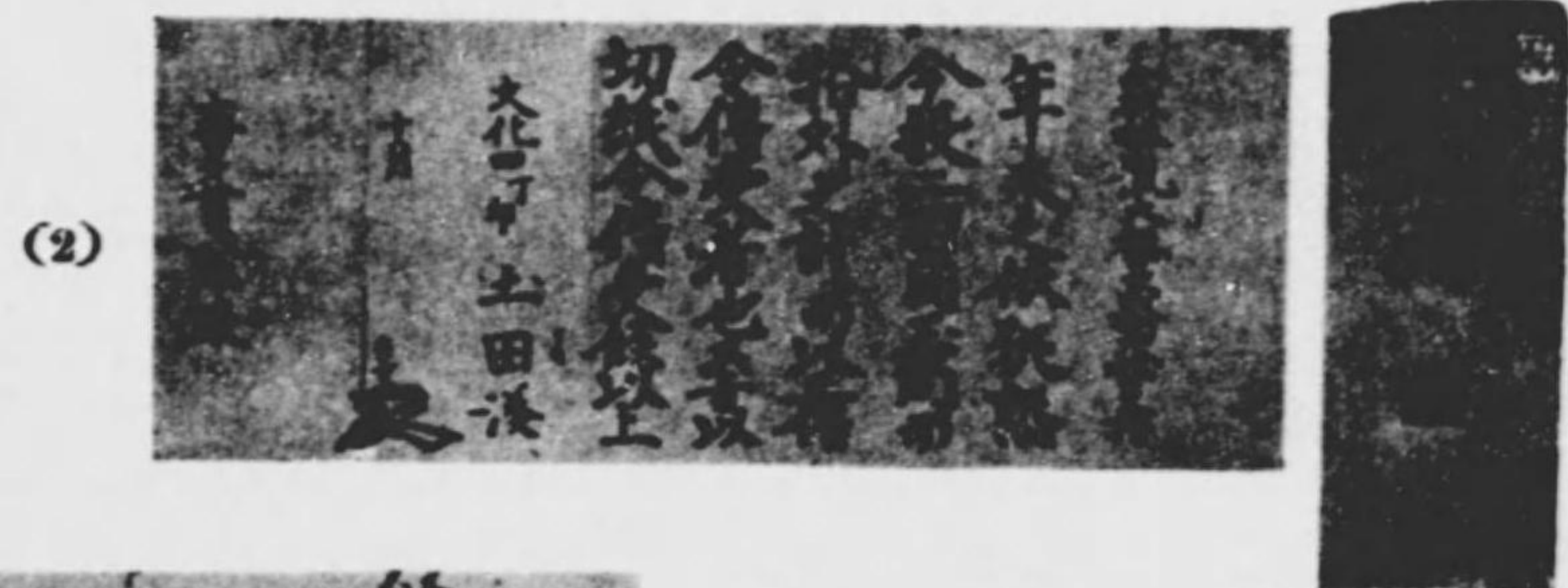
同

當時使用ノ造船又ハ機械製作用原圖ナリ



横須賀造船關係資料

- (1) 小栗上野介寫眞
幕府が慶應年間横須賀造船所ヲ興スニ當リ勘定奉行小栗上野介ハ大イニ與リテ力アリ
横須賀工廠總務部寄贈
- (2) 横須賀製鐵所全景 (寫眞)
明治元年ノ光景ニシテ左下部ニ碇泊セルハ觀光丸ナリ
- (3) 栗本鋤雲書
栗本額兵衛(額菴)ハ目付トシテ元治元年勘定奉行小栗上野介ヲ助ケテ横須賀造船所創立ニ功アリ 又横濱製鐵所ノ工成ルヤ其所長ニ任ゼラレテ盡ス所アリ 造船所ハ翌慶應元年佛國海軍大技士「ヴェルニー」來朝ニヨリ愈々具體化シ其ノ指導ノ下ニ設立セラル、ニ至レリ
富士川游博士寄贈
- (4) 明治二年佛人「ヴェルニー」ノ工廠設計圖
横須賀海軍工廠長寄贈
弘中儀一氏寄贈
- (5) 赤煉瓦二個
明治四年頃横須賀造船所作成ノ赤煉瓦(上)及横須賀製鐵所作成ノ赤煉瓦(下)ナリ
- (6) 横須賀造船所修復船之規則
明治四年所定ノ規則ニシテ裏面ニハ「ヴェルニー」ノ名ヲ以テ佛文ニテ同様ノ規則並ニ修復費用ノ明細ヲ記ス
三上さだ氏寄贈
- (7) 明治四年海軍省辭令
後ノ造船少將赤嶺伍作ガ海軍造船研究ノ爲英國へ派遣セラル、時ノ辭令書ナリ
赤峰一郎大佐寄贈
- (8) 明治十四年横須賀港一覽繪圖 (版畫)
團 伊能男爵寄贈



幕末砲術資料

(1) 種子島鐵砲

銘「金川與兵衛作之」トアリ 元東京市深川和田百藏氏方ニ傳ハリタルモノナリ

吉田四郎氏寄贈

(2) 荻野流砲術

(大極意切紙 北川豹吉氏寄贈) (荻野大砲砲身見取圖 鹿野清之助氏寄贈)

上ハ砲術荻野流ノ傳書 下ハ同大砲分解説明圖卷ナリ 因ニ荻野流ハ寛文ノ頃荻野安重ノ創始スル砲術ノ一派ナリ

(3) 大久保組大筒角場圖

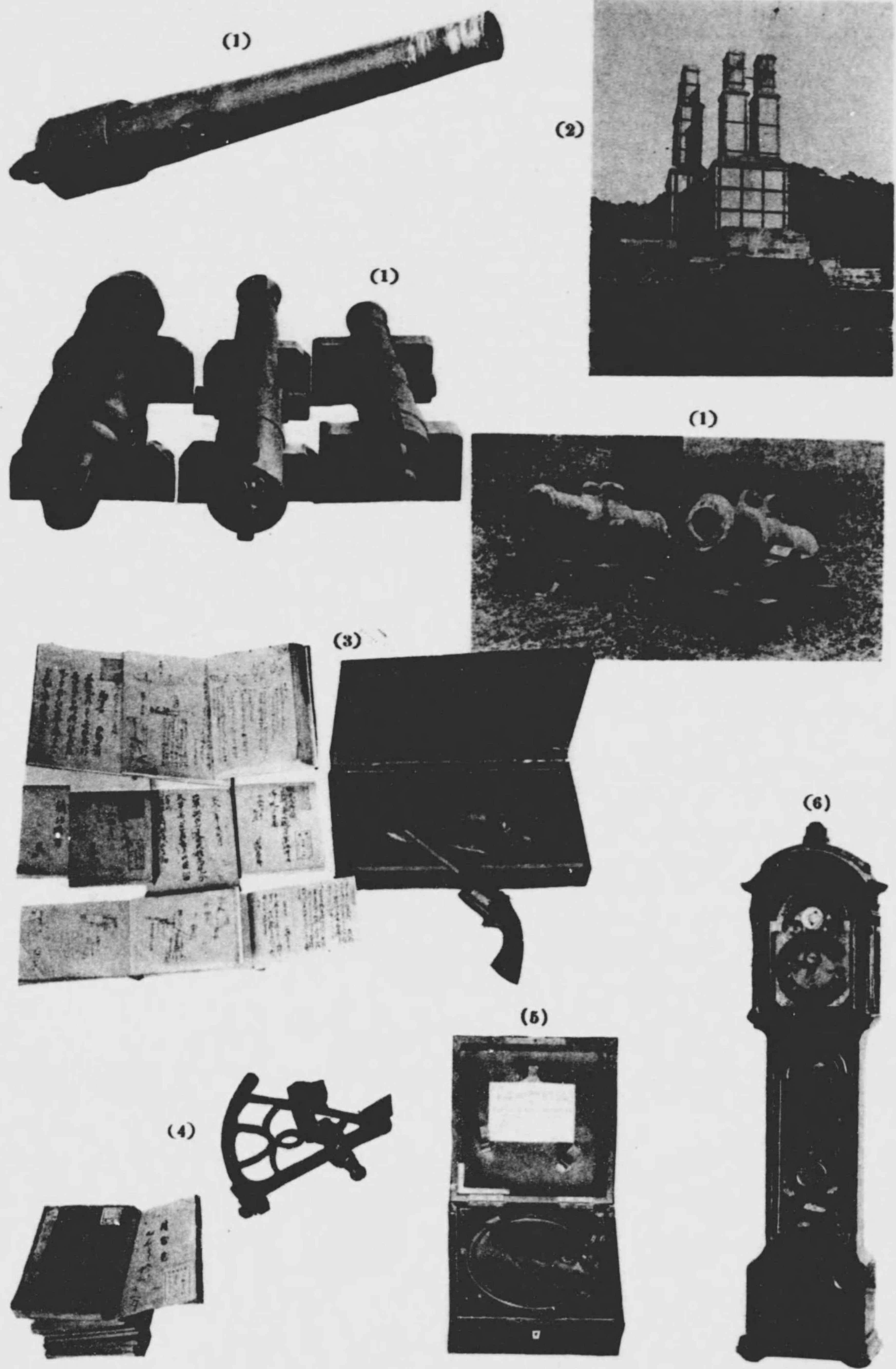
柳宗悅氏寄贈

(4) 各流砲術書

(5) 海上砲術全書圖式稿本

本館ハ他ニ同種ノモノ今一卷所藏スルモ兩者ヲ比較校合スルニ本卷ノ方ガ一層原形ヲ傳ヘ謄寫モ亦一層精緻ナリ之ハ幕末蘭人ノ將來シタル海上砲術全書附録ノ砲術圖ヲ翻譯筆寫シタルモノナルベシ

谷口尙眞大將寄贈



幕末砲術資料並ニ舶來品

(1) 幕末頃ノ大砲

上ハ反射爐訓設時代ノ製品ナラント認ムルモ其出所確實ナラズ
中ハ由緒不明ノ古砲ナリ
下ハ八十九年前即チ弘化二年四月ニ鑄造シタル口径四寸餘長サ三尺位ノ硬質青銅製ニシテ重量約四十貫アリ 數
年前迄吳海軍工廠總務部前棧橋ノ繫船杭トシテ土中ニ埋メアリシモノナリ 砲身ニハ「弘化三年四月西村道也鑄」
ト彫刻シアリ

吳海軍工廠保轉

(2) 蕪山反射爐寫眞

蕪山ノ代官江川太郎左衛門(坦庵)ガ嘉永六年蕪山附近中村ニ大反射爐ヲ設ケ盛ニ大砲ヲ鑄造セリ
將軍家御船手トシテ海軍ノ研究立案ニ努メタル石渡榮次郎氏遺物ナリ

江川英武氏寄贈

(3) 古式短銃及寫本

將軍家御船手トシテ海軍ノ研究立案ニ努メタル石渡榮次郎氏遺物ナリ

石渡敏一氏寄贈

(4) 佛國製六分儀ト砲術訓蒙

幕府留學生トシテ佛國ニ渡リ砲術ヲ專攻シテ我國砲術界ニ一新機軸ヲ出セル山内勝明氏ノ遺品ナリ

山内勝巳氏寄贈

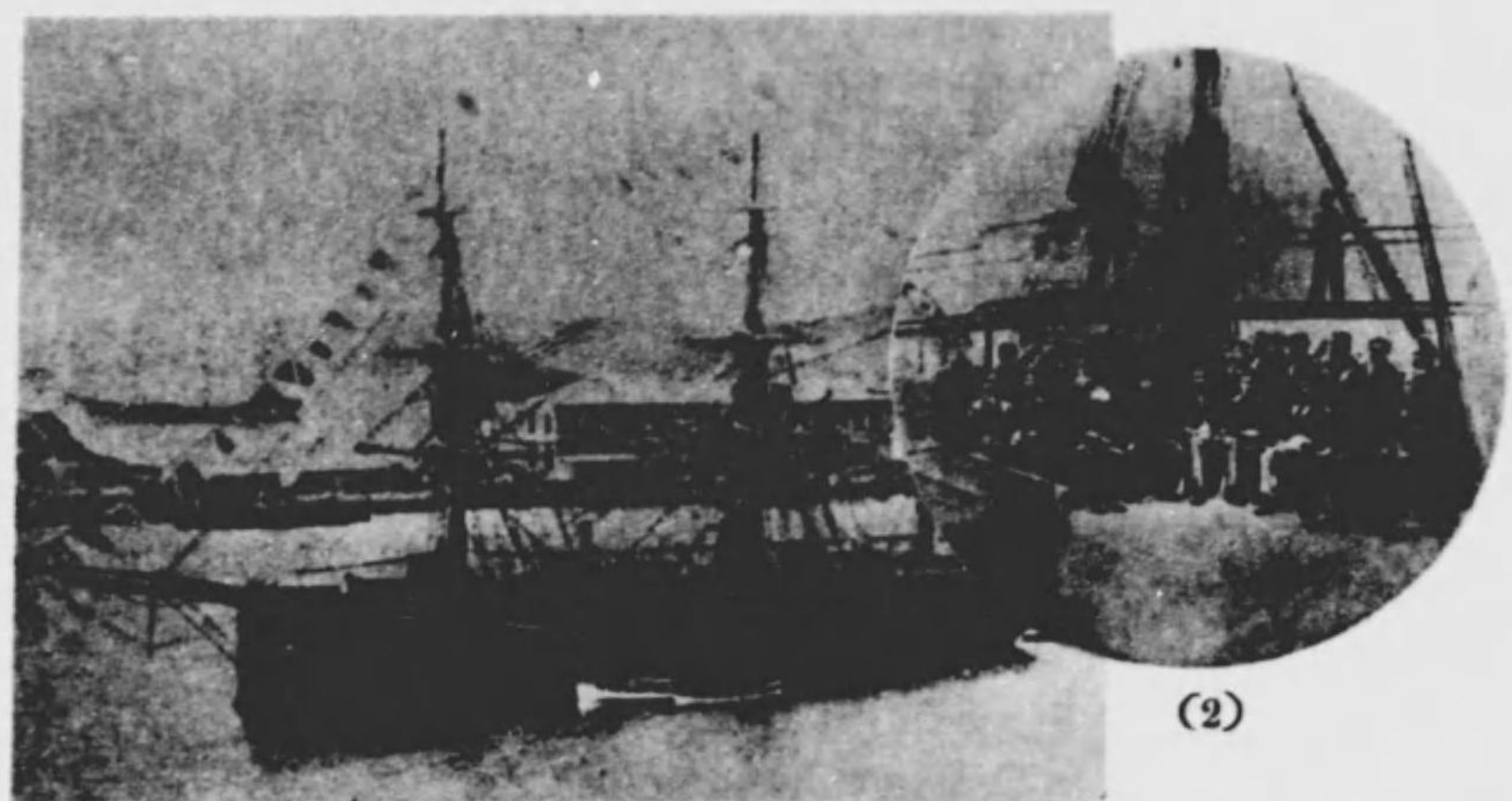
(5) 和蘭製大形時計

和蘭國王ヨリ徳川將軍ヘ贈リシモノニテ太陰ノ盈虧ト七曜ヲ指示スル精巧ナル作品ナリ 元樂地兵學寮ノ貴賓室
ニ備付アリシモノナリ

三上さだ氏寄贈

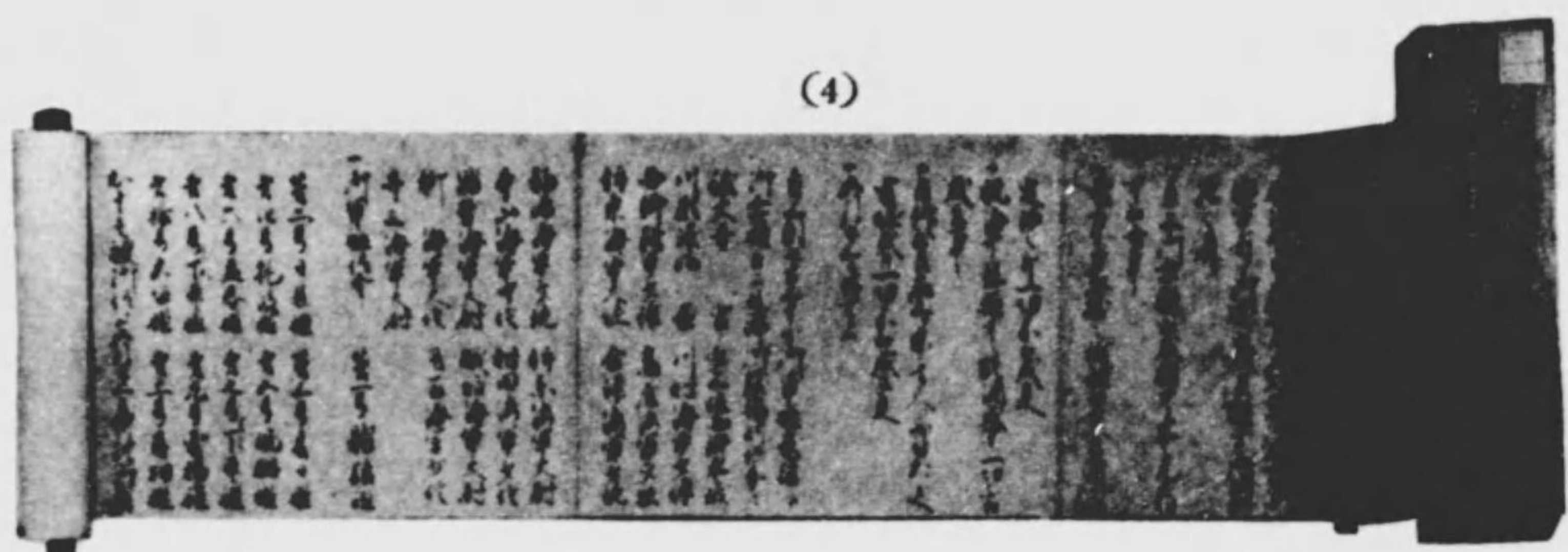


(3)



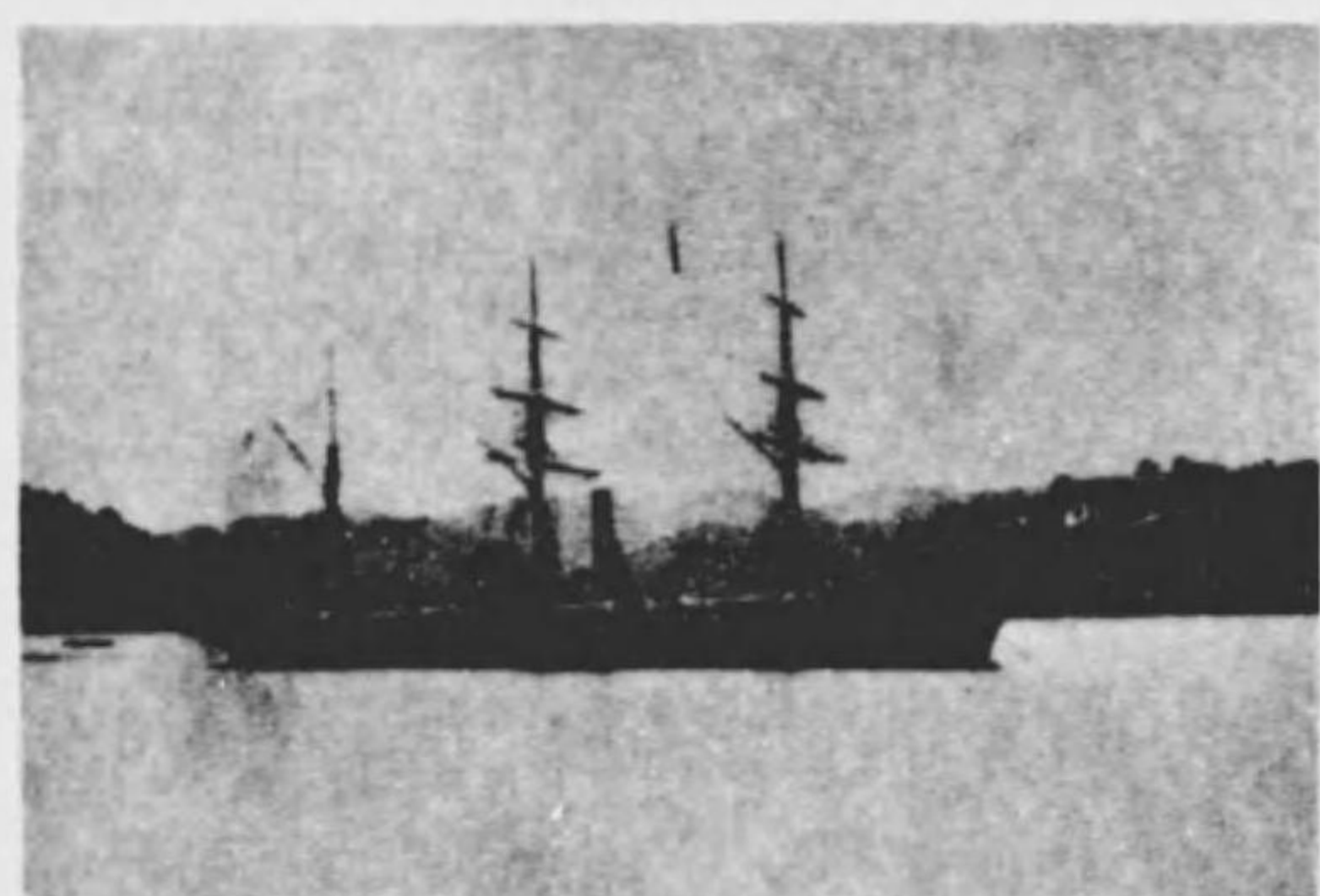
(1)

(2)

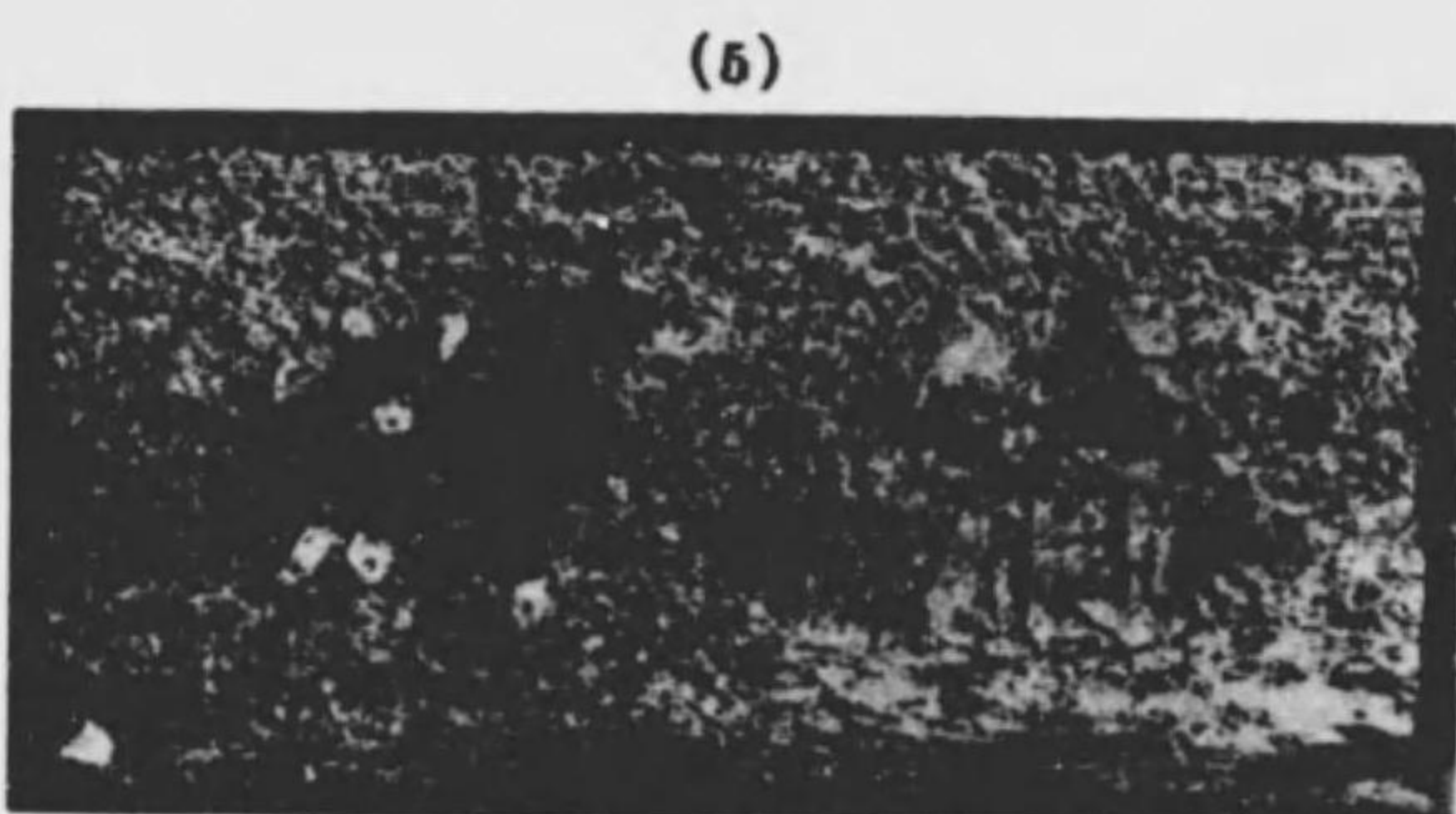


(4)

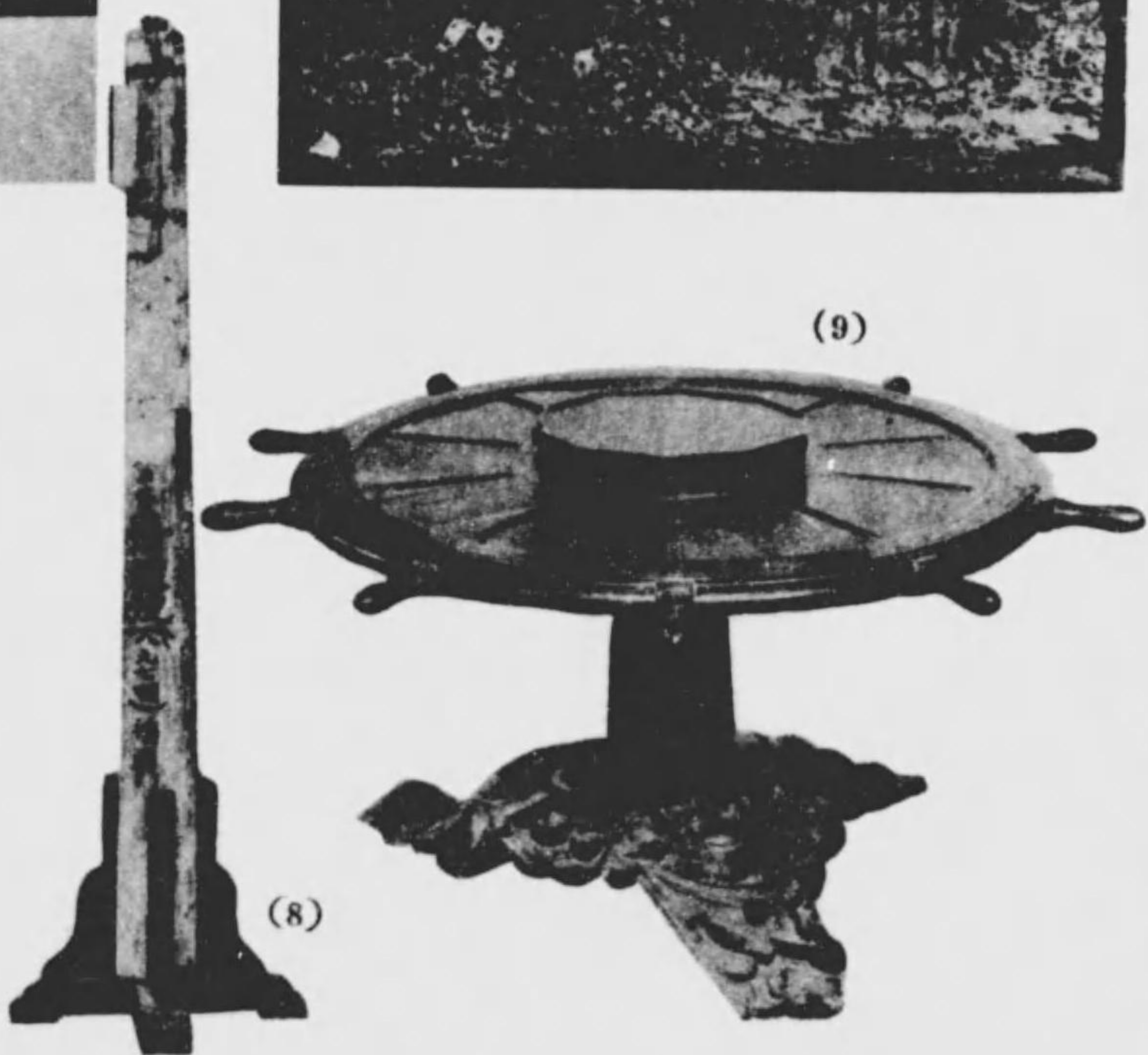
(6)



(7)



(6)



(9)

(8)

軍艦龍驤ト清輝號

- (1) 軍艦龍驤 (寫眞)

明治二年英國ニ於テ竣工 熊本藩ノ軍艦 同三年五月熊本藩ヨリ献上セラル 木製鐵帶 排水量二五三〇噸
- (2) 同乘組員寫眞

谷口尙眞大將寄贈
明治三年末龍驤ガ教師「ホース」氏指導ノ下ニ砲術練習艦トシテ横濱ニ碇泊中同艦上ニ於テ撮影シタルモノナリ 左翼後列ノ山高帽ノ人ハ後ノ東郷元帥ナリ
- (3) 同艦熊本藩乘組員寫眞 尾佐竹猛氏寄贈

明治三年ノ撮影ニ係ル當時龍驤ニ乗組中ノ熊本藩士寫眞ナリ
- (4) 軍艦龍驤航海日誌 岡本好兵衛氏寄贈

明治五年五月 明治天皇九州筋御巡幸ノ御軍艦龍驤ニ御乗艦遊バサレタリ 本日誌ハ五月二十三日ニ始マリ七月十二日迄ニ終ル御航海中ノ日誌ナリ
- (5) 清輝艦名文字 井上千鶴家寄贈

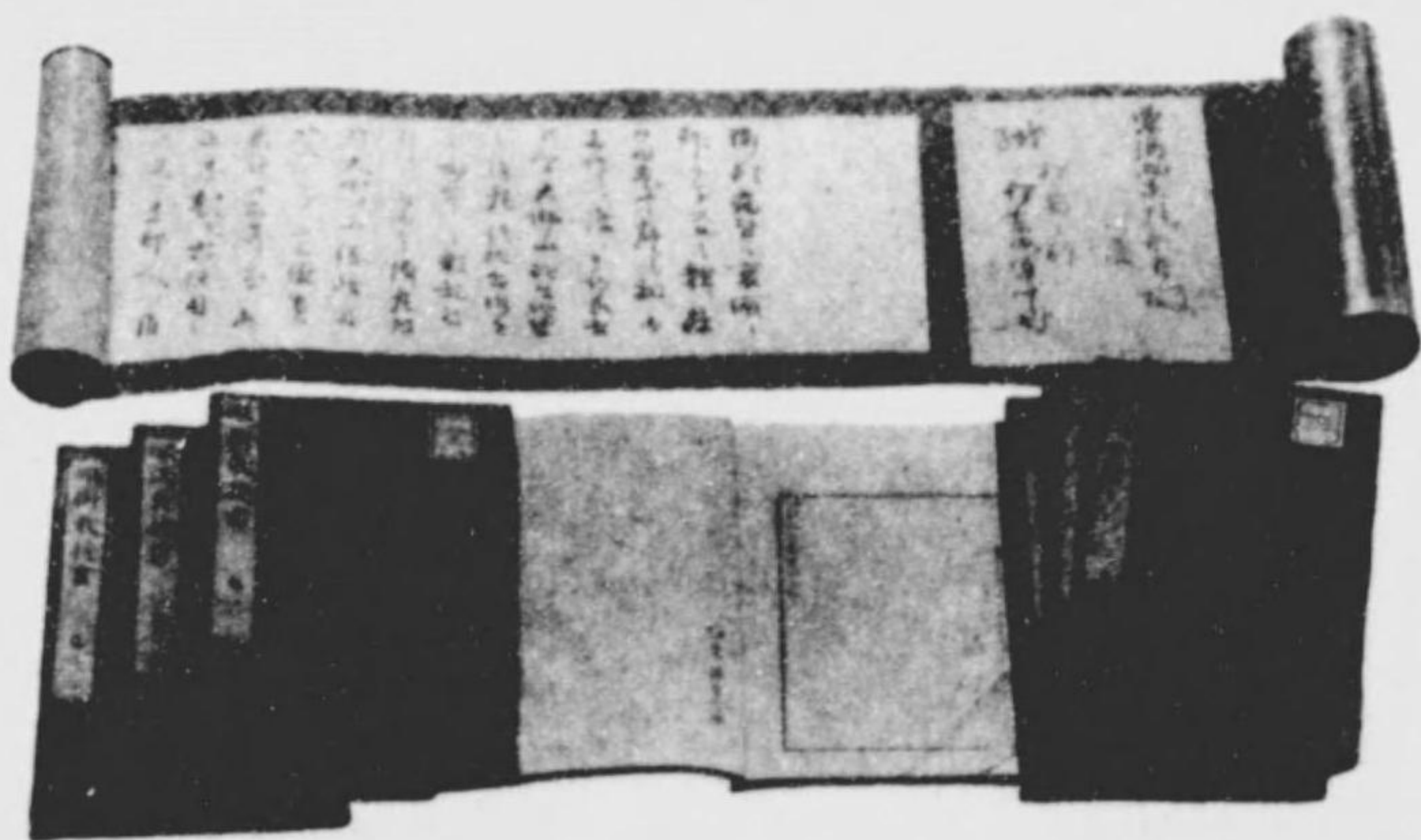
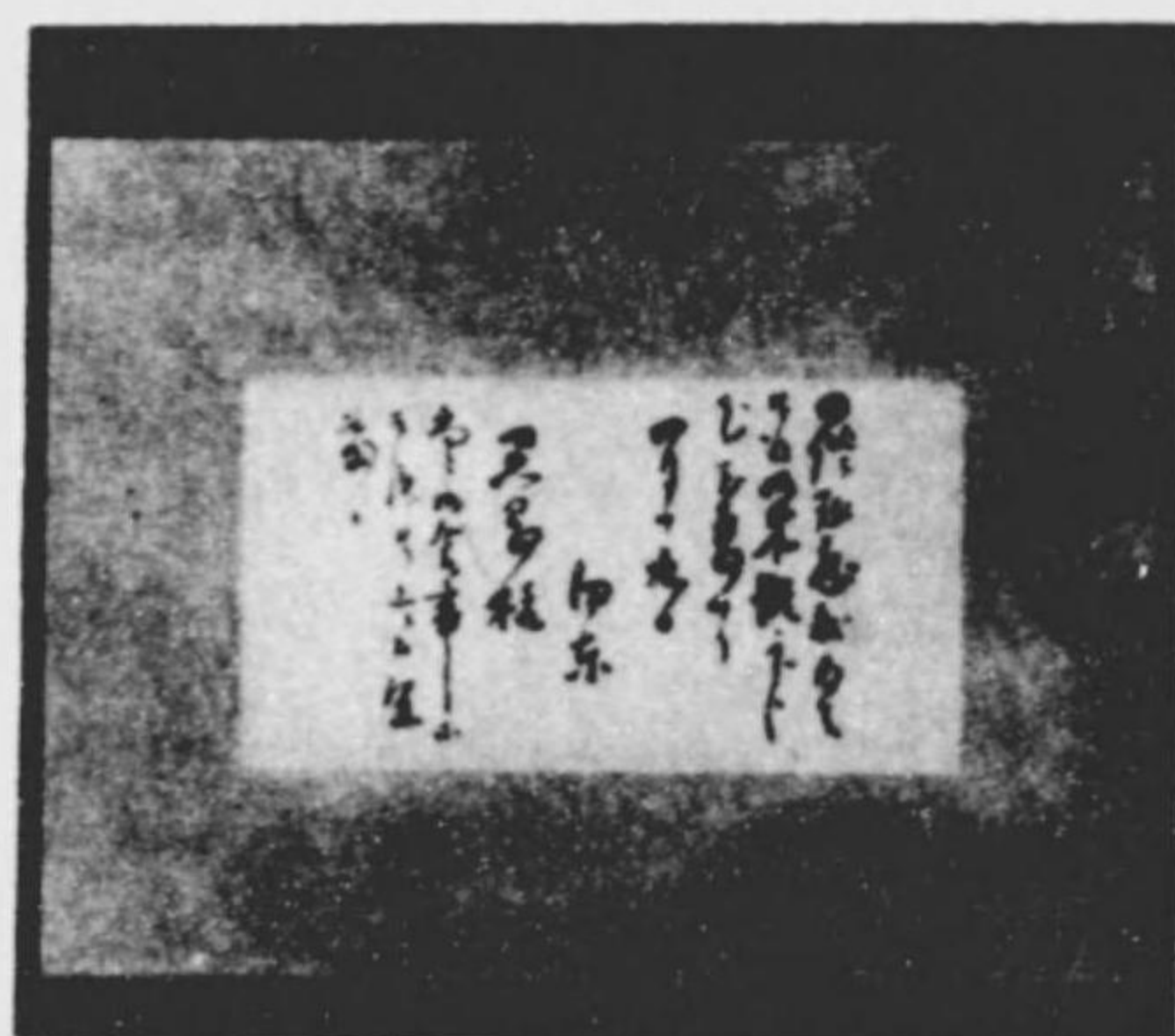
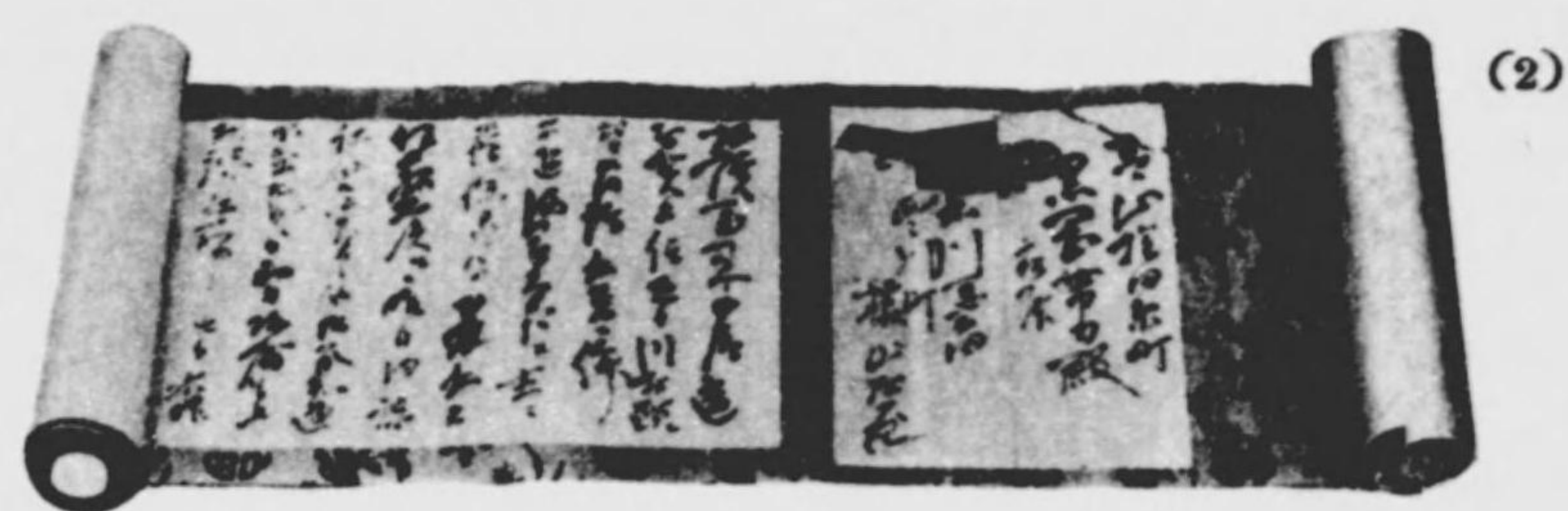
清輝艦尾ニ装着アリシモノヲ同艦甲板用材ヲ以テ額様トセルモノナリ
- (6) 軍艦清輝 (寫眞)

清輝ハ明治六年横須賀ニ於テ起工八年進水明治十一年歐洲諸港ヲ巡航セリ(艦長海軍中佐井上良馨後ノ元帥)本邦軍艦ニシテ歐洲航海ヲナセンモノ之ヲ以テ嚆矢トナス
- (7) 清輝乘組員寫眞 (原寫眞 井上千鶴家藏)

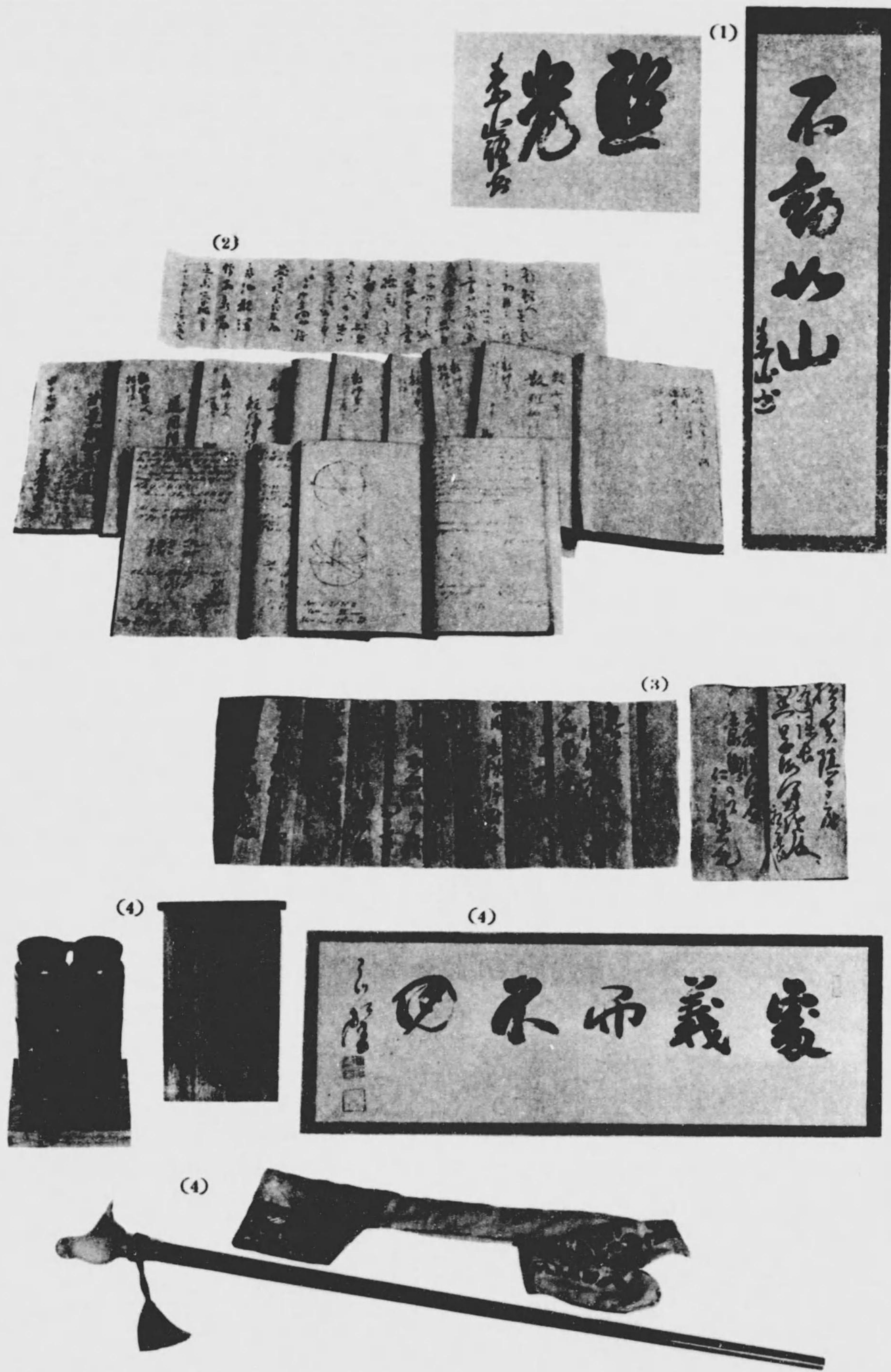
明治十一年清輝ガ歐洲ヲ巡航シタル際同乘組員ノ撮影セシモノ
後列向ッテ右ヨリ成川、小笠原、川村、上村、大野、加賀美、伊知地、井上、平野、兒玉、片野、森村、倉山、前列向ッテ右ヨリ星山、高山、關、角田、伊月、八洲、神宮司、足立、加治木、三浦
- (8) 清輝ノ橋片 靜岡縣田子浦村長寄贈

清輝ガ明治二十一年靜岡縣田子浦海岸ニ擱坐セル際同艦橋片ヲ同村小學校ガ貰受ケ保存シアリシモノヲ横須賀鎮守府ヲ經テ村長ニ請ヒ本校ニ寄贈ヲ得タルモノナリ
- (9) 清輝舵輪製丸卓子 井上千鶴家寄贈

コノ舵輪ハ政府ヨリ時ノ艦長井上中佐ノ功勞ニ酬ユル爲メニ贈ラレタルモノヲ丸卓子トシ記念トシテ保存セラレタルモノナリ



- 名將遺品遺墨 (其一)
- (1) 西郷元帥書 西郷侯爵家寄贈
 - (2) 樺山大將書翰 (黒岡中將宛) 黒岡忠雄氏寄贈
 - (3) 伊東元帥遺物 黒岡忠雄氏寄贈
 - 黒岡帯刀氏(當時艦長)宛書翰 東郷二郎氏寄贈
 - 東郷西京丸艦長宛書翰 東郷二郎氏寄贈
 - 元帥ガ日清戦役當時松島ニ於テ認メ西京丸艦長東郷正路大佐へ送ラレタル書翰ナリ
 - 使用ノ教科書 故元帥追慕記念品發起者寄贈
 - 元帥ガ兵學寮在學當時使用ノ砲術教科書ニシテ表紙及卷末ニハ認印並ニ署名アリ
 - 元帥胸像 故元帥追慕記念品發起者寄贈



名將遺品遺墨 (其二)

(1) 川村大將書

何レモ本校ノ爲メ特ニ揮毫セラレタルモノナリ

川村伯爵家寄贈

(2) 中牟田中將遺物

手簡 (花房大書記官宛)

花房子爵家寄托

傳習書籍

中牟田子爵家寄贈

中牟田中將ノ青年時代ニ於ケル學習書籍ニシテ航海、數學、運用、砲術、海軍諸規定及乘船中使用ノ書籍等ヲ合シテ八十餘冊ニ及ブ 何レモ安政ヨリ慶應年間ノモノナリ

中牟田子爵家寄贈

(3) 仁禮中將書翰 (黒岡横須賀鎮守府參謀長宛)

黒岡忠雄氏寄贈

(4) 井上元帥遺物

井上子爵家寄贈

拜領ノ花瓶

明治十一年軍艦清輝ニテ歐洲航海ヲ了ヘ歸朝ノ際 明治天皇ヨリ井上艦長(當時中佐)ニ御下賜アラセラレタル花瓶ナリ 箱ノ蓋ニハ裏面ニ元帥自筆ノ箱書アリ

明治天皇ヨリ井上艦長(當時中佐)ニ御下賜アラセラレタル花瓶

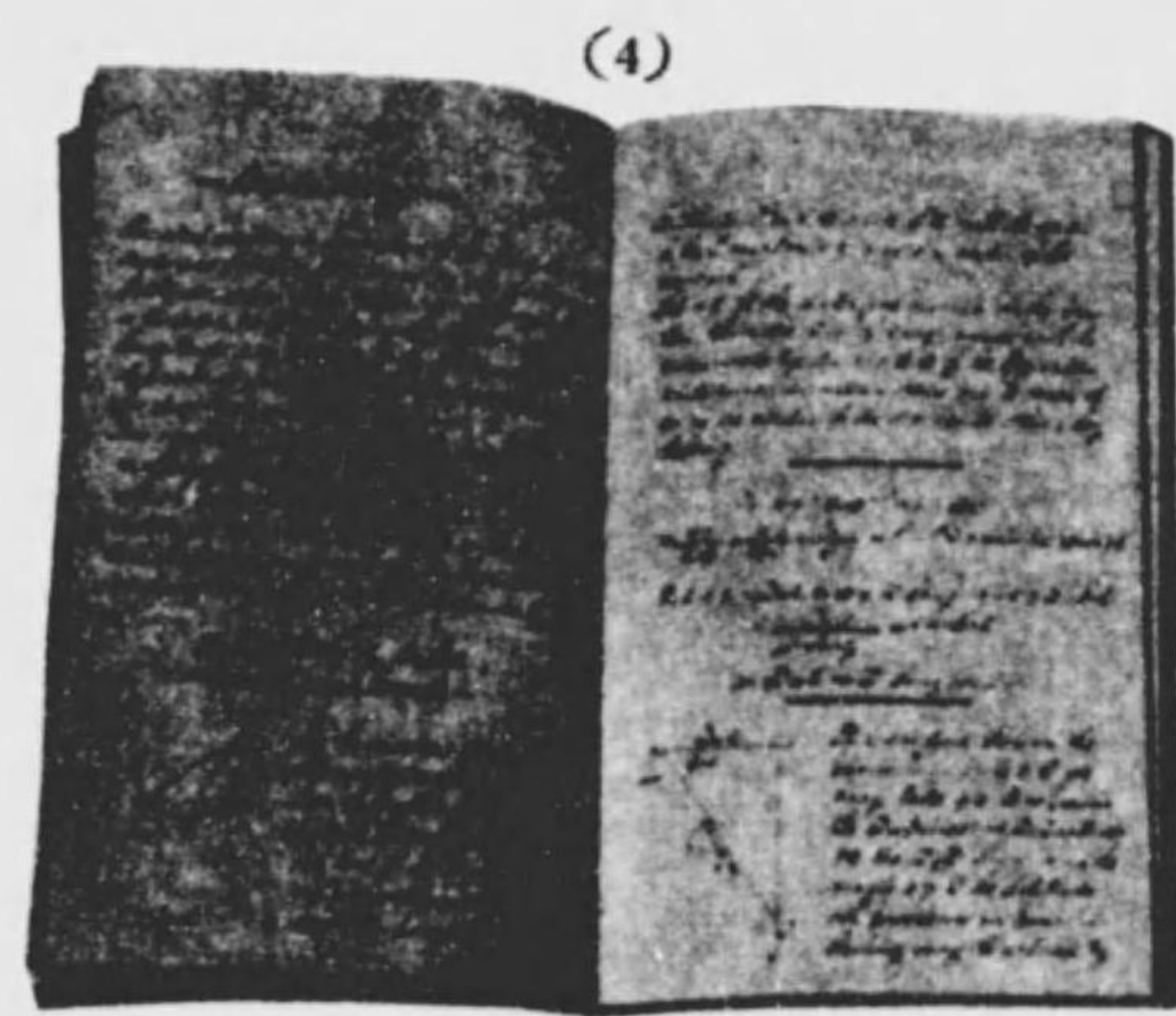
愛用ノ鳩杖

元帥ガ本校ノ爲メニ特ニ揮毫セラレタルモノナリ

井上子爵家寄贈



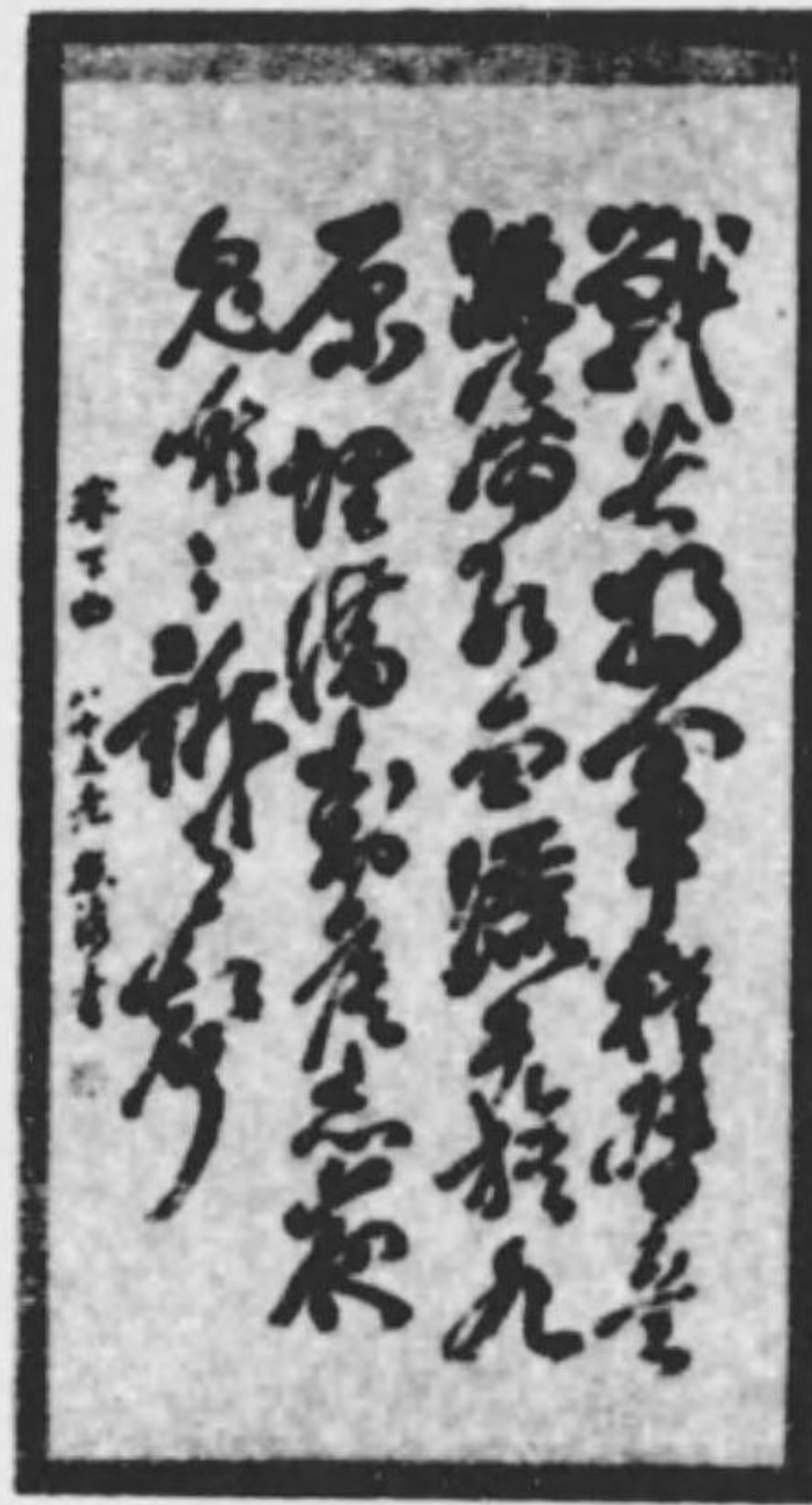
(1)



(4)



(3)



(2)



(6)



(5)

名將遺品遺墨 (其三)

(1) 山本大將遺墨遺品

山本伯爵家寄贈

書

「決勝奇謀發至誠」トアリ 伯ノ揮毫トシテ世ニ傳ハルモノ
 數少キ中ニ本揮毫ハ特ニ筆力雄勁書意亦重人座右ノ銘トシ
 テ絶好ノ文字タルヲ失ハズ モト難用紙ニ揮毫シ伯爵家ニ
 アリシモノヲ谷口大將ヲ介シテ本校ニ寄贈セラレタルモノ
 ナリ

書翰

松澤敬讓磯關大佐寄贈
山本大將ヨリ鮫島員規氏ニ送リタル書翰ナリ

夏洋袴及裁縫道具

明治八年十一月山本大將ガ少尉補トシテ軍艦筑波ニ乗組索
 港着翌年歸途、ホノル、ニ於テ夏洋袴ヲ調製シ爾來夏期ニ
 用フルコト既ニ久シ 即チ米國ニ四回、南米ニ二回、歐洲
 ニ三回、朝鮮沿岸ニ二回其他ニ用ヒ大佐ニ到ル迄即チ明治
 二十四年六月迄使用セルモノヲ苟且ニ附セズ具サニ其ノ來

歴ヲ記シテ丁寧ニ保存セラレタルモノナリ 而モ寫眞ニ於

テ見ルガ如キ裁縫道具ヲ用意シ常ニ伯自ラソノ修理ヲ行ヒ

タルモノニシテ眞ニ伯ノ面目ヲ髣髴スルニ足ルモノアリ

(2) 日高大將書

日高莊輔氏寄贈

日高大將八十九歳ノ時ノ絶筆ナリ

(3) 上村大將書

上村男爵家寄贈

水戸烈公ノ歌

(4) 東郷(正路)中將使用ノ「ノート」

東郷二郎中佐寄贈

海軍兵學寮當時ノ「ノート」ニシテ航海術計算帖ニハ教師

「ゼームス」ヲ檢印アリ

(5) 伊集院元帥使用ノ「ノート」

伊集院男爵家寄贈

明治十四年英國留學中ニ使用ノ「ノート」ナリ

(6) 出羽大將書翰

東郷二郎中佐寄贈

出羽大將ガ聯合艦隊參謀長時代東郷(正路)赤城艦長ニ宛テ
ラレタルモノナリ



名將遺品遺墨(其四)

(1) 島村元帥遺物

書

濠洲航海ノ際ノ市長歡迎文

元帥ガ練習艦隊司令官トシテ濠洲航海ノ際バラマツタ「市ヨリ贈レル市長ノ歡迎文ナリ

日本海々戰記念寫真

日本海々戰當時軍艦聲手ニ於ケル司令官以下ノ記念寫眞ニ對シ元帥ガ署名セラレタルモノナリ

加藤元帥使用「ノート」三冊

明治十一年海軍兵學寮生徒運用術控簿 一冊

明治十二年海軍兵學寮生徒航海術算誌 一冊

(3) 八代大將遺物

書(丹心報國)

將軍謹書御製短冊 四枚

刺繡勅語額面

矢立

尺八(日露戰爭當時將軍ガ淺間艦上ニ尺八ヲ弄セラレシ逸事ハ世間周知ニ屬シ風流艦長ノ名一時ニ宣傳ス此ノ一管ハ即チ將軍ガ艦上ニ愛用セシモノナリ)

島村男爵家寄贈

同

竹内重利中將寄贈

加藤子爵家寄贈

八代男爵家寄贈

肥後屋次銘木刀 三振

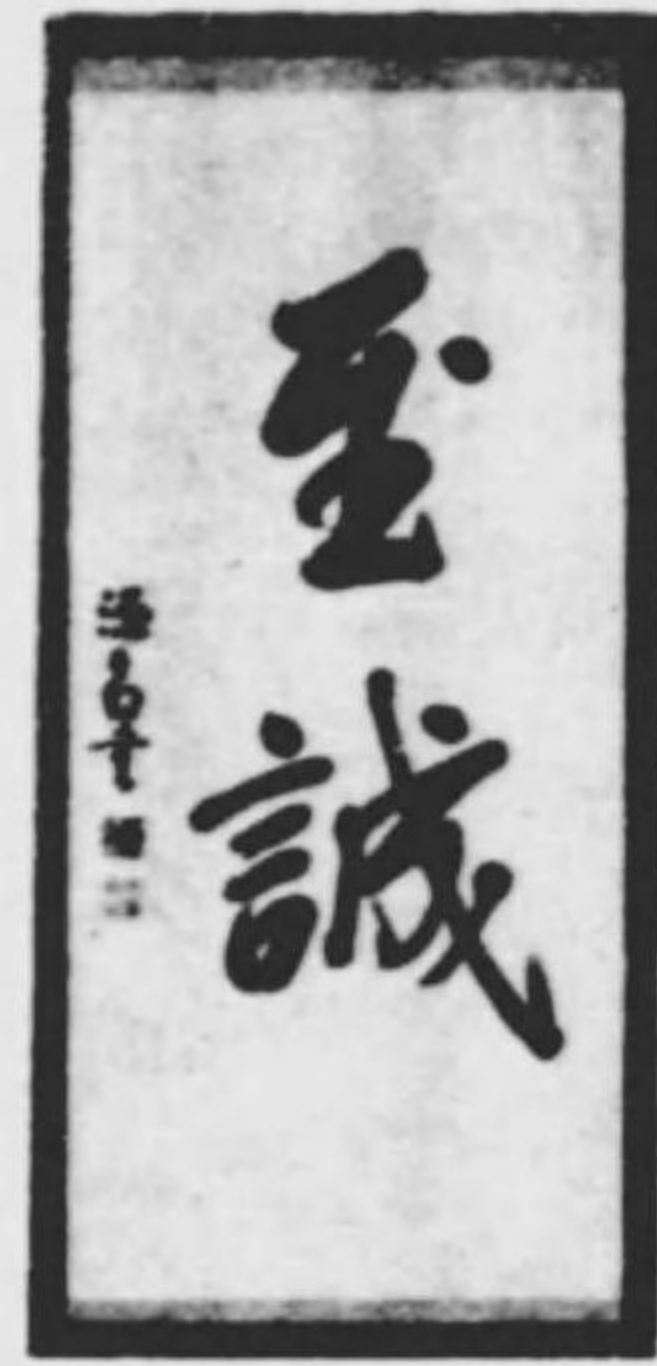
鹿角刀掛臺

將軍目撃ノ扇 二個

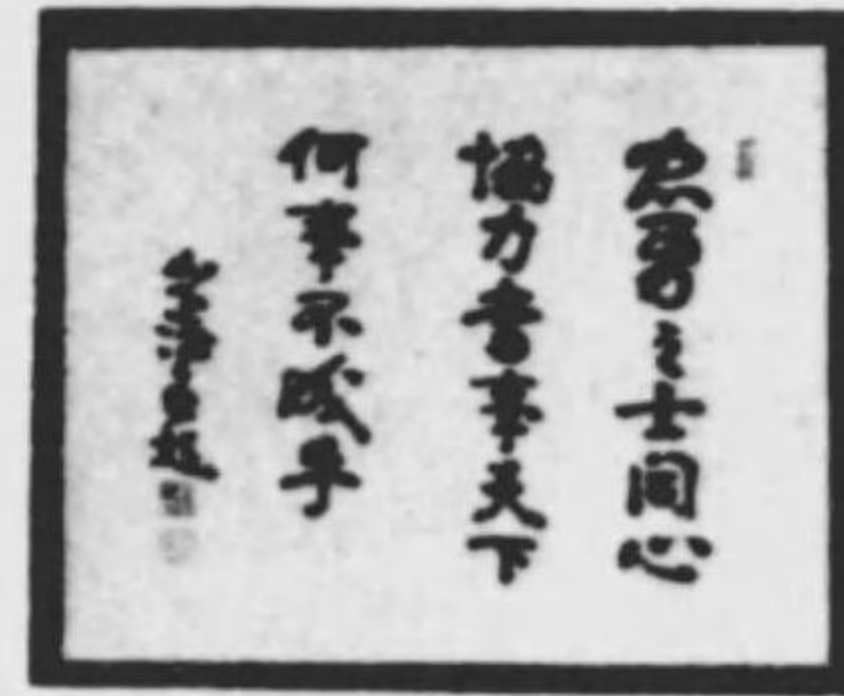
小人形

其他多數

此



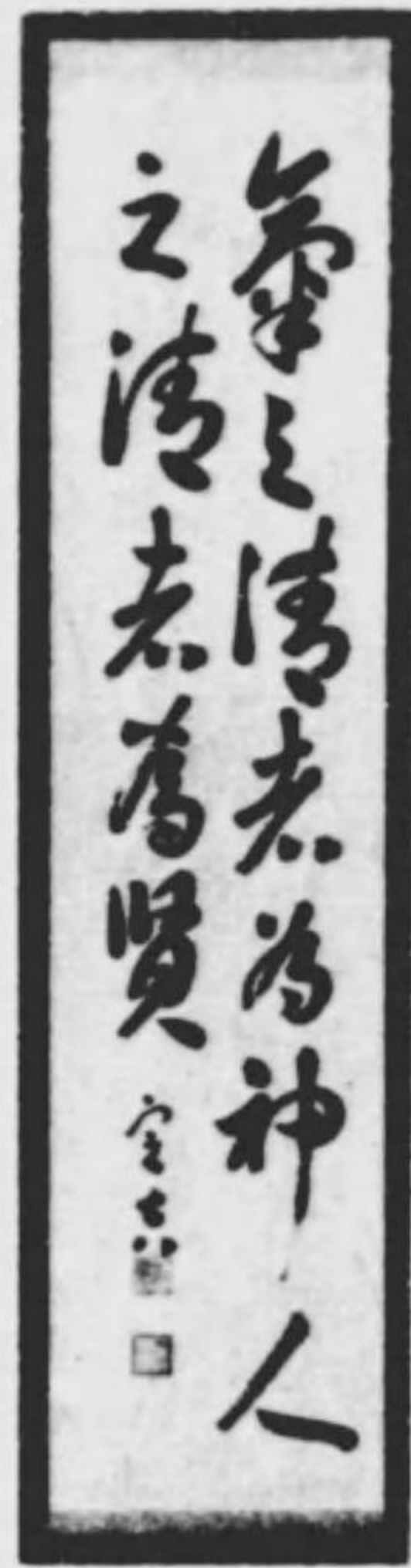
(2)



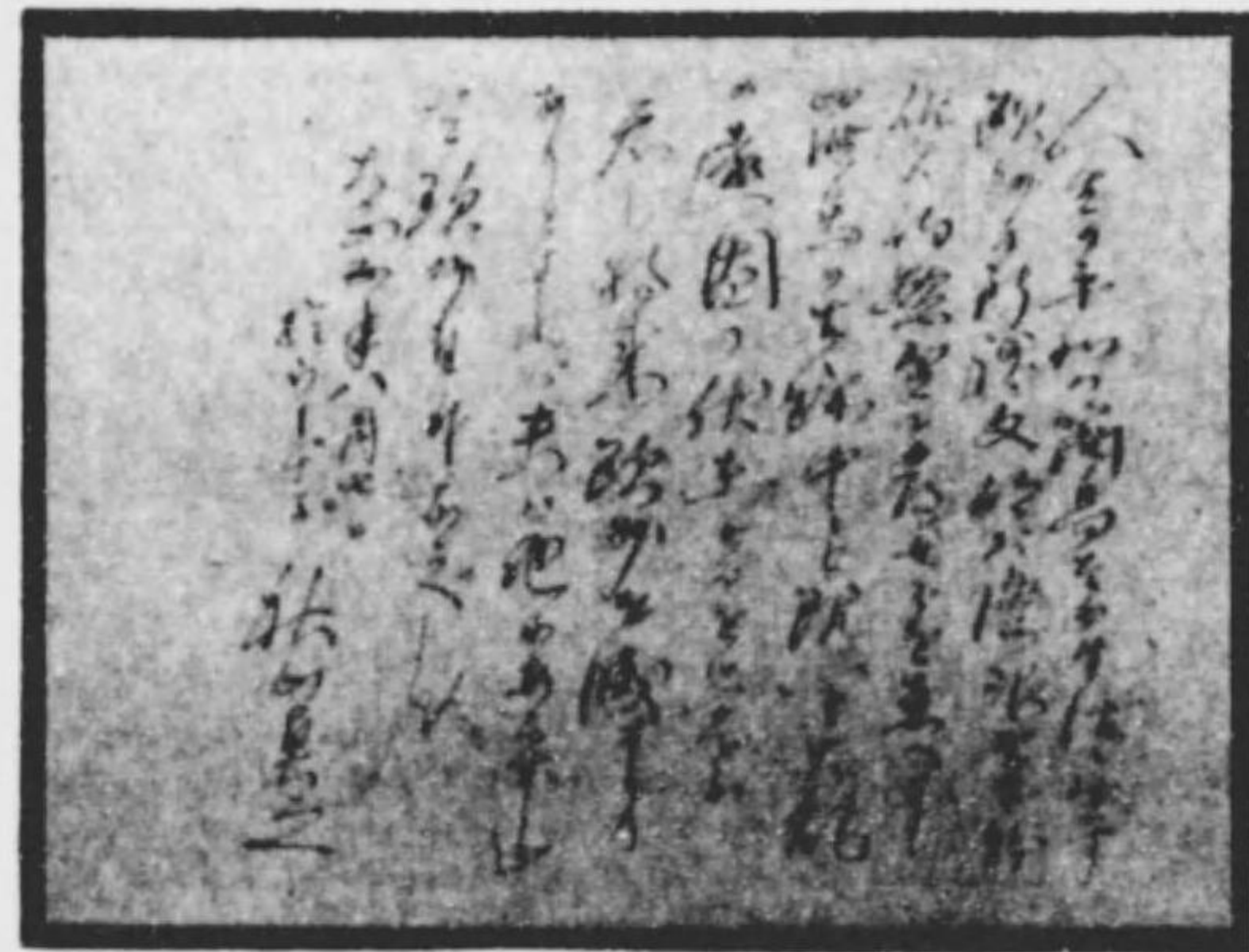
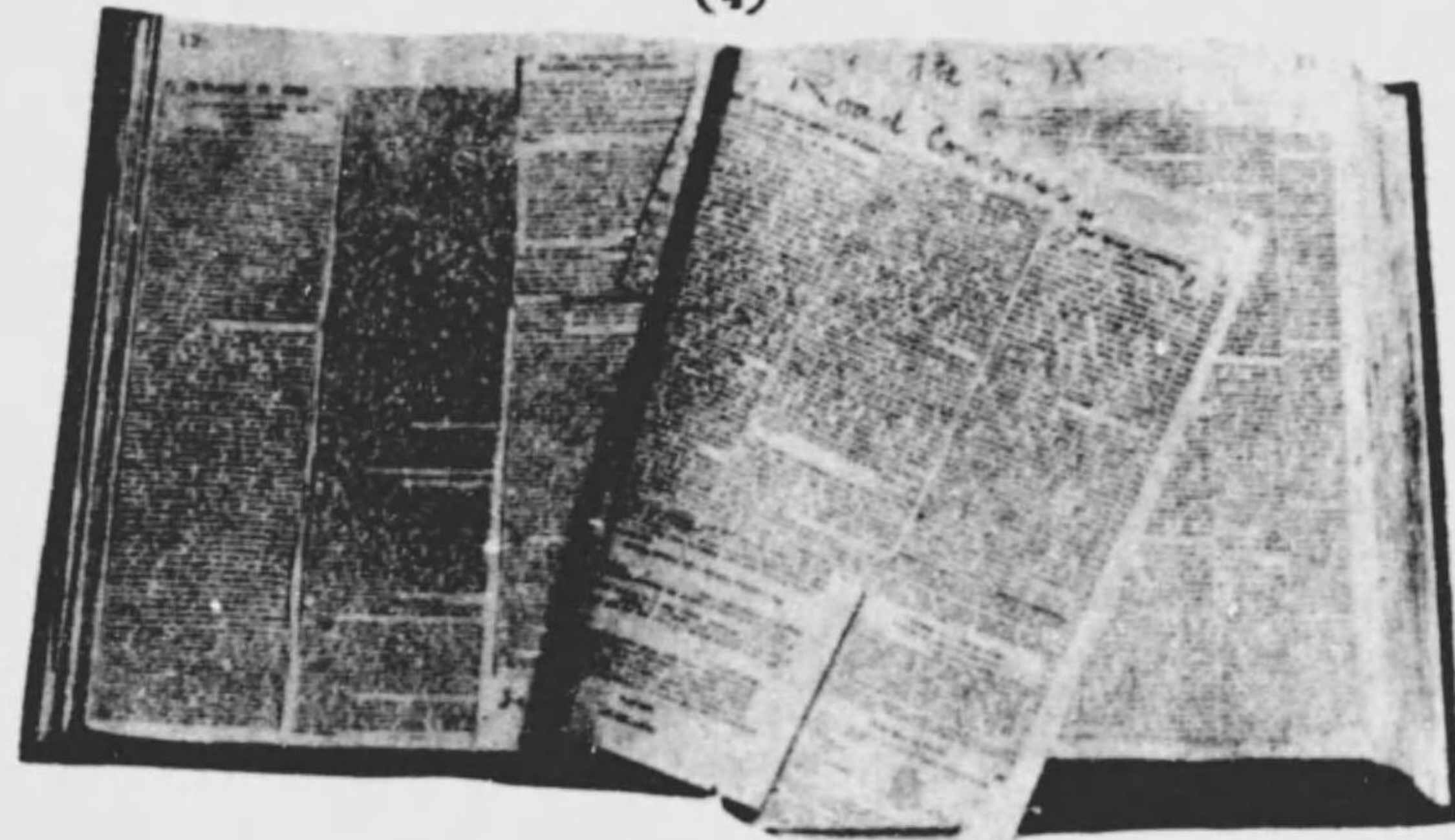
(3)



(1)



(4)



(5)



名將遺品遺墨 (其五)

(1) 加藤(定吉)大將書

加藤男爵家寄贈

(2) 山下大將遺物

山下男爵家寄贈

胸像

同

昭和六年二月大將易簀旬日ヲ出デズシテ故大將本校ニ在職中日夕黨陶ニ浴シタル生徒等ノ間ニ聊カ謝恩ノ意味ヲ以テ胸像製作ノ議起リ淺倉文夫氏ニ依頼シテ出來上リタルモノヲ山下男爵家ニ寄贈シ更ニ同家ヨリ本校ニ寄セラレタルモノナリ 今大將ガ建設ニ努力セラレタル本校大講堂内ニ安置セラレ

教訓ノ書類

海軍省教育局配付

「忠勇之主同心協力 當事天下何事不成乎」ノ書ハ大將ノ最モ有益ナル教訓トシテ教育局ヨリ部内ニ配布ノ希望ヲ以テ原本借用方ヲ山下家ニ申出デタル所快諾セラレテ特ニ御下賜ノ幣帛ニ五十部ヲ認メ部内ニ寄贈セララル 本書額ハ其一ナリ

(3) 名和大將書

名和武氏寄贈

(4) 柄内大將遺物

柄内吉彦氏寄贈

在英中使用新聞切抜帖

(5) 秋山中將遺物

書翰

鈴木貫太郎大將寄贈

大正三年八月中將ガ軍務局長時代ニ鈴木海軍次官ニ宛テタルモノナリ

羅馬ニ於テ認メタル所感

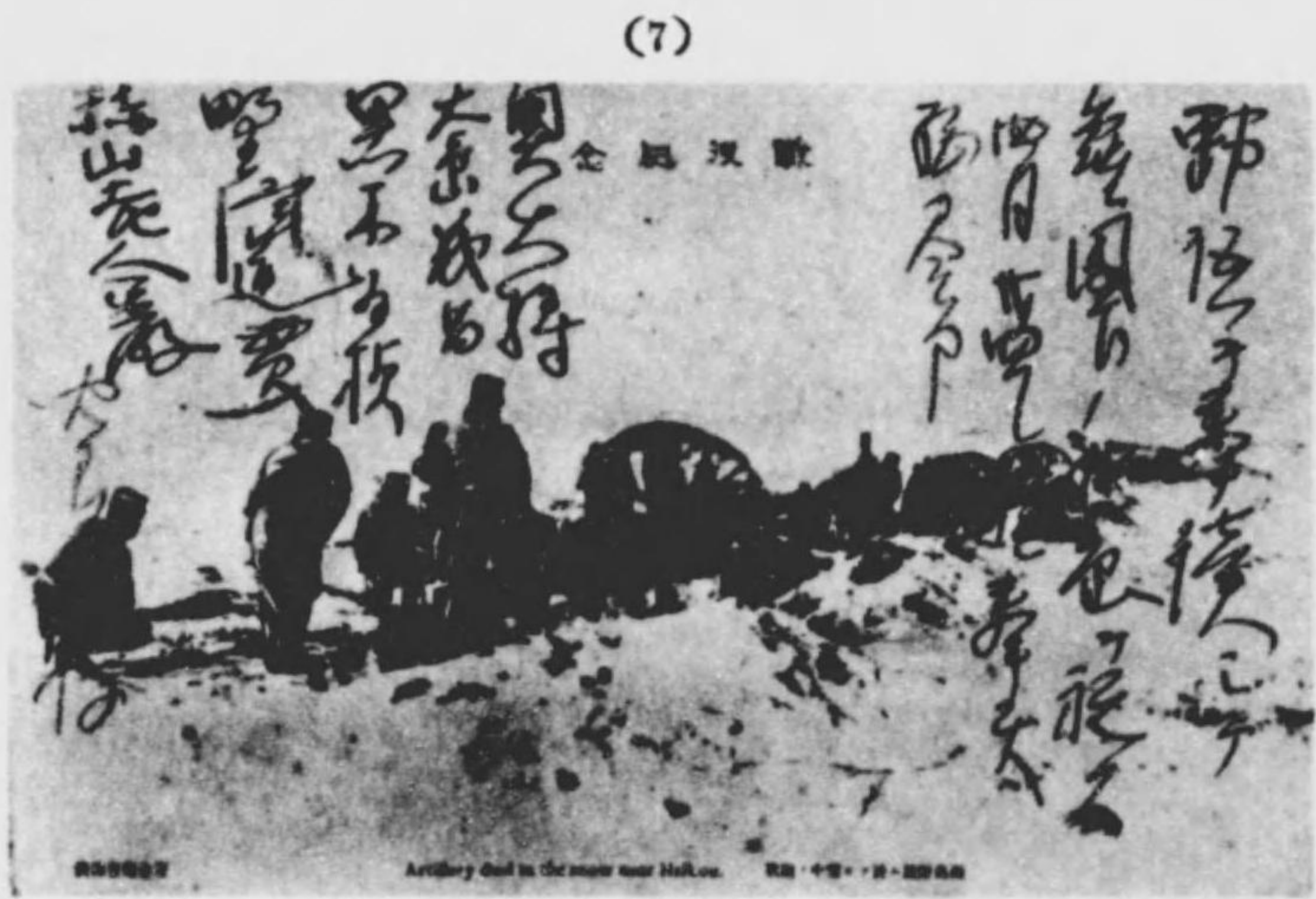
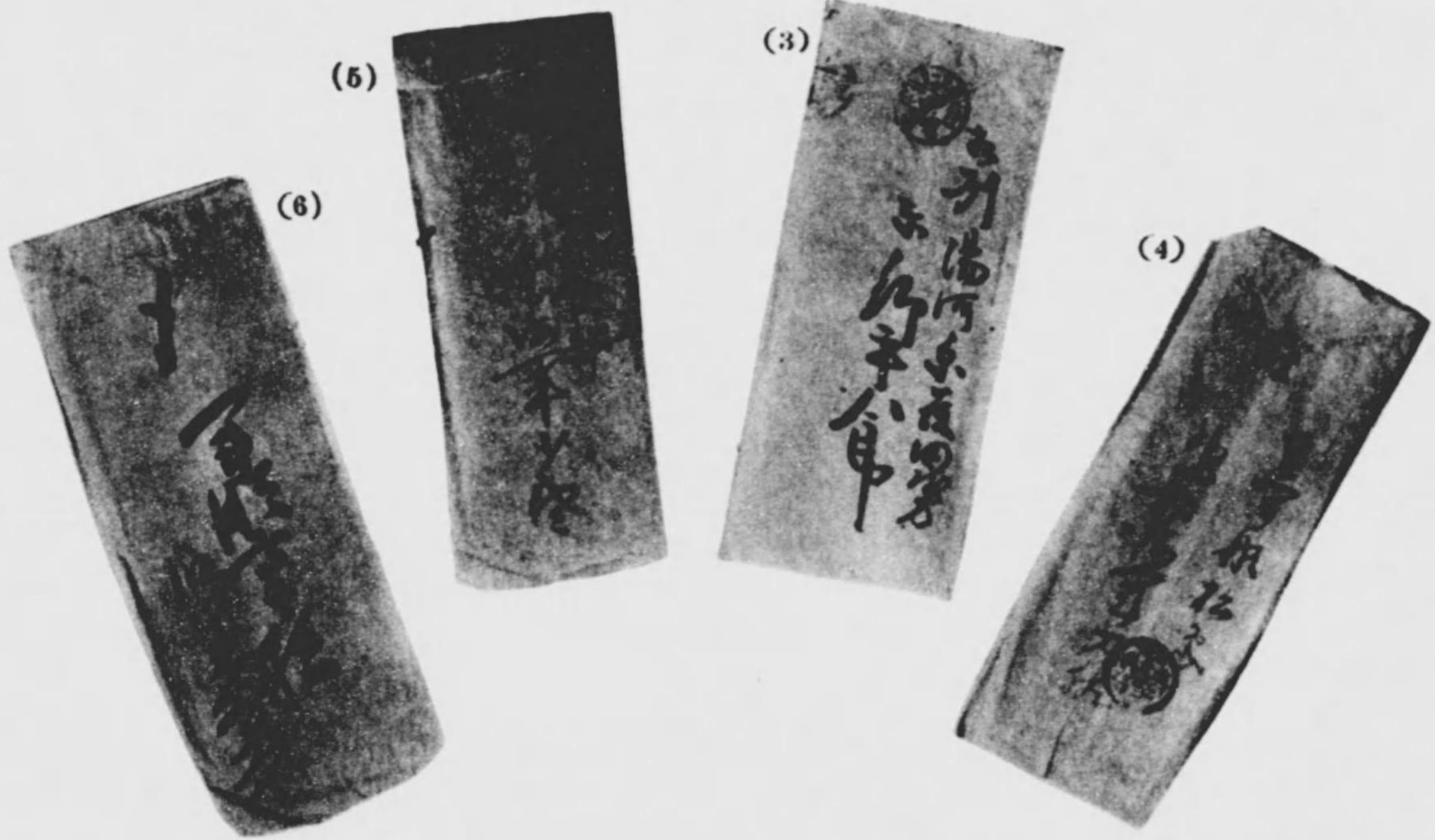
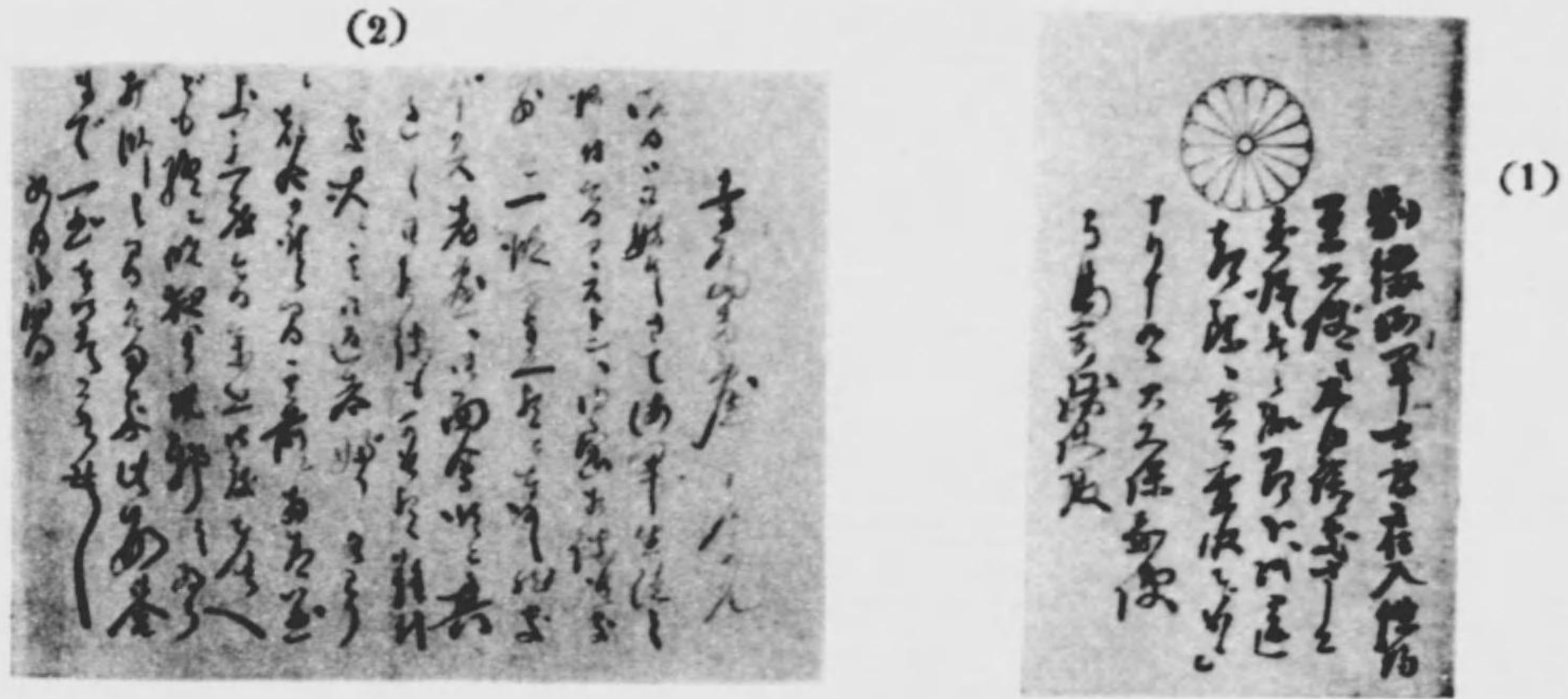
島田繁太郎少將寄贈

將軍歐洲視察ノ際「ロイマ」ニ於テ某伯家ニ招待セラレタルトキ同家主人ノ請ニヨリ誌シタル所感ナリ 現時歐洲ノ情勢ヲ想ヒ今更將軍ノ慧眼ニ敬服セザルヲ得ズ

歐洲視察中ノ電報案

山梨勝之進大將寄贈

大正三、四年歐洲戰地視察ノ際毛筆ニ「インキ」ヲ以テ認メタル電報原稿ナリ



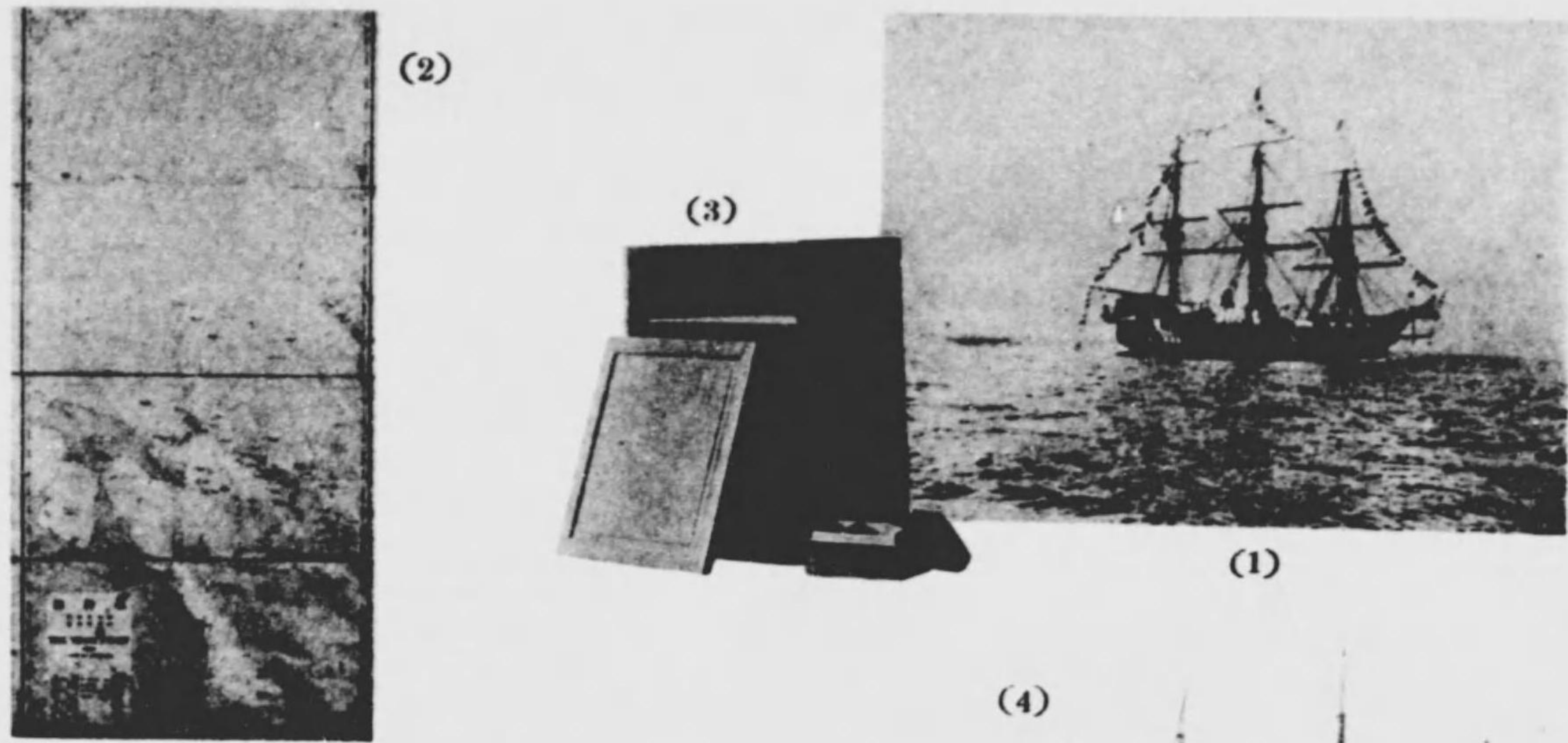
名士書翰

- | | |
|---|-----------|
| (1) 大久保利通書翰 | 白須直氏寄贈 |
| (2) 木戸孝允書翰 | 同 |
| (3) 東郷元帥書翰 (谷口尙眞大將宛) | 谷口尙眞大將寄贈 |
| (4) 出羽大將書翰 (東郷艦長宛) | 東郷二郎中佐寄贈 |
| (5) 齋藤大將書翰 (東郷西京丸艦長宛) | 同 |
| (6) 瓜生大將書翰 | 谷口尙眞大將寄贈 |
| (7) 日露戰役中滿洲軍總司令部ニ參集シタル陸軍巨星ヨリ
山本海軍大臣宛ノ寄書 | 男爵上村從義氏寄贈 |
| 奥第二軍司令官、大島第三師團長、黒木第一軍司令官、野津第四軍司令官、大山滿洲軍總司令部、大山滿洲軍總司令部、兒玉滿洲軍總司令部 | 參謀長 |



東郷乃木兩將軍遺墨遺品

- (1) 東郷乃木兩將軍併影 谷口尙眞大將寄贈
本寫眞ハ明治四十二年 依仁親王同妃兩殿下ニ隨行シ英國 皇帝戴冠式ニ參列セラレタル際馬耳塞碇泊ノ加茂丸船上ニ 於テ撮影セラレルモノナリ
- (2) 東郷元帥書
- (3) 東郷元帥使用ノ床几 「ブライアン」氏寄贈
米國羅府佳「ブライアン」氏ヨリ送ラレタルモノニシテ同氏 父「ブライアン」氏一九〇六年ニ日本訪問ノ際其歡迎會ニ於 テ東郷元帥ノ坐セル床几ヲ記念トシテ贈ラレ米國ニ持歸リ 父ノ死後子息「ブライアン」氏所藏シキタリシガ日本ニ於テ 適當ナル方法ニテ保存セラレタキ希望ヲ以テ寄贈セラレタ ルモノナリ
- (4) 乃木大將年賀狀 谷口尙眞大將寄贈
- (5) 乃木大將來校記念寫眞 明治四十年一月乃木大將ヨリ谷口大將ニ宛テラレタル年賀 狀ナリ
- (6) 乃木大將書翰(寫) 谷口尙眞大將寄贈
乃木將軍ヨリ大藏陸軍中將ニ送ラレタル書翰ニシテ高島子 爵ト將軍トノ會談ノ際飼馬料ノ問題ニ關シテ將軍ガ同伴ニ 對シ過受アルヲ發見シ驚キ執筆セラレタルモノナリ
- (7) 薙刀(身) 大島男爵家寄贈
乃木大將ノ遺愛品ニシテ「法成寺」作 大島富士太郎男ニ形 見トシテ贈ラレタルモノ 因ニ富士太郎男ハ乃木大將臺灣 總督在職時ノ秘書官ナリキ



(1)

(3)

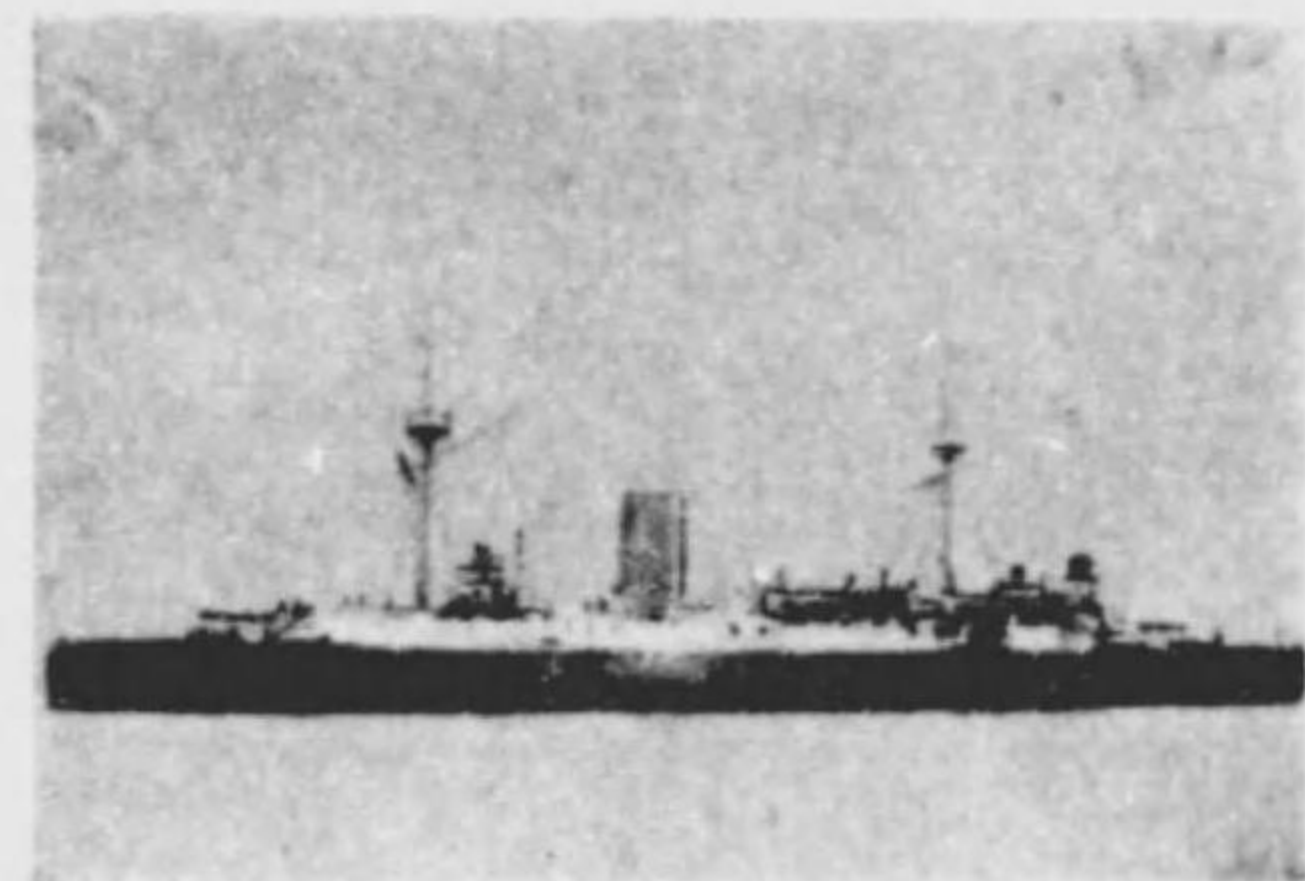
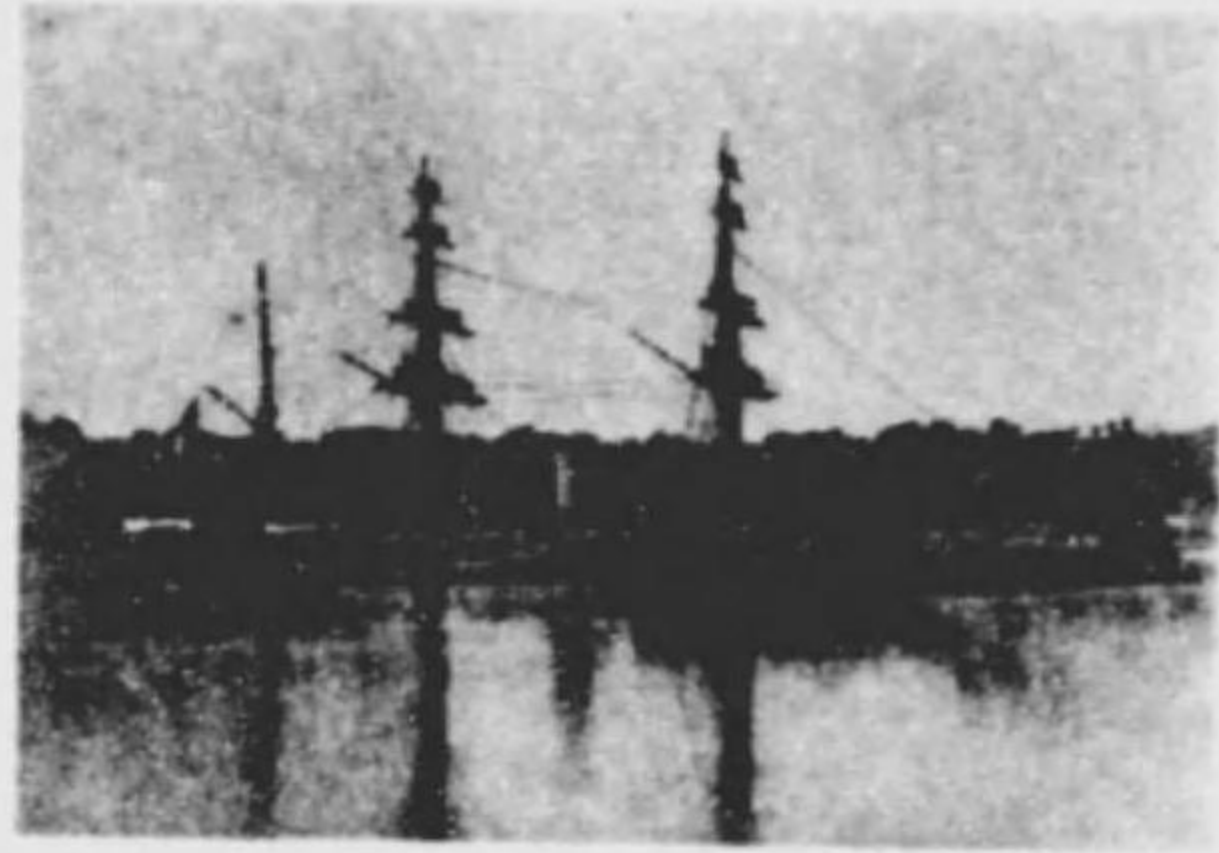
(2)



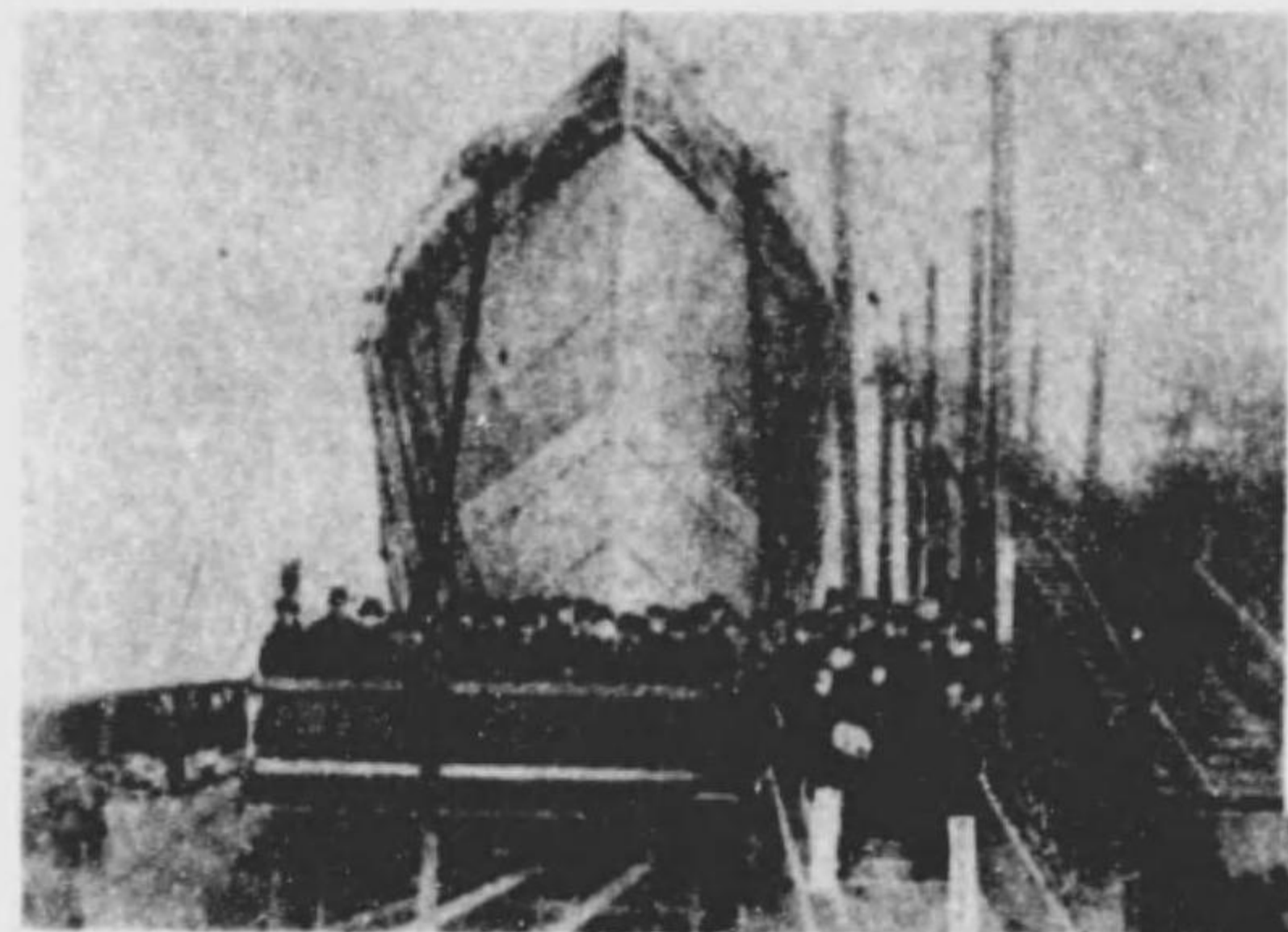
(4)



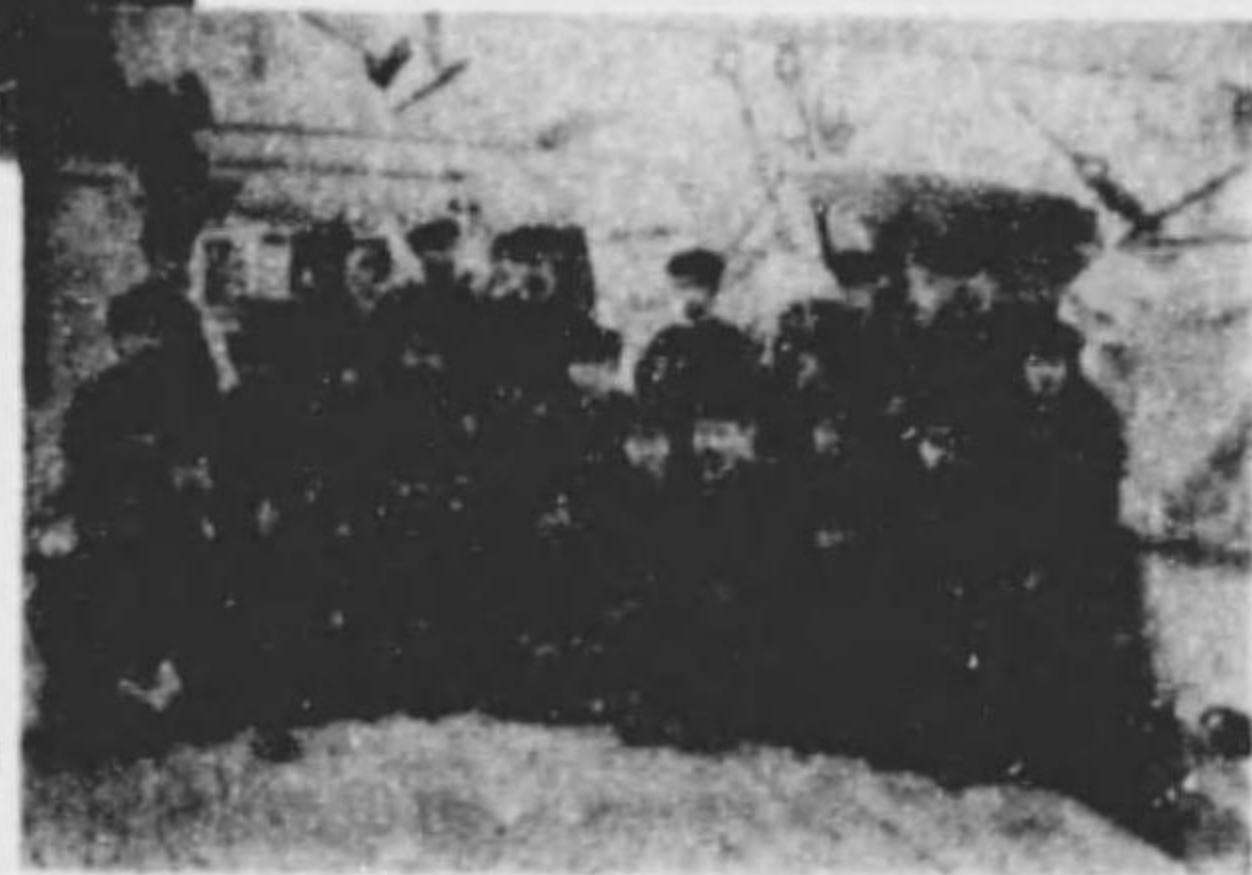
(5)



(6)



(7)



(8)

明治初期ノ海軍

(1) 軍艦筑波(寫眞)

春日源司氏寄贈

嘉永四年英領「マラツカ」(四「ムヨルメルン」)ニ於テ建造、明治四年七月英人ヨリ購入、筑波艦ト名付ケ直ニ生徒稽古艦トシテ兵學寮ニ屬シ近海ノ航海ニ從事ス 明治八年山本權兵衛、片岡七郎、上村彦之丞等小尉補ノ練習ノタメ桑港ニ向ヘリ 是レ練習航海トシテ太平洋ヲ横斷セシ最初ニシテ爾後兩米濠洲等ヲ航海スルコト數回 明治三十五年迄練習艦トシテ我海軍將校教育上ニ使用セラレタリ

(2) 軍艦筑波明治十一年濠洲航跡圖

(3) 筑波艦材製本箱

小幡文三郎造船少將寄贈

並ニ印箱

富士川一吾大佐寄贈

本箱ハ吳海軍工廠ニ於テ筑波廢材ヲ以テ製作 小幡氏ニ送リシモノナリ

(4) 軍艦比叡模型

宮中御下賜品

並ニ欄間

舞鶴要港部保轉

明治八年英國「ヘーヴン」社ニ於テ起工、同十一年二月竣工ス

金剛ト姉妹艦ナリ 明治二十二年ヨリ同三十五年ノ間ニ於テ數回練習航海ヲナス 此ノ欄間ハ同艦ニ裝備ノモノヲ廢艦ト同時ニ取外シタルモノナリ

(5) 軍艦金剛寫眞

並ニ欄間

舞鶴要港部保轉

明治八年英國「アールス」社ニ於テ建造、比叡ト姉妹艦ナリ

(6) 軍艦浪速寫眞

明治十八年三月英國「アームストロング」社ニ於テ建造、同年六月品海ニ到着ス 此時代ニ於ケル世界優秀艦ノ一ト稱セラレ

(7) 軍艦浪速進水式光景

土師秀雄大尉寄贈

明治十八年三月英國ニ於ケル進水式ノ光景ナリ

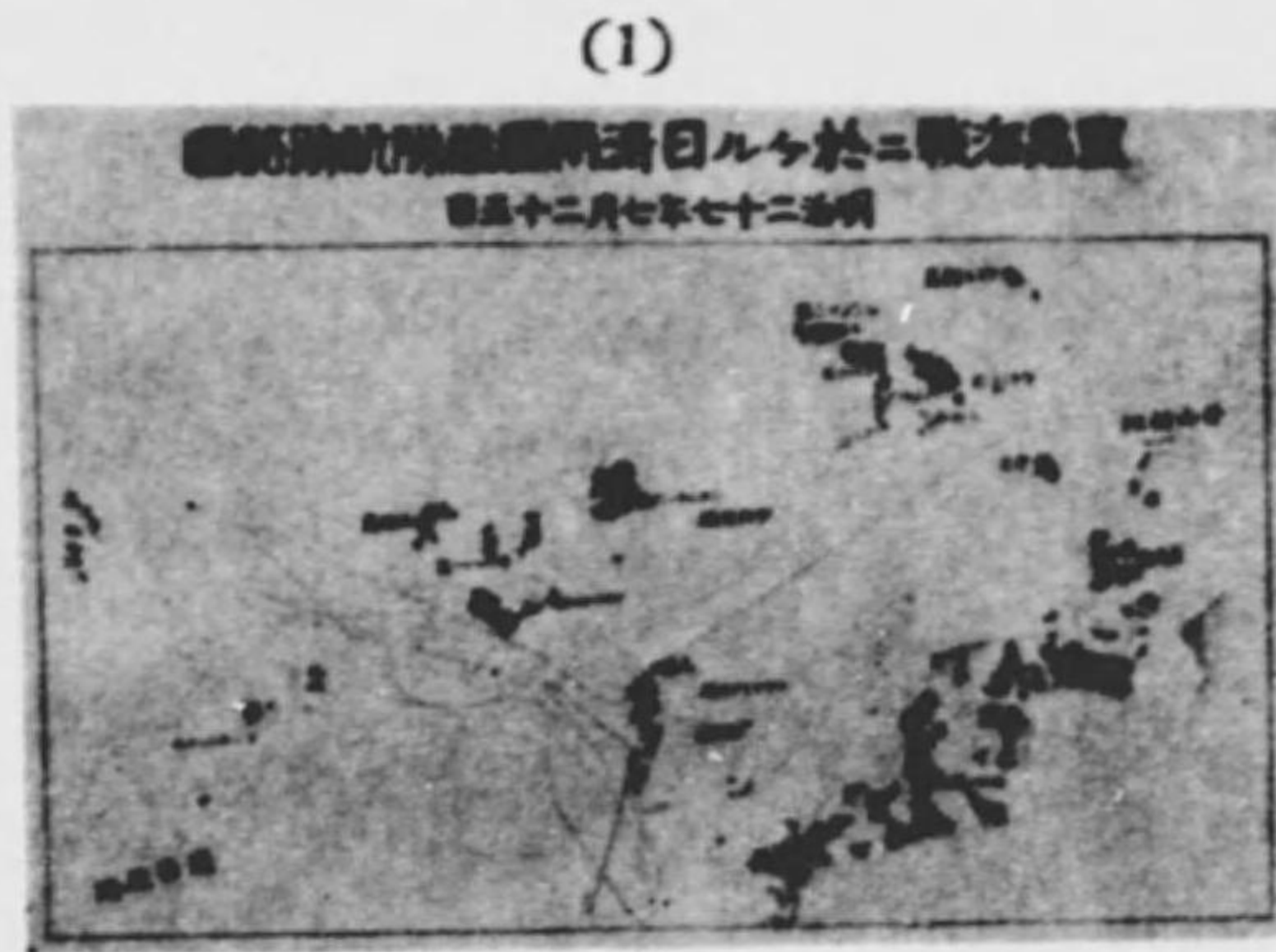
(8) 軍艦浪速回航員寫眞

宮里秀徳中佐寄贈

艦長伊東祐亨大佐、副長山本權兵衛中佐外名將ノ若キ面影ヲ殘ス



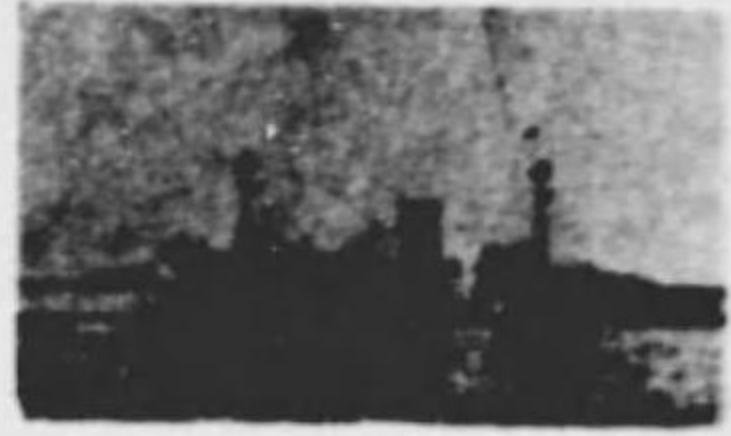
(2)



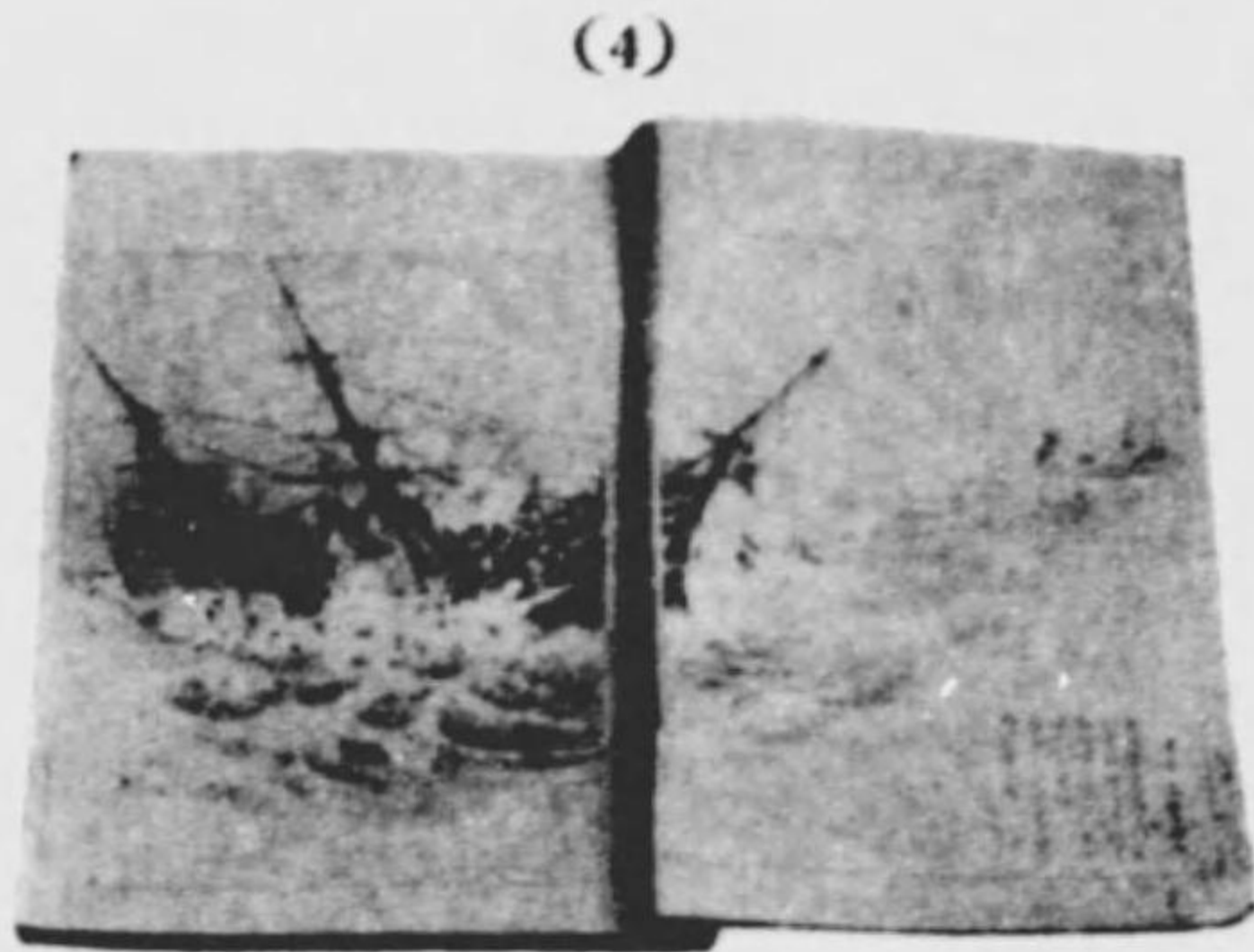
(1)



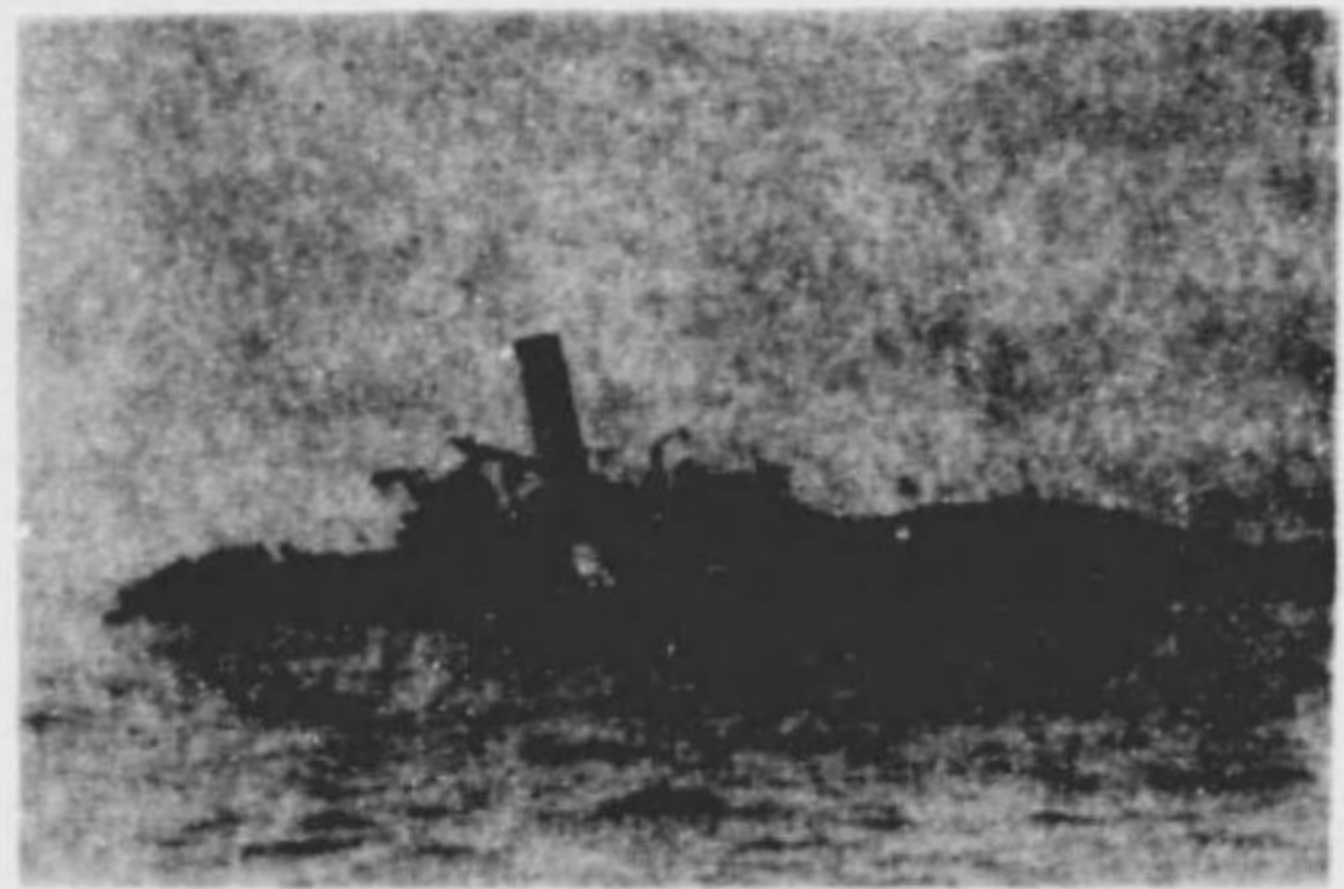
(2)



(3)



(4)



(5)



(6)



(7)

日清戦争

豊島沖海戦 (明治二十七年七月二十五日)

(1) 豊島沖海戦航跡圖

(2) 豊島沖海戦彼我艦船圖 (複寫)

(右) 我第一遊撃隊 (吉野、常備艦隊司令官旗艦、秋津洲、浪速)

(左) 清國艦船 (濟遠、廣乙、操江)

(3) 浪速艦長東郷平八郎大佐寫眞

帝國軍艦清國軍艦ニ出會シテ交戦中英商船旗ヲ掲ゲ清兵及武器ヲ滿載セル運送船高陞號ヲ發見シタルヲ以テ浪速艦長東郷大佐ハ之ニ嚴命スル所アリシモ清將頑然拒ミテ從ハザリシヲ以テ艦長ハ意ヲ決シテ之ヲ撃沈シ更ニ端艇ヲ下シテ船員ヲ救ヘリ

(4) 高陞號撃沈ノ光景 (日清戦争繪卷所載)

松本忠左少將寄贈

(5) 廣乙號沈没光景寫眞

廣乙號ハ我秋津洲及浪速ニ猛撃セラレテ遂ニ支フル能ハズ陸岸近ク逃走シ坐礁破砕セリ

(6) 同 錦繪 (清親版畫)

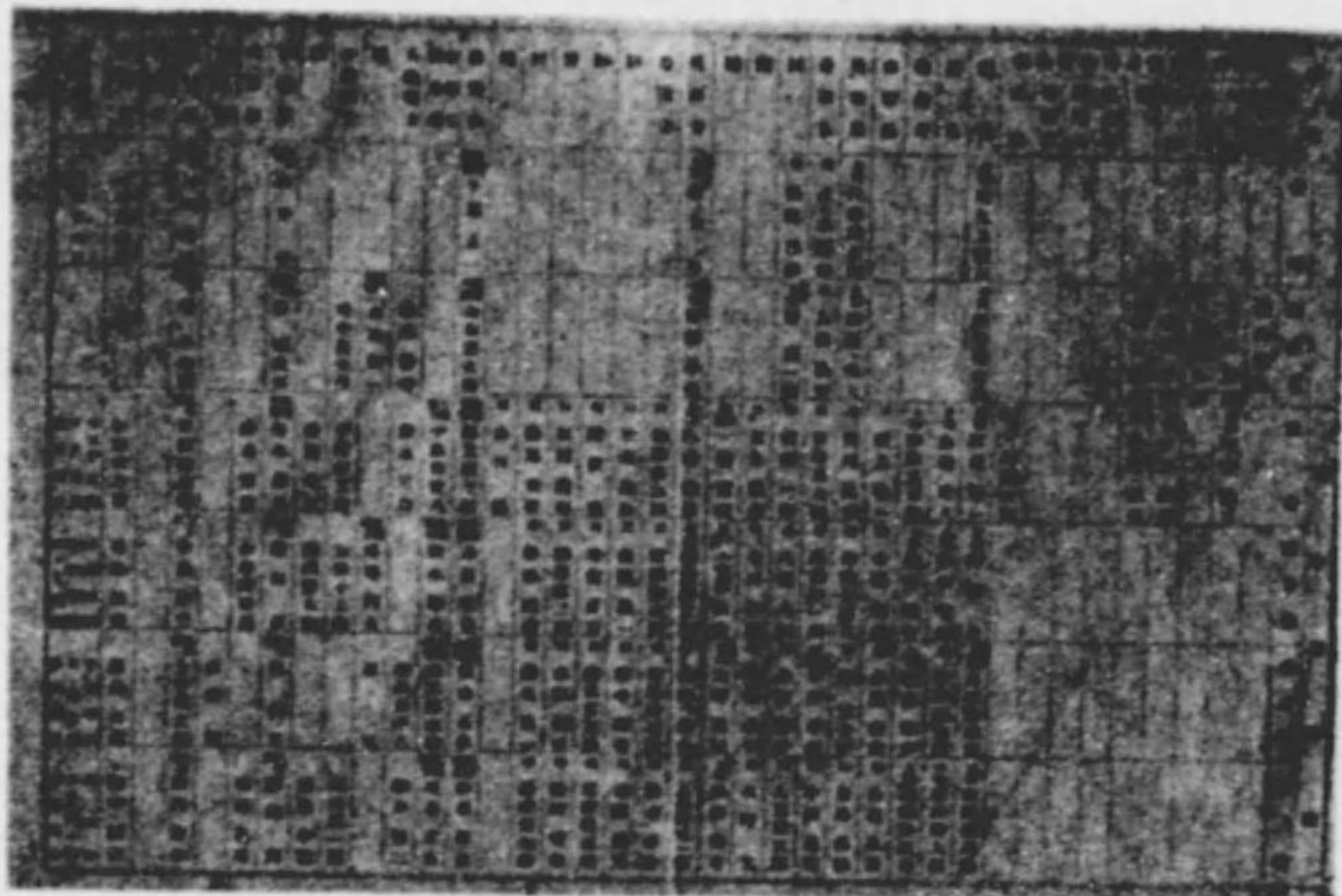
内藤清枝氏寄贈

(7) 日本屋 諷刺圖 (明治二十七年柴林版畫)

同



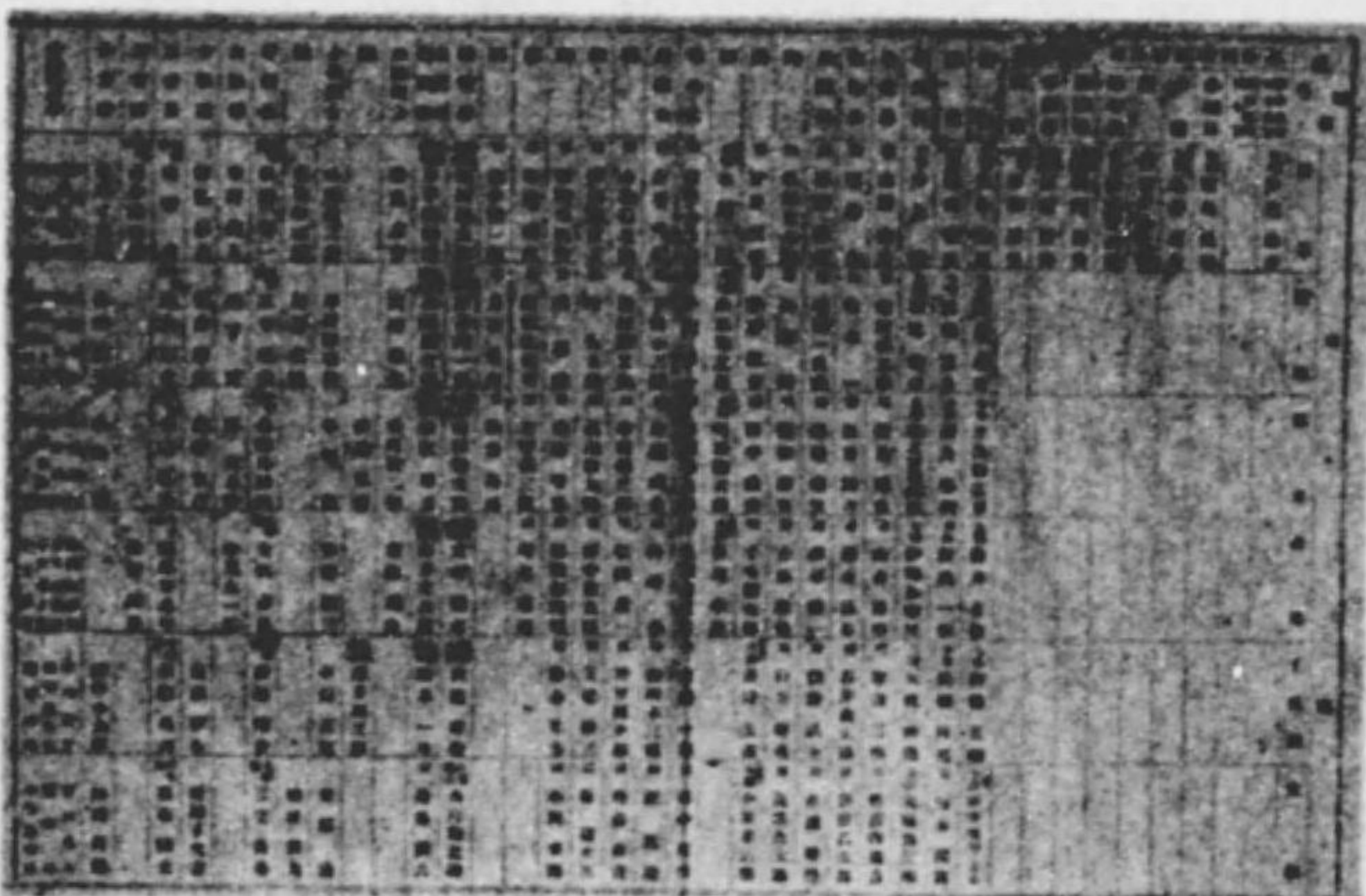
(2)



(3)



(1)



(4)



(5)



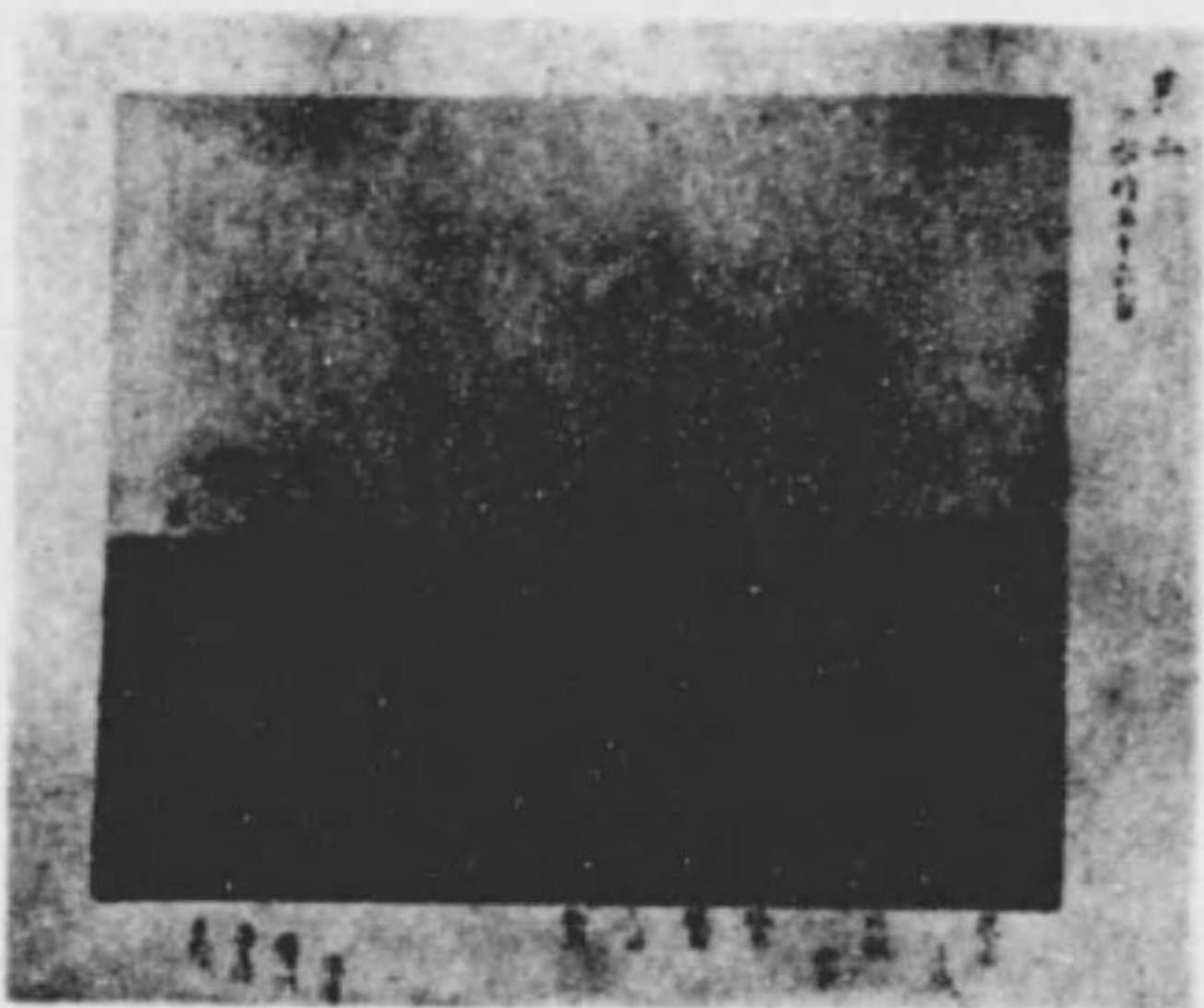
(6)



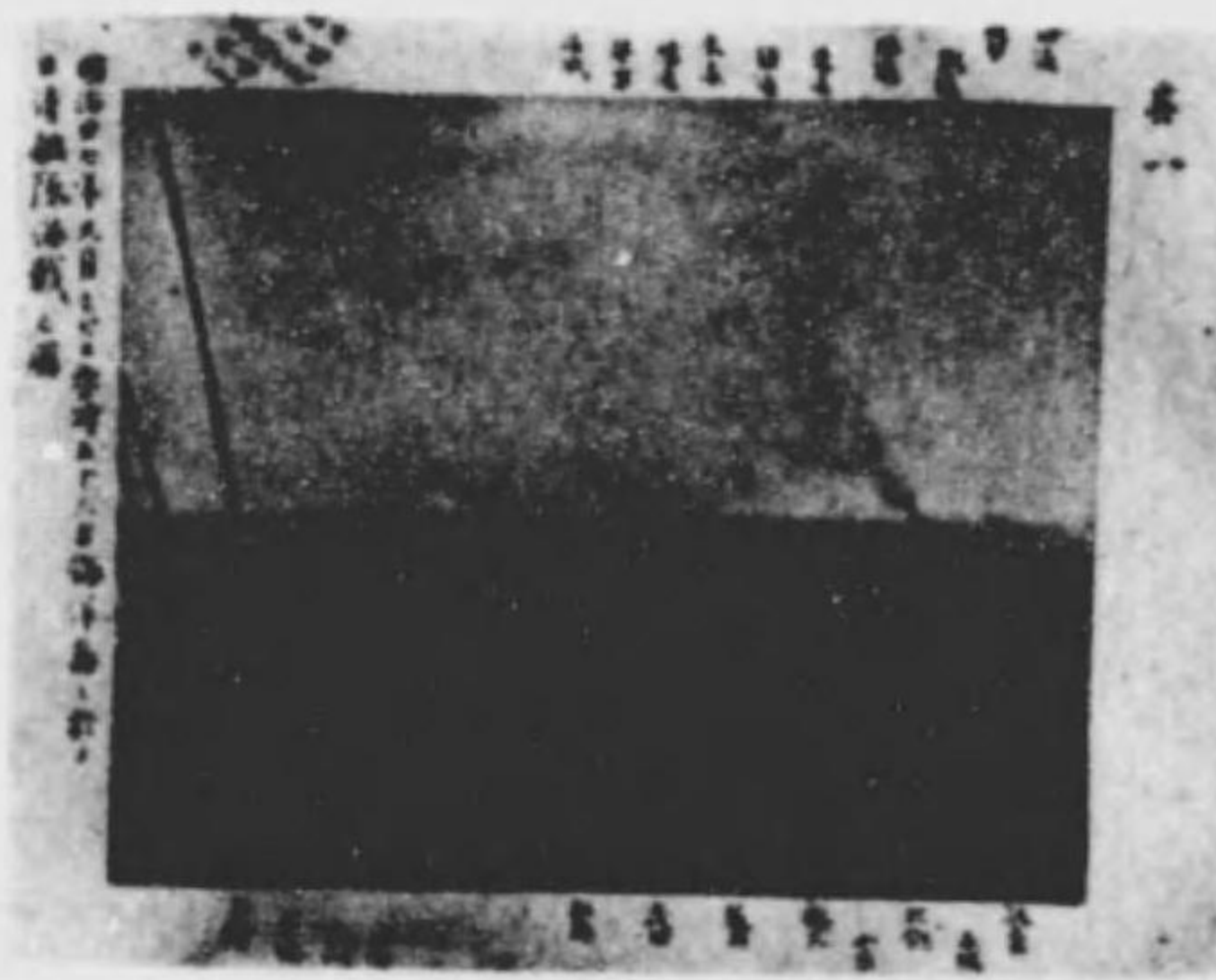
(8)



(7)



(9)



黄海々々戦

明治二十七年九月十六日我聯合艦隊司令長官ハ敵艦隊主力ノ消息香トシテ不明ナルヲ以テ之ヲ索メ撃滅スルニ決シ海
洋島、威海衛、大連灣、旅順口、太沽、山海關、牛莊、威海衛ノ順ニ搜索シテ歸航スルノ計畫ヲ定メ同夜本隊第一遊
撃隊及西京、赤城等十二隻ヲ率キ根據地ヲ發シタルガ偶々翌十七日午前海洋島附近ニ於テ敵主力ニ出會シ茲ニ壯烈ナ
ル黄海大海戦ヲ惹起スルニ至レリ

(1) 當時ノ軍令部長樺山資紀大將寫眞

黄海々々戦當時西京丸ニ坐乗海戦ヲ觀察セリ

(2) 聯合艦隊司令長官伊東祐亨大將寫眞

(3) 帝國軍艦乗組將士一覽表

(4) 黄海々々戦ノ隊形圖 (緒戦期)

(5) 同 (決戦期)

(6) 黄海々々戦圖 (五陽筆)

(7) 同 (ゼーン筆)

本畫ハ英國「ボーツマス」軍港ニ僑居シキタル「Fighting Ships」ノ著者「ゼーン」氏ノ筆ニ成リ同氏ヨリ黒井大將ニ
贈リタルモノナリ

廣幡侯爵家寄贈

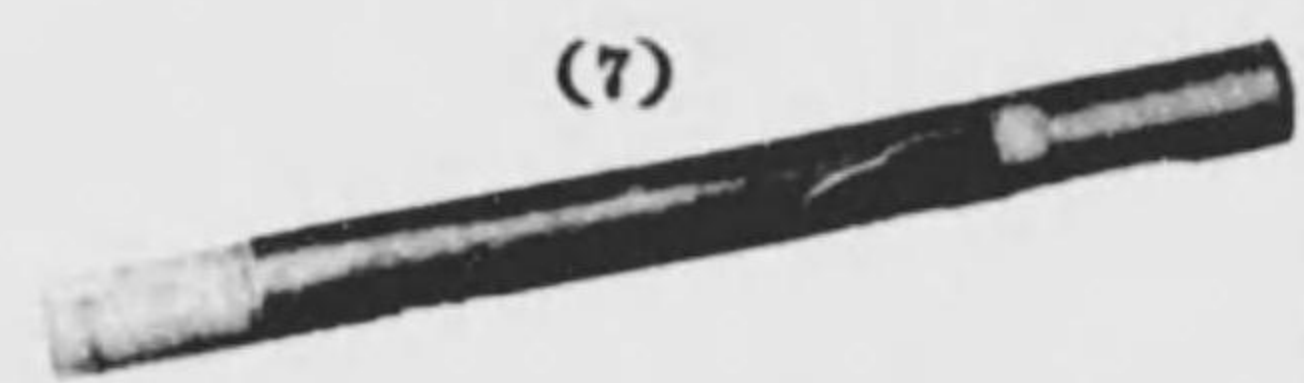
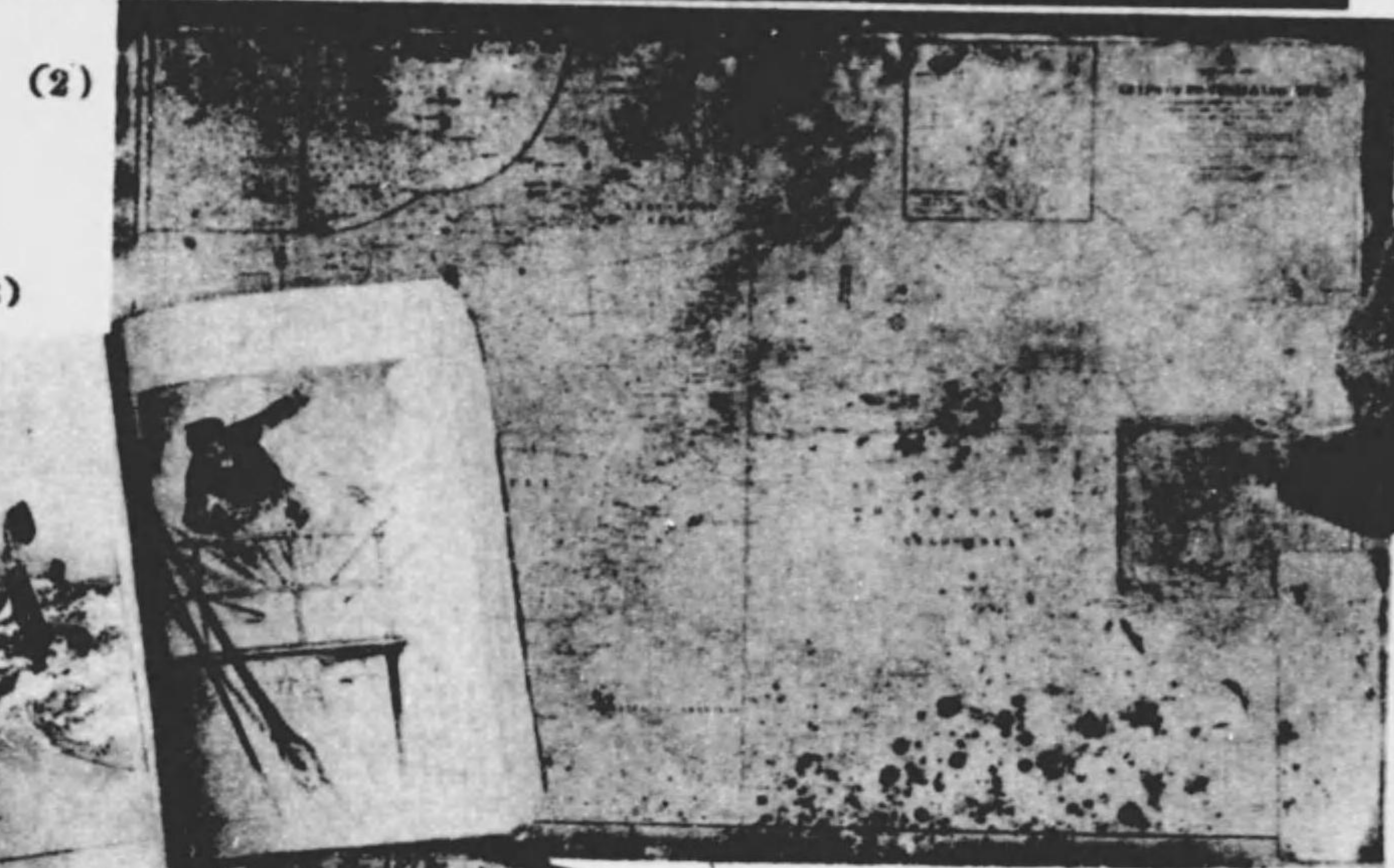
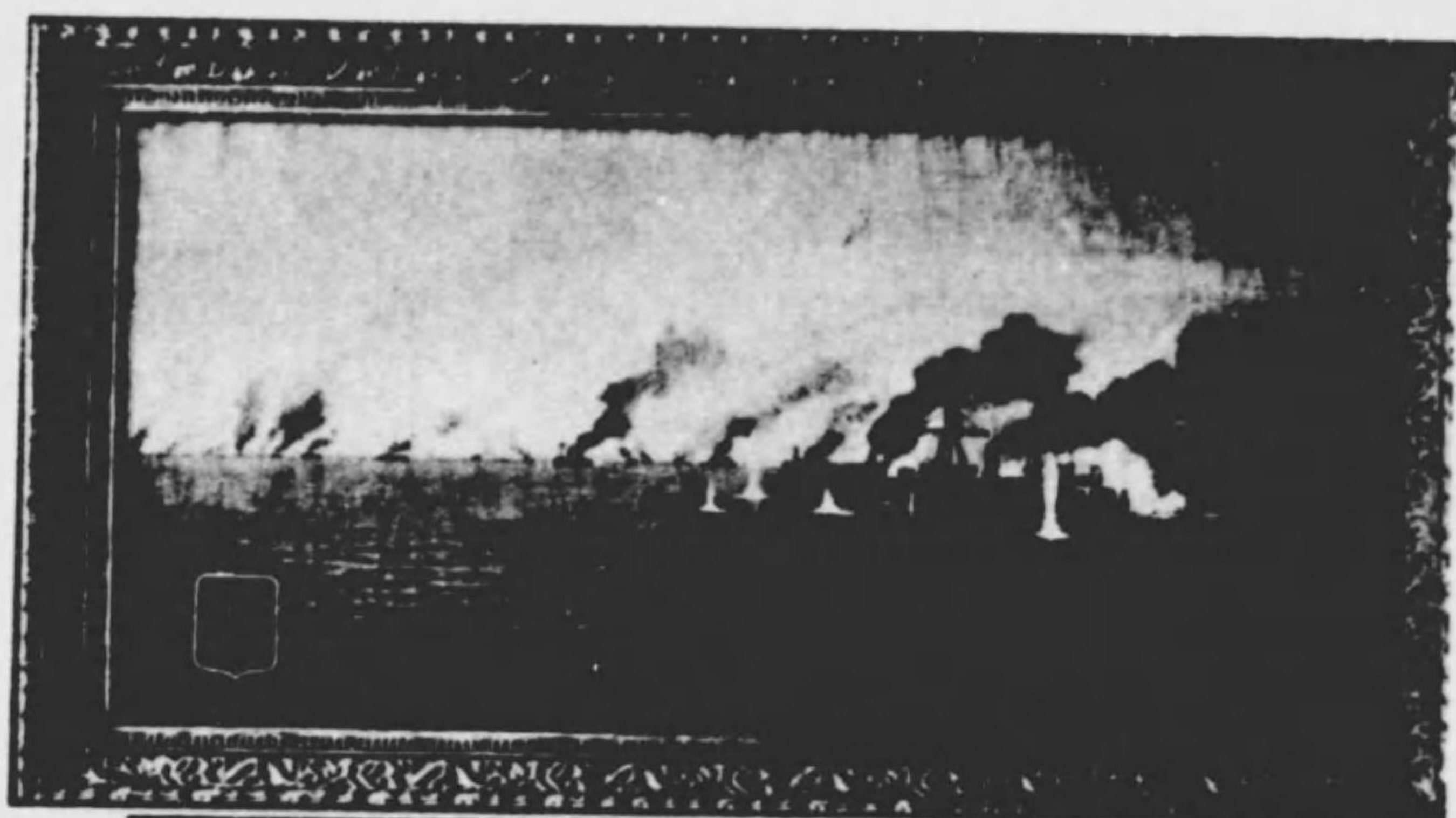
黒井悌次郎大將寄贈

(8) 同 (太田喜二郎畫伯筆明治神宮壁畫複製寫)

太田喜二郎氏寄贈

(9) 黄海々々戦實寫々眞 二枚 (日清戦争寫眞帖所載)

軍令部寄贈



黄海々々戦 (續)

(1) 赤城苦戦ノ光景 (矢崎千代二畫伯筆)

當時軍艦赤城ハ速力本隊ニ續行スルニ堪ヘズシテ孤立シ來
遠及左翼ノ敵艦ニ猛撃セラレテ頗ル苦戦セシモ奮闘力最
モ近寄り來レル來遠ヲ痛撃シテ艦上殆ド人ナキニ至ラシメ
タルモ遂ニ坂元艦長以下多クノ戦死者ヲ出セリ

(2) 坂元少佐血染ノ海圖

本海圖ハ黄海々々戦ニ於テ軍艦赤城ノ使用シタルモノニシテ
戦將ニ酣ナラントスルトキ艦長坂元少佐坂元八郎太艦橋ニ
在リテ指揮操縦シキタルガ敵艦ノタメ其頭部ヲ粉碎セラレ
テ戦死セリ 圖中ノ斑點ハ腦汁血液ノ飛散シ附着シタル痕
ナリ

(3) 赤城苦戦坂元少佐奮戦圖 (版畫)

(日清戦争繪卷所載)

松本忠左少將寄贈

(4) 坂元少佐戦死ニ關スル英文記事

(「グラフィック」所載)

伍堂卓雄海兵中將寄贈

(5) 坂元艦長ヲ殞シタル彈丸破片

(6) 坂元少佐書翰

武部岸郎大佐寄贈

(7) 望遠鏡

兼坂隆中將寄贈

元故坂元少佐家ニ在リシモノニシテ兼坂中將小修理ヲ施シ
四十二年以來使用セシモノナリ

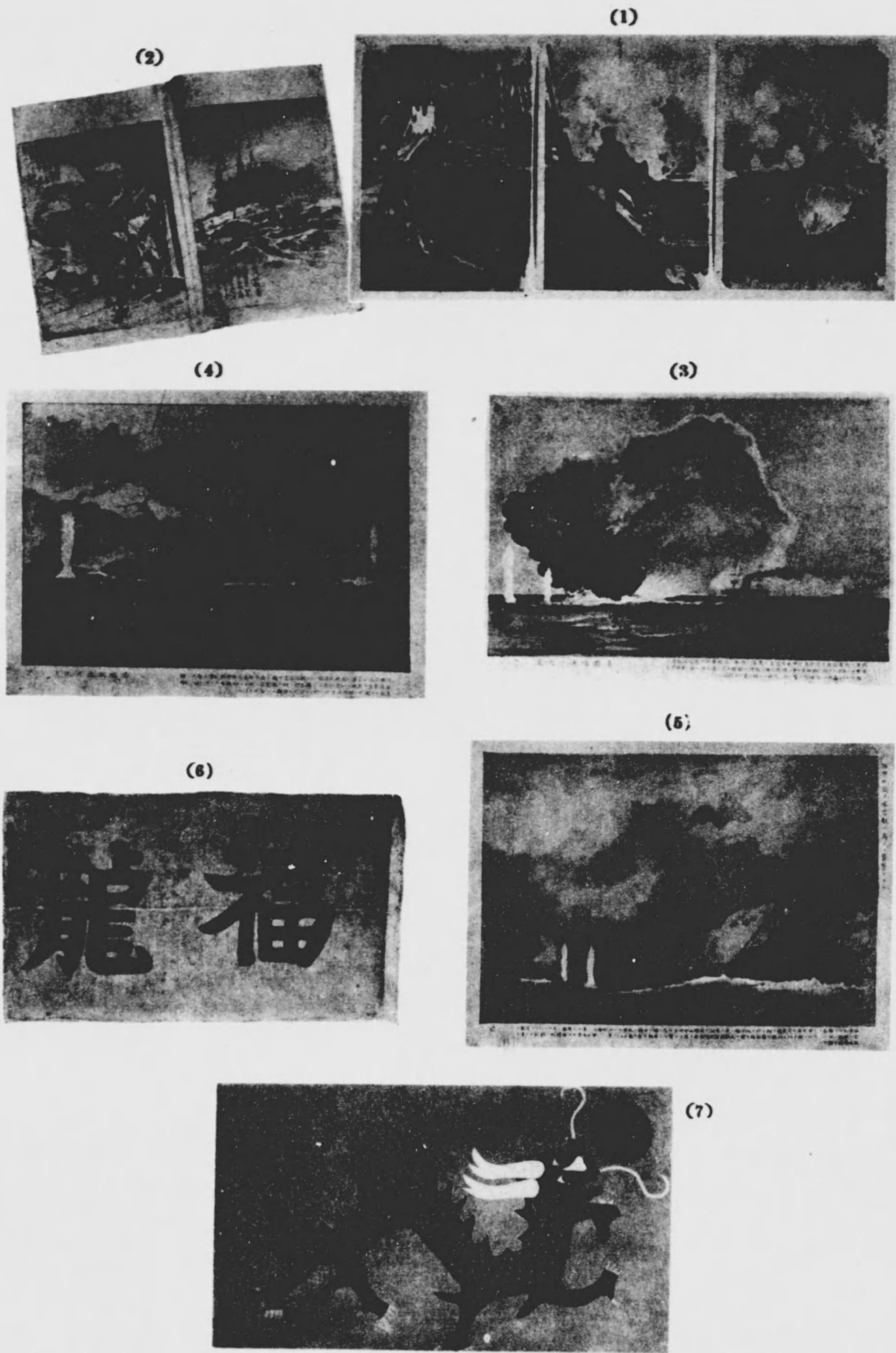
(8) 赤城艦上橋口候補生奮戦ノ圖

谷口尙眞大將寄贈

橋口候補生ハ黄海々々戦ノ際敵艦丸雨飛スル赤城艦上前橋樓
ニ在リテ六分儀ヲ持チ敵艦ノ距離ヲ測定スルト共ニ刻々之
レヲ砲員ニ告ケツ、アリシガ偶々敵艦來遠猛然トシテ向ヒ
來ルヲ見ルヤ大呼シテ之ヲ報ジ一彈飛來シ腹部ヲ打ツモ
「來遠距離八百米」ト報ジ後上甲板ニ墜落戦死セリ

(9) 赤城記念碑 (在本校校庭)

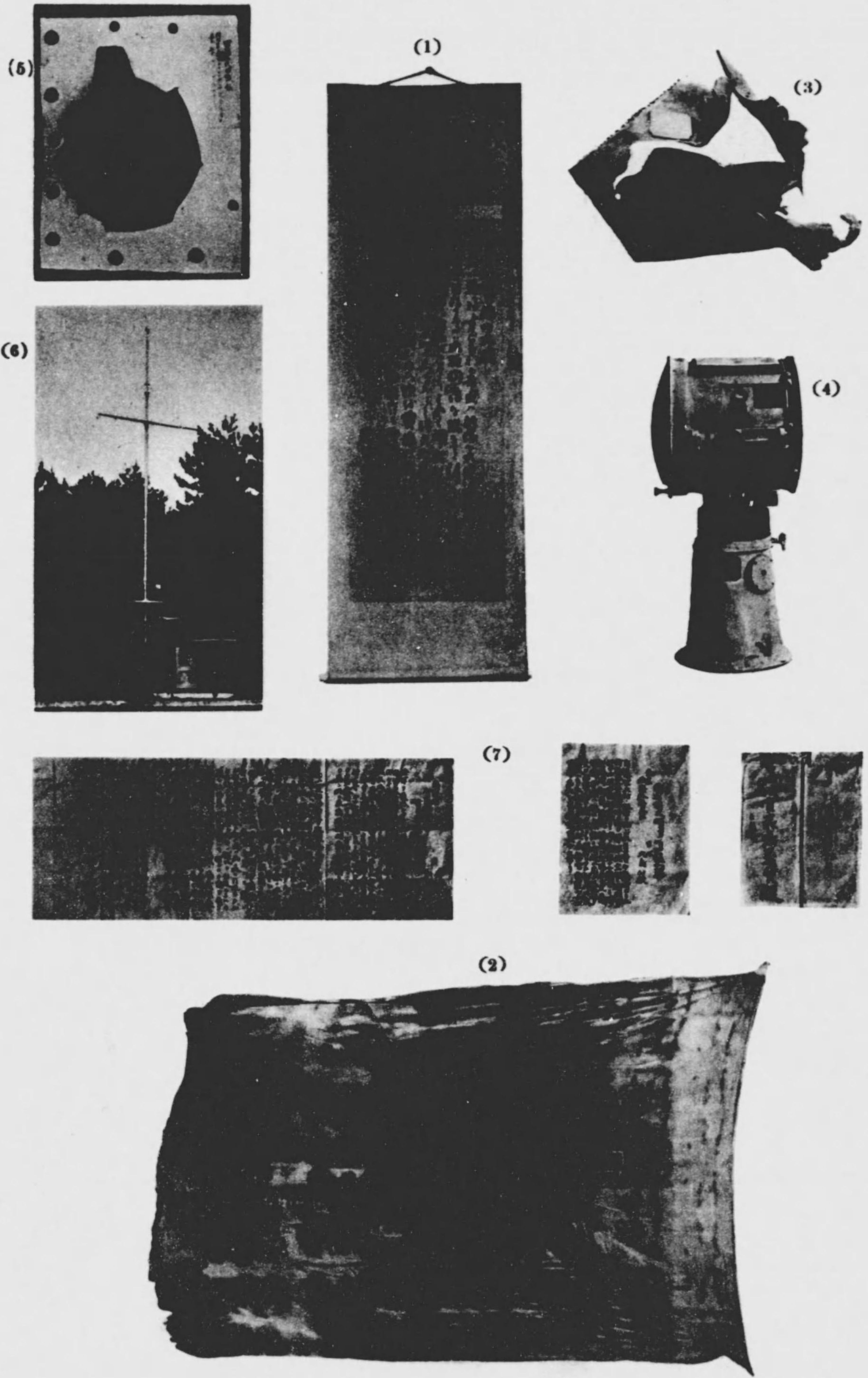
碑ハ元吳市八幡山ニ在リタルモノニシテ軍艦赤城ノ戦死者
記念トシテ戦後當時ノ乗組員等釀金シ長崎三菱造船所ニ依
囑シ砲身ハ赤城ノ備砲「ヘブリュー」砲ニ象リ鑄造シ砲底ニ
坂元艦長以下十名ノ戦死者遺骨ヲ納ム



黄海々々戦 (續)

- (1) 黄海我軍大捷赤城比叡奮闘圖 (清親版畫) 内藤清枝氏寄贈
- (2) 比叡火災 死ヲ決シテ火藥庫ヲ守ル圖 (日清戰爭繪卷所載) 松本忠左少將寄贈
- (3) 清艦經遠ノ沈沒 (日清戰爭海戰畫帖所載) 大島良之助中佐寄贈
我第一游擊隊即チ吉野高千穂秋津洲及浪速ノ四艦ハ清艦廣甲來遠經遠致遠ヲ追撃スル甚ダ急ナリ 彼狼狽先ヲ争ヒ遁逃ス 殊ニ經遠ハ猛射ヲ蒙リ遂ニ火ヲ發シ黃煙黒雲ニ掩ハレ爆裂ノ響ト共ニ左舷ヨリ傾キ直チニ沈没セリ
- (4) 清艦致遠ノ沈沒 同
清艦致遠ハ黄海交戰中我巨彈ノ爲メニ防水區割室ヲ擊破セラレ浸水甚シク戰闘酣ナルトキ艦首ヨリ沈ミ始メ船體直立シテ艦尾ノ螺旋推進器ハ劇シク半空ニ回轉シツ、海中ニ没ス
- (5) 西京丸襲撃セララル 同
西京丸ハ一郵船ナリ 二十七年七月武装ヲ施シテ巡洋艦ニ充ツ 黄海ノ役ニ樺山中將坐乗シ海戰ヲ視察セリ 同船構造ハ素ヨリ軍艦ト異ナルヲ以テ開戦ニ方リ列外ニ避ケシメタリト雖モ屢々散彈ヲ受ケ又敵水雷艇福龍號ニ襲ハレ魚形水雷ヲ放タレシモ幸ニ中ラズ恙ナク根據地ニ歸航スルコトヲ得タリ
- (6) 福龍旗 同
清國水雷艇福龍ハ黄海々々戰中我西京丸ヲ三度迄魚雷ヲ以テ襲撃シタル水雷艇ニシテ本旗ハ同艇ノ艇首旗ナリ
- (7) 清國軍艦旗 同
黄海々々戰ニ於テ坪井司令官ノ分捕セシ清國軍艦旗ナリ

坪井浩五郎氏寄贈



黄海々々戦(續)

(1) 黄海大捷歌(伊東元帥書)

古川鈿三郎中将寄贈
「頃は菊月半過ぎ我帝國の艦隊は大同江を船出して敵のありかを探りつゝ」云々の黄海大捷ノ軍歌ヲ伊東元帥ガ自書セシモノナリ

(2) 松島記念軍艦旗

佐世保鎮守府寄托
此色褪セタルハ明治四十年遠航ノ途澎湖島沖ニ於テ危難ニ遭ヒ沈没ノ際海水浸透シタルガ爲ナリ

(3) 松島 鐵 鉞

黄海々々戦ノ際敵三十種半砲彈貫通セシ彈痕アリ

(4) 松島 探照燈

黄海々々戦ノ際敵彈ノ爲メ破損ス

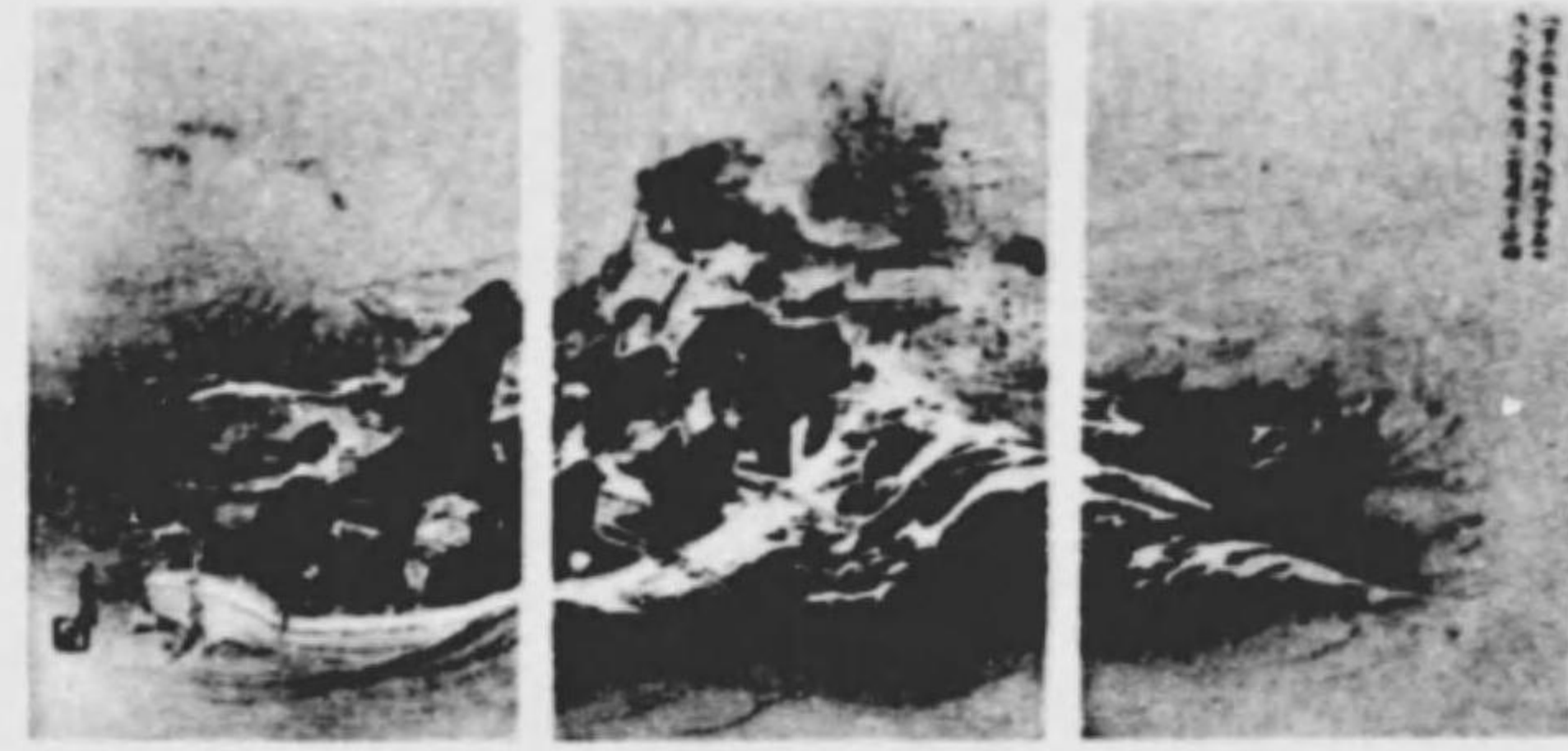
(5) 千代田 鐵 鉞

黄海々々戦ノ際敵彈飛來シ舷腹ヲ貫キ彈痕ヲ留ム

(6) 千代田 艦 橋 (在本校練兵場)

(7) 黄海々々戦 公報

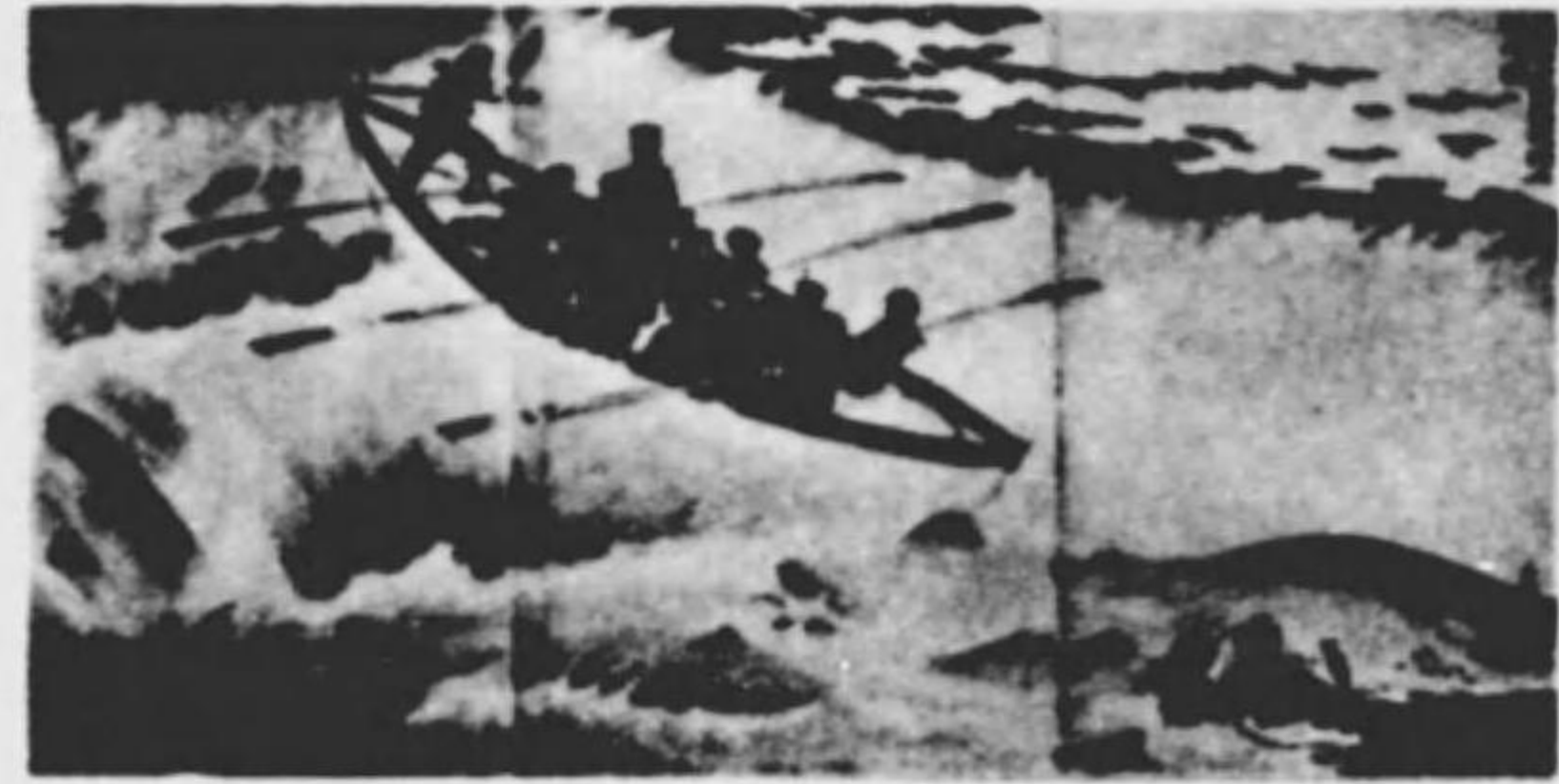
吳海軍工廠保轉
花房子爵家寄托
本電報譯文並ニ戰報ハ黄海々々戦ニ關スル大本營戰報ニシテ當時ノ菫葉版ニテ印刷セシモノナリ



(2)



(1)



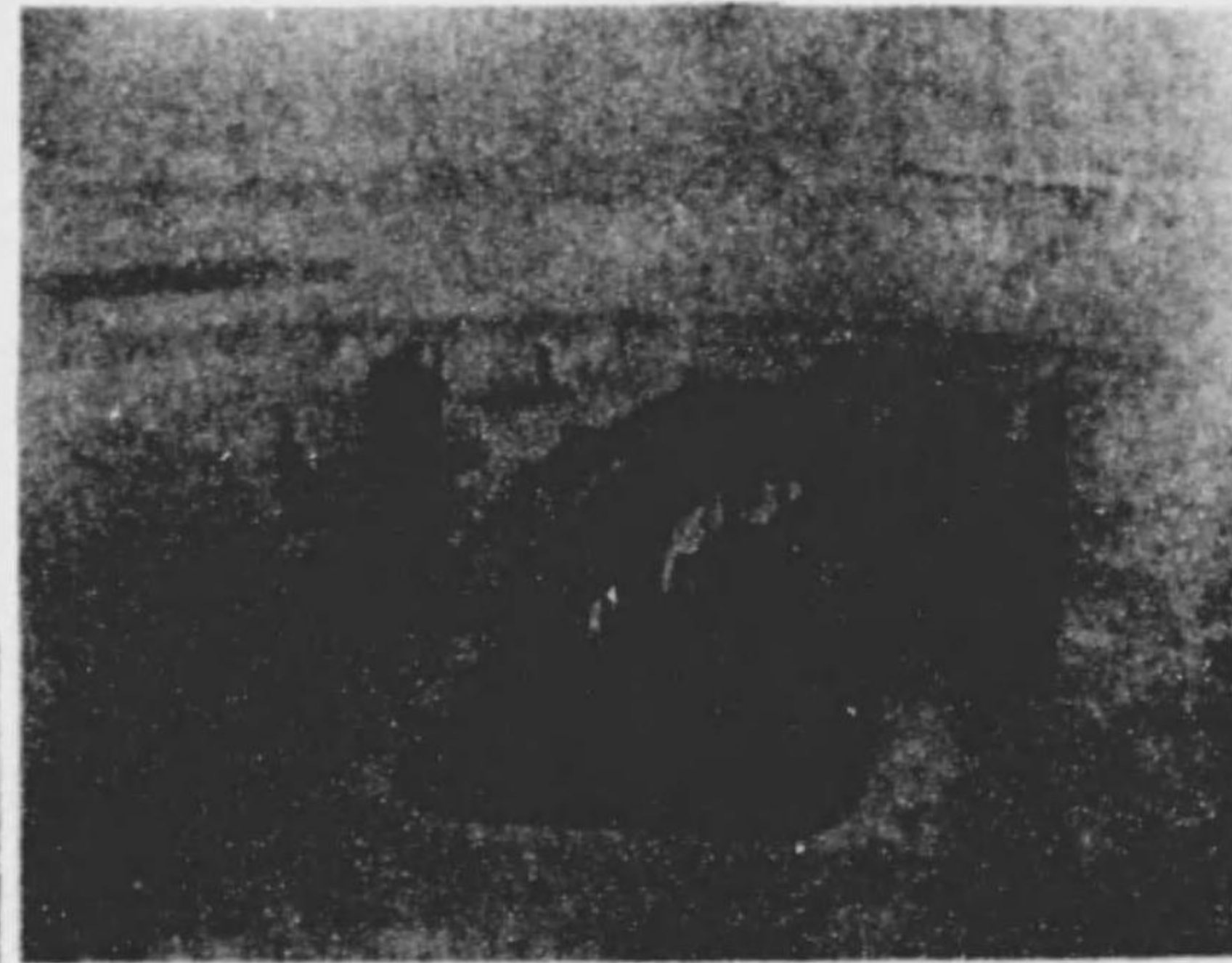
(3)



(6)



(5)



(7)

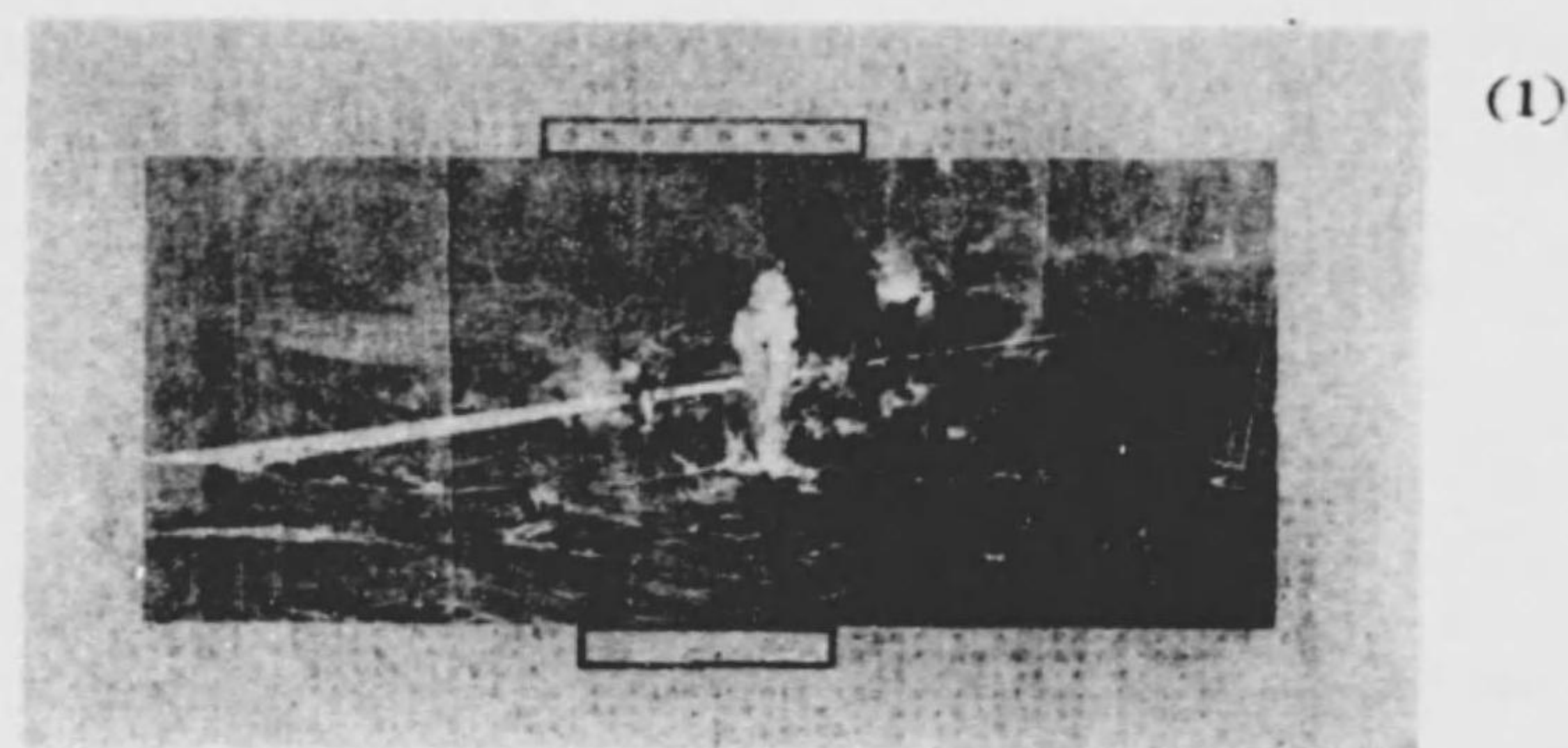
威海衛 戰

威海衛 作戰

大通灣、旅順港ハ既ニ陥落シ金洲半島ハ皇軍ノ平定スル所トナリシモ敵艦隊ハ深ク威海衛港内ニ嬰守シ敢テ出戦スルノ狀ナキヲ以テ我陸軍ヲ渤海灣頭ニ進メントスルニ當リ後顧ノ患アリシヲ以テ聯合艦隊ハ先ヅ陸軍ヲ榮城灣ニ揚陸シ次テ屢々海上攻撃ヲ行ヒ又勇猛果敢ナル水雷艇夜襲ヲ行ヒ遂ニ其ノ目的ヲ達セリ

- (1) 榮城灣揚陸寫眞 (日清戰爭寫眞帖所載) 軍令部 寄贈
- (2) 八重山艦乗組大澤大尉等七名ノ決死隊榮城灣ニ奮進之圖 内藤清枝氏寄贈
- (3) 我軍占領榮城灣上陸之圖 (清親版畫) 同
- (4) 威海衛進軍配置之圖 (清親版畫) 同
- (5) 劉公島隱顯砲臺 (日清戰爭寫眞帖所載) 軍令部 寄贈
- (6) 劉公島ヨリ海上ヲ見渡シタル所 同
- (7) 劉公島ニ建テラレタル記念碑 谷口尙眞大將寄贈

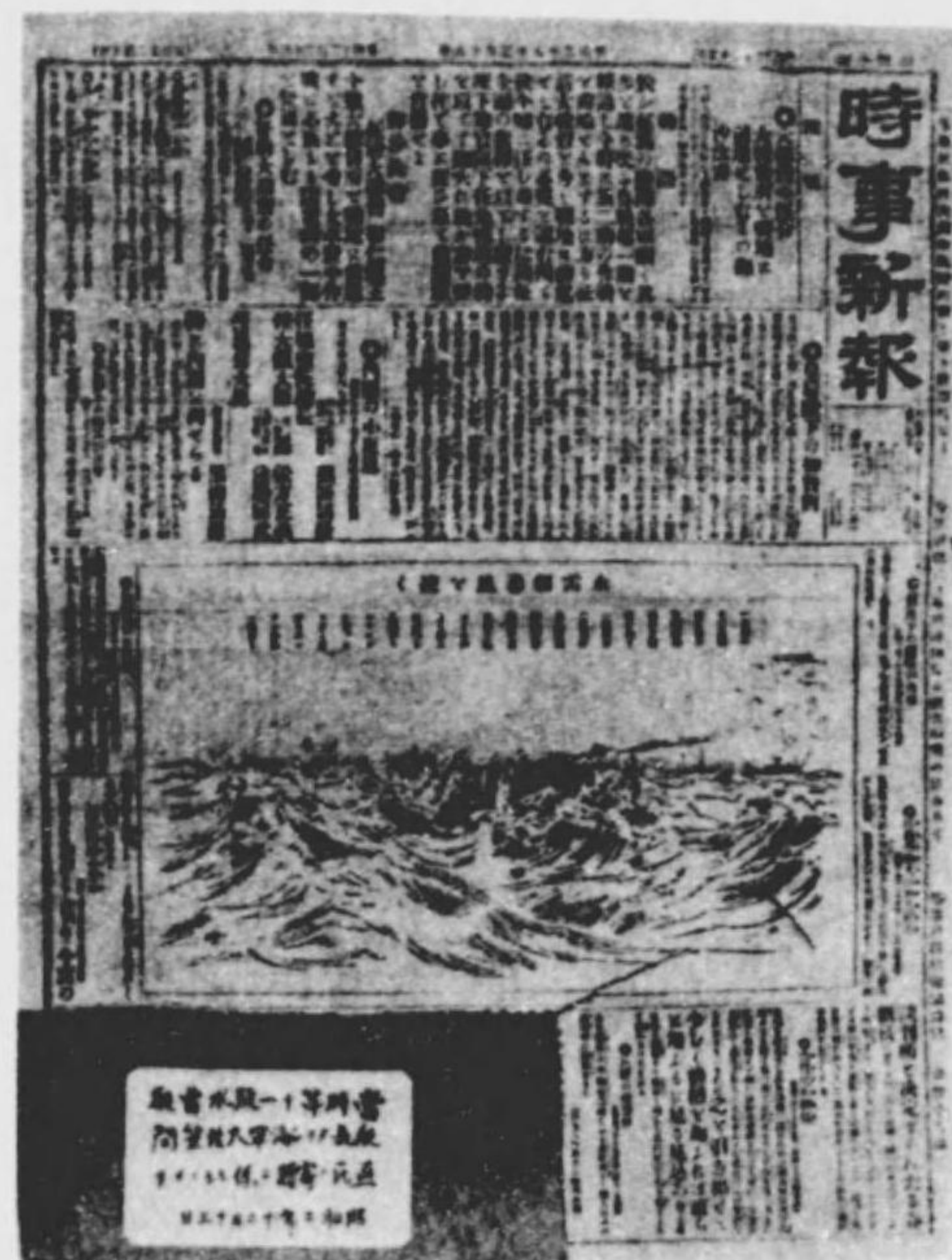
要港部司令官海軍大佐野村清氏ノ計畫ニヨリ明治二十八年八月建之 海軍大軍醫千葉吾一氏畫 此ノ碑ハ威海衛ニ殘存スル我軍占領後ノ唯一ノ記念物ナリ



(1)



(2)



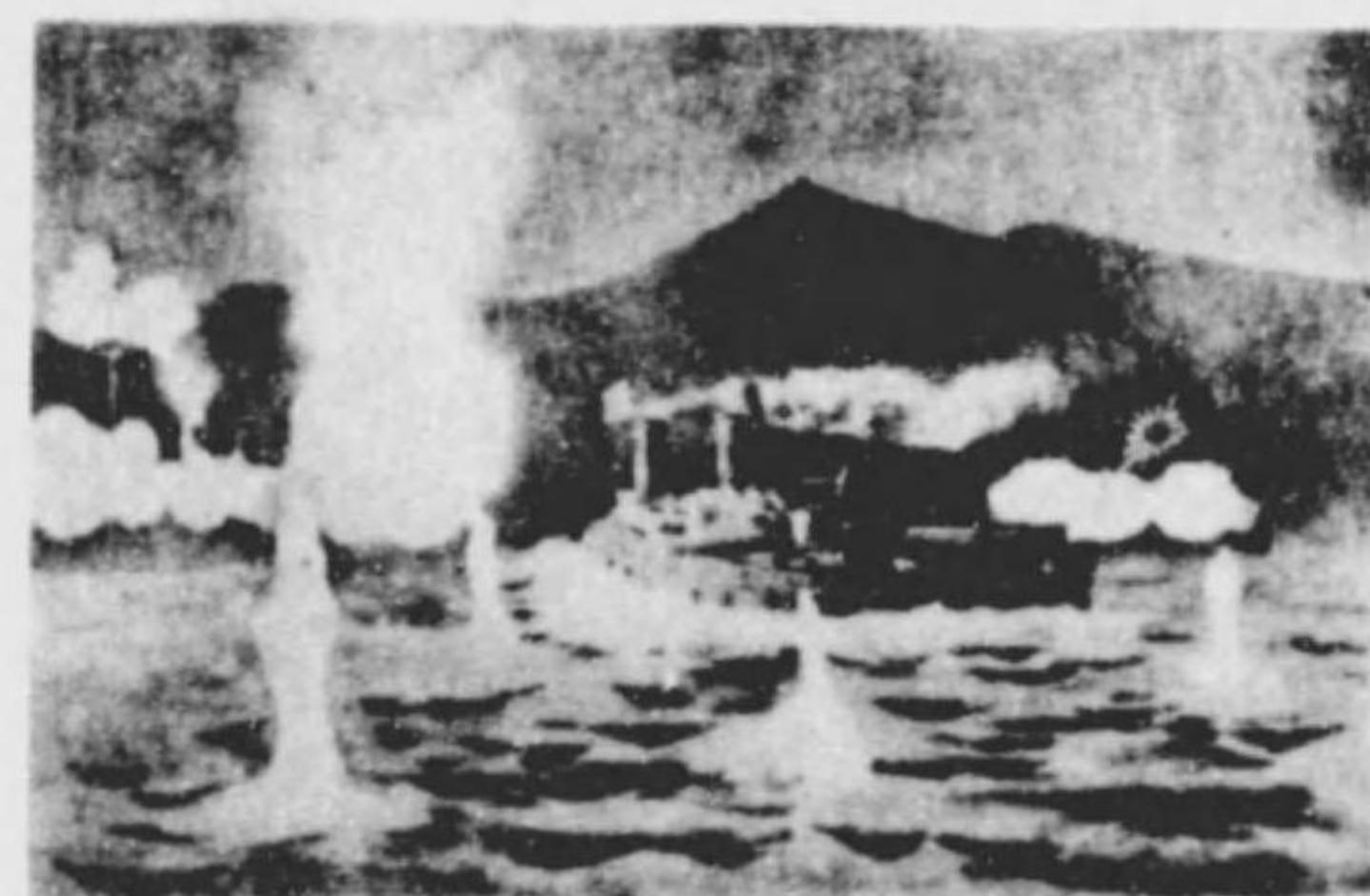
(3)



(4)



(6)



(5)

威海衛戰 (續)

(1) 威海衛水雷艇攻撃之圖

笠間直大佐寄贈
明治二十八年二月六日夜陰ニ乗ジテ嚴重ニ敷設セル防材ノ隙間ヨリ我水雷艇隊ガ威海衛港内ニ侵入シテ敵艦來遠
威遠其他ヲ雷撃シテ魚雷操縱攻撃法ヲ全世界ニ示シタリ 本圖ハ此時ノ狀況ヲ寫生セル水彩畫ナリ

(2) 當時ノ水雷艇寫眞 (帝國軍艦寫眞帖所載)

海軍省寄贈

(3) 當時ノ時事新聞

笠間直大佐寄贈
明治二十八年三月十九日發行ニカカルモノニシテ征清戰策第二期ニ進展セシヲ以テ此ノ機會ニ 小松宮彰仁親王
殿下ヲ征清大總督トシテ戰地ニ派遣セララル、件ニ就キテノ御勅諭ヲ掲記ス

(4) 威遠擊沈ノ魚形水雷破片

威海衛攻撃ノ際我第十一號水雷艇ヨリ敵艦威遠ヲ擊沈セシ魚形水雷ノ破片ナリ

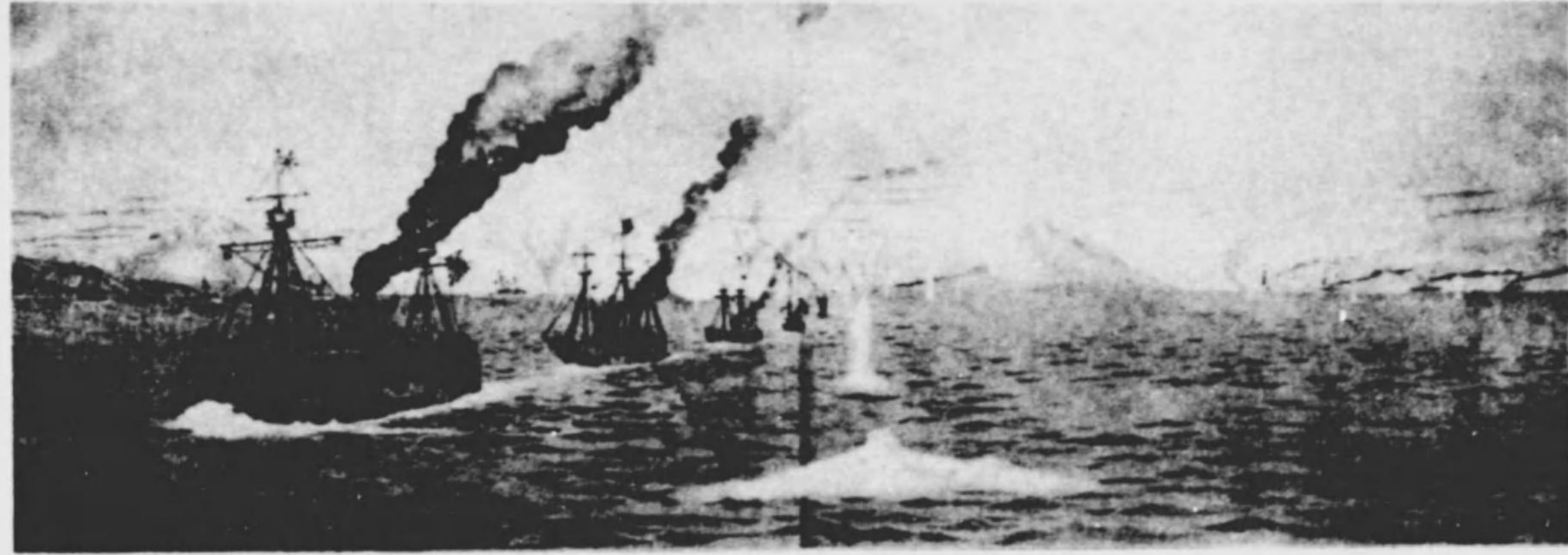
(5) 小鷹來遠ヲ沈ムノ圖 (海戰畫帖所載)

大島良之助中佐寄贈

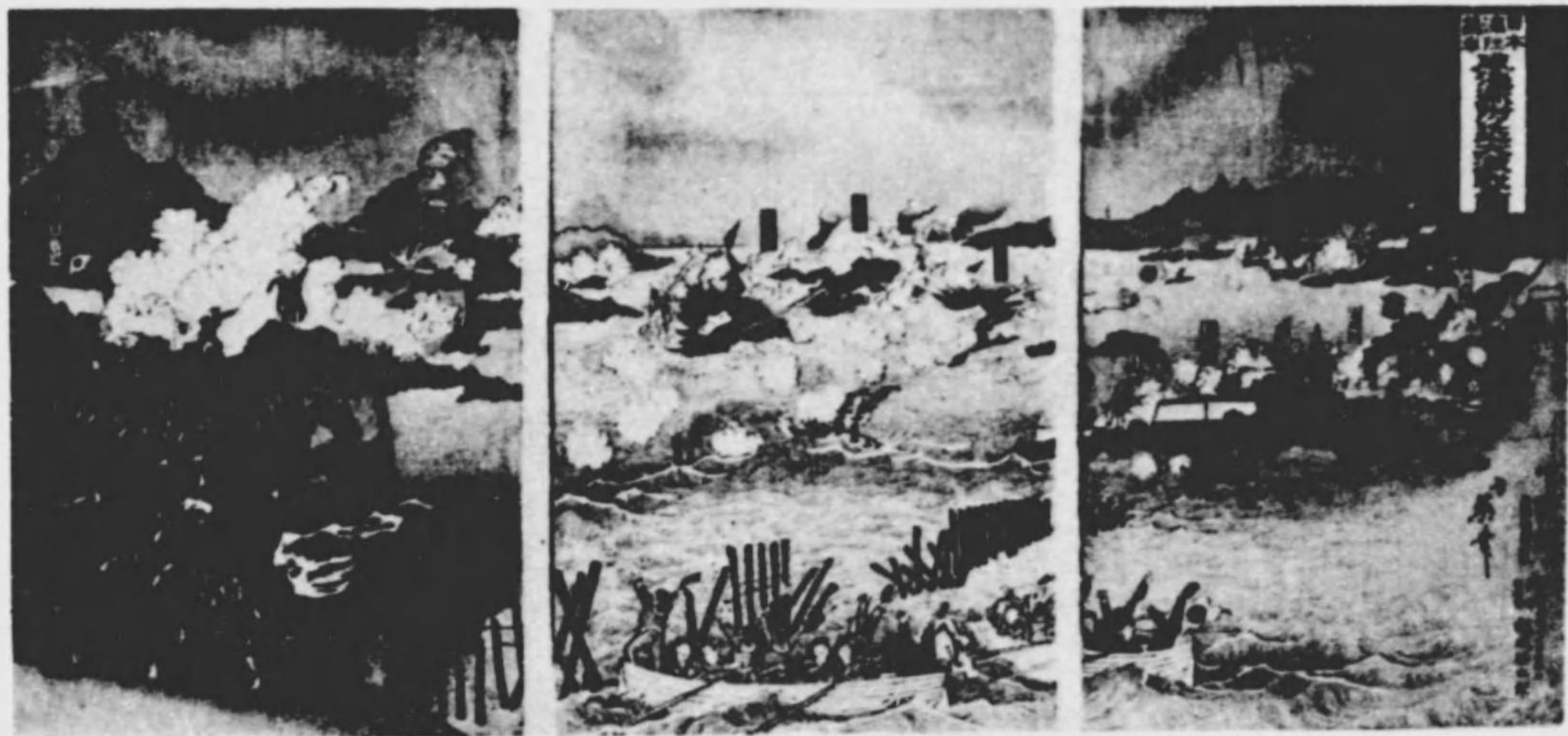
(6) 水雷艇水雷發射之圖 (海親版畫)

内藤清枝氏寄贈

(1)



(2)



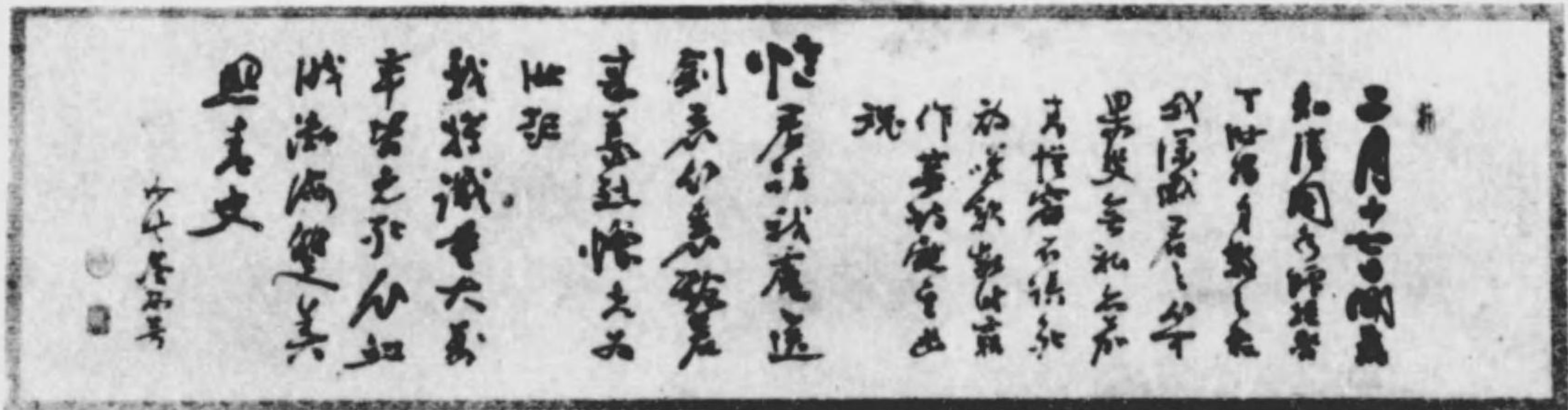
(3)



(4)



(5)



威海衛戰 (續)

(1) 威海衛港砲擊之圖 (海戰畫帖所載)

大島良之助中佐寄贈

(2) 威海衛附近大激戰之圖 (版畫)

內藤清枝氏寄贈

(3) 占領後ノ威海衛 (日清戰爭寫真帖所載)

軍令部 寄贈

(4) 伊東司令長官自筆後始末命令書

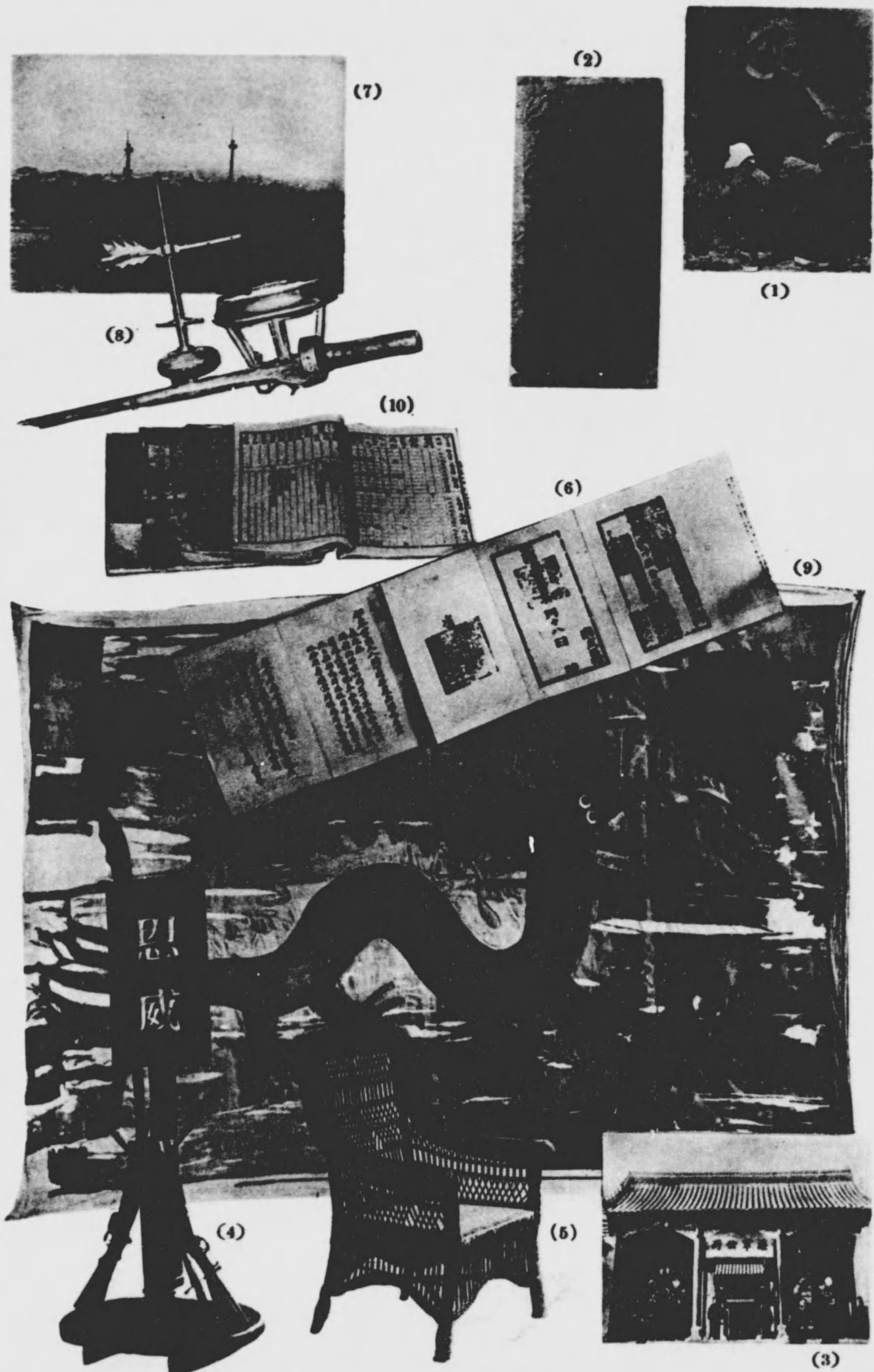
長澤直太郎中將寄贈

本命令書ハ威海衛陥落ノ際聯合艦隊司令長官伊東中將ガ爾後ノ處置ニ就キ自ラ執筆シテ參謀長出羽大佐ニ實施ヲ命ゼラレタル命令書ナリ

(5) 勝海舟書丁如昌悼詩

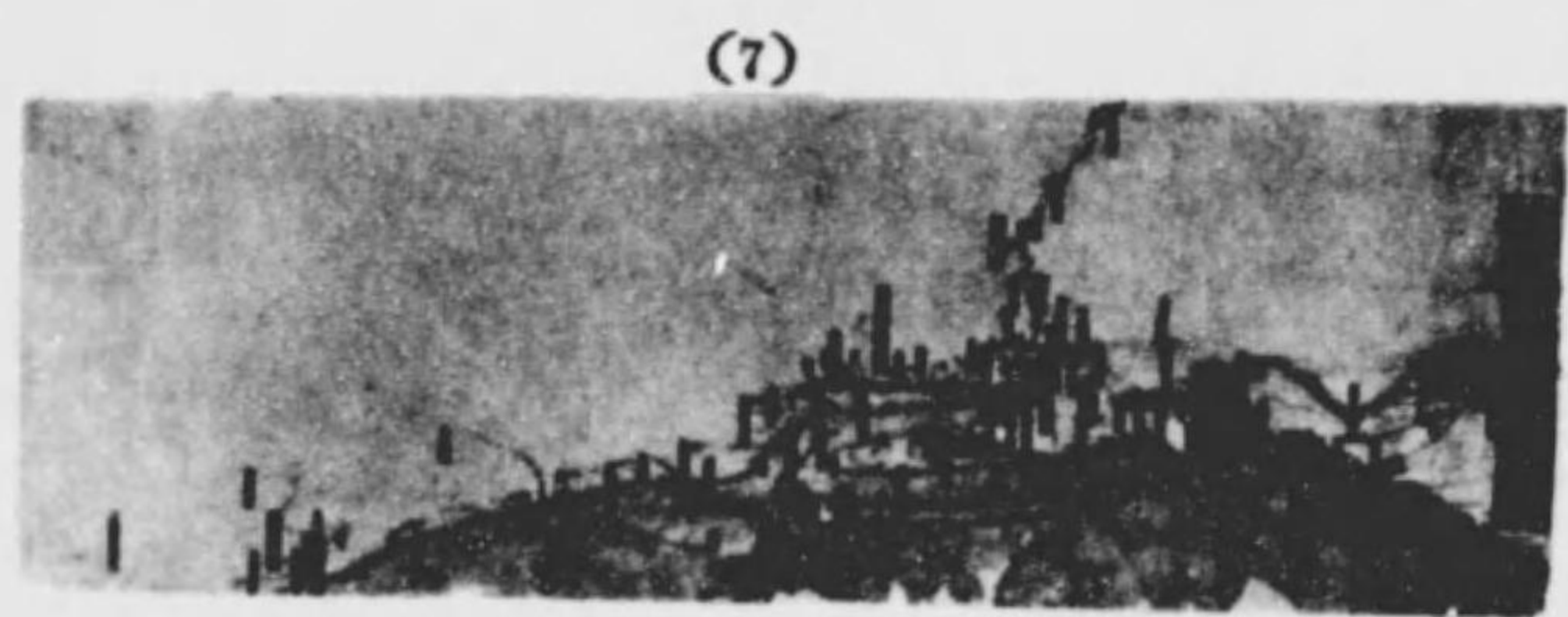
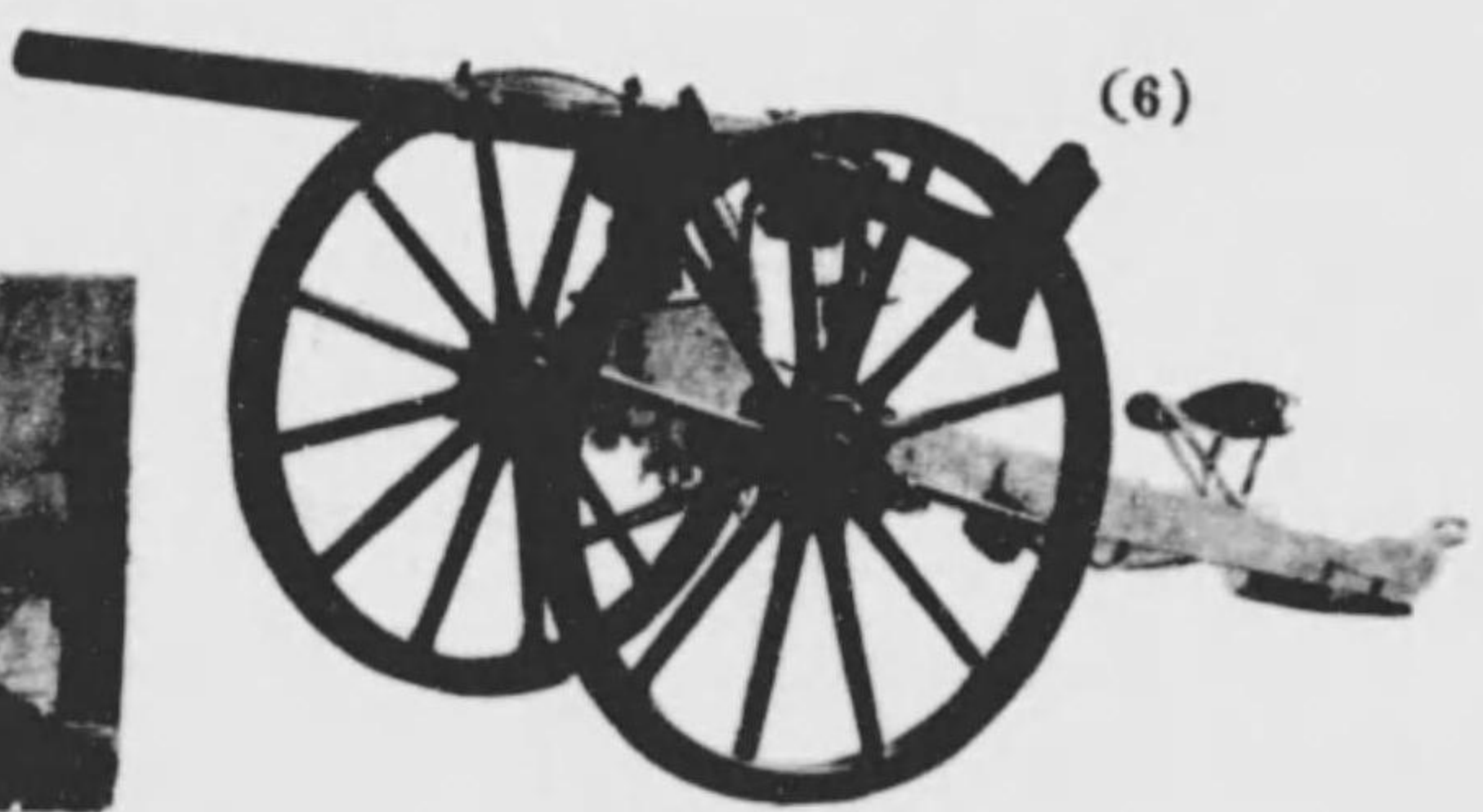
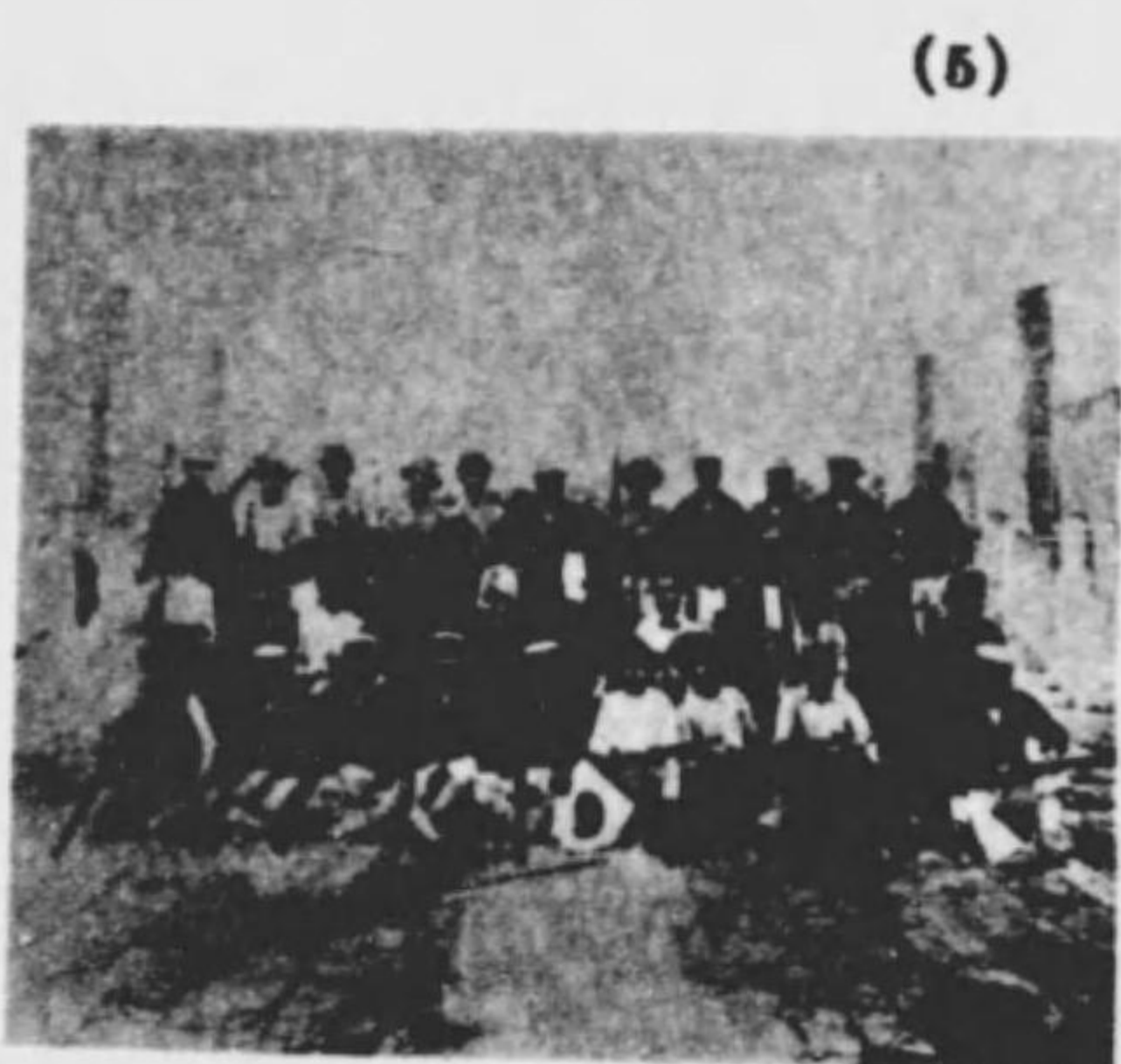
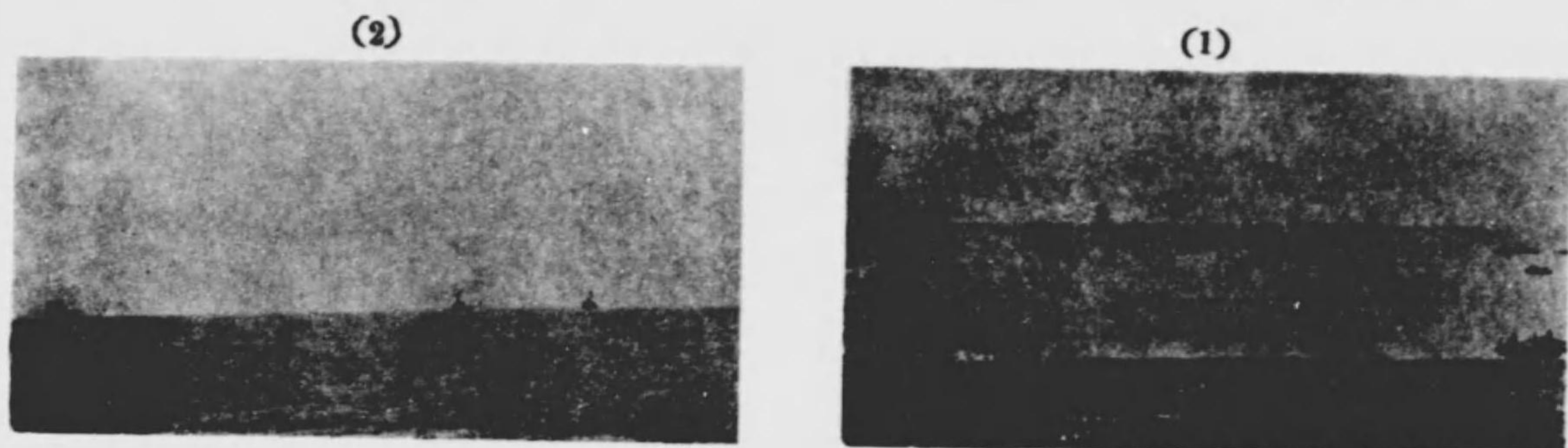
南郷次郎少將寄贈

此書ハ海舟ガ南郷少將ノ先考茂光氏ノ爲ニ揮毫セシモノナリ 明治二十八年海舟ハ清國北洋艦隊水師提督丁汝昌自叙ノ報ヲ聞キ詩ヲ賦シテ其英魂ヲ弔ス 文ニ曰ク「二月十七日聞應知清國水師提督丁如昌自殺之報我深感君之心中果決無私亦嘉其從容不誤死期嗟歎數時竊作蕪詩慰其幽魂 憶君訪我廬 送劍表心裏 致命甚義烈 懦者爲汝起 我將識量大 萬卒皆免死 心血騰渤海 雙美照青史」



威海衛戰 (丁汝昌關係品)

- (1) 清國北洋水師提督丁汝昌寫真 (日清交戰錄所載) 谷口尙眞大將寄贈
- (2) 丁汝昌名刺 中里重利中將寄贈
- (3) 海軍公所寫真 (日清戰役寫真帖所載) 有栖川宮家御下賜
- (4) 「恩威」掛臺 北洋水師提督丁汝昌官舎ニ於テ鹵獲シタル掛臺ハ定遠號艦材ヲ以テ作製セルモノニシテ時ノ扶桑艦長新井大佐ヨリ有栖川宮家ヘ献上シタルモノナリ
- (5) 丁汝昌使用籐椅子 寺垣猪三中將寄贈
丁汝昌常ニ之ヲ使用シ自害ノ日ハ之レニ倚リテ毒ヲ仰ギタリトイフ 威海衛占領後其ノ居室ヨリ鹵獲ス
- (6) 丁汝昌降伏書 (丁汝昌遺墨) 明治二十八年二月威海衛陥落ノ直前、内ニハ清國將兵悉ク戰意ヲ失ヒ内訌ヲ起シテ丁長官ニ投降ヲ強要スルアリ外ニハ我伊東長官ガ親友トシテ丁長官ニ降ヲ勸ムル親情過レル
- (7) 擊沈セラレタル定遠寫真 (日清戰爭寫真帖所載) 軍令部寄贈
モノアリテ遂ニ砲臺、軍艦、工廠ヲ悉ク獻納スルニ就キ將兵ノ生命ヲ救助セラレタキ意味ノ降伏書ヲ呈出セリ 之ハ其降伏書ヲ撮影セルモノナリ
- (8) 定遠備付ノ天井「ランブ」風見及小銃 小野こま氏寄贈
- (9) 定遠ノ黃龍旗 山脇正雄氏寄贈
明治二十八年伊東聯合艦隊司令長官ヨリ當時長崎三菱造船所長タリシ山脇氏ニ贈ラレタルモノ
- (10) 北洋海軍定遠兵船管駕日誌 田中朝海氏寄贈
同 定遠兵船管輪日誌 中里重利中將寄贈
同 濟遠兵船管駕日誌 同
同 鎮遠兵船管駕日誌 同



臺灣攻略並ニ北清事變

威海衛我軍ニ歸シ敵ノ北洋艦隊既ニ全滅セルヲ以テ我軍南征ノ途ニ上リ澎湖島ノ攻撃ヲ行ヒタリ

(1) 澎湖島最初ノ戦、裏正角占領寫眞

谷口尙眞大將寄贈

明治二十八年三月二十三日午前九時十五分伊東司令長官松島以下ノ聯合艦隊並ニ志島混成隊ヲ率キ裏正角ヲ砲撃占領ス 遠ク見ユルハ三景艦ナリ

(2) 大城山ニ向ケ攻撃ノ寫眞 (日清戦役寫眞帖所載)

明治二十八年三月二十三日松島、橋立、嚴島之ヲ攻撃ス

(3) 日清戦争當時ノ英國雜誌「グラフィック」

伍堂草雄造兵中將寄贈

(4) 日清戦争戦利品

有栖川宮家御下賜

(5) 北清事變ニ於ケル北京籠城員記念寫眞

海軍省副官寄託

明治三十三年八月十五日舊公使館裏側ノ破壊シ盡サレタル一空ニ於テ聯合軍北京入城ノ日之レヲ寫ス 向ツテ右上ニ頭部ヲ纏帶セル者アルハ砲聲轟々タル夜日章旗ヲ掲グルタメ公使館裏手ノ樹木ニ攀チ上リツ、アルトキ敵彈ニ傷キシモノナリ 海軍陸戰隊員以外ノ洋服委ハ義勇兵ニシテ陸戰隊ト共ニ籠城奮闘セリ 前方ヨリ二列右ヨリ六番目西公使其ノ左横柴中佐、九番目原大尉

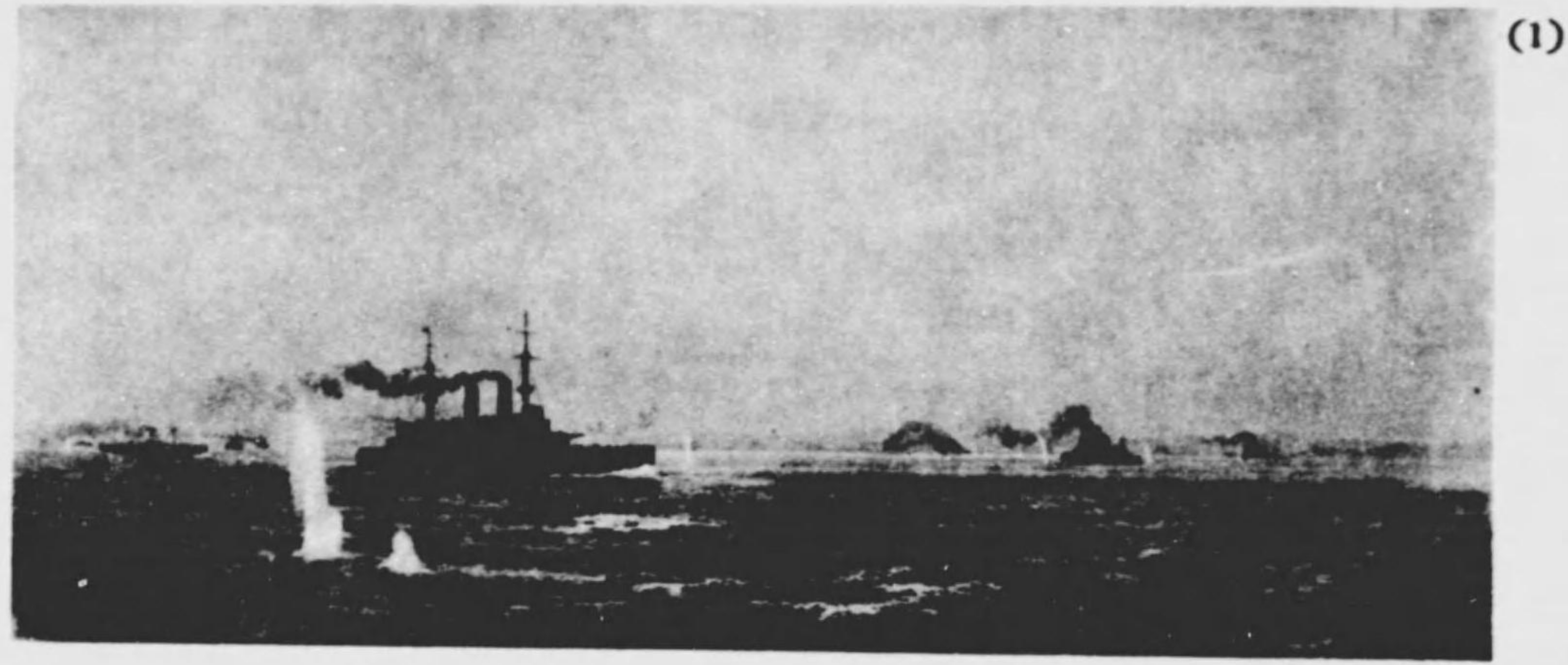
(6) 北清事變戦利品野砲

水交社寄贈

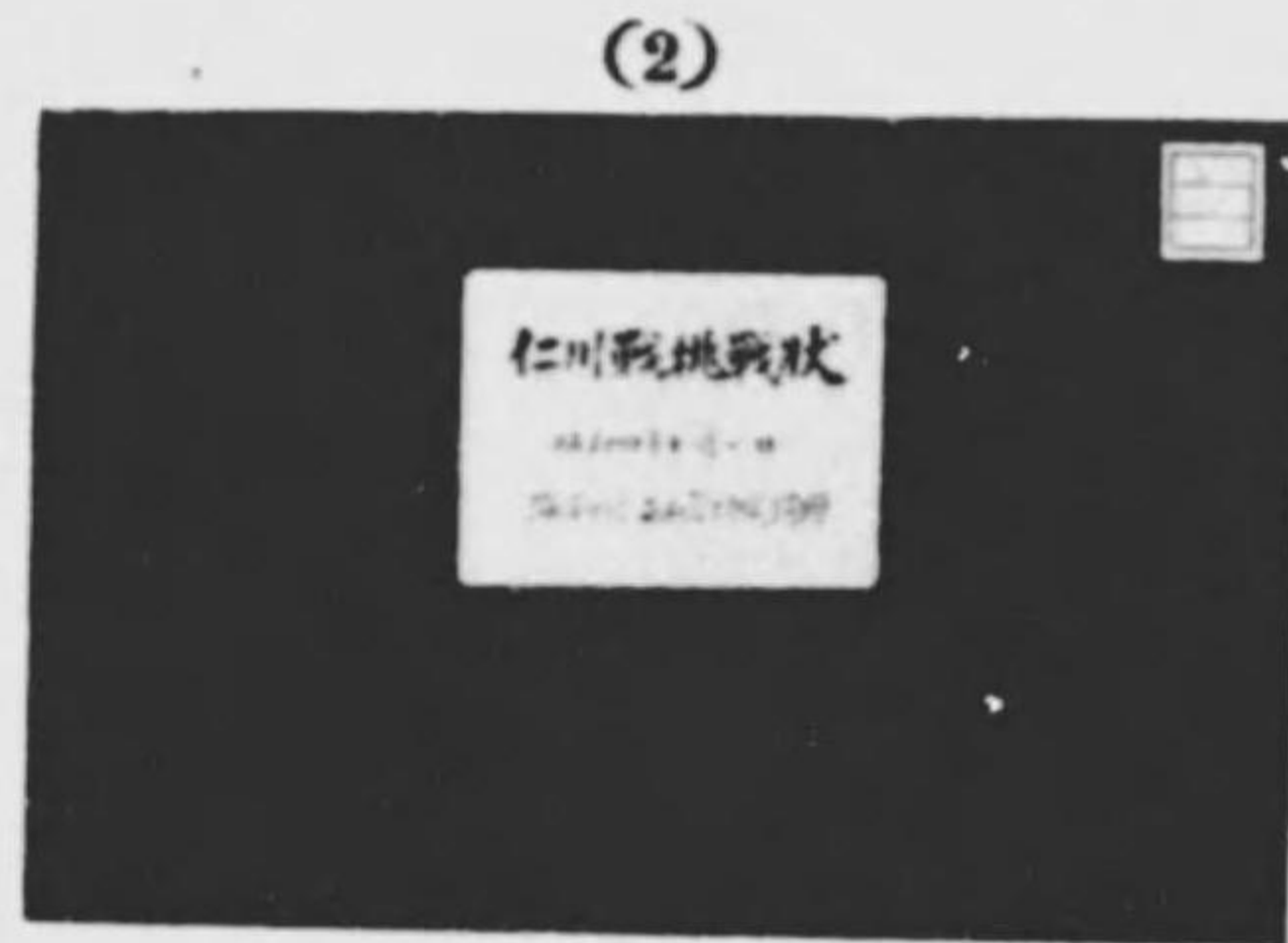
(7) 太沽北塘祁口沿海形勢圖說

谷口尙眞大將寄贈

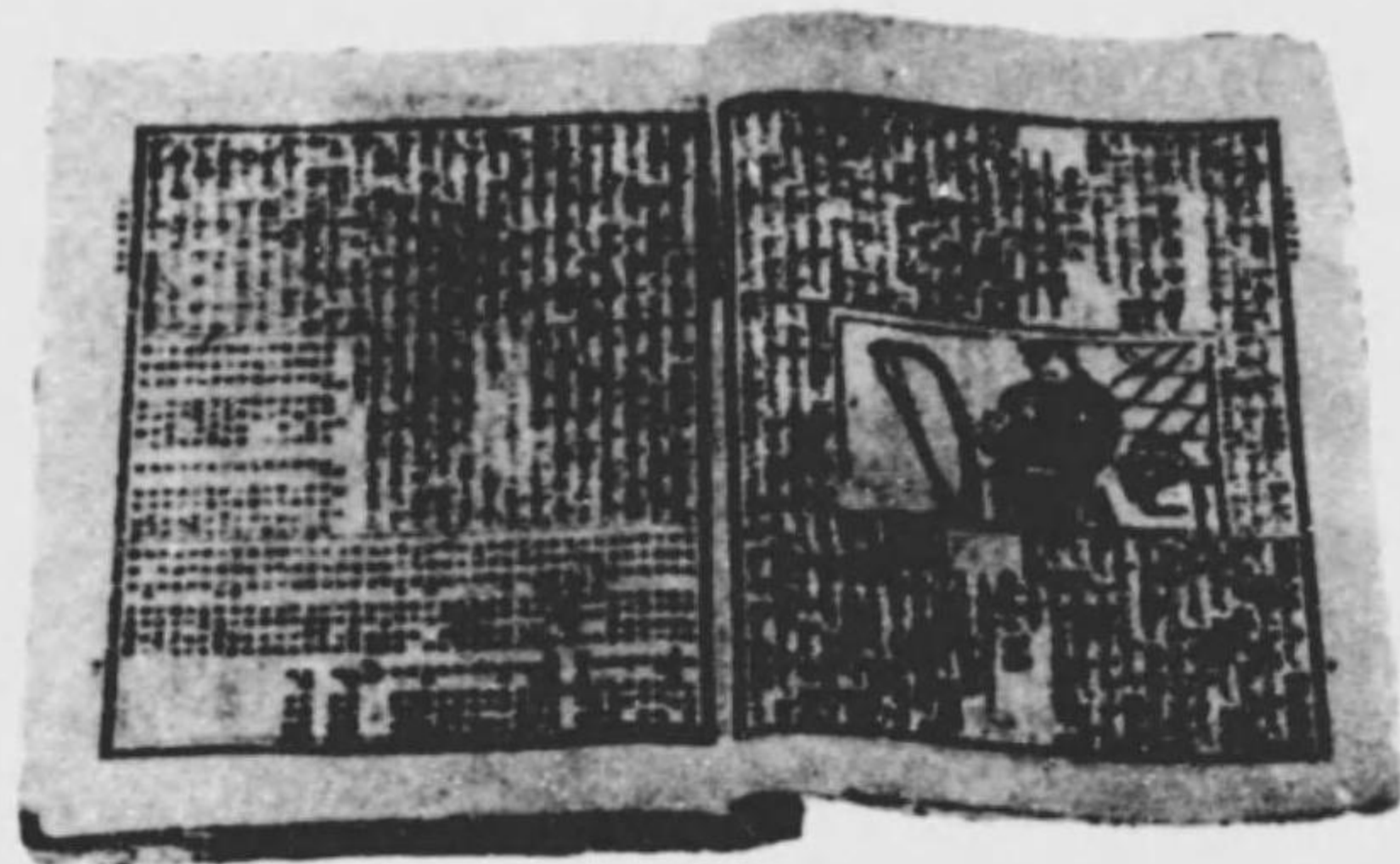
明治三十三年七月十四日我海軍陸戰隊ガ英・米陸戰隊ト共ニ天津占領ノ際天津城内機器局ニテ鹵獲シタルモノナリ



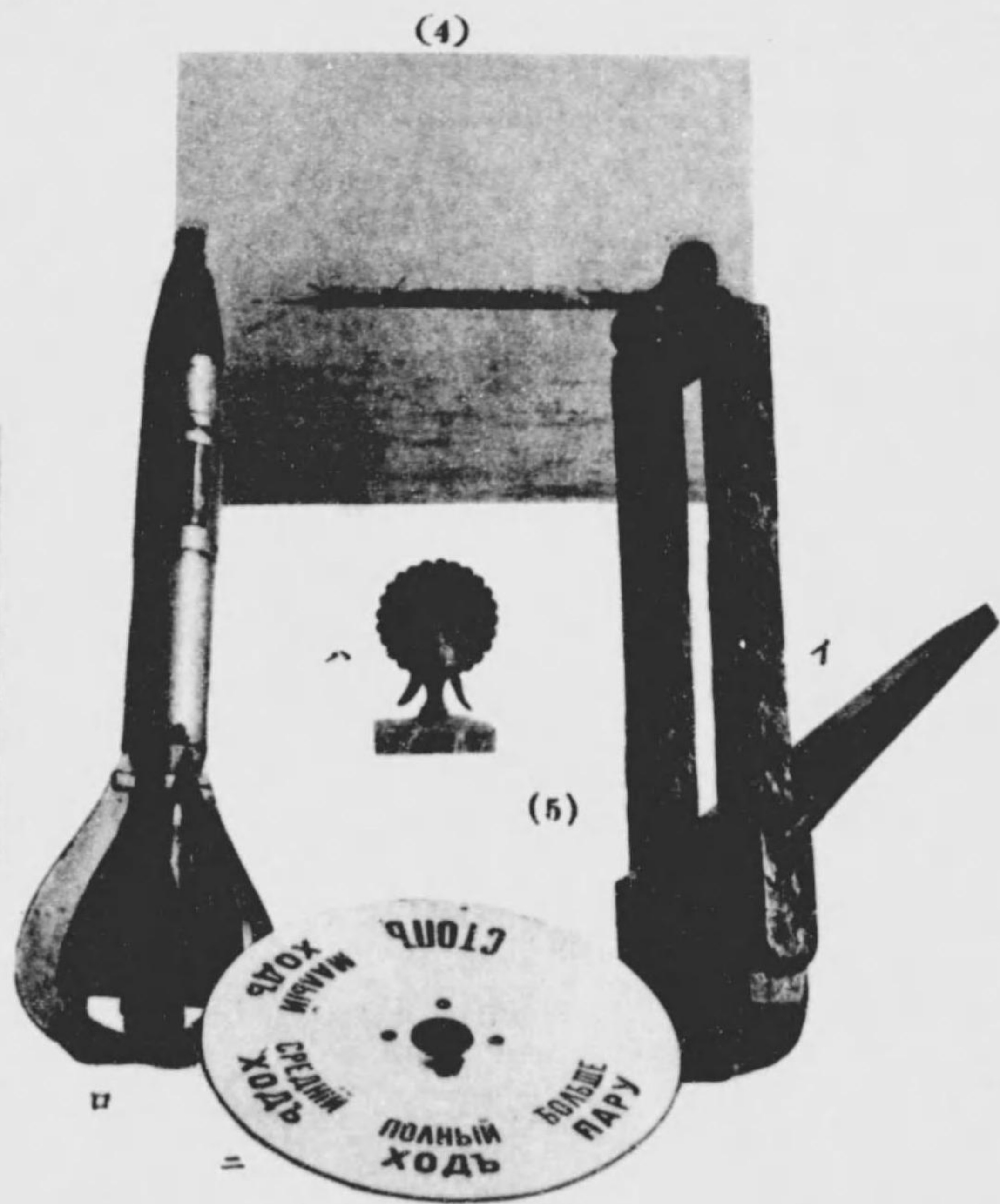
(1)



(2)

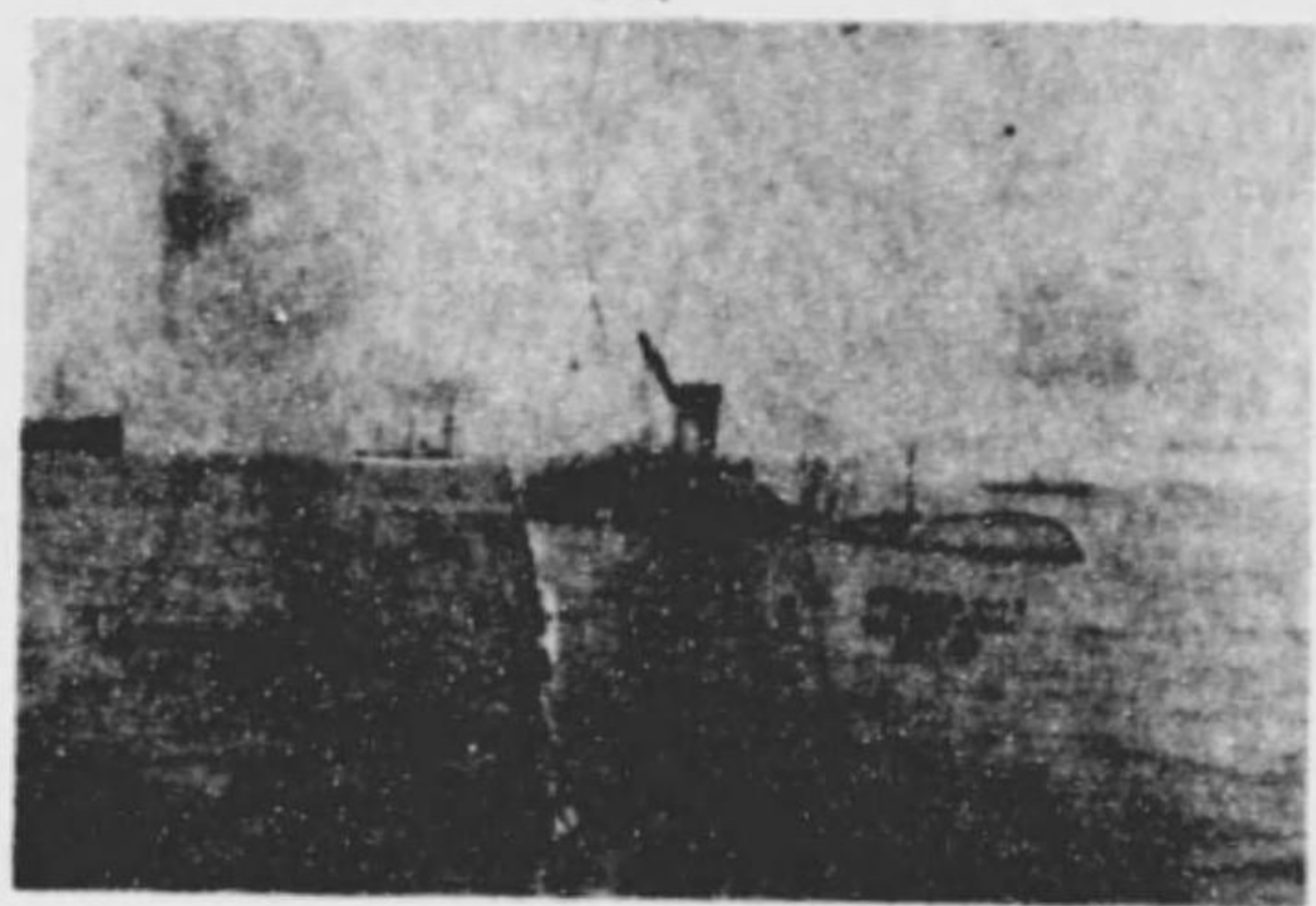


(3)



(4)

(5)



(6)

仁川沖海戦

二月八日午後四時四十分仁川港外ニ於テ露艦「コレーツ」我艦隊ニ向ケ發砲セリ 之レ實ニ日露戰爭ノ第一砲火ニシテ折柄第四戰隊(浪速、明石、高千穂、新高)ハ我陸軍ヲ仁川ニ援護揚陸スベキ任務ヲ以テ來着シ直チニ敵前ニ之ヲ決行スルト共ニ露艦ニ對シ出戰ヲ強要セリ 當時仁川港内ニ碇泊セル露艦ハ裝甲巡洋艦「ワリヤーク」及砲艦「コレーツ」ノ二隻ナリシガ我要求ヲ受諾スルト共ニ翌九日ヲ期シ仁川港外ニ戰鬪ヲ開始セリ 此戰ニ於テ「ワリヤーク」ハ覆没シ「コレーツ」ハ港内ニ遁入シタル後自ラ爆沈自滅セリ

(1) 仁川沖海戦寫眞 (原寫眞 古島松之助氏藏)

(2) 仁川役各國艦長抗議書原文

(3) 八代艦長敵前ニ尺八ヲ吹ク (二六新聞所載)

(4) 「ワリヤーク」沈没寫眞

(5) 「ワリヤーク」記念品

(イ) 錨 (ロ) 「パテントログ」

(ニ) 速力通信器指示盤

(ハ) 艦長室ノ置物

(6) 「コレーツ」沈没寫眞

森山慶三郎中將寄贈

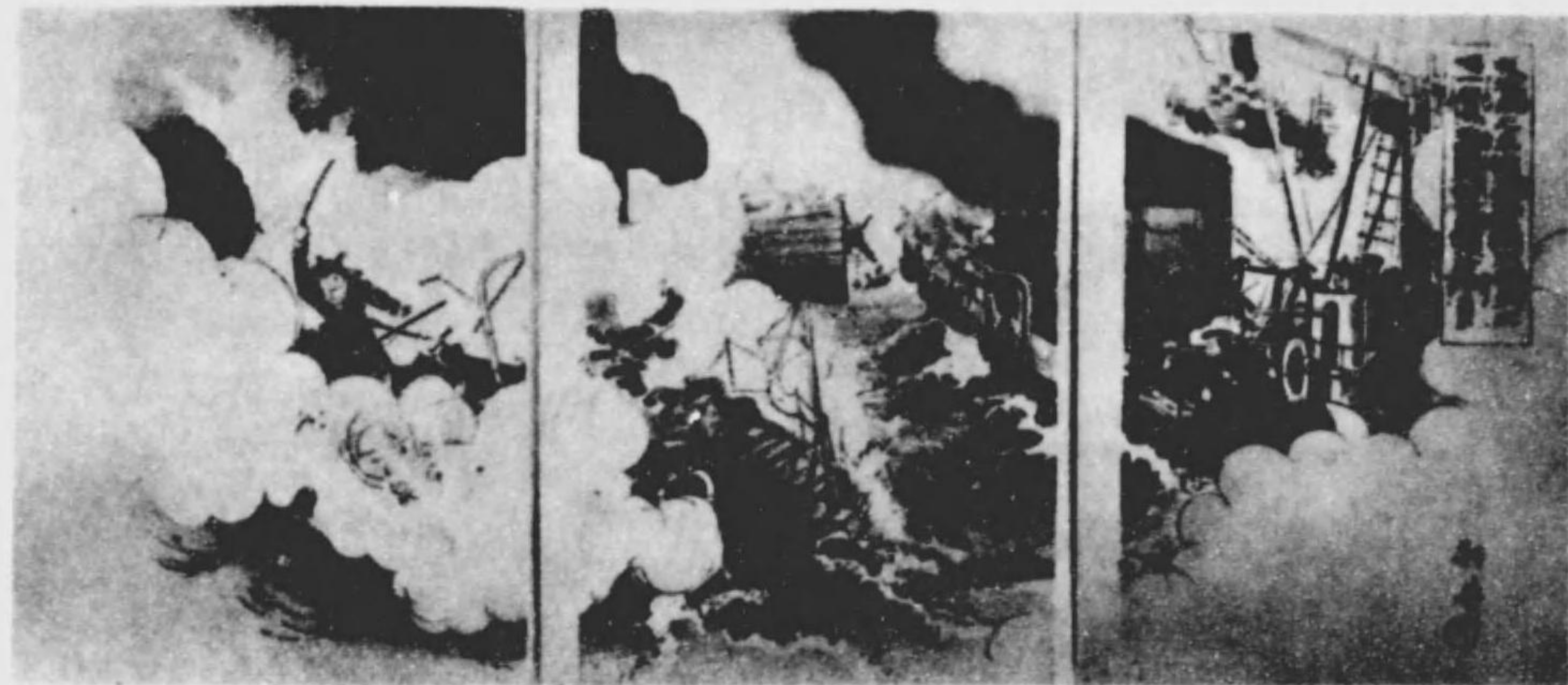
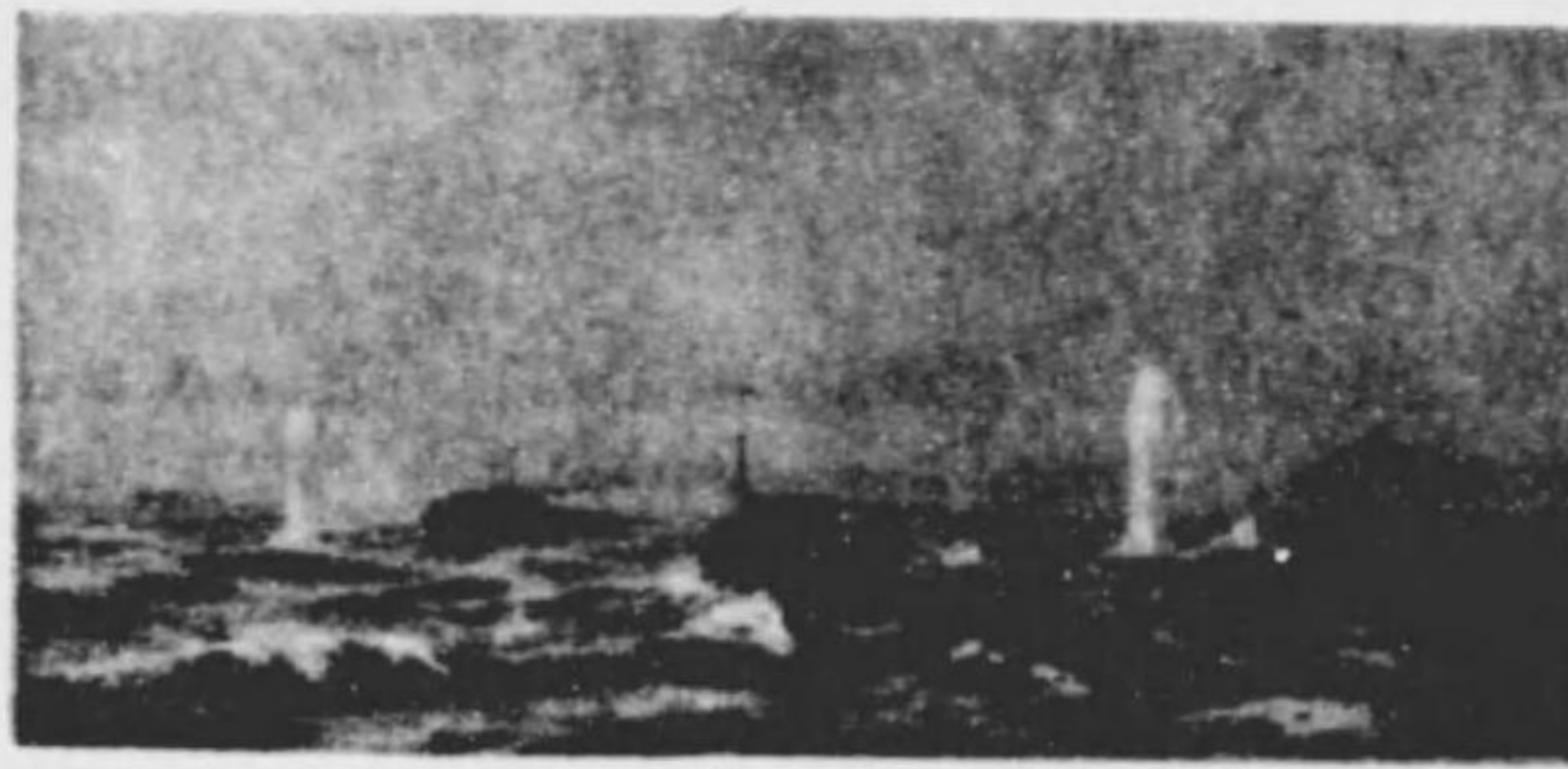
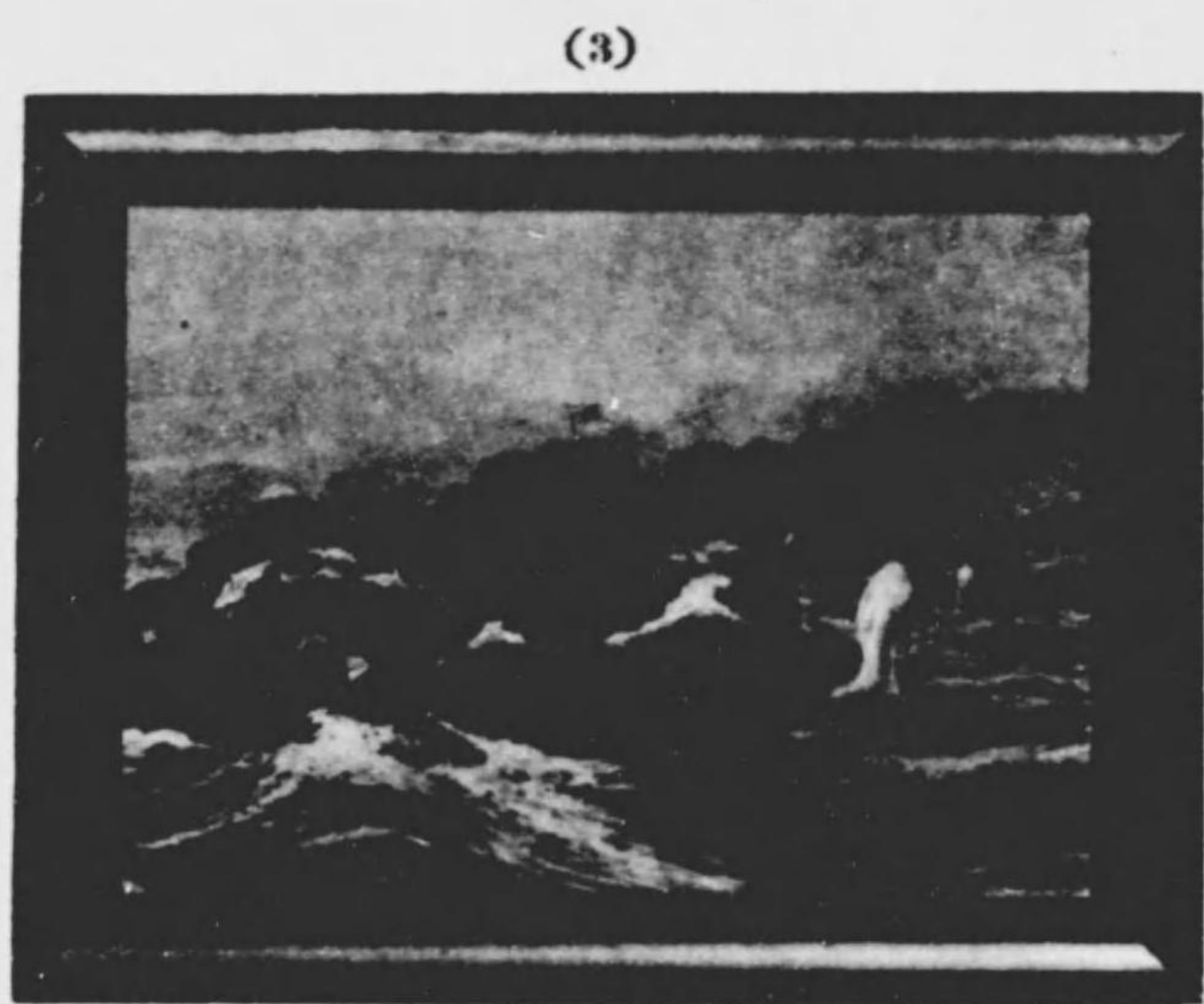
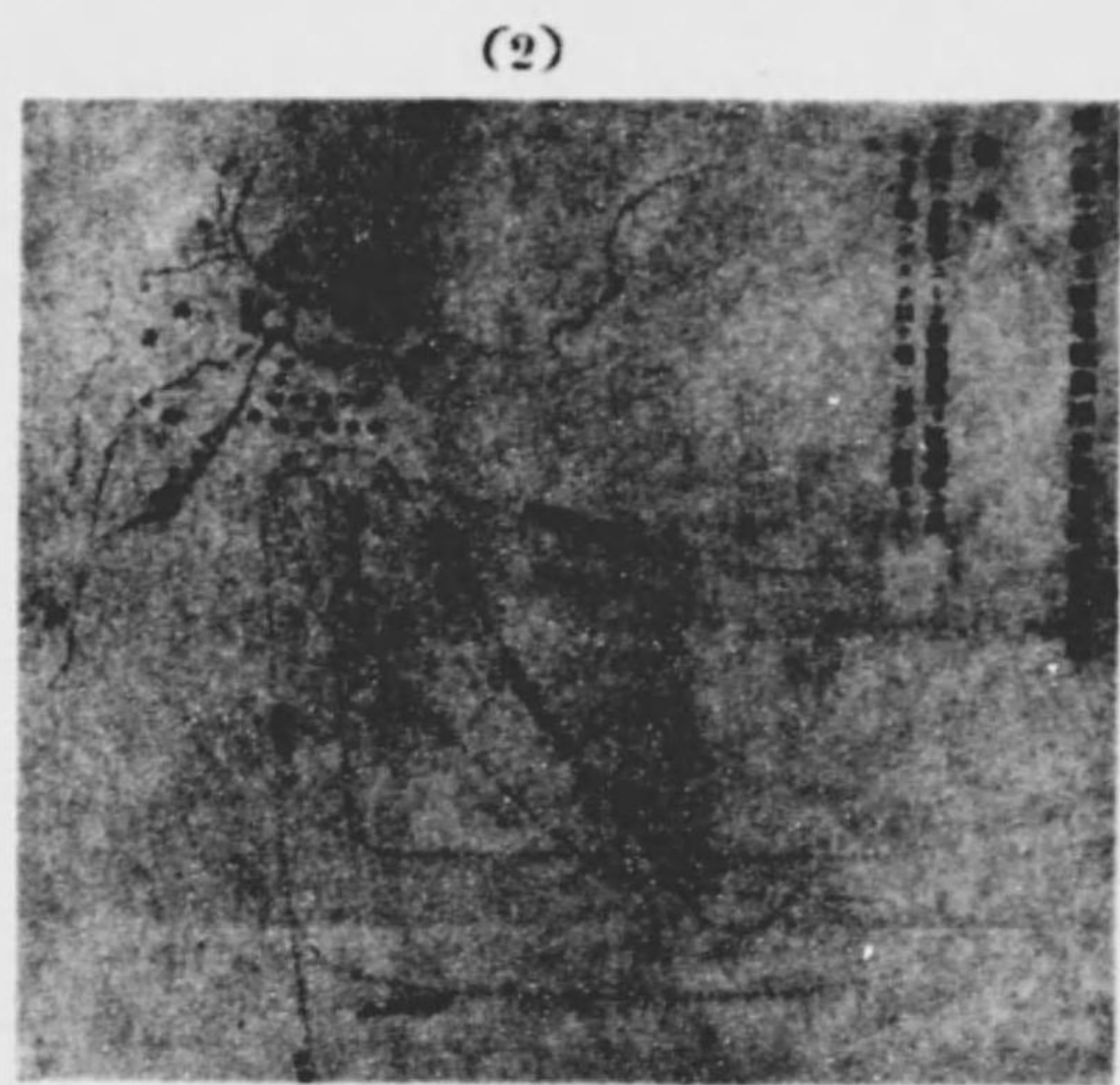
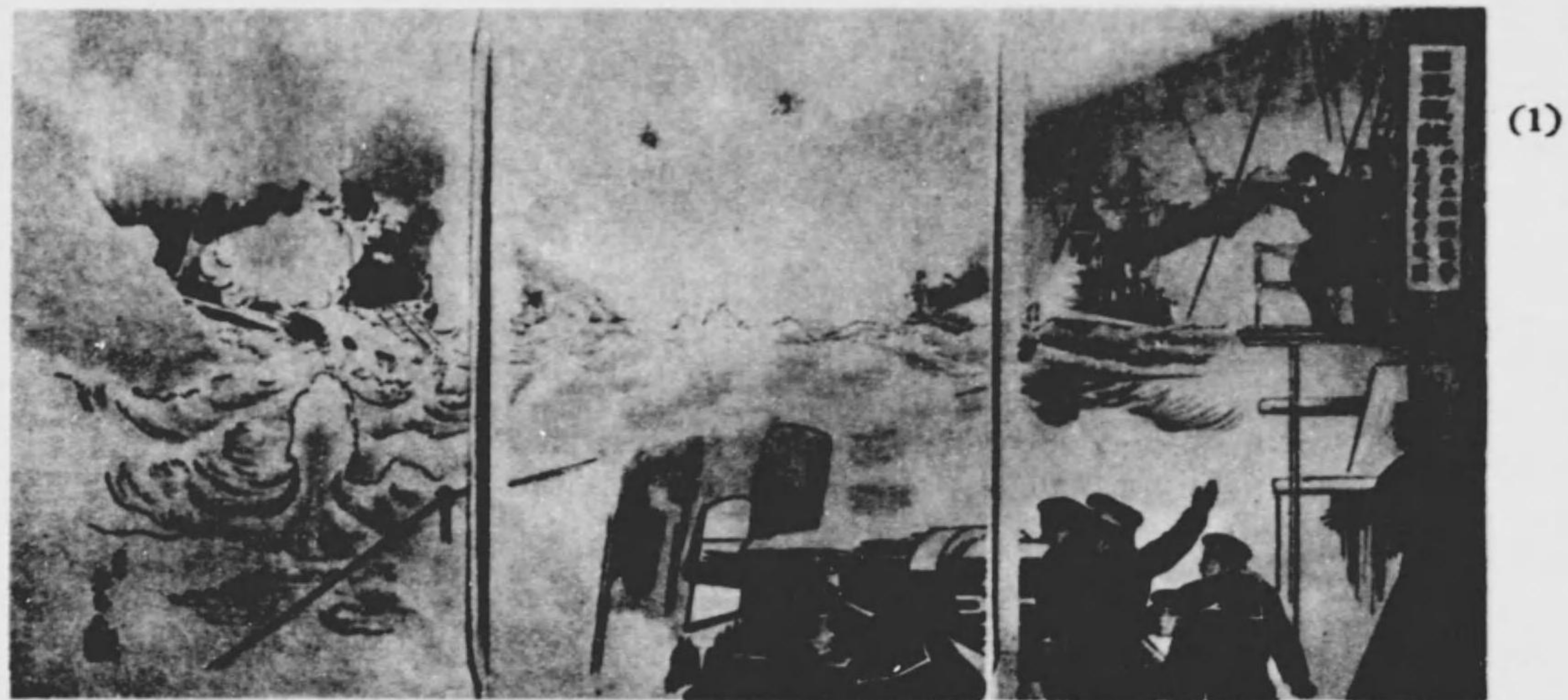
間宮五兵衛氏寄贈

太田盛實大佐寄贈

太田盛實大佐寄贈

松澤敬讓機關大佐寄贈

本田存氏寄贈



旅順港外戦

(1) 速島、朝霧勇戦圖 (静齋版畫)

(2) 我行動概略圖

(3) 第三驅逐隊ノ奮戦圖 (油畫)

三月十日土屋中將ノ率キル第三驅逐隊及曙ハ旅順港外ニ於テ敵驅逐隊ト舷々相摩スルノ接戦ヲ演ジ其殿艦「ストレーグー」ヲ包圍シ之ニ大損害ヲ與ヘ終ニ之ヲ撃沈セリ 本圖筆者塚本大佐ハ驅逐艦「連」ニ乗組中尉トシテ該戰圖ニ參加シタル人、特ニ參考館ノ爲ニ本圖ヲ描キテ寄贈セラリ

塚本克熊大佐畫並ニ寄贈

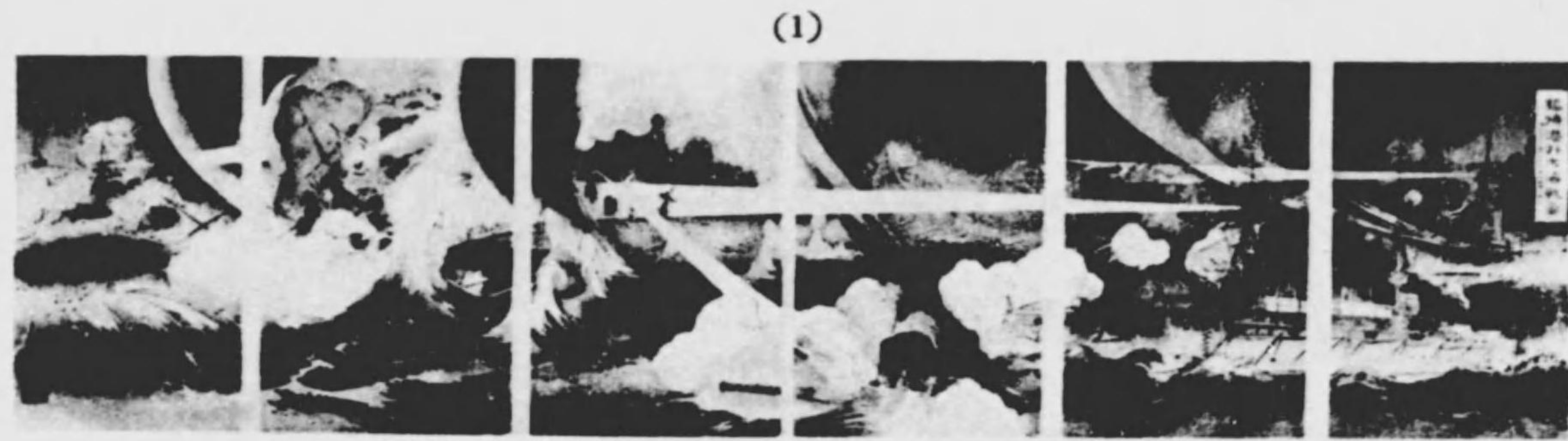
(4) 旅順港外ノ戰鬪寫眞

谷口尙眞大將寄贈

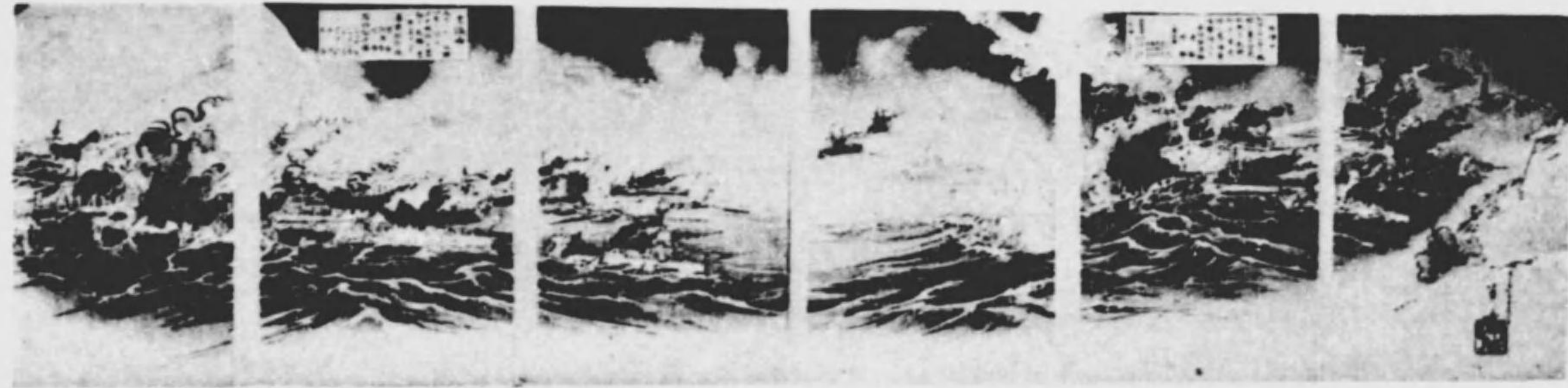
三月十日土屋司令ノ率キル薄雲、東雲、漣、曙ガ旅順港外ニ於テ露國驅逐艦「レシューテリマイ」及「ストレーグー」ノ航行スルニ遇ヒ直チニ之ヲ攻撃セシニ敵敗走シ「レシューテリマイ」ハ辛ジテ港内ニ遁レシモ「ストレーグー」ハ大破シテ遂ニ進退ノ自由ヲ失フニ至レリ

(5) 三月十日旅順海戦版畫

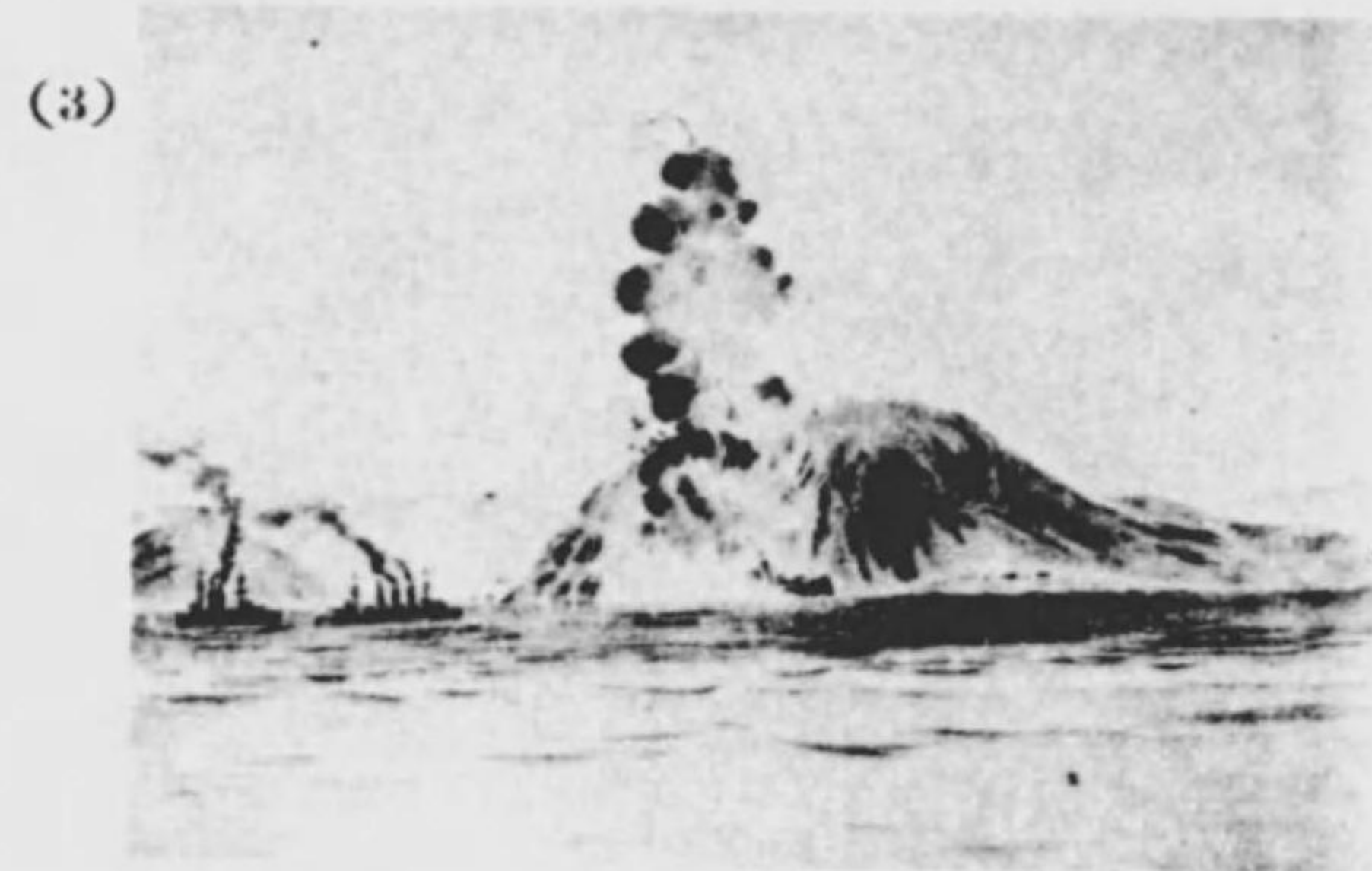
内藤清枝氏寄贈



(1)



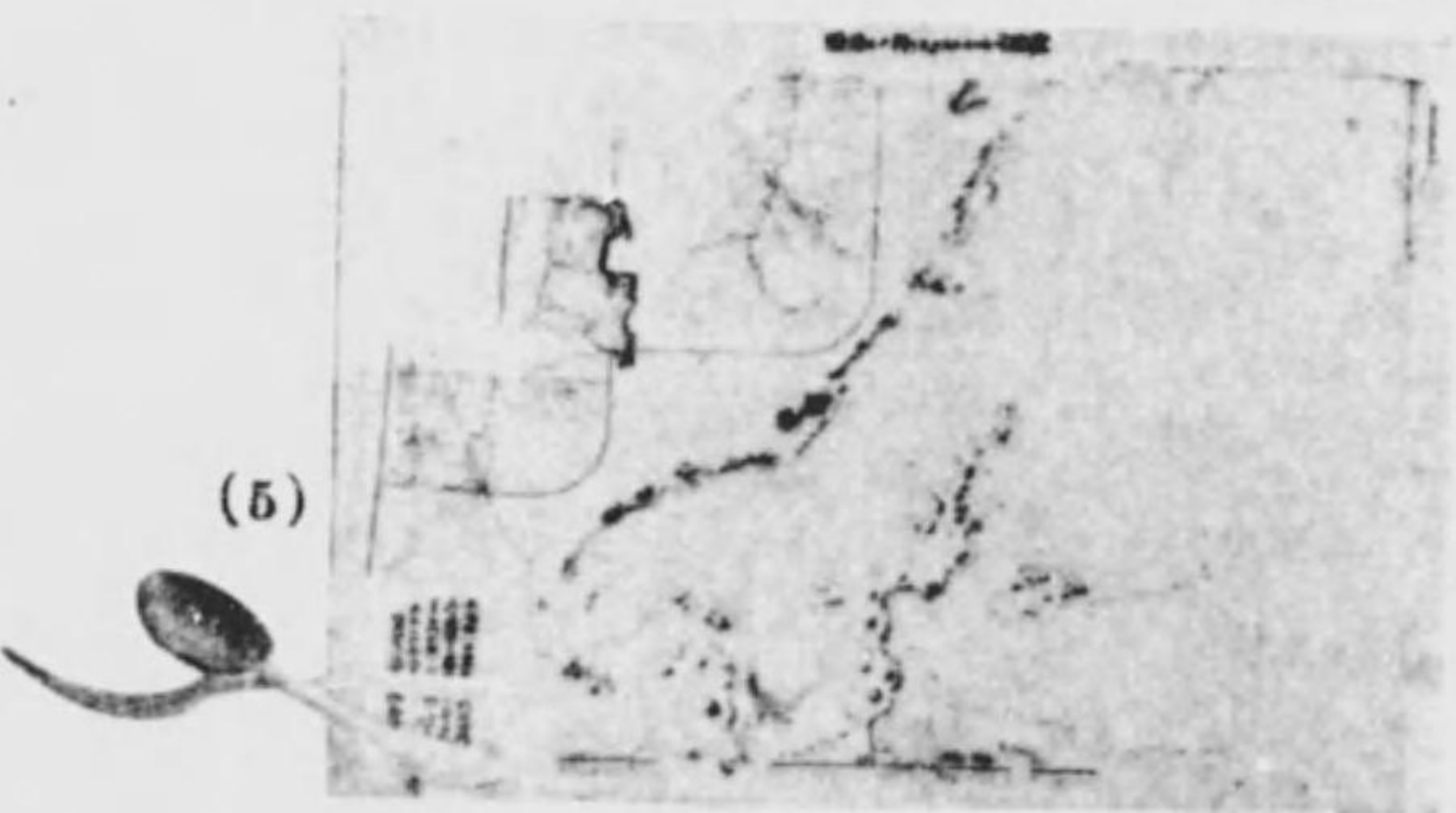
(2)



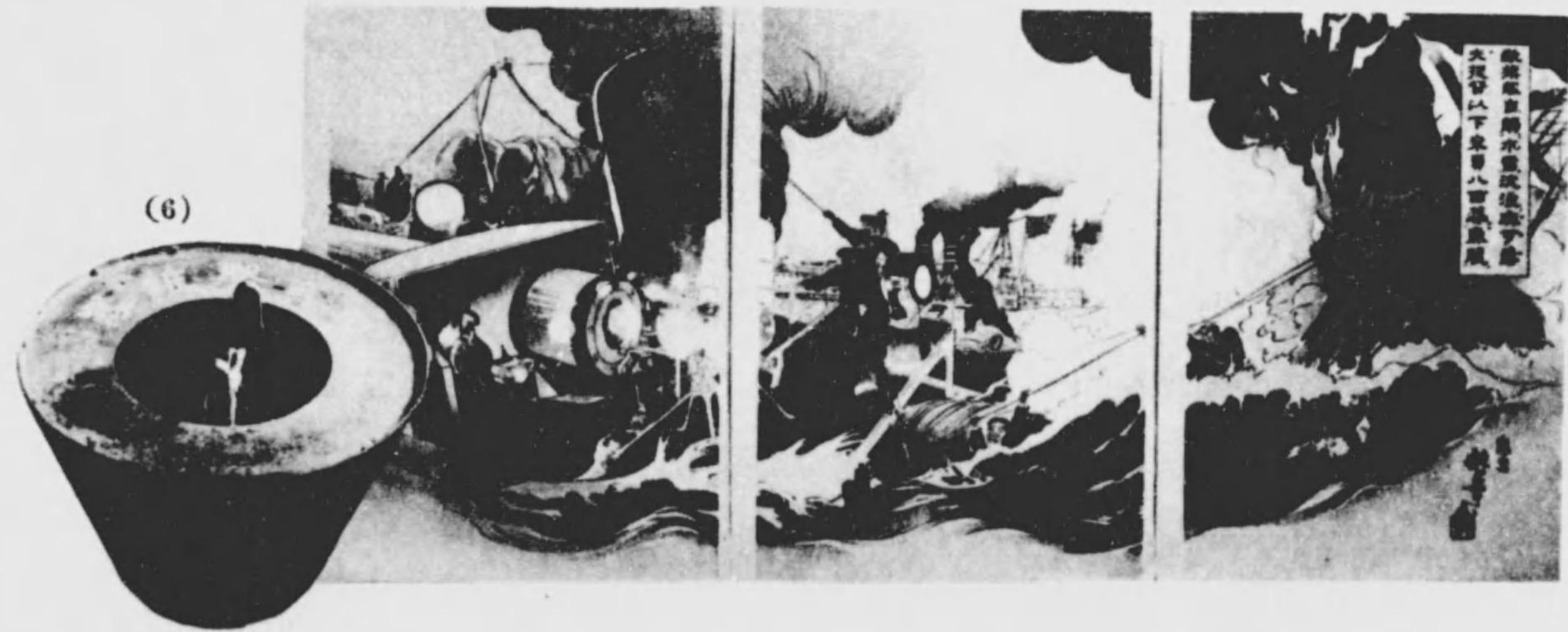
(3)



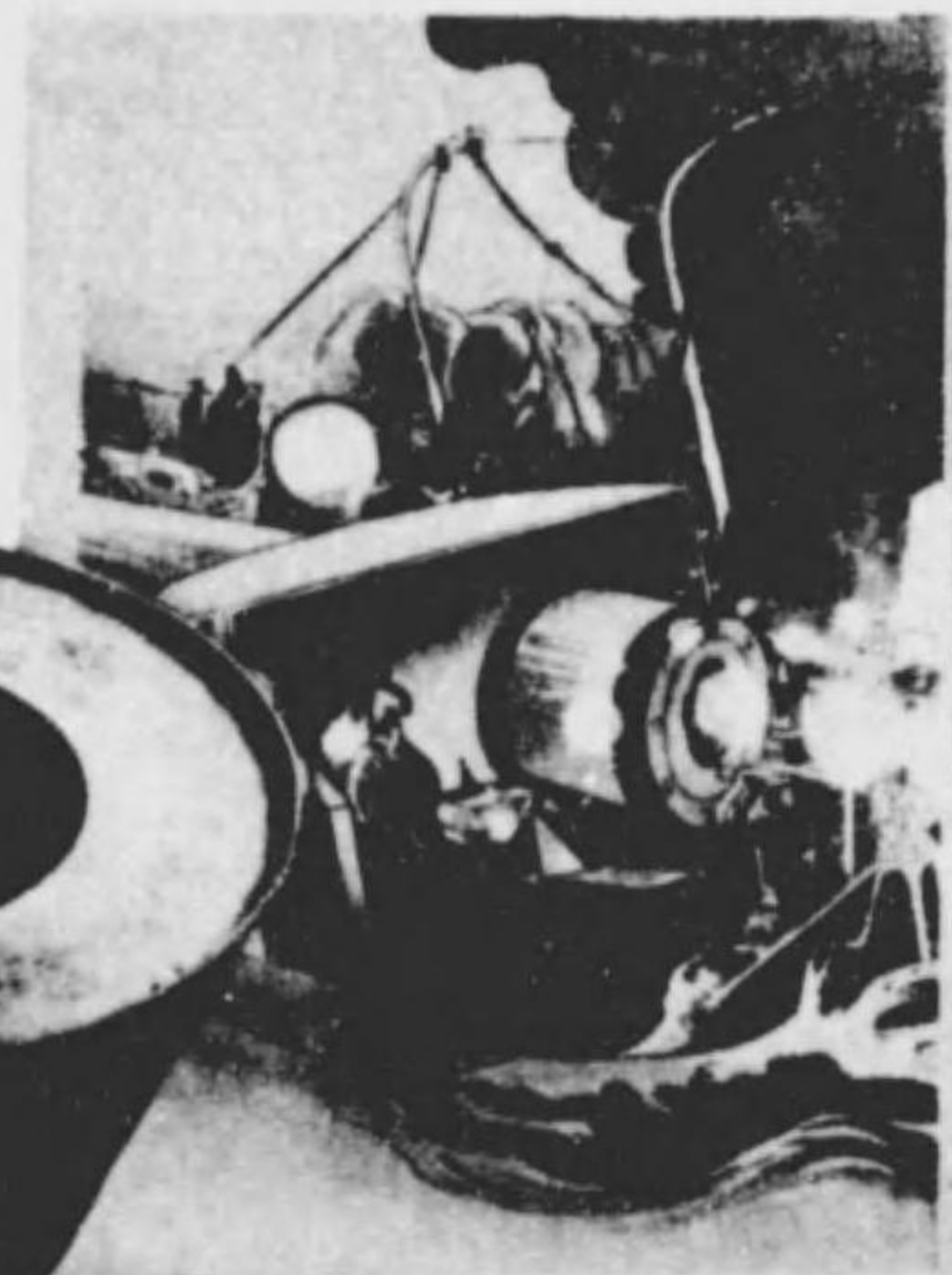
(4)



(5)



(6)



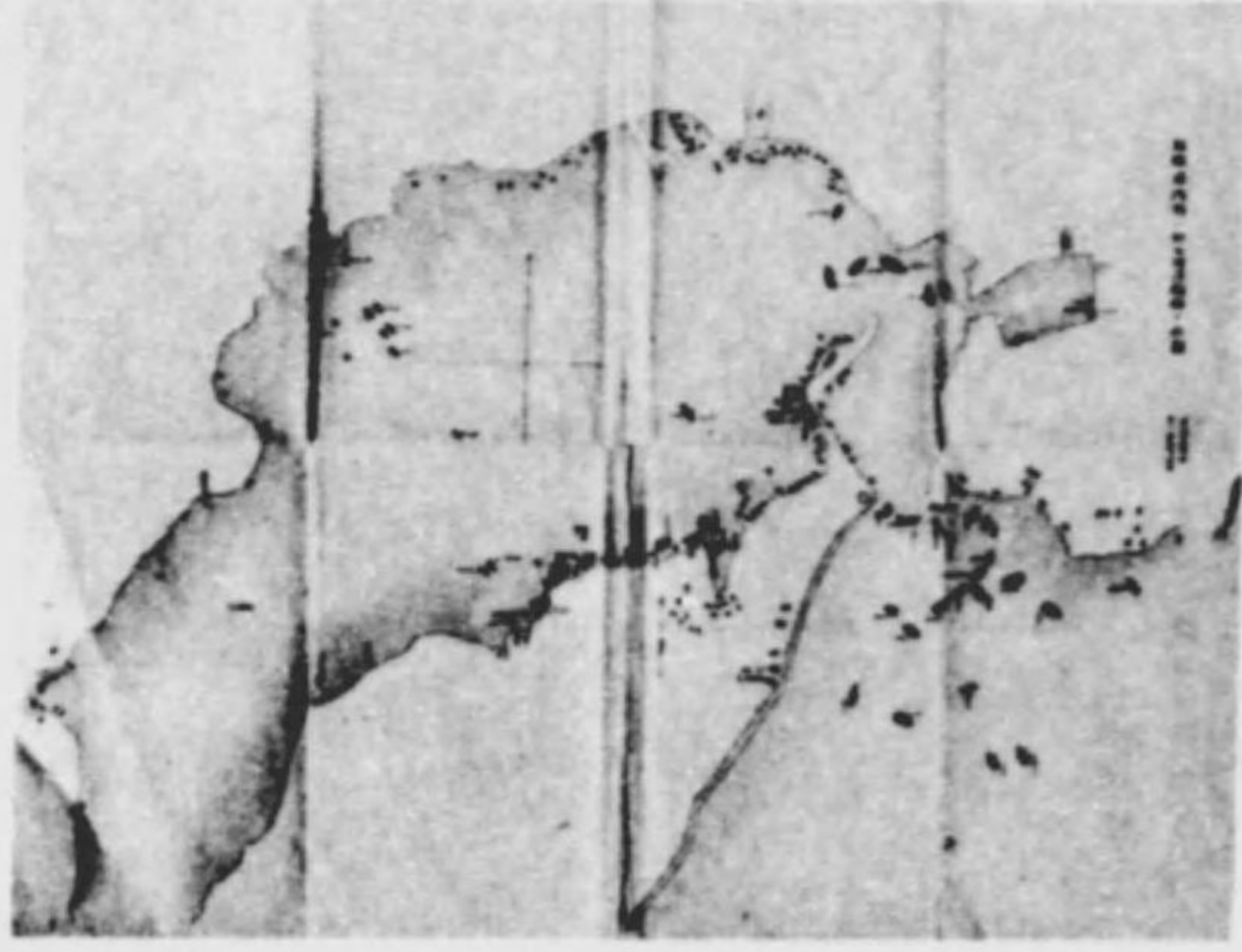
旅順港外戦 (續)

- (1) 旅順港外大海戦圖 (耕漁版畫) 内藤清枝氏寄贈
- (2) 日露驅逐艦大海戦之圖 (半晡版畫) 同
- (3) 「ペトロパウロウスク」ノ爆破 (日露海戦畫帖所載) 大島良之助中佐寄贈
四月十三日敵ノ旗艦「ペトロパウロウスク」ハ我ガ軍ノ敷設セシ機械水雷ニ觸レ旅順港外ニ於テ爆沈敵將「マカロフ」ハ全幕僚ト共ニ艦ト運命ヲ共ニセリ
- (4) 「百選百笑」露國ノ號外賣 内藤清枝氏寄贈
- (5) 「ペトロパウロウスク」記念品 福島四郎陸軍少佐寄贈
海 圖 吉村幹三郎氏寄贈
彈 丸 板垣昂中佐寄贈
匙及肉叉 右ハ後年旅順港外ニ沈没シ居レル「ペトロパウロウスク」ヨリ引上ゲタルモノナリ 吳防備隊保轉
- (6) 小田式自働繫維器 明治三十一年海軍中佐小田喜代藏氏苦心研究ノ結果水深未知ノ海面ニ機雷ヲ敷設シテ自働的ニ深度ヲ調整シ得ル 繫維器ヲ發明シ敵國港灣ニ對シ攻撃的ニ使用スルコトニ成功セリ 内藤清枝氏寄贈
- (7) 麻可露夫提督以下戦死光景 (耕藝版畫)

(1)

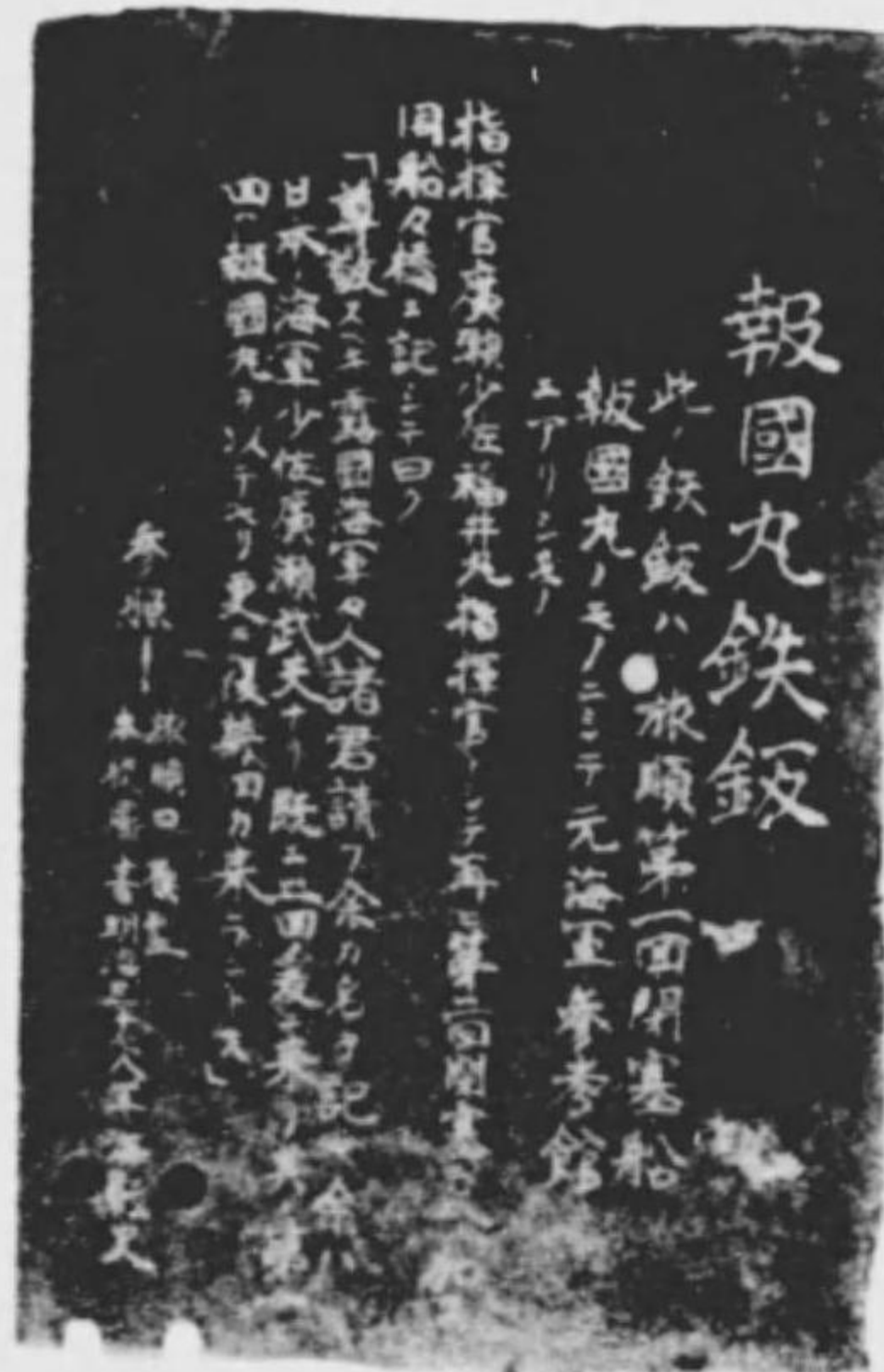
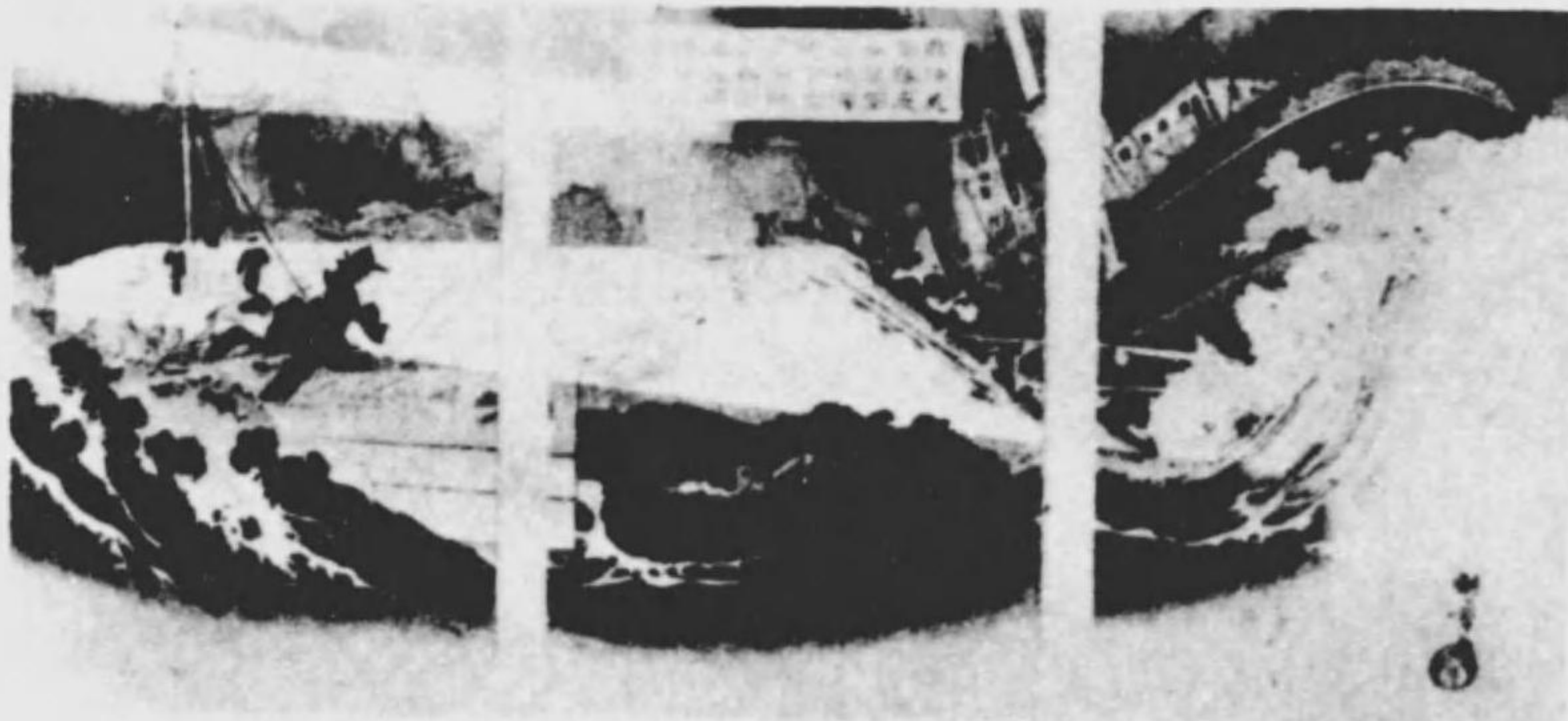


(3)



(2)

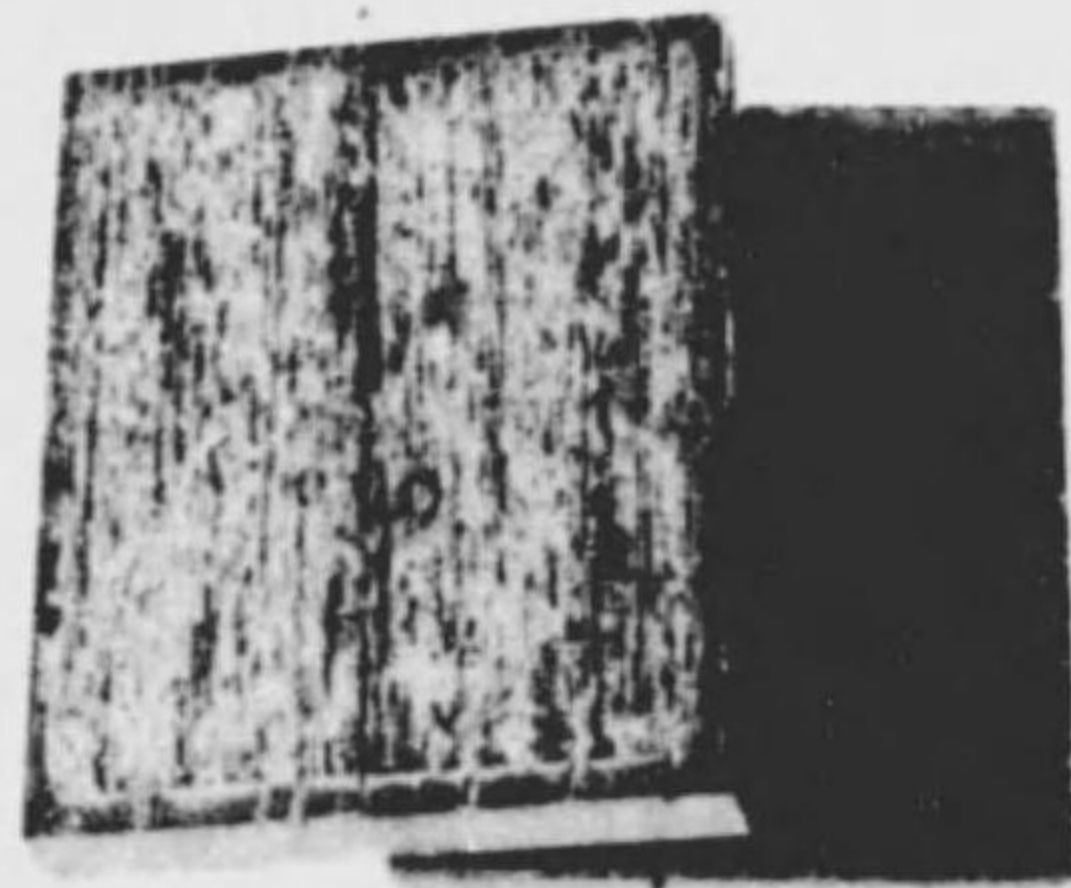
(4)



(5)



(8)



(6)



(7)

旅順口閉塞

旅順口ノ閉塞ハ夙ニ企圖セラレタルトコロナリシガ愈決行ニ際シ決死ノ士ヲ募リタルニ咄嗟ノ間立所ニ二千餘名(中ニハ血書出願スル者アリ)ヲ得タリ 因ツテ此ノ中ヨリ適材ヲ選拔シ二月二十三日第一次閉塞ヲ決行セルガ更ニ本閉塞ノ成果ニ鑑ミ第二、第三回ノ閉塞ヲ續行シテ略所期ノ目的ヲ達スルコトヲ得タリ

吳海軍下士官兵集會所寄贈

- (1) 旅順港全景寫真
- (2) 旅順閉塞要表

- (3) 旅順港外泊地ニ沈没セル閉塞船ノ位置圖

- (4) 第一回閉塞之圖 (版畫)

- (5) 報國丸鐵飯

- (6) 報國丸船材製硯箱

- (7) 報國丸乘組員寫真

- (8) 仁川丸船材

閉塞船仁川丸ノ指揮官タル齋藤七五郎中將ガ令兄ニ贈ラレシモノヲ同家ヨリ更ニ本校ニ寄贈セラル

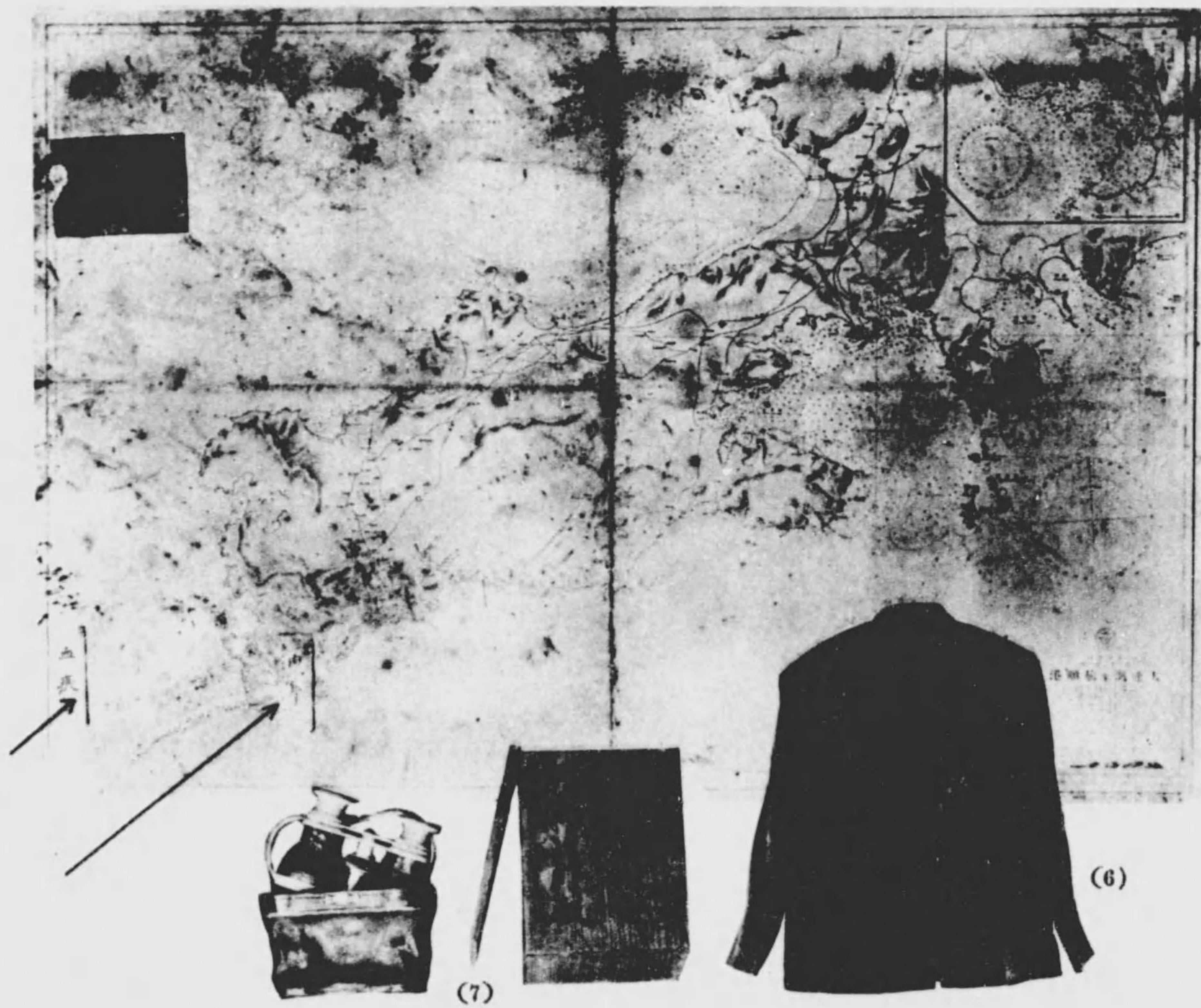
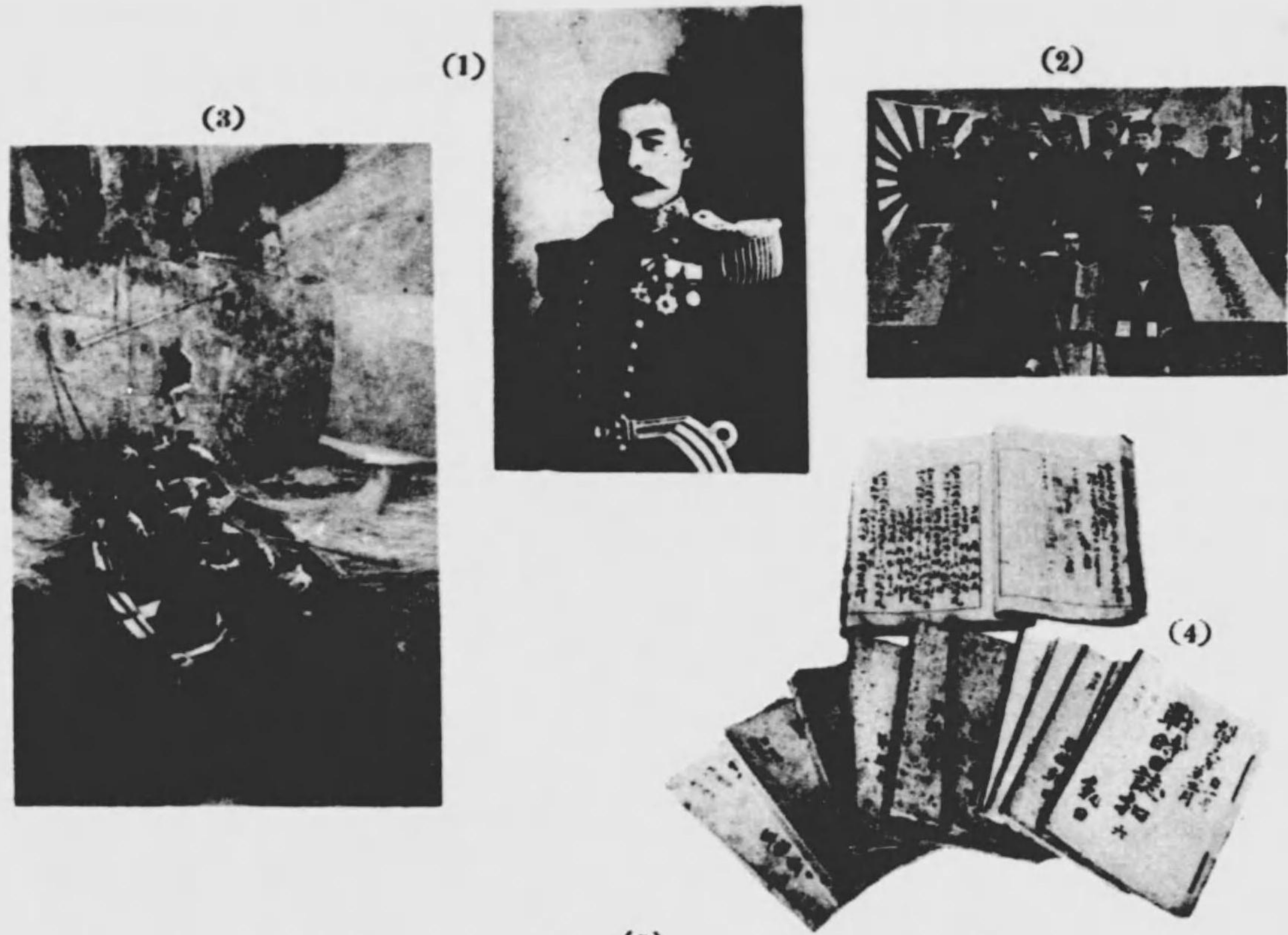
内藤清枝氏寄贈

水交社寄贈

井出謙治大將寄贈

海軍省送付

齋藤富士郎大尉寄贈



第二回旅順口閉塞

(1) 廣瀬中佐寫眞

海軍省送付

(2) 福井丸乗組員寫眞

海軍省送付

第二次閉塞船福井丸乗組員ニシテ前列ノ一人ガ手ニセル小箱、大ナルハ廣瀬中佐ノ肉片、小ナルハ杉野兵曹長ノ遺髪ナリ。簀巻ノ負傷者ハ栗田機關長、左右ノ板ハ菅沼一等信號兵曹、小池一等機關兵ナリ

(3) 福井丸閉塞隊圖 (模寫) (古島松之助氏筆)

福井丸指揮官廣瀬中佐ノ杉野兵曹長搜索ヲ斷念シテ短艇ニ乘リ移ルベク退船スルノ光景ヲ描キタルモノナリ。原圖ハ機關學校所有ニカ、リ東城鉦太郎畫伯ノ筆ニシテ本圖ハ之ニヨリ古島松之助氏ノ描クトコロナリ

(4) 朝日通達並ニ戰時日誌

朝日特務艦長寄贈

寫眞上ニ示セルハ廣瀬海軍中佐以下六名第二次閉塞ノ爲退

艦ヲ記入セル部分ナリ

(5) 廣瀬中佐血染ノ海圖

海軍省送付

此ノ海圖ハ第一回、第二回兩度ノ旅順口閉塞ノ際廣瀬中佐ノ使用セルモノナリ。中佐ガ福井丸ヲ退船シ短艇ニ移乘シタル利那飛來セル敵彈ノ爲身ハ一片ノ肉塊ト血痕トヲ殘シテ海中ニ飛散セリ。海圖ハ利那ニ血ヲ浴ビタルモノナリ

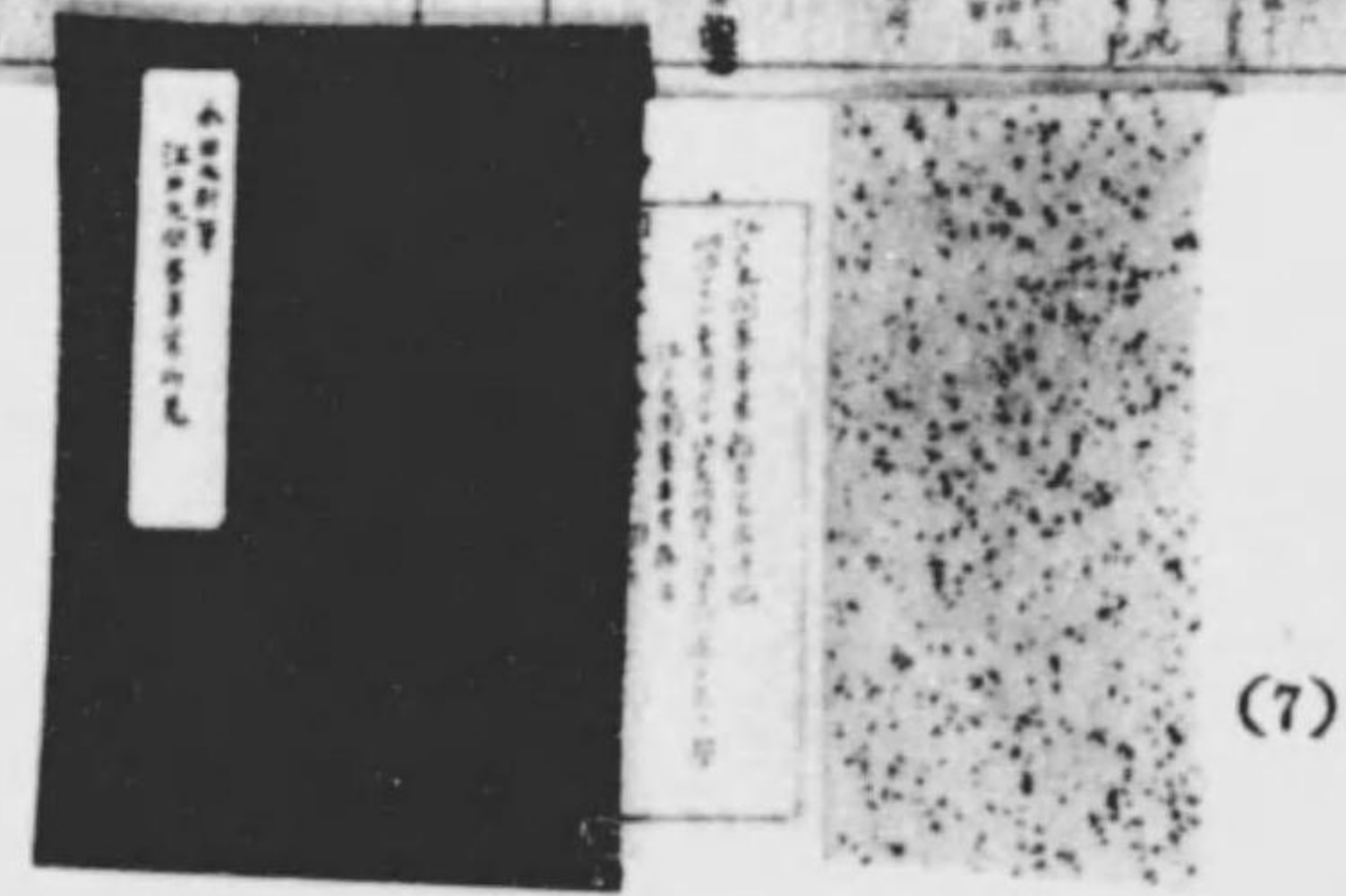
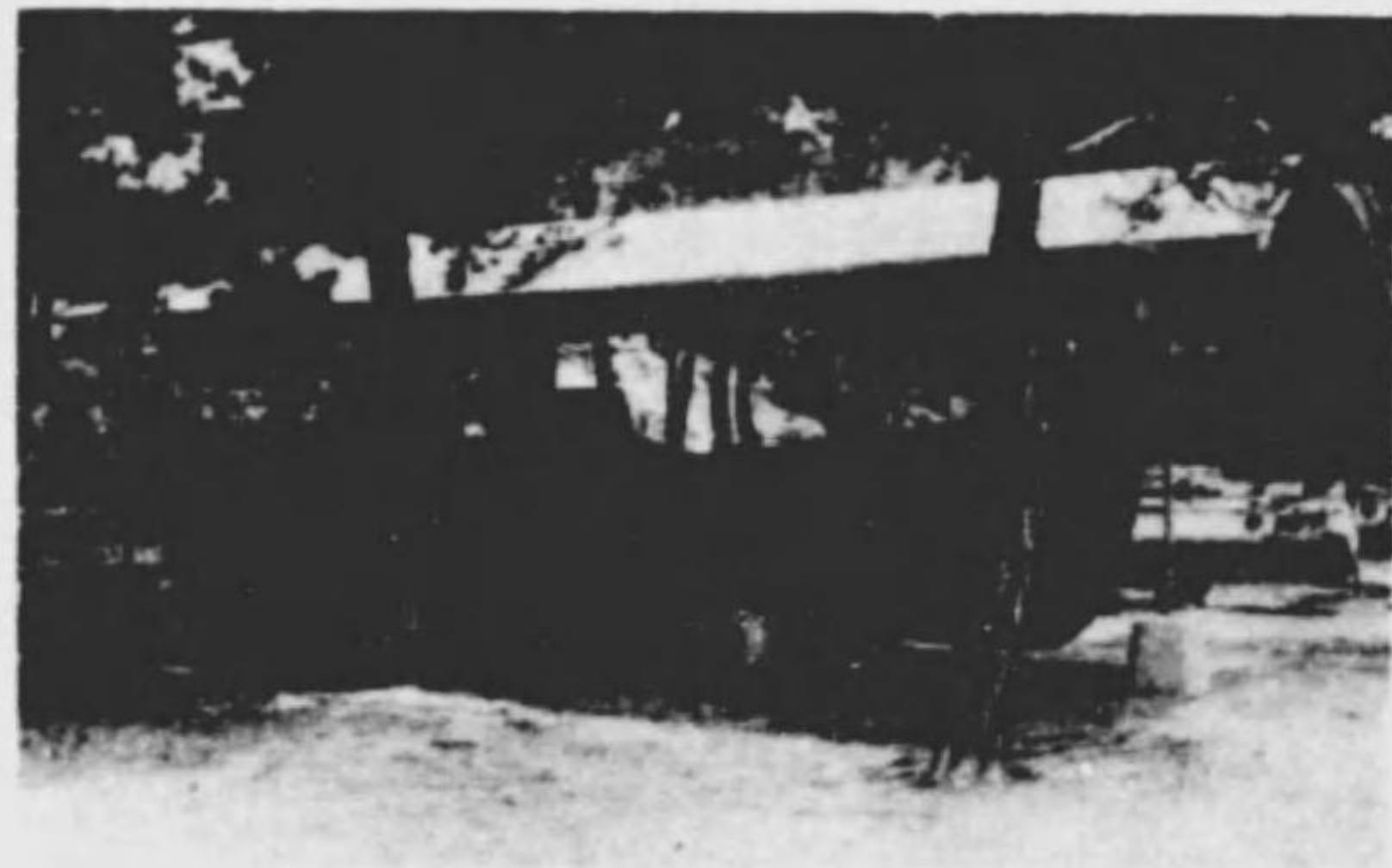
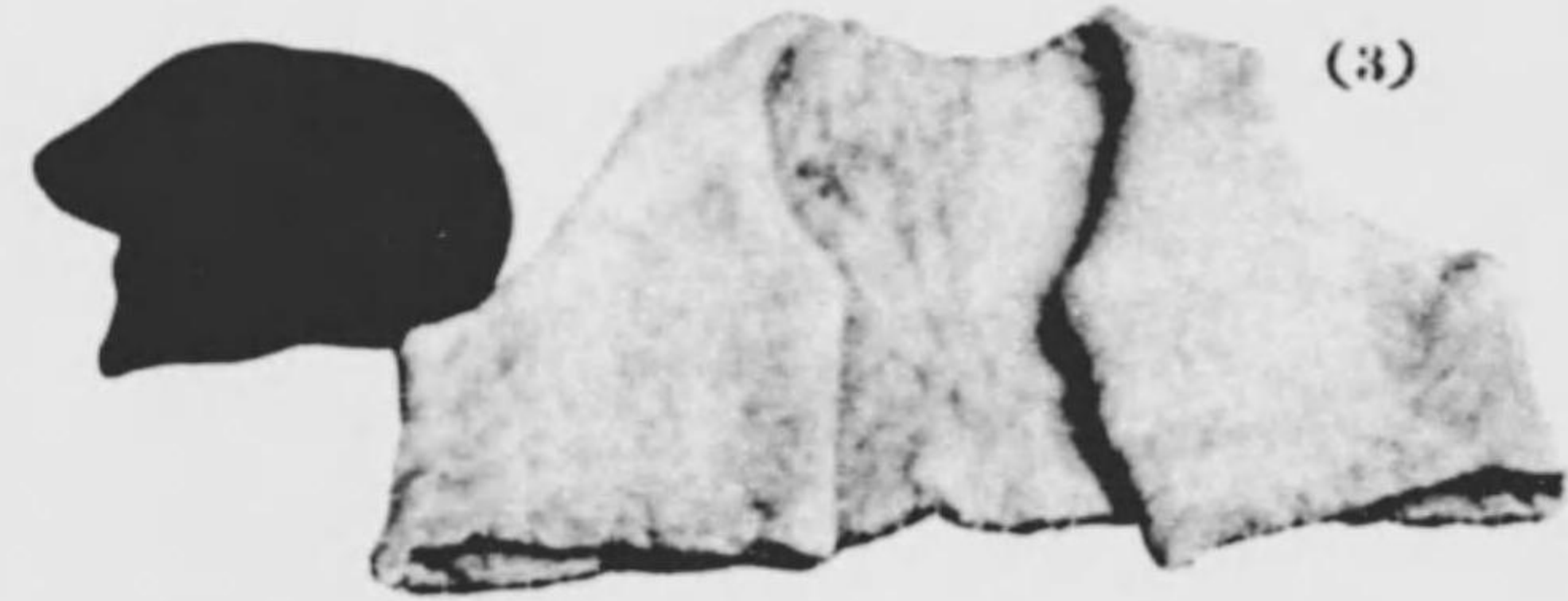
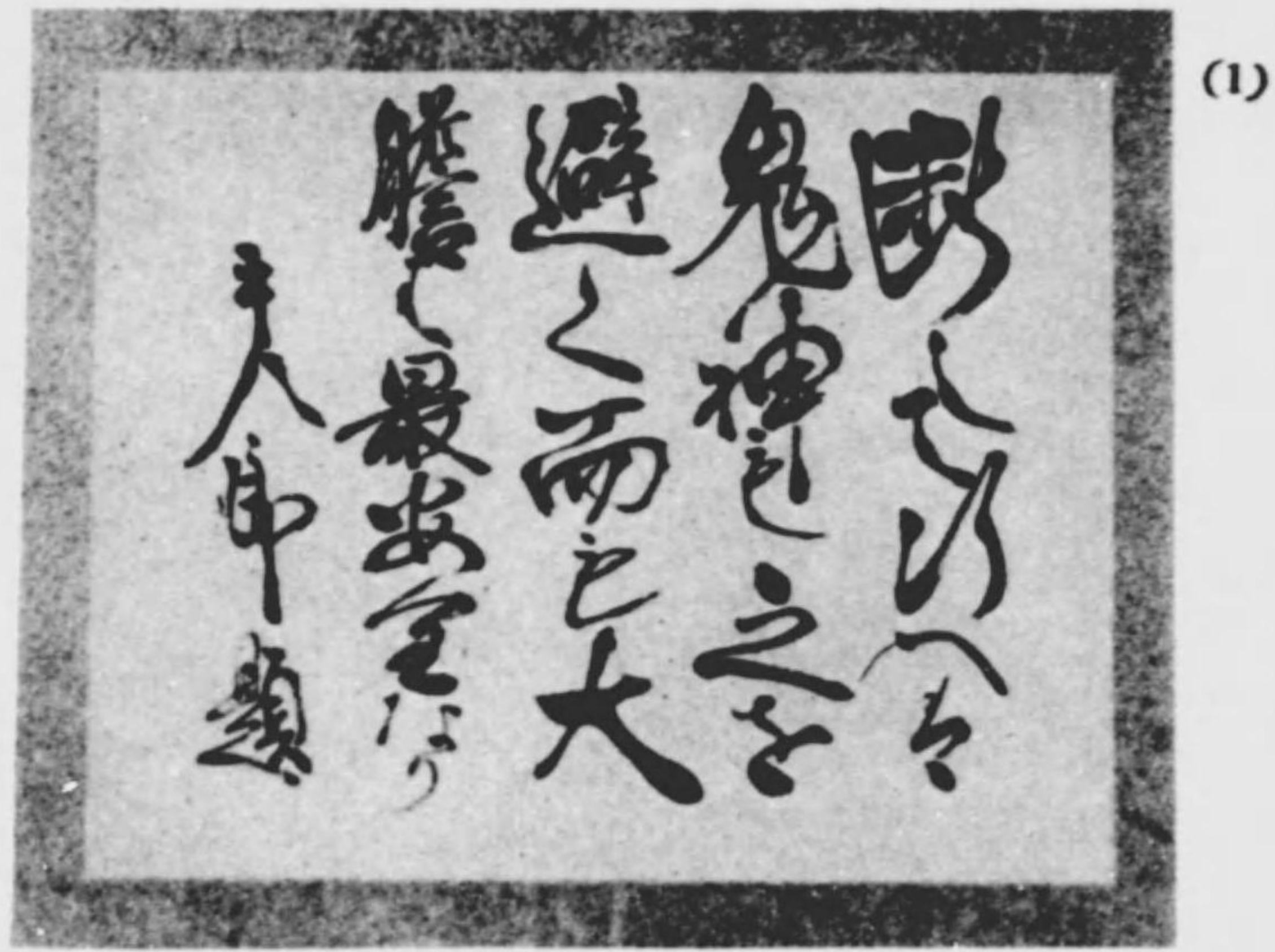
(6) 廣瀬中佐ノ血ヲ浴ビタル軍服

栗田富太郎少將寄贈
廣瀬中佐ト同乘シタル栗田機關長ノ軍服ニシテ上衣背部ニ附着ノ血痕ハ廣瀬中佐ノ血ナリ

(7) 望遠鏡

大島男爵家寄贈

戰地ヨリ大島男爵家ニ贈ラレタル中佐形見ノ望遠鏡ナリ



第二回旅順口閉塞 (續)

(1) 東郷 元 帥 書

第二次旅順閉塞ノ前發セラレタル聯合艦隊命令ノ一節ナリ

東郷元帥寄贈

(2) 彌彦丸森中尉ノ双眼鏡

旅順口閉塞當時使用セシモノニシテ一旦彌彦丸ト共ニ海底ニ沈ミシガ數ヶ月ノ後引揚ゲラレタルモノナリ

森初次少將寄贈

(3) 米山丸正木大尉ノ頭巾

並ニ胴着

正木義太中將寄贈
正木又次郎氏寄贈

(4) 島田中尉血染ノ胴着

閉塞船米山丸指揮官正木義太大尉(現中將)ノ當時着用セラレタルモノナリ

島田航一氏寄托

(5) 千代丸 端 艇

旅順口第二次閉塞ノ際有馬指揮官以下千代丸乗組員十七名ハ之ニ乘リテ引揚ケタリ

教育本部送付

第三回旅順口閉塞

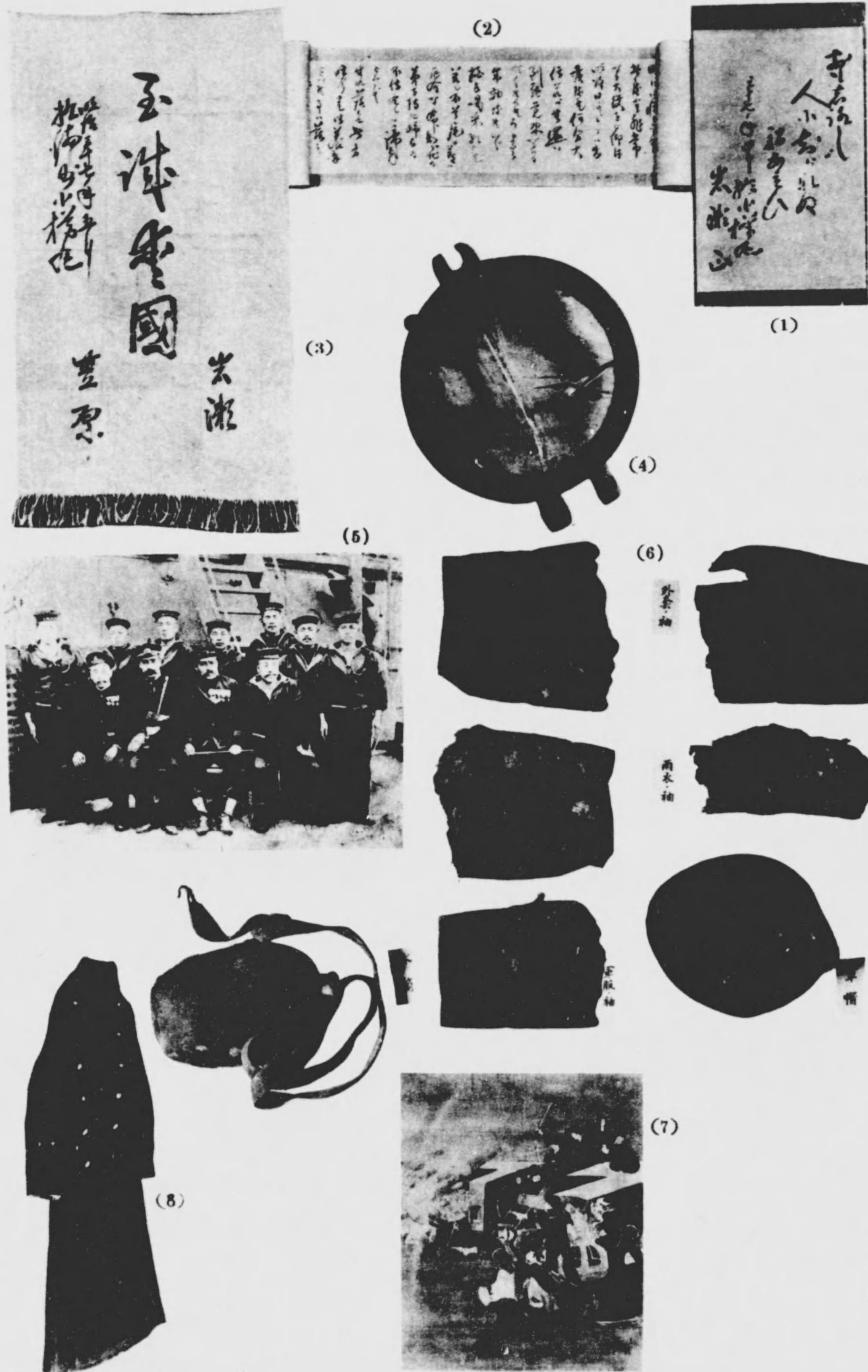
(6) 永田 大尉 訓 示

永田武次郎大尉ハ明治三十七年五月第三回閉塞隊トシテ旅順口ニ闖入シ任務ヲ全ウシ更ニ第五十三號水雷艇長トシテ露艦「セバストポリ」夜襲ニ赴キシ際敵艦ニアタリ艇ト運命ヲ共ニセリ 本訓示ハ明治三十七年四月第三回旅順口閉塞ニ先立ち部下ノ決死隊員ニ與ヘタルモノナリ

永田小太郎少將寄贈

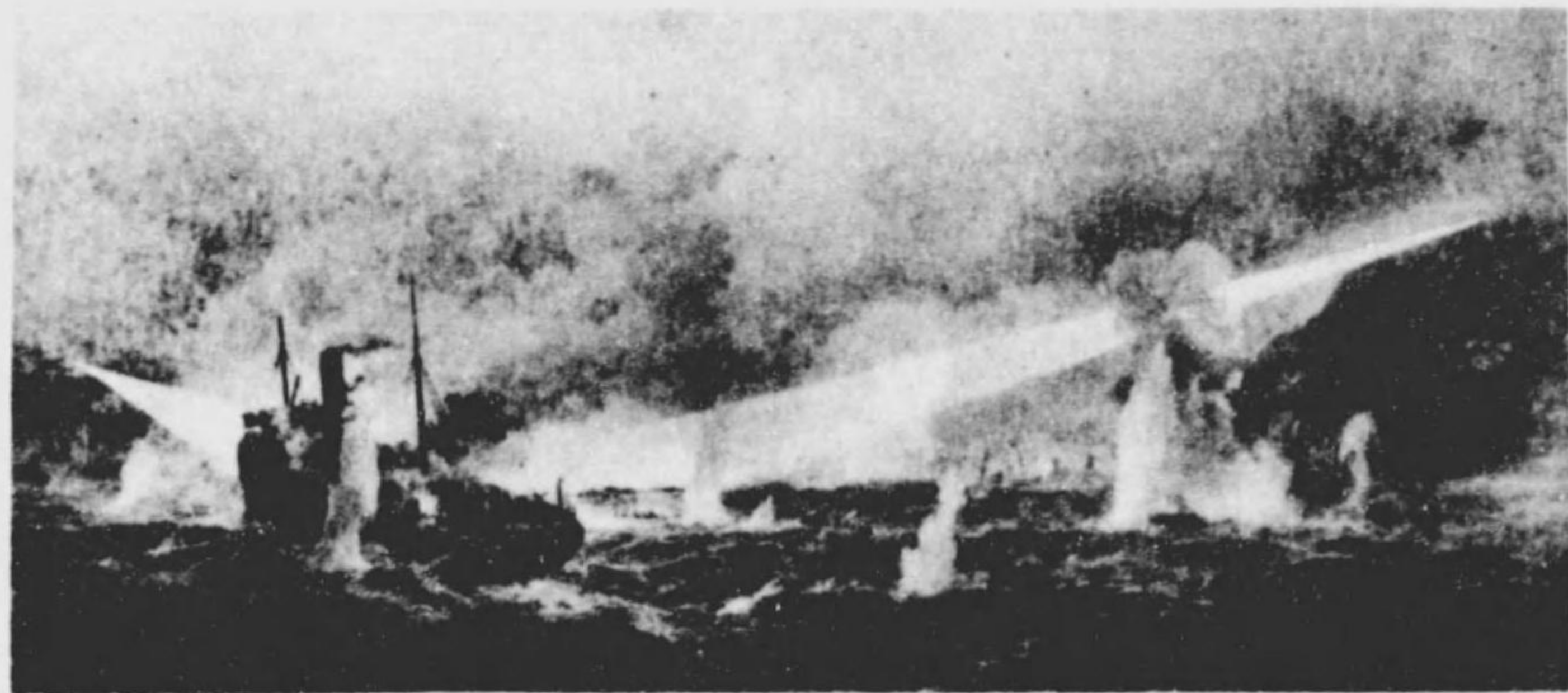
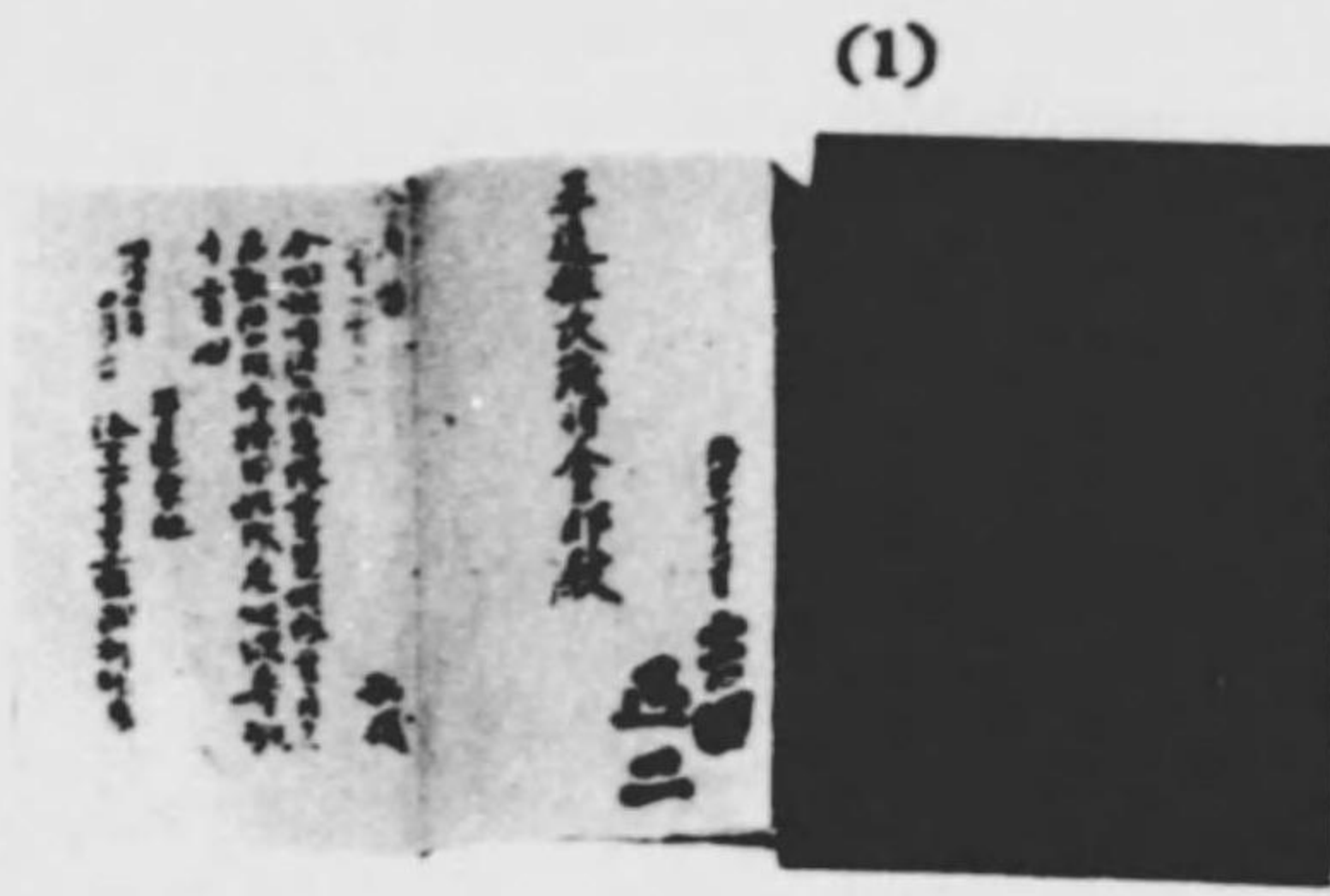
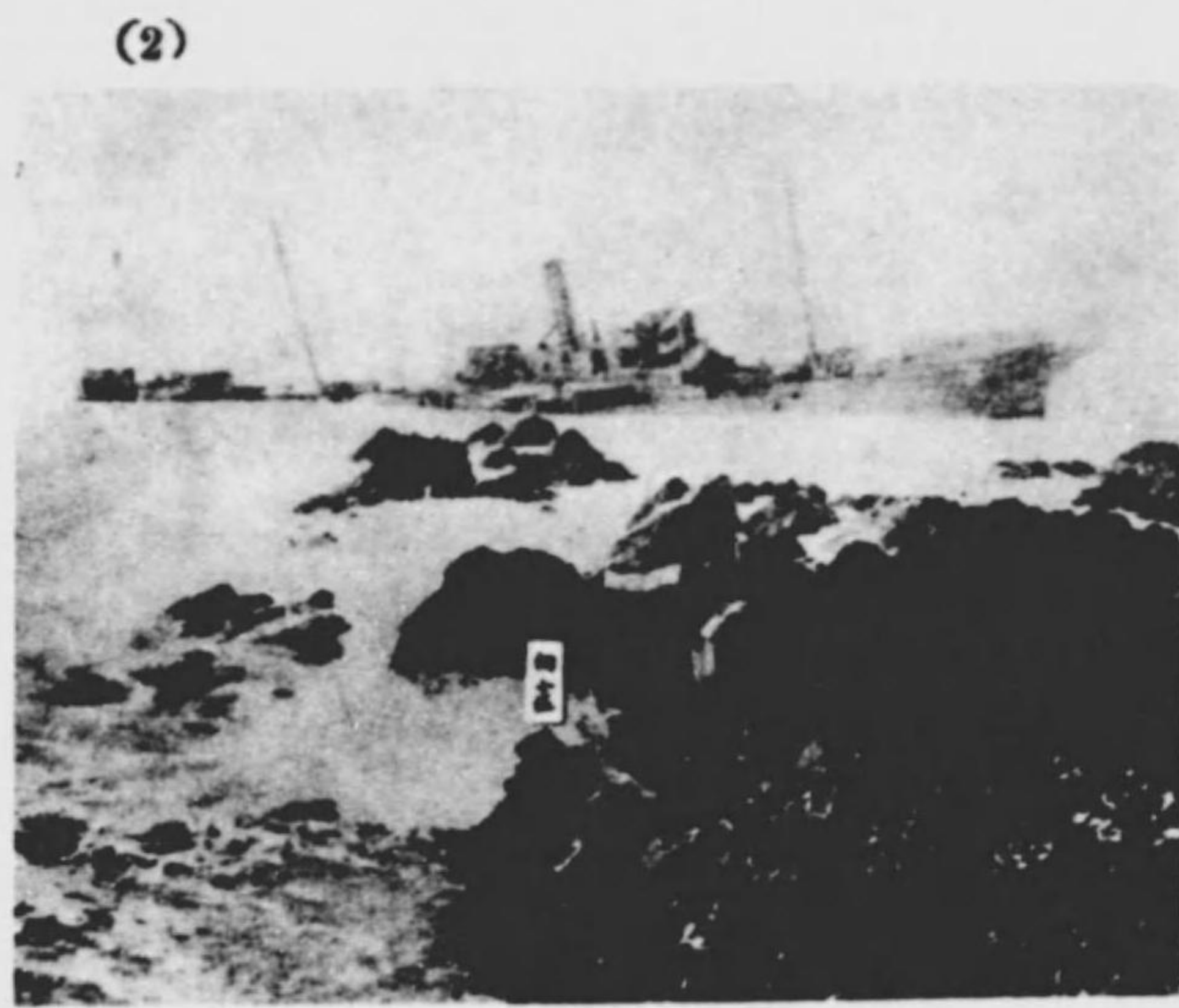
(7) 永田大尉作業報告

永田小太郎少將寄贈



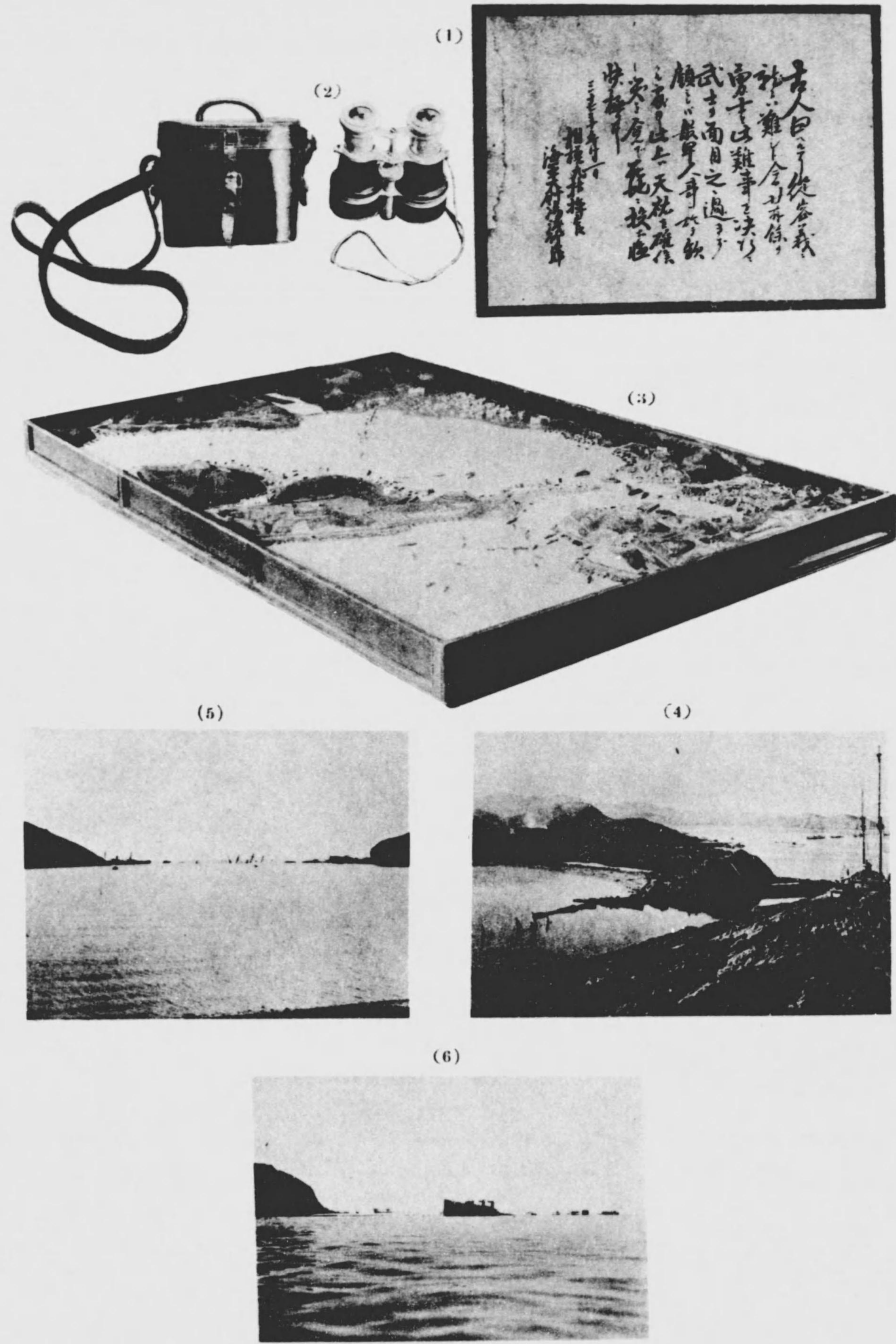
第三回旅順口閉塞 (續)

- (1) 岩瀬機關少佐絶筆歌
岩瀬勝氏寄贈
第三回旅順口閉塞ノ際小樽丸機關長トシテ任務ヲ了ヘテ端艇ニテ歸航ノ途艇ハ敵彈ノタメ撃沈セラレタリ 少佐ハ海上ニ漂ヒ敵兵ノ收容スル所トナリシガ之ヲ潔シトセズシテ絶食憤死セリ
- (2) 岩瀬機關少佐遺書
同
- (3) 岩瀬笠原合筆「テールクロス」
同
- (4) 小樽丸 船窓 蓋
同
小樽丸ハ第三回旅順口閉塞船ニシテ旅順開城後同船引揚ノ際小樽丸舷窓ヨリ取外シ一旦岩瀬機關少佐遺族ニ送致シタルモノヲ更ニ寄贈セラレタリ
- (5) 佐倉丸乗組員寫眞
「淺間」死任將校寄贈
軍艦淺間選出ノ第三回閉塞隊ノ寫眞ナリ
- (6) 白石少佐遺品
白石ちよ子氏寄贈
明治三十八年十一月十三日白玉山西麓露人墓地ヨリ發掘セラル
- (7) 白石少佐黄金山砲臺乗取之圖
東京高島屋寄贈
白石少佐ハ佐倉丸指揮官トシテ閉塞決行後敵陣地ナル黄金山砲臺ヲ乗取り壯烈ナル戦死ヲ遂ゲ
- (8) 高橋大尉遺品
高橋高氏寄贈
鎮遠分隊長高橋大尉ガ戦死當時マデ着用セシ外套ナリ



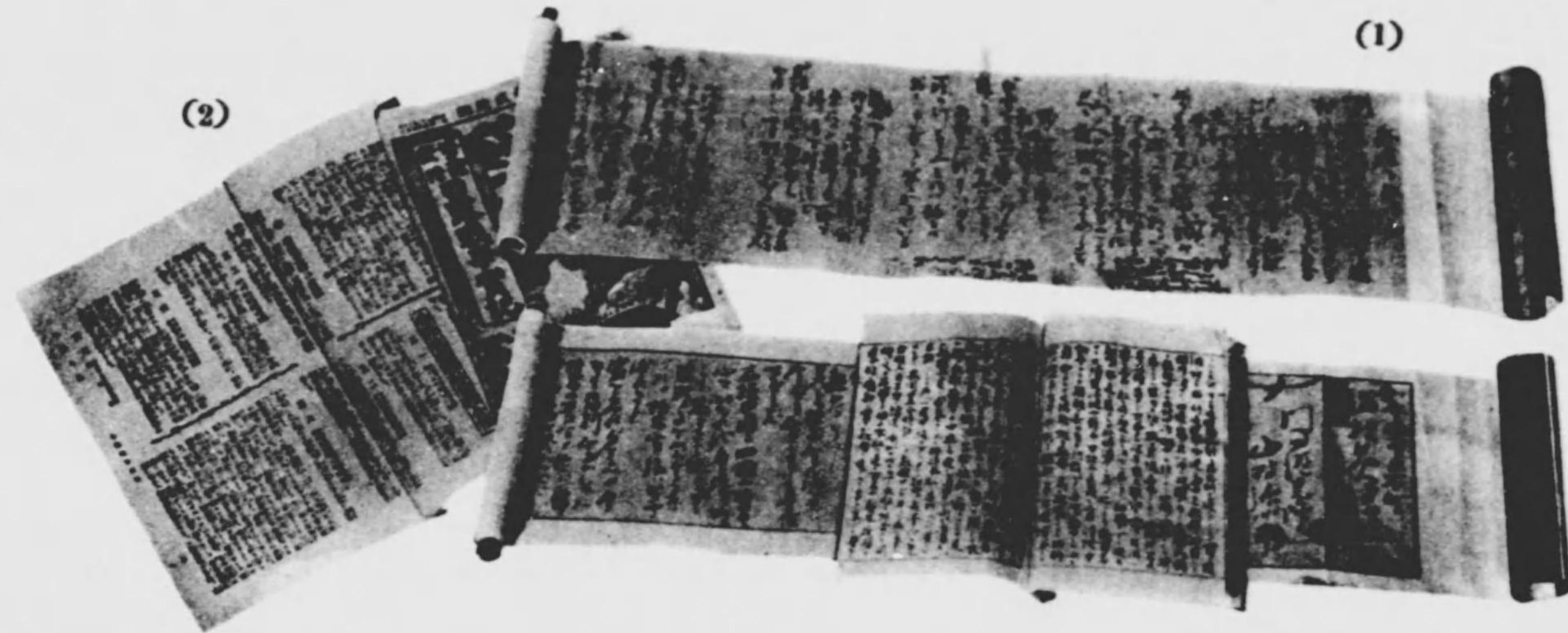
第三回旅順口閉塞 (續)

- (1) 第三回閉塞血書志願書
伊集院第三艦隊參謀ノ集メタルモノニシテ大正十四年五月二十七日 皇太子殿下水交社行啓ノ際台覽ニ供シ尙御還啓ノ砌特別ノ思召ヲ以テ東宮假御所ニ御持參 皇太子妃殿下各宮殿下ノ台覽ニ供セラレタルモノナリ
伊集院少將未亡人寄贈
- (2) 黄金山下ニ於ケル朝顔丸
露國海軍將校ノ撮影ニ係リ旅順閉城後入手セルモノニシテ岩上ニ仰臥シ燈レタルハ向指揮官ナラント傳ヘラル
辻柳子氏寄贈
- (3) 朝顔丸乗組員寫眞
原五郎大佐寄贈
- (4) 向少佐勤務日誌
旅順港外ノ要圖、探照燈ノ所在ヲ記入セル等極メテ精細ナリ
辻柳子氏寄贈
- (5) 清水機關少監軍服斷片
本遺品ハ當時着用セル軍服ノ片袖ニシテ翌三十八年十二月白玉山麓ヨリ發掘セラレタルモノニシテ實ニ二十六ヶ月ノ間埋没シキタルモノナリ
原五郎大佐寄贈
- (6) 三河丸 鐵 鉞
三河丸ハ第三次旅順閉塞船ノ一ナリ
水交社寄贈
- (7) 第三回閉塞隊ノ奮闘 (油繪寫眞)
谷口尙眞大將寄贈



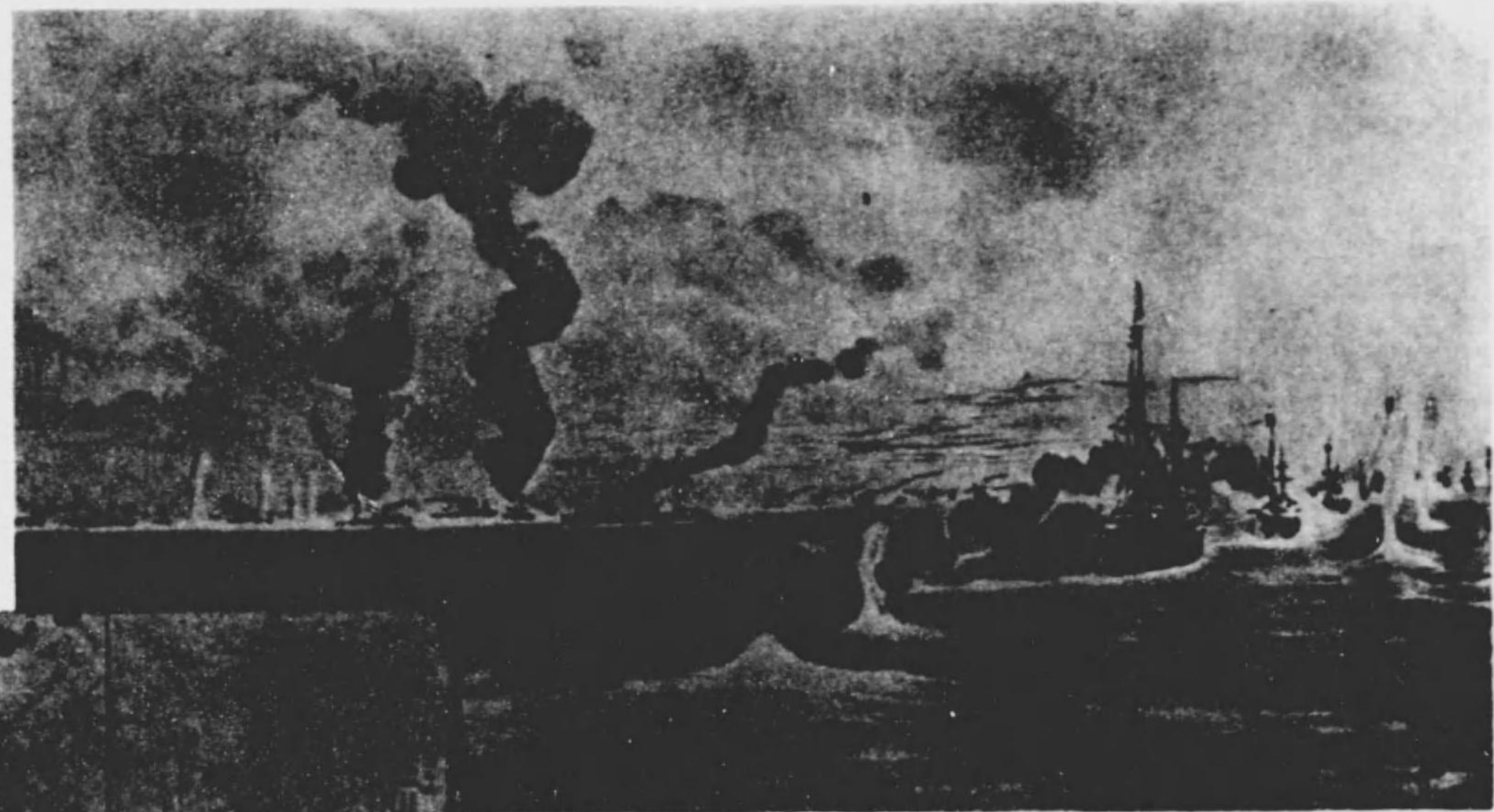
旅順口閉塞（續）

- (1) 湯淺少佐遺墨
旅順口閉塞前々日即ち五月一日附家郷ニ送りシモノナリ
海軍省送付
- (2) 湯淺少佐使用ノ双眼鏡
谷口尙眞大將寄贈
- (3) 旅順港模型
港内ノ軍艦ハ敗殘ノ敵艦隊ニシテ港口附近ニ沈没セル多數ノ汽船ハ我閉塞船ナリ
旅順水交社寄贈
- (4) 黄金山上ヨリ港内外ヲ見タル景（日露戰爭寫眞帖所載）
軍令部寄贈
- (5) 老虎尾半島ヨリ旅順港口ヲ望ム（同）
同
- (6) 黄金山下我封鎖船ノ状態（同）
同



(2)

(1)



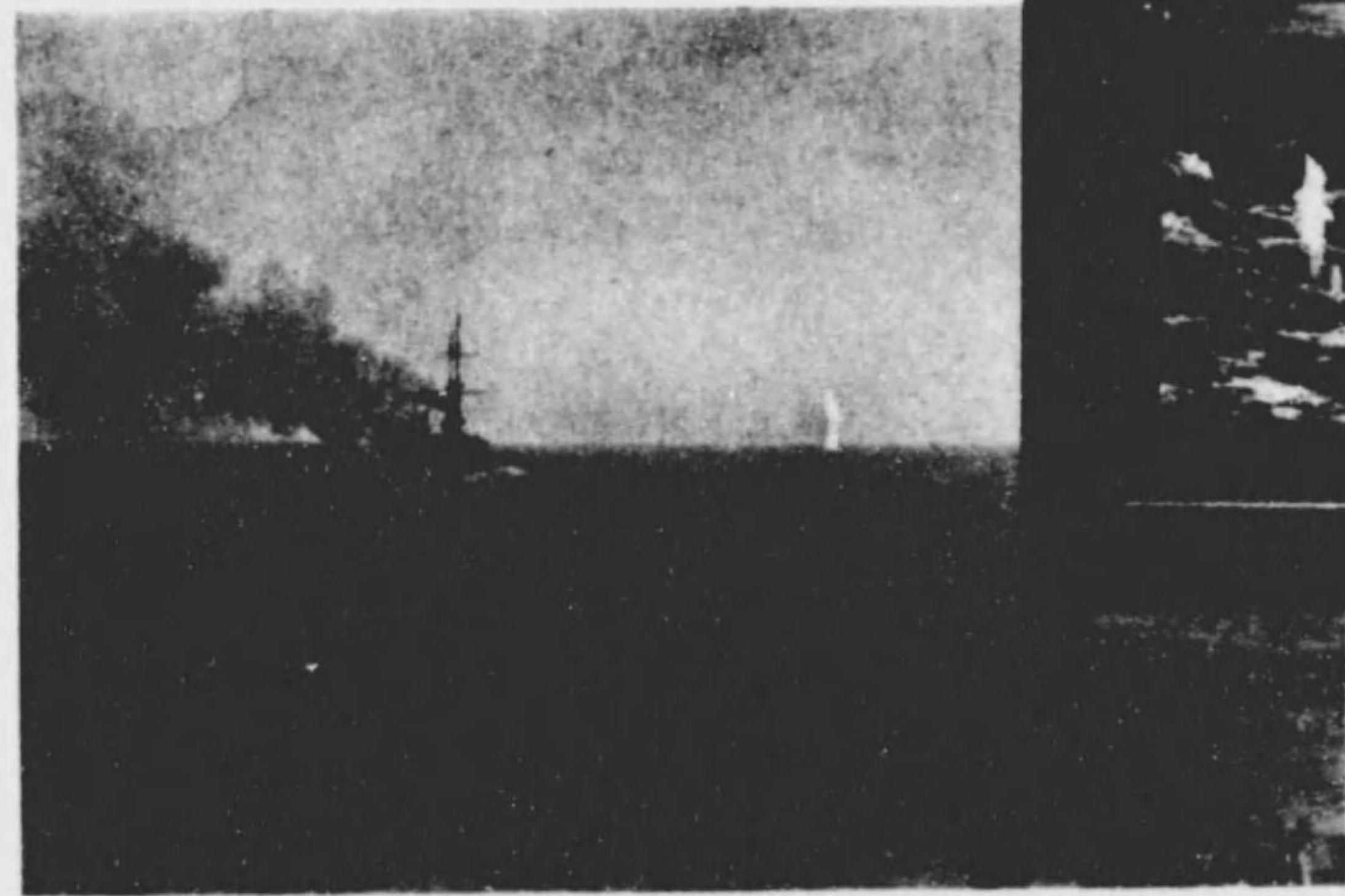
(3)



(6)



(4)



(6)

常陸丸遭難

- (1) 山村中佐遺墨
常陸丸監督官海軍中佐山村彌四郎氏ノ遺墨ナリ

山村美清氏寄贈

- (2) 日露戦争實記 (博文館發行)

諸隈健三中尉寄贈

黄海々々戦

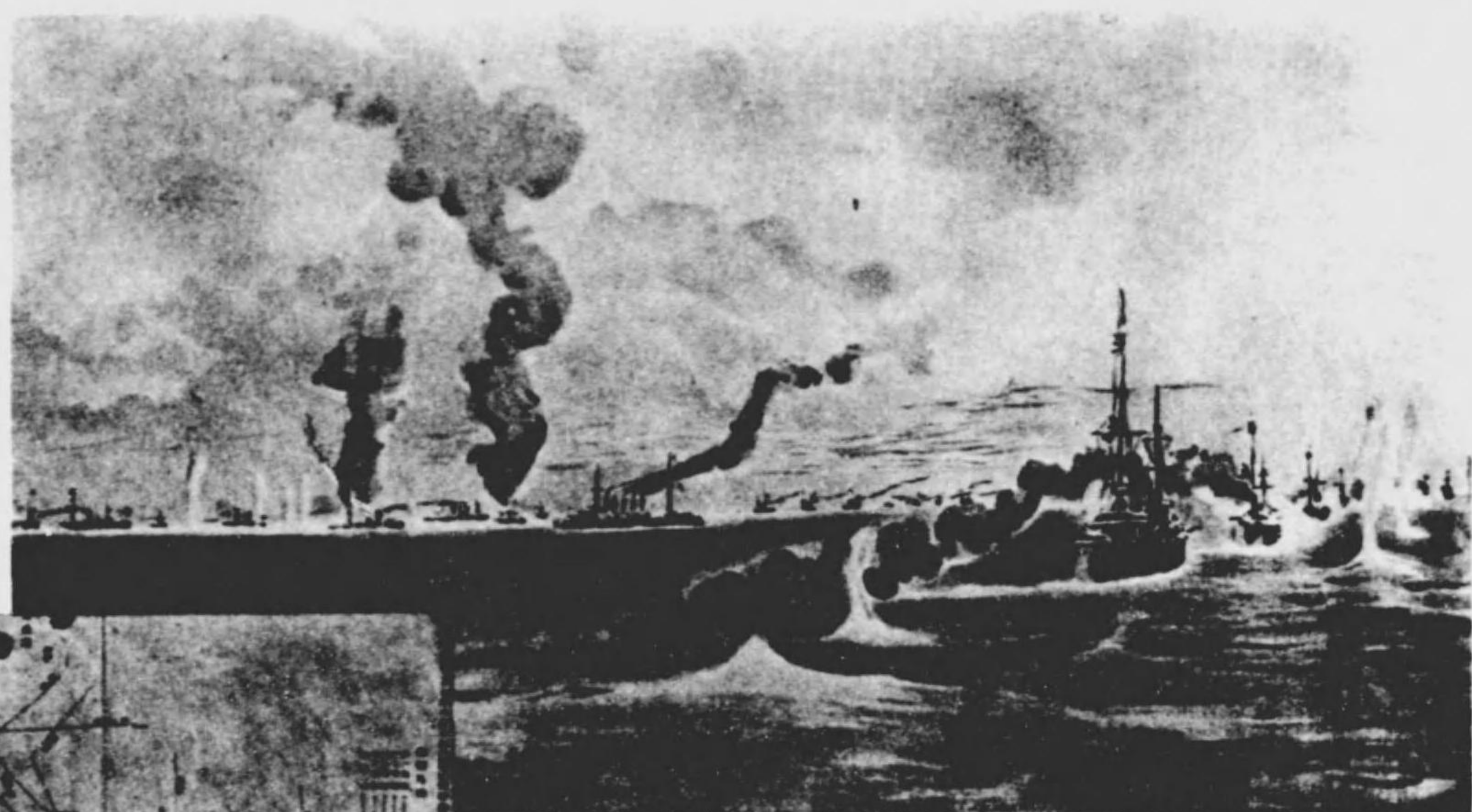
- (3) 八月十日黄海々々戦圖 (海戦史所載)
露國艦隊ハ旅順ノ我封鎖ヲ突破シテ浦鹽ニ遁走セントセシカバ我艦隊ハ之ト黄海ニ會戦セリ 敵艦隊ハ甚大ナル損害ヲ被リ遂ニ初志ヲ貫徹スル能ハズシテ纔ニ旅順ニ逃ゲ歸レリ
右側ヨリ 敷島、富士、朝日、三笠
- (4) 黄海々々戦油繪 (古島松之助氏筆)
八月十日午後六時頃ノ戦況ナリ
- (5) 黄海々々戦行動圖 (海戦史所載)
- (6) 黄海々々戦寫真 (日露戦役海軍寫眞帖所載)

蘆野敬三郎氏寄贈

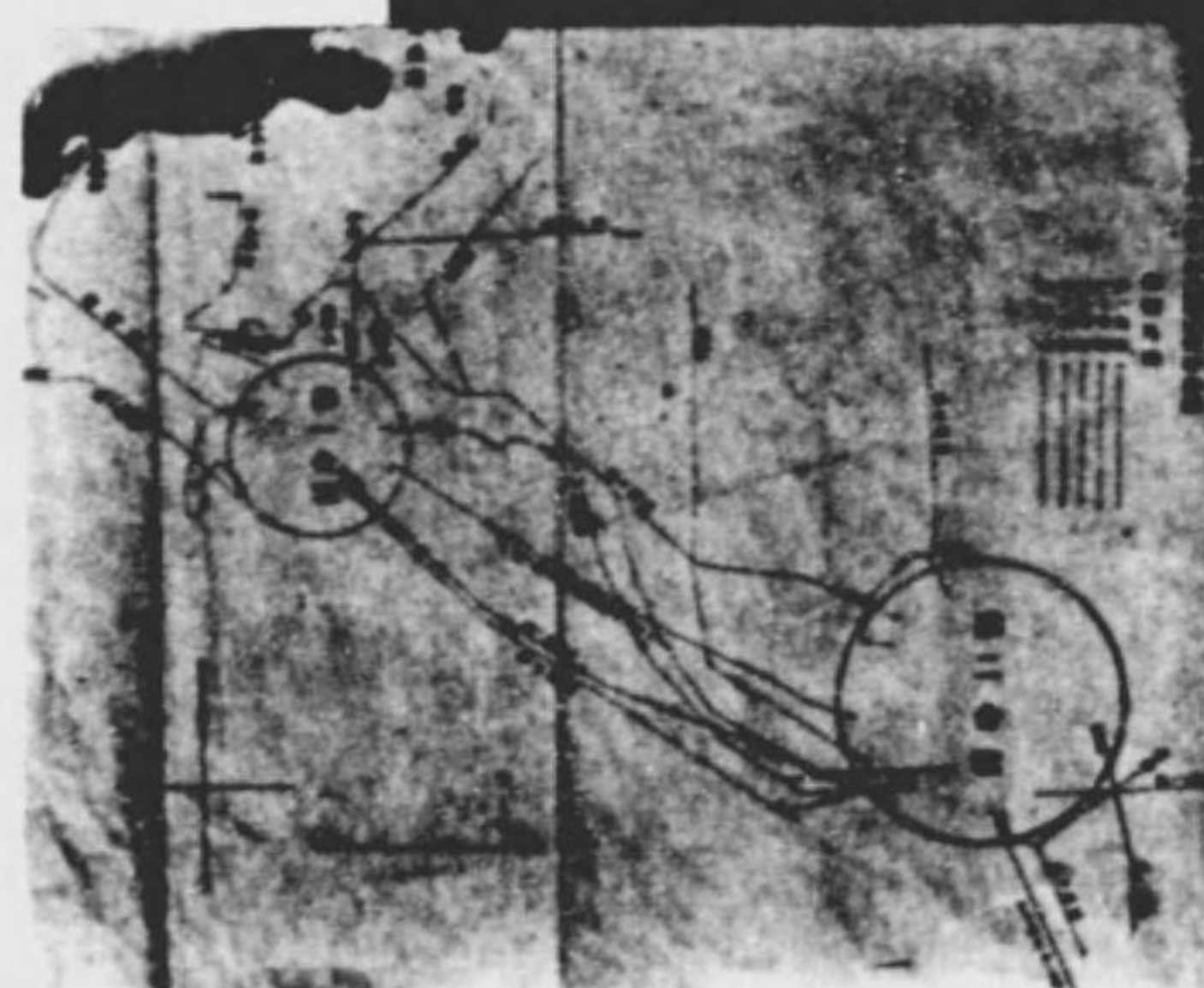


(1)

(2)



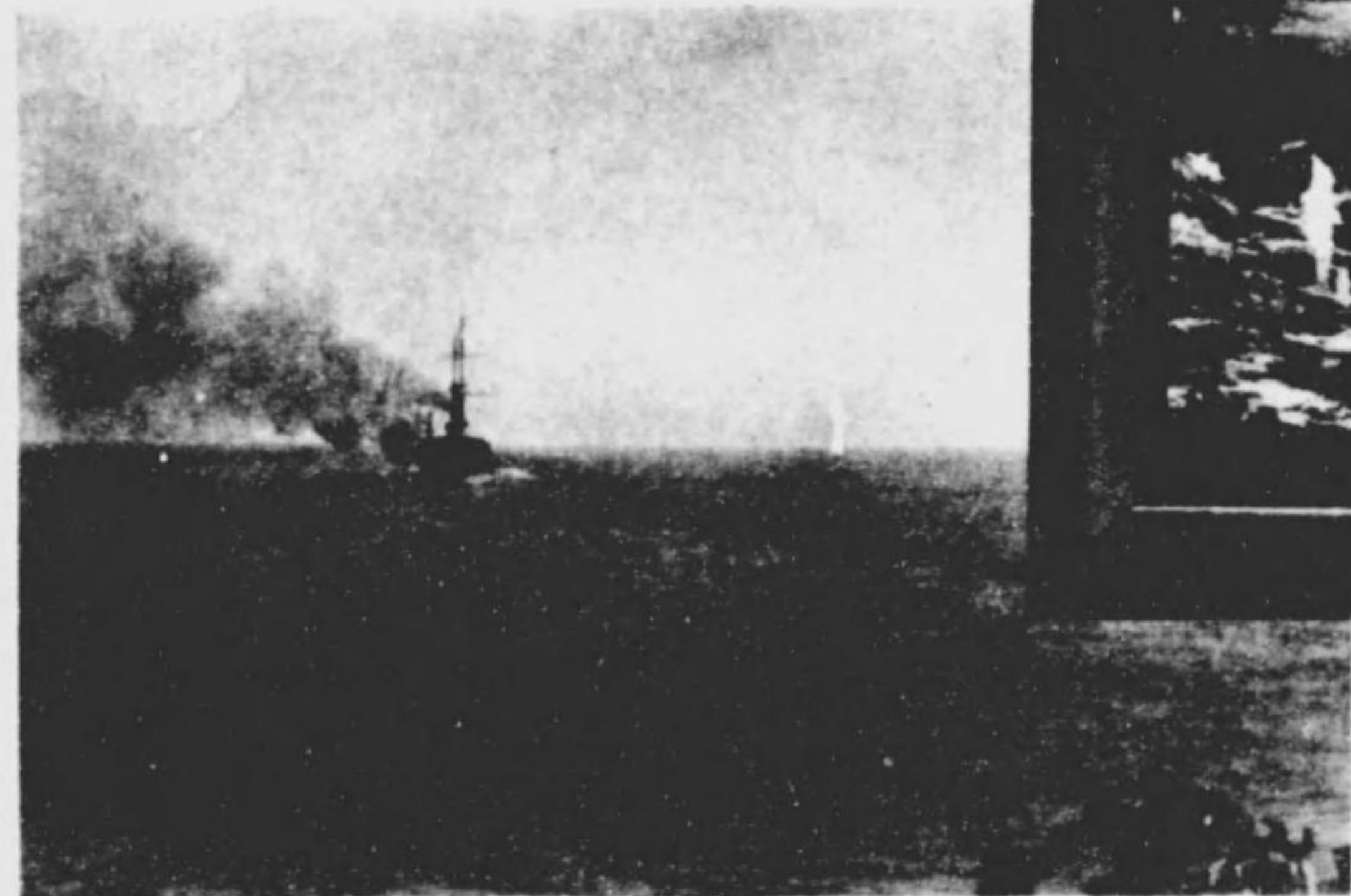
(3)



(5)



(4)



(6)

常陸丸遭難

(1) 山村中佐遺墨

常陸丸監督官海軍中佐山村鑰四郎氏、遺墨ナリ

山村美清氏寄贈

(2) 日露戦争實記 (博文館發行)

諸隈健三中尉寄贈

黄海々々戦

露國艦隊、旅順ノ我封鎖ヲ突破シテ浦鹽ニ遁走セントセシカバ我艦隊ハ之ト黄海ニ會戦セリ 敵艦隊ハ甚大ナル損害ヲ被リ遂ニ初志ヲ貫徹スル能ハズシテ纒ニ旅順ニ逃ケ歸レリ

(3) 八月十日黄海々々戦圖 (海戰史所載)

右側ヨリ 敷島、富士、朝日、三笠

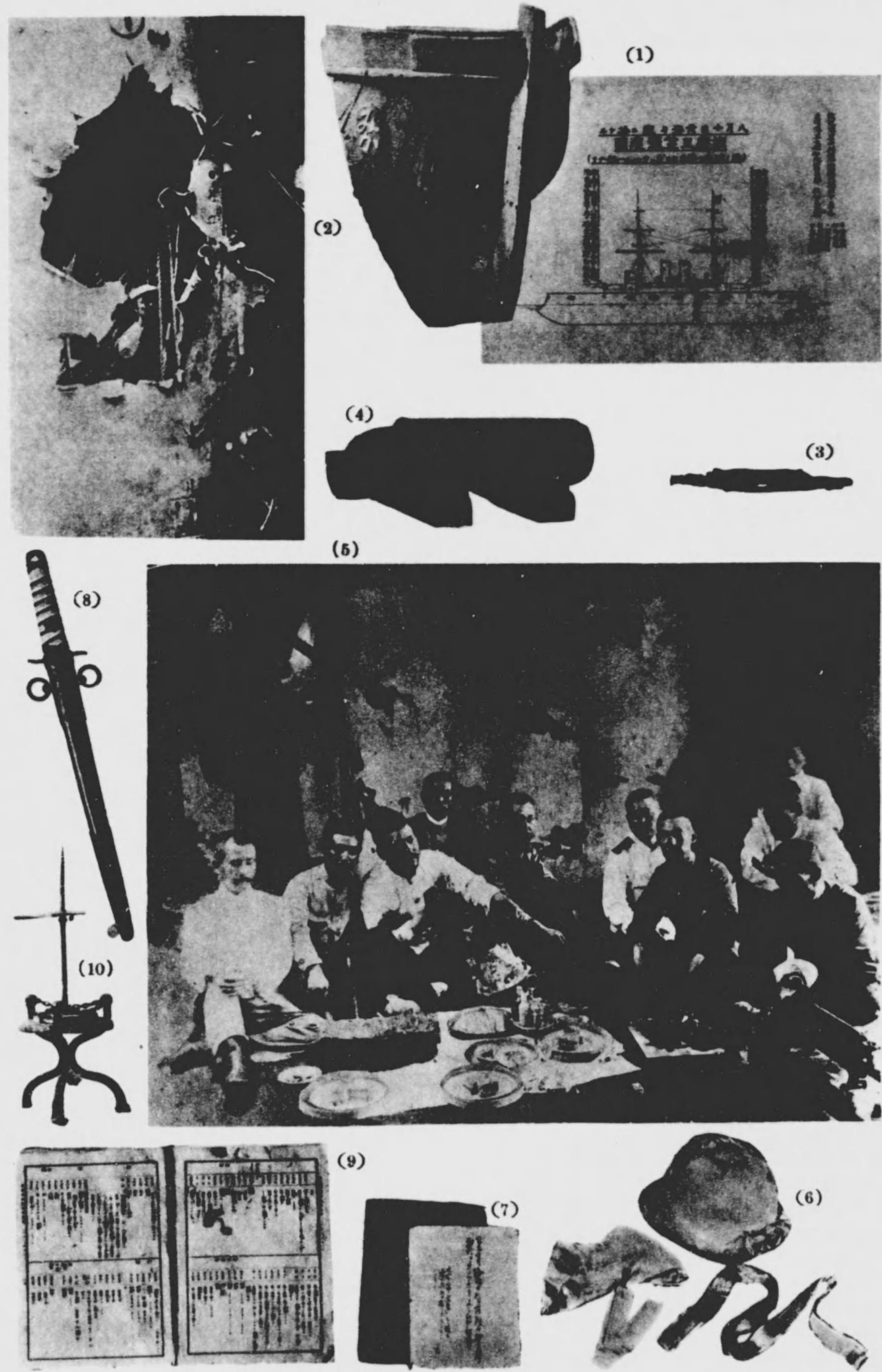
(4) 黄海々々戦油繪 (古島松之助氏筆)

八月十日午後六時頃ノ戰況ナリ

(5) 黄海々々戦行動圖 (海戰史所載)

(6) 黄海々々戦寫真 (日露戰後海軍寫真帖所載)

蘆野敬三郎氏寄贈



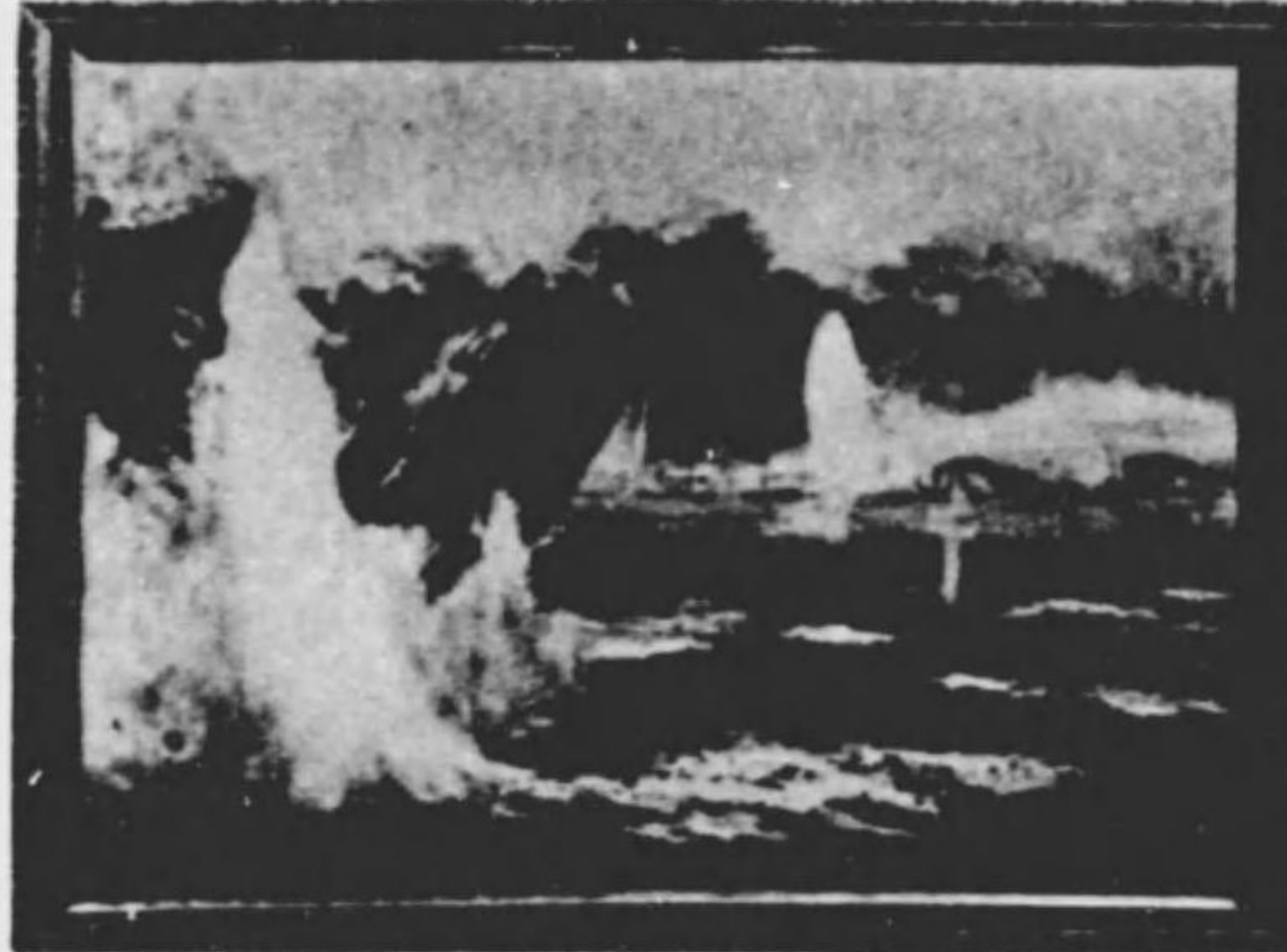
黄海々々戦(續)

- (1) 旗艦三笠彈痕圖並ニ短艇破片
右ハ黄海々々戦ニ於テ三笠ガ敵彈ヲ受ケシ箇所ヲ示ス圖 左ハ短艇「第三カッター」ノ破片ナリ
- (2) 敵彈ノ爲破損セル三笠大橋(海戦史所載)
- (3) 「リギン・シラウド」
黄海々々戦ノ際敵彈ノタメ切斷セラレタル爲メ應急補索ヲ施セルモノナリ
- (4) 海戦後ノ三笠後部砲塔砲身破片
右砲々身ハ敵彈ノ爲切斷セラレテ海中ニ墜落ス 砲臺長 博恭王殿下御負傷遊ハサル 水交社寄贈
- (5) 三笠士官室ニ於ケル午餐寫眞
白根熊三中將寄贈
- (6) 吉村大軍醫 加藤砲術長 白根分隊長 清水主計長 島副長 山本艦隊機關長 平部機關長 上野航海長 竹内大機關士 給仕 横山一郎少佐寄托
- (7) 横山少佐遺品
少佐ハ黄海々々戦ノ際日進ニアリテ奮闘中戦死ス
- (8) 藤瀬中尉勤務録
黄海々々戦ニ於テ戦死ヲ遂グル迄手ニセル戰闘記事ナリ 藤瀬君三氏寄贈
- (9) 川本少尉短劍
黄海々々戦當時日進ニ乘組戦死ヲ遂グル迄佩用セシモノナリ 川本幹次郎氏寄贈
- (10) 萬國船舶信號書
黄海々々戦當時日進ニ在リシモノ 第一艦隊幕僚寄贈
- (11) 「レシテリヌイ」ノ風見針
寺島宇斐美中佐寄贈
「レシテリヌイ」ハ八月十日芝罘ニ遁入セシヲ以テ朝潮乘組 寺島中尉ハ震業組員ト協力シテ之ヲ捕獲シ我艦隊ヘ曳航ス 「曉」ト命名セラル コノ風見針ハ同艦ニ装着セルモノナリ

(2)



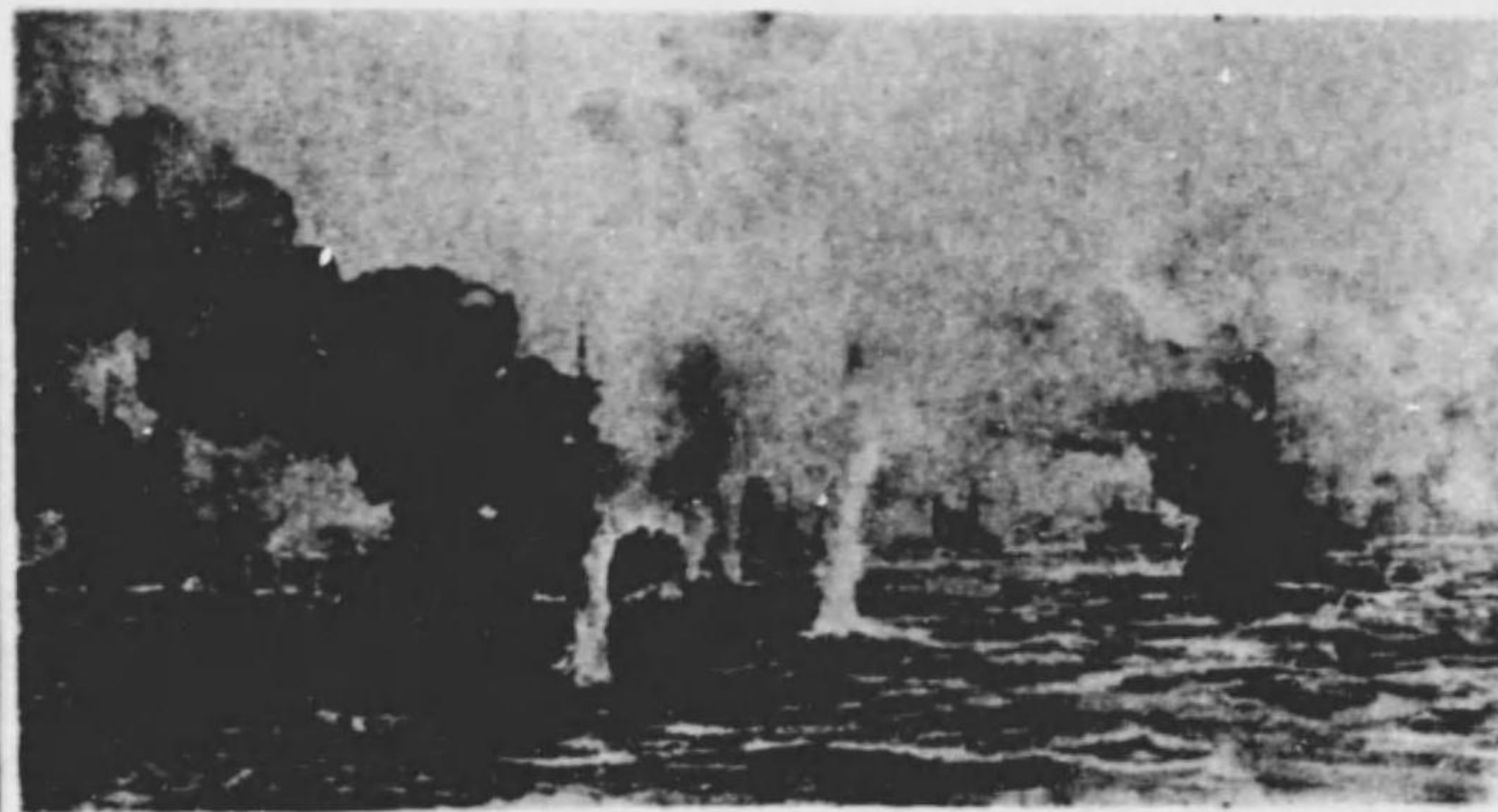
(4)



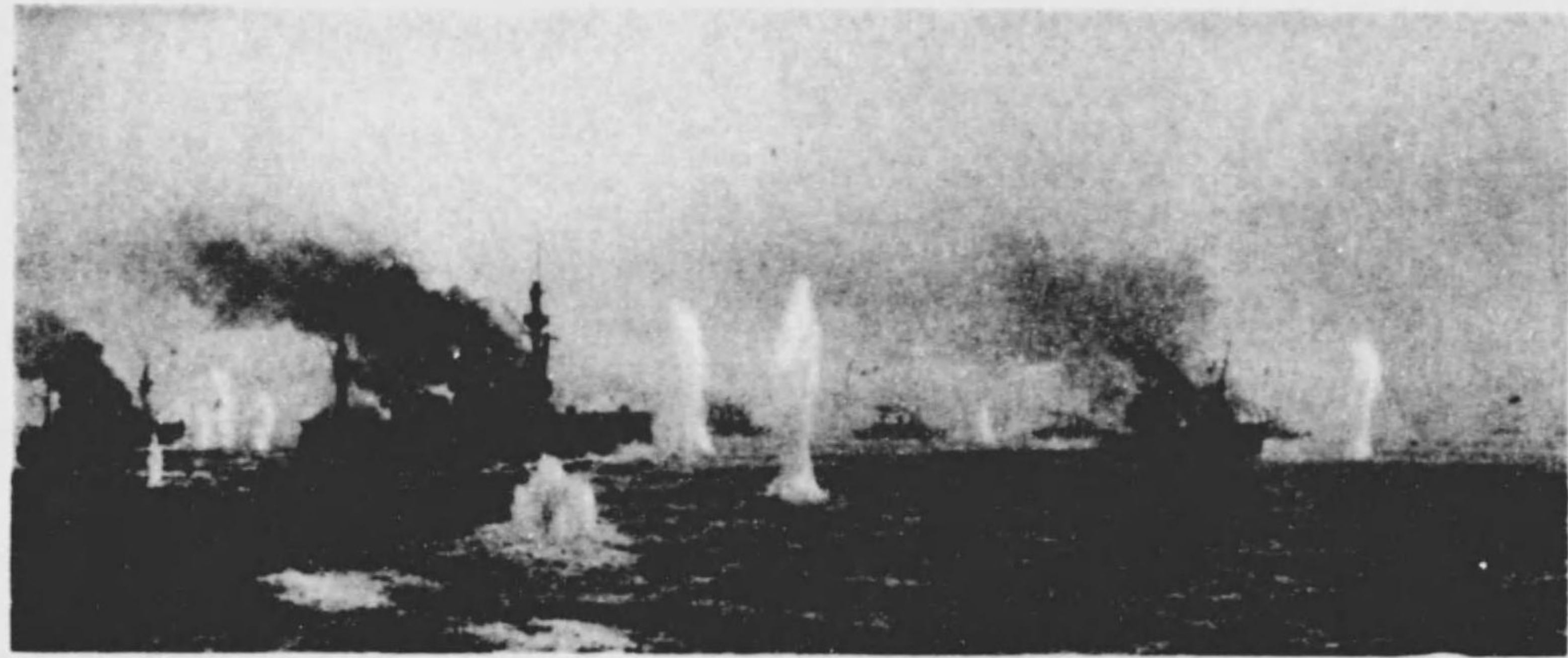
(1)



(3)



(5)



(6)



蔚山沖海戦

久シク其ノ高速力ト航續力ノ大ナルヲ恃ミテ我近海ニ跳梁セル敵ノ浦鹽艦隊ニ對シ常時警戒中ナリシ上村艦隊ハ八月十四日早朝遂ニ蔚陵島ノ北方約十哩附近ニ之レヲ發見シテ戰鬥ヲ開始セリ 敵艦隊ハ當初其ノ優速ヲ利用シ東方ニ逃走ヲ試ミタルモ我が艦隊ノ巧妙ナル藝術運動ニ抑制セラレ逸脱スルヲ得ズ忽チ其一艦「リュウリツク」ハ撃沈セラレ「ロシア」「グロムボイ」ノ二艦ハ又大破セラレタリ

(1) 「百撰百笑」蛸の足らひノ圖

内藤清枝氏寄贈

(2) 「百撰百笑」海賊船の破滅ノ圖

同

(3) 蔚山沖海戦之圖下繪 (東城鉦太郎氏筆)

東城つる子氏寄贈

(4) 「リュウリツク」撃沈圖 (古島松之助氏筆)

海ト空博覽會寄贈

(5) 蔚山沖海戦寫真

谷口尙眞大將寄贈

(6) 蔚山沖海戦ニ參加シタル將士人名帳

眞田鶴松大佐寄贈

(1)



(2)



(3)



(4)



(5)



(7)



(6)



(10)

(11)



海軍陸戦重砲隊ノ旅順砲撃

露國第二艦隊(遠征バルチック艦隊)ハ十月十六日「リパウ」軍港ヲ出港シテ以來航程ヲ進メツ、アルニ反シ旅順ノ敵艦隊ハ深ク港内ニ蟄伏シテ出戦ノ氣配ナク而モ要塞ノ防禦ハ益々堅固ニシテ我艦隊ノ苦心言語ニ絶セリ。茲ニ於テ我海軍重砲隊ハ陸軍ト協力シテ背面諸砲臺ヲ攻撃スルト共ニ港内敵艦ノ掃射ヲ行フニ決シ八月中旬以降屢々猛烈ナル敵ノ砲火ノ下ニ有效ナル攻撃ヲ敢行シ遂ニ十二月六日第三軍ノ肉弾ヲ以テ二〇三高地ノ強襲攻略ヲ成就スルニ至リテ港内敵艦ノ覆滅ヲ達成セリ。

- (1) 二〇三高地陣笠山ヨリ旅順港内ヲ望ム寫眞
(日露戰爭寫眞帖所載) 軍令部 寄贈
- (2) 松樹山ヨリ見タル二〇三高地
(田中慶之助氏筆 大正十五年四月作) 谷口尙眞大將寄贈
- (3) 旅順港内敵艦擊滅之光景(寫眞)
(日露戰爭寫眞帖所載) 軍令部 寄贈
- (4) 松樹山爆破之光景(寫眞)
(日露戰爭寫眞帖所載) 同
- (5) 海軍陸戦隊旅順要塞砲撃寫眞
九十三高地海軍陸戦重砲分遣隊所在地ヨリ爆破シタル光景ナリ 谷口尙眞大將寄贈

(6) 「百撰百笑」海陸戰爭勝技ノ圖(版畫) 内藤清枝氏寄贈

(7) 旅順包圍戰海軍陸戦重砲隊使用地圖 黒井悌次郎大將寄贈

(8) 海軍陸戦重砲隊戰闘詳報綴 黒井悌次郎大將寄贈

(9) 海軍陸戦重砲隊砲臺構築圖 同

(10) 陸戦隊威狀 同

(11) 砲 彈 片 水交社 寄贈

我海軍陸戦隊ヨリ發射セシ二十八彈丸ニシテ港口ノ露艦「ボベード」ニ命中シ之ヲ沈没セシム 同體引揚ノ際揚收ス

彈丸彈片ヨリ成ル置物 黒井悌次郎大將寄贈

彈丸彈帶ヲ以テ製シタル筆掛 博英王殿下御下賜

黒井指揮官ヨリ 伏見宮家ニ献上セシモノナリ 日本兵ノ劍鞘 白根熊三中將寄贈

二〇三高地戰闘紀念ノ一劍鞘ニシテ彈痕三有リ彈丸雨飛ノ狀察スルニ餘リアリ